

ノアル意味ガ少し分リニクイト思フノデスガ、モウ一應其ノ點ニ付テ御答願ヒタイ、更ニ申上テ置キマスガ、一體責任ノ在ル所ヲハツキリシテ置カナケレバ、イカスト思フ、其ノ責任ノ在ル所ヲ明瞭ニシテ、而シテ之ニ對シテ本塞源ノ途ヲ講ジナケレバ、ナラズト思フ、ソコガ私ハ此ノ問題ノ核心ダトソリシカ、ガ轉覆シテ百八十人ガ死ニマシタ、ガソリシテ死シタト云フコトハ、洵ニ氣ノ毒ナコトデアアル、所ガ其ノ原因ヲ調ベテ見ルト、轉轍手ガ三輛目ノ車ガ越エル前ニ誤ツテ轉轍シタガ爲ニ車ガ轉覆シタ、即チ此ノ人ガ責任者デアツテ、今其ノ責任者ハ何人トナツテ居ル、事柄ハ小サナ事デアリマスケレドモ、サウ云フ小サナ事モ責任ヲ突止メテ、之ヲ再ビヤラナイヤウニスル、斯ウ云フコトニシナケレバ、ナラズ、ソレデ此ノ問題ノ核心ヲ、ドウシテモ運信大臣カラハツキリシテ置カナケレバ、國民ハソレダケ苦シメラレル、又今日國家トシテ是程國家ノ總力ヲ弱メテ居ルコトハアリマセヌ、毎日々々何億ト云フ大キナ損ヲシテ居ルノデハナイカト思フ、斯ウ云フ問題ヲ、其ノ責任ヲ問ハズニ置イテ置クコトハ、コトハナイ、ドウカ此ノ點ニ付テ更ニ御答願ヒタイ

○勝國務大臣 此ノ石炭ノ入手ノ困難ナル原因竝ニ事情ニ付キマシテハ、先程申述ベテ置キマシタ、隨テ此ノ石炭ヲ十分獲得シ得ナカクツト云フコトガ、所謂嚴格ナル意味ニ於テノ責任ト云フベキデアルカ否カ、唯今日電氣ノ缺乏ヲ來シテ、日本ノ產業界ニ大イナル打撃ヲ與ヘタト云フコトハ、運信當局トシテハ深ク責任ヲ感じ、深ク天下ニ

ニ陳謝ヲシテ居ルノデアリマスガ、併シ石炭ヲ得ナカクツト云フコトガ、嚴格ナ意味ニ於テ責任ト云フベキヤ否ヤト云フコトニ付テハ、今少し私ハ檢討ヲ要スルト思ヒマス、ソレカラ尙ホ此ノ石炭獲得ニ付テ、強ヒテ責任ノ所在ヲ求ムルナラバ、私ハ其ノ責任ノ所在ヲ言ヒタクアリマスガ、石炭ノ獲得ト云フコトハ、發送電會社ノ自由手宛ニ任シテアツテ、政府ハ之ヲ補助スルダケデアアル、ソレニ掣肘ヲ加ヘタコトハナイノデアラカラ、強ヒテ求ムルナラバ、發送電會社ノ責任デアルカモ知レマセヌ

○松尾(四)委員 松尾君、先刻一寸申上デマシタヤウニ時間ゴザイマスカラ、是ハ關東ノ狀態デスガ、關西ノ方ニ於キマシテモ、ヤハリ同様ナ意見ヲ大阪朝日新聞社主筆ノ電力座談會言ツテ居リマス、其ノ記事ヲ讀ムト少し長クナリマスシ、時間ガ來マシタカラ省略致シマス、ソコデ是ハ電力國家管理案ノ缺陷デアルト存ジマスノデ、此ノ際應急ノ處置トシテハ、現内閣ハ石炭ノ入手ニ非常ナ努力ヲ拂ハレマシテ、屢此ノ講議ニ於キマシテ商工大臣ヨリ、加奈陀、印度カラ石炭ヲ得テマデ、一時的ノ補給ヲヤルト云フコトヲ聽イテ、實ニ其ノ熱意ノアル所ニ吾々ハ敬意ヲ表シテ居ル、應急ノ對策トシテハソレレ片ハ付キマセウ、彼此レ言ツテ居ル間ニ電力ハ殖エテ參リマス、運信大臣ハ心配ヲシテ、二月二十日ヨリ電力制限ノ二割程度ニ緩和スルノダト仰セラレテ居ル、ソレハ大抵心配ハナイデセウ、四月ノ上旬ニナレバ必ズ電力ハ殖エマス、是ハ別ニ努力デハナイ、水ハ三月末カラ四月ニ掛ケテ豐水期ニナルカラ餘リ心配ハナイ、ソコデ此ノ問題ハ彼此レ言ツテ居ル間ニ應急對策ハ出來ルト致シマシテモ、根本ニ恒久對策ヲ講ジナケレバ、恒久

萬應用意シテ居ツタモノガ、焚イテ見レバ五十萬噸分モ出ナイ、サウ云フ半分モ出ナイヤウナモノヲ以テ、ソレデ用意ガ出來テ居ツタト云フナラバ、若シ是ガ意識的デアレバ、實ニ罪萬死ニ値スルモノデス、ソレガ爲ニ斯ウ云フエライ目ニ遭フノデスカラ、ソレヲ黙ツテ置クコトハイケマセヌ、デスカラアナタガ此ノ大キナ問題ヲ解決サレルノニハ、餘程斯ウ云フ點ニ御留意下サルコトヲ切望致シマシテ、又別ノ機會ニ於テ此ノ點ヲ御尋致スコトニ致シマス

○中村委員長代理 松尾君、先刻一寸申上デマシタヤウニ時間ゴザイマスカラ、是ハ關東ノ狀態デスガ、關西ノ方ニ於キマシテモ、ヤハリ同様ナ意見ヲ大阪朝日新聞社主筆ノ電力座談會言ツテ居リマス、其ノ記事ヲ讀ムト少し長クナリマスシ、時間ガ來マシタカラ省略致シマス、ソコデ是ハ電力國家管理案ノ缺陷デアルト存ジマスノデ、此ノ際應急ノ處置トシテハ、現内閣ハ石炭ノ入手ニ非常ナ努力ヲ拂ハレマシテ、屢此ノ講議ニ於キマシテ商工大臣ヨリ、加奈陀、印度カラ石炭ヲ得テマデ、一時的ノ補給ヲヤルト云フコトヲ聽イテ、實ニ其ノ熱意ノアル所ニ吾々ハ敬意ヲ表シテ居ル、應急ノ對策トシテハソレレ片ハ付キマセウ、彼此レ言ツテ居ル間ニ電力ハ殖エテ參リマス、運信大臣ハ心配ヲシテ、二月二十日ヨリ電力制限ノ二割程度ニ緩和スルノダト仰セラレテ居ル、ソレハ大抵心配ハナイデセウ、四月ノ上旬ニナレバ必ズ電力ハ殖エマス、是ハ別ニ努力デハナイ、水ハ三月末カラ四月ニ掛ケテ豐水期ニナルカラ餘リ心配ハナイ、ソコデ此ノ問題ハ彼此レ言ツテ居ル間ニ應急對策ハ出來ルト致シマシテモ、根本ニ恒久對策ヲ講ジナケレバ、恒久

對策ノ方ニハ甚ダドウモ心配ナ所ガアリマス、今ノ電氣國日本發送電會社ノ機構ノ狀態ニ於キマシテハ、到底水力發電所ノ建設ノ意ノ如ク行カスト思ヒマス、又火力發電所ノ建設モ意ノ如ク行カスト思ヒマス、殊ニ最近ノ日本發送電會社ノ業績ハ、是ハ今ノ計算カラ見マシテモ、電力料ヲ若シ上ゲナイコトニナリマシタナラバ、缺損ヲ生ジテ政府カラ補助ヲ受ケル、ドレダケノ缺損ニナリマスガ、相當莫大ナモノダト思フ、デスカラ其ノ缺損ノ補給ヲ受ケルヤウナ會社ノ社債ニ付テハ、政府ノ保證ガアツテモ市場ハ中々喜バナイ、現ニ滿鐵ハ社債ノ募集ニ非常ニ困難ヲ感ジテ居ル、サウ云フ事情ニ相成ツテ參リマシテ、建設上將來ドウモ安心ヲシテ行クコトハ出來スト存ジマスノデ、此ノ際ニ何トカ我國ノ電力國策ノ一改革ヲ行フヤウナケレバナラスト思フ

○中村委員長代理 松尾君、先刻一寸申上デマシタヤウニ時間ゴザイマスカラ、是ハ關東ノ狀態デスガ、關西ノ方ニ於キマシテモ、ヤハリ同様ナ意見ヲ大阪朝日新聞社主筆ノ電力座談會言ツテ居リマス、其ノ記事ヲ讀ムト少し長クナリマスシ、時間ガ來マシタカラ省略致シマス、ソコデ是ハ電力國家管理案ノ缺陷デアルト存ジマスノデ、此ノ際應急ノ處置トシテハ、現内閣ハ石炭ノ入手ニ非常ナ努力ヲ拂ハレマシテ、屢此ノ講議ニ於キマシテ商工大臣ヨリ、加奈陀、印度カラ石炭ヲ得テマデ、一時的ノ補給ヲヤルト云フコトヲ聽イテ、實ニ其ノ熱意ノアル所ニ吾々ハ敬意ヲ表シテ居ル、應急ノ對策トシテハソレレ片ハ付キマセウ、彼此レ言ツテ居ル間ニ電力ハ殖エテ參リマス、運信大臣ハ心配ヲシテ、二月二十日ヨリ電力制限ノ二割程度ニ緩和スルノダト仰セラレテ居ル、ソレハ大抵心配ハナイデセウ、四月ノ上旬ニナレバ必ズ電力ハ殖エマス、是ハ別ニ努力デハナイ、水ハ三月末カラ四月ニ掛ケテ豐水期ニナルカラ餘リ心配ハナイ、ソコデ此ノ問題ハ彼此レ言ツテ居ル間ニ應急對策ハ出來ルト致シマシテモ、根本ニ恒久對策ヲ講ジナケレバ、恒久







ルヤウニ考慮致シタイ  
 ○星委員 設置ノ目的ハ宜カツタカモ知レ  
 スガ、現在ハ現制度及ビ資本主義ノ奴隷デ  
 アルト私ハ申シタイノデアリマス、早ク此  
 ノ戰爭ニ伴フ變化ニ副フヤウナコトニ御願  
 シタイと思ヒマス、ソレカラ今度ハ商工大  
 臣ニ御懇シマス、發明ノコトデアリマス、  
 此ノ發明——斯ウ云フ時ニハ愛國ノ發明  
 ガ出来ルモノデアリマス、其ノ愛國ノ發明  
 ヲ世上ニ續々持出スヤウニ獎勵ノ方法ヲ講  
 ジテハドウカト思ヒマス、私ハ此ノ前ノ  
 議會ニモ、一億圓ヲ出シテ發明ノ募集ヲシ  
 ロト言ウタノデアリマス、之ニ對シテ商工  
 大臣ガ、發明ト云フモノハサウ云フモノチ  
 ヤナイ、チヤント組織ノ出来タ所ト出来ル  
 モノト云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、  
 是ガ資本主義ノ奴隷デアル、斯ウ云フコト  
 ニ私ハ聽取ツタ、ナゼナラバ、ソレハ發明  
 ノ歴史ヲ知ラナイ人ノ言デアル、又發明ヲ  
 獨占シヨウト云フ資本主義者ノ言デアリ  
 マス、斯ウ云フ重大時局ノ際ニハ、何モ持  
 ツテ居ナイ人ノ空手空拳ノ天才ノ發明  
 ガ、世ノ中ニドウシテモ出来ナレバナラス、  
 然ルニ此ノ事變ニ對シテ大キナ發明ガ、マダ  
 一ツモ出来ナイデアリマセスカ、大キ  
 ナ文學モ出来ナイ、子孫ニ傳ヘルヤウナ大  
 キナ繪ヲ描ク者モナイ、文學モ美術モ工藝  
 モ發明モ出来ナイデアリカ、是ハ私ハ政府  
 ノ責任ト思ヒマス、故ニ此ノ發明獎勵ノ  
 爲ニ、此ノ際政府ハ少クモ一億圓位ノ公債  
 デ宜イカラ、發明ノ募集ヲスルコトノ意ガ  
 アルカドウカ、發明ニハ制限スルコトハア  
 リマセス、何デモ發明シヨ、斯ウ云フノデ  
 アリマス、今日綿ガナイ何ガナイト斯ウ言  
 フ、何ダ吾々ノ家ニ行クト蒲團ガアルチヤ

ナイカ、此ノ蒲團ノ綿ハ皆外國カラ買ツテ  
 來タト言ウテモ宜イ、是ハ何十年ノ間持ツ  
 テ居ル所ノ綿ナラデス、此ノ敷蒲團ヲ葉ニ  
 代ヘテ、綿ヲ葉ニ代ヘテ出シタダケデ、  
 ココニ三年ハ吾々ハ外國カラ棉一ツ買ハス  
 デモ私ハ行ケルと思フノデス、發明ヲ獎勵セ  
 スデ——發明トハ何ダ、陛下ノ仰セラレ  
 ル吾々ノ總力ノ發揮デハナイカ、國民總力  
 發揮ノ中ノ大キナモノハ發明チヤナイカ、  
 發明ガ進歩ヲ來ス、物ヲ造ル、今日獨逸ノ  
 戰爭ガ起ツタ原因ノ一ツハ、科學ヲ以テ世  
 界ヲ征服スルト云フ獨逸ノ信念ガ、今日ノ  
 戰爭ニナツタト言ハレテ居リマス、此ノ發  
 明ヲ無視シテ此ノ大戰爭ニ處シテ行クト云  
 フコトハドウ云フモノデセウ、何方言フト  
 外國カラ買ハナケレバナラスト言フ、外國  
 カラ買ハレ、怨マレ、サウシテ嫌ハレ  
 テ居ル、殊ニ御丁寧ニ今度ノ戰爭ハ支那ノ歴  
 史ニナリ戰争ヲシテ居ル、支那ノ戰争ト云  
 フモノハ、何時デモ支那人ノ「ゼネラル」  
 將軍ヲ使ツテ支那人ヲ殺シテ居リマス、今  
 度ハ女子供モ皆一團トシテ向フニ刺シテ、  
 其ノ上ニ御丁寧ニ世界全部ヲ後ロニ廻シテ  
 居ル、其ノ主ナルモノハ英國、佛蘭西、亞  
 米利加デアリマス、サウシテ戰ツテ居ル、  
 吾々ハソレデモアレダケノ勝利ヲ爲シ得タ  
 ノデアル、政府ハ發明ヲ募集シテ御覽ナサ  
 イ、ドンナ發明ガ出来ルカモ知ラス、今、ガ  
 ソリン、ガナイト云フガ、上ヲモ、ガソリン  
 ニ變ヘルコトガ出来ルチヤナイカ(笑聲)既  
 ニヤツテ居ルチヤナイカ、私ノ所ナシカデ  
 デハナイカ、然ルニ何モシナイノデアル、  
 サウシテ是ダケノ金ヲ使ツテ、是ダケノ豫  
 算ヲ組ンデ、一億ノ發明獎勵ノ豫算ガ何故

欲シイノダ、ソレガ分ラヌデ此ノ時局ヲ引  
 摺ツテ行クトガ出来ルカ、之ヲ知ツテ下  
 サイ、豫算ハ百億以下ニハ絕對ニナリマセ  
 ス、是カラ殖産ルモ減リマセヌヨ、之ニ  
 吾々ハ耐エテ行カナケレバナラス、併シナ  
 ガラ共ノ豫算ノ中ノ軍事費ハ、是ハ又他ニ  
 求メル所ガアリマセウカ、豫算ハ絕對百億  
 以下ニ下ルコトニハナリマセス、事變處理  
 ガ出来タナラ豫算ガ減ルナシテ思フナラバ  
 是ハ分ラヌ人間デアアル、此ノ歴史ヲ知ラヌ  
 人間デアアル、先ノ見透シノ付カナイ、東亞永  
 遠ノ安定トハドンナモノカト云フコトガ分  
 ラヌ者デアリマス、發明ハドウシタツテヤ  
 ラナケレバナラヌ、私ハ此ノ前ノ一億ト云フ  
 タガ、一年運レタカラ今度ハ倍ニシテ二億  
 圓ノ發明ヲシロト言ヒタイ、一ツ商工大臣  
 ノ御考ヲ、時間ノ制限ガアリマスカラ、イ  
 ス、一ノ一ノテ願ヒタイ

ラ——例ヘバ帝國燃料株式會社ハ何ダ、  
 三井三菱ハ外國ノ發明ヲ高ク買ツテ來テ  
 ヤツテ居ルチヤナイカ、其ノ發明ノ奴隷  
 ニナツテ物ハ出来ナイチヤナイカ、之ヲ  
 チヤント吾々日本國民ニヤラシメ御覽ナサ  
 イ、何デモ出来ル、水モ燃ヤスコトガ出来  
 ルチヤナイカ、是ガ分ラヌノダ、今ノ商工  
 大臣ハ直チニ贊成シテ呉レルト思ツタガ、  
 併シ商工大臣ニサウ言ハレテハ私甚ダ不滿  
 デアリマス、以下ノコトモ同ジデアリマス、  
 此ノ物動計畫ヲ有效化スル爲ニハ、ドウシ  
 テモ生産販賣者ノ活動ニ對スル保障ト云フ  
 コトガナケレバナラヌ、保障ト云フコトハ  
 安心立命ト云フコトデアアル、是ハ自覺ニ依  
 ツテ得ル保障モアリマス、他カラ與ヘル所  
 ノ保障モアリマス、結局人間ハ心ノ働キモ  
 仕事ノ働キモ安心立命、子孫ノ爲ノ安心立  
 命ガナケレバナリマセス、今日石炭ガ無  
 ト云フ、果シテ石炭ガ無イノカ、石炭採掘  
 者ハ事變後ノ自由競争ニ備ヘル爲ニ今貨額  
 ヲ採掘シテ良質ヲ後廻シシテ居ルト云フ  
 コトハナイカ、サウ云フコトガアルト外國  
 ノ本ニハ書イデアリマス、日本ノコトデア  
 リマセス、今マデ外國ニモサウ云フ事ガア  
 ツタ、皆ソレト同ジコトト商賣スル者モ、  
 製造スル者モ事變後ノ自由競争ニナツタ時  
 ノ自己維持ノ爲ニ今日物ガ出来ナイノデハ  
 ナイカ、無イノデハナイ、故ニ是ハ國ガ物  
 ヲ造ルノダ、國ノ戰爭ノ爲ニ必要ナノデア  
 ルカラ、此ノ際ハ生産販賣ニ對スル保障ヲ  
 スル、絕對安心ヲ與ヘテ行クベキ途ヲ執ル  
 ベキガ必要ダ、時間ノ關係上申上ゲマ  
 ス、此ノ輸入ノ統制ト云フコトハ單純化ス  
 ルガ原則デアリマス、然ルニ今ハ小サク區  
 別シテ複雜化シテ居リマス、皆ガ統制キキ

デ日ヲ暮シテ居リマス、單純化ト云フコト  
 ハ統制ノ原則デアリマスカラ、私ハ統制ノ  
 中デ一番最初ニシナケレバナラスモノハ輸入  
 一手統制デアラウト思ヒマス、今日三井、  
 三菱ハ外國市場ニ於テ競争ヲシテ居ルト云  
 フコトデアリマスガ、外國人ハ之ヲ笑ツテ  
 居リマス、是ガ統制ノナイ所以デアリマ  
 ス、日米條約破壞、是ハ誰ノ罪カ、日本ノ  
 商人ガ亞米利加ニ行ツテ競争ヲシテ買フコ  
 トデアリマス、是程マデニ日本ハ物資ニ缺  
 乏シテ居ルナラバ斯ウモシタラト云フノガ  
 一ツノ原因ト私ハ見ルベキダト思ヒマス、  
 外國人ハサウ言ツテ居リマス、日本ト云フ  
 國ハ分ラヌ國ダ、一ツノ要ル物ヲ買フノニ  
 十箇所カラ言ツテ來ル、斯ウ言ツテ居リマ  
 スヨ、ソレデアリマスカラ、今ノ統制ニ三  
 井、三菱ノヤウナ商會社モ一時國營ニス  
 ルガ宜イト私ハ思フノデアリマス、ソレカ  
 ラ配給ノ單純化デアリマス、小賣組合デ言  
 フト、統制前マデハ三十三組合アツタノガ、  
 統制サレタ今日ハ、百三十ダト云フコトデ  
 アリマス、之ヲ複雑化シテ原則ニ背イテ居  
 リマス、物ノ配給等モ地方ニ依ツテハ部落  
 部落ヲ單位ニシテ、單純化スルコトガ出来  
 ルデアラウト思フノデアリマス、ソレデア  
 ルカラ重要ナル民間事業ハ一時國營ニシタ  
 ラ宜イ、國有ト國營ト間違ツテハイカヌ、  
 日本人ハ國營ト云フコトハ知ラナイ、國營  
 ヲスト直ダ國有ダト考ヘル、サウシテ直  
 ダ政府ノ資金ヲ出シテ、ソコニ制込ムコト  
 バカリ考ヘル、國營ト國有ハ違フノデアリ  
 マス、亞米利加ハアノ歐羅巴ノ大戰爭ノ時  
 ニ、直チニ鐵道ヲ國營ニシマシタ、亞米利  
 加ノ政府ハ一哩ノ鐵道ヲ持ツテ居リマセ  
 ス、ソレヲ全部國營ニシマシタ、サウシテ

戰爭ガ濟シタラ元ニ戻シテヤツタノデアリ  
 マス、我國モ此ノ際際際テ國營ニスル、サ  
 ウシテ其ノ間ハ適當ナル配給ヲ保障シテヤ  
 ル、修繕モシテヤル、改良モシテヤル、サ  
 ウシテ平時ニナツタナラバ元ヘ戻シテヤル  
 ト云フコトガ、私ハ必要ダト思フノデアリ  
 マス、隨テ生産ト運送ト云フコトハ是ハ不  
 可分ダ、物ヲ造ルコトバカリ考ヘテ居ル、  
 併シ物ニ依ツテハ一遍消耗スル、食糧品ノ  
 ヤウナモノハ消耗シマス或ル物ハ何遍モ之  
 ヲ使フコトガ出来マス、例ヘバ麥酒壺ヲ例  
 トシマス、麥酒壺モ三遍モ往復シタナラ  
 バ、其ノ三倍ヲ使ツタト同ジデアリマス、  
 是等ノ運送、製造ト云フモノハ不可分ダト  
 云フコトガ分ラナケレバ駄目ダ、日滿支ノ  
 經濟「ブロッ」ヲ言フト、彼處カラ原料ヲ  
 持ツテ來ルコトガ出来ナイチヤナイカ、船  
 ガナイカラト云フノデアアル、船ハ幾ラデモ  
 アルカラ持ツテ來ル物ニ保險ヲ付ケロ、  
 木造デアラウト何デアラウト持ツテ來ルモ  
 ノニ保險ヲ許ス、政府ガ保障シテヤル、私  
 ハ此ノ前ノ豫算委員會ニモ言ツタノデアリ  
 マス、今陸上運輸ヲ國營ニシナサイ、海運  
 ヲ皆國營ニシテヤツタナラバ、今ノ物動計  
 畫ハ私ハ能率ガ舉ルト思フノデアリマス、商  
 工大臣ニハ、生産販賣者ニ對スル保障、輸入  
 一手統制、配給ノ單純化、民間事業ノ一時國  
 營、特ニ生産販賣ニ對スル國營デアリマス、  
 アトハ鐵道大臣ト通信大臣ニ伺ヒタイノデア  
 リ、時間ガナイカラドウゾ要點ヲ願ヒマス

○藤原國務大臣 只今ノ御質問ニ對シマシ  
 テハ、其ノ御趣旨ニ付テハ如何ニモ御尤モト  
 存ジマス、極ク簡單ニ申上ゲマス  
 (中村委員長代理退席、山本委員長代理  
 著席)

只今ノ御説ノ中ニ於テ、御考ガ二ツニ分レ  
 テ居ル、今日戰時體制ノ我ガ日本ガ東亞ノ  
 建設ヲ爲スノニハ、非常ニ高遠ナル理想ノ  
 下ニ總テノ政策ヲ立テナクテハナラヌ、ソ  
 レニハ色々ノ事業ヲ國營ニ移シテ、サウシ  
 テ之ヲ經營シテ行カナケレバ、統制ノ目的  
 ヲ達シナイデアリカト云フ御考ト、ソレ  
 カラ又今日色々ノ統制ノ仕事ヲシテ居ルケ  
 レドモ、何レモ皆行ツテ居ラヌカラ、之  
 ヲ或ハ單純化スルコトカ、或ハ輸出輸入ヲ統  
 制スルコトカト云フヤウナ風ニ、現實ニ行フ  
 ベキ問題ト、斯ウ二ツニ分ケテ御考ヘニナ  
 ツテ居ルヤウニ存ジマス、此ノ點ハ私モ全  
 然御同感デアリマスガ、私ノ見ル所ニ依リ  
 スマルト、吾々今日ニ於テハ非常ニ高遠ナ  
 理想ヲ持ツテ、戰時體制ヲ強化シテ行カ  
 ケレバナラヌト云フコトハ當然デアリマス  
 テ、其ノ點カラ申シマスト御考ハ御尤ト存  
 ジマス、併シナガラ吾々ガサウ云フ高遠ノ  
 理想ヲ持ツテ行カナケレバナラナイト同時  
 ニ、又足下モ見テ行カナケレバナラナイ、  
 餘リ先ノ方バカリ見テ足下デ願イテハイケ  
 マセス、今日動モスレバ餘リ高遠ノ理想ニ  
 走ツテ、足下ガ危ヲテ願クト云フ處ガ非常  
 ニ多イノデアリマス、殊ニ此ノ統制經濟ニ  
 於テ私ハソレヲ痛感シテ居リマス、ソレ故  
 ニ私ハ過日來度々本會議議其ノ他ニ於テモ同  
 様ナコトヲ申シマシテ、理窟ニ走ツテ色々  
 理想ヲ論ジテ居ル時デハナクテ、頃々足下  
 ノ見テ、サウシテ願カナイヤウニ總テノ統  
 制經濟ヲ圓滿ニ實行スルコトガ最大ノ急務  
 デアルカラ、取敢私ハ色々ナ理想ニ走ラ  
 ナイデ、圓滿ニ今日ノ統制經濟ヲ實行シテ  
 行キタイ、斯ウ云フ積リテ居リマス

○松野國務大臣 生産ト配給ハ一元的ニ考  
 ヘルモノデアリマス、隨テ配給ノ一部ヲ擔  
 當シテ居ル鐵道ト致シマシテハ、輸送上遺  
 憾ナキヲ期シテ居リマス

○勝國務大臣 御答申上ゲマス、御承知ノ  
 通り臨時船舶管理法及ビ國家總動員法ニ基  
 イテ海運統制令ト云フ兩方ノモノガアリマ  
 シテ、海運ノ統制ニ付テハ略、遺憾ナク行  
 レテ居ルノデアリマス、之ヲ國營ニ移スト  
 云フ考ハ只今ノ所ゴザイマセス

○星委員 私ハ商工大臣ノ答辯ニ甚ダ不滿  
 デアリマス、他ヲ言ウテ居ル、今ノ鐵道大  
 臣ノ答辯モ同ジコトダ、國營ニスルコトカ  
 ナイトカ——サウ云フ答辯ガ惡イノダ、コ  
 ツチガ眞劍ニ言ツタラ、考ヘテ見ルトカ、  
 ソレハ出来ルトカ出来ナイトカ、其ノ出来  
 スカラ別ニシマセウカラ、斯ウ云フ風ニ率  
 直ニ私ハ話ヲシテ居ル、眞劍ニ聽ク者ニ向  
 ツテハ眞劍ニ答辯ヲ要求シマス、他ヲ願  
 ルコトハ止メテ宜イ、陛下ガ此ノ豫算  
 會議ニ來ラレタラ、陛下ハ何ト悲シマレル  
 ガラウト思ヒマス、閣員ハ餘程考ヘナケレ  
 バナラヌト私ハ思ヒマス

私ハ時間ガアリマセスカラ今度ハ拓務大  
 臣ニ聽キマス、外地ノ軍事費——外地トハ  
 臺灣、朝鮮、滿洲、北支、中支、南支、海南  
 島ニモ行ツテ居ルカモ知レマセス、此ノ軍  
 事費ハ拓務者ガ計上スベキモノダト思ヒマ  
 ス、是ハ拓務者ニ計上シテ欲シイ、吾々ハ  
 今日百億以上ノ豫算ニ對シテ行カネバ  
 ナリマセス、拓務大臣ノ之ニ對スル所感  
 ト言ヒマスガ、考ヲ承リタイノデアリマ  
 ス

○小磯國務大臣 元來軍事ハ統制ヲ伴ハナ  
 ケレバナリマセス、隨テ軍事費デアリ限リ







○米内國務大臣 世界各國ヲシテ誤解セシメナイヤウナ手段ヲ取リタイト存ジマス

○山本委員長代理 紫安新九郎君

○紫安委員 總理大臣ニ御同致シマス、吾々ハ支那事變處理ニ於テ、又國際關係ニ於キマシテ、國防充實ノ急ナルコトヲ諒トスルモノデアリマス、又各省ヨリ要求セラレテ居リマス所ノ新規ノ事業費モ之ヲ極力削減シマスレバ、敢テ不急ナモノトハ認メナイノデアリマス、併シナガラ政府ガ低物價政策ヲ維持シ、國民生活ノ安定ヲ強調スル建前カラ致シマスナラバ、百三億ト云フ龐大ナル豫算ヲ實施シテ、果シテ政府ノ強調致シテ居リマス所ノ效果ヲ期待スルコトガ出来ルデアリマセウカ、何トナレバ物價騰貴ノ原因ニハ色々アリマスルガ、第一ハ物ノ不足ニ依ル經濟活動ノ不圓滑デアルコトデアリマス、第二ハ物ノ不足ニ基ク經濟的機構ノ低下シテ居ルコトデアリマス、其ノ他色々ノモノハアリマスルガ、其ノ主ナルモノハ何デアアルカト云フナラバ財政ノ膨脹ガ物價騰貴セシメテ居ルデアリマ

○米内國務大臣 世界各國ヲシテ誤解セシメナイヤウナ手段ヲ取リタイト存ジマス

○山本委員長代理 紫安新九郎君

○紫安委員 總理大臣ニ御同致シマス、吾々ハ支那事變處理ニ於テ、又國際關係ニ於キマシテ、國防充實ノ急ナルコトヲ諒トスルモノデアリマス、又各省ヨリ要求セラレテ居リマス所ノ新規ノ事業費モ之ヲ極力削減シマスレバ、敢テ不急ナモノトハ認メナイノデアリマス、併シナガラ政府ガ低物價政策ヲ維持シ、國民生活ノ安定ヲ強調スル建前カラ致シマスナラバ、百三億ト云フ龐大ナル豫算ヲ實施シテ、果シテ政府ノ強調致シテ居リマス所ノ效果ヲ期待スルコトガ出来ルデアリマセウカ、何トナレバ物價騰貴ノ原因ニハ色々アリマスルガ、第一ハ物ノ不足ニ依ル經濟活動ノ不圓滑デアルコトデアリマス、第二ハ物ノ不足ニ基ク經濟的機構ノ低下シテ居ルコトデアリマス、其ノ他色々ノモノハアリマスルガ、其ノ主ナルモノハ何デアアルカト云フナラバ財政ノ膨脹ガ物價騰貴セシメテ居ルデアリマ

ス、物價ガ騰貴スルカラシテ財政ガ膨脹スル、財政ガ膨脹スルカラシテ物價ガ騰貴スル、此ノ二ツノモノガ原因トナリ結果トナリ、此ノ二ツノモノガ追ヒツ追ハレツシテ居ル結果ガ更ニ物價高ヲ呼ブデアリマス、斯様ニ此ノ兩者ノ關係ハ惡循環ヲ繰返シテ居ルデアリマス、從來道德的若クハ愛國のナル課題トシテシカ理解セラレカクシテ傾キノアリマス舉國一致モ、交戦二年半ヲ經マシテ、流石ニ、物資ノ不足ト物價ノ騰貴トハ、國民生活ノ切實ナル問題トシテ現ハレテ居リマス、今ヤ政治ハ直接ニ生活問題デアリマス、前内閣ノ短命ニシテ終リマシタノモ色々ナ原因ハアリマセウ、併シナガラ其ノ主ナルモノハ何デアツタカト云ヘバ、畢竟物價政策ヲ食糧政策ヲ誤ツタ結果デアラウト思フデアリマス、今日ノ政治ハ經濟ト一如デナケレバナラナイノデアリマス、吾々ハ事變下ノ今日ニ於テ内閣方頗繁ニ更迭スルコトハ甚ダ好マザル者デアリマス、併シナガラ現内閣ガ一方ニ於テハ低物價政策ヲ維持シ、國民生活ノ安定ヲ確保スルコトヲ強調シナガラ、一方ニ於テ此ノ龐大ナル豫算ヲ實施シテ行カントスルナラバ、私ハ現内閣ノ前途モ亦知ルベキノミト云フヤウナ感ガスルデアリマス、ソレデス様ナル兩立シナイ事柄ハ如何ナル大政治家ガ其ノ局ニ當リマシテモ、私ハ申ス出来得ナイコトカト思フデアリマス、之ニ對シマシテ現内閣ニ如何ナル奇策ガアルノデアリマセウカ、如何ナル妙案ガアルノデアリマセウカ、此ノ點ヲ先ヅ以テ總理大臣ニ御同致シマス

○米内國務大臣 大藏大臣カラ御答辯致シマス

○紫安委員 政治ハ申スマデモナク一般民衆ヨリ支持協力ヲ受ケルバカリデナク、一般民衆ヲ指導誘引スルコトガ最も必要デアリマス、ソコデ政治ニハ其ノ政治ヲ擔當スル人ノ抱負精神ト云フモノガ自ラナケレバナラスデアリマス、所デ御提出ニナリマシタル十五年度ノ豫算案ハ前内閣ノ編成セラルモノデアリマシテ、ソレニ何等ノ修正モ

○櫻内國務大臣 龐大ナル豫算執行ガ物價高ヲ招キ、物價高ガ又更ニ豫算ヲ膨大ニセシムル、即チ惡循環トナツテ遂ニ財政ヲ誤リ經濟ヲ誤ルコトナルデハナイカ、斯様ナルヤリ方ニ於テ財政經濟ガ遂行出来ルカト云フ風ヲ御慮意デアツタヤウニ思ヒマス、御説ノ如ク徒ニ龐大ナル豫算ヲ實行致シマスコトハ、是ハ慎マナケレバナラス所デアリマス、唯今日現在ノ實情ニ照シ、又支那事變ニ對處スル現在ノ實際上カラ今回百三億ト云フ巨額ヲ經費ニ付テ御協賛ヲ仰イデ居ル譯デアリマス、併シナガラ此ノ豫算ヲ實行スルニ當リマシテハ、物ト見合ヒ、又經濟界ノ實情ト見合ヒマシテ、其ノ豫算ノ實行ニ對シテハ、慎重ナル考慮ヲ拂ツテ之ヲ實行キタイト思フテ居ルデアリマス、同時ニ是ガ今御説ノ如ク惡循環ヲ起サナイヤウニ、有ユル方法ヲ以テマシテ、市場ニ撒布セラレタル所ノ資金ガ一日モ速ニ回收サレテ更ニ資本トナリマスヤウニ、其ノ方法ヲ總テノ方面カラ執ツテ行キタイト存ジマス、單ニ貯蓄獎勵、或ハ公債ノ強制保有、或ハ消費節約、斯ウ云フヤウナ事柄ニ付キマシテモ、是モ十分徹底スルヤウニヤウテ行キマシテ、御心配ニナルコトノナイヤウニ致シタイト深ク注意ヲ拂ツテ居ル次第デアリマス

○紫安委員 政治ハ申スマデモナク一般民衆ヨリ支持協力ヲ受ケルバカリデナク、一般民衆ヲ指導誘引スルコトガ最も必要デアリマス、ソコデ政治ニハ其ノ政治ヲ擔當スル人ノ抱負精神ト云フモノガ自ラナケレバナラスデアリマス、所デ御提出ニナリマシタル十五年度ノ豫算案ハ前内閣ノ編成セラルモノデアリマシテ、ソレニ何等ノ修正モ

○米内國務大臣 只今ノ御質問ハ政府ノ施政綱領ト云フ點ダト拜聴致シマス、是ハ施政方針ノ演説ニモ申上ゲマシタ通り、此ノ時局ヲ乘切ル爲ニ先ヅ第一ニ支那事變ノ處理、國交調整其ノ他ノ舉ゲテ居ツタノデアリマス、詰リ此ノ三ツヲ核心ト致シマシテ國防力ノ強化、之ヲヤル爲ニハ軍備モ充實シナケレバナラス、國民精神モ昂揚シナケレバナラス、或ハ經濟力モ擴張シナケレバナラス、或ハ戰時國民生活ノ確保モヤラナケレバナラス、斯ウ云フコトカラ致シマシテ、是等ニ要スル爲ニ大キナ豫算ヲ踏襲致シマシテ、ソレニ依ツテ實行ヲヤツテ行カウ、斯ウ云フデアリマス

フトカ、現金支拂ツテモ直ク銀行ニ廻ルヤウニスルトカ、或ハ納税ニ成ベク小切手ヲ受入レルヤウニスル必要ガアルト云フデアリマス、私ハ更ニ一步ヲ進メマシテ、政府ガ軍需品其ノ他ノ請負ヲ爲サシメタル事業家ヲシテ、政府宛ノ手形ヲ提出セサルノデアリマス、而シテ政府又ハ特殊金融機關ヲシテ引受ケ、又ハ專書セシメルノデアリマス、斯様ニシテ手形ノ融通性ヲ持タシメ、以テ市中銀行ヲシテ、此ノ手形ヲ割引ノ方法ニ依ツテ事業家ニ資金ヲ融通セシメルデアリマス、斯ク致シマスコトノ手形金融ノ長所ハ何處ニアルカト云フト、手形ノ流通ハ主トシテ手形ノ流通當事者間ニ限ラレテ居リマスカラシテ、其ノ流通範圍ハ局限セラレテ居リマス、又其ノ流通ノ場合ニモ割引ノ際ニ手形ヲ以テ致シマスレバ、流通ノ速度ヲ相當ニ緩慢ナラシムルコトモ出来マスルシ、又一方當座預金ノ形式ニテ融通スル時ニハ、兌換券ノ増發ニ對スル影響モ、或ル程度ハ緩和セラレルト思フデアリマス、政府ハ斯様ナコトニ付テ御考ニナツテ居ルコトハナイデアリマセウカ、此ノ點ヲ御同致シマス

○櫻内國務大臣 民間ニ通貨ガ澤山ニナリマス、自然ニ物價高ヲ招クデアリマシテ、御説ノ如ク信用通貨ト申スマスカ、兎ニ角小切手デアルトカ、約束手形デアルトカ、爲替手形デアルトカ云フモノガ盛ニ流通致シマシテ、紙幣ガ多ク用ヒラレズ、サウ云フモノニ依ツテ經濟上ノ働キマスルト云フ事柄ハ、或ル程度通貨ノ收縮ニナルノデアリマシテ、只今御説ノ如キ事柄ニ付テハ、考慮ヲ拂ハナケレバナラスコトト考ヘマス、唯現在ニ於キマシテ軍事費等ハ、御

○櫻内國務大臣 民間ニ通貨ガ澤山ニナリマス、自然ニ物價高ヲ招クデアリマシテ、御説ノ如ク信用通貨ト申スマスカ、兎ニ角小切手デアルトカ、約束手形デアルトカ、爲替手形デアルトカ云フモノガ盛ニ流通致シマシテ、紙幣ガ多ク用ヒラレズ、サウ云フモノニ依ツテ經濟上ノ働キマスルト云フ事柄ハ、或ル程度通貨ノ收縮ニナルノデアリマシテ、只今御説ノ如キ事柄ニ付テハ、考慮ヲ拂ハナケレバナラスコトト考ヘマス、唯現在ニ於キマシテ軍事費等ハ、御

承知ノ如ク軍需工業ノ人々ノ金融等ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ相當ニ考慮致シマシテ、手形ノ流通ト云フ意味デハアリマセウカ、便宜ノ圖ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、今御説ノ一般のニサウ云フ小切手ノヤウナモノヲ盛ニ出スト云フ意味トハ多少違ヒマスケレドモ、現ニ通貨ヲ出スト云フコトニ付キマシテハ、出来得ル限り之ヲ縮小致シヤウナ方法ヲ執ツテ居ルデアリマシテ、此ノ際御説ノ如キ新規ナ方法ヲ採用スルコトモ一ツノ方法デアリマスガ、之ヲ實際ニ實行致シマス上ニ於キマシテハ、幾多ノ困難ガアルデアリマス、餘程研究ヲ致シテ上デナケレバ實行ガ出来ナイデアラウト思フデアリマス、尤モ現在在農村等ニ於キマシテ、殆ド現金ト云フモノヲ使ハズシテ、御説ノ如クニ小切手ニ似寄ツタ方法ニ依ツテ現在ヤツテ居ルノガ、現ニ私ノ聞イテ居ル範圍ニ於テモアルノデアリマス、併シナガラ一般通貨ノ盛ニ撒布サレテ居ル所ノ都會等ニ於テハ、信用程度其ノ他ニ於テ、容易ニ判斷ガ出来ヌ關係上カラ、之ヲ實行スル上ニ於テハ可ナリ難カシイ點ガアルノデアリマス、尤モ現在當座取引ニ於テ融通サレテ居ル方面ハ、大部分小切手デ現ニ融通サレテ居ルデアリマシテ、尙ホ漸次擴張ヲ致シテ行クト云フコトハ、最も必要ナコトデアアルヤウニ考ヘテ居リマス

○紫安委員 私ハ更ニ通貨收縮ノ一方法ト致シマシテ、富藏ニ關シテ大藏大臣ニ御同致シマス、今日ノ場合ハ苟モインフレ防止ヲ爲シ立ツコトデアラナラバ、策ノ大小ヲ問ハズ考究ヲ實行シナケレバナラナイト思フデアリマス、ソコデインフレ防止

○櫻内國務大臣 富藏ニ依ツテ民間ニ撒布サレタル所ノ資金ヲ吸收スルコト云フ事柄ハ、見方ニ依ツテハ最も適切ナ方法ノヤウニ考ヘラレマス、私共モ其ノ點ニ付テハ可ナリ關心ヲ持ツテ研究ヲ致シテ居ルデアリマスガ、併シナガラ一面カラ申シマスレバ、之ニ依ツテ射撃心ヲ挑發致シ、又場合ニ依ツテハ、其ノ結果ハ善良ナル風俗ヲ害スルト云フヤウナ處ガナイトモ限ラナイノデアリマス、此ノ點ニ付テハ十分研究考慮ヲ致サナケレバナラスト考ヘマス、併シナガラ御説ノ如ク零碎ノ資金ヲ集メマスノニハ、要スルニ適當ナル人心ヲ提ヘル所ノ方法ニ依ツテ之ヲ集メナケレバ、容易ニ之ヲ集メルコトガ出来ナイノデアリマシテ、御説ノ趣旨ハ私共モ完全ト同意デアリマス、隨ヒマシテ之ニ對シテハ適當ナル方法ヲ考ヘヨウト、目下研究中デアリマス

○櫻内國務大臣 富藏ニ依ツテ民間ニ撒布サレタル所ノ資金ヲ吸收スルコト云フ事柄ハ、見方ニ依ツテハ最も適切ナ方法ノヤウニ考ヘラレマス、私共モ其ノ點ニ付テハ可ナリ關心ヲ持ツテ研究ヲ致シテ居ルデアリマスガ、併シナガラ一面カラ申シマスレバ、之ニ依ツテ射撃心ヲ挑發致シ、又場合ニ依ツテハ、其ノ結果ハ善良ナル風俗ヲ害スルト云フヤウナ處ガナイトモ限ラナイノデアリマス、此ノ點ニ付テハ十分研究考慮ヲ致サナケレバナラスト考ヘマス、併シナガラ御説ノ如ク零碎ノ資金ヲ集メマスノニハ、要スルニ適當ナル人心ヲ提ヘル所ノ方法ニ依ツテ之ヲ集メナケレバ、容易ニ之ヲ集メルコトガ出来ナイノデアリマシテ、御説ノ趣旨ハ私共モ完全ト同意デアリマス、隨ヒマシテ之ニ對シテハ適當ナル方法ヲ考ヘヨウト、目下研究中デアリマス

○櫻内國務大臣 富藏ニ依ツテ民間ニ撒布サレタル所ノ資金ヲ吸收スルコト云フ事柄ハ、見方ニ依ツテハ最も適切ナ方法ノヤウニ考ヘラレマス、私共モ其ノ點ニ付テハ可ナリ關心ヲ持ツテ研究ヲ致シテ居ルデアリマスガ、併シナガラ一面カラ申シマスレバ、之ニ依ツテ射撃心ヲ挑發致シ、又場合ニ依ツテハ、其ノ結果ハ善良ナル風俗ヲ害スルト云フヤウナ處ガナイトモ限ラナイノデアリマス、此ノ點ニ付テハ十分研究考慮ヲ致サナケレバナラスト考ヘマス、併シナガラ御説ノ如ク零碎ノ資金ヲ集メマスノニハ、要スルニ適當ナル人心ヲ提ヘル所ノ方法ニ依ツテ之ヲ集メナケレバ、容易ニ之ヲ集メルコトガ出来ナイノデアリマシテ、御説ノ趣旨ハ私共モ完全ト同意デアリマス、隨ヒマシテ之ニ對シテハ適當ナル方法ヲ考ヘヨウト、目下研究中デアリマス

○櫻内國務大臣 富藏ニ依ツテ民間ニ撒布サレタル所ノ資金ヲ吸收スルコト云フ事柄ハ、見方ニ依ツテハ最も適切ナ方法ノヤウニ考ヘラレマス、私共モ其ノ點ニ付テハ可ナリ關心ヲ持ツテ研究ヲ致シテ居ルデアリマスガ、併シナガラ一面カラ申シマスレバ、之ニ依ツテ射撃心ヲ挑發致シ、又場合ニ依ツテハ、其ノ結果ハ善良ナル風俗ヲ害スルト云フヤウナ處ガナイトモ限ラナイノデアリマス、此ノ點ニ付テハ十分研究考慮ヲ致サナケレバナラスト考ヘマス、併シナガラ御説ノ如ク零碎ノ資金ヲ集メマスノニハ、要スルニ適當ナル人心ヲ提ヘル所ノ方法ニ依ツテ之ヲ集メナケレバ、容易ニ之ヲ集メルコトガ出来ナイノデアリマシテ、御説ノ趣旨ハ私共モ完全ト同意デアリマス、隨ヒマシテ之ニ對シテハ適當ナル方法ヲ考ヘヨウト、目下研究中デアリマス

○紫安委員 昭和十一年九月二十二年ノ法律ニ

○紫安委員 昭和十一年九月二十二年ノ法律ニ



依ツテ、陸軍ノ經理部ニ於キマシテハ民間ニ注文ノ場合ニハ、注文同時ニ金ヲ支出セラレテ居ルト思フデアリマス、所ガ今日ノ軍需工業家ト云フモノハ、資力モ充實致シテ居リマス、ソコデ注文同時ニ陸軍ガ其ノ代金ヲ支出スル必要ハ、餘程減額居ルト思フデアリマス、此ノ點ニ付テ陸軍ハ、今日尙ホ前ノ法律ニ依ツテ注文同時ニ其ノ代金ヲ支出シテ居ラレルデアリマセウカ、之ヲ御伺致シマス

○森田政府委員 陸軍ニ於キマシテハ、昭和十三年當時我國ノ生産力擴充、金融界ノ情勢、斯ウ云フ點ヲ考ヘマシテ、前金拂ノ制度ヲ運用シテ、契約ト同時ニ所要ノ前金ヲ支拂ツテ居ルデアリマスガ、目下ノ状態ニ於キマシテハ、金融方面ノ情勢ガ多少緩和致シマシタノデ、其ノ前金拂ハスル限度ニ於キマシテハ、若干ノ手心ヲ加ヘテ居リマスガ、全然之ヲ取止メルト云フコトノ考ヘ持ツテ居リマセウ

○紫安委員 企業院ノ方ニ御伺致シマス、物動計畫ハ、此ノ間特ニ秘密會ヲ開イテ説明セラレタノデアリマスガ、物資統制トカ物動計畫トカハ、或種ノ軍需用又ハ資材ノ或物ニ關スル外ハ、私ハ何モ之ヲ事々シク秘密ニスル必要ハナイト思フデアリマス、殊ニ國民生活必需品ヤ平和的物資ナドハ、努メテ之ヲ世ノ中ニ公ニスルト云フコトガ、却テ國民ノ物資ニ對スル不安ヲ緩和スル方法ダト思フデアリマス、斯様ニ申シマスレバ、政府ハ國民ノ代表者タル議員ニ説明シタノデアリカ、ソレデ宜イデアハナイカト申サレルカモ知レマセウガ、物資ヤ物價對策ハ如何ニ軍部ガ支持セラレヤウトモ、又議會ガ諒解致シマセウトモ、ソレ

○有田國務大臣 滿洲事變以來、亞米利加ニ居リマス日本ノ代表者等ガ、折ニ觸レ時ニ臨ンデ日本ノ方針、日本ノ考ヘ方等ヲ、米國ノ朝野ニ對シテ演説講演シタコトハ、數多イノデアリマス、又獨リ大使館關係ノ者バカリデナク、亞米利加ニ居ル日本人デ、ソレ等ノ目的ヲ以テ米國各地ニ講演シタ者モ少クナイノデアリマス、日本ノ考ヘ方ヲ米國ノ朝野ニ徹底セシメマスコトニ付テハ、今日マデ出來ルガケノ努力ヲ致シテ居ルデアリマスガ、將來ニ於テモ其ノ時機方法等ハ、其ノ時ノ宜シキニ從ツテ決定致サナケレバナラスト思ヒマスガ、十分努力ヲスル積リテ居リマス

○紫安委員 モウ一ツ伺ヒマス、日米國交調整ノ 限界ヲ支那大陸ノミニ置カナイデ、廣ク之ヲ太平洋ニ擴大スルコトモ、日本ノ對米政策ヲ再認識セシメル一ツノ方法デナイデセウカ、例ヘバ米國ガ比律賓ノ獨立ヲ認容致シマシタコトハ、世界公知ノ事實デアリマス、所ガ支那事變以來米國ノ一部デハ、日本ノ膨脹ノ餘波ガ比律賓マデ及ビハシナイカト云フコトヲ怖レテ居ル者モ相當ニアルコトヲ、最近米國カラ歸朝シタ者ニ私ハ聽イタノデアリマス、日本ト致シマシテハ、斯ル米國ノ誤解ト疑懼ヲ一掃スルガ爲ニ、日米間ニ於テ、比律賓ヲ中立地帯トシテ、其ノ獨立ヲ相互ニ保障スルコト

○有田國務大臣 滿洲事變以來、亞米利加ニ居リマス日本ノ代表者等ガ、折ニ觸レ時ニ臨ンデ日本ノ方針、日本ノ考ヘ方等ヲ、米國ノ朝野ニ對シテ演説講演シタコトハ、數多イノデアリマス、又獨リ大使館關係ノ者バカリデナク、亞米利加ニ居ル日本人デ、ソレ等ノ目的ヲ以テ米國各地ニ講演シタ者モ少クナイノデアリマス、日本ノ考ヘ方ヲ米國ノ朝野ニ徹底セシメマスコトニ付テハ、今日マデ出來ルガケノ努力ヲ致シテ居ルデアリマスガ、將來ニ於テモ其ノ時機方法等ハ、其ノ時ノ宜シキニ從ツテ決定致サナケレバナラスト思ヒマスガ、十分努力ヲスル積リテ居リマス

○有田國務大臣 日米關係調整ノ爲ニハ、單リ支那ニ限ラズ、其ノ他ノ方面ノ問題ヲモ取上ゲテ然ルベシ、而シテ比律賓ニ對スル日本ノ意圖ヲ疑ツテ居ルトスレバ、ソレ等ヲ解消セシムルヤウナ措置ヲ講ズル必要ハナカラウカ、斯ウ云フ御質問ノ御趣旨デアリマシテ、從來日本ガ南洋方面、比律賓等ニ對シテ何等領土ノ野心ヲ持ツテ居ナイト云フコトハ、屢々之ヲ聲明致シテ居ルデアリマスガ、ニモ拘ラズ時々色々ナ事件ニ關聯致シマシテ日本ノ領土ノ野心ト云フヤウナコトヲ宣傳シタリ、或ハ其ノ宣傳ニ乘ツテ恰モサルコトガアルカノ如ク吹聴スル向モアルデアリマス、此ノ點ハ色々ナ方法デ之ヲ打消シテ行ク必要ガアルデアリマス、實ハ此ノ不睦協定、或ハ中立ヲ尊重スル條約ヲ結ブト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、是ハ此ノ間モ豫算總會ノ席上ニ於テ御述シタト思フデアリマスガ、國ニ依リマシテハ自分ノ領土ノ獨立、中立等ヲ保障サルコトヲ傳統的ニ嫌ツテ居ル國モアルデアリマシテ、ソレ等ノ點カラ考ヘマシテ、勿論先方ニ其ノ氣持ガアリマスレバ日本トシテ其ノ種ノ條約ヲ結ブコトヲ何等遲延ハ致サナイノデアリマスガ、相手國ノ氣持ト云フモノハ、十分尊重致サナケレバ、却テ其ノ目的ヲ損ズルヤウナコトニモナル虞ガアリマスノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ政府トシテ慎重ナル態度ヲ執ツテ居ルコトデアリマス

○有田國務大臣 支那民衆ノ生活ニ付テ特ニ注意ヲ拂フ必要ノアルコトハ、御説ノ通りデアリマス、現ニ日本軍ノ占據區域内ニ於キマシテモ、宜撫匪其ノ他ガ活動致シマシテ、出來得ル限りソレ等ノ點ヲ注意致シテ居ルデアリマス、汪政權ガ成立致シマスレバ、御述べニナリマシタヤウニ、日本政府トシテハ出來得ル限り援助ヲ致スコトニナツテ居ルデアリマス、自然コトニナツテ居ルデアリマス、色々ノ具體的の問題ニ付テ話ガアルコトト思フデアリマスガ、今日マダ其ノ時機ニ達シテ居ラナイノデアリマス、抽象的ニ出來得ルガケノ援助ヲ致スコトハ、外ハナイト考ヘ

力ナル手段デアリマス、而モ汪政權治下ノ經濟活動ハ戰禍ノ爲ニ疲弊困窮致シテ居リマス、其ノ爲ニ支那民衆ノ中ニハ、目前ノ衣食ニ窮シテ居ル者ガ少カラヌノデアリマス、汪政權ガ善當ツテ是等ノ者ヲ衣食セザレナイ以上ハ、盟邦トシテ我國ガ經濟的援助ヲ與ヘナケレバナラナイト思フデアリマス、サウ致シマス、則チ「プロク」内輸出制限乃至禁止ト云フガ如キ政策ハ、根本的ニ之ヲ修正シナケレバナラヌト思フデアリマス、是ガ假ニ我國ノ生産物資ガ豐富デアリマスナラバ、單ニ貿易政策ヲ修正スル問題ハ解決スルデアリマスガ、我國ノ生産物資ニ大ナル餘裕ガアルトハ言ヘナイ現狀ニ於キマシテ、問題ハ一層深刻ニ考ヘナケレバナラナイノデアリマス、外務大臣ハ汪政權ニ對シテ、斯ル援助ヲ與フルコトヲ必要トセラレルデアリカ、又大藏大臣ハ「プロク」内輸出制限ヲ緩和スルノ御考ガアリマス、此ノ點ヲ御伺致シマス

○有田國務大臣 支那民衆ノ生活ニ付テ特ニ注意ヲ拂フ必要ノアルコトハ、御説ノ通りデアリマス、現ニ日本軍ノ占據區域内ニ於キマシテモ、宜撫匪其ノ他ガ活動致シマシテ、出來得ル限りソレ等ノ點ヲ注意致シテ居ルデアリマス、汪政權ガ成立致シマスレバ、御述べニナリマシタヤウニ、日本政府トシテハ出來得ル限り援助ヲ致スコトニナツテ居ルデアリマス、自然コトニナツテ居ルデアリマス、色々ノ具體的の問題ニ付テ話ガアルコトト思フデアリマスガ、今日マダ其ノ時機ニ達シテ居ラナイノデアリマス、抽象的ニ出來得ルガケノ援助ヲ致スコトハ、外ハナイト考ヘ

○紫安委員 大藏大臣ニモウ一ツ御伺致シマス、昨年政府ノ旨ヲ承ケマシテ六大都市及ビ二三ノ都市ニ於テハ貿易振興會社ヲ作ツタノデアリマス、其ノ資本金ノ半額ハ府縣ナリ其ノ所在地ノ市ガ持ツタノデアリマス、所デ此ノ貿易振興會社ニ對シテ輸入爲替トシテ貿易局ヨリ融通スル所ノ金額ハ全貿易會社ニ對シテ僅カク百萬元アル、ドウモ斯ウ云フ僅カク金デハ振興會社ノ設立ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト云フ情勢ニナツテ居リマス、ソコデ私ハ貿易基金ヲ二千万圓デモ三千万圓デモ多ク出シテ、此ノ貿易振興會社ノ働キヲ十分ニ爲サシメルコトガ必要デハナイカト思フデアリマス、此ノ貿易會社ハ是マデナイ所ノ會社デアリマス、一方ハ民間ガ株主デアリ、一方ハ所ニ在リ府縣ト市ガ株主デアリ、是ハ特殊ナ會社デアリマス、所ガ此ノ會社ガ十分ナル働キヲ爲スト否トハ貿易ノ進展上ニ非常ナ影響ヲ持ツコトト思ヒマス、之ニ對シテ政府ハ更ニ爲替基金ヲ多ク御出シニナル御意思ガアルカナイカ、ソレヲ御伺致シマス

○櫻内國務大臣 輸出貿易ニ關係致シマス、所ノ資金ハ輸入爲替基金ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、出來ルガケ便宜ヲ圖リタツテ考ヘテ居リマス

○紫安委員 商工大臣ニ御伺致シマス、中小業者ハ目下非常ニ窮迫致シテ居リマス、是ハ商工大臣モ御承知ノコトト思ヒマス、政府ハ昨年中小業者調査委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、ソコデ私共ハ此ノ中小業者調査委員會ト云フモノハ、所ノ働キヲ産業調査委員會ト云フモノトハ、所ノ働キヲ調査スルコトト云フコトヲ密ニ曉メテ居リマス、サウ云フ調査會ハ設ケマシタ

○櫻内國務大臣 汪政權治下ノ民衆援助ノ問題ニ付キマシテハ、只今外務大臣カラ答辯致シマシタ通りデアリマス、則チ「プロク」内ニ於ケル貿易ニ付テ、現在多少取極ツテ居ル點ヲ緩和スル考ヘナイカト云フ御話デアリマスガ、大體ニ於テ現在物資ノ上カラ申シマス、少カラザル物資ヲ北支、中支ニ入レテ居リマス、是ハ結局向フノ今日及ビ將來ノ爲ニ色々ナル企業ヲ援助スル意味モアリマセウ、又軍隊ノ關係モアリマセウ、種々ナル關係上カラ少カラザル物資ヲ輸出致シテ居リマスガ、併シナガラ日本内地ノ生活上ノ必要ト照シ合ハセマシテ、中支ニハドウシテモ或ル程度取極ルベキ必要モアルノデアリマシテ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアラウト思フデアリマス、大體ニ於テハ出來ル限り援助スルコトヲ方針ニハ少シモ變リハナイノデアリマス

○紫安委員 日米國交調整ノコトニ付テ外務大臣ニ御伺致シマス、昨年十月中旬、數箇月ノ賜暇歸國カラ東京ニ歸任致シマシタ「グル」駐日米國大使ハ、大體率直ナル日本攻撃演説ヲヤウタノデアリマス、所ガ米國ガ日本ノ興隆ヲ抑壓セントシテ居ルコトハ、其ノ由ツテ來ル所ハ隨分古イノデアリマス、歐洲大戰後ノ移民問題ヲ初メトシテ、南滿鐵道、東支鐵道ノ買収或ハ國際管理ヲ提唱シタノモ米國デアリマス、日本ヲ輸出スル爲ニ滿洲中立案ヲ提唱シタノモ米國デアリマス、華盛頓會議ヲ召集シテ我が海軍兵力ノ限定、青島還附及ビ日支二十一箇條骨拔ノ強要等モ、是レ悉ク米國ノ指導的策謀デアツタコトハ、今更申上ゲルマデモナイコトデアリマス、今申シマシタ事實ハ、日

○有田國務大臣 支那民衆ノ生活ニ付テ特ニ注意ヲ拂フ必要ノアルコトハ、御説ノ通りデアリマス、現ニ日本軍ノ占據區域内ニ於キマシテモ、宜撫匪其ノ他ガ活動致シマシテ、出來得ル限りソレ等ノ點ヲ注意致シテ居ルデアリマス、汪政權ガ成立致シマスレバ、御述べニナリマシタヤウニ、日本政府トシテハ出來得ル限り援助ヲ致スコトニナツテ居ルデアリマス、自然コトニナツテ居ルデアリマス、色々ノ具體的の問題ニ付テ話ガアルコトト思フデアリマスガ、今日マダ其ノ時機ニ達シテ居ラナイノデアリマス、抽象的ニ出來得ルガケノ援助ヲ致スコトハ、外ハナイト考ヘ



ツテ居ラスノデアリマシテ、政府ニ於キマシテモ亦民間ニ於キマシテモ色々ノ施設ヲ講ジテ居リマス...

○紫安委員 最後ニ文部大臣ニ御伺ヒ致シマス、精神經濟ガヤカマシクナツテ以來、其ノ違反者ト云フモノハ驚クベキ數ニ上ツテ...

○松浦國務大臣 閣取引ガ學生ニ及ボス影響ト、如何ニ之ニ對處スルカト云フ點ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、此ノ閣取引、閣相...

○増永委員 只今電力、石炭ノ問題ガ非常ナル重大問題トナリマシテ、先達來本會議ニ於キマシテモ常豫算總會ニ於キマシテモ...

○山本委員長代理 本日ハ此ノ儘引續イテモウ一人ダケ續シタイト思ヒマス、ドウカ最後マデ議席ニ御著キ下サイマスヤウ、...

○紫安委員 委員長私ハ濟ミマシタ。閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○松浦國務大臣 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○平井出政府委員 諸苗代ノ湖面低下ハ御...

同僚委員ヨリ色々ノ御質疑ガ爲サレマシタガ、私ノ考デハ、マダ此ノ重大ナル電力石炭問題ニ對シマシテ、核心ニ觸レテ居ナイ...

○松浦國務大臣 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○山本委員長代理 本日ハ此ノ儘引續イテモウ一人ダケ續シタイト思ヒマス、ドウカ最後マデ議席ニ御著キ下サイマスヤウ、...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○松浦國務大臣 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○平井出政府委員 諸苗代ノ湖面低下ハ御...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○松浦國務大臣 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○山本委員長代理 本日ハ此ノ儘引續イテモウ一人ダケ續シタイト思ヒマス、ドウカ最後マデ議席ニ御著キ下サイマスヤウ、...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○松浦國務大臣 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○平井出政府委員 諸苗代ノ湖面低下ハ御...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○松浦國務大臣 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○山本委員長代理 本日ハ此ノ儘引續イテモウ一人ダケ續シタイト思ヒマス、ドウカ最後マデ議席ニ御著キ下サイマスヤウ、...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○松浦國務大臣 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○平井出政府委員 諸苗代ノ湖面低下ハ御...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...

○紫安委員 閣下ノ御質疑ガアリマシテ、其ノ時ノ商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、重大ナル此ノ火力發電ノ設備...



承知ノ通り大正九年以來ノ懸案デアリマシテ、一時昭和五年頃ニハ多少見込方付イ...

○増永委員 私ハハ何レ後デ一括シテ申

ソレカラ尙ホ前段ノ河川ノ利用開發ニ付キマシテ、各方面ノ連絡協調ガ大切デア...

ノ安イ値デ買ツテ居ル、是デハ中々今日ノ資料騰貴ノ場合ニ民間業者ガヤラスノハ...

ガ、大體ニ於テ先達テカラノ選信大臣ノ御考ハ、原因ハ大體ニ洪水ダ、ソレト同時ニ...

○増永委員 其ノ點ハ宜シウゴザイマス

○増永委員 其ノ點ハ宜シウゴザイマス

タガ、一應政府ノ辯明トシテハ、サウ云フコトハ都合ガ好イカ分ラヌガ、實際問題ト...

ハ之ニ對シテドウ云フ御考デアルカ ○勝國務大臣 洪水ノ關係ハ私モ餘リ詳シ...

マセヌカト云フコトヲ申上ゲタ、昨年ノ石炭ノ使用量ト本年ノ石炭ノ使用量トノ間ニ...



ラウト云フアテナノ御議論ハ豫メ封ジテ置キマス...

○勝國務大臣 洪水ハ水掛論デアルサウデア...

○増永委員 要スルニ大體ニ於キマシテ選...

アウトサイダー 方面ニ製約ニナレバ...

○勝國務大臣 今日電力飢饉ノ結果...

○増永委員 是ハ非常ニ重大ナ問題デア...

○吉田(茂)國務大臣 電力ノ供給不足ノ爲...

モ、御事ニアツタノデアリマス...

付テハ、先達テ企畫院總裁ガ其ノ數字ヲ御...

○増永委員 是ハ非常ニ重大ナ問題デア...

○吉田(茂)國務大臣 電力ノ供給不足ノ爲...

モ、御事ニアツタノデアリマス...

○増永委員 是ハ非常ニ重大ナ問題デア...

○増永委員 是ハ非常ニ重大ナ問題デア...



第一類第一號 豫算委員會議錄 第十回

決メ方、即チ三重三重ノ價格ノ決メ方ガ根本的ニ間違ヒテアル、ソレデ此ノ石炭ダケヲ上ゲタガ爲ニ、又外ニ惡性インフレーション云々心配ガアルヤウデスガ、私ノ考デハ其ノ心配ハ要ラヌト思フ、私ノ見ル所デハ此ノ石炭ヲ使フモノハ、御承知ノ通り船舶デアルトカ、或ハ製鐵業デアルトカ、鑛業、化學工業、紡織、鐵道ト云フヤウナモノデ、石炭ヲ使フモノハ生産ニ影響ヲ及ボスヤウナモノハ大體ナイト思フ、假ニ製鐵業デアレバ此ノ「スチール」一題ニ對シテ、石炭三題要ルト致シマスレバ、此ノ三題上ツタ爲ニ九割、只今ノ公定相場百六十圓ニ對シテハ約五分位ニナル、大シタ影響ガナイ、直接影響ノアルハ食料品工場ヤ、煉炭屋、風呂屋ノヤウナモノデアラガ、是ハ事實上只今御承知ノ通り、皆三十四、四十四ノ間相場ヲ買ツテ居ル連中デアル、ソレデ此ノ石炭ノ増産ノ總テハ、紡績業或ハ製鐵業、或ハ「セメント」業ト云フヤウナ、有ユル生産ニ關係スル方ニ行ク、私ハ先達ツテカラ物動計畫ヲ承リマシタガ、アノ數字ハ企畫院總裁モ果シテアノ數字ノ通り行クカ、行カスカト云フコトハ疾ニ御承知ト思ヒマスガ、是モ露骨ニ申上ゲルナラバ、是ダケノ豫算ヲ提案スルニ付テ、ソレニ合ハシテ數字ヲ並べト云フハレテモ仕方ガナイ、併シナガラ今日ノ場合ドウシテモ豫算ヲ遂行シナケレバナラヌト云フコトハ、私共モ其ノ覺悟デアル、ソレニハドウシテモ不足スル物資ハ外國カラ買ハネバナラヌ、ソレニハ金方要ルガ、此ノ金方豫定通り出マセヌ、朝鮮ニ於テ段々ヤツテ居ルガサウ云フコトニナラヌ、ヤハリ只今ノ歐洲ノ情勢ニ依ツテ、濠洲、南洋方面、阿弗

利加ニ於テ英佛獨ノ輸出品ノ不足ヲシテ居ル際ニ、今日マデ日本ガ出シテ居ツタ紡織、綿布類ヲ、戰前同様ニ年十四五億圓ノ價額ヲ輸出スルト云フコトハ、誰デモ考ヘルコトデアリマス、是ハモウ御經驗ノアル藤原商相ノ御聲明ニナツタヤウニ、私ハソコニ行カナケレバナラヌト思フ、ソコデ此ノ支那事變モサウ窮屈ニ考ヘズニ、外貨ヲ獲得シテ、日本ノ足ラヌ物資ハソレデ買フ、サウシテ此ノ日本ノ力ガイツマデモ、十年、二十年經ツテモビクトモセスト云フ方策ヲ執ルノガ一番大切ナコトト思ヒマス、恐ラク支那事變ハサウ直グ片ツクモノデハナイ、十年、二十年耐ヘルダケノ外國貿易ヲ振興スル必要ガアルト云フコトハ、誰ガ考ヘテモ當然デアル、ソレニハ此ノ石炭問題ガ重大デアル、此ノ重大ナ石炭問題ヲ解決スル爲ニハ、石炭ヲ増サネバナラヌ、ソレニハ値上ガ一番適當デアル而モ値上ゲシテモ他ノ物價ニ影響ハナイト存ジマス、是ハ上ゲルノチヤナイ、元ノ値段ニ還スダケデアル、三重三重ノ公定價格ヲ一元化ニスルト云フダケデアル、先達テ一題六十五圓モ出サレテ、サウシテアノ英斷ヲ以テ買ハレタ所ノ商工大臣デアラカ、各閣僚ト御協議ニナツテ、石炭ノ適正價格ヲ二圓上ゲテ行クト云フコトヲ考ヘテ實ヒタルガ、是ハ日本ノ石炭チヤナイ、日本ノ石炭ナラソソコトハナイ、外國カラ六十五圓買入レタ、是ハ商工大臣ニ、過ギタコトヲ彼此申シマセヌガ、アノ時ニ商工大臣ガ非常ナ覺悟デアツタコトハ、御想像申上ゲタノデス、併シナガラ六十五圓モ出セバ、内地デ何百圓デモ石炭ガ集ツテ來ル、

加奈陀カラモ何處カラモ買ヒニナラヌデモ済ム、所ガ非常ニ深刻ニ考ヘラレテ、低價政策ト云フコトニコダハラレ過ギテ、サウシテ内地ノ買ハレナカツタ、六十五圓ヲ出サレタト云フノハ、私ハ商工大臣ガ外國ニ向ツテ開相場ヲヤラレタト云フコトニナルト思フ、悲壯ナ覺悟ハ私ハ萬々御察シ申上ゲマスガ、私ハアノ場合、就任初々餘リ慌テラレタノチヤナカラウカト、實ハ御想像申上ゲルガ、今日冷靜ニ御考ニナツタナラバ六十五圓出サレナクテモ、直グ集ツテ來ル、而カモ其ノ石炭ハ一月、二月ニ來ルナラモ三月、四月ノ先ノコトデアル、是ハ過ギタコトデスガ、英斷ニ對シテハ私ハ敬意ヲ表シマスガ、併シナガラ此ノ貴重ナ外貨ヲ六百五十萬圓モ向フニ出シタト云フコトニ對シテハ、商工大臣モ一ツ御考置キテ居ルヒタイ、其ノ英斷ノアル勇氣アル商工大臣ナラバ、私ガ是ダケ諄々申上ゲヌデモ、開帳諸公ト共ニ一ツ獎勵金ヲ出シタ方ガ宜イカ、サウシテ「イソフレ」景氣ヲ起シテ、増産目的ヲ達シヨウトスルナラバ、成程石炭ト云フモノハ一年決メタモノデス、而モ……

○増永委員 五分位總イテ置キタイ  
○山本委員長代理 モウ許シテ居リマセヌ、ソレハ許シマセヌ  
○増永委員 石炭ハ非常ニ昨年カラ……  
○山本委員長代理 増永君、アナタニ取ツテハ大事デアツテモ、議場ハ規律ヲ保タナケレバナラヌ  
○増永委員 一寸暫ク御願シタイ  
○山本委員長代理 イヤアナタノ發言ハ許シマセヌ——先刻紫安君ノ企畫院總裁ニ對スル質問ノ際ニ、企畫院ノ政府委員ガ居ラレナクテ、紫安君ノ質問ヲ差止メタノデスガ、今企畫院總裁ガ來ラレテ居リマスカラ、紫安君ニ企畫院ニ關スル問題ニ限ツテ、極ク短時間ノ發言ヲ許シマス  
○増永委員 結論ダケ……  
○山本委員長代理 結論ダケ聽キマセウ  
○増永委員 此ノ間石炭ノコトヲ政府ガ非常ニ御心配ニナツテ居ル、此ノ間ノ新聞デハ政府自ら、此ノ石炭ニ付テ北海道炭業株式會社ヲ作ラレタト云フ御話デアリマスガ、アレハ出來マシタカドウカ御察シタイ、ソレト同時ニ樺太石炭業株式會社ト云フモノヲ作ラレタヤウデスガ、其ノ内容ヲ一寸政府當局カラ承リタイ  
○降國務大臣 政府委員カラ御答辯申上ゲマス  
○平井出政府委員 樺太ニハ儘カ樺太石炭業株式會社ト云フモノガ出來マシタ、北海道ノ分ハ近く出來ルコトニナツテ居リマス  
○増永委員 今ノ儲區ノ坪數トカ、埋藏量、

探掘量、名義人、ソレハ重大問題デスカラ……  
○山本委員長代理 イヤ、重大ナ問題デアツテモ、ヤハリ時間ハ皆守ツテ居リマスカラ、分科會テ願ヒマス  
○増永委員 是ダケ一寸申上ゲテ置キマス、日本發送電方自給自足デアル上ニ於テ、アア云フモノヲ拵ヘル、當然サウ云フヤウナ方法モアリマセウ、併シナガラ此ノ苦シイ日本發送電方、石炭ノ自給策ノ爲ニ作ラレタ樺太炭業株式會社、或ハ北海道炭業株式會社ト云フモノノ儲區ノ買収ニ對シテハ、世間デ非常ナ疑惑ヲ持ツテ居リマス、一例ヲ申上ゲルト、樺太石炭業株式會社ノ儲區ハ、ソレヲ持ツテ居ル人ガ五十萬圓近クデ買ツタモノヲ、此ノ會社ハ百八十萬圓デ買収シテ居ル、之ニ對シテハ私ハ相當ニ遺憾省ナリ、大藏省ガ御考ニナラヌトイカヌト思フ、是非御察ヲ願ヒタイ

○山本委員長代理 紫安君ノ發言ヲ求メマス  
○紫安委員 私ハ極メテ簡單ニ企畫院總裁ニ御同致シマス、物動計畫ハ秘密ヲ開イテ御説明ニナリマシタガ、物動計畫ハ或種ノ軍需ヤ、或種ノ資材ニ關スル外ハ、何モ事々シク秘密ニスル必要ハ少シモナイト思フノデアリマス、殊ニ國民生活必需品ト平和的物資トハ、努メテ之ヲ世ノ中ニ知ラシムルコトガ、却テ物資ニ對スル不安ノ念ヲ緩和スルモノト思フノデアリマス、物資ヤ物價對策ハ、如何ニ軍部方之ヲ支持致サウト、又議會方之ヲ諒解シヤウト、唯ソレダケデハ大シタ效果ハナイト思フノデアリマス、何故ニ政府ニ於テハ或種ノ軍需品、或種ノ資材ヲ除外ハ、之ヲ世ノ中ニ公ニサラヌノデアルカ、此ノ

點ヲ御同致シマス  
○竹内(可)政府委員 物資動員計畫ノ中ニハ、成程直接軍需ニ關係ノナイ物モ入ツテ居リマス、併シナガラ總テ之ニ入ツテ居ル物資ハ有機的ナ關係ガゴザイマス、全體ノ物資動員計畫ノ規模ト申シマスカ、サウ云フモノヲ親ヒ知ルヤウナ材料ニナル處ガアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、之ヲ不用意ニ發表致シマスコトハ、折角ゴザイマスケレドモ、今御同意致シ兼ネルノデアリマス  
○紫安委員 私人質問ハ是デ済ミマシタ  
○櫻内國務大臣 先刻増永君カラ私ニ御質問ガアツタヤウデアリマスガ、私ノ所管デアリマセヌカラドウゾ……

○山本委員長代理 ソレデハ明日ハ午前十時カラ開キマス、本日ハ是ニテ散會致シマ  
午後七時十五分散會  
(參照)  
中村委員要求ノ參考資料  
一、間ブロックニ對シ輸出ヲ制限セル商品ノ名稱及制限ノ程度如何  
二、滿洲國ト日本ニ於ケル公定價格比較表  
註 滿洲ニテ價格ヲ公定セル商品ト同一商品ニ對スル日本ノ公定價格ヲ表記シ兩國ノ公定價格ヲ比較スルコト

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十回

昭和十五年二月十四日

業議院豫算委員會議錄第二回  
中正誤  
四二二 本議會 本會議

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十回  
昭和十五年二月十四日



昭和十五年二月十五日印刷

昭和十五年二月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局



第一類 第一號

第七十五回帝國議會

豫算委員會會議錄(速記)第十一回

(三九)

昭和十五年二月十五日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事石坂 豐一君

理事工藤 鐵男君 理事篠原 陸朗君

理事中村三之丞君 理事田村 秀吉君

理事山本 芳治君 理事岸田 正記君

理事肥田 琢司君 理事水谷長三郎君

理事由谷 義治君

小川郷太郎君 木暮武太夫君

三宅 正一君 中島彌團次君

堤 康次郎君 櫻井兵五郎君

石坂 養平君 塚本 重藏君

守屋 榮夫君 前田房之助君

平川松太郎君 吉植 庄亮君

安藤 正純君 富吉 榮二君

馬場 元治君 原 夫次郎君

紫安新九郎君 小畑虎之助君

星 一君 增永 元也君

田原 春次君 坂本宗太郎君

北 吟吉君 松本 忠雄君

窪井 義道君 大本貞太郎君

牧野 貞三君 矢野庄太郎君

松村 謙三君 山本 厚三君

加藤 知正君 川島正次郎君

板野 友造君 川崎 克君

村松 久義君 池田 秀雄君

三善 信房君 小山 亮君

最上 政三君 沖島 鏡三君

山崎達之輔君 名川 侃市君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 米内 光政君

外務大臣 有田 八郎君

大藏大臣 櫻内 幸雄君

陸軍大臣 畑 俊六君

海軍大臣 吉田 善吾君

農林大臣 島田 俊雄君

文部大臣 松浦彌次郎君

拓務大臣 小磯 國昭君

司法大臣 木村 尚達君

內務大臣 伯崎兒玉 秀雄君

厚生大臣 吉田 茂君

逓信大臣 勝 正憲君

商工大臣 藤原銀次郎君

鐵道大臣 松野 鶴平君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 石渡壯太郎君

內閣恩給局長 平木 弘君

內閣東北局長 宇都宮孝平君

法制局長官 廣瀬 久忠君

法制局參事官 柳貝 詮三君

法制局參事官 入江 俊郎君

企畫院總裁 竹内 可吉君

企畫院部長 原口 武夫君

對滿事務局長 竹内 德治君

興亞院總務長官 柳川 平助君

興亞院部長 鈴木 貞一君

興亞院部長 日高信六郎君

關東局司政部長 今吉 敏雄君

外務政務次官 小山 谷藏君

外務參與官 小高長三郎君

外務省東亞局長 堀内 干城君

外務省亞米利加局長 吉澤清次郎君

外務省通商局長 山本 熊一君

外務省條約局長 三谷 隆信君

外務省情報部長 須磨彌吉郎君

外務省調查部長 松宮 順君

內務政務次官 鶴見 祐輔君

內務參與官 青山 憲三君

內務省地方局長 挾間 茂君

內務省警保局長 山崎 巖君

內務省土木局長 成田 一郎君

內務省計畫局長 松村 光磨君

內務書記官 藤尾 弘吉君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入田野武雄君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

大藏書記官 植木庚子郎君

大藏書記官 氏家 武君

大藏書記官 前田 克己君

大藏書記官 湯地謙爾郎君

大藏書記官 山田 義見君

大藏書記官 秋元 順朝君

預金部資金局長 廣瀬 豐作君

陸軍政務次官 三好 英之君

陸軍參與官 宮崎 一君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍少將 武藤 章君

陸軍主計大佐 森田 親三君

陸軍步兵大佐 河村 參郎君

海軍政務次官 松山常次郎君

海軍參與官 小山邦太郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 阿部 勝雄君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

海軍大佐 矢野 英雄君

海軍大佐 千田 金二君

司法政務次官 星島 二郎君

司法參與官 黒川 正得君

司法省刑務局長 黒川 涉君

司法書記官 石田 壽君

文部政務次官 子爵舟橋 清賢君

文部參與官 仲井開宗一君

文部省專門學務局長 關口 鯉吉君

文部省實業學務局長 岩松 五良君

文部省圖書局長 近藤 壽治君

文部省宗教局長 松尾 長造君

文部書記官 永井 浩君

教學局長官 菊池豐三郎君

農林政務次官 岡田喜久治君

農林參與官 松本 弘君

農林省農務局長 土屋 正三君

農林省山林局長 田中 長茂君

農林省水產局長 栗屋 仙吉君

農林省畜産局長 岸 良一君

第一類第一號 豫算委員會會議錄 第十一回 昭和十五年二月十五日



Table listing various government officials and their positions, including Agricultural Bureau, Ministry of Commerce, and other departments.

本日の會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十五年度歳入歳出總豫算案昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

○池田委員 只今商工大臣ノ御話ノ通り、私共モ我が日本デハ何カ仕事ヲスル時ニハ直チニ機構ヲ作ラナケレバナラス、貿易省ヲ作ラナケレバナラス、コトニ付テ、私ハ全幅ノ賛意ヲ表スルモノデハアリマセヌ、機構ヨリモ實際ガ必要デアルト云フコトハ、私モ商工大臣ト同ジ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、貿易省ヲ作ツカト云ツテ今明日直ジ貿易省ガ振興出來ルモノトモ考ヘテ居リマセヌ、併シ貿易振興ノ爲メ貿易省設置ト云フ議ガ起ツタル第一ノ理由ト云フモノハ、今日ノ貿易機關ガ支離滅裂デアツテ、民間ノ人達ハ方々ニオオ百度ヲ踏ミ、大藏省ニモオオ百度ヲ踏ミ、商工省ニモオオ百度ヲ踏ミ、尙ホ進シテハ陸海軍省ニモオオ百度ヲ踏ミ、尙ホ進シテ中々機マラス、商機ヲ逸スルト云フヤウナル點カラ、ドウシテモ機構ヲ一ツニシテ強力ナルモノニシタナラバ、民間ノ人達ハ今ノヤウニオオ百度ヲ踏ミ、無駄足ヲ踏ミ、商機ヲ逸スルト云フコトガ少クナルデハナイカ、此ノ點ガ貿易省設置ヲシナケレバナラスト云フ一ツノ現實ノ有力ナル理由デアラツト思フノデアリマス、今一ツハ有力ナル省ガ出來、有力ナル大臣ガ出來、サウシテ國策ヲ開議ニ於テ主張シテ行ケバ始メテ貿易ノ振興ガ期シ得ルデハナイカト云フヤウナル理由、此ノ二ツノ理由ガ私ハ貿易省設置ノ主ナル理由ダト思ヒマス、ソレデ私共ハ只今御話ノ通り、今日各省間ニ摩擦ヲ生ズルヨリモ貿易省ヲ設置シテ現實ニ貿易ヲ振興セシムルガ國家ノ爲メデアルト云フ點ハ、是ハ承認致シマス、唯殘リ問題ハ今日ノ如ク各省ニオオ百度ヲ踏ミ、各省ノ間ノ

時ノ我國ノ情勢ニ於キマシテ貿易ヲ振興スルト云フコトガ、國家ノ最大重要ノ政策デアルト云フコトノ御趣旨ニ付テハ、只今御述ベニナリマシタ通りニ全く御同感ト存ジマス、併シナガラ其ノ貿易振興ガ重要ノ政策デアラカト云ツテ、必ズシモ此處デ貿易省ヲ設置スルト云フコトガ適當デアラカドウカト考ヘマスルト、貿易省設置ト云フコトガ理想ト致シマシテハ御尤ナコトデアリ、將來ニ於テハ貿易省ヲ設置スルト云フコトガ必要デアルト存ジマスケレドモ、現時ノ我國ノ産業上、又ハ外國貿易ノ情勢カラ考ヘテ見マシテ、今直チニ之ヲ實行スルト云フコトハ、却テ貿易ノ振興ヲ阻害スルト云フヤウナコトニナツテ、逆作用ヲ來スト云フヤウナ虞モアリマスカラ、政府ト致シマシテハ差當リ最モ急ヲ要スルコトヲ處理シテ、サウシテ漸次永久的ニ效果ガアル貿易省設置ノヤウナ問題ニ移ツテ参リタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、其ノ趣旨先ヅ以テ今一番必要ナモノハ何デアラカト云ヘバ、石炭、電力、資材ヲ供給シテヤルコト云フコトガ一番必要ダ、之ヲ供給シテヤルコト何千万圓デモ或ハ何億圓デモ今日カラデモ貿易ノ振興ガ出來ル、併シ目下焦眉ノ問題ガアルニモ拘ラズ、ソレヲ措置イデ、各省ノ間ニ色々ナ議論ヲ開ハシタリ、色々ナ摩擦ヲ衝突ヲ起シヤウナ問題ヲ此處デ議論シテ見タ所ガ、ソレデハ國家ノ利益ニナラスチヤナイカ、取敢ズ石炭、電力ヲ供給シテ、其ノ次ニハ資材ヲ供給シテヤツテ、先ヅ以テ今日カラ直チニ貿易ヲ振興シテ行クト云フコトガ一番必要デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○池田委員 只今商工大臣ノ御話ノ通り、私共モ我が日本デハ何カ仕事ヲスル時ニハ直チニ機構ヲ作ラナケレバナラス、貿易省ヲ作ラナケレバナラス、コトニ付テ、私ハ全幅ノ賛意ヲ表スルモノデハアリマセヌ、機構ヨリモ實際ガ必要デアルト云フコトハ、私モ商工大臣ト同ジ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、貿易省ヲ作ツカト云ツテ今明日直ジ貿易省ガ振興出來ルモノトモ考ヘテ居リマセヌ、併シ貿易振興ノ爲メ貿易省設置ト云フ議ガ起ツタル第一ノ理由ト云フモノハ、今日ノ貿易機關ガ支離滅裂デアツテ、民間ノ人達ハ方々ニオオ百度ヲ踏ミ、大藏省ニモオオ百度ヲ踏ミ、商工省ニモオオ百度ヲ踏ミ、尙ホ進シテハ陸海軍省ニモオオ百度ヲ踏ミ、尙ホ進シテ中々機マラス、商機ヲ逸スルト云フヤウナル點カラ、ドウシテモ機構ヲ一ツニシテ強力ナルモノニシタナラバ、民間ノ人達ハ今ノヤウニオオ百度ヲ踏ミ、無駄足ヲ踏ミ、商機ヲ逸スルト云フコトガ少クナルデハナイカ、此ノ點ガ貿易省設置ヲシナケレバナラスト云フ一ツノ現實ノ有力ナル理由デアラツト思フノデアリマス、今一ツハ有力ナル省ガ出來、有力ナル大臣ガ出來、サウシテ國策ヲ開議ニ於テ主張シテ行ケバ始メテ貿易ノ振興ガ期シ得ルデハナイカト云フヤウナル理由、此ノ二ツノ理由ガ私ハ貿易省設置ノ主ナル理由ダト思ヒマス、ソレデ私共ハ只今御話ノ通り、今日各省間ニ摩擦ヲ生ズルヨリモ貿易省ヲ設置シテ現實ニ貿易ヲ振興セシムルガ國家ノ爲メデアルト云フ點ハ、是ハ承認致シマス、唯殘リ問題ハ今日ノ如ク各省ニオオ百度ヲ踏ミ、各省ノ間ノ

方何時マデモ機マラス、商機ヲ逸シツツアルト云フ點ニ付キマシテハ、何等カ解決ノ方法ヲ大臣トシテハ御考ニナツテ居ルデハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ私ハ腹藏ナク御話ヲ願ヒタイノデアリマス
○藤原國務大臣 其ノ點ハ如何ニモ御尤ナコトト存ジマス、從來ノ機構ノ儘デハ頗ルテ居リマス、ソレニ付キマシテ私商工當局トシテ考ヘテ居リマスコトハ、總テ經濟上ノコトトハ特ニサウデアリマスガ、何事モ人ニ依ル問題ガ多イノデアリマシテ、例ヘバ各省ノ間デ割據スル、ソレガ爲メ貿易ノ業者ハ各省ニオオ百度ヲ踏ミ、ソレデモ問題ガ解決シナイト云フヤウナコトハ、ヤハリ各省ノ人ノ問題ガ多カラウト存ジテ居リマス、ソコデ例ヘバ外務省ト商工省トノ關係ニ於キマシテモ、或ハ農林省ト商工省トノ關係ニ於キマシテモ、サウ云フコトトヤ常ニ耳ニシテ居リマスカラ、將來ニ於テハ貿易省ノヤウナモノヲ設置スルト云フヤウナコトニ目標ヲ置キマシテ、其ノ目標ニ向ツテ参リマスコトハ、是ハ當然ノ歸結ト存ジテ居リマスケレドモ、現在直チニソレハ實行モ不可能デアリス、又直チニ實行スルト云フコトハ宜シクナイト存ジマスカラ、現在ノ處置ト致シマシテハ各省大臣ガ先ヅ以テ十分ニ意思ヲ疎通ヲ圖リマシテ、其ノ次ニ事務當局者ノ意思ヲ疎通ヲ圖ツテ、サウシテ事務ヲ滑カニシテ各省割據ト云フヤウナ弊ヲ少クシテ、各省ノ間デ融和協力シテ行ク、國民ニ向ツテ協力ヲ求メテ居ル内閣デアリマスカラ、自分ノ各省間ノ協力一致ノ出來ナイ管ハナイト存ジマスカラ、是ハ各省大臣ガ其ノ積リニナツテ、其ノ部下ヲ

指導シテ、今日ノヤウナ弊ノ起ラナイヤウニ出來ルダケノ努力ヲ拂ツテ参リタイ、又是ハ必ズシモ不可能ナイト存ジテ居リマス、幸ニ各省大臣ノ間ハ非常ニ圓滿ニ連絡ガ取レテ居リマスカラ、今後ニ於テモ事務當局者モ其ノ趣旨デ以テ圓滿調停シテ、國民ノ迷惑ヲ成タケ少クスルヤウニ、人間ノ作用ヲモウ少シ滑カニシテ、巧妙ニ之ヲ運用シテ参リタイト存ジテ居リマス
○有田國務大臣 池田君ノ御質問ハ伺ヒマセヌデシタガ、大體商工大臣ノ御答辯ノ通りデアリマシテ、御質問ノ趣旨ヲ想像シテ、私カラモ一言申添ヘテ置キタイト思フノデアリマス、只今商工大臣カラ申上ゲマシタヤウニ、貿易ノ振興ト云フコトハ政府ガ最モ重キヲ置イテ居ル所デアリマシテ、特ニ今日ノ日本トシテ貿易ヲ振興スルト云フコトハ何ヲ措イテモ必要ナコトデアルト思フノデアリマス、出來ルダケノ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、貿易振興ノ爲メ貿易省ガ必要デアラカナイカト云フ點ニ付キマシテハ、要スルニ貿易省設置ガ目的デナクシテ、貿易振興ガ目的デアルノデアリマスカラ、貿易振興ノ爲メ貿易省ガ必要デアラカト云フコトニナリマシレバ、是ハ當然建テルコトニシナケレバナラスノデアリマスガ、併シ先ヅ第一ニ貿易省ヲ設置シマシテ、今日ノ場合貿易ガ著シク進行シ得ルヤ否ヤト云フコトヲ研究シテ見マスレバ、只今商工大臣カラモ申サレタヤウニ、今日色々ナルベキコトガアル點ニ、マダ議論ノスツカリ難クナイモノヲ無理ヤリニヤツテ相剋摩ヲ刺戟スルト云フコトガ果シテ適當ナリヤ否ヤト云フ點ニ付テモ非常ニ疑ガアルノデアリマス、又今商工大臣モ申サレタヤウ

ニ、問題ハ多クハ人ノ問題デアリマスカラ、ソコデ貿易省ト云フモノヲ假ニ立テテ見テモ、若シ官吏ノ考ヘ方ト云フモノガ繼續ナカツタナラバ、現在商工、農林、外務ト云フヤウニ、是等對外貿易ノ問題ニ付テモ工作ヲサレテ居ル、此ノ間ニ生ズルヤウナコトガ貿易省内部ニ於テモ行ハレルト云フコトニナリマシテ、果シテ目的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フ點ニ付テモ疑問ガアル、要ハ是等ノ仕事ニ携ツテ居リマスル人ノ氣持ト云フコトガ非常ニ重キヲナシテ來ル點デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ人ノ氣持ダケト云フ譯ニハ勿論行カヌノデアリマスカラ、現在ノ機構ニ於テ色々ナ不便モアルコトデアリマスカラ、是等ノ不便ノ出來ルダケ少クナルヤウニ、各省間ノ連絡或ハ外部ニ對シテモ輸出貿易關係ノ方々トノ間ニ於テ出來ルダケ不便ノ少クナルヤウニ、連絡ヲ密接ニシテ行クト云フ風ナコトハ、十分考ヘナケレバナラスコトデアリマシテ、既ニ今日マデモ或ル程度改善ハ致シテ來テ居ルト思フノデアリマスガ、併シ一層其ノ點ニ付テハ改善ヲ加ヘテ行カナケレバナラスナ狀況デアリマシテ、吾々ハ出來ルダケ貿易振興ト云フコトニ重キヲ置イテ居ル次第デアリマス
尙ホ一言附加シテ置キタイト思ヒマスコトハ、今日ノ貿易ハ單ニ國內ノ體制ヲドウシタカラト云フバカリデナク、御承知ノヤウニ割當制度デアルトカ、或ハ「パイタ」制度ト云フヤウナモノデ、貿易ノ振興ハ主トシテサウ云フ風ナ、何ト申シマスカ、對手國トノ間ノ交渉ニ依ル場合ガ非常ニ多イノデアリマス、其ノ點ハ現出ノ對外貿易ノ



一ツノ特異性ト認めテ宜シカラウト思フノ  
デアリマス、其ノ點ガ貿易省設置等ニ依ツ  
テ果シテドレダケ解決サレルカト云フコト  
ハ、私共相當疑問ヲ持ツテ居リマスノデ、  
此ノ點ニ付テ十分研究ヲ致シタイト考ヘテ  
居ル次第デアリマス

○池田委員 只今商工外務兩大臣ノ御話ヲ  
承リマシタガ、大體私ノ考ヘテ居ルコトト  
一致致シマス、私共ハ先程モ商工大臣ニ申  
上ゲタノデゴザイマスガ、貿易ノ振興ト云  
フコトニ付テ、強チ機構イデリマスル必要  
ハナイ、ソレヨリモ實際效果ノアル方法ヲ  
執ツテ貰ヒタイ、併シ今日ノ現狀ガ各省共  
旨ク行カナイ、ソレデ對外的ニモ商權ヲ逸  
シテ居レバ、又内輪デモ中々旨ク行カナイ  
デ困ツテ居ル、ソレデ之ヲ何トカ解決シテ  
貰ヒタイ、ソレデドウ云フ考ヲ持ツテ居ラ  
レルカト云フコトヲ御尋シタ次第デアリマ  
ス、近衛内閣時分ニ池田大藏大臣ガ商工大  
臣ヲ兼テ、所謂輸出入ノ許可證ニ爲替ノ  
許可證ニ付テ摩擦ガ多イカラ、是ハ一ツ  
釜ノ飯ヲ食ハシタラ宜カラウト云フノデ、  
林爲管理局ノ當該部ヲ商工省ニ移シテヤラ  
レマシタガ、流石ニ私ハ苦勞人ノナルコト  
ダト思ヒマシタ、併シ其ノ後ノ有様ヲ聽イ  
テ見マスレバ、ナハリドウモ同ジ釜ノ飯ヲ  
食ヒナガラ、シツクリ行ツテ居ナイヤウニ私  
ハ聞イテ居リマス、是ニ於テカ私ハドウシ  
テモ 能ク二三日来論議サレテ居リマス  
ルガ、今ノ官吏ニ、所謂具體的ニ申シマス  
レバ、大藏省現ト商工省現ヲ持ツタ者ガ一  
緒ニナルカラ、貿易事務ガ旨ク行ツテ居  
ナイト云フヤウナコトニナツテ居ルと思フ  
デアリマス、ソレデ今日ノ急務ハ大臣相互  
ハ話合ツテ見レバ直々話ハ分ルノデアリマ

ス、敢テ今ノ内閣バカリデナク、阿部内閣  
ニシテモ其ノ前ノ内閣ニシテモ、閣議ノ議  
論等ニ於テハスル(ト)解決ヲスルと思フ、  
併シナガラ各省ガ各々局部的ニ蝸牛角上ノ  
争ヲシテ居ル、露ケ關ノ人ハ露ケ關現デ采  
女町ノ者ハ采女現デ角突合ヒヲシテ居ル、  
是ガ今日ノ貿易ノ振興施設ノミナラス、總  
テノ國政ニ影響ヲ爲シテ居ル、例ヘバ食糧  
問題ニ付テモ、或ハ木炭ノ問題ニ付テモ、  
農林省ト商工省ト、大臣同志ハ私ハサウ疎  
隔ガアルトハ思ハナイ、併シ各省ノ人達ガ、  
所謂農林省現ト商工省現ト角突合ヒヲシ  
テ居ル、是ガ國政ノ高般ニ互ル障礙ヲ來シテ  
付キマシテモ、兩大臣ハ能ク分ツテ居ラレ  
ルと思ヒマスルガ、其ノ他ノ諸君ガナリ霞ケ  
關現デ、或ハ采女町ニ因ハレルコトナク、  
所謂八柱ノ一宇ノ大和魂ニ還ツテ貰ヒタイ、  
サウスレバ國家ノ爲ニ擔當シテ居ル者ハ、  
國家ノ爲ニ是ハ讓ラウ、是ハ助ケテヤラウ  
ト云フコトガ、何ノ苦モナク行ハルベキモ  
ノガ、少シモソレガ能ク行カナイ、是ハ斯  
ク云フコトヲ申上ゲテハ、甚ダ御氣ヲ毒ニ存  
ジマスガ、去年デアツタト思ヒマスガ、泰  
國カラ經濟使節ヲ招バウト云フコトニナツ  
テ、サウシテ或ル民間團體ガ申立ツテヤ  
ツタ所ガ、商工省ノ方ニ早ク渡リテ付ケ  
テ、外務省ニ渡リテ付ケテ居ラナカッタト  
云フヤウナ譯デ、泰國ノ使節ガ既ニ船ニ乘  
ツテ出發セントスル時ニ、バンコックノ日  
本領事館カラ行ツテ、パスポートヲ取上ゲタ  
ト云フヤウナコトヲ、私ハ確實ニ事實トシ  
テ總イテ居ル、斯ウ云フコトガ貿易ノ振興  
ニドレダケ邪魔ヲシテ居ルカ分ラナイと思  
フ、故ニ私ハ此ノ點ニ付テハ、人ガ肝腎デ

共ハ同情ヲ致シテ居リマス、併シ其ノ結果  
ガドウ云フコトニナツタカト云ヘバ、外務大  
臣ト事務當局ノ妥協點ハ、商務官ノ任命權  
ヲ外務大臣ニ持ツテ行クコトニ付テ  
妥協ガ出來タト云フヤウナコトヲ私ハ新聞  
デ拜見シマシタ、外務省ノ當局ニ行ツテ確  
テハ居リマセスガ、併シ商務官ト云フモノハ、  
此ノ非常時局ノ際ニ一省ノ運命ヲ賭スト云  
フヤウナ大事件ヲ勃發スル程ノ大問題ナリ  
ヤ否ヤ、私ハ之ヲ外務大臣ニ御伺シヨウト思  
ツテ居ル譯デハアリマセス、霞ケ關當局ノ人  
達ガモウ少シ眼ヲ大局ニ注イデ、刻下非常  
ノ際デアル、外交ノ場ハ廣大無邊デアル、吾々  
ハ國運ヲ伸張スル上ニ於テ全力ヲ盡ス、貿  
易ノ如キ現場ノ仕事ハ、雜魚ハ吾々ハ漁  
ヌデモ宜イト云フ覺悟ニ外務省ノ所謂更僚  
諸君ガナツテ誠キタイ、サウナリマスレ  
バ、私ハ霞ケ關ノ權威ハ益々擴大シテ行ク  
モノト思フ、一商務官ノ何名カヲ自分ノ畑  
ニ置カウト云フヤウナ考ハ捨テテ、サウシ  
テ貿易ノコトナラバ、商工省ニ貿易事務官  
ヲ渡シテヤル、吾々ハ強ク力ヲ以テ之ヲ  
援ケテ行ク、些々タル許可事項等ニ付テ  
ハ、貿易局ノ出張所タル貿易事務官ニヤラ  
セル、サウシテ國家ノ爲ニ協力シテ貿易ノ  
振興ヲ圖ラウデハナイカト云フコトニナツ  
テ、初メテ私ハ今日ノ戰時貿易ノ振興ヲ圖ル  
コトガ出來ルト思フ、私ハ其ノ點ニ於テ商  
工大臣ヤ外務大臣ガ首ハレタヤウニ、  
問題ハ心構ヘデアリマス、私ハ區々タル  
機構弄リニ付テ質問シテ居ルノデアリマ  
セス、サウ云フヤウナ吐キナツテ、貿易事  
務官位ハ商工省ニ與レテヤル、サウシテ貿  
易振興ノ爲ニ吾々ハ援ケテヤルノダト云フ  
ヤウニ、外務省全體ノ空氣ガナルヤウニ御

アルト云フヤウナ御話御尤デアリマス、  
霞ケ關現ト來女町現ヲ拾テテ、八柱ノ一宇ノ  
大和魂デ此ノ事ヲ處理シテ行カレルナラ  
バ、是ハ機構弄リイデル必要ハナイと思フ、  
此ノ儘デ宜シイ、併シソレガイカナイカラ  
機構ノ上ニ於テモ何トカソレヲヤラレル  
ト云フナラバ、尙ホ進ンデ之ニ工作ヲ講ジ  
テ、兩絡ミデ此ノ問題ヲ貫徹シテ戴キタイ  
ト云フコト申上ゲル、其ノ點デアリマス  
ソレデ尙ホ私ハ此ノ點カラ一歩ヲ進メテ  
商務官問題ヲ少シ御尋シテ見タイと思フ、  
商務官ト云フハ通商商務官ト申シマスルガ、  
官制ヲ調べテ見マスレバ色々ナモノガアリ  
マス、大使館商務書記官トカ商務參事官或  
ハ貿易事務官ト云フヤウナモノニナツテ居  
リマスルガ、此ノ問題ガ多年農商務省時代  
カラ外務省トノ懸案ニナツテ居ルト思ヒマ  
ス、事ノ起リハ明治四十二年ニ貿易通商生  
制度ノ喧嘩デアツタト思ヒマス、小村外務  
大臣ト時ノ大浦農商務大臣、此ノ二人ノ間  
ニ海外通商生カ何カノ所管ニ付テ問題ガア  
ツタヤウニ思フ、ソレハ外務省ト農商務省  
トノ間ニ相變ラズ喧嘩デアアル、ソレデ小村  
外務大臣ト大浦農商務大臣トノ間ニ話合  
付ケテ、覺書ヲ交換シテ、當分ノ間外務大  
臣ガ此ノ任命ヲスルト云フコトニナツタ  
ガ、此ノ問題ノ最初ノ起リノヤウニ承ツテ  
居リマス、其ノ後ハ色々商工省ト云フモノ  
ガ出來マシテ、或ハ吉野商工次官ト堀内外  
務次官トノ間ニ覺書ヲ交換シ、サウシテ是  
ガ兩省共管ト云フコトニナリ、今日ハ昭和  
十二年ノ勅令第三百二十六號カト思ヒマス  
ルガ、其ノ間ニ勅令ガ出テ居ツテ、サウシ  
テ貿易事務官等ニ關シテ商工大臣ガ指揮命  
令ヲ發スル場合ニハ、外務大臣ヲ通ジテ爲

指導願ヒタイ、尙ホ此ノ問題ガ一日モ早ク  
解決スルヤウニ御願致シタイト云フコトヲ  
私ハ申上ゲル次第デアリマス  
○有田國務大臣 池田君ノ御説ノ中ニ、各  
省各局課ガ餘リニ自分ノ權限ヲ固執スルガ  
爲ニ今日ノヤウナ狀況ガ生ジテ居ルノデ、  
斯ウ云フ風ナコトハ止メナケレバナラヌト  
云フヤウナ御趣旨ガアリマシタ、是ハモウ  
私共其ノ通りニ考ヘテ居ルノデアリマス、  
唯各省並ニ各局課ニハソレハ權限ガアリ  
マスノデ、其ノ權限ノ範圍ニ於テハ出來  
ルダケノ努力ヲシヨウト云フコトガ、官吏  
ノ一ツノ精神デアリマシテ、ソレガ自分ノ  
權限ノコトデモ人ガヤルナラ任シテ置カ  
ウトカ云フヤウナコトニナリマスレバ、所  
謂消極的權限爭ヒノヤウナコトガ出來  
レ、各省各局ニ於テ取扱ハナイ事務ガ殘リ  
テ、各省各局ニ於テ取扱ハナイ事務ガ殘リ  
キ點デアアルト思フデアリマス、併シソレ  
ガ餘リ極端ニナリマスレバ、甚ニ非常ノ弊害  
ガ生ジテ來ル譯デアリマス、今日ノヤウナ  
時期ニ於キマシテ、或ハ其ノ消極的權限爭  
ト云フコトニナラザラ又爲ニスル努力ガ、  
積極的權限爭トナツテ、相當ノ弊害ヲ生ジ  
テ居ルコトダト思フデアリマス、是等ノ點  
ニ付キマシテハ、吾々初メ全官吏トシテ十  
分ニ注意シテ、今日御話ノヤウナ、八柱  
一字デアリマスガ、立派日本精神ノ仕  
事ヲヤツテ行クコトガ必要デアルト考ヘ  
ルデアリマス、今日池田君ノ御忠告ハ、吾  
等トシテ十分實現シテ行キタイと思ツテ居  
ルノデアリマス、ソレカラ是ハ例トシテ御  
話ニナツタ、タイ國カラ來ル經濟觀察團ノ

スベシト云フヤウナ勅令ガ出來テ居ルヤウ  
ニ記憶ヲ致シテ居リマス、私ハ敢テ外務大  
臣ニ斯ウ云フコトヲ答メ立テマスル譯デハ  
アリマセス、併シ此ノ點ハ能ク御考ヲ願ヒ  
タイト思ツテ居リマス  
〔石坂委員長代理退席、岸田委員長  
代理著席〕  
一總商務官等ヲ商工大臣ガ指揮命令ヲス  
ル場合ニ、外務大臣ヲ通ジテ初メテ指揮命  
令ヲスルト云フヤウナコトデ、實際貿易ノ  
機能ヲ發揮シ得ルダラウカドウカト云フコ  
トニ多分ノ疑問ヲ持ツテ居リマス、吾々ガ例  
ヘバ一人ノ人ヲ使フト云フ場合ニ於テ、  
隣ノ主人ニ何か事ヲソレニ言ヒ付ケテ貰  
ハナケレバイカスト云フヤウナコトデ、  
果シテ其ノ人方使ヘルカドウカ、況ヤ高等  
官何等トカ云フヤウナ辭令ヲ頂戴シテ居  
テ、何千里ヲ離レテ居ル人ニ向ツテ、外務  
大臣ニ御願シテ商工大臣ガ指揮命令ヲ發  
シテ、果シテ機構ナル仕事ガ出來ルヤ否  
ヤ、私ハ非常ニ疑問ヲ存シテ居ル、元來  
私共カラ申シマスレバ外務省ハ在外公館、  
領事館其ノ他多數ノ手足ヲ持ツテ居ラレ  
マス、小村サンノ時分ナラバ、マダ農商務省ト  
言ツテ、農商務省ニ貿易課モナイ時分デア  
ル、其ノ時分ニ貿易通商生カ何カ置イテ、  
外務大臣ニ任命權ヲ置イタト云フコトハ便  
宜ノ處置デアツタカモ知レナイ、今日デハ  
商工省ガ分立ヲシ、貿易局モ將ニ一省ノ形  
ヲ執ラントシテ居ル際ニ於テ、貿易局ガ一  
人ノ手足モ海外ニ持タヌデアリマス、新  
事ヲ振興セシムルコトガ出來ルヤ否ヤ、新  
權ヲ擴張デアルトカ、或ハ註文其ノ他ニ  
付テ便宜ヲ取扱スルト云フノニ、商工省  
ハ何等ノ手足ヲ持タヌデ、サウシテ外務省

問題デアリマスガ、之ニ付キマシテハ私モ  
詳細イコトハ承知致シマセケレドモ、唯  
表面カラ見ルヤウナ事情バカリデモナイヤ  
ウニ聞イテ居リマスルノデ、ソレハ唯表面  
ニ現ハレテ居ルコトダケカラ御判斷ニナラ  
ナイヤウニ、御願シテ置キタイと思フノデ  
アリマス、ソレカラ商務官ノ問題デアリマ  
スガ、是ハ今池田君ガ御話ニナツタヤウニ、  
今日ノ外交ト云フモノカラ經濟、貿易ト云  
フヤウナモノヲ取除キマスレバ、單ニ所謂  
純外交ト云フコトニナリマシテ、其ノ範圍  
ガ極メテ狭クナル、又今日サウ云フヤウナ  
コトデハ、逆モヤツテ行ケルモノデハナイ  
ト云フコトハ御同感デアアルト思フノデアリ  
マス、隨ヒマシテ外務省ガ外交ヲヤツテ行  
キマス上ニ於テ、十分ニ經濟外交ニ活用シ  
テ必要トナツテ參リマスシ、又其ノ經濟外  
交ヲヤツテ行ク足並ガ亂サレナイヤウニス  
ルコトガ、半面ニ於テ必要ニナツテ來ルノ  
デアリマス、殊ニ先程モ一寸御話ノアリマ  
シタヤウニ、今日ハ或ハ割當制度ノヤウナ  
コトカ、或ハ「バーター」システムト云フ  
ヤウナコト、實際ノ貿易振興ノ基本ガ、サ  
ウ云フヤウナ所ニ移リツツアルヤウナ狀況  
デアリマスカラ、外務省トシテハ、其ノヤ  
リ方ガ十分ニ日本ノ考ヘ通り行クヤウニ足  
並ヲ揃ヘテ行クコトガ必要デアリ、又ソレ  
ヲ亂サレナイト云フコトガ必要ニナツテ來  
ル譯デ、其ノ點カラ商務官制度等ニ付キマ  
シテモ、外務省トシテ相當重キヲ置イテ居  
ル次第デアリマスカラ、ソコハ池田君ニ於  
テモ御諒承ヲ願ツテ置キタイと思フノデア  
リマス  
○池田委員 敢テ被レ論議スルコト

カラ指揮命令ヲシテ貰フ、外務大臣ヲ通シ  
テ指揮命令ヲスルト云フヤウナ人デ果シテ  
商權ノ擴張ガ出來マスルヤ否ヤ、私共ハ之  
ヲ非常ニ疑問ニ考ヘテ居ルノデアリマス、  
元來今日ノ外交、今日ノ政治ガ經濟ヲ中心  
トシ、經濟ヲ主トシテ居ル外交デアアルコト  
ハ言フマデモアリマセス、其ノ意味ニ於テ  
私共ハ外交ト云フ點ニ付テ申シマスレバ、  
今日ハ殆ド經濟外交ガ大部分ヲ占メテ居ル、  
サウシテ事外交トナリマスレバ、通商外交、  
經濟外交ト云フモノハ是ハ外務省ノ權能デ  
アル、此ノ權能ニ對シテ何人モ一歩ヲリト  
雖モ之ヲ侵サウトスル者ハアリマス、  
外務省カラ通商外交權ヲ取レト云フヤウナ  
人ハ一人モアリマス、ソレデ私ハ其ノ  
點ニ付キマシテ、外務省ハ堂々タル自信ヲ  
持ツテ居ラレテ宜イと思フ、何人ガ外務省  
ノ通商外交ニ對スル權能ヲ剝奪シヨウトス  
ル者ガアリマセウ、事外交ニナリマスレバ、  
外務省ニアラズンバ出來ナイコトハ何人モ  
承知致シテ居ル、唯貿易ノ實際ニ當レル商  
工省貿易局等ガ一人ノ手足モナクテ、此ノ  
戰時經濟ノ中概ラナス貿易ヲ振興セシメル  
ト云フノハ、恰モ手足ヲ縛ツテ歩イテ行ケ  
ト云フヤウナコトト同ジデハナイカト云フ  
ヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、是ニ於テカ私  
共ハ此ノ點ニ付テ、外務省ガ幾人カノ所謂  
商務官ト云フモノヲ自分ノ畑ノ中ニ縛ツテ  
置カレヨウト云フコトニ付テ、餘リニ雅量  
ニ乏シイノデアナイカト云フヤウニ思ツテ  
居リマス、昨年ノ所謂外務省騒動事件ノ時  
ノ其ノ内情等ハ恐ラク私共ハ同情スベキ點  
ガ多イと思ヒマス、朝ニ一城ヲ拔カレタニ  
一掃ヲ奪ハレントスル際ニ、アア云フ騒ぎ  
ガ起ツタコトニ對シテ、内情カラ言ヘバ私

共ハ同情ヲ致シテ居リマス、併シ其ノ結果  
ガドウ云フコトニナツタカト云ヘバ、外務大  
臣ト事務當局ノ妥協點ハ、商務官ノ任命權  
ヲ外務大臣ニ持ツテ行クコトニ付テ  
妥協ガ出來タト云フヤウナコトヲ私ハ新聞  
デ拜見シマシタ、外務省ノ當局ニ行ツテ確  
テハ居リマセスガ、併シ商務官ト云フモノハ、  
此ノ非常時局ノ際ニ一省ノ運命ヲ賭スト云  
フヤウナ大事件ヲ勃發スル程ノ大問題ナリ  
ヤ否ヤ、私ハ之ヲ外務大臣ニ御伺シヨウト思  
ツテ居ル譯デハアリマセス、霞ケ關當局ノ人  
達ガモウ少シ眼ヲ大局ニ注イデ、刻下非常  
ノ際デアル、外交ノ場ハ廣大無邊デアル、吾々  
ハ國運ヲ伸張スル上ニ於テ全力ヲ盡ス、貿  
易ノ如キ現場ノ仕事ハ、雜魚ハ吾々ハ漁  
ヌデモ宜イト云フ覺悟ニ外務省ノ所謂更僚  
諸君ガナツテ誠キタイ、サウナリマスレ  
バ、私ハ霞ケ關ノ權威ハ益々擴大シテ行ク  
モノト思フ、一商務官ノ何名カヲ自分ノ畑  
ニ置カウト云フヤウナ考ハ捨テテ、サウシ  
テ貿易ノコトナラバ、商工省ニ貿易事務官  
ヲ渡シテヤル、吾々ハ強ク力ヲ以テ之ヲ  
援ケテ行ク、些々タル許可事項等ニ付テ  
ハ、貿易局ノ出張所タル貿易事務官ニヤラ  
セル、サウシテ國家ノ爲ニ協力シテ貿易ノ  
振興ヲ圖ラウデハナイカト云フコトニナツ  
テ、初メテ私ハ今日ノ戰時貿易ノ振興ヲ圖ル  
コトガ出來ルト思フ、私ハ其ノ點ニ於テ商  
工大臣ヤ外務大臣ガ首ハレタヤウニ、  
問題ハ心構ヘデアリマス、私ハ區々タル  
機構弄リニ付テ質問シテ居ルノデアリマ  
セス、サウ云フヤウナ吐キナツテ、貿易事  
務官位ハ商工省ニ與レテヤル、サウシテ貿  
易振興ノ爲ニ吾々ハ援ケテヤルノダト云フ  
ヤウニ、外務省全體ノ空氣ガナルヤウニ御

指導願ヒタイ、尙ホ此ノ問題ガ一日モ早ク  
解決スルヤウニ御願致シタイト云フコトヲ  
私ハ申上ゲル次第デアリマス  
○有田國務大臣 池田君ノ御説ノ中ニ、各  
省各局課ガ餘リニ自分ノ權限ヲ固執スルガ  
爲ニ今日ノヤウナ狀況ガ生ジテ居ルノデ、  
斯ウ云フ風ナコトハ止メナケレバナラヌト  
云フヤウナ御趣旨ガアリマシタ、是ハモウ  
私共其ノ通りニ考ヘテ居ルノデアリマス、  
唯各省並ニ各局課ニハソレハ權限ガアリ  
マスノデ、其ノ權限ノ範圍ニ於テハ出來  
ルダケノ努力ヲシヨウト云フコトガ、官吏  
ノ一ツノ精神デアリマシテ、ソレガ自分ノ  
權限ノコトデモ人ガヤルナラ任シテ置カ  
ウトカ云フヤウナコトニナリマスレバ、所  
謂消極的權限爭ヒノヤウナコトガ出來  
レ、各省各局ニ於テ取扱ハナイ事務ガ殘リ  
テ、各省各局ニ於テ取扱ハナイ事務ガ殘リ  
キ點デアアルト思フデアリマス、併シソレ  
ガ餘リ極端ニナリマスレバ、甚ニ非常ノ弊害  
ガ生ジテ來ル譯デアリマス、今日ノヤウナ  
時期ニ於キマシテ、或ハ其ノ消極的權限爭  
ト云フコトニナラザラ又爲ニスル努力ガ、  
積極的權限爭トナツテ、相當ノ弊害ヲ生ジ  
テ居ルコトダト思フデアリマス、是等ノ點  
ニ付キマシテハ、吾々初メ全官吏トシテ十  
分ニ注意シテ、今日御話ノヤウナ、八柱  
一字デアリマスガ、立派日本精神ノ仕  
事ヲヤツテ行クコトガ必要デアルト考ヘ  
ルデアリマス、今日池田君ノ御忠告ハ、吾  
等トシテ十分實現シテ行キタイと思ツテ居  
ルノデアリマス、ソレカラ是ハ例トシテ御  
話ニナツタ、タイ國カラ來ル經濟觀察團ノ

問題デアリマスガ、之ニ付キマシテハ私モ  
詳細イコトハ承知致シマセケレドモ、唯  
表面カラ見ルヤウナ事情バカリデモナイヤ  
ウニ聞イテ居リマスルノデ、ソレハ唯表面  
ニ現ハレテ居ルコトダケカラ御判斷ニナラ  
ナイヤウニ、御願シテ置キタイと思フノデ  
アリマス、ソレカラ商務官ノ問題デアリマ  
スガ、是ハ今池田君ガ御話ニナツタヤウニ、  
今日ノ外交ト云フモノカラ經濟、貿易ト云  
フヤウナモノヲ取除キマスレバ、單ニ所謂  
純外交ト云フコトニナリマシテ、其ノ範圍  
ガ極メテ狭クナル、又今日サウ云フヤウナ  
コトデハ、逆モヤツテ行ケルモノデハナイ  
ト云フコトハ御同感デアアルト思フノデアリ  
マス、隨ヒマシテ外務省ガ外交ヲヤツテ行  
キマス上ニ於テ、十分ニ經濟外交ニ活用シ  
テ必要トナツテ參リマスシ、又其ノ經濟外  
交ヲヤツテ行ク足並ガ亂サレナイヤウニス  
ルコトガ、半面ニ於テ必要ニナツテ來ルノ  
デアリマス、殊ニ先程モ一寸御話ノアリマ  
シタヤウニ、今日ハ或ハ割當制度ノヤウナ  
コトカ、或ハ「バーター」システムト云フ  
ヤウナコト、實際ノ貿易振興ノ基本ガ、サ  
ウ云フヤウナ所ニ移リツツアルヤウナ狀況  
デアリマスカラ、外務省トシテハ、其ノヤ  
リ方ガ十分ニ日本ノ考ヘ通り行クヤウニ足  
並ヲ揃ヘテ行クコトガ必要デアリ、又ソレ  
ヲ亂サレナイト云フコトガ必要ニナツテ來  
ル譯デ、其ノ點カラ商務官制度等ニ付キマ  
シテモ、外務省トシテ相當重キヲ置イテ居  
ル次第デアリマスカラ、ソコハ池田君ニ於  
テモ御諒承ヲ願ツテ置キタイと思フノデア  
リマス  
○池田委員 敢テ被レ論議スルコト



ヲ好ミマセス、唯此ノ際ニ於キマシテハ、外務大臣ニ私ノ意ノアル所ヲ諒トシテ戴イテ、サウシテ所謂「一廓ニ立籠ル」ト云フヤウナ考ヲ捨テテ、本當ニ國家ノ爲ニナルノダ、ソレナラバ自分達ノ如ク者、有爲ナ者デモ分ケテヤルト云フヤウナ氣持ニナツテ行カレンコトヲ希望シマス、此ノ問題ハ私ハ去年ノ貿易省ノ問題ダケ解決スベキモノトハ思ヒマセス、將來ニ殘ツテ居ル問題デアリマスガ故ニ、外務大臣デハアリマセス、外務省ノ全體ノ空氣ガサウ云フヤウナ大局的見地ニ立タレテ、處理セラレンコトヲ希望シテ止メテ置キマス

第三ハ私ハ商工大臣ニ伺ツテ見タイコトガアリマスガ、今日貿易ノ振興ト云フコトニナリマスレバ、所謂物資ノ供給ヲ豊富ニスルト云フノガ眼目デアアル、原材料ヲ如何ニシテ確保スルカト云フコトガ眼目デアアル、ソレデ今マデ商工省ガ「リンク」制ヲ執ラレテ居ル貿易政策、私ハ其ノ功績ハ多分ニ認メマス、戰時外交ノ所謂統制經濟ニ於キマシテ、最も効果ガアツタ一ツノ統制策デアアルトモ思ツテ居リマス、又多クハ獨逸其ノ他ノ模倣デアリマシタガ、是ハ實ニ便宜位ナ我國獨得ノ機構デアアルカモ知レマセス、「リンク」ハ「トルコ」アタリカラ得テラシイデスケレドモ、是ハ所謂獨創ニシテ云フ我國ニ於テハ、誇ルニ足レキ獨創的處置デアアルカモ知レマセス、併シ尙ホ私共ハ「リンク」制ニ付テ色々檢討ヲ重ねテ戴カナケレバナラヌト思ヒマス、小サナ點ハ時間ガナイカラ申シマセス、唯私ハ二三ノ點ヲ申上ゲテ見タイノハ、御承知ノ通り「リンク」ノ輸出ニ付テハ「リンク」制ハ除外ヲサレテ居リマス、私ハ此ノ點ハ御考ニ

出ニ對シテ輸入ノ義務ヲ課スルト云フコトハ、一考ニ値スルモノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ホモウ一ツ、是ハ商工省ノ大藏省ノ多年懸案ニナツテ居ツタ問題デアリマスガ、今ハ商工省ハ「リンク」制度、私ハ綜合「リンク」制度ナントカ云フヤウナコトハドウデモ宜シウゴザイマスガ、唯私ハ今ノ所謂「リンク」制ノヤリ方ガ細ニナリ過ギテ居ルト思フ、昨日一君ガ輸出ノ統制ト云フノハ、單一化スルコトガ必要デアルト云フテ居ラレマス、餘リ統制ノ品目ノ名ダケモ分ラヌ位ノ名ニナツテ居リマス、サウシテ「ゴチヤク」シタ統制ヲヤツテ居ラレマスガ、頭ガ良過ギル財政、戰時經濟ト云フモノニ付テハ、時計ノ齒車ノヤウナモノデナクテ、「タンク」ノヤウナモノデ、山デモ川デモドン突キ通シテ行クヤウナ機械ヲ御持チニナルコトガ必要デアアル、サウ云フ意味カラ此ノ「リンク」制ニモ、モウ少シ大キナ「リンク」制ヲ採ツテ、私共ハ綿布等ニ對スル「リンク」制ガ相當成功シテ居ルコトヲ知ツテ居リマスガ、雜貨ヤ其ノ他ニ付テモ、モウ少シ一本デ行ケルヤウナ方法ヲ考ヘテ、多クノ物資ヲ輸入スルト云フコトガ今日ノ急務デアルト思フ、サウシマスレバ政府當局者ガ如何ニ違反ナカラシメント努メラレテモ、物資ガ少イ間ハ、良民タリト雖モ私ハ良民タリ得ナイト思フ、若シ物資ガ豊富ニナリマスレバ、不良ナ者デモ私ハ良民ニナルト思ヒマス、外國ニドンク輸出スルダケノ物資ヲ供給スル途ヲ開

イテ下サレバ、私ハ政府ガ心配シテ居ラレルヤウニ、是ハ外ノ方ニ流レ込ムノデハナカラウカ、是ハ一圓カ二圓何處カヘ行クノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウナ小サイ所ニ目ヲ止メラレヌデモ、物資ヲ多ク輸入シテ、輸出スルコトガ多量ニ出來ルヤウニシテ戴ケバ、自然サウ云フ違反モセス、サウシテサウ云フ御心配モ御無用デアルト考ヘマスガ故ニ、此ノ「リンク」制ニ付テモ、私ハ今ノ細細ナルヤリ方ヲ改メテ、モウト大キナ戰地ノ陣中ニアル「タンク」ノヤウナ車ヲ御扱ニナルコトヲ切望スルノデアリマス

民間ニ於テ私共ハ常ニ是ガマア一番宜カラウト思ツテ考ヘテ居ツタノデアリマス、所ガ之ヲ設立サレテ居リマスケレドモ、其ノ趣旨ハ貿易會社ニ原料其ノ他ノ供給ノ責任ヲ負ハセテ、サウシテ資材ノ供給ヲ中小工業者ニサセル、其ノ貿易ヲ振興スルト云フ狙ヒドコロハ非常ニ宜シイノデアリマスカラ、政府ノ今日マデ努力セラレタ所ノ方針ハ、如何ニモ其ノ圖星ニ當ツテ居ルト思ヒマスケレドモ、惜テ實際ニ於テ之ヲ運用スルト云フコトニナツテ、ソレガ政府ガ創立ヲセラレタ時ノ趣旨ニ合致シテ居ルヤ否ヤト云フト、中々巧ク合致シテ居ルヤ否ヤト云フアルノデアリマスガ、巧クサウ云フモノヲ利用致シマスレバ、只今ノ御説ノヤウニ、「リンク」制ノ煩瑣ナ手續ヲ省イテ、サウシテ當業者ニハ若干苦痛ヲ少クシテ、貿易ノ振興ニ大イニ裨益スルト云フコトニモナルノデアリマス、詰リ色々ノ方面カラ單ニ「リンク」制ノミヲ考ヘナイデ、色々ノ方面ヲ見渡シマシテ、手續ヲ成ベタ簡便ニシテ、サウシテビシツトシタ巧妙ナル運用ノ方法ヲ探リタイト思ツテ、努力シテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ綜合「リンク」制ナドモ、理論的ニ色々ノ研究モ致サナケレバナリマセスケレドモ、實際ノ運用ニ付テモ能ク考ヘテ見マシテ、サウシテ煩瑣ナ手續ニ互ラナイデ、簡便ニ效果ヲ擧ゲルト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、是ノ實行ニ努力シタイト存ジマス、併シナガラ若シ色々煩瑣ナ手續ガアツテ、却テソレガ爲ニ實行上當業者モ餘リ苦バナイト云フコトデアラナラバ、此ノ實行等ニ付テモ少シ考ヘテ見タイト存ジテ居リマス、今ノ所デハドウシタラ

宜カラウカト云フ確タル意見ヲ持ツテ居リマセスカラ、此ノ點モ今後ノ研究ニ俟チタイト存ジマス、新シク色々ナコトヲ實行スルノハ餘程研究シテ、餘程確タル見込ガナケレバ新シイコトハ致シタクナイト思ヒマス、今マデノ唯實行シツアル所ノ制度ノ運用ヲ滑カニシテ、效果ノ擧ガルヤウニシタイト云フノガ、私ノ狙ヒドコロデアリマスカラ、此ノ點モ御諒承願ヒタイト思ヒマス、尙又支那ノ「リンク」制ノ輸出ニ對シテ、「リンク」制ヲ施行シタラドウデアラウカト云フ御議論ハ傾聴致シマシタ、一應「リンク」制ヲ「プロダクト」ニ施行致シマシタナラバ效果ガアラウカトモ存ジマスガ、併シナガラ又「プロダクト」ノ輸出入ト云フモノハ、先般來當總會ニ於キマシテモ度々御議論ガ出マシタ通りニ、貨幣制度ノ關係ガアリマシタリ、其ノ他色々事情ガ錯綜シテ居リマシタノデ、是ハモウ少シ慎重ニ考ヘテ見マシテ、輸出ノ調整ト、モウ少シ簡易ニ澤山ナ輸入ヲシナケレバナリマセスカラ、其ノ輸入ヲ増加セシメテ方法ト云フモノヲ配ミ合セテ考ヘテ行キマス、貨幣制度ノ現狀ニ於キマシテハ、色々難カシイ問題モゴザイマス、尙又内地ノ物資供給ニ於テ、今日ハ動モスレバ内地ノ物資ニ缺乏ヲ來スト云フヤウナ狀況デモアリマスカラ、ソレトモ配ミ合セテ行ツテ、餘程困難ナ問題モゴザイマスカラ、モウ少シ慎重ニ調査研究ヲ致シマシタ上デ方針ヲ決定致シタイト存ジマス

○池田委員 私人マダ尙ハ幾ラモゴザイマスケレドモ、多數殘ツテ居ラレマスカラ、金玉ノ時間ハ成ベタ費スコトヲ避ケルコトニ致シマシテ、是デ私ノ質問ハ打切ルコトニ致シマス

○岸田委員長代理 一寸御諮リ致シマス、加藤知正君ノ順デアリマスガ、都合ニ依リマシテ最上政三君ニ先ニ立ツテ戴クコトニシマシテ、其ノ次ニ加藤君ノ順位ヲ決定致シマシタカラ、左様御承知願ヒマス、尙ホ御諮リ致シマス、貴族院ニ於キマシテ事變處理ノ關係ニ付テノ秘密會デ、最上君ノ出席ヲ要望シテ居ラレル關係諸公ガドウシテモ手ガ引ケマセス、今暫クスレバ厚生大臣其ノ他見エル豫定ニナツテ居リマス、ソレマデ暫時休憩致シマス

午前十一時三十分休憩

午前十一時五十分休憩

午後一時五十分開議

○山本委員長代理 午前引續キマシテ開會致シマス、大本貞太郎君

○大本委員 私人商工大臣ニ二三御諮ラシテ見タイト思フデアリマス、第一ハ低物價政策ト生産擴充ニ關スル問題デアリマスガ、之ニ付テハ本會議或ハ此ノ豫算總會ニ於テモ、色々議論サレタノデアリマス

午後一時四十分開議

○岸田委員長代理 休憩前ニ引續キマシテ開會致シマス、貴族院ニ於ケル秘密會出席ノ大臣諸公ハ、未ダ當委員會ニ出席ガアリマセスシ、既ニ時刻モ正午間近クナツテ居リマスノデ、已ムナク午後一時マデ休憩致シマシテ、改メテ午後一時カラ開會致スコトニ致シマス、尙ホ一言附加ヘマスガ、政府ニ於カレマシテモ、委員會ノ日ニチモ餘ス所ナイノデアリマスカラ、午後一時カラノ會議ニ於キマシテハ、大臣諸公是非トモ御抽ヒ出席相成ルヤウニ御取計願ヒマス

午前十一時五十分休憩

午後一時四十分開議

○山本委員長代理 午前引續キマシテ開會致シマス、大本貞太郎君

○大本委員 私人商工大臣ニ二三御諮ラシテ見タイト思フデアリマス、第一ハ低物價政策ト生産擴充ニ關スル問題デアリマスガ、之ニ付テハ本會議或ハ此ノ豫算總會ニ於テモ、色々議論サレタノデアリマス



來ルコトデアルカラ、容易ニ出來ルコトデアリマス。ケレドモ、サウ云フ場合ニハ仕方ガナイカラ、コチカラ補助金ヲ出ストカ、補助金ヲ出ストカ、補助金ヲ出ストカ云フコトヲシテ、生産原價ヲ價ハシメテ、當業者ヲシテ生産擴充ヲ實行セシメル、斯ウ云フ手段ヲ施シテ、此ノ二ツノ矛盾シタ政策ヲ調和セシメルト云フノデアリマス、所謂石炭ナリ肥料ノ如キモノハ、政府ハサウ云フ方針ヲ行キタイト考ヘテ居リマスガ、其ノ外細カキモノデ、生活必需品ニハ出來ルダケサウ云フヤウナ方法ヲ設ケテ、今日デハ適正價格ト申シテ居リマスガ、一般需要ニ供給スル値段ハ適正價格ニ致シマシテ、其ノ適正價格ヲ算定スル時ニハ、生産原價ニ若干ノ利潤ガ入ツテ居ルモノヲ以テ適正價格トスル、サウストル生産者ハソレデヤハリ生産ガ引合フカラ、生産擴充ガ出來ル、斯ウ云フコトガ且ヒ所デアツテ、之ヲ巧妙ニ利用シテ兩方ノ矛盾シタ政策ヲ調和セシメテ行カウト云フノガ、コチヲ狙ヒ所デアリマス。

○大本委員 商工大臣ノ御意見デアリマス。私ハソレハ、迎モ實效ヲ舉ゲルコトハ出來ナイト思フデアリマス、一方ニ於テ生産品ノ値段ヲ抑ヘテ、サウシテ引合ハヌモノハ、ソレニ對シテ補助金ヲ與ヘテ調和ヲスルト云フ御意見デアリマスガ、其ノ補助金ト云フモノハ、詰リ政府カラ放出サレルデアリマス。是ガ通貨ノ膨脹トナツテ、インフレーションヲ起ス、結論ニ於テ私ハ同ジコトニナラウト思ヒマス。唯、唯迂曲折ヲ經ルダケガ、無駄ナ結果ニナラウト私ハ考ヘルデアリマス、元來私共ガ考ヘマスルト、斯ウ云フヤウナ大

事變ニ直而致シマシテ、國家ガ伸ルカ反ルカノ乾坤一擲ノ大キナ仕事ヲヤツテ居ル際ニ、インフレーションヲ極端ニ抑ヘテ行カウト云フヤウナ政策ハ、到底不可能ダト考ヘルデアリマス、ガ併シ世間ノ輿論ト申シマスルカ、サウ云フモノヲ私共ガ間イテ見マシテモ、低物價政策ヲ強制セバナラストカ、或ハインフレーションヲ抑壓セバナラストカ云フヤウナ輿論ガ、専ラ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレデ近頃ノ政府當局者ハ其ノ輿論ニ迎合ヲ致シマシテ、色々無理ナコトヲヤウタ結果ガ近頃ノ石炭問題、又硫安ノ問題ナドニ達著シテ居ルデアラウト思フデアリマス、石炭ニ對スル價格ヲ抑制シタ結果ハ、御承知ノ通り非常ナ大損害ヲ國家ノ各方面ニ與ヘテ居ルデアリマス、又硫安ナドニ見マシテモ、肝腎ノ消費者ノ農家ガ今日デハ硫安ノ價格倍シテモ構ハヌ、供給ガモウ少シ潤澤ニナレバ宜イト申シテ居リマス。御承知ノ通りデアリマス、私ハ商工大臣ハ財界ニ實際ノ事業ニ苦勞ヲサレタ方デゴザイマシテ、左様ナコトハ無論御承知ノコトト思フデアリマスガ、若シ今日ノ輿論ト申シマスカ、多クノ人ノ言フコトニ誤ラレマシテ、デフレージョンノ政策ヲ御採リニナルヤウナコトニナレバ、取返シノ付カヌコトニナリハシナイカト云フコトヲ、私共ハ心配シテ居ルノデアリマス、固ヨリ商工大臣トシテ左様ナ御意見ヲ御述ベニナルコトハ、是ハ已ムヲ得ナイトモ考ヘマス。ケレドモ、根本ノ方針トシテハ無暗ニ低物價政策ナドヲ固持サレテハ、私ハ收拾ノ付カヌヤウナコトニナラウト考ヘルデアリマス、商工大臣ニ對シテ私共ガ斯様ナコトヲ申上ゲマス。

ノ運用ニ付テハ若干遺憾ノ點ハアリマス。ケレドモ、低物價政策ハ遂行シテ參リマシタト云フコトハ、私共ハ是ハ已ムヲ得ナイ方針ト存ジテ居リマス。是ガ宜カキウツタト考ヘテ居リマスガ、低物價政策ヲ堅持シツツ參リマシタニモ拘ラズ、斯ウ眺メテ見レバ、幾分物價ハ引上ツテ高クナツテ來タヤウナ形跡ガアリマス。コトハ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ此ノ低物價政策ト生産擴充ヲ調和セシメルト云フコトニ付キマシテハ、此處デ絕對的ニ低物價政策ヲ釘付ニシテ、有ユル物ヲ低物價政策ヲ抑ヘ付ケテ一步モ値段ヲ上ゲサセナイト云フコトハ不可能デアラウト存ジマス、ソコデ低物價政策何處マデモ押シテ行ツテモ、一方ニ於テ適正價格ヲ設定スル時ニ、若干値上ヲシナケレバナラヌヤウナ物モアリマセウジ、又値下ヲシナケレバナラヌ物モアル、又今日ノ現狀ニ付テ釘付ニシテ行カケレバナラヌモノモアリマス。其ノ邊ハ千差萬樣デアリマス。ケレドモ、併シ鬼モ角モ此ノ方針ノ下ニ手心ヲ加ヘテ行キマシテ、物價ノ急激ナル暴騰ヲ防グ、サウシテ國民生活ニ急激ナル變化ヲ與ヘナイヤウニシテ行クニハ、ヤハリドウシテモ低物價政策ノ下ニヤツテ行ク方宜クハナイカト云フノガ私ノ考デアリマス、大體ハ御考ト稍似タヤウナ所ニ右ト左カラ行ケレドモ、實際ニ於テハ稍似テ居ルヤウナ所モアルヤウニ認メマス。ケレドモ、鬼モ角モ政府トシテハ飽クマデ此ノ低物價政策ノ方針ノ下ニ出來ルダケ生産擴充ノ調和ヲ圖ツテ物資ノ増産ヲ圖リタイ、斯ウ云フ積リテ居リマス。

ノハ、釋迦ニ説法デアラウト思フデアリマス。ケレドモ、ドウカ商工大臣ニ於カレマシテハ、俗論ト申シマス。語弊ガアリマスガ、實際ノ狀態ニ餘リ通曉セナイ人ノ意見ニ動カサレルヤウナコトガナイヤウニ、ドウカ根本ノ方針ハ生産擴充ニ重點ヲ置カレマシ、將來ノ生産擴充ニ對シテ御對策ヲ御執リニナランコトヲ御願ヲ致シマス、此ノ問題ハ今マデ廣く議論サレタコトハ承知シテ居リマスガ、事頗ル重大ナ問題デアリマス。私ノ老婆心ヲ商工大臣ニ申上ゲテ置イタラト考ヘマシテ、茲ニ御話ヲ申上ゲル次第デアリマスガ、ドウカ一ツ商工大臣ニ於テハ確乎タル肚ヲ御決メニナリマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ、漠然タル輿論ト云フヤウナモノニ決シテ動カサレルコトナク、今日ノ最大急務デアリマス。生産擴充ニ精進サレルコトヲ、御願申上ゲル次第デアリマス。

ヲ執ラナイトシタラドウナルカ、今日ノ此ノ場合ニ於テ低物價政策ヲ執ラナイデ、生産擴充ニノミ重點ヲ置イテ參リマシタナラバ、物價ハ何處マデ騰貴スルカ、頗ル恐シイ衷心ニ堪ヘナイモノガアルト存ジマス、何トナレバ斯ノ如ク物資ガ缺乏シテ居リマス。際際ニ、之ヲ自然ニ、今マデノ自由主義經濟ノヤウナ積リテ、生産擴充ニ突進シタナラバ、途方モナイ物價ノ變動ヲ來シテ、其ノ結果財政上、經濟上ニ非常ナ動搖ヲ與ヘテ混亂ヲ來スト云フコトハ、今マデノ經驗カラ最モ見易イ所ト存ジマス、ソレ故ニ私ハ決シテ俗論ニ動カサレルノデモアリマセヌ、又色々輿論ニ煽ルノデモアリマセヌ、此ノ時局ヲ突破スルノニハ、ドウシテモ是ガ一番宜シイ、唯是ガ今マデハ能ク調和セズ運用ガ旨ク行カナイデ、斯ノ如キ事情ニ立至ツタデアルカラ、出來ルダケ此ノ運用ヲ滑カカシテ、生産擴充ノ目的ヲ達シテ、國民ニ今日ノヤウナ迷惑ヲ掛ケナイヤウニ之ヲ實行シタイ、斯ウ云フ積リテ其ノ實行ノ點ニ於テ力ヲ籠メテ工風ヲ致シテ居ルノデアリマス。此ノ段モドウゾ御承知願ヒタイ。

○大本委員 御話ガアリマシタカラ、私モモウ一言此ノ事ニ觸レテ見タイト思ヒマス、商工大臣ノ只今ノ御話御尤デアリマス。併シ私共根本ノ方針トシテハドウシテモ多少インフレーションノ進シテ行クコトヲ、覺悟シテ行カネバナラヌト考ヘテ居ルデアリマス、御話ノヤウニ、急激ニインフレーションガ起ツテ、物價ガ一遍ニ暴騰スルトカ、激騰スルト云フコトガアリマス。固ヨリ大變デアリマス。併シ丁度飛行機ガ一番最初滑走シテ、陸ヲ離

レデ空中ニ昇ルヤウニ、インフレーションヲ起スコトハ、已ムヲ得ナイト私共ハ考ヘテ居ル、又サウ云フ風ニヤツテ行カネバ、是ダケノ大キナ戰爭ヲ遂行シ、又東亞ノ新秩序ノ建設ヲ目指シテ、支那滿洲ニ於ケルアレダケノ大キナ仕事ヲヤツテ居ルデアリマス。到底私共ハ不可能ダト考ヘラマスカラ、是ガ戰費其ノ他ヲ抽出致シマスル公債ヲ募集スルノニ致シマシテモ、デフレージョンノ政策ハ決シテ私ハ今日ノヤウナ巨額ノ公債ヲ募集スルコトハ出來ヌト思フデアリマス、或ル程度マデインフレーションヲ進メテ、國民ニ儲ケサセテ、餘裕ヲ作ラシテ、公債ヲ募集スル、斯ウ云フ段取ヲ行カネバナラヌデアリマシテ、根本ニ於テ私ハ斯ウ云フ大變ニ直面シテハ、デフレージョンノ政策トカ、低物價政策トカ云フモノデハ、絕對ニヤツテハ行ケヌヤウニ考ヘルデアリマス、固ヨリ適當ナ通貨膨脹ハ、之ヲ押ヘルコトハ勿論デアリマス。只今申上ゲマシタヤウニ、急激ナ物價ノ暴騰ナドハ固ヨリ之ヲ押ヘテ行カケレバナラヌデアリマスガ、根本精神ニ於テハ、多少ツツインフレーションノ進シテ行クコトハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ私ハ考ヘテ居ルデアリマス。ガ、之ニ對スル商工大臣ノ御所見ヲ承リタイト思フデアリマス。

○藤原國務大臣 今日ノ低物價政策此ノ時局ヲ乘切ツテ參リマシテ、既ニ三年ニ垂ントスルヤウニナツテ參リマシタ、其ノ間ノ經過ヲ顧ミマス。政府ガ低物價政策ヲ堅持シツツ色々努力ヲ致シテ參リマシタコトニ付キマシテハ、色々御批判モアリ、輿論ノ色々反對モゴザイマシテ、其

針ガ低物價政策ヲ居タト斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、ソコガドウモ見解ノ相違ニナルカモ知レマセヌガ、私ハ是マデノ政府ノヤリ方ハ低物價政策ヲナカツタト思フデアリマス、何レカト申シマス、事變ニ入ツテ以來ノ政府ノ政策ハ、インフレーションニ近イ政策デアツタト考ヘルデアリマス、偶、石炭トカ硫安トカ金トカ銀トカ云フモノノ採掘ニ對シテハ、吾々ガ考ヘテモデフレージョンノ政策デアリヤウナ政策ヲ執リマシタガ、左様ナ政策ヲ執ツタ品物ガ減退ヲ致シマシテ、國民ニ非常ナ損害ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ端的ニ商工大臣ニ御請致シマス。ケレド、商工大臣ノ低物價政策トカ、デフレージョンノ政策トカ言ハレルノハ、從來ノ如キモノヲ指シテ言ハレルノデアリマス。或ハ從來ノモノハ、インフレーションノ政策デアツタカラ、自分トシテハ之ヲ轉換シテ低物價政策ナル新ナル政策ヲ執リタイト云フ御考デアリマス。其ノ點ハツキリシテ貴ヒタイト思ヒマス。

○藤原國務大臣 段々見解ヲ異ニシ、議論ヲ異ニスルコトニナリマシテハ會期切迫ノ折柄デアリマス。ケレド、簡單ニ御答ヲ申シテ置キタイト思ヒマス、私ハ只今マデ申上ゲマシタヤウニ、今日ノ現狀ヲ熟觀致シマシテ、低物價政策此ノ現狀ヲ突破致シタイ、斯ウ云フコトニ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス。

○大本委員 是ハ非常ニ重要ナコトデアリマス。私ハ尙ホ念ノ爲ニモウ一度御答シタイノデアリマス、サウ致シマス。商工大臣ハ從來通りノ低物價政策ヲ行タト斯ウ

言ハレルノデアリマス。從來ノモノヨリハ更ニ強度ナ低物價政策ヲ行カウト云フ御考デアリマス。此ノ點ヲ聽カシテ戴キタイト思ヒマス。

○藤原國務大臣 私人ノ考デアリマス。低物價政策ノ方針ヲ持ツテ來タト。斯ウ云フヤウニ見テ居リマス、隨テ其ノ方針ヲ遂行シテ今日ノ現狀ヲ眺メ、更ニ今日ノ現狀カラドウシテモ低物價政策ガ宜シイ、是デナケレバ難局ヲ突破スルノニ困難ダ、斯ウ云フ積リテ居リマス。併シ御承知デアリマス。私モモウ一ツ御答申上ゲマス。ハ、必ズシモ從來ト同様ニヤツテ行カ、或ハモウ少シ變ツタ手ヲ打ツカ、或ハモウ少シ強クナルノカ、弱クナルノカト云フヤウナコトニナリマス。ソレカラ先ハ、方針ハ同ジデアリマセウケレドモ、實行ニ付キマシテハ隨機應變ト云フコトモアリマス。又私自身ノ考モアリマス。多少其ノ邊ニ相異ガアルカト存ジマス、左様御承知願ヒマス。

○藤原國務大臣 段々見解ヲ異ニシ、議論ヲ異ニスルコトニナリマシテハ會期切迫ノ折柄デアリマス。ケレド、簡單ニ御答ヲ申シテ置キタイト思ヒマス、私ハ只今マデ申上ゲマシタヤウニ、今日ノ現狀ヲ熟觀致シマシテ、低物價政策此ノ現狀ヲ突破致シタイ、斯ウ云フコトニ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス。

○藤原國務大臣 今日ノ低物價政策此ノ時局ヲ乘切ツテ參リマシテ、既ニ三年ニ垂ントスルヤウニナツテ參リマシタ、其ノ間ノ經過ヲ顧ミマス。政府ガ低物價政策ヲ堅持シツツ色々努力ヲ致シテ參リマシタコトニ付キマシテハ、色々御批判モアリ、輿論ノ色々反對モゴザイマシテ、其

○藤原國務大臣 今日ノ低物價政策此ノ時局ヲ乘切ツテ參リマシテ、既ニ三年ニ垂ントスルヤウニナツテ參リマシタ、其ノ間ノ經過ヲ顧ミマス。政府ガ低物價政策ヲ堅持シツツ色々努力ヲ致シテ參リマシタコトニ付キマシテハ、色々御批判モアリ、輿論ノ色々反對モゴザイマシテ、其



此ノ問題モ先般來色々論議セラレタウデア  
リマスガ、併シソレハ主トシテ勞働力ノ  
低下ト云フ問題ニ對スル厚生省ノ意見ヲ尋  
ネタガ多カウツト思フデアリマスガ、  
此ノ勞働力ノ低下ト云フ問題ニ對シテハ、  
厚生省ハ又厚生省トシテ自レ觀ル所ガアル  
ノハ當然ノ話デアラウト思フデアリマス  
ルガ、生産擴充ト云フコトニ最モ大キナ關  
係アリマスル商工省トシテハ、ドウ云フ  
御考ヲ持ツテ居ラレノデアリマスルカ、  
厚生省トハ異ツタ御考ガナケレバナラヌト  
思フデアリマスルガ、之ニ對スル御意見  
ヲ承リタイト思フデアリマス

○藤原國務大臣 勞働力ノ低下致シマシタ  
コトハ、大本君ノ御述ベニナリマシタ通りデ  
ゴザイマシテ、是ハ生産擴充ノ上カラ大イ  
ニ憂慮スベキ問題ト存ジマス、商工省ト致  
シマシテハ何故今日勞働力ガ斯ノ如ク低下  
シテ來タカト云フコトヲ考ヘテ見マス、  
先ヅ第一ニ考ヘラレルコトハ、熟練勞働者ガ  
應召ノ爲ニ缺乏致シマシテ、之ニ代ルニ不  
熟練勞働者ヲ以テシタト云フコトガ第一  
ノ原因デアラウカト思フテ居リマス、  
石炭ノ例ナドニ於キマシテ著シク其ノ點ガ  
現ハレテ居リマス、其ノ他ノ工業ニ於キマ  
シテモ、纖維工業ニ於キマシテモ、ヤハリ  
大同小異ノヤウナ現象ヲ呈シテ居ルト存ジ  
マス、デアリマスカラ、此ノ不熟練勞働者  
ヲ漸次熟練勞働者ニ仕立上ゲマシテ、其ノ  
能率ヲ向上セシメルコトニ努メナケレバナ  
リマセヌシ、現ニ努メテ居ルノデアツテ、  
同時ニ此ノ儘デ參リマシテモ、段々ニ不熟  
練勞働者熟練勞働ニナルカラ、能率ハ向上  
スルヤウニナルト存ジマス、ケレドモ唯之  
ヲ自然ノ儘ニ打棄テテ置テ譯ニモ參リマセ

スシ、ドウシテモ斯ウ云フ際ニハヤハリ産  
業ニ從事スル者ハ勞働力ヲモウ少シ有效ニ  
即チ能率ニ使用スルト云フコトヲ工夫シ  
ナケレバナリマセヌ、又勞働者ノ方面カラ  
言ツテモ、モット効果的ニ働イテ、勞働ノ  
能率ヲ上ゲ、サウシテ其ノ收入ヲ多クスル  
ト云フコトヲ努メナケレバナラナイト思ヒ  
マス、今日ノ我國ノ工業ニ於キマシテハ、勞  
働能率ト云フモノハマダ非常ニ低イ、之ヲ  
歐米各國ニ比較シマス、非常ニ能率ガ低イ  
モノデアラウト云フコトハ御承知ノ通りデア  
リマスカラ、漸次此ノ能率ヲ高メテ行ツテ、  
サウシテ生産能力ヲ多クシテ、一面ニ於テ  
ハ生産原價ヲ安クシテ、一面ニ於テハ勞働者  
ノ收入ヲ多クシテ、相俟ツテ生産力ノ擴充  
ニ有效的ノ手段ヲ執ルコトガ最モ非常ノ急  
務ト考ヘテ居リマス

○藤原國務大臣 只今ノ御尋ニ對シマシテ  
ハ多少私ト見解ノ相違ガアラウカト存ジマ  
ス、御尋ノ如ク重工業ノ方面トカ、若クハ  
股販産業トカ、其ノ他鑛山業ナドノ中ニ於  
キマシテ、勞働者ノ賃金ガ急激ニ増加シタ  
爲ニ、能率ガ低下シタト云フヤウナモノモ  
アルト云フコトハ聞及ンデ居リマシテ、是  
ハモウ少シ何トカシナケレバナラヌト考ヘ  
テ居リマスガ、他ノ一面ニ於キマシテ中小  
工業トカ、纖維工業トカ云フヤウナ比較  
今日ノ時局ニ惠マレナイ所ノ産業ノ方面ニ  
於キマシテシテハ、其ノ反對ニ勞働者ノ生  
活費ハ段々ニ騰貴シタニモ拘ラズ、賃金ハ  
其ノ割合ニ増加シナイノデ、其ノ生活難ヲ  
訴ヘテ居ルト云フヤウナコト聞及ンデ居  
リマシテ、其ノ數ハ案外大キイ、之ヲ勞働  
者ノ數ニ致シマスト、生活難ヲ訴ヘテ居ル  
勞働者ノ數モ案外多數ニ上ツテ居ルト云フ  
コトモ聞及ンデ居リマス、デアリマスカラ、  
今日ノ此ノ時局ニ際シマシテハ、一般ニ勞  
働者ト申シマシテモ、其ノ内部ニ立入ツテ  
見ルト色々ノ事情モゴザイマスカラ、一律  
一體ニ之ヲ申上ゲルコトハ困難デアラウト  
存ジマス、一面ニ於テハ只今御指摘ニナツ

テ居リマスヤウナモノモ認メマスカラ、ソ  
レニ對シテハ又ソレ相當ノ手段ヲ講ジナケ  
レバナラヌト思ヒマス、又一面ニ於テハ中  
小工業ナドニ從事シテ居ル者ニ對シテハ、  
何トカ又ソレニ適當ノ手段ヲ講ジテ行ツ  
テ、總テ實際ニ即シクヤウナ手段ヲ講ズル  
コトガ必要デアリマシテ、今日デハ外貨  
ノ産業ノ大宗デアリマシテ、今日デハ外貨  
ノ産業ノ唯一ノモノトナツテ居ルノデアリマ  
スガ、是ガ今日ノ如ク相場ガ亂騰ヲ呈シマ  
スコトハ、色々ノ方面ニ於テ非常ニ影響  
ヲ與ヘルト考ヘルノデアリマスガ、ソレニ付  
テ私共ノ考ヘマスル所ニ依リマスト、今日  
ノ生絲相場ノ亂騰ハ色々ノ原因ガゴザイマ  
セウガ、要スルニ商品ノ思惑賣買ト云フモ  
ノガ御承知ノヤウニ統制セラレマシテ、唯  
サレテ生絲ノ投機賣買ト云フモノガ殘  
サレテ居リマスノデ、ソレニ對シテ有ユル  
方面ノ投機行爲ガ集中サレル爲デアラウカ  
ト思フデアリマス、若シサウデアラウト致  
シマスレバ、今日ノ生絲ノ取引所ニ何カノ掣  
肘ヲ加ヘマシテ、固ヨリ多少ノ掣肘ヲ加ヘ  
テ居リマスコトハ承知ラシテ居リマスガ、  
或ハ之ニ一大斧鉞ヲ加ヘマシテ、或ル期間  
内賣買ノ停止ヲスルトカ、取引所ノ閉鎖ヲ  
命ズルトカ、何カ斷然タル處置ヲ執ラナケ  
レバ、將來ト雖モ斯ウ云フ状態ヲ繰返スノ  
デハナイカト思フデアリマスガ、ソレ  
ニ對シテ商工大臣ノ御所見ヲ承リタイト思  
ヒマス

投機抑制ニ付テハ或ハ御満足ニハナレナイ  
カトモ存ジマスガ、若干ノ抑制ノ手段ヲ講  
ジテ居リマスルノガ、只今ノ現狀デゴザイ  
マス、今後ノコトニ付キマシテ、此ノ投機  
ヲモウ少シ抑制スベキモノト、更ニ其ノ抑制  
ノ手段ヲ強化スベキ必要ガアルト考ヘマシ  
タ時ニハ、又更ニサウ云フ手段ヲ講ジタイ  
ト存ジマス

○藤原國務大臣 是マデノ所ハ斯ウ云フ工  
合ニナツテ居リマス、今後ニ於テ之ヲ動カ  
ス必要ガアルト見マスレバ、先達テ申上ゲ  
タ通りニ成ベク其ノ當業者ノ希望モ容レテ、  
迅速ニ上ゲタリ、或ハ下ゲタリスルヤウナ  
コトニ致シタイト存ジマス、只今ハ斯ウナ  
ツテ居ル

○藤原國務大臣 是マデノ所ハ斯ウ云フ工  
合ニナツテ居リマス、今後ニ於テ之ヲ動カ  
ス必要ガアルト見マスレバ、先達テ申上ゲ  
タ通りニ成ベク其ノ當業者ノ希望モ容レテ、  
迅速ニ上ゲタリ、或ハ下ゲタリスルヤウナ  
コトニ致シタイト存ジマス、只今ハ斯ウナ  
ツテ居ル

○藤原國務大臣 共ノ點ニ付テハ只今ノ御  
質問ト全ク同様ノ考ヲ持ツテ居リマシテ、

決定致シテ居ルト云フノガ今日ノ現狀デゴ  
ザイマス

○藤原國務大臣 是マデノ所ハ斯ウ云フ工  
合ニナツテ居リマス、今後ニ於テ之ヲ動カ  
ス必要ガアルト見マスレバ、先達テ申上ゲ  
タ通りニ成ベク其ノ當業者ノ希望モ容レテ、  
迅速ニ上ゲタリ、或ハ下ゲタリスルヤウナ  
コトニ致シタイト存ジマス、只今ハ斯ウナ  
ツテ居ル

○藤原國務大臣 是マデノ所ハ斯ウ云フ工  
合ニナツテ居リマス、今後ニ於テ之ヲ動カ  
ス必要ガアルト見マスレバ、先達テ申上ゲ  
タ通りニ成ベク其ノ當業者ノ希望モ容レテ、  
迅速ニ上ゲタリ、或ハ下ゲタリスルヤウナ  
コトニ致シタイト存ジマス、只今ハ斯ウナ  
ツテ居ル

○藤原國務大臣 是マデノ所ハ斯ウ云フ工  
合ニナツテ居リマス、今後ニ於テ之ヲ動カ  
ス必要ガアルト見マスレバ、先達テ申上ゲ  
タ通りニ成ベク其ノ當業者ノ希望モ容レテ、  
迅速ニ上ゲタリ、或ハ下ゲタリスルヤウナ  
コトニ致シタイト存ジマス、只今ハ斯ウナ  
ツテ居ル

○藤原國務大臣 農林省ト商工省ト適正價  
格ニ付テノ意見ヲ異ニシテ居ルト云フコト  
ハ、適正價格ヲ算出スル協定ヲ致シマスル  
間ニ於テハ、其ノ道行ニ於テハ兩省ノ間ニ  
意見ヲ異ニスルト云フコトハ、是ハ實際上  
アリ得ルコトデアリマス、併シナガラ兩省  
ノ間ニ其ノ協議ガ難マツテ、一ツノ公定價  
格ヲ決メル時ニ當ツテハ適當ニ決定スルト  
云フコトニナツテ居ツテ、大シク支障バナ  
ク進行シテ居ルト存ジテ居リマス

○藤原國務大臣 農林省ト商工省ト適正價  
格ニ付テノ意見ヲ異ニシテ居ルト云フコト  
ハ、適正價格ヲ算出スル協定ヲ致シマスル  
間ニ於テハ、其ノ道行ニ於テハ兩省ノ間ニ  
意見ヲ異ニスルト云フコトハ、是ハ實際上  
アリ得ルコトデアリマス、併シナガラ兩省  
ノ間ニ其ノ協議ガ難マツテ、一ツノ公定價  
格ヲ決メル時ニ當ツテハ適當ニ決定スルト  
云フコトニナツテ居ツテ、大シク支障バナ  
ク進行シテ居ルト存ジテ居リマス

○藤原國務大臣 農林省ト商工省ト適正價  
格ニ付テノ意見ヲ異ニシテ居ルト云フコト  
ハ、適正價格ヲ算出スル協定ヲ致シマスル  
間ニ於テハ、其ノ道行ニ於テハ兩省ノ間ニ  
意見ヲ異ニスルト云フコトハ、是ハ實際上  
アリ得ルコトデアリマス、併シナガラ兩省  
ノ間ニ其ノ協議ガ難マツテ、一ツノ公定價  
格ヲ決メル時ニ當ツテハ適當ニ決定スルト  
云フコトニナツテ居ツテ、大シク支障バナ  
ク進行シテ居ルト存ジテ居リマス

○藤原國務大臣 農林省ト商工省ト適正價  
格ニ付テノ意見ヲ異ニシテ居ルト云フコト  
ハ、適正價格ヲ算出スル協定ヲ致シマスル  
間ニ於テハ、其ノ道行ニ於テハ兩省ノ間ニ  
意見ヲ異ニスルト云フコトハ、是ハ實際上  
アリ得ルコトデアリマス、併シナガラ兩省  
ノ間ニ其ノ協議ガ難マツテ、一ツノ公定價  
格ヲ決メル時ニ當ツテハ適當ニ決定スルト  
云フコトニナツテ居ツテ、大シク支障バナ  
ク進行シテ居ルト存ジテ居リマス



○山本委員長代理 後で時間方残レバ、残ツタ時間タケ外ノ大臣ニ質問ヲ許スコトニ...

○山本委員長代理 大臣方來マセガ... ○山本委員長代理 アナタノ質問ノ關係...

○山本委員長代理 大臣方來マセガ... ○山本委員長代理 アナタノ質問ノ關係...

○山本委員長代理 大臣方來マセガ... ○山本委員長代理 アナタノ質問ノ關係...

○山本委員長代理 後で時間方残レバ、残ツタ時間タケ外ノ大臣ニ質問ヲ許スコトニ...

○山本委員長代理 大臣方來マセガ... ○山本委員長代理 アナタノ質問ノ關係...

○山本委員長代理 大臣方來マセガ... ○山本委員長代理 アナタノ質問ノ關係...

○山本委員長代理 大臣方來マセガ... ○山本委員長代理 アナタノ質問ノ關係...







○中村委員長代理 最上君、一寸御諮リシマスガ陸軍大臣ノ御出席ハ如何デスカ  
 ○最上委員 モウ終ヘマシタカラ宜シウゴザイマス、私ハ我國ノ移民政策、廣義ニ解釋スル植民政策ニ付テ、政府ニ質問シテ見タイト思フデアリマス、現在我國ハ布哇、北米、加奈陀ニ二十九萬人、中南米地方ニ二十四萬人、南洋方面ニ四萬五千人、滿洲方面ニ滿洲開拓移民トシテ六萬人ノ移民ヲ送ツテ居ルデアリマス、滿洲移民ニ付テハ大臣ガ屢、此處デ聲明セラレタ通り、國家ノ重要國策トシテ遂行シテ居ルデアリマスカラ、之ニ付テハ私ハ申上ゲマセス、從來ノ我國ノ移民政策ニ付テハ、其ノ確タル根本方針ガナイト思フデアリマス、或時ハ布哇移民デアリ、或時ハ北米移民デアリ、或時ハ中南米移民デアリ、或時ハ南洋移民デアルト云フヤウニ、其ノ據ル所ガナイヤウニ考ヘラレルデアリマス、若モ斯ウ云フ風ナ現状デ將來十年二十年ヲ經テナラバ或ハ俄ル、我ガ五十萬ノ各地方ニ於ケル同胞ハ、我國トノ相對關係モ薄ク、又移民政策ニ、失敗ヲスルノデハナイカト懸念スルデアリマス、此ノ植民政策ニ付テ、先ツ外務大臣、或ハ拓務大臣ヨリ御答ヲ願ヒタイデアリマス

○有田國務大臣 日本ノ人口問題ニ經濟問題等解決ノ爲ニ移民ヲ獎勵スルコトハ、從來政府ノ心懸ケテ來タ所デアリマスガ、此ノ移民ヲ送ル地方ノ選定ニ付キマシテハ、日本國內ノ狀況等ニ依ルコトモ勿論デアリマスガ、同時ニ移民ヲ受入レル國ノ狀況等モ考慮ニ入レナケレバナラヌデアリマス、隨ヒマシテ時ニ依ツテハ或ル地方ニ力ヲ盡シ、又ハ時ニ依ツテハ他ノ地方ニ力ヲ盡スト云フコトガ生ズルデアリマス  
 ○最上委員 事變下ノ今日私ハ海外ニ多クノ移民ヲ出スト云フヤウナ可ク論ズルノデアリマセス現在南米地方ニハ、昭和八年ニハ二萬數千人ノ移民ガ參ツタデアリマス、今日ニ於テハ、ドノ位ノ移民ガ入ツテ居ルカト申シマス、昨年十二月末ノ現在ニ於テハ一千五百人足ラズアルデアリマス、其ノ費用ノ如キ、本豫算ヲ見ルト、僅ニ百萬圓内外デアアルソレデアラカラ、彼ノ地ニ居ル移民モ、日本ノ移民政策ニ付テ、非常ニ心配シテ居ル、聞タ所ニ依ルト、昨日支事變ニ對シテ、故國ノ急ヲ思フ爲、是等ノ人々ノ中ニハ歸郷ヲ願出テ居ルモノガアルサウデアリマス、然ルニ外務省或ハ拓務當局ニ於テハ、ソレヲ止メサセバ非常ニ努力ヲシ、或ハ恩撫ヲシテ居ルト云フコトデアリマスガ、サウ云フ事實ガ實際アルノカドウカ、之ニ付テ御聽キシタイデアリマス  
 ○小磯國務大臣 只今最上君ノ質問ニ御意見ヲ承リマシタ、最上君ノ所說ニアリマシタ如ク、我國舊來ニ於ケル移民ニ對スル根本方針ニ付テハ、私モ稍最上君ト同様、甚ダ遺憾ナルモノガアツタト考ヘマス、御說ノ如ク布哇、北米方面ニ合計二十九萬、中南米ニ二十四萬ト言ハレマシタガ、私ノ承知シテ居ル所デハ約二十五萬ニ垂ントシテ居ルト思ヒマス、元來是等ノ人々ガ如何ナル立場ニ於テ舊來來タカト云フコトヲ觀察致シマス、遺憾ナガラ我國ニ於ケル過剩人口ノ調節ト云フヤウナ形式ニ於テ行ツタヤウニ考ヘラレマス、併シ既往ハ如何様ニアラウト問ハバ、現在ニ於ケル我が日本ノ植民政策ハ、國策トシテ其ノ重點

ヲ大陸ニ傾倒シツアルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、然ラバ舊來亞米利加其ノ他ノ方面ニ行ツタル所ノ同胞ニ對シテハ、如何ナル政策ヲ執ルカト申シマスルノニ、是ハ斷ジテ結果ニ於テ棄民デアツテハナラヌト思フ、確ニ皇國日本ノ人デアリ、假令其ノ言語ニ於テ、服裝ニ於テ、生活様式ニ於テ、其ノ土地ノ人ニナリ、又産業經濟ニ於テ其ノ土地其ノモノニ貢獻シテ居ルニセヨ、其ノ精神ニ於テハ——委員長、ココデ少シ速記ヲ止メテ戴キタイ  
 ○最上委員 拓務大臣、簡單デ宜ウゴザイマス  
 ○小磯國務大臣 ソレデハ宜シウゴザイマス——言ハント欲スル所ヲ少シ言ヒ得ナイノデスカ、先達テカラ色々話ニ出テ居リマス、八紘一字ノ大精神デナケレバナラヌト思ヒマス、左様ナ境地ニ於テ、日本精神ヲ強化シ、新鮮ナル精神ヲ注射スルト云フ程度ニ於テ、今日之ヲ維持シテ行クト云フコトハ、將來日本ノ國策上又重要ナルモノデアルト考ヘテ居リマス、今ノ御說ニアリマシタヤウニ最近ボツ／＼歸ツテ來ル人ガアリマス、是ハ滿洲移民、大陸移民ガ最モ患マレテ居ルト云フコトヲ聞キマシタ結果歸ル人々ガサウデアリマスガ、實情ヲ承知致シマシテ、更ニ原住地ニボツ／＼歸ル人モ少クアリマセス、サウ云フヤウナ實情デアルト御承知願ヒタイデアリマス  
 ○最上委員 只今拓務大臣ノ御說ハ能ク諒承致シマシタ、次ハ外務大臣ニ御同致シタイデアリマス、外務大臣ハ先日施政方針ノ演說中、南方地方ニ對シテハ經濟的協力ヲシテ、資源ノ開發云々ト申サレタノデアリマス、其ノ後是等ノ問題ニ付テ本委員

會ニ於テ、委員ノ質問ニ對シテ、外務大臣ハ御答辯サレマシタガ、其ノ時ノコトガ和蘭政府ニ傳ハツタ爲ニ和蘭當局ニ於テハドウ云フコトヲ非公式ニ發表シテ居ルカト申シマスルト不可條約ニ付テハ贊成シナイヤウナ意向デアリ、唯外國資本デアルトカ、技術的ニ依ツテ協力云々ト云フコトヲ、一部ニ於テ發表サレテ居ルヤウデアリマス、是等ニ付テ如何ナル考ヲ持ツテ居ラレルカ、實ハ私ハ施政方針ノ演說ニ依ツテ、ドノ位南洋ノ資源開發ノ豫算ガ計上サレテ居ルカト思ツテ、色々調ベテ見マシタガ、僅ニ南洋方面ニ對スル拓殖事業費トシテ百萬圓内外デアリマス、而モソレハ南洋委任統治領方面ニ於ケル補助金デアルトカ、其ノ他ノ施設デアルト思ヘルモノノ外ニ北、ポルネオ、トカ、或ハ蘭領印度ノ方面ノ移民施設費トシテ、僅カノ經費ガ計上サレテ居ル次第デアリマス隨テ外務大臣ノ其ノ施政方針ノ演說ヲ活用スルニハ此ノ際何等カ政府ニ於テ御考ガナケレバナラヌト思フデアリマス、移民問題ニ於テモ蘭領印度ノ移民ニ付テハ、外務當局ハ能ク御承知デアリマセウガ、現在支那人ヲ除ク外國人ニ對シテハ、一萬二千名ノ移民ヲ毎年許可シテ居リマス、其ノ割當ハ日本人ハ千五百名ノ移民ガ行クヤウニナツテ居ルデアリマス、千五百名ノ行クヤウニナツテ居ルガ、蘭領政府ニ於テ色々ノ許可、認可ヲ必要トシテ、現在ニ於テハ二三百名位ノ移民シカ行ツテハ居ラナイデアリマス、故ニ是等ノ問題ニ付テモ政府ハ今少シ腰ヲ入レテ、サウシテ交渉スル場合ニ於テハ此ノ制限内ノ千五百名位ノ移民ハ、入レルコトガ出來ルト思フデアリマス、御承知ノ如ク彼ノ蘭領「ポルネオ」

トカ、或ハ「ニューギニア」等ハ相當ノ土地デアリマスガ、人口ハ殆ド稀薄デアリマス、故ニ私ハ、是等ノ地方ニ對シテ政府ハ何等カノ對策ヲ執ラレルデアラカドウカ、私カラ申シマスレバ、是等ノ「ニューギニア」ニシテ、其ノ他ノ島嶼ノ一部ヲ買収ト云フト大キイデアリマスガ、兩國政府トノ間ニ資源開發ノ爲ニ、何等カ開發會社ノ如キモノヲ企テラレテ居ルデアリマセウカ、又サウ云フ御考ハナイカドウカ、此ノ點ニ付テ外務大臣ニ御聽シタイト思フデアリマス  
 ○有田國務大臣 南方諸地方ト貿易ノ増進ヲ圖リ、又資源ノ開發ニ協力シテ行キタイト云フノハ、政府ノ方針デアアルデアリマスガ、是ハ相手國トノ間ノ話合、又個人ト個人トノ間ノ話合等ニ依ツテ、ソレガ順調ニ進行シタ上デ、總テノ經費其ノ他或ハ豫算ニ計上サレキモノハ計上シ、又個人ノ事業トシテ經營スベキモノハ、ソレノノ期限ヲ付シテ計畫セラルベキモノデアルト思フデアリマスガ、現在ニ於キマシテハ、マダ具體的ニサウ云フ風ナ所マデハ進ンデ居ナイデアリマシテ、政府ニ於キマシテモ、民間ニ於キマシテモ、各方面サウ云フ氣持ヲ以テ、是カラ積極的ニ進ムベキモノデアルト考ヘテ居ルデアリマス、又蘭領印度方面ニ對スル、殊ニ「ジャバ」ニ對スル日本人ノ渡航ノ問題ニ付キマシテハ、私ノ承知致シテ居リマス所ハ、今最上君ノ御話ノヤウニ割當シテ二千人デアリマスガ、千何百人カノ割當ガアルデアリマスガ、元來御承知ノヤウニアノ方面ハ人口モ相當稠密デアリ、又労働賃銀ト、生活狀態トノ關係カラ致シマシテ、日本カラノ労働者ニ

屬スル者ノ移民ハ望ガ少ナイデアリマス、或ハ貿易ニ從事シマストカ、或ハ小サナ商賣ニ從事スルトカ、サウ云フ者ノ入國ガ寧ロ日本人トシテモ考ヘナケレバナラヌ部類ニ屬スルデアリマス、所ガ是等ノ營業ニ從事スル者等ハ、和蘭ノ土著ノ人トノ關係ニ於キマシテ、相當其ノ方面カラ制限ヲ受ケテ居リマス、隨ヒマシテ實際ニ於テ日本カラ新タニ入國スル者ガ、割當ノ人間ヨリモ非常ニ少イト云フコトニナツテ居ルデアリマス、是等ニ付キマシテハ、從來和蘭ノ政廳側ト地方的ニモ十分交渉ヲ致シマシテ、出來ルダケ其ノ制限ヲ緩和セシメルコトニ努力致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、アノ方面ニ労働者階級デナイ日本人ガ、出來ルダケ多ク行クト云フコトニハ、政府ハ努力ヲ怠ツテ居ナイ積リデアリマス  
 ○中村委員長代理 最上君、一寸申上ゲマシタガ、モウアナノ時間ハ十五分デアリマスカラ、其ノ範圍ニ於テ御進メヲ願ヒマスカラ、只今ノ御答ハ大體諒承致シマスカラ、和蘭政府ニ於テモ、非公式ニ發表シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、是等蘭領方面ニ於ケル我國ノ經濟的發展——決シテ侵略的デアリマセス、經濟的、平和的開發ニ於テハ、此ノ際ガ最モ好イデアリマスカラ、ドウカ兩國政府トノ間ニ於テ資源開發ノ爲ニ、具體的ノ方法ヲ執ラレンコトヲ私ハ希望致スデアリマス、更ニ比律賓ノ移民問題ニ付デアリマスガ、時間ガアリマセスカラ色々申上ゲマセウガ、今日、ダウアトニ於ケル移民ハ、彼ノ排日土地法案デアルトカ、又ハ外人排斥法案等ニ依ツテ、非常ニ制限サレテ居リマス、然ルニ最近白耳義ニ於ケル前首相ノ「ファン・セーラン

ド」ト云フ人ガ昨年末米國ニ參ツテ、米國政府トノ間ニ比律賓ノ「ミンダナオ」州ニ、歐洲ノ避難民並ニ猶太人ヲ入レル所ノ契約ガ出來タヤウナ外電ヲ發表シテ居ルデアリマス、「ミンダナオ」州ト申シマスレバ現ニ「ダウアト」ニ、我が邦人ガ約二万人居ツテ、今日デサハ非常ニ耕作其ノ他ニ於テ、壓迫サレテ居ルデアリマス、サウ云フヤウナ事實ガアツタノデアラカドウカ、此ノ點ニ付テ御聽シタイデアリマス  
 ○有田國務大臣 猶太人等ヲ「ミンダナオ」州ニ一萬人程入レル計畫ガアルト云フコトハ、私モ聞イテ居ルデアリマス、「ミンダナオ」州ニハ日本人ガ最モ同方面ニ於テ發展シテ居ル「ダウアト」モアルコトデアリマシテ、政府ト致シマシテモ、此ノ點ニ付テハ注意ヲ致シテ居ツタノデアリマス、マダ是等ノ歐洲人ノ「ミンダナオ」州ニ渡航シタ者ハ極メテ少イヤウニ承知致シテ居リマス、隨テ「ダウアト」ニ於ケル日本人ノ發展ガ、其ノ爲ニドウ云フ風ナ影響ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコトハ、今日ノ所マダナイト思ツテ居ルデアリマス  
 ○最上委員 只今ノ御答大體分リマシタガ、吾々ハ決シテ戰禍ヲ逃レル猶太人ニ對シテ反對スルノデアリマセスガ、若シモ是等多數ノ移民ガ入ツタ場合ニ、邦人ノ移民ガ職業或ハ土地ヲ奪ハレルヤウナコトガアツテハ由々シキ大事デアリマスカラ、豫メ政府ニ於テハ此ノ問題ニ付テ篤ク御考慮ヲ願ヒタイデアリマス

更ニ私ハ滿洲開拓移民ノ問題ニ付テ拓務大臣ニ御聽キシタイト思フデアリマス、御承知ノ如ク滿洲移民ニ付テハ昔テハ除隊移民ト云フモノガアリマシタガ、最近ニ於テハ又昭和七年デアリマスカ、第一次移民ガ送ラレ、昨年マデニ第八次ヲ送ツテ居ルデアリマス、然ルニ政府ハ去ル十一年此ノ移民ニ對スル大計畫ヲ立テ、二十年間百萬戸五百万人移送ノ計畫ヲ立テタノデアリマス、其ノ外青少年義勇軍ノ二十箇年百五十萬移民計畫ヲ立テタト云フコトハ既ニ政府ノ發表サレタ書類ニアリマス、然ルニ現在ハドノ位移民ガ行ツテ居ルカ、私ノ調ベデハ——實ハ私ハ資料トシテ移民ノ數ヲ知リタカツタノデスカ、マダ拓務省ニ於テハ其ノ回答ガアリマセス、隨テ昨年週報ニ出タ數ニ依ツテ見ルトハ第一次カラ全部ノ移民ヲ入レテ昨年七月ノ計算デハ僅ニ一萬四千九百三十戸、人員ニ於テ三萬二千七百七十八人、青少年義勇軍ガ昨年九月末現在デ二萬八千四百一人ト云フ計算ニナツテ居リマス、然ルニ移民計畫ニ於テ、十三年度ニ於テモ相當ノ豫算ヲ取リ、又昨年度ニ於テモ相當ノ豫算ヲ取リ、本年度ニ於テハ三千万圓以上ノ豫算ヲ取ツテ居ルデアリマス、然ルニ實際ハ其ノ計畫ト比較シテ甚ダ移民ノ送ラレタ數ガ少イデアリマス、拓務當局ニ於テ是等ノ數ニ付テドウ云フ御考デアリマスカ、將來豫定ノ如ク送レルカ、又今年度ニ於テモ青少年義勇軍三萬人、集團移民二萬人ニ於テハ移民ニ付テハ甚ダ希望者ガ少イヤウニ私ハ思フデアリマスガ、拓務省ノ御考ト實際ノ簡略ニ御答ヲ願ヒタイデアリマス  
 ○小磯國務大臣 御承知ノ如ク最近實行シツタアリマス移民計畫ハ去ル昭和十一年立案セラレタモノニ對シ、十二年以降修正ヲ加ヘマシテ、實行計畫ガ立案セラレマシタ、



サウシテ十二、十三——多分二年位デアツ  
タト思ヒマスルガ、是等ハ實行計畫トシテ  
立案セラレマシタ數ガ其ノ使移住サレマシ  
タ、其ノ後ニ於テハ此ノ事變ノ關係モゴザ  
イマセウ、多少ツツ減ツテ居リマス、併シ  
ナガラ大體其ノ數ハ充足シ得ル積リデアリ  
マス、只今御質疑ニナリマシタ如ク、現在  
開拓農民ト云フ方ニ參ツテ居リマス總數ガ  
約三萬二千デアリマス、青少年義勇軍ガ三  
萬デアリマス、十六年末ニナリマス、只  
今カラノ計畫ニ於テ大體目的ガ遂行セラル  
ルナラバ、五年間ニ十萬ト云フ數マデハ或  
ハ到達セカモ知レマセウガ、其ノ數ニ近  
カラシメ得ル確信ヲ以テ進ミツツアリマス、  
唯希望スル如ク充足シ得マセウハ吾々ノ  
努力ノ足ラヌ結果モアラウト思ヒマス、  
其ノ遺憾デアリマスガ、先般御願致シマシ  
タ如ク此ノ移民政策ノ重要性ニ能ク御目覺  
メニナリマシタ皆御協力ヲ仰イデ其ノ  
實行ノ完成ヲ遂行シタイト考ヘテ居リマス

○最上委員 只今吾々ニ協力ヲ願ハレタノ  
デアリマスガ、政府ニ於テモ其ノ希望者ガ  
減少スルハソコニ何等カ原因ガアルノデ  
ハナカラウカト云フ點ヲ調ベテ貰ヒタイノ  
デアリマス、私ハ是等ニ付テ色々申上セタ  
イ、併シナガラマダ鐵道大臣ニ一寸質問ガ  
殘ツテ居リマスカラ言ヒマセウガ、例ヘテ  
申シマスレバ、先日私ハ銀座ノ松坂屋ヘ行  
キマシタ、丁度集團移民ノ生活ヲ滿洲ノ拓  
殖公社ノ展覽會ニ移民地ノ御馳走ガ十何種  
出テ居ツタ、ソレヲ見テ實際私ハ驚イタノ  
デス吾々ノ家庭ニ於テスラ手ニスルコトガ  
出来ナイ料理ヲ、アノ不毛ナル地ニ於テ而  
モ瓦斯モナイ、水道モナイト云フ地ニ於テ  
作り得ラレルカドウカ、斯ウ云フヤウナモ  
ノニ付テモ御考ニナツテ、事實ヲ宣傳スル  
ナラバ宜イガ、誤ツタ宣傳ヲシテ其ノ爲ニ  
移民ガ内地ニドウ云フヤウナ通信ヲ寄越ス  
カ、青少年義勇軍ノ今日ノ食糧ハドウデア  
ルカ、或ハ集團移民ノ生活状態ハドウダ  
云フコトヲ考ヘタ時、政府ニ於テカレマシ  
モ、是等ノ根本原因ニ付テ十分御考ヲ願ヒ  
タイノデアリマス

○松野國務大臣 最上君ニ御答致シマス、  
實ハ鐵道省ト致シマシテハ海運統制令ニ依  
リマシテ運信大臣ガ昭和十五年二月七日付  
ヲ以テ告示致シマシタコトニ準據致シマシ  
テ、之ニ協力スル意味ニ於テ此ノ告示ヲ出  
シテ居ル次第デゴザイマス

○最上委員 只今ノ鐵道大臣ノ御答辯デハ  
能ク分リマセウケレドモ、元來此ノ連絡船  
ハ國有鐵道ノ所有デアル、サウシテ此ノ線  
路タルヤ關連連絡船ヲ通ジテ「シベリア」ヲ  
經由シテ 歐洲ヘ通スル國際連絡線路デア  
リマス、斯様ヲ譯デ、此ノ線路ニ於テ、而  
モ交戰國人——吾々ガ交戰國人ト申シマス  
レバ或ハ獨逸人、或ハ佛蘭西人、或ハ英國  
人ヲ指シスノデアリマスガ、此ノ方面カラ

來ル交戰國人ハ何處ノ者デアリマスカ、中  
ニハ佛蘭西人、或ハ英國人モアリマセウ、併シ  
ナガラ今日ノ情勢ヲ以テ見ルナラバ、多ク  
此ノ方面ハ獨逸トノ關係ガ深イデアリマ  
ス、隨テ獨逸ノ人々ガ「シベリア」ヲ經由シ  
テ内地ニ來ルトカ、或ハコチカラ向フヘ行  
ク人モアリマセウ、又他ノ外國カラ此ノ線  
路ヲ經由シテ獨逸ニ歸ル人モアリマセウ、  
現ニ淺間丸ニ於テ拉致サレタ九名ノ人々  
モ、隨テハ此ノ線路ニ依ツテ獨逸ニ送ラレ  
ルト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フヤウ  
ナ國際主要幹線ニ向ツテ國家ノ鐵道ガ、而  
モ斯ノ如キコトヲ發表スルコトハ、日獨開  
ノ國交上ニ於テ由々シキ問題デアラウト考  
ヘマス、此ノ點ニ付テ鐵道大臣ニ答辯ヲ願  
ヒタイノデアリマス

○松野國務大臣 鐵道省ト致シマシテハ、  
只今申上セマシタ通り、海運統制令ニ依ツ  
テ運信大臣ガ告示ヲセラレタコトニ對シマ  
シテ、鐵道省モ即チ其ノ運行ヲ爲シテ居リ  
マスル關係上、之ニ協力スルコトハ當然ダ  
ト、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ公布致シマ  
シタヤウナ次第デアリマス

○最上委員 只今鐵道大臣ノ御答辯デアリ  
マスガ、私ハ之ニ付テ色々議論ヲシタイノ  
デアリマスルガ、既ニ時間モアト二三分デ  
アリマス、最後ニ私ハ此ノ問題ニ付テ、現  
ニ獨逸人ノ某ガ哈爾濱ニ參ツテ、サウシテ  
我國經由「メキシコ」ニ參ルト云フ人ガ鐵道  
省ノ連絡船ガ乘船禁止ノ爲ニ乘ルコトガ出  
來ナイデ、政府ノ一部ニ於テハソノ獨逸人  
ニ對シテ連絡船ヲ利用セズシテ、飛行機カ  
其ノ他ノ機關ヲ利用シテ與レト云フ交渉ヲ  
シテ居ルカノ如キ噂ガアルノデアリマス、  
是等ニ付テ事實デアルカドウカ御聽キシタ  
イノデアリマス

○松野國務大臣 私ハ左様ナコトヲ承知シ  
テ居リマセウ

○最上委員 今日我國ニ於テハ色々親獨主  
義トカ、或ハ親英主義トカ云フヤウナ問題  
デ朝野ガ分レテ居ル、其ノ際ニ特ニ獨逸人  
ノ交通ニ對シテ斯ノ如キ鐵道省ガ告示ヲヤ  
ルト云フコトガ現時ノ國際情勢ニ於テ、宜イ  
カ惡イカト云フコトハ言ハズト明カデアリ  
マス、是等ノ問題ニ付テ當局大臣ニ於テハ  
之ヲ取消スカ又ハ何等カ善處スル御考ガナ  
イカドウカ、之ニ付テ御答辯願ヒタイノデ  
アリマス

○松野國務大臣 鐵道省ト致シマシテハ、  
告示致シマシタヤウナコトヲシナイヤウニ  
シマシタ、隨テ告示ト同時ニ鐵道ノ連絡  
船ニハ疑ノアル者ハ絕對ニ乗ツテ居ナイ、  
斯ウ云フコトガ公ニナツタコトヲ御承知ヲ  
願ヒマス

○中村委員長代理 富吉榮二君——富吉君  
ニ申上セマスガ、御要求ノ農林、外務、拓  
務、陸軍大臣中、農林大臣ハ本會議ニ御見  
エノヤウデアリマスガ、他ノ大臣ハ御見  
デアリマスカラ左様御承知ヲ願ツテ置キマ  
ス

○富吉委員 私ハ主トシテ拓務行政ニ付テ  
御答致シタイノデアリマスガ、其ノ前ニ簡  
單ナ問題デアリマスカラ外米ノコトニ付テ  
一寸御同致シタイノデアリマス、農林大臣  
御見エノヤウデアリマセウカラ、是ハ政府  
委員カラノ御答辯ヲ結構デアリマス、過日  
來食糧政策ニ絡ンデ非常ニ心配サレタ議論  
ガ起リ、又政府モ相當此ノ點ニ付テハ苦慮  
致シテ居ラルノデアリマスガ、政府ノ本  
年度ニ於ケル外米ノ輸入數量ハ幾ラニナツ

テ居ルノデアルカ、此ノ點ヲ幾ラト御示シ  
テ願ヒタイ

○中村委員長代理 農林省府委員ハ居ラ  
レナイデスカ——富吉君ニ申上セマスガ、  
今來穀局長ニ連絡ヲ取ルマデ申上ゲルコト  
ヲ一寸猶豫願ヒタイト云フコトデアリマス

○富吉委員 ソレデハ止シマセウ

○中村委員長代理 ソレデハ連絡ガ濟ンダ  
後ニ答ヘサセル、斯ウ云フコトニ致シマセ  
ウ、質疑ヲ御進メ下サイ、其ノ内連絡ガ取  
レマシタナラバ答辯サセマス

○富吉委員 サウ致シマス、大藏大臣ニ  
御同致シマスガ、是ハ外米ヲ買付ケルノデ  
アリマスガ、正貨ヲ御支拂ニナル積リデア  
リマスガ、「バーター」制ヲ御採リニナル積  
リデアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 今回ノ臨時ニ買付ケマス  
ル外米ニ付キマシテハ、大體ニ於テ正貨デ  
支拂フコトト相成ルコトト思ヒマス、併シ  
出來得ル限りハコチカラ品物ヲ入レタイ  
ト考ヘテ居リマス

○富吉委員 サウ致シマス、輸出品ノ原料  
輸入デアルトカ、或ハ軍需用ノ資材ノ輸入ト  
云フヤウナ問題ニ相當支障ヲ來スンデヤナ  
イカト云フコトヲ私共ハ心配致シテ居ルノ  
デアリマス、其ノ爲ニ結局此ノ所期スル所  
ノ外米ノ輸入ガ困難ヲ生ジハシナイカ、此  
ノ點心配シテ居ルノデアリマスガ、其ノ點  
ニ付テ何等ノ心配ガナイト御考デアリマス  
カ

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り正貨ノ流出  
致シマスコトハ出來ル限り避ケナケレバナ  
ラナイノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ  
ハ種々ナル輸入ヲ要スルモノガアリマシテ  
モ、成ベク手控ヘテ、爲替資金ト云フモノ

ヲ保有致シタイト心得テ居リマス、併シナ  
ガラ食糧品ハ國民生活ノ絕對品デアリマス  
ガ故ニ、若シ食糧ノ不足ヲ來スヤウナ場合  
ガアリマシテハ、是ハ相成リマセウノデ、  
其ノ點ヲ考ヘマシテ、農林當局トモ協議致  
シマシテ必要數量ダケノ輸入ハ致ス考デアリ  
マス

○富吉委員 サウスルト石當リノ價格ハ大  
體幾ラデアリマスカ

○櫻内國務大臣 是ハ私ノ方ノ所管デアリ  
マセウデ、農林當局カラ御答ヲ致スト思ヒ  
マス

○富吉委員 ドウモ是ハ其ノ數字ガハツキ  
リシテ來ナイト議論ヲ進メテ行ク上ニ困ル  
デスガ、此ノ前ノ委員會ニ於ケル農相ノ御  
口振リデハ、ドウモ此ノコトハハツキリ言  
ハヌ方ガ宜イヤウナ風ノ御話ノヤウニモ聞  
イテ居リマセウケレドモ、或ハ責任ヲ以テハ  
答ヘナイト思ヒマセウカラ、私ノ方カラ議論  
ヲ進メル上ニ言ツテシマヒマス、時間ヲ取  
リマセウカラ……政府ノ需給推算ニ依リマ  
スト大體三萬石程輸入ニナルト云フコト  
ニナルノダト思フノデアリマスガ、民間  
ノ有力ナ方面ノ推算ニ依リマス、政府  
ノ推算ハ非常ニ消費量ヲ樂觀的ニ見テ居  
ルト云フ點ニ於テ七百萬石、非常ナ開キ  
ガアル、大體此ノ開キヲ歩ミ寄リマシテ假  
ニ五百萬石ト致シマシテモ相當ノ數量ニナ  
ルト思フ、此ノ相當數量、假ニ五百萬石ト  
致シマシテ、七石一越ダト推シテ見テ大  
體七十萬越、斯ウ云フコトニナルノデアリ  
マスルガ、サウシマス、此ノ七十萬越ヲ此  
ノ現在船腹ノ不足致シテ居リマス、例  
ヘバ遠洋貨物船ハ非常ニ不足致シテ居ルヤ  
ウニ思ヒマスルガ、之ヲ輸送スルト云フ方

面ニ於テモ非常ナ困難ガ起ルト、斯ウ私ハ思  
ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ色々  
當局ニ其ノ對策ヲ御聽キ致シタイノデアリ  
マスルガ、大臣ハ御見エニナツテ居リマセ  
ウガ、此ノ點ハ餘程御注意ヲナサラナイト、  
金ハ出來タハ、品ハ買ツタハ、品物ガ開ニ  
合ハヌワト云フコトデ、此ノ端境期ニ非常  
ナ支障ヲ來ス虞アリト云フコトヲ私共ハ考  
ヘテ居リマスルカラ、是ハ單ニ其ノ方面ノ  
所管大臣ノ責任ノミナラズ、政府全體ノ責  
任ニ於テ深ク御注意ヲナサイマセウニ私  
ハ警告致シテ置ク次第デアリマス、マダ農  
林當局ハオ見エニナリマセウカ

○中村委員長代理 マダ連絡ガ取レナイヤ  
ウデ回答ガ來マセウガ、督促致シマス——  
今督促サシテ居リマスカラドウゾ徐々ニ御  
進メテ願ヘマセウデスカ

○富吉委員 ドウモ農林當局ハ怠慢ダト云  
フコトニ致シテ置キマス、答辯ガナイノニ  
幾ラ言ツテ見タ所デ……

○中村委員長代理 富吉君ニ申上セマス、  
間モナク農林政務次官ガ出席シマシテ御答  
辯ヲ申上ゲルサウデアリマス

○中村委員長代理 退席、石坂委員長代理  
（中村委員長代理退席）

○富吉委員 局長ハ居リマセウカ

○石坂委員長代理 局長ハ本會議ノ方ニ  
行ツテ居リマス、拓務大臣ガ御見エニナツ  
テ居リマスルガ……

○富吉委員 ソレデハ此ノ點ハ後カラ質問  
スルコトニ致シマシテ、私ハ質疑ヲ進メ  
タイト思ヒマス、滿洲開拓移民ノコトニ關  
シマシテ、先程最上氏カラ御質問ガゴザイ  
マシタガ、私ハ其ノ點ヲ更ニ當局ニ御答  
シタイト思フノデアリマス、其ノ前提ト致

シマシテ、滿洲開拓移民ハ國防上ノ見地カ  
ラ致シマスルモ、又滿洲軍變ガ起ツタ關係  
カラ致シマシテモ、更ニ王道樂土建設ノ上  
カラ致シマシテモ、又東亞ノ新秩序建設ノ  
上カラ致シマシテモ、滿洲ニ農業移民ヲ送  
ルト云フコトハ、絕對必要ダ、斯ウ云フコト  
ヲ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、最近之ニ  
對シテ色々ナ風説ガアツテ、一時滿洲ニ於  
テ勃興シタ所ノ開拓民ノ意氣ガ最近大分衰  
ヘタカノ如キ風聞モアルシ、又其ノ數ニ於  
テモ著シク希望者ガ減少シツツアルト云フ  
傾向ハ洵ニ遺憾ト考ヘマスルガ故ニ、私ハ  
實地ヲ視察致シマシテ、開拓團民トモ親シ  
ク膝ヲ交ヘテ其ノ見解ヲ質シ、サウシテ改  
革スベキモノハ改革シテ行カナケレバナラ  
スト云フコトヲ考ヘマシタノデ、此ノ  
機會ヲ通ジテ當局ノ所信ヲ質シタイト思フ  
ノデアリマス

先づ第一點トシテ御同致シタイノハ、大  
體開拓團ノ指導方針ニ付テデアリマス、移  
民ニハ——移民ト申シマス、語弊ガアリマ  
スガ、何レニ致シマシテモ外地ニ行ツテ働  
キマス者ハ二ツノ考ヘ方ガ有リ勝テアル、  
即チ一ツハ所謂出稼人根性ト申シマスカ、金  
ヲ貯メサヘスレバ宜イ、自分ノ體面モ國ノ體  
面モ要ラナイ、貯メ主義デ早ク出世ヲシテ歸  
リタイト云フ型ト、今一ツハ所謂印度ニ對スル  
英國民ノ如ク其ノ土地カラウント搾取シ、  
自分ダケガ富ミ榮エレバ宜イト云ツタガ如  
キ、型ト、二ツノ型ガアルコトハ今更論ヲ俟  
ツマデモナイノデアリマス、所ガ我國ノ所謂  
移民政策、別シテ滿洲開拓民ハ、決シテ其ノ  
二ツノ型デアツテハナラナイト考ヘル、此  
ノコトハ私ガ言フマデモナク、既ニ當局ニ  
於テモ十分注意セラレテ居ルコトト思ヒマ



スガ、併シナガラ此ノ點ニ付テハ相當考ヘ  
ナケレバナラヌ大キナ點ガアルト思フ、此  
ノ爲ニドウシテモシツカリシテ精神ヲ打込  
マナケレバナラヌ、即チ從來持ツテ居ル自  
由主義思想、或ハ個人主義ト云ヒマスカ、  
サウ云フ營利ヲ中心トシテ主權主義ノ考ヲ  
清算セシメル爲ニ、當局ニ相當ノ方針ガナ  
ケレバナラヌ、唯單ナル精神主義ト云フ  
神慮リニ近イ講演ダケデハ駄目デアル、本  
當ニ實行的ノ施設ト相俟ツテ訓練指導ヲヤ  
ラナケレバナラヌト考ヘル、其ノ開拓團ヲ  
良クセシムルニ付テハ、所請幹部訓練ナル  
共ノ見ル所デハ、所謂幹部訓練ナルモノガ  
最モ重大ナルモノデアルト思フ、デアリマ  
スガ、現在ノ幹部訓練デハマダ不十分デナ  
イカト云フ感ヲ抱クノデアリマス、其ノ事  
ニ付テ色々ト申上ゲタイ實例モゴザイマス  
ガ、時間ガゴザイマセヌノデ省キマス、私  
ハ極メテ粗糲ナコトヲ申上ゲタガ、開拓團  
ノ指導方針ノ大綱ニ付テ當局ノ御所見ヲ承  
リタイノデアリマス

○小磯國務大臣 開拓農民ニ關スル指導方  
針ニ付テハ既ニ篤ト御承知ノコトト思ヒマ  
スガ、滿洲建國ノ使命ヲ十分認識致シマシ  
テ五族協和ノ中核トナリ、眞ニ滿洲建國  
ニ寄與セシメテ行カセタイト云フノガ、指  
導精神デゴザイマス

○石坂委員代理 一寸當吉君ニ申上ゲマ  
ス今農林政務次官見エマシタカラ……

○當吉委員 只今拓務大臣カラ極メテ抽象  
的ノ御意見ヲ拜聴致シタノデアリマスガ、  
大體幹部トシテハ少クモ一箇年以上ノ現地  
訓練ヲ經ナケレバ、生活體驗ガナイノデ、  
後カラ來テ所謂團員ノ本當ニ親トナリ見  
ナリシテ指導シテ行タダケノ餘裕ヲ殘セナ

イデハナイカ、ソレニ對シテ現在一箇年ト  
云フ風ニナツテ居リマスケレドモ、實際ハ  
七八箇月シカヤツテ居ナイノデアリマスガ、  
是等モツト一年若クハ一年半ノ期間ヲ置  
イテ養成サレルト云フ御意見ガナイカ、其  
ノ點デアリマス

○小磯國務大臣 開拓團幹部ノ素質ヲ向上  
セシメル必要ニ關シテ御意見ハ、全然御  
同感デゴザイマス、現在内地ニ於テ基礎訓  
練ヲ二箇月、現地ニ於テ六箇月行ツテ居ル  
ト云フノガ實況デゴザイマスルガ、私共モ  
亦此ノ幹部ノ資質向上ノ必要ヲ認メマシテ、  
將來ノ改善ニ關シテ檢討ヲ加ヘテ見タイト思  
ツテ居リマス

○當吉委員 次ニ開拓團ノ入植ニ最モ支障  
ヲ來シテ居リマスル治安ノ問題ニ付テ、陸  
軍大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、  
御承知ノ通り最近餘程新聞紙カラモ減ツ  
テ參リマシタガ、滿洲ノ匪賊ト云フモノ  
ハ、現在ニ於テモ相當驚駭感致シテ居ル  
ヤウニ私共現地ヲ歩イテ考ヘラレルノデア  
リマス、是ハ新聞紙ニ掲載ヲ禁止シテ居ル  
ト云フコトヲ聞キマスノデ、私ハ一々其  
ノ匪賊横行ノ事實ヲ調べテ參ツテハ居リマ  
スケレドモ、此ノ際之ヲ申上ゲルコトヲ差  
控ヘタイト思フノデアリマスガ、匪賊跳梁  
ノ被害ハ相當各所ニアルヤウニ見受ケラレ  
ルノデアリマス、此ノ爲ニ時々討伐ヲ行ツ  
テ居ルヤウデアリマスガ、此ノ討伐方現地ニ  
行ツテ見タイ見マス、甚ダ成績ガ擧ラナ  
イ、ダラシガナイノデアリマス、勿論討伐  
ハ關東軍ト滿洲軍トソレカラ滿洲警察ト云フ  
ヤウナ方面デヤツテ居ルヤウデアリマシテ、  
日本軍ノ方ハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルトハ  
雖モ、滿洲ト滿洲警察ノ方ノ討伐ニ至ツテ

ガ、私共ハ必ズシモサウ考ヘテ居ラナイノ  
デアリマス、數字モ最上氏ノ御話ニナリマ  
シタ數字ハ私正シト思フノデアリマス、  
統計ガ出テ居リマスガ、是ハ一々讀上ゲマ  
セス、要スルニ次第々々ニ減ツテ居ル、第  
一期計畫ノ第六次移民團デアリマスガ、ソレ  
ハ約九割行ツテ居ル、其ノ次ニナリマス  
二割減ツテ、今年アタリ約三萬戸入レナケ  
レバナラヌ所ヲ僅カ八千戸シカ集マラスト云  
フコトデ、拓務省ノアタリノ部下ノ方々ハ  
大分御心配ナツテ居ルヤウニ聞イテ居ル、  
アタリハ大體計畫ガ皆ク行ツテ居ルト云フ  
ヤウナ御話デアリマスケレドモ、是ハ餘程  
御努力ナサイマセヌト旨ク行キマセヨ、  
必要ナモノデアリマスカラ、努力サレルコ  
トニ私共ハ決シテ異議ハナイ、又色々「デ  
マ」ヲ飛バシ者ニ對シマシテハ、出來ルダ  
ク辯護致シマスケレドモ、アタリハサウ云  
フ呑氣ナコトヲ考ヘテ居ルト、次第々々ニ  
何時ノ間ニカ減ツテシマヒマス、殊ニ日本  
人ノ弱點ト云ヒマセウカ、所謂藥罐ノ尻デ、  
初メノ内ハ滿洲ガ「ト」言ツテ居ルケレド  
モ、イヤ北支ノ方ガ宜イ、南洋ノ方ガ宜イ、  
斯ウ言ツテアツテコツチヘ流レテ行ク傾向  
ガアリマスカラ、サウ云フコトニ騙サレテ  
此ノ計畫ガ斷斷ト來サナイヤウニ私ハ御願  
致ス次第デアリマス、ソレニ付テ考ヘナケ  
レバナラヌ點ハ、私ノ考デハ地方廳ノ努力  
ガ足ラヌト云フコトデス、地方廳ノ中ニ職  
業課トカ何トカ云フノガアリマシテ、其處  
ニ極メテ階級ノ低イ、事務官ニナラナイ屬  
ニ毛ノ生エタヤウナ課長ガ居リマシテ、大  
體ソレガ、事務ヲ取扱ツテ居ル、是ハ二等  
縣ナドデハヨクヤツテ居ルト思フノデアリ

ハ全クお話ニナラナイヤウデアリマス、ダ  
ラシガナイ、ソレデハ非常ニ成績ガ擧ツ  
テ居ルト仰シヤレバ、擧ツテ居ラナイ證據  
ヲ色々持ツテ居リマスガ、サウ云フコトハ  
私共處テ争ヒマセヌ、斯ウ云フ匪賊ハ從來  
土著ノ所謂土匪デアツタモノガ、最近ハ非  
常ニ思想的ノ傾向ヲ持ツテ居ル、抗日聯合  
軍司令部、或ハ第二路軍ニ屬スルモノデア  
ルトカ、此ノ匪ノ中ニモ滿洲土著ノ匪モア  
リマスガ、主トシテ露西亞ニ於ケル教育ヲ  
受ケテ來タモノデアルトカ、或ハ半島人ニ  
シテ露西亞ノ教育ヲ受ケテ居ルト云フモノ  
ガ相當アルヤウデアリマス、ソレデ開拓團  
トシテモ之ニ依ツテ相當ノ被害ヲ受ケツツ  
アルト思フノデアリマス、併シ一面又此ノ  
開拓團ガ入植スルコトニ依リマシテ、是等  
匪賊ノ跳梁跋扈シタ地域ヲ狭メ之ニ依ツテ  
治安ノ確保ガ爲シ得ルト云フコトモアリマ  
スルガ、是ハ初メテ向フヘ渡リマスル者ニ  
取ツテモ、又其ノ家族ニ取ツテモ士氣ヲ純  
ラセルモノデアルト考ヘルノデアリマス、  
ソレデ今少シク此ノ匪賊ノ掃蕩ニ關シ即チ  
治安ノ確保ニ對シテシツカリシ方針ヲ立  
テ戴キタイト思フノデアリマスガ、實ハ  
私共方間所ニ依リマスニ付テ方針方對  
立シテ居ルヤウニ思フ、即チ茲ニ大々的ナ  
討伐ヲ行ツテ、一切殲滅スベシト云フヤウ  
ナ意見ト、サウ云フヤウナ多額ノ費用ヲ費  
シテ討伐ヲヤツテモ決シテ效果ガ擧ラナイ  
カラ、寧ロ官廳工作ノ費用トシテ支出シタ  
方ガ宜シト云フヤウナ意見ト、大體二ツ  
ニ分レテ居ルヤウデアリマス、是ハ滿洲國  
ノ官吏ノ間ニモサウ云フ意見ヲ到ル處デ聞  
イテ居リマスシ、民間デモ聞イテ居リマス、  
一體ドツチノ方ガ正シイノカ、是ハ拓務省

ノ此ノ計畫ヲ遂行スル上ニ重大ナ點デアリ  
マスガ故ニ、サウ云フ點ニ付テ今少シク此  
ノ方針ヲハッキリサセテ戴キタイ、其ノ點  
ニ對シテ先ツ陸軍大臣ノ御意見ヲ承リタイ  
ト思ヒマス

○畑國務大臣 先ツ陸軍ニ關スルコトカラ  
御答致シマス、滿洲ノ匪賊ハ事變後ニ於キ  
マシテハ約三十萬居ツタノデアリマスガ、  
其ノ後我軍ノ不斷ノ掃蕩ニ依リマシテ、建  
國七年後ノ今日ニ於キマシテハ九七%勦滅  
致シマシテ、現在居ルモノハ約三萬人デア  
リマス、而モ此ノ三萬人モ三江省或ハ東邊  
道ノ山嶽地帯ニ居ルノデアリマシテ、此ノ  
地形ヲ利用シテ餘喘ヲ保ツテ居ル狀況デア  
リマス、是ハ先程モ御話ガアツタ通り、主  
トシテ共產匪ガ多イノデアリマス、我國ト  
致シマシテハ要スルニ滿洲ノ隅々マデ是等  
ノ匪賊ヲ掃蕩シテ、滿洲ノ人民ガ安心ヲシ  
テ五道樂土ヲ築シムト云フ方針カラ、今デ  
モ絶エズ掃蕩致シテ居リマスケレドモ、一  
面ニ於キマシテ關東軍ハ訓練ト云フ非常ニ  
重大ナル任務ヲ持ツテ居リマスカラ、出來  
ルダケ滿洲國側ニ掃蕩サセマスガ、併シ滿  
洲國軍ノ中心トナリ、又指導ノ地位ニアル  
所ノ日本軍ト致シマシテハ、配備ニ依ツテ  
之ヲ實行致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、  
陸軍關係ガ御答申上ゲマス

○小磯國務大臣 開拓團ノ事業ヲ進メテ行  
ク上ニ於キマシテ、匪賊ノ存在ハ尚ニ迷惑  
ナル問題デアリマシテ、一日モ速ニ其ノ肅  
清ヲ望ムデ居ル者デアリマス、只今陸軍大  
臣カラ說明ノアリマシタ通り、今日非常ニ  
數ハ少クナツテ居リマスケレドモ、只今色々  
御説モゴザイマシタガ、元來此ノ滿洲ノ匪  
賊ト申スモノハ、如何ナル方法ヲ講ズルモ其

ノ根絶ハ中々困難ナルモノデアルト思ヒマ  
ス、蓋シ年一タビ稔レバ匪賊ハ居リマセヌ、  
年一タビ凶年ニナリマスト良民モ亦匪賊ニ  
ナルノデアリマス、左様ナ情勢デアリマシ  
テ、根本的ニ驅逐掃蕩ヲ實行致シマシテモ  
其ノ次年ニハ必ズ起リマス、又之ヲ懐柔的  
ニ行キマシテモ、本當ノ懐柔ハ出來マセヌ、  
斯ウ云フヤウナ厄介ナ存在デアルト云フ眞  
相ヲ諒得スルコトガ必要デアルト考ヘマス、  
何レニ致シマシテモ滿洲國軍隊ハ近頃其ノ  
能率ガ非常ニ向上致シマシタケレドモ、唯  
滿洲國ノ警察官吏ハ、其ノ素質上往々ニシ  
テ匪賊ト聞取リガ行ハレマス(笑聲)サウ云  
フヤウナ次第デアルト云フコトヲ申上ゲテ  
置キタイト思ヒマス

○當吉委員 陸軍大臣ノ御答デハ、主トシ  
テ滿洲軍ニ之ヲヤラセテ相當成績ガ擧ツテ  
居ルト云フヤウナ御話デアリマスガ、匪賊  
討伐ニ關スル限リ私共ノ見解ハ異ツテ居  
ル、併シサウ云フコトヲ申上ゲテモ始マラ  
ヌカラ申上ゲマセヌガ、要スルニ日本軍ハ  
或ル大尉ガ指導シタ所ノ滿洲軍ノ討伐隊ガ全  
部武装解除サレテシマツテ、其ノ大尉ハ  
遂ニ自殺シタト云フ風ナ事件モアリ、又其  
ノ他幾多ノ實例ガゴザイマスガ、兎ニモ角  
ニモ是ハ重大問題デアリマスカラ、能クソ  
レ等ノ實例ヲ御考慮下サイマシテ、此ノ開  
拓國民ノ成績ヲ擧ゲル上ニ於テモ、又移住  
者ノ士氣ヲ沮喪セシメザル上カラ言ヒマシ  
テモ、此ノ問題ニ付テハ當局ニ於テ十分ノ  
注意ヲ拂ハレントコトヲ希望スルノデアリマ  
ス

更ニ所謂二十箇年百萬戸計畫、之ニ付テ  
先程ノ最上君ノ質問ニ對シ、拓相ハ極メテ  
樂觀的ノ御返事ヲサツタヤウデアリマス

マ、所ガ地方長官ト云フモノハ大體ニ於  
テ餘リ此ノ事業ヲ了解シナイ者ガ多イノ  
ハナイカト思フ、先年、拓務省デ御計畫ニナ  
ツタカドウカ知リマセヌガ、地方長官ヲ滿  
洲觀察ニヤルコトヲ御計畫ニナツタ、アレ  
ナドハ向フニ行ツテ見タイ見マス、大名  
行列デドウモ評判ガ悪い、ケレドモ、ソレ  
イト私ハ考ヘテ居ル、一體役所カラ家ニ歸  
リ、時ニ東京ニ來ルダケガ殆ドアノ人達ノ  
見聞ノ範圍デアル、本省ニ居リマス者ハ時々  
外地其ノ他ノ所ニ出張致シマスケレド  
モ、地方長官ナドハ殆ド動キハシナイノ  
見聞ガ非常ニ狭イ、其ノ縣ノ事ニバカリ意  
ヲ用ヒテ、自分一身ノ榮達ヲ圖リマス爲ニ、  
内務大臣ノ言フコトハ能ク聽カレドモ、  
拓務大臣ノ言フコトナドハ餘リ聽カナイ傾  
向ガアル、此ノ點ニ於テハアタリハ餘程頑  
張ツテ教育セラレマセヌト、折角地方ニ書  
類ヲ出シテモ、出シ放シテハ地方長官ハ甚  
ダ冷淡ノ態度ヲ執リマス、之ニ付テ何等カ  
御見解ガアリマスカ

更ニモウ一ツ、百萬戸ヲ二十箇年ニ移ス  
ト云フニハ相當ノ努力ガ要リマスガ、是モ  
唯漫然ト、是ダケハヤルノダト言ツテ頑張  
ツテ見タイ所デ始マラナイト思フ、事變ガ起  
ツテ移民ノ人數ガ少クナツタ、農村ノ景氣ガ  
好クナツテ來ルト行キ手ガナイカラ減ツタ  
ノダ、ソノ中譯バカリ拓務省ガ言ツテ居  
ルヤウデハ困ル、本當ニヤラナケレバナラ  
ヌ、之ヲヤルニ付テ考ヘナケレバナラ  
ヌコトガモウ一ツアル、ソレハ先日本委  
員會ニ於キマシテ三宅君ガ話シマシタヤウ  
ニ、日本ノ農村ニ於テハ農民ノ數ガ非  
常ニ多過ギルノデス、即チ適正農家ヲ拵ヘ

テ土地問題ニ手ヲ入レナケレバナラヌ、  
此ノ土地問題ニ付テハ色々言フコトガアリ  
マスガ、ソノ中コトヲ言フ時間ガアリマセ  
ヌ、兎ニ角土地問題ト見合セテ此ノ計畫  
ヲ御遂行ニナラヌト、滿洲ガ必要ダカラト  
云フ理由デケハ、唯ダ百萬戸ノ計畫ヲ御立  
テニナツテモ、之ニ對應スル所ノ農村ガソ  
コマデ進ムデ來ナケレバ何ニモナラヌノ  
デアリマス、此ノ點ニ對スル拓相ノ御意見ヲ  
承リタイト思ヒマス

○小磯國務大臣 先ツ以テ冒頭ニ、大臣ハ  
頗ル呑氣ダウト云フ御叱リヲ受ケマシタガ、  
呑氣ダウト云フ御判斷ニ依ツテ御叱リ  
ノ御厚意ハ感謝シマスガ、斷ジテ呑氣デナク  
ヤル積リデアリマスカラ御承テ願ヒマス

ソレカラ實地ニ即シマシタ色々御意見  
ヲ拜聴致シマスコトハ、私共非常ニ欣快ト  
スル所デアリマス、事實各地方ニ於ケル色々  
ノ人々ノ開拓農民ニ對スル認識ガ非常ニ低  
イト考ヘマス、現ニ今モ御話ノアリマシタ  
如ク、職業課アタリニ於テ最モ右カラ左ニ  
ヤリタイノハ産業方面ニ對スル努力ノ移動  
デアリマス、折角開拓民ノ爲ニ取ツテ置キ  
マシタ農民ガ、右カラ左ニボツ／＼抜キ去  
ラレルト云フデアリマス、左様ナ實情ニ鑑ミ  
マシテ、本年度カラハ一郡若クハ數郡毎ニ  
小隊ト云フヤウナモノヲ編制致シマシテ、  
マダ内原訓練所ニ入ルニ至ラザル是等ノ人々  
ヲ、其ノ郷土ニ於テ平素カラ訓練ニ努メ、  
之ニ依ツテ他ニ持チ去ラレナイヤウニスル  
コトニ依ツテ、其ノ數ノ減退ヲ防ギタイト  
考ヘテ居リマス

ソレカラ地方長官ノ滿洲觀察ニ付テハ、  
費用ノ關係モアリマスノデ、一度ニサウ澤  
山行ツテ戴ク譯ニハ參リマセヌガ、昨年カ







強ヒテソレヲ農業移民ニ組入レズ、唯農業移民トシテ確實ニ考ヘラレマスル場合ノ外、成ベク其ノ希望ニ從テ向フニ移住方ヲ取計ヒタイト考ヘテ居リマス、尤モ農業移民以外ノ移民問題ニ付テハ觀念トシテ只今取上テラレテ居ルニ止マリマシテ、其ノ方面ニ對スル具體的ノ研究ハ進ンデ居リマセズ、御説モアリマスカラ將來能ク検討ヲ遂ゲテ見タイト思ヒマス

○富吉委員 時間ガアリマセズノデ簡單ニ南洋ノ問題ニ付テ承リタイト思ヒマス、最上君ガ表南洋ノ問題ニ付テ伺ハレマシタ、私ハモウ其ノ點ニ付テ當局ノ抱懷セラレル點ガ能ク分リマシタガ、裏南洋即チ内南洋ニ委任統治領デアリマスガ、是ハ私ハ委任統治領ト云フ名前ハモウ廢シマシマシテ、依ツテ所謂戶籍問題トカ通商問題トカガ自然ニ解消セラレテ行クノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、先ツ今日内南洋ハ即チ南洋全體ニ進出スル我國南進政策ノ一ツノ基地デアル、此處ニ働イテ居ル諸君ハ政府ガイツ方針ヲ變ヘルカ分ラナイ、ソレハ人ノモノダカラ返サナケレバナラスカモ知レナイ、斯ウ云フコトニ依ツテ腰ノ入レエ合ガ非常ニ違フト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ今度所謂紀元二千六百年記念ノ御事業トシテ、巴拉オニ官幣大社ヲ御造營ニ相成ルコトガ御發表ニナリマシタコトハ、非常ニ向フニ居リマス者ガ喜ンデ居リ、氣強ク考ヘテアレニ依ツテ初メテ吾々ノ基礎ガ決ツタト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマスガ、是等ヲ照シ合セテ最早此ノ名前ナドハ廢セラレタガ宜イノデハナイカ、ソレトモヤハリ

○小磯國務大臣 第一ハ委任統治領ノ問題デアリマスガ、拓務省デハ委任統治領ナドト云フヤウナ名ハ使ツテ居リマセズ、南洋廳ト云フ名ヲ使ツテ居リマス、委任統治トハ外交上ノ一ツノ通用語デアリマスノデ、私ハ名稱デアリナイ信ジテ居リマス

○富吉委員 獨逸ノ關係ガアリマスカラ、氣兼ねテソレヲ廢セラレナイノデアルカ、此ノ點ニ付テ承リタイノデアリマス

○岡田政府委員 富吉君ノ御質問中、外米ノ買付ノ點ニ關シマシテ御答シタイト思ヒマス、外米ハ何處カラドレ程ノ量ヲ、幾許程買ツタカ云々ノ御尋デアツタヤウデアリマス、御承知ノ通り外米ノ買付ニ付キマシテハ、先キ〳〵買付其ノ他ノ事情モアリマスノデ、洵ニ遺憾ナコトデアリマスガ、事ノ仔細ヲ此處ニ申上ゲルコトハ差控ヘタイト思フノデアリマシテ、御承知願ツテ置キタイト思ヒマス

○富吉委員 ソレハ諒承致シマシタ、併シ是ハ相當重大ノ問題ガ色々絡ンデ來ルト思フノデアリマス、デスカラ所謂一時ヲ糊塗シテ、安ッポイ安心ヲ得ルト云フヤウナ態度デアツテハ斷ジテナラナイ、食糧問題ハ實ニ眞劍デアル、綿ガ足ラナイ、鐵ガ足ラナイト云フ時ノ國民ノ心理ト、食フ物ガナイト云フ時ノ心理トハ極メテ違フノデアリマスカラ、其ノ點ヲ考慮サレマシテ、本當ニ買ツテ來テ、本當ニ安心サセナケレバ、重大ノ問題ガ起リマスソト云フコトヲ警告致シテ、私ハ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○石坂委員 長代理 一寸皆様ニ申上ゲマスガ、五時カラ本會議議デ、秘密會ガアルノデアリマス、其ノ通知ノ來ルマデ會議ヲ續行致シマス—— 朴春琴君

○朴委員 私人我國ノ東亞新秩序建設ニ當リマシテ、外地ノ政治機構ヲ改革スル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ理由ヲ申上ゲマシテ、各大臣ノ方ニ御答シテ

シナ人ガアツタカト非常ニ肩身ガ廣イ思ヒヲ致シマシタ、私ハ當時ノ軍司令官小磯閣下ヲ訪問シタ時、朴春琴君大和民族ノ魂ハ半島人ニモアルト云フヲ聽キマシテ、非常ニ愉快ニ感ジマシタ、所ガ小磯閣下モ言フ通り、成程敵ニ擊テレテ登レテ、命ガナクナルマデハ敵ニ向ツテ、最後ニ死ス時ハ、天皇陛下萬歳ト言ツテ死ンダト云フ志願兵ガアルナラバ、大和民族ノ魂ハ半島人ニモアルト云フコトハ是ハ間違ヒナイ、ソコデ私ハモウ一ツ心配シテ、親ニ會ツテ一偏聽カウ、昔ノ朝鮮式ニ、息子ガ亡クナツタカラ哀號デモ言ツテ居ルカト思ツテ、實ハ訪ネテ行ツタ、行ツテ見ルト立派ナコトヲ言ツテ居ル、私ノ息子ガ大日本帝國ノ爲ニ役ニ立ツタト云フコトヲ若シモ皆サンガ考ヘテ呉レルナラバ、私ノ家ノ誇デアル名譽デアルト親ガ言ツテ居リマシタカラ、私ハ涙ヲ零シテ、有難ウゴザイマスと言ツテ歸ツテ來タコトガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、半島ノ政治ハ改革シナクチヤナナイ點ガ澤山アル、是ハ恐ラク小磯閣下モ能ク御承知デアラウト思ヒマス、此ノ半島ノ政治ノ改革ト云フコトハ色々アリマスケレドモ、出來ナイ要求ヲシタ所ガ是ハ結局出來ナイコトハ出來ナイ、ケレドモ出來ルベキコトハヤレト私ガ言フノハ、一日モ早ク日本人ニナラシメルコトデアル、例ヘバ今度モ御承知ノ通り朝鮮ノ民法令ガ改正サレテ、サウシテ朝鮮ノ方々ハ殆ド日本人ノ名字ニナリタイ、例ヘバ金ナラバ下ニ子ヲ附ケテ金子トカ、森ヲ附ケテ金森トカ、マア是ハ出鱈目デアリマスケレドモ、兎ニ角サウ云フ色色ナコトヲシテ日本人ニナリタイト云フコトデ、此ノ頃朝鮮ノ役場ガ忙ガシクテ困ツ

テ居ル、ソコデ或ル内地ノ馬鹿ガアツテ(笑聲)朝鮮人ガ日本人ニナルト云フノデ、アンナ民法令ヲ改正シタノハ間違ツテ居ル、詰リ大和民族ト云フモノハ正シクテ、朝鮮人ノヤウナ惡イ奴ヲ日本人ニスルコトハ怪シカラスト言ツテ居ル、中ニハ斯ウ云フ怪シカラスト言ツテ居ル、併シ私共ハ此ノ名字創氏ハ善イコトト思ツテ居ル、一日モ早ク日本人ニナラシメル、ソコデモウ一ツハ、私ハ後内閣總理大臣ガ參リマシタナラバ申上ゲタイガ、思ヒ切ツテヤツテ貴ヒタイト思フコトハ半島ニ勸選議員ヲ推薦スルコトヲ私ハ御願ヒシタイト思フ、例ヘバ今ノ半島デハ半島生レタ日本人ハ勸選議員ガタツタ一人居ルノデアリマス、前カラ私共ハ屢々衆議院議員ト云フモノハ國民ガ投票シナケレバナラシナイノデアル、併シ勸選議員ガハ歴代内閣ガ推薦スレバ出來ルコトデアルカ、是ハ日本ノ所謂大陸ノ立場、大陸ヘノ楔、殊ニ外地ニ對スル關係カラ二人カ三人位ハシナケレバイケナイ、ソレガ日本人ノ看板デアル、日本ノ世界ニ向ツテ一ツノ言ヒ分モ出來ル、ソレデアルカラヤツテ貴フコトヲ屢々要求シタ結果、兎ニ角朝鮮、臺灣ノ人ハ勸選議員ト云フモノガ一人ツツ出マシタ、私ハ本當ニ日本ガ東亞ノ新秩序建設ニ邁進シ、又亞細亞民族ノ柱トナツテ、亞細亞民族ノ師トナルベキ日本人ノ立場デアルガ故ニ歴代内閣ガ五六人、或ハ七八人ノ勸選議員ト云フモノヲ推薦シテ居リマスガ、今日ノ日本ノ立場カラ言ヘバ、私ハ所謂外地ニ居ラレル所ノ朝鮮生レタ日本人、又内地ニ生レタ日本人朝鮮人ヘ行ツテ居ル人ガ非常ニ危險ヲ冒シテ、官民一體トナツテ彼ノ地デ兎ニ角成功シタ人

○小磯國務大臣 朝鮮ニ對スル統治ノ根幹ハ一視同仁ノ御聖旨ニ基イテ忠良ナル臣民ヲ指導教育シ、内鮮一體ノ境地ニ於テ八紘一宇ノ實現ニ邁進スルニ在ルト考ヘマス、左様ナ考カラ考察致シマスレバ私共ノ希望スル所ハ半島ニ於ケル同胞ハ先以テ内地ニ於ケル日本人、即チ自分モ本當ニ日本人デアルト云フ境地ニ於テ、成ベク速ニ眞ノ日本精神ヲ把握スルト云フコトガ必要ト存ジマス、現在ノ南總督方内鮮一體ト云フコトヲ強調シ、我等ハ皇國臣民ナリト云フコトヲ叫ビシテ居ルノモ蓋シ其處ニ在ルト考ヘマスノデ、拓務省ト致シマシテモ、南總督ノ此ノ爲政ニ對シテハ、全幅ノ賛意ヲ表シテ居ル譯デアリマス

○朴委員 拓務大臣ノ申サレルコトハ御承知デアリマスガ、併シ私ノ御尋スルコトハ臺灣ニ於ケル内地人、朝鮮ニ於ケル内地人ヲ取混ゼテ十人位ノ勸選議員ヲ内閣ガ推薦スルト云フコトハドウデアルカト云フコトヲ拓務大臣ニ御尋シタ譯デス、ソレカラ又

○小磯國務大臣 現ニ半島ノ同胞モ然ルベキト思フ人ヲ豫テヨリ貴族院議員ニ勸選セラレテ居ルコトハ朴君モ御承知ノコトト考ヘマス、今後先刻申上ゲマシタヤウナ風ニ、民度ガ向上シ、總テガ例外ナク皇國臣民デアルト云フコトニナリマスナラバ、平等ナル立場ニ於テ無論衆議院議員ニモ、貴族院議員ニモ何等ノ隔リナクナリ得ル境地ニ到達スルモノト期待シテ居リマス

○朴委員 ソレカラモウ一ツ私ハ改革シナケレバナラスト思フコトハ、中樞院參議制度デアリマス、是ハ拓務大臣御承知ノ通り、中樞院參議制度ト云フモノハ私ハ昔カラ不滿ヲ持ツテ居ル、總督府ハ之ヲ諮問機關トシテ置イテアルケレドモ、何モ役ニ立タナイ、ソコデ私ハ昔カラ斯ウシタモノハ「ルンペン」ヲ效スルヤウナ氣持ガスルカラ、是ハヤツテハイカスト云フ考ヲ持ツテ居ル、ソコデ色々意見ヲ聽キマスト云フト、兎ニ之ヲナクストカ、變ヘルトカ云フコトハ非常ニ難カシイト言フ、然ラバ南閣下ガ内鮮一體ヲ強調スルナラバ、中樞院參議ノ中ニ何ガ故ニ内地人ト云フモノヲ五人ト六人入レナイカ、私ハソレヲ問題トシタイ、此ノ點ニ對シテ中樞院參議制度ハ急ニ之ヲ改革スルコトハ出來ナイト云フコトデアルトスルナラバ、内地人ヲ此ノ中樞院參議ノ中ニ入レル意思ガアルカドウカ、私ハ内鮮一體カラ言ヘバ、必ず必要ト思フ、内地人ハ隨分之二ハ不平ヲ持ツテ居ル、此ノ



點ニ付イテ拓務大臣ノ御意見ヲ承リタイノ  
デアリマス  
○小磯國務大臣 綜合行政ヲ布イテ居リマ  
ス朝鮮、而モ現在ノ朝鮮ニ於テ果シテ中樞  
院制度ノ存続ヲ必要デアルヤ否ヤ、若シ必  
要トスルナラバ其ノ内容ヲ如何ニ徹底スベ  
キヤト云フ問題ニ付キマシテハ、相當重要  
性ヲ持ツテモ居リマスルシ、又朝鮮統治ノ  
衝ニ當ツテ居リマスル朝鮮總督ノ意向モア  
ラウト思ヒマスルノデ、將來篤ト研究シタ  
イト思ヒマス

○朴委員 陸軍大臣方出席サレテ居リマス  
カラ、陸軍大臣ニ質問致シタイ思ヒマス、  
東亞ノ新秩序建設ノ問題、尙ホ其ノ他ニモ  
色々アリマスケレドモ、陸軍大臣トシテハ  
一番責任ノ重イ役目ヲ背負ツテ居ルノデハ  
ナイカト私ハ思フノデアリマス、所ガ私ハ  
此ノ前ノ内閣ノ板垣陸軍大臣ニ對シテ屢註  
文シタコトガアルノデアリマス、第一ニ陸  
軍大臣ニ承リタイコトハ、半島生レノ志願  
兵ガ非常ニ成績ガ好イト云フコトハ、大臣  
モ御承知デアルト思ヒマスガ、是ハ當リ前  
ノコトデアルケレドモ、半島ノ志願兵トシ  
テハ今度八万ト云フ志願者ガアルノデアリ  
マス、其ノ中デ採用サレル者ハ約三千トカ  
云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、私  
ハ此ノ半島人ニ對スル志願兵ヲモツト餘計  
採ル必要ガアルノデハナイカト思フノデア  
リマス、之ニ對シテ陸軍大臣ハドウ御考  
ナリマスカ

○畑國務大臣 半島ノ志願兵ハ、今御質問  
ノアリマシタ通り成績ガ尚ニ宜シウゴザイ  
マシテ、又素質モ宜シウゴザイマス、殊ニ  
此ノ度戰地ニ於キマシテハ活動目覺シイモ  
ノガアリマシテ、御承知ノ通り既ニ或者ハ  
ナリマス

殊動ノ恩典ニ浴シタ者モアルノデアリマス、  
斯ウ云フ實績ニ鑑ミマシテ、陸軍トシテシマ  
シテハ、狀況ノ許ス範圍ニ於テ、逐次增加採  
用ノ方針ヲ執ツテ居リマス、尙又只今ノ御  
希望ノヤウニ、實績ニ微シマシテ努メテ御  
希望ニ副フヤウニ努メタイト思ツテ居リマ  
ス

○石坂委員長代理 朴君、一寸御相談致シ  
マス、五時二十分ニ本會議ニ秘密會ガアリ  
マスカラ、ソレマデニアタカノ論旨ヲ進メ  
テ戴キマス、其ノアトハ又開會ノ際ニ陳述  
シテ戴キマスカラ、其ノ積リテ居リマス  
○朴委員 ソレカラモウ一ツ陸軍大臣ニ承  
リタイコトハ、私ハ以前カラ半島ニ對シテ  
尙ホ二箇師團位ノ設置問題ヲ、陸軍大臣  
對シテ御承知シタコトガアル、事ハ重大  
デアリマス、私共ハ此ノ支那事變ニ對シテ  
痛切ニ感じテ居ルコトハ、兎ニ角半島ニ二  
箇師團カ、三箇師團ヲ設置シテ居ツタナラ  
バ、事ガアツタ場合ハ輸送モ速カデ、事  
ガ始マレバ直グ出來ル、所ガ内地カラ向  
ニ行クト云フコトハ、相當時間ガ掛カル、  
陸軍大臣御承知ノ通り、ドウシテモ半島ハ  
日本ノ兵站基地デアツテ、人間デ言ヘバ半  
島ハ所謂腹デナケレバナラヌト思フ、此ノ  
腹ノ所ニ私ハ二箇師團ヲ三箇師團ハ設置ス  
ル必要ガアルト思ヒマスガ、陸軍大臣ハド  
ウ考ヘテ居リマスカ

○畑國務大臣 是ハ陸軍ニ於キマシテモ憤  
重ニ檢討致シテ居リマス  
○朴委員 陸軍大臣ノ答辯ハ要リマセ  
ス、唯私ノ希望ガテラ申上ゲマス、私ハ此  
ノ前モ自分ノ意見ヲ板垣陸軍大臣ニ申上ゲ  
マシタ、所ガ或ル時ニ、半島ニ生レタ人間

ガ日本人ニナリ得ルカドウカト云フヤウナ  
コトヲ尋ネタ人ガアル、私ハ絕對ニ日本人  
ニナリ得ル、ソレカラ支那人ハ日支親善ガ  
出來ルカドウカ、日支親善ガ出來ル、斯  
ウ云フコトヲ私ハ答ヘマシタ、所ガ閣下  
ノ知ツテ居ル通り、半島人ガ立派ニ日  
本人ニナリ得ルト云フコトハ、日本人ガ  
他ノ國ノ人ニナレト云フコトモハナレツコ  
トナ、日本ノ國體ガ違フ、半島ニ生レ  
タ人達ハ御承知ノ通りデアリマス、吾々  
ハ良イ親ヲ戴イテ居ル積リテ茲ニ成張ツテ  
居ルノデアルカラ、日本人ニナルコトハ光  
榮トシテ居ル、是ハナリ得ル、ソレカラ又  
支那人ノ如キモ、何モ支那人ガ將介石デナ  
ケレバナラヌト云フコトハ絕對ニアリハ  
シナイ、ソコデ此ノ將介石ヨリ以上ニ日本  
人ガ愛シテヤルナラバ、直ニ日本人ニ從  
フ、之ニハ日本人ノ所謂優越觀念ヲ離レ  
コトガ必要デアル、所ガ皆サウデハナイケ  
レドモ、中ニハ酷イ人ガアル、國ノ威力ヲ以  
テ此ノ「チヤンコロ」此「ヨボ」ト云フヤウ  
ナコトヲ言フ、ソノナコトヲ言フテ誰ガ日  
本人ニナレト云フ所デナレバ、誰ガ日  
支親善ヲスルカ、デアルカラシテ今日ノ日  
本人ノ行キ方ニ依ツテハ、彼等ハ必ズ日支  
親善ヲスル、支那人ノ民衆タル者ハ閣下ノ號  
令通り、右向ケト言ヘバ右、左向ケト言  
ハ左、ドウシテモ行ク、ソレヲ良民ノ汗ヲ  
吸ツテ生活スルヤウナ惡イ奴ガアル、ア  
ア云フ惡イ奴ハ徹底的ニ懲メルモノハ懲メ  
テヤル、サウシテ反面ニ本當ニ愛スベキ者  
ハ、徹底的ニ愛サナケレバイケナイ、ソコ  
デ今日皇軍モ澤山行ツテ居リマス、閣下  
ノ部下モ澤山行ツテ居リマスガ、此ノ優越  
觀念ト云フモノヲ離レナイト云フト、私ハ

達方幾ラ送ツテモ、新政權ノ人達ノ日本ト  
提携シタイト云フアア云フ氣持、アア云フ  
氣持ヲ持ツテ出ルト云フコトニ對シテハ是  
ハ徹底的ニ日本ガ愛シ、彼等ニ對シテハ本  
當ノ愛ノ力デ肚ノ中カラ打込ムト云フコト  
ヲ、陸軍大臣ハ所謂出先ノ人達ニ能ク申上  
ゲテ戴キタイト私ハ思フノデアリマス  
ソレカラ次ニ海軍大臣デアリマスガ、志  
願兵制度ヲ制定シテ、只今ハ勿論陸軍ノ  
ミデアリマスガ、海軍ニモ將來適用スル意  
思ガアルカドウカト云フコトヲ、海軍大臣  
ニ承リタイ

○吉田(善)國務大臣 陸軍ト同様ニ志願兵  
ヲ採ルト云フ御趣旨ニハ一向異存アリマセヌ、  
將來ハサウ致シタイ思ツテ居リマスガ今  
日ノ狀況デハ、主トシテ採用員數ノ關係カラ  
マダ其ノ時期ニ達シテ居リマセヌ、現ニ朝  
鮮ニ居リ、内地カラ行ツテアソコニ居住シ  
テ居ル者ニ對シテモ朝鮮デハ募集致シテ居  
リマセヌ、趣意ハ尚ニ結構ト存ジテ居リ  
マス

○朴委員 ソレカラ私ハ内務大臣ニ一ツ承  
リタイト思ヒマス、拓務大臣モ能ク知ツテ居  
ル通り、最近半島ハ數十年ト云ヒマスカ、先  
ヅ六七十年ナル人モ知ラヌト云フ位ニ、ヒ  
ドイ早戴デアツタト云フコトハ事實デアリ  
マス、ソコデ此ノ早戴救済ノ對策ニ付テハ、  
後デ拓務大臣ニ聽キタイト思ヒマスガ、此  
ノ早戴デ非常ニ損害ヲ受ケタコトハ御承知  
ノ通りデアリマス、私ハ昨年半島、或ハ滿  
洲方面ヲ視察シテ、ソレカラ内地ヘ歸リマ  
シタ所ガ、半島ニ於テハ實際此ノ非常時ト  
云フコトヲ認識シテ居ル、ソレカラ又實際  
徒後ニ於テ活氣ガアル、總テノ方面ニ互ツ  
テ全ク能クヤツテ居ル、ソコデ半島ノ食糧

問題デアリマス、米ガナイ、米ガナイト云  
トフコトデ、私京城ノ米屋ニ行ツタ所ガ、  
ドウモ今日米云フモノ、ガ一ツモ來ナイカ  
ラ、賣ル譯ニ行カヌト云フノデ、スツタモ  
ンダシテ居ル間ニ、私ハ或處カラ漸ク米ニ  
依リ買フコトガ出來タノデアリマスガ、半  
島到ル處ニ行キマシテモ、八割マデハ先ヅ  
粟トカ黍トカ黍トカ云フモノデ、後ニ割ト  
云フ位ノモノハ米トハ稱シテ居ルケレド  
モ、初ガ半分混ツテ居ル、ソレデスカラ御飯  
ヲ炊イテモバラ／＼シテ眞黒デアル、兎ニ  
角米ノ粒ヲ探シテモ見當ラナイ位デス、然  
ルニ之ニ對シテ半島人ハ不平ガアルカト云  
フト、一ツモ不平ハアリマセヌ、サウシテ  
三度ノ飯ヲ二度ニシテモ、此ノ事變ガ濟ム  
マデハ已ムラ得ナイダラウ、吾々ハ共ニ我  
慢ヲシテ行カウト云フコトデ、非常ニ官民  
一體トナリ、同じ歩調ヲ取ツテヤツテ居ル、  
然ルニ内地ニ歸ツテ見ルト眞白イ御飯ヲ食  
ベテ居ルカラ、私ハビツクリシタ、ソレデ  
内地デハ皆コンナモノヲ食ツテ居ルノカト  
聽イタラ、サウダト云フコトデアツタ、併  
シ是ハ私カラ見ルト、政府バカリヲ責メル  
コトハ出來ヌ、本當ニ東亞ノ新秩序建設、所  
謂日本ガ右向ケカ左向ケカト云フ國家ノ一  
大重大問題ニ際會シテ居ル此ノ際ニ於テ  
ハ、私ハ先ヅ日本人ノ心持ヲ變ヘナケレバ  
ナラナイト思フ、ソコデ今ハ其ノ白米ヲ食  
ヒナガラ、此ノ間モ此處ニ居タ人ガ、芝居  
ハ満員ダ、翌日ノ相撲ニ今夜カラ入り込ム  
ト云フコトヲスル、コンナコトヲ私共ガ見  
タ時ニ、コチラノ方デ生レタ人ガ、半島ノ  
新シイ民族ヲ指導スベキ立場ニアルニ拘ラ  
ズ、寧ろ此ノ事變ノ爲ニハ半島ノ方ガ兎角  
内地ヨリ活氣ガアリ、愛國心ガ強イト云フ

コトガ、ハツキリシテ居ルト云フコトヲ私  
ハ申上ゲテ置キマス、内務大臣ハ全國ノ人  
ガドウ云フ生活ヲシテ居ルカ、ソレヲ私ニ  
聽カシテ貰ヒタイ

○兒玉國務大臣 一寸御尋シマスガ、結論  
ノ所ガハツキリシマセヌノデ、モウ一度  
ウツ...

○朴委員 結論ハ内地ノ一般ノ人ガドウ云  
フ生活ヲシテ居ルカト云フコトヲ、何ツテ  
見タイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 半島ニ居リマスル民人ガ  
愛國心ニ燃エテ居ルト云フコトハ、朴委員君  
ノ仰シヤツタ通り、私モサウ考ヘテ居リマ  
スガ、ソレニモ劣ラズ、我が内地ニ於キマ  
シテハ、此ノ時局ヲ認識シテ、如何ナル困  
難ヲモ排シテ、總力ヲ擧ゲテ此ノ時難ヲ克  
服シヨウト云フ意氣ニ於テハ、決シテ半島  
ニ劣ルコトハナイト考ヘテ居リマス

○朴委員 内務大臣ハマダ日方淺イシ、是  
カラドン／＼其ノ方面ヲ取締ツテ貰ヒタ  
イ、色々物資ノ困難ナ所モアリマス、ケレ  
ドモ閣下ハ朝鮮ニ因縁深イ人デアラガ、  
半島ノ實際ニ當ツテ見ルトモ能ク生活  
ヲシテ居リマス、ソコデ農林大臣ハ見エナ  
イカラ、商工大臣ニ一ツ承リタイト思マ、  
私ハ商工大臣ニ細カカ本格的ニ聞キタイト  
思ツテ居ツタガ、時間ガアリマセヌ、併シ  
第一番ニ今ニ産業業者ハ非常ニ困ツテ居  
ル、商工大臣ハ實地家デアリマスカラ、能  
ク經驗ガ積ンデ居ルト私ハ思フガ、昭和十  
三年五月カラ一瓦ニ對シ、三圓八十五錢ト  
云フ金ノ買上ゲガ決ツテ居リマスガ、私ハ  
後デ大藏當局デモ宜イカラ聽キタイガ、今  
藏省ガ何トカヤカマシイヤウナ、吾々ノヤ

佛作ツテ現ヲ入レナイヤウナコトニ結局ナ  
ルト思フノデス、ソレカラモウ一ツ陸軍大  
臣ニ參考ノ爲ニ私ガ申上ゲタイコトハ、東三  
省ニ於ケル張作霖ト云フ者ハ元ヨリ排日デ  
ハアリマセヌ、日本ハ東三省ニ於ケル張作  
霖ニ向ツテ何ト云フツタ、張作霖デナケレバ  
ナラヌト云フ位マデ言ツテ、彼ガ日本ノ力  
ニ依ツテ支那ノ一馬賊カラ元帥マデニナツ  
タコトハ事實デアル、然ルニ此奴ガ日本ヲ  
欺イテ日本ニ向フト云フコトハ、勿論國民  
性ガ惡イ點ガアルケレドモ、私ハ日本人モ  
反面ニハ惡イ點ガ澤山アルト思フ、軍事顧  
問アタリハ隨分酷イ所ガアツタヤウデス、  
ソレデアリマスカラ今度ハ滿洲ノ如キモ、  
或ハ又今度ノ汪兆銘氏ノ如キモ、本當ニ此ノ  
日本ノ大和魂ヲ以テヤラナケレバイケナイ  
ト思フ、今マデ日本ガ失敗シテ居ルコトニ  
ハ私ハ二ツノ原因ガアルト思フ、喉元通レ  
バ熱サヲ知ラナイト云フコトノ政治ガ多イ、  
元々國家ノ爲ニ働イタ國ノ功勞者モ、今出  
テ來レバ片方デハ、アレハ國賊ダ、アレハ  
賣國奴ダト云フコトニモナル、何レニシテ  
モ日本ト提携シテ出テ來ル人間ニ對シテ  
ハ、本當ニ温カイ手ヲ以テ提携シ、サウシ  
テアレガ萬々ノコトガアツタナラバ、ア  
レ等ノ家族マデ日本ガ引取ツテ養ツテヤル  
ト云フ位ノ氣持ヲ以テ、ソレカラ何レノ人  
ガ選ツテモ日本ニ對スル功勞者ニ對シテハ、  
何時マデモアレ等ノ身邊ノ面倒ヲ見テヤル  
ト云フ位ノコトガナクテハイケナイト思フ、  
私共ハ痛切ニサウ云フ苦イ經驗ヲ嘗メテ居  
ル、所ガ人間ハ骨董品ト違ツテ、骨董品ハ  
古ケレバ古イ程値打ガ出ルガ、人間ハ人氣  
ガ古ケレバ捨テラレト云フ難ガアルノデア  
ルカラ、ドウシテモ今度ハ日本人ノ中ノ人

ウナ無學デハ分ラナイ、實際ヤヤコシイヤ  
ウナ變ナヤウナ(笑聲)割増金交付制度ト云  
フヤウナモノヲ作ツテ居ル、此ノ割増金ハ  
能ク見ルト弊害ダラケダ、所ガ昭和十三年  
ヲ基準トシテ、今マデ例ヘバ一ツ割増金  
十圓出タモノニハヤラナイ、十一圓即チ一  
圓デモ二圓デモ餘計産出シタ人ニ對シテ、  
二圓以下一圓マデノ所謂割増金ヲヤル、斯  
ウ云フコトガ、是ハヤヤコシクテ分ラヌ、  
ソコデ斯ウ云フ弊害ガアルト云フコトヲ、  
商工大臣能ク考ヘテ戴キタイ、此ノ割増金  
ヲ貰フ爲ニ乙カラ出タモノヲ、甲ト云フコ  
トニ勝手ニシテ、ソレガ例ヘバ十圓ト云フ  
コトニナルト、甲ノ十圓ト合セテ二十圓  
デ、十圓ノ割増金ガ貰ヘルト云フコトニナ  
ル、併シ中ニハ鑛山ヲヤツテ居ナイ人ハ、  
今澤山鑛石ガ坑内ニアルケレドモ、其ノ  
鑛石ヲ賣上ゲシタラ出ス爲ニ隱シテ居ル  
ト云フコトヲ言フガ、是ハ全ク素人ノ話デ  
アル、例ヘバ十三年カラ一瓦ニ對シ三  
圓八十五錢ト決メタコトハ、其ノ當時  
ノ物價ト今日ノ物價ヲ比レバ、今日ハ五  
十割以上高クナツテ居ル、ソレカラ政府ガ  
關取引ノ取締トカ何トカ言ツテモ、關相場  
ト云フモノハ、餘程デナイト取捨ルコトハ  
出來ナイ、ナゼカト云フト、賣ル人ヨリ先  
ヅ關取引デモ買ヒタイト云フ方ガ多イ、例  
ヘバ十二封度ノ「レール」ヲ、私共ハ千六百五  
十圓買ツタガ今ハ一万八千圓デ、ソレデ  
モ今日賣ツテ呉レバ買ヒタイト云フ人ガ  
幾ラデモアル、サウシテ勞働賃金ハドウカ  
ト云フ、殆ド倍以上ニナツテ居ル、コンナ  
コトヲセズシテ、金ノ買上ゲハ、國際相場  
ヲ基準トシテ、ソレカラ獎勵金ヲ與フベキ  
モノヲ、寧ろ國際相場ヨリ一圓何ガシ安ク



日本銀行が買ツテ、サウシテ産金業者ヲイ  
チメルト云フコトハ、日本銀行ハマサカ高  
利貸チヤアリマス、國際貿易ニハ金ハ  
ナクテハナラヌモノデ、是ガナト品物ヲ  
買フコトガ出来ナイ、ソレヲ國際相場ヨリ  
モ二三位安クシテ、我國ニ出ル金ガ滿洲ニ  
逃ゲルヤウニシテ置ク、ソレハ松村氏ガ話  
シタ通りデアル、是ハ事實タ、所ガ夏ニナ  
ルト多少取給ガ出来ルガ冬ニナツテ取給  
ガ出来ハシナイ、鴨綠江ガ凍ツテシマヘバ  
何處ヘデモ渡ツテシマフ、デスカラ何デッ  
シナ不便ナコトヲシテ、此ノ産金業者ヲ大  
藏省ハイヂメルカ、サウバリ譯ガ分ラナイ  
段々聞イテ見ルト大藏省ノ何トカ次官ト  
カ、大野トカ云フ人間ニ、(笑聲)此ノ前石渡  
大藏大臣ガ、是ハドウシテモシナクチヤナ  
ラスト云フコトヲ言ウタラ、アレハドウシ  
テモシナイト云フ、所ガアレハ机ノ上ノコ  
トヲシテ居ツテモ、世ノ中ノコトハ知ラナ  
イ、アナタハ世ノ中ノコトヲ能ク知ツテ居  
ルノダカラ、日本ニ於テドウシテモナクチ  
ヤナラス此ノ金ノ問題ニ付テハ、今度ハ大  
藏省ニ商工省ガ既メラレナイデ、大藏省ハ  
自分ノ金ヲ持ツテ居ル譯デハナイノダカラ  
ラ、強ク頭張ツテ戴キタイ、此ノ問題ヲア  
ナタハドウ考ヘテ居ルカ、御答辯ヲ願ヒタ  
イ

午後七時三十分閉議

○石坂委員長代理 休館前ニ引續イテ會議  
ヲ開キマス、此ノ際御報告ヲ致スコトガゴ  
ザイマス、先程本會議ニ於テ御聴取ニナリ  
マシタ秘密會ノ結果ニ付テ質問ノアル者ハ、  
委員會ニ移シテ御聴取スルト云フコトニ、  
各派交渉會デ決定ニナツタノデアリマス、  
ソレデ共ノ質問ハ分科ヲ終リマシテ、重ネ  
テ總會ニ移リマシタル二十一日ニ通告ヲシ  
テ戴イテ、適當ナ時間ニ之ヲ行フ、サウ云  
フコトニ御諒承ヲ仰ギタイ  
尙ホ重ネテ此ノ際御報告スルコトガゴザ  
イマス、委員長ニ御委任ニナリマシタ  
分科ノ區分、主査ノ選定ニ付キマシテハ、  
左ノ通り御承知ヲ願ヒタイと思ヒマス

- 第一分科(外務省及拓務省所管) 主査 松尾 孝之君
- 第二分科(内務省及司法省所管) 主査 金井 正夫君
- 第三分科(大藏省所管) 主査 矢野庄太郎君
- 第四分科(陸軍省及海軍省所管) 主査 末松借一郎君
- 第五分科(文部省及厚生省所管) 主査 平川松太郎君
- 第六分科(農林省所管) 主査 石坂 養平君
- 第七分科(商工省所管) 主査 原 夫次郎君
- 第八分科(選信省及鐵道省所管) 主査 増永 元也君

斯様ニ御願ヒ致シマス、尙ホ各分科ノ所  
屬委員及ビ兼務委員ハ、公報ヲ以テ御報告  
致スコトニ取計ラヒマス  
尙ホ此ノ際一言申上ゲマス、今回ハ審査  
ノ都合上八分科ヲ設ケマシタガ、是ハ今期  
議會限リノ取扱御承知ヲ願ヒテ置キマス、  
先程ノ朴君ノ御質問ニ對スル答辯ヲ、此ノ  
際商工大臣ヨリ致サレマス——商工大臣  
○藤原國務大臣 産金獎勵ニ對スル朴君ノ  
御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、此ノ只今ノ獎  
勵法ノ不備不徹底ナコトニ付キマシテ、實  
情ニ即シテ詳細ナル御意見ノ御陳述ガゴザ  
イマシテ、私共ハ極メテ敬意ヲ以テ謹聴致  
シマシタ、御説ハ如何ニモ御尤ト存ジマス  
カラ、政府ニ於キマシテハ此ノ産金獎勵法  
ヲ、再ビ檢討致シマシテ、成ベク御満足ノ  
行クヤウナ案ヲ制定致シタイト存ジテ居リ  
マス  
〔石坂委員長代理退席、中村委員長代理  
著席〕

○朴委員 時間ガナイノデアリマスカラ、  
ドウゾ商工大臣然ルベクヤツテ貰ヒタイト  
思ヒマス、日本産金振興株式會社ハアレハ  
本社ハ東京ニアツテ、支社ガ朝鮮ニアリマ  
スカラ、ドウモ御承知ノ通り五箇年計畫ヲ朝  
鮮ハ七十五萬、内地ハ五十萬ト云フ計畫デ  
今進行シテ居リマスガ、産金會社ニ付テハ  
アチラノ事情ヲ知ラナイ人ガ本社ニ居ル關  
係上、非常ニヤリニクイト云フヤウナ聲ガ  
多クアルノデアリマスカラ、此ノ際商工大  
臣ハ朝鮮ノ支社ヲ完全ニ獨立サス意思ガア  
ルカナイカ承リタイト思フノデアリマス  
○藤原國務大臣 能ク取調ベマシテ適當ニ  
處置致シタイと思ヒマス

○朴委員 私人物動計畫ニ付テ申上ゲタイ  
ト云フ日本ノ人口過剰ニナツテ來レバ、ド  
ウシテモ日本人ノ食糧ト云フモノハ結局私  
ハ朝鮮、臺灣ニ頼ラナケレバナラヌト思フ、  
ソレカラ朝鮮、臺灣ノ從來ノ所謂産米増殖  
計畫ト云フモノヲ復活サシテ、從來ト同ジヤウ  
ナ補助ヤルナラバ、一二年間ハ困ルカモ  
知レナイケレドモ、先ヅ私ハ日本ノ食糧問  
題ハ心配ナイト思フ、作レベキモノヲ作ラ  
サズシテ、少シドウカナルト、直グ外地ヲ  
抑ヘ付ケル、自分ノ領土ト云フコトヲ忘レ  
テ外地ヲ論ズルコトハ大體間違ツテ居ルト  
同時ニ、大體目先ノ政治ト云フモノハ私ハ  
非常ニ危険ガアルト思フ、私共ハ今軍部デ  
ヤツテ居ルコト——出先ノ方々ガヤツ  
テ居ルコトハ、言ヒタイコトハ澤山アリマ  
スカレドモ、此ノ事變ニ對シテ吾々ガヤ  
ハリ言葉ヲ慎マナクテハナラヌ點モ澤山ア  
ル、餘リ喋ツテ失敗スルコトモアル、言ハ  
ルコト宜イモノヲ言ウテ向フノ方デ感ズル  
コトモ澤山アル、所ガ目先ノ政治ト云フモ  
ノハ私ハ隨分危険ガアルト思フ、少クトモ  
大日本帝國ハ所謂百年ノ大計ヲ樹ツベキ政  
治デナケレバナラナイト思フ、兎ニ角三年  
前ニアノ朝鮮米ヲ抑ヘ付ケタノガ、今日ニ  
ナツテ兎ニ角此ノ食糧ヲ缺乏サシタト云フ  
コトハ、是ハ此處ニオ居デニナル人モ隨分  
耳ガ痛イコトデアラウト思フ、私共ガ過  
日モ陸軍大臣ニサウ言ツタガ、アナタハ日  
本人生レタ日本人ダガ、私ハ朝鮮産米生レタ  
日本人デアル、腹ヲ切ツテ分析シタラ、或  
ハ皇室中心主義、所謂日本ノ大和魂ト云フ  
モノニハアナタト僕トチツト變リハナイ、  
其ノ積リデオ聴キ願ヒタイト云フコトヲ私  
共ハ言ツタノデアリマスガ、結局今ノ勅選  
議員推薦ノ問題デモ一遍ヤツテ見テ下サ

ツキリト決定ニハナツテ居リマセス  
○朴委員 此ノ前カラ半島カラ十三万石此  
方ヘ來テ居ルト云フコトヲ聞キマシタノデ  
スガ、ソレハマダ來テナイノデアリマスカ、  
ソレカラ又此方カラ雜穀、所謂外地米ヲ向フ  
ヘナツテ居リマスカドウカ、御同致シタイ  
思ヒマス

○島田國務大臣 其ノ問題ニ付キマシテハ、  
朝鮮ヨリ入レルコトニナツテ居リマス、米  
ハ大體十四万石入ツテ居リマス、サウシテ  
之ニ對スル身代リ米トシマシテ内地カラ入  
レマスモノハ既ニ十萬八千石ハ外米ヲヤル  
コトニナリマシテ、釜山ヘ到著シテ居ル管  
デアリマス

○朴委員 總理大臣ガ御出席ニナリマシタ  
カラ先刻ノ外地ノ政治問題改革ニ對シテ總  
理大臣ニ承リタイト思フノデアリマス、私  
ハ此ノ東亞ノ新秩序建設ノ問題ニ對シテ、  
外地ノ所謂朝鮮トカ臺灣トカ云フモノニ於  
キマシテ、勅選議員ヲ推薦スル意思ガアル  
カナイカト云フコトヲ御尋シテ、拓務大臣  
カラ御答辯ヲ頂戴シマシタガ、是ハ私ハ國  
家の見地カラ、御承知ノ通り半島ガ日本ノ  
兵站地トシテ、又今後はカラ日本ノ大陸政  
策トシテ、私ハ其ノ人等ニ大キナ希望ト期  
待ヲ持チ、本當ニ 陛下ノ恩澤ヲ蒙ルヤウ  
ナコトヲスレバ、今後私ハ此ノ大陸政策ト  
云フヤウナモノニ付テハ非常ニ大キナ棟ト  
ナルノチヤナイカト思ヒマス、總理大  
臣ノ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス

○米内國務大臣 只今ノ勅選議員云々ノ件  
ニ付キマシテハ十分考慮致シタイト考ヘテ  
居リマス

○朴委員 是非サウシテ貰ヒタイと思フノ  
デアリマス、ソレカラ私拓務大臣ニモウ

一ツ、先程ノ半島ニ對スル選舉權施行問題  
デアリマスガ、私ハ朝鮮ノ人ニ對シテ選舉  
權ヲ與ヘルト云フノデアリマシタ、朝鮮ニ選  
舉權ヲ與ヘテ貰ヒタイ、ソレカラ内地ト同  
ジヤウナ選舉權ト云フコトハ是ハ當然不可  
能ト思ヒマスカラ、例ヘバ制限選舉ニシテ、  
國稅十四トカ五圓トカ定メテ、サウシテ十  
道アリマスカ、一道ニ對シテ一人ト云フヤウ  
ナ位ノコトデ、朝鮮ニ選舉權ヲ與ヘテヤル、  
是ハ制限選舉デアリマスカ、之ニ付テハ  
内地人モ隨分不平等アル、同ジ領土デアッ  
テ、下關マデハ選舉權ガアツテモ、釜山ニ  
渡ルト選舉權ヲ取ラレルト云フヤウナ斯様  
ナ不合理ナ話ハナイト云フコトヲ能ク言ツ  
テ居リマスガ、是ハ私ハ問題ガ大キイト思  
ヒマスカラ、先ヅ總理大臣ニ御答辯ヲ願ヒ  
タイノデスケレドモ、マダ拓務大臣ハヤハ  
リ外地ノ大將ヲシテ居リマスカラ、拓務大  
臣閣下ノ御答辯ヲ承リタイト思ヒマス

○小磯國務大臣 外地全般ヲ通ジマシテ選  
舉權問題ハ相當研究ノ餘地ガアルト思ヒマ  
ス、何レハ選舉權問題ヲ徹底的ニ解決セネ  
バナラヌト云フ時代ノ到達スルコトヲ豫期  
シテ居リマスルガ、マダ場所ニ依リマシテ  
ハ遲速モアラウト思ヒマスルガ、總體的ニ  
大體ニ於テ早速過ギヤシナイカト思フ地方  
ガ多イト考ヘテ居リマス

○朴委員 是非成ベク早ク調べテ、實行  
スルヤウニ御願シタイト思フノデアリマ  
ス、ソレカラ私ハ農林大臣ニモウ一ツ承リタ  
イト思フノハ、農林大臣モ御承知ノ通り園田  
内閣、齋藤内閣ノ二代ノ内閣ノ時ニ、朝鮮米  
ニ對スル移入制限或ハ許可制、米穀自治管  
理法案ト云フモノヲ作ル時ニ私ハ隨分反對  
ヲシマシタ、所ガ當時ノ一般ノ人達ノ論ハ



イ、アノ朝鮮二千万、臺灣四百五十万ト云フ人  
ガ本當ニ僱ヲ日本人ト認メテ呉レタ、吾等  
ハ 陛下ノ恩惠ヲ蒙ツタト云フコトニナル  
ナラバ、此ノ力ト云フモノハ私ハ日本ノ今度  
ノ新秩序建設問題ニ對シテドノ位ノ大キナ  
導火線ニナルカ分ラナイト思フ、左様ナコト  
ヲヤラスデ、朝鮮人ハドウデモ宜イト云フ  
ヤウナ考テ居テハ私ハ大日本帝國ノ將來  
ノ事ガ非常ニ案ジラレルト云フコトニナル  
ト思ヒマス、ドウシテモ内地ハ外地ノ人ニ  
對シ指導スベキ立場デアル、デアリマスカ  
ラ農林大臣ハ——今一番責任ガ重イ商工大  
臣トアナタガ責任ハ重大デアル、今ノヤウ  
ナ下手ナコトヲヤルト出ルベキモノガ出ナ  
イ、ダカラ從來ト同ジヤウニ朝鮮ノ産米増  
産計畫ヲ復活サス意思ガアルカドウカ、其  
ノ點ヲ承リタイ

○農田國務大臣 是マデノ内外地ノ關係ニ  
付テノ法制上ノ色々ナ扱ニ付キマシテノ批  
評的ノ御意見ニ付キマシテハ、是ハ參考ト  
シテ承ルコトニ致シマスガ、今日ノ米穀事  
情カラ考ヘマシテ、臺灣、朝鮮、所謂外地  
ニ對シテ米ニ關シマシテ少クモ増産ノ計  
畫ヲ立ツルコトガ必要デアツテ、内外地一  
體、内鮮一體ノ考ヲ以テ處スベキデアリ  
マス、御意見ニ對シマシテハ、全然同意デア  
リマス、又此ノ點ニ付キマシテハ、先日ノ  
此ノ總會ノ席上ニ於キマシテモ、拓務大臣  
ヨリモ此ノ考ヲ述ベラレタト記憶致シテ居  
リマスガ、尙ホ關係ノ大臣ト協議致シマシ  
テ、此ノ方針ニ向ツテ進ムヤウニ致シタイ  
ト思ヒマス、ソレダケ御答致シマス

レバナラス、私ハ何時モ言フコトデスガ、  
内地ハ譬ヘバ、一ノ升ノ楮ハ一ノ升ヨリ入ラ  
ナイ、ドウシテモ一斗モ二斗モ求ムル時ニ  
ハ、自分ノ領土ニ廣イ所ガアルカラ、其處  
デ米ヲ作ラナケレバナス、ソレデアリマス  
カラ是ハドウシテモ内務大臣ト拓務大臣ト、  
然ルベク相談シテヤツテ貰ヒタイ  
ソレカラモウツハ、從來私ハ外地ヲス  
ツト廻ツテ見タ、先程内務大臣ハ、ソレハ  
君、内地モ朝鮮トカ臺灣ニ負ケナイヤウニ  
ヤツテ居ルコト云フコトデスガ、ソレハ無論  
ナルデセウ、所ガ實際向フヘ行ツテ見ルト  
トシテ何時モ言ヒマスガ、朝鮮、臺灣アタ  
リヘ行ツテ見ルト、實ニ涙ダマシイコトガ  
澤山アルノデアリマス、所ガ何デモ彼デモ  
コツチガ足ラナイカラ送レ——ト云フヤウ  
ナコトヲシテ、其ノアトドウナルカラ今ノ  
農林大臣ハ能ク考ヘテ御覽ナサイ、向フノ  
方デハ兎ニ角數百年來ナイ早魃ヲ受ケテ居  
ル、ソレデモ農林省ノ命令ニ依ツテ、假令  
十石石デモコツチニ送ル、百万石デモコツ  
チニ送レト云ヘバ送ツテ來マス、ソレデ居  
ナガラ半島ノ生活程度ハ内地人ト違ツテ、  
麥トカ粟トカヲ始終食ツテ居リマスカラ、  
假令麥デモ粟デモ宜イ、三度ノモノハ二度  
デモ宜イカラ食ベサセルヤウナ用意ガナケ  
レバナラス、私ハ此ノ開行ツテ見ルト、實  
ニ悲惨ナモノデアル、デアリマスカラ是ハ  
拓務大臣能ク御考ニナリマシテ、其ノ用意  
ト云フコトヲ農林大臣ニ對シテ要求スルガ  
宜イト私ハ思ヒマス、何時モサウ云フ時ハ  
ヤレ臺灣ガ、朝鮮ガ、何ダ彼ダト言ウテ置  
イテ、少シコツチガ都合ガ惡イト云フト、  
自分ノ領土ヲ忘レタヤウナコトニナラナイ

ヤウニシテ載キタイ、最近何處ニ行キマシ  
テモ、朴君、半島ハ非常ニ良イサウチヤナ  
イカト云フコトヲ言ハレマシテ、非常ニ愉  
快ニ感じテ居リマス、併シマダドウシテモ  
此ノ半島ニ付テハ、日本ニ於テ政治家ニ餘  
程研究シテ貰フ所ガ澤山アルノチヤナイカ  
ト思フノデアリマス  
ソレカラ文部大臣ガ才居デニナリマスカ  
ラ、文部大臣ニ伺ヒマスガ、先刻拓務省ノ  
所管デアルト云フコトヲ言ヒマスケレド  
モ、御承知ノ通り半島ニ二千三百萬ノ國民  
ハ、義務教育ト云フモノガアリマセヌ、サ  
ウシテ小學校ノ子供ニ對シテハ試験ヲシ  
テ、ソレカラ入學セシムルト云フヤウナコ  
トガアルノデアリマスガ、今日デハ何レノ  
國民デモ義務教育ト云フモノハナクテハナ  
クナイ、之ニ付テ文部大臣ハドウ考ヘテ居  
リマスカ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○松浦國務大臣 只今ノ御答ハ、朝鮮ニ於  
テモ義務教育ヲ施行シラドウカ、ソレニ  
付テドウ考ヘルカト云フ御答デアリマス  
ガ、朝鮮ノ教育ノコトハ、是ハ文部省ノ所  
管デアハ全クナイノデアリマシテ、私ノ方ト  
シテハ、サウ云フ點ニ付テハ少シモ關係ハ  
ナイノデス、今日マデ朝鮮ニモ、臺灣ニモ  
マダ義務教育制度ハ布カレテ居リマセヌ、  
他日或ハ内地同様ニ、サハリ義務教育制度  
ヲ布タト云フ時代ガ來ルカト思ヒマスケレ  
ドモ、是ハ全ク私ノ所管外ノコトデアリマ  
ス、唯朝鮮併合以來今日マデノ所デハ、マ  
ダ義務教育ヲ布タト云フコトノ順序マデ行  
カナカウツノデアラウト思ヒマス

自分ノ所管チヤナイト云フコトヲ繰返シテ  
言フケレドモ、ソレガ既ニ認識ガ誤ツテ居  
ル、吾々ハ日本國民デアリマス、日本國內  
デアリマス、今マデハ拓務大臣ガ外地ノ代  
表トシテ答辯スルコトニナツテ居リマス  
ケレドモ、ソレハ全然違ツテ居ル、參政權  
ニシテモ、内務大臣ガ答辯スルノハ當リ前  
デアル、又日本國民ニ對スル義務教育ト云  
フコトニ付テハ、文部大臣ガ答辯スルノハ  
當リ前デアル、吾々ハ他國人チヤナイノデ  
アル、ソノナコトヲ言ハレルト云フコトハ  
冗談チヤナイ、併シ時間ガアリマセヌカラ他  
ノ機會ニ於テ、アナタト大イニ論ジマス、  
他國民ノヤウナ取扱ヲスルコトハ、以テノ  
外デアル、モウ一遍御答辯ヲ願ヒマス  
○松浦國務大臣 御答致シマスガ、私ガ先  
刻カラ申シマシタノハ、或ハ誤解ヲ招イタ  
カモ知レマセヌガ、今日官制ノ上デ朝鮮ノ  
コトハ文部省ノ所管ニナツテ居ラスト申シ  
タノデアリマス、朝鮮ハ内地ノ外ダカラド  
ウデモ宜イト云フヤウナ意味デハ決シテア  
リマセヌ、唯先刻申シマシタ如ク、今マ  
デハマダ色々ナ關係デ、義務教育ト云フ制  
度ガ布カレテ居リマセヌガ、他日内地ト同  
様ニサハリ義務教育ヲ布タト云フ時代ガ來ルデア  
ラウ、斯ウ考ヘルト云フコトヲ申上ゲタノデ  
アリマス  
○中村委員長代理 石坂豐一君  
○石坂豐一委員 此ノ時間切迫ノ際デアリ  
マスカラ簡單ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、  
先ツ藥品ノコトニ付キマシテ、厚生大臣ノ  
御意見ヲ拜聴致シタイノデアリマス、御承  
知ノ通り國民健康保險ニ付テハ、厚生省ニ  
於テ非常ニ御力ヲ御入レニナツテ居リマス  
ガ、ソレヨリモ疾患ニ苦ンデ居ル所ノ國民

ニ對シテ、何ヲ措テ措イテモ藥品ヲ供給ス  
ルト云フコトガ必要デアルノデアリマス、  
是ハ私ガ申上ゲナクテモ分ツテ居ルコトデ  
アル、私ハ富山縣選出ノ者デアリマスガ、  
吾々ノ郷里カラ何万人ト云フ賣藥行商人ガ  
出テ居リマス、而シテ其ノ賣藥ト云フモノ  
ハ、一定ノ製造所ニ於テ調劑ヲ致スノデア  
リマスケレドモ、此ノ頃此ノ大切ナル藥品  
ガ手ニ入ラヌガ爲ニ困難ヲ極メテ居ルノデ  
アリマス、其ノ中デ最モ主ナルモノ——是  
ハマダ澤山アリマスケレドモ、主ナル十品  
種位ニ付テ申上ゲテ見タイト思ヒマス、サ  
トニシト云フ蠟下シノ藥、是ハ露西亞カ  
ラ入ルノデアリマスガ、吾々ノ郷里ノ賣藥  
ニハ絕對必要ナモノデアアルノデアリマス、  
ソレカラ塗藥ノ亞鉛華、ソレカラ温布劑ノ  
醋酸鉛、ソレカラ「ヨードカリ」、是ハ切實制  
度ノ藥品デ、微毒、動脈硬化、「リウマチス」  
神經痛等ニ用ヒルノデアリマス、ソレカラ  
白色「ワゼリン」、是ハ米國製デアリマス、ソレ  
カラ炭酸「グアヤコール」、是ハ結核ノ藥デ  
アリマス、ソレカラ「葡萄糖」、ソレカラ「ピ  
ラミドン」、是ハ風引ノ藥デアリマス、ソレ  
カラ「ザロール」、「カフエイン」、斯ウ云フ  
モノガ殆ド手ニ入りマセヌ、ソレカラ又餘  
程關取引デモシナケレバ手ニ入ラヌモノデ  
ハ「アスピリン」、ソレカラ「グリセリン」、  
是ハ一封度五十錢位ノモノガ、此ノ頃ハ五  
圓出シテモ手ニ入りマセヌ、ソレカラ「パ  
ルビタル」、「フエナセチン」、「チオニン」、  
ソレカラ「ヨード」、「磷酸「コデイン」、乳糖、  
「セネガ」、安仲、含糖「ベプシン」醋酸アル  
ミニウム、重曹、「サピオール」、遠志、「ヒ  
マシ油」、アルコール、「クレゾール」、「フ

ルマリン」、「ヂェアスターゼ」、「オレイン」油、  
「カカオ」脂、苛性加里、「サマリシ」、「ク  
エン」酸、「アンチピリン」、昇汞、硝酸銀、  
白檀油、醋酸、水銀軟膏、脫脂蠟、「ガーズ」  
——此ノ頃産婦ナドガ入院シマス時ニハ、  
病院ニ「ガーズ」ト脱脂蠟ヲ持參デアイト云  
フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、斯様  
ナコトヲ聲ヲ大キクシテ申上ゲルト云フコ  
トハ善イカ惡イカ存ジマセヌケレドモ、非  
常ニ苦痛ヲ感ヘテ居リマスノデ、同僚諸君  
ガ食糧難等ニ付テ口ヲ酸ツバクシテ此ノ席  
ニ於テ絶叫致シマスト同様ニ、是等藥品ハ  
病氣ヲ難儀ヲシテ居ル人ノ爲ニ絕對ニ必要  
ナモノデアリマス、勿論厚生省ニ於テ是等  
藥品ノ供給ニ付テ御心配ニナツテ居ルコト  
トハ存ジマスガ、兎角吾々ノ知ル所ニ於テ  
ハ、ソレガ能ク廻ツテ來ナイノデアリマス、  
先日モ此ノ藥品ノ供給狀況ガ如何ニナツテ  
居ルカト云フコトヲ知りタク、資料ヲ要求  
致シマシタケレドモ、未ダ以テ其ノ資料ヲ  
御覽シ下サラナイ、之ニ付テ簡單ニ御意見  
ヲ承リタイ

○吉田(茂)國務大臣 御答ノ通り藥品ノ供  
給不足ノ緩和ニ付キマシテハ、食糧ト同様最  
モ大切ナコトト存ジマス、其ノ點ニ於キマシ  
テ醫療方面ニ不安ヲ與ヘテ居ルコトニ付キ  
マシテハ洵ニ残念ニ思ツテ居リマス、出來  
マス限り藥品ノ供給ヲ致シマスコトニ目下  
全力ヲ注イデ居リマス、大體是ガ出來ルト  
私ハ考ヘテ居リマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲ  
テ置キマスノハ、一時殊ニ一般藥品ノ供給  
ト云フ方面ニ力ヲ致シマシタ爲ニ、賣藥原料  
ノ方ガ一層出廻リ困難ヲ感ジタ時代ガアツ  
タヤウニ考ヘラレマスガ、其ノ點モ今後緩  
ク和圓ノヤウ努メ積リテゴザイマス

トカ、吉野杉トカ、色々ノ銘柄ニ於テソレ  
ゾレ取引ガ行ハレテ居ルノデアリマス、之  
ヲ根本的ニ變更致シマシテ取引ヲ命ズルト  
云フコトニナリマス、一應民間ノ當業者  
ノ意見ヲ聽イテ、能クソレニ習熟サセルト  
云フコトガ必要デアアルノデアリマス、彼ノ  
米穀検査ナドニ於キマシテモ、是ハ私共モ  
現ニ其ノ職ニ居ツテ實地ニ經驗ヲ致シタノ  
デアリマスガ、此ノ米穀検査ノ如キハ、長  
キハ三年、短クテモ一年位ノ經驗ヲ經テ之  
ヲ實施シテ居ルノデアリマス、然ルニ何  
ゾヤ、此ノ木材統制ニ限リマシテ、九月二  
十九日ニ農林省令ヲ發布シ、ソレカラ僅  
ニ一箇月ノ間ヲ置イテ、十一月一日ヨリ  
實施スルト云フコトニナツテ居ルノデア  
リマス、而モ其ノ省令ノ施行ニ關シテ、或  
ハ告示デアルトカ、統制ニ關スル類別デア  
ルトカ、サウ云フヤウナモノハ少シモ其ノ  
當時發布サレテ居ラナイ、サウシテ二週間  
ヲ經タ十月十三日ニ至ツテ初メテ發布シ  
タ、殘ル所ハ十六日デアアル、而モ又地方  
長官ノ許可ヲ受ケルノデアリマスカラ、地  
方ニ於テソレレノ府縣令トシテ之ヲ發布シ  
ナケレバナラス、尙ホ施行期日デアル所ノ  
十一月一日ヨリ三日位前ニシカ出テ居ラス、  
其ノ例ハ此處ニ澤山アリマスガ、ドレモ是  
モ一様デアル、恐ラク農林省ヨリ準則ヲ書  
イテ、此ノヤウニヤレト云フコトニナツテ  
ヤツタノデアリマセウケレドモ、實ニ私ハ  
木材價格統制令ヲ非奇怪ナモノハナイト  
思フノデアリマス、聞ク所ニ依リマス、ト  
斯ノ如キ價格統制令ハ、勅令ヲ以テ發布サ  
レルト云フコトニナルト、閣議ニ掛ケテ法  
制局ニ於テ審査スルノデアリマス、是ニ



ノ一角ノ山林局、而モ林政課ノ一角ヨリ突  
如トシテ斯様ナモノガ現ハレテ居ル、伍堂  
大臣ガ方針ヲ捺シテ之ヲ發布シテ居ル、阿  
部内閣ガ倒レタノハ回顧致シマスルト十二  
月二十六日、開院式ノ終了後吾々ハ控室ニ  
貼紙ヲ出シマシテ、ドウカ豫算委員室ニ集  
ツテ與レト言ウタ所ガ、期セズシテ斯ノ如  
キ不都合ナ内閣ハ速ニ倒壊スベシト云フ決  
議ニ變テシマツタ、是ハ有志代議士バカ  
リノ決議デハナイ、斯ノ如キ命運ヲ突如  
トシテ出シ、サウシテ今ヤ戰時資材トシテ  
最モ多ク需要シナケレバナラス所ノ木材ヲ  
出スノニ、全ク出シ場ヲ止メタヤウナ令違  
ヲ出シテ居ル、私共ノ知レル貧弱ナル木材  
商ハ、北ノ方ヘ行ツテ山ヲ買ヒ、本令發布  
前ノ十一月一日前ニ伐ツタモノハソレハ差  
支アリマセケレドモ、木材ハ主トシテ  
十一月、十二月ノ間ニ伐ルノデゴザイマス、  
サウ云フ所ノ製品ニ付テハヤハリ検査ヲ受  
ケナケレバナラス、其ノ検査ヲスル所ノ手  
續ガ出来ナカツタガ爲ニ、俄然積雪ノ爲ニ  
其ノ木材ヲ出スコトガ出来ナイ、遂ニ約東  
ノ鐵山ニ屈ケルコトガ出来ナイ、手金流  
レニナツテ殆ド電ヲ覆サントシテ居ル者  
ガ居ルノデアリマス、恐ラクハ各地ニ於テ  
斯様ナ類例ハ少クナイト信ズル、今ヤ我國  
ニ於テ石炭ト云フモノハ大ナル問題ニナツ  
テ居ル、此ノ石炭ヲ出スコト云フコトガ何  
リ急務デアルト云フコトハ、委員諸君ガ口  
ガ酸クナル程絶叫シテ居ル、商工大臣モ之  
ヲ認メテ居ル、此ノ際ニ石炭ヲ出スコト云  
フニ一番何ガ必要デアルカト申シマス、  
坑木ガ必要デアリマスガ、其ノ坑木ヲ出ス  
コトガ出来ナイノデアリマス、十月一日ノ  
施行後マダ三箇月カニ簡月程シカ經タヌノ

デアリマスカラ、實害ノアルノハ是カラデ  
アラウト考ヘマス、斯様ナ令規ヲ出シテ居  
リマスガ、島田農林大臣ハ是ハ時局柄必要  
ナ令規デアツテ、何等他ノ事業ニモ影響ノ  
ナイモノデアアル、又木材ノ價格モ騰貴スル  
コトガナイモノデアアルト云フ保證ヲナサ  
デセウカ、農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノ  
デアリマス。  
○島田農林大臣 石坂君ノ只今ノ御話ノ木  
材ノ検査ニ關スル點ニ付キマシテハ、私ハ  
就任後段々御話ノヤウナ趣旨ノ事柄ヲ耳ニ  
致シテ居リマス、之ニ付キマシテハ適當ナ  
處置ヲ考ヘテ考究致ス考デゴザイマス。  
○石坂(農)委員 洵ニ明瞭ナル、又極メテ國  
民ノ安心スル御返事ヲ戴キマシテ、是レ以  
上多ク言フ用フル必要ハナイノデアリマス  
ガ、唯此ノ場合ニ於テ聲明ナル農林大臣ニ  
重ネテ申上ゲル必要ハナイノデアリマス、  
レドモ、此ノ爲ニ大變ナ迷惑ヲ生ジテ居ル、  
私ハ内務大臣ガ居ラレバナラバ伺ツテ見  
積リデアリマシタガ、各府縣ニ於テ突如ト  
シテ、此ノ規則ヲ實行スル爲ニ検査員ノ任  
命ガ必要ニナツテ來テ居ル、勿論検査ヲ  
スルニ付テハ一石何錢カノ手數料ヲ出  
ス、木材業者ハ手數料ヲ出シテ検査ヲサ  
レテ、木材ガ市場ニ出ルコトナシニ停滯  
スル、迷惑千萬デアアルガドウモ仕方ガナ  
イ、手數料ヲ出スコトハ刀刀貨シテ首ヲ取  
レルヤウナモノデアアル、其ノ手數料ヲ收入  
トシテ検査員何名カラ雇入レルコトニナツ  
テ居リマスガ、中々検査員ノ適任者ガ居ラ  
ナイ、ソコニ於テ仕事ノ忙シイ大工サン或ハ  
木挽サンヲ入レテ、臨時ニ洋服ヲ着セテ仕  
事ヲサシテ居ルガ、中々相當ナ面積ガア  
リマスカラ、殊ニ深山幽谷ニナリマスト交通

モ不便デアリマスカラ、申請者ノ申込ノ十  
分ノ一モ見廻ルコトガ出来ナイノデアリマ  
ス、ドレ程ノ迷惑ヲ生ジテ居ルカ、是ガ爲  
ニ又此ノ規則ガ木材市場ヲ壓迫致シマシテ  
大變ナコトニナツテ居ルノデアリマス、其  
ノ規則ハ咄嗟ノ間ニ發布致シマシタガ爲ニ  
幾多ノ支障ヲ來シテ居ルノミナラス、之ヲ  
出シテ立案者ハ十分審議ヲシテ居ラスノデ  
アリマス、シテ居ラナイ證據ハ、後ニ至ツ  
テ十二月二十九日ノ日附テ幾多ノ改正ヲシ  
テ居ル、斯様ナコトガゴザイマスガ、規格  
ヲ定メテ之ヲ國民ニ強ヒルナラバ、確乎トシ  
テ其ノ立案ニ確信ヲ持タナクテナラズ、  
初メハ僅一寸長サ三尺ノ物カラ検査ヲ受  
ケ、子供ノ足ヨリモツト細イサウ云フヤウ  
ナ木マデモ検査ヲ受ケル、之ヲ極端ニ言  
タナラバ、東京市ノ並木ノ枝ヲ伐ル時ニハ  
皆検査ヲ受ケナケレバナラスト云フ滑稽至  
極ナ規則デアアルガ、後ニ於テ是ハ何ト考  
タカ、末口三寸長サ六尺ニ變ツテ居リマス、  
木ノ種類モ針葉樹ハドウ、闊葉樹ハドウト云  
フコトニナツテ居リマス、初メハコンナ規  
則デアリカカツタ、全部検査ヲ受ケナケレバ  
ラスコトニナツテ居ツタ、故ニ此ノ省令其ノモ  
トニ付テ重ネテ農林大臣ニ御願致シマス、  
ハ、斯ノ如キ省令立案者、而モ聞ク所ニ依  
リマスト熱海ノ温泉ニ隠レテ密ニ斯様ナモノ  
ヲ立案シテ、大臣ノ不明ナルニ乘ジテ官制  
ヲ捺サシテ發布シタト云フコトデ、不届千  
萬デアアル、斯様ナ暴舉ヲ爲ス所ノ吏僚ニ對  
シテハ斷乎タル處分ヲ加ヘテ戴キタイ、此  
ノ事ニ付テハ多ク言フ必要ハゴザイマ  
セ、ドウカ此ノ省令ノ撤回ヲ命ゼラレ  
カ、或ハ又其ノ施行ヲ延期セラレカシテ  
適當ナ方法ヲ執ラシテ、當事者ヲ安心セシ

メ、而シテ其ノ結果林木ノ供給ヲ益、潤澤  
ニセラレヤウニ御願致シタイノデアリマ  
ス、此ノ頃ハ好ムト好マザルトニ拘ラズ木  
材ヲ澤山伐ツテ出サナケレバナラス、我國  
ニ於テハ御存ジノ通り當今約八千五百万石  
位ノ木材ガ需要サレルノデアリマスガ、外  
カラハ漸ク一年ニ百五十万石シカ外材ガ入  
ラナイノデアリマス、南洋材百万石、米材  
ノ方ハ三十万石乃至五十万石ト云フコトニ  
ナツテ居リマス、其ノ他ハ山ガ荒レヨウガ  
ドウシヨウガ内地材デヤルヨリ仕方ガナイ、  
北海道、樺太ノ材木ヲ伐ル、是モ洵ニ更新  
ガ遲イ所デアリマスケレドモ、ドウシテモ  
是ハ伐ツテ行カナケレバナラス、可愛イ壯  
丁ガ戦地ニ行ツテ、敵陣ニ飛込シテ鐵血ヲ  
流シテ居ルト同ジク、此ノ場合ニ於テハ已  
ムニ已マレヌ政策デアリマスカラ、市場ニ  
多クノ木材ヲ供出シテ、木材ノ値段ヲ安  
スルヤウニ圖ラネバナラスト考ヘテ居リマ  
ス。  
尙ホ此ノ場合ニ於テ商工大臣ニ伺ヒマス  
ガ、今農林大臣カラ此ノ規則ニ付テ善處ス  
ルト云フ御明言ヲ得タノデアリマスカラ、  
餘リ心配シマセマスガ、此ノ規則ニ付テ抑  
々曉ニハ、國策上重要リマスル所ノハル  
資材、或ハ又滿洲支那方面ニ輸出スル所ノ  
資材、或ハ又鑛業用、即チ坑木等ニ付テ支  
障ヲ來スコトガナイモノデアアルカ、其ノ邊  
ノ所見ハ如何デアリマスガ、アナタノ外遊  
中ニ出来タ規則デアリマシテ御存ジハアリ  
マスマイガ、斯様ナモノハ私ノ見ル所デハ  
差障リノアル規則ト思ヒマスガ、御所見ハ  
如何デアリマスガ。  
○藤原國務大臣 石坂君ノ熱心ニ御述ニナ  
リマシタ御趣旨ハ能ク傾聴致シマシタ、如

何ニモ御尤モナ點ガ多ク存ジマス、農林  
大臣ト能ク協議ヲ致シマシテ適當ノ處置ヲ  
執リマシテ、當業者ニ出来ルダケ苦痛ヲ與  
ヘナイヤウニ處置ヲ講ジタイト存ジマス。  
○石坂(農)委員 商工大臣ノ御言明洵ニ  
明瞭デアリマス、ドウカ御兩相方此ノコト  
ルプニ生産界ニ脅威ヲ感ゼシメナイヤウニ、  
木材ノ配給ヲ潤澤ニスルヤウニ致サレタイ  
モノデアリマス、私ハ元々木材ノ統制ニ付  
テハ別ニ反對デハナイノデアリマス、ケレ  
ドモ此ノヤリ方ハ餘リ咄嗟デアリマス、國  
民ノ意見ニ出デタヤリ方デアリマスカラ、  
斯様ナコトハ默視スルコトガ出来ナイ爲ニ  
茲ニ兩相ニ御同ヲ致シタノデアリマス、諸  
君テ斯様ナコトデ木材ヲ多ク伐リ出シマス結  
果、私共ノ考ヘル所ニ依リマス、益、山地  
ノ山林荒廢ノ結果砂防工事ガ急、必要ニナツ  
テ來ルト考ヘルノデアリマス、ソコデ私ハ  
内務大臣ガ居ラレバ此ノ點ニ付テ多少承  
リタカツタノデアリマスガ、内務大臣ガ居  
ラレヌヤウデアリマスカラ至急出席ヲ要求  
シテ戴キタイ、尙ホ又一面ニ於テ森林火防  
等ニ於テモ注意ヲ致サレテ、天然資源ノ不  
足ニ付テハ萬遺算ナキヨ期サナケレバナ  
スノデアリマスガ、如何ナル譯カ舊冬以來  
到ル處山火事ガ多ク出来マシテ、殊ニ朝鮮  
ノ金剛山ガ燒ケ山ニナツタ、或ハ又ソレヨ  
リ以前ニ是ハ現内閣ノ未ダ成立以前デアリ  
マスケレドモ、樺太方面ニモ大イナル山火  
事ガアツタト云フコトデアリマス、拓務大  
臣ガ御出席ニナツテ居リマスカラ、山火防  
止ニ付テハ萬全ヲ期シテ戴カナケレバナ  
スコトデアリマスガ、大臣ノ御計畫ハ如何  
デゴザイマセウカ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ

伺ヒマス。  
○小磯國務大臣 昨年朝鮮ニ山火ガアリマ  
シテ金剛山ヲ燒キマシタコトハ洵ニ遺憾ニ  
堪ヘマセ、併シナガラ私共ノ特ニ心配ヲ  
シテ居リマスノハ、御承知ノ樺太ノ山火デ  
ゴザイマス、是ハ甚ニ長ク御説明ヲ申上  
ゲナクテモ篤ト御承知ト思ヒマスガ、アソコ  
ハ季節ノ關係、風ノ關係、ソレカラ鐵道其  
ノ外ノ交通路線、人家ガ森林ニ積イテ居  
ルノ關係色々ノ關係ニ依リマシテ山火ガ起  
ラスハ林材ニ及ボス影響非常ニ莫大デア  
リマシテ、樺太ハ既ニ四十二萬圓ノ豫算ヲ組  
合、警防隊、ソレ等ノ方面ニ補助致シテ居  
リマスガ、十五年度ニ於テハ更ニ五萬四  
千圓バカリノ増額ヲ致シマシテ、此ノ山火  
防止ニ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居リマス。  
○石坂(農)委員 農林省豫算ニ於キマシテ、  
民有林開發及ビ林道ニ於ケル經費ガアリマ  
スルガ、私ハ只今ノ規則ハアツテ害アル規  
則ト考ヘマス、農林省其ノモノガ既ニ林木  
ヲ多ク伐ツテ出サナケレバナラスコトヲ御  
認メニナツテ居ルノデアリマス、此ノ經費  
ハ如何ナル方面ニドウ云フ方法デアリマ  
ナルノデアリマセウカ、政府委員デモ、又  
農林大臣ガ御答下サルナラバ農林大臣ヨリ  
御説明ヲ願ヒマス。  
○田中(農)政府委員 林道關係ノ豫算ハ御  
承知ノ通り從來ハ約百万圓位ノモノデア  
リマシタガ、本年度ニ於キマシテハ約五百萬  
圓位ノモノヲ以テ御協賛ヲ得テ居ル譯デア  
リマス、御話ノ通りマダ國內ニ於キマシ  
テ相當林道ガナイ爲ニ利用サレテ居ナイ所  
ガゴザイマス、其ノ方面ノ林道ニ依ツ  
テ、出来ルダケ木材ノ生産ヲ關ルコト云フ計

謀テ居ル譯デゴザイマス。  
○石坂(農)委員 林道ヲ御附ケニナツテ木  
材ヲ伐ルコトハ此ノ戰時體制トシテ必要デ  
ゴザイマセウカ、私ハ昨年農林省ノ山林局  
ノ方モ同道シテ荒地地ノ視察ニ參ツタノ  
デアリマスガ、餘リ山奥ノ木ヲ伐ツテ戴ク  
アリマスガ、山奥ノ木ヲ伐ツテ戴ク  
云フト水源ノ涵養ヲ妨ゲ、而シテ又河川ヲ  
荒スト云フコトニナルノデアリマスカラ、  
成ベク平地ニアル木ヲ多ク伐ツテ、深山幽  
谷ノモノハ餘リ木ヲ伐ラヌコトニシク方  
得策ヲラウト考ヘマス、斯ノ如キ深山ニ入  
リマス、材木モ古木ガ多クナツテ來ルノ  
デアリマスカラ、斯ウ云フ方面ハ出来ルダ  
ケ後進シニセラレテ宜カラウト思ヒマス。  
(中村委員長代理退席、山本委員長代  
理著席)  
隨テ私ハ此處ニ内務大臣ガ居ラレマセ  
マスガ、森林治水ノ爲ニ砂防工事ニ一段ノ  
力ヲ用ヒテ戴キタイト思ヒマス、内務省所  
管ニ於テモ相當ノ經費ガアリマセウカ、  
モ、私共ノ見ル所ニ依ルト洵ニ候補的ノ施  
設デアリマシテ、隨ツテ破壊スレバ破壊力  
ト恢復力ト伴ハナイヤウニ考ヘマス、ドウ  
シテモ一歩先ノ施設ニ力ヲ入レマシテ、サ  
シテ行ク、ハ洪水其ノ他ノ災害ヲ未然ニ  
防グト云フコトノ施設ガ必要ダラウト考ヘ  
マス、陸海軍省ニ於テハ國防ニ當ツテ居  
ラレケレドモ、私共ハ天然ノ力ニ依ツテ國  
土ヲ破壊スルノヲ非常ニ警戒シナケレバ  
ラス、之ヲ豫防シテ之ヲ除去スルト云フコト  
ハ即チ一種ノ國防ノ國防デアラウト云フコ  
ト、他國ノ領土ニ行ツテ破壊等ヲ起スト  
ヘル、他國ノ領土ニ行ツテ破壊等ヲ起スト  
日本ノ領土ノ日ニ荒廢シテ行クヲ見

テ、唯金ガナイカラ何年掛ツテモ差支ナイ  
ト云フヤウナヤリ方ハ、洵ニ當リ得タモノ  
デアリト考ヘマスカラ、内務省ノ方ガ居  
ラレタナラバドウカ大臣ニ御傳ヘ下サイマシ  
テ、砂防ニ全力ヲ注イデ、將來災害ガ再  
出ナイヤウナ施設ニ付テ十分御配慮ヲ仰  
グタイト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ私ハ大臣  
ガ居ラレマセウカ、何レ又分科會ノ際ニ  
篤ト申上ゲタイト考ヘルノデアリマス、要  
シマスルニ今農林大臣ノ御明答ニ依ツテ、  
定メテ國民全體ガ安心スルコトト思ヒマ  
スガ、大臣ニ於カレテハ十分御調査下サツ  
テ、再ビ斯ノ如キ災害ノ起ラナイヤウナ施  
設ヲセラレコトヲ希望致シマス、私ハ他  
ニマダ質問ガゴザイマスガ、内務大臣ガ御  
見ニナリマセウカ他ノ機會ニ讓リマシ  
テ私ノ質問ヲ終リマス。  
○山本委員長代理 小畑虎之助君  
○小畑委員 總理大臣、内務大臣、司法大  
臣ハ御出席ニナリマセウカ  
○山本委員長代理 今内務大臣ハ呼ンデ居  
リマスガ、マダ御見エニナリマセウカ出  
席ノ大臣カラ一ツ……  
○小畑委員 デハサウ云フコトニ致シマス、  
政府ハ屬低物價政策ヲ聲明シテ居ラレ  
ルノデアリマスガ、是ハ政府全體ノ統一セ  
ラレタル方針デアアルカト云フコトヲ先ツ總  
理大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、商工大  
臣、大藏大臣等ガ低物價政策ヲ堅持シテ居  
ラレマスルコトハ明瞭デアリマセウカ、  
モ、農林省ハ農水産物ノ價格ニ付テ高物價  
政策ヲ執ツテ居ルト世間ニ申シテ居リマス  
ルガ、先般來ノ質疑應答ニ徴シテ見マシ  
テ、其ノ片鱗ガ隨所ニ現レテ居ルヤウニ思  
フノデアリマス、低物價政策ヲ行カ行



カナカ、是ハ内閣ノ最重要ナル經濟政策ノ一部面デナクテハナラヌ...

○島田國務大臣 現内閣トシテ低物價政策ヲ堅持シテ行ク...

○小畑委員 農林大臣ノ御答辯ヲ承リマシテ諒承致シマシタ...

○島田國務大臣 只今御質問ニ對シテ私ヨリ一應ノ御答ヲ致シマス...

○藤原國務大臣 只今小畑君ノ御述ニナリマシタ通り...

○島田國務大臣 木炭ノ不足ノ原因ニ付テハ御意見デアリマス...

○兒玉國務大臣 地方制度ニ對シマスル内務省ノ調査ハ...

○小畑委員 私人豫定傳ヘラルル地方制度改革案中...

○島田國務大臣 色々御意見デアリマスガ、詳シイ事柄ニ付...

○小畑委員 丁度類似ノ問題デゴザイマスカラ、此ノ際...

イノデゴザイマスガ、所謂農林水産物ハ、其ノ市場價格...

○島田國務大臣 只今御質問ニ對シテ私ヨリ一應ノ御答ヲ致シマス...

○藤原國務大臣 只今小畑君ノ御述ニナリマシタ通り...

○島田國務大臣 木炭ノ不足ノ原因ニ付テハ御意見デアリマス...

○兒玉國務大臣 地方制度ニ對シマスル内務省ノ調査ハ...

○小畑委員 私人豫定傳ヘラルル地方制度改革案中...

○島田國務大臣 色々御意見デアリマスガ、詳シイ事柄ニ付...

○小畑委員 丁度類似ノ問題デゴザイマスカラ、此ノ際...

○島田國務大臣 現内閣トシテ低物價政策ヲ堅持シテ行ク...

○小畑委員 農林大臣ノ御答辯ヲ承リマシテ諒承致シマシタ...

テ、極メテ其ノ間ニ農民大業ノ生活ト考ヘ合セマシテ...

○島田國務大臣 只今御質問ニ對シテ私ヨリ一應ノ御答ヲ致シマス...

○藤原國務大臣 只今小畑君ノ御述ニナリマシタ通り...

○島田國務大臣 木炭ノ不足ノ原因ニ付テハ御意見デアリマス...

○兒玉國務大臣 地方制度ニ對シマスル内務省ノ調査ハ...

○小畑委員 私人豫定傳ヘラルル地方制度改革案中...

○島田國務大臣 色々御意見デアリマスガ、詳シイ事柄ニ付...

○小畑委員 丁度類似ノ問題デゴザイマスカラ、此ノ際...

○島田國務大臣 現内閣トシテ低物價政策ヲ堅持シテ行ク...

○小畑委員 農林大臣ノ御答辯ヲ承リマシテ諒承致シマシタ...

ヘテ居リマス ○小畑委員 農工大臣ハ多少現在ノ制度ニ付テ遺憾ナ...

○島田國務大臣 只今御質問ニ對シテ私ヨリ一應ノ御答ヲ致シマス...

○藤原國務大臣 只今小畑君ノ御述ニナリマシタ通り...

○島田國務大臣 木炭ノ不足ノ原因ニ付テハ御意見デアリマス...

○兒玉國務大臣 地方制度ニ對シマスル内務省ノ調査ハ...

○小畑委員 私人豫定傳ヘラルル地方制度改革案中...

○島田國務大臣 色々御意見デアリマスガ、詳シイ事柄ニ付...

○小畑委員 丁度類似ノ問題デゴザイマスカラ、此ノ際...

○島田國務大臣 現内閣トシテ低物價政策ヲ堅持シテ行ク...

○小畑委員 農林大臣ノ御答辯ヲ承リマシテ諒承致シマシタ...



スルコトハ、今日市町村會議員ノ素質ガ非  
常ニ低下致シテ參リマシタカラ、議員ノ  
素質ヲ向上セシムル必要カラデアルト傳ヘ  
ラレテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ御意  
見デアリマスガ、一應伺ヒタイノデアリマ  
ス

○見玉國務大臣 市町村會ノ構成ガ、市町  
村自治ノ根本問題トシテ、最モ重要ナル研  
究事項デアルトハ、申スマデモナイノデ  
アリマスガ、其ノ中ニ選舉ニ依ラザル特別  
議員ヲ設ケタラ宜イト云フヤウナ議論モア  
ルノデアリマス、其ノ議論ノ基クハ、只  
今御話ノヤウナ理由ニ基クモノカト考ヘテ  
居リマス、又一面ニ於テ是ガ地方自治ノ精  
神ニ反スルモノデハナイカト云フ御議論モ  
アルヤウデアリマス、是等ノ點ハ理論ト實  
際トニ照シ合セマシテ、適當ニ之ヲ検討  
シ、其ノ解決ノ結論ヲ得タイト考ヘテ居リ  
マスノデ、只今之ニ對スル私ノ確カナル意見  
ヲ申上ゲル城ニ達シテ居リマセ

○小畑委員 私人市町村會議員ノ素質ガ低  
下致シタカ、致シテ居ラナイカト云フ點ニ  
付テ、今日閣下ヨウトハ存ジマセ、假ニ  
市町村會議員ノ素質ヲ向上セシムル手段ト  
致シマシテモ、斯様ナコト以外ニモウ方法  
ハナイデアラウカ、即チ私ハ選舉ニ依ツテ  
選出セラレタ所ノ議員ハ、其ノ素質ガ惡  
イト云フ所ノ根本ノ思想ニ向ツテ、抗議ヲ  
致シタイト思フノデアリマス、若シ假ニ今  
日選舉ニ依ツテ現ハレテ參リマシタ所ノ議  
員ノ素質ガ惡イト致シマスルナラバ、ソレ  
ハ選舉其ノモノガ惡イトデハナクシテ、其  
ノ大部分ハ選舉法ニ缺陷ガアルノデアルト  
思フノデアリマス、選舉法及ビ其ノ運用ニ  
缺陷ガアルノデアルト私ハ思フノデアリマ  
ス

ス、私ハ時間ノ關係ニ長ク申上ゲル譯ニ行  
キマセヌガ、其ノ選舉法ノ中デ、選舉取締ニ  
關スル問題ニ付テ、一言ダケ觸レテ、政府  
ノ御考慮ヲ求メテ見タイト思フノデゴザイ  
マス、元來今日ノ選舉取締ニ關スル法律  
ハ、取締ル方面、檢察ノ方面ノ便宜ノ爲ニ  
設ケラレタ所ノ法令デゴザイマシテ、選舉  
ヲ明細化スルモノデハナイト私ハ考ヘテ居  
ルノデゴザイマス、凡ソ法律ト云フモノ  
ハ、國民ノ常識ニ一致スルコトガ理想デア  
ルノデゴザイマシテ、殊ニ刑罰法規ノ如キ  
ハ、嚴密ニ國民ノ常識ト一致ヲ致サナケレバ  
ナラスモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマ  
ス、然ルニ選舉ニ關スル取締ノ法見ヲ見マ  
スルニ、國民ノ常識トハ一致ヲ致シテ居ラ  
スノデアリマス、國民ガ常識ト上カラ考ヘ  
テ罪惡ナラス、犯罪ナラズト考ヘラレマスル  
コトガ、選舉ニナリマスルト知ラズ識ラズノ  
中ニ犯罪ヲ構成シテ、選舉違反ニ問ハレル、  
斯ノ如キ事例ハ、牧草ニ追ナキ程アルノデア  
リマス、又其ノ運用ノ上カラ申シマシテ  
モ、警察官及ビ檢察官等ノ取扱ニ付キマシ  
テモ、極メテ非常識ナルモノガ多クイノデア  
リマシテ、其ノ實例ヲ一々申上ゲテ居ル所ノ  
時間ノナイコトヲ遺憾ト致シマスルケレド  
モ、私ハ此ノ國民ノ常識ニ一致セザル選舉  
ノ取締法ガ、今日ノ選舉ノ結果ヲ惡クシタモ  
ノデアルト思フテ居ルノデアルト、隨ヒマシ  
テ選舉ヲ行ヒマスルナラバ、吾々ノ常識カ  
ラ、此ノ行爲ガ犯罪ニナルカナラスカト云  
フコトハ分ラヌノデアリマス、素人ニハ分ラ  
ナイノデアリマス、專門家デモ分ラナイノ  
デアルト、結局ハ此ノ行爲ガ犯罪ヲ構成スル  
カセザルカト云フコトハ、司法當局、檢察  
當局ノ方ニ依ツテ、決定セラレルノ結果  
ニナルノデゴザイマスカラ、何人ト雖モ犯  
罪ノ成否ハ分ラナイ、國民ノ常識ト背馳ヲ  
致シテ居ルノデアリマス、此ノ故ニ假ニ茲ニ  
市町村會議員ノ選舉ガ行ハレタ、府縣會  
議員ノ選舉ガ行ハレル場合ニ於キマシテ  
モ、苟モ社會ニ相當ノ地位ヲ有シ保身術ニ  
長ケタ人達ハ、他人ノ選舉ニ運動ナドヲ致  
サナイノミナラス、自らモ立候補ヲ致サナ  
イト云フコトニナルノデアリマス、選舉ヲ  
行ヒマスナラバ、犯罪ニハ假令ナラナイニシ  
テモ、一度ニ度ハ必ズ警察官檢察官ノ門  
ヲ潛ル覺悟ヲシナケレバナラス、ソコデ  
市町村會議員ノ選舉ノ場合ニ於テハ、如  
何ニ立派ナ人ガ居リマシテモ容易ニ候補ニ  
立タナイ、況ヤ他人ノ選舉ニハ選舉事務  
長トナツタリ、選舉委員トナツテ働クコト  
ヲ致サナイノデアル、選舉ニ關係セシナケ  
レバソレデ宜シイ、選舉ニ携ラナケレバ安  
全デアアル、選舉ハ怖イト云フ觀念ガ國民ノ  
頭ノ中ニ浸透致シテ居リマスル結果、茲ニ  
日本ニ理想ノ選舉ガ行ハレル重大ナル原  
因ガアルト私ハ考ヘマス、選舉ト云フモノ  
ハ最モ明瞭ニ行ハレナケレバナラス、苟モ  
國民ガ與ヘラレタル參政權ヲ行使スルノデ  
アリマスカラ、最モ愉快ニ、最モ明瞭ニ、  
最モ活潑ニ行ハレナケレバナラズト思フノ  
デアリマスケレドモ、今日ノ選舉ノ如ク他  
人ニ相談スルコトモ出來ナケレバ、先達  
ノ教ヲ乞フコトモ出來ナケレバ、後進ヲ導  
クコトモ出來ナイ、點々トシテ投票場ヘ行  
クテ選舉ヲ済マシテ、點々トシテ歸ツテ來  
ナケレバナラヌヤウナ陰險極マル選舉ニ於  
テ到底立憲ノ大義ニ則ツタ所ノ選舉ノ結果  
ヲ現ハスコトハ出來ナイト私ハ思フテ居ル、  
私ハ普通選舉ノ本當ノ意義ハ、與ヘラレタ

ル武器ハ各人平等デアツテモ、其ノ有スル  
所ノ武力ハ平等デアラノガ本當デアルト  
思フ、米内總理大臣ガ有セラル選舉權ノ  
一票モ、市井ノ無賴漢ガ持ツテ居ル選舉權  
ノ一票モ同ジ武器デアハリマスケレドモ、  
米内總理大臣ノ有セラル一票ハ天下ヲ導  
クニ足ルノ十分ナル、偉大ナル力ヲ持ツ  
タ一票デアル、市井ノ無賴漢ノ一票ハ己ノ有  
スル一票スラモ、己ノ完全ナル意思ニ依ツ  
テ行使スルコトノ出來ナイ所ノ弱イ一票デ  
アル、即チ與ヘラレタ武器ハ平等デアツ  
テモ、其ノ武力ハ其ノ人ノ力ニ應ジテ  
不平等デアルト云フノガ普通選舉ノ本當  
意義デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
ガ、若シ今日ノ選舉取締ノ下ニ於ケルガ如  
ク、先輩ガ後輩ヲ導クコトモ出來ナケレバ、  
同僚相寄ツテ互ヒニ諷刺ヲシテ、サウシテ  
投票スベキ候補者ヲ決定スルコトモ極メテ  
窮屈デアアル、先覺者ガ後進ヲ導クコトモ  
來ナイ、斯ウ云フ選舉デアリマスルナラ  
バ、選舉民ト選舉民トノ間ニ於テハ無檢討  
ニシテ、其ノ人ノ本來欲スルガ儘ナル選舉ガ  
行ハレナケレバナラスト云フコトニナルノ  
デアリマシテ、選舉ノ進歩、政治ノ進歩ト  
云フコトハ是ハ望ミ得ナイ、私ハ今日ノ選  
舉法ニ斯様ナル缺陷アリト考ヘテ居ルノデ  
ゴザイマス、況ヤ司法部、内部ニ於ケル選舉  
ゴザイマス、況ヤ司法部、内部ニ於ケル選舉  
法運用ノ實際ノ如キニ至リマシテハ、是ハ  
言語道斷デアアル、私ハ之ヲ一々申上ゲタコト  
ガナイノデアリマスガ、私ノ申上ゲタコト  
ニ付テ總理大臣、内務大臣、司法大臣ハ第  
一御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、  
之ニ對スルアナタガ方ノ御意見ヲ伺ツテ置キ  
タイト思フノデアリマス

○米内國務大臣 只今ノ御質問ハ選舉法ノ

改正ト云フ點ト思フノデアリマスガ、此  
ノ點ニ關シマシテハ議會制度審議會ノ答申  
等ニ十分検討ヲ加ヘマシテ善處致シタイト  
考ヘテ居リマス

○兒玉國務大臣 取締ノ結果ガ往々ニシテ  
明朗ヲ缺キ、其ノ運用宜シキヲ得ナイガ爲  
ニ非常識ナル結果ヲ齎スコトガ往々アルノ  
デアリマス、其ノ結果トシテ今日只今御話  
ノヤウナ結果ヲ生ジ、ソレガ市町村ノ發達  
ニ向ツテ障礙ヲ及ボシテ來テ居ルト云フコ  
トハ御説ノ通りデアルト思ヒマス、隨ヒマ  
シテ此ノ取締方法ニ付テモ研究ノ上ニ相當  
改善ヲ加ヘナケレバナラスト思フノデアリ  
マス、然ラズンバ我國ノ地方ノ自治ノ發達  
ヲ期スルコトハ出來ス考ヘテ居リマス

○木村國務大臣 御答致シマス、只今小畑  
君ノ仰セラレタ選舉法自體ニ關スル御意見  
ニ對シマシテハ私モ全ク賛成デアリマス、  
併シ現在ノ選舉法ヲ制定致シマシタ當時ノ  
事情ヲ見マシテ、當時ニ於キマシテハ如  
何ニシテ此ノ選舉法公正ニ行ハルルカト云  
フコトニ付テ多大ノ考慮ヲ拂ハレマシテ、  
私モ其ノ當時委員會ノ幹事ヲ致シマシテ、  
政黨出身ノ御方々カラモ貴重ナル御意見ヲ  
拜聴シタノデアリマスガ、何トシテモ立憲  
政治ノ基礎デアル所ノ選舉ノ公正ヲ保持ス  
ル上ニ於テハ、常識上考ヘテ多少無理デア  
ルケレドモ、コマデ取締ヲナケレバ選舉ノ  
公正ガ保タレナイト云フヤウナ御意見ガ非常  
ニ強カツタコトヲ記憶シテ居リマス、隨ヒ其ノ  
當時ノ委員會等ニ於テハ連坐法等ノ御議論  
モ私共拜聴シテ居リマス、ソレデ私自身ガ考ヘ  
マシテモ現在選舉ニ立チマシテ、友人ニ俺  
ハ今度立ツカラドウカ一ツ選舉シテ呉レト  
云フヤウナコトデモ犯罪ニナルヤウデハ全

ク仰シヤル通り國民ノ常識ニ合ハナイ規定  
ガ澤山アリマス、隨テサウ云フ規定ヲ運用  
スル途ニ立ツ者トシテハ非常ニ難カシイノ  
デアリマス、併シ選舉法ガ制定ニナリマシ  
テ趣旨ガソコニアツテ、少シデモ此ノ法ニ  
依ツテ取締ツテ其ノ結果公正ガ保タレルナ  
ラバ、立憲政治ノ基礎ガ確立スルノデアリ  
カト云フコトハ爲ニ實ハ出來タ選舉法ト記  
憶致シテ居リマス、色々ノ例ガアリマスガ、  
一例ヲ舉ゲマシテモ選舉ノ應得ノ演説ヲナ  
サルコトガ雪ノ中山ノ中ヲ一里モ歩イテ  
御盡力ニナルノニ、之ニ何等ノ報酬ヲ與  
ヘナイケナイト云フ現在ノ選舉法ハ全ク常  
識ヲ踏破ツタ規定デアルト考ヘテ居リマス、  
併シ其ノ當時ノ經驗ニ從ヘバサウ云フ場合  
ニ一々報酬ヲ出サユウナコトヲ放任スル時  
ニ於テハ、總テノ應得者ト稱スル人達ガ澤  
山ソコニ蟻集シテ來マシテ、候補者ニ立タ  
レタオ方々デハ應得ニ追ガナイ、選舉  
費用低減ノ爲ニ斯ウ云フ場合ニハ斯ウシテ  
方方宜カラウ、斯ウ云フ御意見分下ニアア  
云フ規定ガ出來タト私ハ記憶致シテ居リマ  
ス、隨ヒマシテ、サウ云フ場合ノ事件ヲ檢  
査シ、又裁判官ガ裁判スルノハ實ニ苦心ニ  
苦心ヲ心ニ味ツテ居ルノデアリマス、ソコ  
デ私今ニシテ考ヘマスレバ、モウ是程難  
極マルヤウナ選舉法ヲ一時布イテ大分サウ  
云フ方面ノ修正應運モ見エタノデアラカラ、  
此ノ際此ノ時出來得ル限リ國民ノ常識ガ是  
認スルヤウナ選舉法ヲ改正ガ出來ルナラバ、  
檢査ノ取締ノ局ニ當ル者モ實ニ快ク取締ガ  
出來ルモノト實ハ考ヘテ居ル次第デアリマ  
ス、隨ヒマシテ今小畑君ノ仰シヤイマシタ  
御意見ニ對シテハ、私ハ衷心カラ實ハ御贊  
成ヲ申上ゲマス、願タバ國民ノ常識ガ是認

スルヤウニ取締規定ガ制定セラマシテ、其  
ノ下ニ善ク取締ヲ爲シ當ルノ時期ノ早カ  
ランコトヲ私ハ希望シテ已マヌ次第デアリ  
マス

○小畑委員 大分御丁寧ノ御答ヲ伺ヒマ  
シタ、時間モモウ僅ニナリマシタカラ是デ  
私ハ質問ヲ打ち切リマスガ、唯内務大臣、總  
理大臣ニ此ノ際私ガ希望ヲ申上ゲテ置キタ  
イノハ、若シ議員ノ素質ニ甚ダ遺憾ノ點ア  
ルモノト致シマスルナラバ、ソレハ民衆ガ  
馬鹿デ、衆愚ガ選舉シタ議員ハ素質ガ惡イ  
ト云フコトデハナイノデアリマシテ、選舉  
ニ依ツテ議員ヲ選出スルコトガ當然デアリ、  
最良ノ方法デアアルケレドモ、現在ノ選舉  
ノ制度ト其ノ運用ガ其ノ當ヲ得ザルモ  
ノデアルト云フ原因ヲシツカリ把握セラレ  
マシテ、サウシテ地方制度ヲ改正ニ當リマ  
シテモ、此ノ御考カラ御研究ヲ願ヒタイト  
思フノデゴザイマス、是私ノ質問ヲ打切  
リマス

○山本委員長代理 加藤知正君——一寸加  
藤君ニ申上ゲマスガ、約束ハ皆一時間ニナ  
ツテ居ルノデスケレドモ、石坂君モ三十分  
デ御止めニナリマシタ、小畑君モ四十分デ  
御止めニナリマシタ、サウカカラ、アナタモ  
斯ウ云フ時間デアリマスカラ成ベク簡潔ニ  
御答致シマス

○加藤委員 理事ト私ノ間ニ私ニ時間ヲタ  
ツプリヤセルト云フ約束ガアルノデアリ  
マスガ、併シ時間モ既ニ遲イコトデアリマ  
スカラ、成ベク簡潔ニ早ク質問スルコトニ  
致シマス、就キマシテハ先づ以テ私我國ノ重  
大産業ノ一ツデアル蠶絲關係ニ付キマシテ、  
是ヨリ御質問ノ上ゲタイト思フノデゴザイマ  
ス、昭和四年ニ於テ米國ノ生絲消費高ガ六

十一万九千俵デアツタノガ、昭和十四年ニ  
ハ三十八万三千俵トナリマシテ、僅カ十一  
年間ニ於テ二十三万六千俵ノ激減ヲ示シタ  
ノデアリマス、是ハ言フマデモナク人絹ニ  
蠶食セラレタノデアリマシテ、其ノ二十三  
万六千俵中日本生絲ガ二十万一千俵ノ多キ  
ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、人絹ノ發達  
ガ日本生絲ノ上ニ與ヘタル影響ハ實ニ大ナ  
ルモノガアルト申サナケレバナリマセ、  
然レドモ此ノ影響ハ主トシテ二十一中ノ廣  
中物用生絲ニ與ヘタノデアリマシテ、幸ニ絹靴  
下用生絲ハ影響ハナカツタノデ、米國ヘノ輸  
出生絲ハ此ノ絹靴下用生絲ヲ需要ニ依ツテ維  
持サレテ居ルト申シテモ、邊言デハナイノデ  
アリマス、然ルニ最近發見サレタ「ナイロン」ヤ  
「スーパレーション」ノ如キ化學纖維ノ強敵  
ガ現ハレマシタノデ、生絲ノ將來ハ全ク樂  
觀ヲ許サザル情勢ト相成ツタノデアリマスガ、  
此ノ情勢ヲ政府ハ如何様ニ考ヘテ居ラルル  
デゴザイマセウカ、先年私ガ米國ノ大機業  
家「スキナー」氏ヲ訪問致シマシタル際  
ニ、同氏ハ此ノ間歐羅巴ヲ引揚ゲテ米國ヘ  
造スルノデアアルカト云フコトヲ尋ネタ、所  
ガ松岡全權ハ其ノ時生絲デアラウガ、人絹  
デアラウガ、日本ハ決シテ一方ニ偏スルモ  
ノデハナイト云ハレタカラ、自分ハ更ニ日  
本生絲ノ背後ニハ二百萬戸ノ農民ガ控ヘテ  
居ルト聞イテ居ルガ、其ノ農民ヲドウナサ  
ル積リデアアルカト、斯様ニ反對致シタ所ガ、  
松岡全權ハ笑ツテ答ヘナカツタノデアル、



ソコ自分分家へ歸ツテ農民ノコトヲ心配シナイヤウナ政治家ニモ困ツタモノデアルト家族ノ者ニ話ヲシタノデアリガ、アナタ方ハ之ヲ何ト考ヘルカト、斯様ニ「スキンナー」氏ハ眼ニ涙ヲ浮ベテ吾々一行ニ話ヲシタノデアリマス、實ニ「スキンナー」氏ノ言ヒマスガ如ク、日本ノ生絲ノ背後ニハ今ハ二百萬戸ノ養蠶家ガ段々減ジマシテ百六十萬戸トハナリマシタケレドモ、現ニ角此ノ百六十五萬戸ノ養蠶農民ガ控ヘテ居ルノデアリマス、而モ生絲貿易ノ盛衰ハ我が國家經濟ニ至大ノ關係ヲ有スルノデアリマスカラ、到底之ヲ對岸ノ火災視スル譯ニハ參ラスト思フノデアリマス、然ルニ我が生絲ノ最大顧客デアリヤウナ生絲消費ノ狀態ハ、以上申述ベマシヤウナ次第デアリマスガ、更ニ退イテ我が内地ノ蠶絲業ノ狀態ヲ顧ミマスルト、養蠶戸數ハ昭和五年ノ二百二十一萬六千戸ガ、昭和十四年ニハ百六十五萬一千戸トナリ、十年間ニ五十六萬五千戸ヲ減少シタノデアリマス、而シテ桑園ノ段別ハ昭和五年ノ七十一萬四千町歩カラ、昭和十三年ニハ五十四萬九千町歩トナリマシテ、十六萬五千町歩ヲ減少シテ居リマシテ、製絲工場ハ昭和五年ノ三千七百五十九工場カラ、昭和十三年ニハ一千八百三十七工場トナリマシテ、一千九百二十二工場ヲ減少シテ居リマス、而シテ製絲釜數ハ昭和五年ノ三十二萬三千釜カラ、昭和十三年ニハ十九萬一千釜トナリマシテ、十三萬二千釜ヲ減少シタノデアリマス、勿論ハ桑園ノ整理改植、釜數整理等ノ關係モアリマスガ、何レニモ往年ノ旭日昇天ノ勢ヒヲ以テ發展致シタ黃金時代ノコトヲ考ヘマス、轉タ感慨無量ニ堪ヘナイノデア

リマス、私ハ昨年デ滿五十年間一貫専心蠶絲業ノ爲ニ盡スノハ、君國ノ御奉公ト心得、微力ノ一端ヲ捧ゲテ參ツクノデアリマスガ、其ノ私ノ眼カラ此ノ數字ヲ見マス、唯一滴ノ涙アルノミデゴザイマス、私ハ斯様ノ國家ノ重大生産業デアリ蠶絲業ノ現狀ガ此ノ有様デアリカラ、ドウカ米内首相ニ此ノ事ヲ是非聽イテ戴キタカツクノデアリマス、ソレガ爲ニ御出席ヲ御要求シテアルニモ拘ラズ、ツイ先刻マデ此處ニ居デニナリマシタガ、何時ヤラ何處カへ消エテシマツタ（笑聲）米内首相ニハ「スキンナー」氏ノ所謂蠶絲業ノ背後ニハ二百萬戸ノ養蠶農民ガ控ヘテ居ルト云フコトヲ御考ヘナサラスモノト思ハレル、スキンナー」氏ガ此ノ有様ヲ見タナラバ、又々松岡氏以上ニ農民ノコトヲ知ラナイヤウナ總理大臣ガアルカト慨歎スルデゴザイマセウ、亞米利加ノ人デサヘモ斯様ニ我國養蠶農民ノコトヲ心配シテ居ルノニ、首相ノ此ノ態度ハ何タルコトデゴザイマセウカ、實ニ私ハ米内首相ノ此處ヲ去ラレタ態度ニ遺憾ノ念ヲ表セザルヲ得ナイ、ドウカ閣僚ノ御一人ドナタデモ宜シイカラ、私ノ申シマシタコトヲ米内首相ニ特ニ御話ヲ願ヒタイノデアリマス、現狀ヲドウ御覽ニナルカ、又此ノ蠶絲業ノ將來ヲドウスレバ宜イカト云フコトニ付テ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマシタガ、オ居デニナラナイ以上ハ已ムヲ得マセウ、ドウカ島田農林大臣ニ御迷惑ナガラ、一ツアナタガ内閣諸公ヲ代表シテ、御意見ノアル所ヲ此處デ披露シテ戴キタイ

○島田國務大臣 蠶絲業ノコトニ關シテ、加藤君ヨリ熱心ナル御意見ガゴザイマシタ、此ノ事ハ蠶絲業ニ直接關係シテ居ル者、並ニ之ニ間接ニ關係シテ居ル者ハ、凡ソ我國ノ海外貿易ヲ考ヘ、又内地ノ事情ヲ考ヘマスト、此ノ蠶絲業ノ將來ト云フコトニ付キマシテ非常ニ憂慮シ、之ニ對シテ發展維持ノ途ヲ講ジナケレバナラスト云フコトニ付キマシテハ、皆同意シテ居ルト思フデアリマス、殊ニ最近競争激化ノ發達ト云フコトニ付キマシテ、我國ノ蠶絲業ノ將來ニ對シテ非常ニ憂慮ヲ持ツテ、此ノ維持ト競争ノ關係ニ於キマシテ、蠶絲業ノ維持ヲスル、隨テ此ノ養蠶業ニ及ボス影響ニ付キマシテ、深甚ナル研究ヲ考慮ヲ加ヘナケレバナラスト云フ事柄ニ付キマシテハ、全ク御述ベニナリマシタ通りノ感ジヲ持ツテ、吾々ハ善處シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、加藤君ハ永ク此ノ方面ニ從事シテ居ラレマシテ、造詣ノ深イ方デアリマスカラ、多クノ機會ニ於キマシテ御意見ヲ伺フコトガアルヲラウト思ヒマス、是ハ朝野悉ク憂慮シテ居ルコトデアリ、必ずヤラネバナラス事柄デアリマスカラ、ドウ御協力ヲ戴キマシテ、此ノ事業ノ維持發達ニ付テ努力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○加藤委員 只今島田農相ハ蠶絲業ニ關係アル者、又間接ニ關係アル者ハ、皆心配シテ居ル云々ト仰シヤツタガ、此ノ問題ハ私ハ獨リ蠶絲業ニ關係アル者ノ心配スベキ問題デハナクテ、國民全體ガ心配シナケレバナラス大問題デアルト思フノデアリマス、試ミニ昨年ノ統計ヲ見マス、昨年一箇年ニ於テ、繭ノ爲ニ全國ノ農家ノ手許ニ入ツタ金ガ、八億八千二百六十八萬八千圓デアリノデアリマス、中ニ是ハ大キナオ金デア

點セラレ方ガナイトモ限ラナイ、ダガ併シ私ラシテ言ハシムレバ、蠶絲業ノ前途ハ此儘ニシテ置ケバ悲觀セナケレバナラナイガ、併シ是ガ對策宜シキヲ得レバ、私ハ悲觀スルニハ及バズトデアリマス、今ニシテ是ガ對策其ノ宜シキヲ得マスルナラバ、私ハ現狀ヲ維持スルコトハ勿論、是レ以上ニ發展セシムルコトモ決シテ困難デハナイト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、然ラバ其ノ對策如何ト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、其ノ對策ニ付テハ色々意見モアルコトデアリマス、ダガ併シナガラ私カラ之ヲ見マス、何ヲ措イテモ先ヅ第一ニヤラネバナラスコトハ、絹絲纖維ノ研究機關ヲ設ケルト云フコトガ、是ガ焦眉ノ急デアルト考ヘルノデアリマス、斯様ナコトハ日暮レテ道遠シト云フ風ニモ思ハレマスガ、併シ今カラデモ決シテ遲クハナイカラ、速ニ現在ノ蠶絲試驗場ト蠶業試驗場トヲ綜合致シマシタ絹絲纖維ノ研究機關ヲシメ、之ニ依ツテ高度ノ科學的研究ヲ爲サシムルコトガ、私ハ最も大切ナコトデアルト思フノデアリマス、米國ノ「デューボンド」會社ガ「ナイロン」ヲ發明スルマデニハ、實ニ數千萬弗ノ研究費ヲ投ジタト云ハレテ居ルノデアリマス、我國ノ蠶絲試驗場ノ經費ヲ見マスト、僅ニ百三十萬圓程度ニ過ギナイ、是位ノ金デ以テ何ガ一體出來ルカ、見スポラシイト申シマシテハ、此ノ際勿體ナイヤウナ言葉ヲ使ヒマスガ、斯様ナ少額ノ金額デ一體何ガ出來ルデアリマセウ、併シ蠶業試驗場デハ長イ間掛ツテ、蠶カラ繭、繭カラ生絲ニ至ルマデノ研究ハ十分ニ致シテ居リマス、ソレガ蠶絲ノ研究トシテハ今日世界ノ研究ト相成ツテ居リマスカラ、少額ノ金

額ト雖モ夫レ相當ノ働キハ致シテ居リマス、ケレドモ併シ斯ノ如キ少額ノ金額デハ、現在以上ノ試驗研究ヲナサシムルコトハ無理ノ註文デアルト思フノデアリマス、然ラバ現在以上如何ナル試驗研究ヲナサシムルカト云フコトニナリマスガ、御承知ノ如ク桑カラ蠶、蠶カラ繭マデノ、研究ハ相當進んで居ルケレドモ、生絲ヨリ先ノ研究ガ一向ニ出來テ居ナイノデアリマスカラ、生絲ト人造絹絲トノ關係、生絲ト、ナイロントノ關係、生絲ト、スーパール・レイヨントノ關係ト云ツタヤウナ所謂競争纖維ニ關スル高度ノ研究ヲ爲サシムルコト云フコトガ、何ヲ措イテモヤラセニヤナラス問題デアルト思フノデアリマス、何ト、政府ハ此際急切ツタ經費ヲ投ジテ、十二分ノ試驗研究ヲ爲サシメ、生絲ヲシテ「ナイロン」以上「スーパール・レイヨン」以上ノ高級纖維ヲラシメ、其ノ價格ニ於テモ他ノ化學的纖維ヨリモ、寧ロ安ク販賣ノ出來ルヤウニサセラルル御考ヘナイカ、之ヲ一ツ御伺申上ゲタイノデアリマス

○島田國務大臣 生絲ノ將來ニ付テ、所謂蠶絲業全體カラ言ヒマシテ、競争激化トノ關係ニ付テ眞劍ナル研究ヲスルコトガ最も急務デアルト云フコトハ、先程ノ答辯中ニモ申上ゲタ次第デアリマス、而シテ之ニ關スル研究機關ノ設備、機構ガ甚ダ小サイト云フコトニ付キマシテモ、御話ノ點ニ付テハ同意ヲ感スル次第デアリマスガ、何分之ニ付キマシテハ加藤君モ御承知ノ通りニ、多額ノ經費ヲ研究機關ニ投スルト云フコトニ付テハ、財政上其ノ關係カラシテ、年來希望ノアルコトデアツテ、而モ中々實行ノ出來ニタイ點ノアルコトヲ私共モ甚ダ遺

憾トシテ居リマスガ、尙ホ是等ニ付キマシテ先刻申上ゲルヤウニ、民間關係ノ方々ノ協力ヲ得マシテ、政府モ大イニ奮發ヲシテ研究機關ノ擴張充實ト云フコトニ付テ努力致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 一面ニ於テ先ヅ試驗研究ヲ爲サシメテ「ナイロン」「スーパール・レイヨ」ト下價ニ對抗シ得ル方法ヲ講ズルト共ニ、更ニ他面ニ於テハ現在ノ蠶絲業ノ組織機構ニ大改革ヲ加フルノ必要ガアルト思フノデアリマス、現在ノヤウニ僅カ一箇月一箇月半ノ間ニ生絲相場ガ千圓前後モ大暴落ヲ示スト云フヤウナコトデハ、生絲ノ壽命ヲ縮メル一方デアアルノデアリマス、米國ニ於ケル日本生絲ノ需要ハ、御案内ノ如ク絲價ガ急騰致シマシテモ減ルシ、又急落致シマシテモ減リマス、暴騰、暴落程日本生絲ノ壽命ヲ縮メルモノハナイノデス、此ノコトニ付テモ實ハ詳細ク御話ヲ申上ゲタイト存ジマスケレドモ、時間ニ制限ガアリマスカラ此ノ程度ニ致シテ置キマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、極端ニ暴騰、暴落ノナイヤウニ、所謂絲價ヲ安定セシムルコトガ、即チ生絲ノ需要ヲ確保スル所以デアルトハ、何人モ知ツテ居ル所デアリマスケレドモ、現在ノ組織機構デハ遺憾ナガラ絲價ノ安定ハ望ミ得ラレヌノデアリマス、此事ハ皆知リツツ生絲ヲシテ日一日ト其ノ前途ニ望ミナイヤウナ狀態ニ陥ラシメツツアル現在ノ狀態デアリマス、デゴザイマスカラ、是ハ現在ノヤウナ機構ニ任シテ置キマシテハ到底浮上ラナイ、生絲ノ前途ハ絶望ノ外ハナイノデゴザイマスカラ、寧ロ此ノ際政府ハ大英斷ヲ以テ、蠶絲業全體ノ經營ヲ國家管理ニ移サレテハ如何デアリマセウカ、



○櫻内國務大臣 只今加藤君ノ御話ニナツテ居ル...

○加藤委員 此問題ハ國家トシテノ大問題...

ドウ云フ風ニナルカト云フコトニ付キマシ...

コトハ今申上グルマデモゴザイマセス...

レバ、終ニ悪ルクナイモノデモ倒レナケ...

○石坂委員長代理 時間ノヤウデスカ...

○加藤委員 之ニ付テモ色々實ハ一問一答...

歌ヤ俳句ノ心得モ多少アルト云フコト...

○石坂委員長代理 加藤君簡單ニ願ヒマ...

○米内國務大臣 御質問ノ點ハ御尤モ...



トト存ジマス、差當リ各監督ヲ督勵致シ  
マシテ、興亞ノ大業ニ少シデモ練ノ入ラナ  
イヤウニ努メタイト存ジマス  
○松浦國務大臣 只今ノ落書ノ御話ハ至極  
御尤モ千萬アリマス、學校ノ教育ニ於キ  
マシテモサウ云フヤウナ點、或ハ公園ノ樹  
ヲ無邪氣ニ折ルトカ、無邪氣デハアリマ  
スマイケレドモ、或ハ他ノ場所ニ落書ヲ致  
ストカ、サウ云フ點ニ付テハ餘程缺點ガア  
ル嫌ヒガアルノデアリマスカラ、サウ云フ  
點ヲ矯正スルコトニ付キマシテハ、從來モ  
力ヲ致シテ居リマスガ、尙ホ今後十分サウ  
云フ點ニ付キマシテ改善ヲ致スコトニ努力  
ヲ致ス考デアリマス、全ク御同感デアリマ  
ス

○森田(總)政府委員 只今御指摘ノヤウナ  
點ハ事實アリマスノデ、軍ト致シマシテハ  
十分之ヲ取給ルコトニ致シテ居リマス、只  
今中サレマシテ南京ノ方モ塗替ヘマシタ  
シ、大同ノ石佛モ十分保護致シテ居リマス  
カラ、御安心ヲ願ヒマス  
○加藤委員 昨ハ最後ニ五分アリマスカラ  
内務大臣ニ一ツ御尋申上ゲタイト思ヒマス、  
ソレハ惡質ノ小作爭議ノ煽動者ヲ何故ニ嚴  
シク御取締ニナラスカ、斯ウ云フコトデア  
リマス、私ハ神聖ナル意味ニ於テ農民運動  
ヲヤル者ヤ、社會運動ヲヤル者ニ決シテ反  
對スル者デアリマセス、ダガ併シナガラ  
此ノ農民運動ヤ社會運動ノ名稱ノ下ニ隠レ  
テ、所謂惡質ノ煽動者ガ近年甚ダ多キヲ加  
ヘツアルコトヲ頗ル遺憾ニ思フノデアリ  
マス、是等ノ煽動者ハ何々團體、何々農團  
ナドト云フヤウナ、色々近頃流行リノ看板  
ヲ掲ゲマシテ、巧ミニ無辜ノ農民ヲ欺シ、  
其ノ弊害ノ及ブ所眞ニ怖ルベキモノガアル

ノデアリマス、今私ハ之ニ關スル實例ヲ一  
ツ申上ゲテ、内閣諸公ノ御參考ニ資シタイ  
ト思フノデアリマスガ、是ハ去ル昭和十一  
年新潟縣志志郡西谷村ニ起ツタ小作爭議デ  
アリマスガ、四五年掛ツテ此ノ間漸ク此ノ  
解決ガ出來タノデアリマス、此ノ小作爭議  
ノ煽動者ハ更ニソレカラソレヘト立廻リマ  
シテ、到ル處農村ニ波瀾ヲ起サウシテ居  
ルノデアリマス、而シテ是等ノ煽動者ガ  
ドノヤウナコトヲ致シテ居ルカト云フコト  
ニ付キマシテ、私ハ大速力ヲ以テ之ヲ朗讀  
致シマスカラ、之ニ依ツテ一ツ御察シテ願  
ヒタイ、ソレハ斯ウ云フコトナノデアリマ  
ス、昨年十月愛同會結成其ノ同夜當小學校  
ニ講演會ヲ開キ、何某ハ——是ハ名前ガア  
リマスケレドモ是ハ特ニ私ハ申シマセヌ  
——自己ノ博識技能ヲ誇ルベク地主排撃、  
政治問題、果テハ長クモ御勸告、君ケ代ノ  
批評ヲナシタルコトハ、今尙ホ聽衆ノ耳底  
ニ存在スル所デアリマス、大衆ノ中不敬ノ  
者ト思フタ人モ二三アリマシタ位位、大  
部分ノ人達ハ全ク大人物ト思ヒ、一言一  
句絕對服從スベキモノト大衆ガ信感ヒマシ  
タ、小作人ヲ煽動シテ地主ニ對シ團體ヲ以  
テ年貢米不當減免ヲ強要シ、果テハ某自ラ  
地主方ヘ行キ威嚇シテ、遂ニ目的ヲ達シ  
テ年貢米不當減免ヲ強要シ、果テハ某自ラ  
地主方ヘ行キ威嚇シテ、遂ニ目的ヲ達シ  
テ年貢米不當減免ヲ強要シ、果テハ某自ラ  
地主方ヘ行キ威嚇シテ、遂ニ目的ヲ達シ

セラルル所ノ總理大臣首メ閣僚各位ノ深キ  
反省ト慮リテ願ハナケレバナラスト思フ  
デアリマス、然ルニ近來甚々モ世間モ認メ  
テ居リマス所ニ官僚獨善ト云フモノガア  
ル、武家專制ノ時代ニ於ケル情弊ハ、所  
謂武家ノ獨善ナル、此ノ武家ノ獨善ガ  
ナクナツテ日本ノ國力が發揚サレテ來  
タ、明治維新以來總進軍ノ國民的能力發揚  
ニ依ツテ今日ノ國力が出來テ居ル、此ノ國  
力ガアツタレバコソ、今日ノ如キ重大ナル  
支那事變ニ吾々ガ際會致シマシテモビクト  
モセズニヤツテ行ケル、其ノ根本、今日日  
本ガ東亞ノ重大ナル時局ヲ引受け得ル所ノ  
力ト云フモノハ、是ハ立憲政治ナル、萬  
民輔翼、所謂一君萬民ノ能力ヲ發揚シテ結  
果ニ外ナラナイト思フノデアリマス、然ル  
ニ此ノ重大ナル時局ニ當ツテ、此ノ數年來  
官僚獨善ト云フ弊ガ澎湃トシテ天下ヲ覆ウ  
テ居ル、之ニ對シテ過去何代カノ内閣ニ於  
キマシテハ、官界ニ於ケル弊風ヲ認メ、官吏  
制度ノ改革ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フ  
コトヲ言ハレテ居リマスガ、米内總理大  
臣ニ於ケレマシテモ、官吏制度ノ弊害ヲ認  
メテ居ラレカドウカ、官吏制度ノ改革ヲ  
ヤラナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ、  
本委員會ニ於テモ述ベラレタヤウニ思フ  
デアリマスガ、此ノ官吏制度ノ弊害ガ那邊  
ニアルト御認メニナツテ居ルカ、先ツ承リ  
タイト思ヒマス

可抗力ノモノダ、又信用貸借ハ小作人ハ棒  
引ニモナルモノデアル、國家全部モ近キ將  
來ニ借金問題等ハ棒引ニ致サナケレバナラ  
ヌ、而シテ始メテ貧乏人モ財產家モ地主モ  
小作人モ共同一致シ、此ノ非常時ニ對處シ  
ナケレバナラヌ、其ノ故ニ我々ノ愛同會ハ  
日本主義デアル、之ニ應ゼザル者ハ非國民  
デアルカラ、ドシ(征伐)セナケレバナラ  
ヌ、我々ノ主義ハ正當ナル故ニ、上ハ軍  
部荒木大將始メ松本閣下、小林順一郎大佐  
其ノ他偉イ御方ガ指導獎勵致サルノデア  
ル、仍テ應ゼザル者ハ或ハ憲兵隊ガ來リ  
銃殺スル等ト威嚇言ヲ用ヒ、又小作米減  
免ニ至リテハ、他ノ地主ハ了解シテ貫ツテ、  
オ前許リニナツタカラ是非應ズベキダ等ト、  
欺瞞ト威嚇ト合セテ訪問アリシ、又應ゼザ  
ル地主ニハ要求以外ノ年貢ヲ未納シテ居リ  
マス、又減免要求ニハ警察特高課ガ同意シ  
テ居リ、要求通り引去リ納入致シテ十分ダ  
ト、特高ガ言ウテ居ルト宣傳シテ居リマ  
ス、小作人等ハ至ツテ常識的低級ノ者ナル  
爲、逆宣傳ガ實ニ徹底的ニ進ミ込ミ、年貢  
米減免要求問題ハ、全ク政府ニ願ヒ大臣様  
ノ御同意ノモノト眞ニ思フテ居リマス爲  
ニ、我々ガ如何ニ地主小作間ニテ相談解決  
致スベク申シテモ、彼等小作人等ハ代表  
某々ニ委任シ置キ、兩氏ヲ解ノ謀長級ノ役人  
ダト深信シテ居リ、地主ハ懲罰共ト考ヘ  
居ル状態ニテ、全ク施ス術ナク困却致シマ  
スウ云フ實ハ陳情書ヲ、此處ニ判ヲ捺シテ  
作ツテ送ツテ來テ居ル、此ノ事ヲ御察キ下  
サイマシタナラバ、實ニ出鱈目ト言ヘバ言  
フヤウナモノデゴザイマスガ、斯様ナコト  
ヲ言フコトハ俗耳ニ入り易イ、地方ノ農民ハ  
斯様ナ事ヲソツクリ信スル、斯様ナ事ヲ言

ヒ立テサウシテ平和ノ農村ニ波瀾ヲ起サ  
セテ、農村ヲ破壊シテ行ク者ガ中々ニ多イ、  
ナゼ斯様ナ極端ノ煽動者ヲ御取締ニナサラ  
ナイノカ、是ハ法律ノ不備カラ來テ居ルト  
思ヒマスカラ、惡質ノ煽動者ヲ取締ル法律  
ヲ設ケルナリ、又ハ在來ノ法律ヲ改正スル  
デアラウト思フノデアリマス、之ニ對シ、  
内務大臣ハ如何ヤウニ御考デアルカ、此ノ  
中ニハ大臣様ト書イテアル所モアツテ、聽  
拾テナラヌコトガ外ニモ書イテアルガ、之  
ニ對スル明快ナル御答ヲ戴キタイノデア  
リマス  
○兒玉國務大臣 各種ノ社會運動ニ對シマ  
シテハ、當ニ周到ナル注意ヲ拂ツテ居ルノ  
デアリマス、只今御談上ゲニナリマシタ  
ウナ事實ガアリマスナラバ、能ク取調ベ  
マシテ事後處置ヲ講ジタイト思ツテ居リマ  
ス  
○石坂委員長代理 田村秀吉君  
極メテ抽象的ニ涉ルカモ知レマセスガ、明  
確ナル御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、  
第一ニ總理大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスノハ、  
國政運用ノ根本ニ關スルコトデアリマス、  
本委員會ニ於テ總理大臣ハ、或ハ全體主義  
或ハ民權再組織ト云フヤウナ議論ガ出マシ  
タ際ニ、自分ハサウ云フ考ハ持つテ居ナイ、  
憲政ニ基イテ強ク正シキ政治ヲ行ヒタイ、  
斯ウ云フコトヲ言明セラレタヤウニ承ツ  
テ、私ハ深く敬意ヲ表シテ居ル者デアリマ  
スガ、抑、立憲政治ノ要諦ハ政治ニ對スル責  
任、行政ニ對スル責任、此ノ責任ノ歸屬ヲ  
明ニスルコト云フコトガ憲政ノ根本義ナケ  
レバナラヌト思フノデアリマス、明治維新

ノ變革ガ五箇條ノ御誓文ニ依ツテ行ハレマ  
シタ、其ノ五箇條ノ御誓文ノ一項ニ「官武  
一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ  
慍マサラシメン事ヲ要ス」是ガ根本義トナ  
ツテ、日本ガ明治以來前古未有ノ一大國  
力ノ増進トナツテ來テ居リマスルコトハ  
申スマデモナイノデアリマス、此ノ前ニア  
リマシタ徳川時代ハ、所謂武家專制ノ時代  
デアリマシテ、權力ヲ持つテ居ル者、或ハ  
武力ヲ持つテ居ル者、斯ウ云フ者ガ世ノ中  
ヲ私シテ居ル、其ノ私ヲスルガ故ニ、一般  
國民ト云フモノハ、折角ノ能力ヲ持つテ居  
ウテモ、其ノ能力ヲ十分ニ發揚スルコトガ  
出來ナカツタ、併シナガラ鎖國時代ノ封建  
專制時代ニ於キマシテハ、如何ニ百姓一揆  
ガ起リマシテモ、外カラ迫ルモノガナイカラ  
之ヲ壓迫シテシマヘ宜カワツタ、所ガ幕末明  
治維新ノ頃ニナリマシテ以來、北カラハ露  
西亞ガ迫リ、東ノ方カラハ英佛ガ迫ル、斯ウ云  
テ來ル、西ノ方カラハ英佛ガ迫ル、斯ウ云  
フ風ニ國ヲ擧ゲテ外カラ迫ラレルト、武家  
專制トカ、或ハ官權權力ヲ持つ者ガ我儘  
ヲヤツテ居ルト云フヤウナコトデアリマス、  
發揚ガ出來ナイ、ソコデ明治維新ノ志士仁  
人ガ起ツテ一大國政ノ變革ヲヤツタ、何人  
モ其ノ能力ニ應ジテ、士農工商ノ區別ガ撤  
廢セラレ、何ニデモナレ、明治大帝ハ總  
進軍ノ喇叭ヲ御吹キ遊バシテ、日本國民ハ  
其ノ能力ニ應ジテ何モノニデモナレ、此  
ノ總能力ガ發揚セラレタ結果、ソレガ今日  
ノ如キ日本ガ世界最大ノ國家ニマデ來タ根  
本義デアルト思フ、此ノ根本義ヲ忘レテ居  
ツテ、果シテ今日ノ如キ重大ナル未曾有ノ支  
那事變ト云フモノヲ解決シテ、東亞ノ新秩  
序建設ガ出來ルカドウカ、是ニ國政ヲ擔當

下ノ時局ニ於キマシテ、此ノ非常難局ヲ突  
破スル爲ニハ、官吏ヲシテ十分ニ責任ヲ重  
ンゼシムルコト云フコトハ絕對ニ必要ナコト  
ト考ヘマス、尙ホ官吏制度ノ改正ニ關シマ  
シテハ、屢々申上ゲマシタ通り、官吏制度ノ  
全體ヲ考ヘマシテ、サウシテ惡イ點ハ之ヲ  
改正シテ行クコト云フコトニ一ツモ躊躇シナ  
イ、斯ウ考ヘテ居リマス  
○田村委員 國政運用ノ根本ハ、申上ゲル  
マデモナク人事ニアリマス、人ニ依ツテ國  
政ガ運用セラレテ居ル、其ノ人宜シキヲ得  
ナケレバ、百ノ制度ヲ設ケマシテモ、國家  
ハ活力ヲ發揚シ得ルモノデハナイノデアリ  
マス、現在官吏制度ノ弊害ハ總理大臣モ御  
認メノキウデアリマスガ、之ヲ如何ニ解決  
スルカ、何處カラ改革シテ行カカ、私ハ其  
ノ百弊ノ根本ハ、身分保障令ニアルトモ  
ノデアリマス、抑、身分保障令ハ過渡的ナ  
制度デアリマス、身分保障令ナシト云フガ  
ノハナクテモ——寧ろ身分保障令ガアルモ  
故ニ、良イ役人ガ上達スルコトガ出來ナ  
イ、思フ存分ニ能力ヲ發揮スルコトガ出來  
ナイ、善良ナル良知良能ノ役人デアレバ官  
吏身分保障令ト云フヤウナモノニ應レテ自  
己ノ身ヲ完ウスルト云フ、安適ノ食ル必要  
ハナイ、而モ今日ノ時代ハ國民ノ知識ハ發  
達シテ居リマス、國民ノ監視ハ嚴重ニナツ  
テ居ル、斯ウ云フ場合ニ官吏身分保障令ガ  
ナクトモ、無茶ナ人事ハ如何ナル大臣ガ出  
テモ出來ナイ、隨テ今日ハ此ノ過渡的ノ制  
度デアル所ノ身分保障令ハ、良知良能ノ官  
僚ノ爲ニモ之ヲ速ニ廢止シナケレバナラヌ、  
官吏身分保障令、コシナモノハ、其ノ局ニ  
當ツテ居ル人ノ運用宜シキヲ得レバ、コシ  
ナモノハ大シタ問題デハナイト思フ、併シ

ナガラ身分保障令ガ其ノ運用宜シキヲ得ズ  
シテ、此ノ身分保障令ノ廢止隱レテ自分ノ身  
ヲ私セントスル者ノ雲集シテ居ル狀況ガ今  
日アルノデアリマス、一々具體的事實ヲ申  
上ゲルマデモナイト思フノデアリマスガ、  
今日世間ニ言ハレル所ノ下剋上ノ政治、下  
カラ押上ゲテ上ヲ「ロボツト」化スルカ、  
或ハ自分ニ都合ガ惡イカラト云ツテ、外カラ  
練達ノ士ガ來ルノヲ排斥スル、一ツノ例ヲ  
政務官ニ取ツテ申シマスナラバ、ココ數代  
ノ内閣ガ迭ル、其ノ迭ル際ニ、或ハ内務  
省、或ハ外務省ニ於テ、世間ノ傳フル所ニ  
依リマスレバ、内務行政ニ練達ナル者或ハ外  
務行政ニ練達ナル者ガ政務官ニ來ルト邪說  
デハナイカト云フコトデアリマス、一角、内  
務省ノ一角カラ排斥スルコト云フコトヲ世間デ  
言ハレテ居ル、是ハハハハ官吏身分保障令  
ヲ持つテ來ルト「ロボツト」政治ガ行ハレナ  
イ、ロボツトニスルコトガ出來スカラ排斥  
ヲスルコトニナル、又或ハ下ラヌ自己中心ノ、  
世ノ中ニ普遍性ヲ持タイ「イデオロギ」政  
治ヲヤリ出シテ他ヲ排斥スル、官僚ニシテ國  
民代表ヲ排斥シテ、政黨ガイケンイトカ何トカ  
云フ勝手氣儘ノ「イデオロギ」論カラヤツ  
テ居ル、斯ウ云フ政治ノ起ルモノ、其ノ根本ハ  
身分保障令ト云フ鐵ノ城壁ノ下ニ隠レルト  
云フ、是ニ弊害ヲ生ム制度ガアルカラニ外  
ナラヌト思フノデアリマス、私共ハ最近  
ノ行政官ノ行動ノ上ニ、政治ノ責任ハ、輔  
弼ノ責任ト行政ノ責任ガ大キク分ケレバ  
ルト思フノデアリマス、大臣ハ輔弼ノ責任  
ヲ以テ政治上ノ責任ヲ全ウシテ居ル、内閣  
所ガ大臣ヲ輔佐シテ居ル行政官ハ、或ハ各者



ノ行政事務ノ上ニ於キマシテ立案ヲスル、參事ヲスル、立案ハ下ノ方デヤツテ居ル、然ルニ其ノ立案ガ過チマシテモ、其ノ立案ニ對スル行政官ノ責任ノ明カニナツタ事例ハ一ツモ今日認メルコトガ出來ナイ、洵ニ遺憾千萬デアリマス、統制經濟ニ於テハ胡令暮改朝ニツテ作ルカト思フトクニ之ヲ變ヘテ居ル、胡令暮改朝ノ統制經濟ノ爲ニ、國民經濟ハ右ニ左ニ右往左往、往々所ヲ知ラズ、而モ胡令暮改朝ノ所ノ其ノ立案參事者タル行政官ノ責任ト云フモノハ一ツモ取ラレテ居ナイ、又最近ノ問題ニ致シマスレバ、米價ノ問題、米價政策ハ明カニ誤デアリ、此ノ米價政策ノ誤、此ノ米ノ値段段上ゲタト云フ其ノ立案ヲシテハ何人デアルカ、又之ニ參事シテ行政官ハアルニ違ヒナイ、然ルニサウ云フ者ノ責任ハ取ラレズシテ、一内閣ノ大臣ガ過リサヘスレバ情トシテ恥ヂズ、事ノサウ云フ朝令暮改ヲヤル役人ガ、保身ノ術宜シキヲ得レバ榮達ニ加フルニ榮達ヲスル、外務省ハ貿易省問題テ天下ノ人心ヲ震盪シテ居ル、而モ行政官ノ責任ハ一ツモ明カニナツテ居ナイ、又人権蹂躪ノ問題ニ致シマシテモ、檢事ハ行政官デアリ、帝人事件ハ全部無罪ニナツテ居ル、人権蹂躪ハ壓トシテ居ル、天下之ヲ證明シテ居ル、然ルニサウ云フ事ヲヤツタ者ノ責任方情トシテ顧ミラレナイ、此ノ實情ハ何處カラ來ルカ、之ヲ纏ネテ行キマスレバ身分保障令ト云フモノガアル、此ノ身分保障令アルガ故ニ、政治ハ黑幕政治ト云フコトニナル、非難黨トナツテ來ル、立案ガ、世間ノ非難黨トナツテ來ル、立案ニ參事シテ者ハ自分ノ身分保障令ノ蔭ニ隠シテ、内閣ノ更迭ヲ圖ルト云フコトモ

無イトハ言ヘマスマイ、支那事變ノ重大ナル時ニ當ツテ、頻々タル内閣ノ更迭ガアル、内閣ガ更迭スレバ世間ノ風評ガ變ツテ來ル、非難黨變ツテ來ル、斯ウ云フコトヲ考ヘ、私ノ臆測ニ過ギルカモ知レズガ、斯ウ云フコトヲ考ヘル、身分保障令ノ蔭ニ隠レタル官僚ナシト何人ガ斷言シ得ルカ、斯ウ云フ政治ガアリマシタノデハ、内閣ガ何回迭リマシテモ、思フ存分ニ閣策ヲ一絲亂レズ上意下達スルコトガ出來ナイ、戰爭ヲスルニシテモ、日露戰爭ノ當時ハ兒玉大將ノ言フコトハ一兵卒ニマデビント嚮イタ、ソコデ士氣ハ横溢シテ、大國露西亞ヲ粉砕スルコトガ出來タ、支那事變ニ付テモ無論サウヤツテ居ルト思フケレドモ、斯ウ云フ下如ノ弊害ガ現レテ、黑幕政治ガ現ハレテ來テハ、國家ノ機構ハ根本カラ覆サレテシマフ、私ハ、全部トハ申シマセマセガ、斯ガル弊害ノ根本ハ官吏身分保障令ニアルト思フ、而モ此ノ身分保障令ヲ撤廢スルコトニ依ツテ、善良ナル役人ハ何等ノ損失ヲ蒙ラナイ、寧ろ善良ナル役人ハ、身分保障令ガナクナレバ所謂淘汰ノ原則ガ行ハレテ、惡イ者ヲ淘汰スルコトニ依ツテ、自分ノ能力ヲ十分ニ發揮出來ルコトニナル、身分保障令ハ正シキ立派ナル能力ノアル役人カラ言ヒマスレバ邪魔デアリ、世間カラ申シマ上ノ風潮ヲ生ミ「ロボット」人專ラシテ、練士ヲ任用スル邪魔ニナル城壁ヲ成シテ居ル、先ツ總理大臣ガ官制改革ヲ改革ナサントスルニ當リマシテハ、其ノ第一歩トシテ身分保障令ノ撤廢ニ手ヲ著ケナケレバナラス、私ハ總理大臣ヨリ事務的ノ言葉ヲ承リタクナイ、總理大臣今日ノ日本ノ國政ヲ運

用ノ上ニ現ハレテ居ル弊害、之ヲ如何ニ見ラレルカ、弊害ヲ見ラレラナラバ其ノ改革ヲ何處カラ始メルカ、始メラナラバ百弊ノ基デアリ此ノ身分保障令ヲ直チニ撤廢シナケレバナラスト思ヒマスガ、幾度カ内閣ガ此ノ身分保障令ヲ撤廢セントシテモ、勇猛果敢ノ志ガナイ、信念ガナイ、國政ニ對スル誠意ガナイ、熱ガナイ、カレガ故ニ何時モ後退シテシマツテ居ル、責任政治デアリ立憲政治ヲ強ク正シク行フト云フコトヲ本委員會ニ於キマシテ言明セラレ、私共ノ深ク敬意ヲ表スル米内閣總理大臣ハ、斯ル行政制度ノ上ニ百弊ヲ齎ラス身分保障令ノ撤廢ニ對シテ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレルカ、明確ナル御信念ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

參事ヤナル、政府ノ施設ニ對シテ色々ノ事ヲヤツタ者ガ間違ツタ時ニハ、之ヲ左遷スルコトモ出來ル、其ノ職ヲ奪フコトモ出來ル、故ニ内閣ノ中心トスル所謂行政監察ト云フコトガ必要ニナツテ來ルト思フ、新ナル制度ヲ設ケルカ、ドウカ、ソレハ別デアリマスガ、行政監察ノ心組ヲ少クモ各大臣ガ持タルト云フコト、更ニ之ヲ制度化スルナラバ、内閣ニ行政監察制度ヲ設ケテ、此ノ行政運用ノ上ニ現ハレル弊害ヲ除ク、ソレハ總テ國政運用ノ根本デアリ、國民精神總動員ノ根本義デアリ、日支事變解決ニ對シテ全國國民ガ有ユル角度カラ其ノ總能力ヲ最高度ニ發揮セシムル普遍的法則トシテ、行政運用ノ根本ニ對シテ行政監察制度ヲ新ニ設ケントスル御考ガアリヤ否ヤ、此ノ弊害ノアルコトヲ認メマシテ、我黨ハ既ニ昨年デアリマスガ、政府ニ向ツテ行政監察制度ヲ速ニ設定スベシト云フコトヲ進言シテ居リマス、總理大臣ノ此ノ點ニ對スル御所見ヲ承リタイノデアリマス

○米内閣務大臣 差當リ法ノ運用ニ依リマシテ、惡イ者ハドン／＼處罰シテ行ケルノデアリマスルカラソレハナリマス、ソレカラ又監察制度ニ關シマシテハ、是モ全體的ニ考ヘマスルガ、差當リハ精神的ニ御注意ニ副ヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

力問題ニ付キマシテハ、本委員會ニ於テ議ハ盡シテ居リマス、唯私ハ一點不審ニ思フ點ガアルカラ承リタイノデアリマス、一體昨年來未嘗有リ電力飢饉ガ起キテ居ル、水力發電、石炭手當ノ問題、斯ウ云フ電力飢饉ノ問題ガ起キテ、而モ昨年四月一日カラ電力國家管理ガ行ハレタ、此ノ電力飢饉ハ電力國家管理ノ弊害デアリノデハナイカ、斯ウ云フ説ガ到ル處カラ起キテ居ル、之ニ對シテ選信大臣並ニ選信當局ハ終始辯明ニ努メテ居ラレガ、斯ウ云フ非常時ニ際會シテ、電力問題ガドウナツテ居ルカ、石炭問題ガドウナツテ居ルカト云フ確信ヲ一ツモ承ルコトガ出來ナイ、是デハ世間カラ驚キタル非難ガ起リ、世間カラ國家管理ノ功罪論ガ起ルノハ無理ハナイト思フ、選信當局ハ此ノ點ニ對シテ、國家管理ハ電力飢饉ニ際會シテ如何ナル效果ヲ持ツタカ、此ノ制度ノ運用ニ對シテ如何ナル確信ト信念ヲ持ツテ居ラレルカ、此ノ點ヲ先ツ承リタイ

○勝國務大臣 最近電力飢饉ノ現狀ニ付キマシテ、選信當局トシテハ甚ダ遺憾ノ感ガ深イ餘リニ、此ノ電力國家管理制度ノ良カツタ點ヲ高調スルコトハ、私ハ實ハ少シ遠慮シテ居ツタノデアリマス、併シ折角ノ御意デアリマスカラ、少シ手前味噌デアルカモ知レマセマセガ、申上ゲマス、此ノ度ノ洪水ト云フモノハ、實ニ何十年來ノ洪水デアリマシタ、若シ此ノ國家管理ノ制度ト云フモノガ、マダ一年足ラズデアリマスケレドモ、ヤツテ居ナカッタナラバ、其ノ結果ハ實ニ恐ロシイ結果ヲ來シタデアラウト思ハレマス、一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、非常ナ洪水ガ起ツテ、例ヘバ富山縣、長野縣方面

ノ中央部ノ水力發電ト云フモノハ、從來ハ關東方面ニ全部送ラレテ居ツタ、幸ヒ是ガ設備ガアルノデ、六十、サイタルニ切替ヘテ、多イ時ハ十五、六、キロモ關西方面ニ送ツタト云フコトガアル、其ノ爲ニ關西方面ガ非常ニ助カツタト云フコトハ、蔽フベカラザル事實デアリマス、ソレカラ又若シ此ノ國家管理ガ行ハレテ居ズ、火力發電所ガソレ／＼群雄割據シテヤツテ居ツタナラバ、石炭ノ買漁リ等デ非常ナル現象ヲ呈シタデアラウ、ソレ等ノコトヲ免レタコトモ亦一ツノ利益デナカッタラウカ、或ハ關東方面ニ送ルベキ電力ヲ關西方面ニ送ツテ其ノ不足ヲ補ツタト云フヤウナ利益ヲ數ヘレバ相當ノ利益ハアルノデアリマスケレドモ、結論ガ甚ダ一般ニ迷惑ヲ掛ケタト云フ點デ、餘リノ高調スルコトヲ遠慮シテ居ツタ次第デアリマス、併シ私ハ此ノ管理制度ト云フモノノ自身ニ付テハ、是ハ決シテ完全ナモノデアルトハ思ヒマセマセ、尙ホ是ハ假スニ時日ヲ以テシテ觀イテ、十分研究ヲシテ見ル積リデアリマス

○田村委員 昨日本委員會ニ於テ同僚ノ松尾四郎君カラ、石炭手當ノ問題ニ付テ、火力發電ガ思フヤウニ行ツテ居ナイ、水力ノ飢饉ニ對シテ火力發電ガ行カナイ、其ノ責任ハ何處ニアルカト云フコトヲ選信大臣ニ質サレタ時ニ、選信大臣ハ、石炭手當ノ過チハ、日本發送電社ガ其ノ責任ヲ負フベキモノデアルカノ如キ答辯セラレタヤウニ私ハ承ツテ居ル、此ノ問題ガ若シ大臣ノ御答辯ノヤウナモノト致シマスレバ、私ハ由々シキ重大問題ト思フ、是ハ單

ニ日本發送電社ノ責任トシテ、選信當局ハ抛ツテ置ク譯ニ行カスト思フ、國家管理ヲ行ヒ、サウシテ日本發送電社ヲシテ管理運營業ヲ行シテ居ル、其ノ發送電社ニ石炭手當ノ責任ガアリトスレバ、當然其ノ監督官廳タル選信當局モ亦責任ヲ負ハナケレバナラスト云フ問題ガ起ル、今一ツハ若シ不可抗力ニアラズシテ、石炭手當ヲ誤ツタ結果、電力ノ制限ヲキル、其ノ爲ニ色々ナ輸産業、重要工業、斯ウ云フ事業者ガ不測ノ損害ヲ被ル、電力ガ來ナイ爲ニ操短ヤナル、事業ノ縮小ヤナル、サウ云フコトデ非常ナ損害ヲ來シタトスレバ、是ガ若シ發送電ノ責任ナラバ、私ハ此ノ業者ニ對スル損害賠償、補償ノ問題ガ當然起ツテ來ナケレバナラスト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ選信大臣ハ如何ナル御考ヘテ御持チデアリマスルカ、昨日ノ責任問題ニ關シテ、明確ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○勝國務大臣 昨日松尾君デアリマシタカ、電力飢饉ノ責任ハ何處ニアルカト云フコトデ、可ナリ熱心ニ御追究ニナツタノデアリマス、其ノ際私ハ詳シク申述ベテ置キマシタカラ、速記録ヲ御覽下サレバ明カニナルトハ思ヒマスガ、私ノ申シタ意味ハ、現ニ角異常ナル洪水デ水力發電ガ非常ニ力ガ減ツタ、之ヲ補フ爲ニ火力發電ヲ以テシナケレバナラナカッタ爲ニ、遂ニ石炭ノ豫定ノ計畫ハ足ラナカッタカラ、途中石炭ノ計畫ヲ變ヘルトカ、或ハ石炭ノ「カトリ」ノ下ツタ爲ニ非常ニ發電力ガ弱ツタ云フヤウナ色々ナ事情ガアリマシテ、遂ニ此ノ電力飢饉ト云フ結果ヲ來シタ、是ハ洵ニ相濟マスコトデアリマスガ、斯ウ云フヤ

ウナ事情デアルト申シタ所ガ、更ニ松尾君カラ、一體責任ハ何處ニアルカト云フ御追究ガアツタノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ意味デ御返答ヲ申上ゲタ、若シ此ノ石炭ノ手當ノ不十分デアツタト云フコトガ、其ノ關係者ノ職務上ノ義務違反デアツタナラバ、茲ニ責任問題ガ起ル、ソコデ此ノ關係者ガ職務上ノ義務ニ違反シテ居ルカドウカト云フコトハ、是ハ篤ト調ベテ見ナケレバ私ハ結論ヲ見出スコトガ出來ナイ、ソレデ若シ更ニソレニ付テ責任ガ何處ニアルカト云フ御考デアリマシタナラ、其ノ責任、所謂狹義ノ責任ガ有ルカ無イカト云フコトハ、調ベテ見タ上ナケレバハツキリ申上ゲラレマセマセガ、假ニ強イテ之ヲ言フトスレバ、石炭ノ買入其ノ他ト云フモノハ全ク發送電社ノ自由ノ手宛ニ任シテアルカラ、若シ責任ガアリトスレバ發送電社ニアリト云フコトニナリマセウ、之ヲ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、責任其ノモノガナイト云フコトニナレバ、自然問題ハ解消スルノデアルガ、假ニアリトスルナラバ、發送電社ニアル、斯様ニ答ヘタノデアリマス

○田村委員 ドウモ何ダカ詢問答ニナツテシマツタガ、時間ガアリマセマセカラ、私ハ追究スルコトヲ差控ヘマスガ、事ハ非常ニ重大デアルト思フノデアリマス、更ニ最後ニ承リタイノハ、先程選信大臣ハ、此ノ電力國家管理ニハ缺陷ガアルト云フコトヲ言ハレタ、私モサウ思ツテ居ル、一體現在ノ電力管理制度ト云フモノハ、之ヲ譬ヘテ言フナラバ、煙草ノ煙管ヲ管ミタイモノデアリ、雁首ト吸口ハ別ニナツテ居ル、水力發電ト云フモノハ離レテ居ル、是ハ私營ニ屬シテ居ル、火力發電ハ持ツテ居ルケレドモ、







第七十五回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第十二回

會 議  
昭和十五年二月二十一日(水曜日)午後一時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 三土 忠造君
- 理事工藤 鐵男君 理事篠原 陸朗君
- 理事中村三之丞君 理事田村 秀吉君
- 理事山本 芳治君 理事岸田 正記君
- 理事石坂 豐一君 理事肥田 琢司君
- 理事水谷長三郎君 理事由谷 義治君
- 小川柳太郎君 助川啓四郎君
- 三宅 正一君 中島彌團次君
- 堤 康次郎君 櫻井兵五郎君
- 石坂 養平君 塚本 重藏君
- 守屋 榮夫君 前田房之助君
- 平川松太郎君 吉植 庄亮君
- 安藤 正純君 富吉 榮二君
- 原 夫次郎君 森下 國雄君
- 小畑虎之助君 星 一君
- 田中 亮一君 田原 春次君
- 坂本宗太郎君 北 吟吉君
- 松本 忠雄君 窪井 義道君
- 大本貞太郎君 牧野 良三君
- 矢野庄太郎君 松村 謙三君
- 山本 厚三君 加藤 知正君
- 川島正次郎君 川崎 克君
- 村松 久義君 池田 秀雄君
- 小山 亮君 最上 政三君
- 篠原 義政君 名川 侃市君
- 石坂 繁君 太田 正孝君
- 末松借一郎君 松尾 四郎君

小笠原三九郎君 金井 正夫君

松尾 孝之君 吉田 賢一君

松村 光三君

二月十五日委員木暮武太夫君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十六日助川啓四郎君當選セリ

同月十六日委員紫安新九郎君、太田正孝君、沖島鑣三君及朴春琴君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十七日森下國雄君、行吉角治君、篠原義政君及吉田賢一君當選セリ

同月十七日委員馬場元治君、松永東君、藏原敏捷君及松村光三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十九日平野力三君、小泉純也君、石坂繁君及武田德三郎君當選セリ

同月十九日委員平野力三君、行吉角治君及武田德三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十一日馬場元治君、太田正孝君及松村光三君當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 內閣總理大臣 米内 光政君
- 外務大臣 有田 八郎君
- 大藏大臣 櫻内 幸雄君
- 陸軍大臣 畑 俊六君
- 海軍大臣 吉田 善吾君
- 農林大臣 島田 俊雄君
- 文部大臣 松浦鎮次郎君
- 拓務大臣 小磯 國昭君
- 司法大臣 木村 尚達君
- 內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
- 厚生大臣 吉田 茂君
- 逓信大臣 勝 正憲君

商工大臣 藤原銀次郎君

鐵道大臣 松野 鶴平君

出席政府委員左ノ如シ

- 內閣書記官長 石渡莊太郎君
- 法制局長官 廣瀬 久忠君
- 企畫院總裁 竹内 可吉君
- 企畫院次長 植村甲午郎君
- 企畫院部長 阿部 嘉輔君
- 對滿事務局事務官 竹内 德治君
- 內閣情報部長 橫溝 光輝君
- 興亞院總務長官 柳川 平助君
- 興亞院部長 鈴木 貞一君
- 興亞院部長 日高信六郎君
- 興亞院部長 松村 壽君
- 外務政務次官 小山 谷藏君
- 外務參與官 小高長三郎君
- 外務省亞米利加局長 堀内 千城君
- 外務省亞米利加局長 西 春彦君
- 外務省通商局長 吉澤清次郎君
- 外務省調查部長 山本 熊一君
- 外務省調查部長 松宮 順君
- 外務省書記官 石井 康君
- 內務政務次官 鶴見 祐輔君
- 內務參與官 青山 憲三君
- 內務省地方局長 挾間 茂君
- 內務省警保局長 山崎 巖君
- 內務省土木局長 成田 一郎君
- 內務省計畫局長 松村 光磨君
- 內務省書記官 藤尾 弘吉君
- 內務省書記官 藤尾 弘吉君
- 內務省書記官 三好 重夫君
- 大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

大藏書記官 永井 勻君

大藏書記官 植木庚子郎君

大藏書記官 氏家 武君

大藏書記官 前田 克巳君

大藏書記官 秋元 順朝君

大藏書記官 廣瀬 豐作君

預金部資金局長 松隈 秀雄君

營繕管理理事 松隈 秀雄君

專賣局長官 花田 政春君

陸軍政務次官 三好 英之君

陸軍參與官 宮崎 一君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍少將 武藤 章君

陸軍主計大佐 森田 親三君

陸軍步兵大佐 河村 參郎君

海軍政務次官 松山常次郎君

海軍參與官 小山邦太郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 阿部 勝雄君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

海軍大佐 矢野 英雄君

海軍大佐 千田 金二君

司法政務次官 星島 二郎君

司法參與官 子爵高木 正得君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省刑事局長 黒川 涉君











リ、各所屬ノ政黨會派ヲ代表致シマシテ、  
原案ニ賛成ノ意ヲ述ベテ、採決ノ結  
果、全會一致、各議案ヲ可決致シマシタ、  
右御報告致シマス

○三土委員長 第五分科北野吉君

○北委員 第五分科主査平川君ガ居ラレマ  
セヌカラ、私方代リマシテ第五分科會ノ經  
過並ニ結果ニ付テ御報告申上ゲマス、本分  
科ニ審査ヲ委託セラレマシタ豫算ハ、文  
部、厚生二省ノ所管デアリマシテ、本月十  
六日ヨリ開會致シ、十七日、十九日及ビ本  
日ノ四日間ニ互ツテ慎重ニ審議ヲ致シマシ  
タ、審議時間ハ十八時間餘ニ及ビ、質問者  
ハ二十七名ニ上ツタデアリマス、其ノ間  
委員及ビ政府委員諸君ノ熱心ナル質疑應  
答アリマシタ、其ノ主ナルモノハ、文部省  
所管ニ於キマシテハ、特殊教育ノ問題、大  
學入學制度ノ改善、朝鮮早害地兒童ニ對ス  
ル食料品給與ノ件、私立學校助成獎勵ノ件  
小中學校教員ノ優遇問題、紀元二千六百年  
奉祝展覽會開催ノ件、師範教育問題、國民  
學校問題、國民精神總動員問題、高等海員  
養成ニ關スル件、中等學校入學考査ニ關ス  
ル件、文部行政機構ノ改革等デアリマス  
尙ホ厚生省所管ニ對スル御論議ノ主ナル  
モノハ、國民體位向上、人口問題、産業報  
國會ノ組織改善、振興策並ニ労働組合トノ  
關係、藥品生産ノ擴充及ビ配給機構ノ整  
備、職業紹介所ノ機構改善、精白米ニ砂ヲ  
使用スル可否ノ問題、家族手当給與ノ件、  
保險國營ノ問題、簡易保險最高額ノ引上、  
住宅問題等ノ諸問題デアリマシタ、其ノ質  
疑應答ノ内容ハ、速記録ノ御精讀ヲ願ヒタイ  
ト存ジマス、以上ヲ以テ全部質疑ハ終了致  
シマシタ

○三土委員長 第六分科主査石坂養平君

○石坂(養)委員 第六分科會ニ御付託ニナ  
リマシタノハ、農林省所管ノ豫算デゴザイ  
マス、十六、十七、十九ノ三日間ニ於キマ  
シテ、委員ト政府委員トノ間ニ熱心ナル質  
疑應答ガ重テラレマシタ、質疑應答ノ内容  
ニ付キマシテハ、時間ノ關係ニ申述ベ  
ルコトヲ省略致シマシテ、質疑者ト題目ダ  
ケテ申上ゲテ置キマス、山本厚三君ハ、北  
洋漁業開發問題ニ付キマシテ質問サレマシ  
テ、北海道ノ島嶼ノ漁業ト露領漁業トハ切  
離シテ考ヘテ方宜イデハナイカ、國策會  
社トシテノ農林省管轄ノ日本海産物株式會  
社存続ノ理由ヲ質問シマシテ、答ハハ不必要  
デハナイカト云フコトヲ強調サレタノデゴ  
ザイマス、次ニ矢野庄太郎君カラ木材ノ檢  
査ガ非常ニ必要デハナイカト云フ質問、ソ  
レカラ小畑虎之助君ト小山亮君カラ木炭増  
産ノ根本策、木炭公定價格ト原木ノ値段ガ  
非常ニ不適合デハナイカト云フヤウナ御質  
問ガゴザイマシタ、ソレカラ沖島鐵三君ト吉  
田賢一君カラ西日本二十數縣ニ互リマスル  
早害ノ救済問題ニ付キマシテ質問ガ致シマ  
シタ、三善信房君カラ最近生絲ノ價格ガ非  
常ニ亂高下呈スルガ、其ノ原因如何ト云  
フヤウナ蠶絲政策ニ付キマシテ質問ガゴザ  
イマシタ、ソレカラ富吉榮二君カラ適正小  
作料ノ問題、小作料統制令、農地委員會ノ

○三土委員長 第七分科主査原夫次郎君

○原委員 第七分科ニ委託ヲ受ケマシタ議案  
ハ昭和十五年度歳入歳出總豫算並ニ同年  
度各特別會計中ノ商工省所管ノ部分並ニ豫  
算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スラ要ス  
ル件ノ中ノ商工省所管ノ此ノ數案デアリマス、  
去ル十六日以來本日マデ委員諸君ノ極メテ  
多數ノ質問ガアリマシテ、其ノ質問ニ對シ  
又商工大臣以下各政府委員諸君ノ質問應  
答ハ極メテ金玉ノ問答デアリマシテ、其ノ一々ヲ  
茲ニ申上ゲルコトハ煩ニ堪ヘヌカラ、  
之ヲ速記録ニ讓ルコトニ御許ヲ願ヒマス、  
本日午前中討論ヲ省略致シ、各派ノ同意ノ  
下ニ全會一致致テ以上申述ベシマシタ案件ヲ可  
決致シタデアリマス、此ノ段御報告申上  
ゲマス

○三土委員長 第八分科主査増永元也君

○増永委員 第八分科會ノ審議ノ經過並ニ  
結果ノ概要ヲ御報告申上ゲマス、本分科ニ審  
査ヲ委託セラレマシタル豫算ハ、選省及ビ鐵  
道省所管デアリマス、他ノ分科會ト同様ニ  
本月十六日、十七日、十九日ノ三日間ニ互  
ツテ熱心ナル質疑應答ガ行ハレタデアリ  
マス、論議セラレマシタ主ナル問題  
ハ、選省所管ニ於キマシテハ今回ノ電力  
總額ニ鑑ミ、發電用石炭ノ量ノ減價ノ確

仍テ本日午前中時ヨリ討論ニ移リマシテ、  
立憲民政黨ヲ代表シ私ヨリ原案賛成ノ發言  
ヲ致シマシタ、又立憲政友會ノ吉植庄亮君  
ヨリ、同志會ノ石坂繁君ヨリソレノ原案  
賛成ノ御發言ガアリマシテ、採決ノ結果滿  
場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此ノ段御報  
告申上ゲマス

運上ト云フヤウナ問題ニ付キマシテ質問ガ  
アリマシタ、平野力三君カラ木炭ノ事ニ  
關聯シタ質問ガゴザイマシタ、桑園ノ肥  
料ニ付キマシテ、米麥ニ對スル肥料ノ重點  
主義ハ是認スルガ、併シ桑園肥料ニ付テハ  
山梨トカ、群馬トカ、長野縣ノヤウナ所ニ  
付テハ特ニ考ヘル必要ハナカツタカト云フ  
質問ガゴザイマシタ、石井徳久次君カラ小  
麥ノ公定價格ハ安過ぎハシナカツタカ、戰  
時食糧増産ノ立場カラ、別ノ意味ニ於テ小  
麥ノ公定價格ノ如キハ考ヘル必要ハナカツ  
タカト云フヤウナ質問ガアリマシタ、吉植  
庄亮君カラ本年歳年度ニ於ケル所ノ米ノ需  
給推算ニ付テ質問ガアリマシテ、農林大臣  
ハ持越量ハ大體四百七十萬石位ニナルノデ  
ハナイカト云フヤウナ御質問ガアツタガ、果  
シテ然ルコト云フヤウナ點ニ付キマシテ、  
數字ヲ舉ゲテ質問ガゴザイマシタ、田村秀  
吉君カラ北洋漁業問題、農産物配給問題、  
滿洲建設奉仕隊ノ問題ニ付キマシテ質問ガ  
アリマシタ、松村謙三君カラ産業組合ノ保  
險經營ニ付キマシテ、産業組合ガ三ツノ保  
險會社ヲ買收スルニ至ツタ理由、産業組合  
ガ福利會社デアアル所ノ保險會社ヲ買收經營  
スルコトハ産業組合本來ノ使命カラ逸脱シ  
テハ居ナイカ、又右三保險會社ヲ産業組合  
ニ買收後福利保險カラ相互保險ニ組織替  
スルコトガ出來ルモノデアアルカドウカ、其  
他ニ付キマシテ質問ガアリマシタガ、之ノ點  
ニ對シマシテ農林大臣カラ目下正確ナル  
判斷ヲ得ル爲ニ資料ノ蒐集中デアアルト云フ  
御答辯ガアツタノデゴザイマス、川島正次  
郎君カラ主トシテ蔬菜ノ統制ニ付テ中央卸  
賣市場ノ機構改革ノ意思ハナイカト云フヤ  
ウナト點ニ付テ質問ガアリマシタ、加藤知

正君カラ肥料配給ハ廻レ勝テアルコトヲ指  
摘致シマシテ、將來左様ナコトノナイヤウ  
ニト云フ質問ガアツタノデゴザイマス  
以上ヲ以テマシテ大體質問ノ簡單内容  
ヲ申上ゲテ次デアリマス、本日ニ至リマ  
シテ午前十一時民政黨ノ小畑虎之助ノ發言  
ニ依リマシテ討論ヲ省略致シマシテ、原案  
ノ通り全員一致決定シタデアリマス、以  
上御報告申上ゲマス

豫算ニ入ツテ居リマス所ノ此ノ大イナル計  
畫ノ圓滿ナル遂行ヲ期シマスルニハ、所  
謂物資動員計畫、又勞務動員ノ計畫、資金ノ  
計畫、是等ト圓滿ナル協調ヲ遂ゲルコトガ  
前提デアリマシテ、徒ニ一ツ増大シテ之ヲ  
求メマスナラバ、人的資源、勞務資源、斯  
ウ云フモノニ不足ヲ來ス場合ガアルノミナ  
ラズ、又其ノ精神其ノモノガ目的ニ副ハナ  
カツヤウナ場合モアリ、思フ如ク生産擴  
充ガ運バナカツ場合モアル、私ハ此ノ點  
カラ云ヒマスナラバ、附帶決議第一項ハ無  
理ヲスル結果ガ延イテ不當ニ資金ノ放出ヲ  
行フ如キ、或ハ事情ニ適應セザル資金ノ撤  
布ヲ招ク如キ、茲ニ色々金融界ノ惡影響ヲ  
招ク處ガアルノデアリマス、昭和十五年度  
ノ物動計畫全體ハマダ完了ニ至ラナイノデ  
アリマセウガ、十四年度ニ於テノ實踐ガ洵  
ニ遺憾ノ點ヲ招キマシタコトハ、多ク机上ノ  
計畫、或ハ實際ニ即セザル計畫、實行上ノ  
用意周到ナル檢討ヲ多少ナリトモ意リマシ  
タ結果、豫算期ノ結果ヲ生ゼザルノミナラズ、  
却テ經濟界ニ若干ノ紛擾ヲ來シ、而シテ其ノ  
影響ガアル、國民ノ生活ニモ若干ノ不安ヲ  
感ゼシメル、事變下デアリマスカラ、國民  
ハ忍バシメテハ耐忍ラシテ、成ルベク惡聲  
ヲ放タナイコトニ努メテ居ルト存ジマス、  
ソレドモ尙且茲ニ不安ノ聲ヲ生ズルト云フ  
コトハ、計畫自體ガ現實ニ即シナイ、又ソ  
レノ計畫ノ執行ニ當リ人間ガ其ノ當ヲ得ナ  
イ、或ハ人間全體、國民全體ノ知識其ノ他  
ノ經驗ヲ動員スル力ガ足ラヌ爲デアリ、之ニ  
依ツテ豫定ノ計畫ヲシテ效力ヲ生ゼシメナ  
イヤウナコトニモナラウト存ジマス、故ニ  
十五年度ノ計畫ヲスルニ當リマシテハ、附

保ニ關スル件、水力、火力發電開發ニ關ス  
ル件、水力發電用兼農業用堰堤施設ニ對ス  
ル要望、日本發送會社ノ職制及ビ電力管  
理機構ノ改革、造船用鋼材ノ價格ト其ノ需  
給關係、郵便局、電信電話局ノ増設ト電話  
融通ノ圓滑化、日タイ定期航空開設ニ  
關スル件、現業員待遇問題等デアリマシタ  
次ニ鐵道省所管ニ對スル論議ノ主ナルモ  
ノハ、今後數年ニ於ケル國防充實計畫並  
ニ物動計畫ニ對シテ鐵道輸送計畫、東京、  
下關間ノ幹線増設計畫ノ具體的内容及ビ之  
ニ對スル要望、雪害問題、幅員スル旅客並  
ニ貨物ノ緩和策、電化擴張問題、車輛増産  
問題、西成線額覆事件ト今後ノ對策、現業  
員待遇問題等、是等ノ諸問題デアリマシタ、  
其ノ質疑應答ノ詳細ハ速記録ニ依ツテ御覽  
ヲ願ヒタイと思ヒマス

案、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲  
スラ要スル件應第一號臨時軍事豫算追加  
加案及ビ臨時第一號臨時陸軍材料資金豫  
算追加案ヲ一括議題トシテ討論ニ入りマス、  
討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ御許致シマス  
——  
藤原陸朗君  
○藤原(陸)委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表シ  
マシテ附帶決議ヲ付ケ、而シテ只今審議ニ  
上ツテ居リマス各議案ニ對シテ賛成ノ意ヲ  
表スル者デアリマス、然ル所、本附帶決議  
ハ各派全員ノ賛成ヲ以テ共同提案セラレタ  
モノデアリマス、茲ニ之ヲ朗讀致シマス

ラ強化シ庶政革新ノ實ヲ舉ゲベシ  
私ハ是ヨリ若干ノ意見ヲ附ケテ賛成ノ意  
ヲ表シタイと思ヒマス、議題トナツテ居リ  
マス昭和十五年度豫算案、臨時軍事費追  
加案等各案ハ皆前内閣ノ編成ニ係リ所デア  
リマシテ、現内閣ハ何等ノ變更モ加ヘズ、  
其ノ儘踏襲シタモノデアリマスガ、現内閣  
諸公ノ中ニモ其ノ内容ニ付テハ、全部滿幅  
ノ賛意ヲ表シテ居ラレヌ方モアルカノヤウ  
ニ察セラレルノデアリマス、隨ヒマシテ政府  
ハ編成ニ付テハ自分ノシナイコトデアリマ  
スケレドモ、歲計豫算案ガ成立シマシタ以  
後ニ於テハ、是ガ實行ニ對シマシテ全面的  
ニ檢討ヲ加ヘ、而シテ此ノ事變ノ眞ノ進展  
處理ニ十分相當シマスヤウニ是ガ運営ヲ圖  
ルコト、即チ豫算ノ實行ニ最善ノ方法ヲ講  
ジテ善處セラレタイト云フコトハ、閣僚諸公  
モ極メテ同感ノコトデアアルト存ジマス、私  
ハ此ノ歳出申ノ大キナモノデアアル臨時軍事  
費追加四十四億圓、國防費海軍陸軍ヲ通ジ  
マシテ二十三億餘圓、是ハ今次事變ノ進展  
及ビ現在ノ對外關係其ノ他ニ鑑ミマシテ  
ハ、洵ニ巨額ヲ得ザル費途デアルト存ジマ  
スケレドモ、多少時局ニ便乘シテ居ルト稱  
セラレル費目ノアルコトハ洵ニ遺憾ニ存ジ  
マス、例シマスレバ各團體ニ對スル補助費  
ノ如キ、或ハ助成金ノ一部ニ於テ文句ノア  
ルヤウナモノガアル如キ、精神總動員經費ノ  
増加ノ如キ、私ハ其ノ指揮ヲ受ケル點ニ於  
テ、其ノ十分注意ヲ拂ヒ、節減スベキハ  
節シ、又其ノ機構改正其ノ他ノ注意ニ依ツ  
テ、其ノ目的其ノモノニ適當スルヤウニ是  
ガ支出ヲ行フコトハ、現内閣ノ豫算踏襲ニ  
對スル最大ノ責任デアルト存スルノデアリ  
マス、一體總テノ國防計畫、其ノ他今回ノ

豫算ニ入ツテ居リマス所ノ此ノ大イナル計  
畫ノ圓滿ナル遂行ヲ期シマスルニハ、所  
謂物資動員計畫、又勞務動員ノ計畫、資金ノ  
計畫、是等ト圓滿ナル協調ヲ遂ゲルコトガ  
前提デアリマシテ、徒ニ一ツ増大シテ之ヲ  
求メマスナラバ、人的資源、勞務資源、斯  
ウ云フモノニ不足ヲ來ス場合ガアルノミナ  
ラズ、又其ノ精神其ノモノガ目的ニ副ハナ  
カツヤウナ場合モアリ、思フ如ク生産擴  
充ガ運バナカツ場合モアル、私ハ此ノ點  
カラ云ヒマスナラバ、附帶決議第一項ハ無  
理ヲスル結果ガ延イテ不當ニ資金ノ放出ヲ  
行フ如キ、或ハ事情ニ適應セザル資金ノ撤  
布ヲ招ク如キ、茲ニ色々金融界ノ惡影響ヲ  
招ク處ガアルノデアリマス、昭和十五年度  
ノ物動計畫全體ハマダ完了ニ至ラナイノデ  
アリマセウガ、十四年度ニ於テノ實踐ガ洵  
ニ遺憾ノ點ヲ招キマシタコトハ、多ク机上ノ  
計畫、或ハ實際ニ即セザル計畫、實行上ノ  
用意周到ナル檢討ヲ多少ナリトモ意リマシ  
タ結果、豫算期ノ結果ヲ生ゼザルノミナラズ、  
却テ經濟界ニ若干ノ紛擾ヲ來シ、而シテ其ノ  
影響ガアル、國民ノ生活ニモ若干ノ不安ヲ  
感ゼシメル、事變下デアリマスカラ、國民  
ハ忍バシメテハ耐忍ラシテ、成ルベク惡聲  
ヲ放タナイコトニ努メテ居ルト存ジマス、  
ソレドモ尙且茲ニ不安ノ聲ヲ生ズルト云フ  
コトハ、計畫自體ガ現實ニ即シナイ、又ソ  
レノ計畫ノ執行ニ當リ人間ガ其ノ當ヲ得ナ  
イ、或ハ人間全體、國民全體ノ知識其ノ他  
ノ經驗ヲ動員スル力ガ足ラヌ爲デアリ、之ニ  
依ツテ豫定ノ計畫ヲシテ效力ヲ生ゼシメナ  
イヤウナコトニモナラウト存ジマス、故ニ  
十五年度ノ計畫ヲスルニ當リマシテハ、附

以上ヲ以テ質問ヲ終リマシテ、本日午前  
十一時ヨリ討論ニ入りマシテ、民政黨ヲ代  
表シテ最上政三君、政友會ヲ代表シテ山本  
芳治君、石坂豐一君、時局同志會ヲ代表シ  
テ小山亮君ヨリ、ソレノ原案賛成ノ發言  
ガアリマシタ、採決ノ結果滿場一致ヲ以テ  
可決セラレマシタ、此ノ段御報告申上ゲマ  
ス

一 豫算實行ニ當リテハ物資、資金、勞  
力ノ調整ヲ圖リ且惡性インフレーション  
シテ防止スルニ最善ノ方途ヲ講ズ  
ベシ  
二 本豫算中時局ニ便乘セル費用尠ナカ  
ラス、其ノ實行ニ當リテハ極力節減ヲ  
加ヘ緊急止ムヲ得ザル施設ノ遂行ニ萬  
遺憾ナキヲ期スベシ  
三 昭和十五年度物資動員計畫ヲ樹立ス  
ルニ當リ鐵、石炭、電力、肥料及主要  
食糧品等重要物資ノ増産ニ重點ヲ置キ  
以テ物資ノ需給ヲ調整シ且國民生活ヲ  
確保スベシ  
四 閣取引ノ横行スルハ物價政策及物資  
配給ノ宜シキヲ得ザルニ因リ政府ハ速  
ニ適切ナル對策ヲ講ジ以テ此ノ弊風ヲ  
根絶スベシ  
五 戰時經濟遂行ノ爲メ官吏制度ノ根本  
改革ヲ斷行シ官僚獨善ノ弊ヲ打破シ  
民間知能ヲ動員シテ官廳統制ノ缺陷ヲ  
是正スベシ  
六 政府ハ事變目的の完遂ノ爲メ國內體制

午後六時九分開議  
○三土委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ  
マス、是ヨリ昭和十五年度歳入歳出總豫算  
案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算

午後五時二十分休憩



豫算第三項ニアリマスノハ其ノ項目ノ主ナルモノヲ擧ゲテ過ギナイノデアリマス...

員ノ結果ノ如キハ總理大臣ヨリ幸ニ言明ガ得ラレタノデアリマス...

ハナイ、而シテ又歳出全體ガサウ簡單ニ縮小整理ガセラレルモノトハ思ハナイ...

デアリマス、故ニ附帶決議ヲ以チマシテ本案ニ賛成スル意思ヲ表示シテ置キマス...

飽クマデ之ヲ貫徹シナケレバナリマセズ、併シナガラハ是ハ時局乗切ノ爲ノ一ツノ手段ニ過ギナイ...

ト云フコトガ、最も適切ダト思ヒマス。次ニ阿部内閣以來、國民ハ食糧米ノ問題、炭ノ問題、電力ノ問題...

内閣ガ之ヲ改訂セラレル時間ノ持合セガナク、其ノ儘提出セラレタモノデアリマス...

トガ出来マスケレドモ、法律ニハ定マツテ居リマシテモ、ソレデ安心ハ出来マセズ...



ルノデアリマス、斯ノ如キ事ヲ致シマシテ、國民ニ生産擴充ヲ強ヒルト云フコトハ、是ハ中々容易ナコトデアリマス、而シテ生産、配給ニ關シテ徒ニ検査監督ヲ嚴シ、根本ニ於テ生産ノ増加ヲ却テ阻礙スルヤウナ方法ヲ執ツテ居ルモノデアリマス、斯ノ如キ事ハ、豫算總會ニ於テ遺憾ナク各委員ノ論議セラレタコトデアリマス、政府ニ於テモ、相當ニ對シテ善處セラレルコトト確信致シマスガ、此ノ豫算執行ニ當リマシテ、閣僚諸君ハ聖旨ノ在ル所ニ思フ致サレマシテ、十分ニ整理緊縮ヲ旨トセラレマシテ、主タル費目ニ集中シテ、不自由ナル此ノ豫算ヲ執行セラレコトヲ希望スルノデアリマス、政府ハ無論期スル所ガアリマシテ、不用額或ハ代用品ヲ以テ十分賄ツテ行クト申サレテ居ルノデアリマシケレドモ、吾々ハ此ノ言明ニ深信ヲ措クコトハ出來ナイノデアリマス、今ヤ國民ハ増稅ニ依リマシテ、明年度ニ於テ自然增收ト共ニ、此ノ國民ノ負擔ト云フモノハ六億四千百万圓ノ多キ負擔ヲシナケレバナラスノデアリマス、又一方ニ於テキマシテモ、五十七億バカリノ國債ヲ消化スルコトニ當ラナケレバナラスノデアリマス、是等ヲ考ヘテ見マスト、中々容易ナコトデアリナイノデアリマス、私共宜シク政府ト一體ニナリマシテ、此ノ豫算ヲ執行シテ誤リナキヲ期サナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、是ニ於テ先程ノ、既往嘗テ見ルコトノ出來ナイ各派一致ノ附帶決議ヲ付シマシテ、本案ニ賛成スルコトト相成ツタノデアリマスガ、私共此ノ附帶決議ノ中、石炭、電力、肥料、食糧問題等ノ如キハ、委員會ニ於テ、各委員ヨリ口ヲ酸ツバクシテ政府及閣僚諸

君ノ耳ニ聒ルノ出來ル程申上テアルノデアリマス、此ノ豫算ノ執行上、遺憾ナキヲ期セラレルコトト考ヘマスケレドモ、特ニ此ノ點ニ十分ノ重點ヲ置カレテ、國民生活ノ安定ヲ期スルコトニ致サレタイノデアリマス、更ニ此ノ私共ノ附帶決議ニシテ、眞ニ米内閣ノ特色ヲ發揮セラレルヤウニ御努メ下サルコトヲ、此ノ場合ニ特ニ御願致シテ置ク次第デアリマス、斯クシテ私共ハ原案及ビ附帶決議ニ賛成ヲ致ス者デアリマス

○三土委員長 田原春次君

○田原委員 私人社會大業黨ヲ代表致シマシテ、只今上程サレテ居リマス豫算案並ニ其ノ他ノ案ニ對シマシテ、態度ヲ明ニシタイト思フノデアリマス、先般豫算委員會ニ於ケル十數日ニ亙ル政府側ノ答辯ヲ聽キマシテ、第一生産力擴充方策ニ於テ、第二物動計畫ニ於テ、第三惡性インフレーションノ防止策ニ於テ、色々ノ矛盾ト不徹底ヲ見出シマス、國民ノ一人ト致シマシテ、洵ニ遺憾ニ思フ次第デアリマス、第一ハ生産力擴充方策ニ對シテ、答辯ヲ聽イテ居リマス、産業資本家代表スルカニ見ラレマス、藤原商工政策ニ依レバ、重要物資及ビ石炭、木炭其ノ他生活必需品ノ生産ニ補助金若クハ獎勵金ヲ交付セラレルト云ハレマスガ、是ハ一種ノ物價ノ値上デアリマシテ、不換紙幣ノ増發ヲ伴ヒ、樓内蔵相ノインフレーションノ防止策トモ衝突シ、隨テ又低物價政策トモ衝突シテ來ルと思フノデアリマス、一例ヲ石炭ニ取リマスナラバ、頻りに獎勵金ヲ論ゼラレテ居リマスケレドモ、炭坑業者ハ寧ろ口ヲ喜バズ、或ハ

「カーバイド」デアルトカ「レール」坑木、「地下足袋」等ノ配給ノ増加ヲ望ムシテ居ルト云フ狀態デアリマシテ、獎勵金制度ト云フモノハ業者モ喜ンデ居ナイト私ハ信ズルノデアリマス、又生産力擴充政策ニ付テノ御答辯ヲ聽イテ居リマス、何レモ部分的デアリマシテ、何等統一サレテ居ラナイ、其ノ一例ト致シマシテ米ヲ例ニ取リマス、米ハ軍用米トシテ相當多量ニ用意シテ置カナケレバナラナイ、然ルニ、其ノ爲ニ民間米ヲ或ル程度節約スル爲ニ七分搗ヲ獎勵シタ、七分搗ヲ獎勵スル爲ニ搗ガ少クナツタ、糶ガ少クナツタ爲ニ鶏ヤ、牛ノ飼料ガ減ツテ來テ、ソコデ卵ヤ牛乳ノ生産ガ減少シタ、卵ヲ輸出スルコトヲ獎勵シテ居リマシタノニ、生産力減リマシタ爲ニ輸出ガ減少致シマシテ、結局外貨ノ獲得ガ少クナレバ、外村ヲ必要トスル生産力擴充ニ又支障ヲ來スト云フ譯デ、廻リ廻ツテ方々ニ支障ヲ來シテ居ルノヲ吾々ハ見ルノデアリマス、米ハ農林大臣、生産力擴充ハ商工大臣ト云フ譯デ、各省區々ノ建前デ平面的ニ併立的ニ目論ムコトヲ甚ダ残念ニ思フノデアリマシテ、是ハ例ニバ今日ノ情勢ガ法制國家時代カラ既ニ經營國家時代ニ入ツテ居ルコトヲ知リツツモ、其ノ經濟統制ヲ擔任スル人々ガ、法制國家時代ノ法學士官僚デアアル所ノ一ツノ間有能ノ人ヲ採用致シマシテ、統制ノ圓滿ナル進行ヲ期セバナラマセマスガ、サレバト云フテ、今日一人ヤ二人ノ有能ナル民間人ヲ個々ババヤノ採用致シマシテモ、忽テ此ノ龐大ナル法學士官僚ノ陣營ニ吸收理

沒セラレマシテ、何等其ノ力量ト云フモノヲ發揮スルコトガ出來ナクナル、ドウシテモ是ハ綜合的ナ經濟統制ノ爲ニ行政機構ト文官任用令ノ大改正ヲシナケレバナラスト思フノデアリマスガ、從來下ノ内閣ニ於キマシテモ、組閣早々ニハ行政機構ト文官任用令ノ改正ヲ叫ビ居リマスガ、何時ノ間ニカ消エシマツテ、此處マデドン詰リニ押込マレテ來テ居ル狀態デアリマス、サレバト云フテ、又民間ダケノ自治的統制ニ任セマスレバ、結局ニ於キマシテハ、金融資本ニ隷屬スルノデアリマス、ドウシテモソコニ行政機構ノ改革ニ依ル所ノ、經營國家トシテノ統制經濟ヲ運用スル決心ヲ持ツテ貰ハネバナラマセ

次ハ物動計畫ニ關シテデアリマスガ、遺憾ナガラ竹内總裁ノ説明ヲ何處聽イテ見マシテモ、不徹底デアリ、不充分デアリ、チツトモ吾々ニハ安心ガ行カナイ、是ハ企業院ノ調査機構其ノモノガマダノ徹底シテ居ナイ所ニアルノデアリマス、本當ニ日本ノ物資ヲ全面的ニ綜合的ニ調べ方居イテ居ナイノデアリマス、ソレ等ノ調査ノ粗漏ノ外ノデアリマスガ、ソレ等ノ調査ノ粗漏ノ外ニ、成程今年ハ諸々ノ原因ガ重ツテ居ルコトモ吾々ハ知ツテ居ル、第一ハ歐洲大戰ノ勃發ニ依ル所ノ輸入量ノ減少、第二ハ電力ノ不足ニ依ル所ノ生産力擴充ノ遅延、第三ハ國內貯藏原料ノ消耗率ノ増大、第四ハ費銀停止令後ニ於ケル所ノ不熟練労働者ノ増加ト、之ニ伴フ所ノ労働能率ノ低下、斯様ナ原因ガアリマスルガ故ニ、本年度ノ物動計畫ハ今年ニ比ベマシテ更ニ窮乏ニナルノデアリマス、此ノ儘デ押シテ行ツタナラバ、國防並ニ物動計畫ヲ十八年度マデニ果シテ

完成シ得ルヤ否ヤト云フコトモ大ニ吾々ハ心配ヲシテ居ル次第デアリマス、第三ハ背後ニ池田金融資本家勢力ヲ擁シテ居リマス所ノ樓内財政ノ惡性インフレーションノ防止策デアリマス、今度ノ豫算ノ中ニモ物價基準ヲ昭和十三年度ノ物價ヲ以テ計畫ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、國民全部ガ知ツテ居ル如クニ、一昨年ノ物價ト今年ノ物價トハ物ト金トノ間ニ明ニ平均三割ノ開キガアルト云フコトヲ考ヘテ貰ハナケレバナラナイ、頻りに閣僚ガ横行シテ居ルコトハ洵ニ遺憾デアリマス、ケレドモ、欲シイ物ガ手近ニナイ、ソレガナケレバ物價ガ造レナイ、暮セナイト云フ所ニ自然買手が現ハレテ來ルト云フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテモ政府ハ餘程考ヘテ貰ハネバナラスノデアリマス、要スルニ是等ノ矛盾、不徹底ハ經濟現象ニ追隨スル經濟主義的豫算ノ弊害デアルト吾々ハ見テ居ル、其ノ弱點ノ露呈デアルト見ルノデアリマス

代ハナイ、如何ニシテ鞏固ナル政治力ヲ作ルカト云フコトガ今日以後ノ日本ニ於テ根本問題デアルト私共考ヘテ居ル、(ヒヤ〜)然ルニ今マデ聽イテ居リマス所ノ各派ノ人ノ御立論ノ中ニハ軍需ト民需ト分ケテ論ズルト云フヤウナ矛盾モアル、今日ノ日本ノ立ツテ居リマス所ハ國防全體經濟デナケレバナラス、ソコニ軍需ト民需ト分ケテ論ズルト云フヤウナコトハ、其ノ人御自身ノ經濟觀ガ既ニ古クナツテ居ルコトヲ吾々ハ遺憾トスルノデアリマス、米内内閣ハ事變ヲ處理シヨウトスルカノ如クデアリマス、其ノ心ヤ大ニ善シ、サレド汪政權樹立後ノ支那四億全體ノ民衆ヲ指導スベキ立場ニアル日本ガ、一年ニ三週モ内閣ヲ取替ヘテ、誰ガ本當ノ日本ノ中心人物デアアルカ分ラスト云フヤウナコトデ、果シテ支那ノ民衆ガ躍イテ來ルデアリマセウカ、「ヒットラー」、「ムッソリー」、「ルーズヴェルト」、皆何レモ或ハ五年、或ハ十年ニ互リマシテ其ノ國ノ民衆ヲ率ヒテ居ル、戰爭ニ勝ツテモ日本ガ一年間ニ三週モ總理大臣ガ迭ルト云フコトハ國內ノ不安ノミナラス、支那ニ對シテ非常ニ惡影響ガアルト云フコトヲ私共考ヘルノデアリマス、如何ナル國家ノ政治ト雖モ國民ニ或ル種ノ不平等不満足ヲイト云フコトハナイ、必ズアル、是ハ併シナガラ是ガ國ノ弱點デハナイ、寧ろ國ノ弱點トスベキハ別ノ所ニアル、ソレハ何デアルカ、今日ノ國民ノ不平等不満足シテ物心兩面ニ於ケル其ノ當否ト、其ノ程度ヲ判別セシメ、國民ヲ有機的ニ協力セシムル方途ノナイ場合ガ是コソ國ノ弱點デアルト思フノデアリマス、政府ハ自ラノ政策ヲ國民大衆ニ知ラシメ、國民ハ又其ノ感ズル所ヲ政府

ニ上達スル爲ニ有機的ナ國民再組織ト云フモノヲ吾々ハ希望シテ居ツタノデアリマスガ、過去數代ノ内閣ハ之ニ代ヘルニ國民精神總動員運動ヲ以テシテ居ツタケレドモ、果シテ此ノ精神ノ實質ヲ如何ニ事變目的ハ近衛聲明ニ依ツテ明確ニナツテ居ルガ、其ノ共同防共、經濟提携、善隣友好ノ三原則ノ言葉ハ國民ニ分ツテ居ルケレドモ、ソレガ具體的ニハ如何ナル形デアレテ來ルカト云フコトニ付テ、國民精神總動員中央聯盟ハモットハツキリト國民大衆ノ胸ノ中ニ其ノ具體策ヲ叩キ込ムベキデアリマシテ、何一ツ説明ノ努力ヲシテ居リマセズ、抽象的ナ「ポスト」ヲ作ツタリ、下手ナ演說ヲシテ歩イタリシテ自己満足ヲシテ居ル、果ハ理事中役員ノ内輪喧嘩ヲヤル、此ノ内輪喧嘩ニ全精神ヲ總動員シテ居ル形デアリマス(笑聲)事變處理ノ大目的ヲ精勵本部ガ國民大衆ノ中ニ叩キ込シテ居ツタナラバ、齋藤隆夫君ノ如キ認識不足ノ人モ出ナカツタノデアラウト云フコトヲ私共考ヘルノデアリマス、併シナガラ政府ト雖モ、アノ齋藤氏ノ演說ヲ其ノ場デ返事ヲセズニ、一晚考ヘテ翌日返事ヲスルト云フヤウナ生温イ有機的ハナイカ、モットヲ緊メテ掛ツテ貰ハネバナラマセ

第二ハ産業報國運動デアリマスガ、是ガ完全ニ行キマスナラバ、戦後ノ社會政策ニ付キマシテモ又物動計畫ノ一部分デアアル所ノ労働員ニ付キマシテモ、非常ナ成績ヲ擧ゲルモノト私共ハ期待シテ居リマスケレドモ、残念ナガラ今日マデノ産業報國運動ハ吉田厚生大臣ノ御熱心ナル努力ニモ拘ラズ、形式的ニナツテ居リマシテ、數ハ殖エテ居リマスガ、卓抜ナル勞務管理ヲ練ニシ

テ居ツタガ爲ニ、労働者ノ氣持ガ分リマセヌ爲ニ、ドウデアリマスガ、浦賀船渠、或ハ藤永田造船所、或ハ神戸ノ川崎造船所、或ハ名古屋ノ愛知時計等ニハ労働紛議ガ起ツテ居ルコトヲ云フ吾々ハ知ラネバナラマセズ、斯ウ云フヤウナ形式ヲ重シテ、精神ノ入ツテ居ナイヤウナ運動ヲ國民精神總動員運動ニ於テ見、産業報國運動ニ於テ見ルコトハ洵ニ残念デアリ、更ニ第三ニ於キマシテハ、農民ノ爲ニ農業報國運動ト云フモノガ叫バレマシタガ、是又農民ニ取ツテ重大ナル關心デアリマス、所ノ小作問題、農地問題等ニ關ルコトナクシテ、流通過程ノ農村問題ダケヲ扱ツテ居リマスガ爲ニ、消エタリ現ハレタリ致シマシテ、何時ノ間ニカ農民ノ腹裡カラハ去ツテシマツテ居ル狀態デアリマス、今日日本ニ最モ必要ナモノハ、政治ノ貧困ヲ救フコトデアリマス、私自身モサウ信ズル、成程見渡スルモ、總理大臣以下、及第點ハ出セマスケレドモ、百點満點ノ、是ガ日本ノ中心デアルト思ハレルヤウナ人物ノ出ナイコトヲ甚ダ残念ニ思フノデアリマス、茲ニ國民經濟ノ再編成ト國民政治力ノ再組織ガ當然ノ要求トシテ叫バレテ來ナケレバナラスト思フノデアリマス、然ルニ米内總理大臣ハ「國民再編成」問題ニ付キマシテハ、私共考ヘテ居ナイト云フコトヲ言ツテ居ルガ、考ヘテ居ナイノデアリマス、分ラナイノデアリマス、或ハ再編成運動ニ反對スル勢力ニ押サレテ居ルノデアリマス、洵ニ惜シイコトデアルト

米内内閣ダケデハゴザイマセマスガ、茲數年ノ各内閣ハ何レモ國民ノ豫想ニ反シテ率然トシテ現ハレ、サウシテ親類、縁者、友人ヲ召集メタ密集メ内閣ヲ作り、サウシテソレカラ色々ト政策ヲ研究シ、甚シキハ前内閣ノ作ツタ豫算ヲ時日ガナイト稱シテ其ノ儘踏襲スルト云フヤウナ、洵ニ統一ノナイ弛緩内閣ガ續イタ爲ニ色々ナ問題ガ茲ニ起ツテ來ルノデアリマス、今日ハ昔ノ如ク經濟ガ政治ヲ左右スルニアラズシテ、寧ろ政治ガ經濟ヲ支配シナケレバナラス時代デアリ、一箇半箇ノ政策ヲ各官廳ノ官僚諸君ガ拾ヒヒゲテ、斯ノ如キ政策ガアルト云ウテ政策ヲ羅列スルコトヲ以テ誇リトスル時

代ハナイ、如何ニシテ鞏固ナル政治力ヲ作ルカト云フコトガ今日以後ノ日本ニ於テ根本問題デアルト私共考ヘテ居ル、(ヒヤ〜)然ルニ今マデ聽イテ居リマス所ノ各派ノ人ノ御立論ノ中ニハ軍需ト民需ト分ケテ論ズルト云フヤウナ矛盾モアル、今日ノ日本ノ立ツテ居リマス所ハ國防全體經濟デナケレバナラス、ソコニ軍需ト民需ト分ケテ論ズルト云フヤウナコトハ、其ノ人御自身ノ經濟觀ガ既ニ古クナツテ居ルコトヲ吾々ハ遺憾トスルノデアリマス、米内内閣ハ事變ヲ處理シヨウトスルカノ如クデアリマス、其ノ心ヤ大ニ善シ、サレド汪政權樹立後ノ支那四億全體ノ民衆ヲ指導スベキ立場ニアル日本ガ、一年ニ三週モ内閣ヲ取替ヘテ、誰ガ本當ノ日本ノ中心人物デアアルカ分ラスト云フヤウナコトデ、果シテ支那ノ民衆ガ躍イテ來ルデアリマセウカ、「ヒットラー」、「ムッソリー」、「ルーズヴェルト」、皆何レモ或ハ五年、或ハ十年ニ互リマシテ其ノ國ノ民衆ヲ率ヒテ居ル、戰爭ニ勝ツテモ日本ガ一年間ニ三週モ總理大臣ガ迭ルト云フコトハ國內ノ不安ノミナラス、支那ニ對シテ非常ニ惡影響ガアルト云フコトヲ私共考ヘルノデアリマス、如何ナル國家ノ政治ト雖モ國民ニ或ル種ノ不平等不満足ヲイト云フコトハナイ、必ズアル、是ハ併シナガラ是ガ國ノ弱點デハナイ、寧ろ國ノ弱點トスベキハ別ノ所ニアル、ソレハ何デアルカ、今日ノ國民ノ不平等不満足シテ物心兩面ニ於ケル其ノ當否ト、其ノ程度ヲ判別セシメ、國民ヲ有機的ニ協力セシムル方途ノナイ場合ガ是コソ國ノ弱點デアルト思フノデアリマス、政府ハ自ラノ政策ヲ國民大衆ニ知ラシメ、國民ハ又其ノ感ズル所ヲ政府

ニ上達スル爲ニ有機的ナ國民再組織ト云フモノヲ吾々ハ希望シテ居ツタノデアリマスガ、過去數代ノ内閣ハ之ニ代ヘルニ國民精神總動員運動ヲ以テシテ居ツタケレドモ、果シテ此ノ精神ノ實質ヲ如何ニ事變目的ハ近衛聲明ニ依ツテ明確ニナツテ居ルガ、其ノ共同防共、經濟提携、善隣友好ノ三原則ノ言葉ハ國民ニ分ツテ居ルケレドモ、ソレガ具體的ニハ如何ナル形デアレテ來ルカト云フコトニ付テ、國民精神總動員中央聯盟ハモットハツキリト國民大衆ノ胸ノ中ニ其ノ具體策ヲ叩キ込ムベキデアリマシテ、何一ツ説明ノ努力ヲシテ居リマセズ、抽象的ナ「ポスト」ヲ作ツタリ、下手ナ演說ヲシテ歩イタリシテ自己満足ヲシテ居ル、果ハ理事中役員ノ内輪喧嘩ヲヤル、此ノ内輪喧嘩ニ全精神ヲ總動員シテ居ル形デアリマス(笑聲)事變處理ノ大目的ヲ精勵本部ガ國民大衆ノ中ニ叩キ込シテ居ツタナラバ、齋藤隆夫君ノ如キ認識不足ノ人モ出ナカツタノデアラウト云フコトヲ私共考ヘルノデアリマス、併シナガラ政府ト雖モ、アノ齋藤氏ノ演說ヲ其ノ場デ返事ヲセズニ、一晚考ヘテ翌日返事ヲスルト云フヤウナ生温イ有機的ハナイカ、モットヲ緊メテ掛ツテ貰ハネバナラマセ

第二ハ産業報國運動デアリマスガ、是ガ完全ニ行キマスナラバ、戦後ノ社會政策ニ付キマシテモ又物動計畫ノ一部分デアアル所ノ労働員ニ付キマシテモ、非常ナ成績ヲ擧ゲルモノト私共ハ期待シテ居リマスケレドモ、残念ナガラ今日マデノ産業報國運動ハ吉田厚生大臣ノ御熱心ナル努力ニモ拘ラズ、形式的ニナツテ居リマシテ、數ハ殖エテ居リマスガ、卓抜ナル勞務管理ヲ練ニシ

テ居ツタガ爲ニ、労働者ノ氣持ガ分リマセヌ爲ニ、ドウデアリマスガ、浦賀船渠、或ハ藤永田造船所、或ハ神戸ノ川崎造船所、或ハ名古屋ノ愛知時計等ニハ労働紛議ガ起ツテ居ルコトヲ云フ吾々ハ知ラネバナラマセズ、斯ウ云フヤウナ形式ヲ重シテ、精神ノ入ツテ居ナイヤウナ運動ヲ國民精神總動員運動ニ於テ見、産業報國運動ニ於テ見ルコトハ洵ニ残念デアリ、更ニ第三ニ於キマシテハ、農民ノ爲ニ農業報國運動ト云フモノガ叫バレマシタガ、是又農民ニ取ツテ重大ナル關心デアリマス、所ノ小作問題、農地問題等ニ關ルコトナクシテ、流通過程ノ農村問題ダケヲ扱ツテ居リマスガ爲ニ、消エタリ現ハレタリ致シマシテ、何時ノ間ニカ農民ノ腹裡カラハ去ツテシマツテ居ル狀態デアリマス、今日日本ニ最モ必要ナモノハ、政治ノ貧困ヲ救フコトデアリマス、私自身モサウ信ズル、成程見渡スルモ、總理大臣以下、及第點ハ出セマスケレドモ、百點満點ノ、是ガ日本ノ中心デアルト思ハレルヤウナ人物ノ出ナイコトヲ甚ダ残念ニ思フノデアリマス、茲ニ國民經濟ノ再編成ト國民政治力ノ再組織ガ當然ノ要求トシテ叫バレテ來ナケレバナラスト思フノデアリマス、然ルニ米内總理大臣ハ「國民再編成」問題ニ付キマシテハ、私共考ヘテ居ナイト云フコトヲ言ツテ居ルガ、考ヘテ居ナイノデアリマス、分ラナイノデアリマス、或ハ再編成運動ニ反對スル勢力ニ押サレテ居ルノデアリマス、洵ニ惜シイコトデアルト



第一類第一號 豫算委員會議錄 第十二回 昭和十五年二月二十一日

私ハ考ヘマス、然ラバ國民再組織トハ何デアルカ、日本ノ國體ト日本民族ノ歴史ニ則リマシテ、國民ノ自主性ヲ尊重シナガラ、大政體ヲ土臺ヲソコニ築イテ行クコトデアル、之ヲ具體的ニ申シマス、三ツニナル、第一ハ經濟ヲ企業ノ部ニ於テ、第二ハ生産人ヲ職場ニ於テ、第三ハ國民ヲ家庭ニ於テ、恰モ隣保共助ノ共濟組合ノ如クニ再組織シ、上カラ下マデ一本ノ針金デ貫イタルガ如ク、上下交流ノ中心政治指導團體ヲ確立スルコトガ國民再組織デナケレバラスト思フ、此ノ國民再組織ノ上ニ立ツテコソ、眞ノ東亞新秩序ノ建設ハ實ヲ結ブノデアルト思フテ居リマス、國民ハ百三億ト云フ此ノ前古未會有ノ大數字ニハ別ニ驚イテ居リマセヌ、覺悟ヲシテ居リマス、ソレハ是デ事變方處理出來ルト信ズルカラデアリマス、其ノ爲ニハ國民ハ三杯ノ飯ヲ二杯ニ減ラシ、物價高ニ苦シムツモ、必ラズ政府ヲ支持シ、協力シテ行クデアリマセウガ、若シ不幸ニシテ國民ノ期待スルガ如キ結果ヲ見ナイナラバ、米内内閣ノ信用ハ忽チ地ニ墮チテシマフデアラウト云フコトヲ大臣諸公ハ考ヘテ貫ハナケレバナラス、最近數代ノ内閣ハ、組閣當初ニハ何カシラ美辭麗言ヲ使フテ天下ニ誇稱シテ居リマスガ、事變ノ處理モ爲サズ、國民生活ノ保障モ爲サズシテ、次カラ次ヘ淡雪ノ如ク消エ去ツテ行ツタノデアリマス、大臣ハ辭職スレバソレデ宜イカモ知レヌ、ソレデ責任ヲ通レマシテ涼シイ顔ガ出來ルカモ知レマセヌガ、重稅ト物價高ト事變トヲ背負ハサレテ居ル國民大衆ハ、厭ニナツタカラト言ツテ辭職スベキ何モノモ持ツテ居ナイノデアリマス、死ヌマデ日本國民ハ國家ト運命ヲ共ニスル

ノ開滿ナル實行ハ不可能ナリ、政府ハ官吏ノ採用方法、教育、再教育並ニ監察制度ノ全體ニ付キ深キ考察ヲ加ヘ、以テ一般行政並ニ經濟統制ノ運行ヲ可能ナラシムベシ

第五、政府ハ特ニ我が戰時下ノ國民思想對策ニ留意シテ奮起目的貫徹ニ障礙ヲ與フル如キ一切ノ言動ヲ嚴戒スベシ

以上ノ警告ヲ付シマシテ本豫算案全部ヲ承認シ、之ニ賛成ノ意ヲ表シマス(拍手)

○三土委員長 坂本太郎君

○坂本委員 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

出サレマシタ附帶決議ニ賛意ヲ表シマシテ本豫算案ニ賛成致ス次第デアリマス(拍手)

○小山委員 小山亮君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

國家ノ將來ノ爲ニ國民ト共ニ洵ニ遺憾ニ堪ヘザルモノガアルノデアリマス、更ニ外交方針ニ對スル有田外相ノ答辭ニ依ツテ、米内新内閣ノ外交方針ハ全ク英米依存ノ叩頭屈從外交ナルコトヲ暴露シ、國民ヲシテ嚴重警戒監視スルノ必要アルヲ痛感セシムルノデアリマス、英米依存外交ガ近キ將來新内閣ノ期待ヲ裏切り、全ク行詰リヲ招來シテ、救ヒ難イ深刻ナル事態ヲ暴露スルコトハ明瞭ニ程明瞭デアリマス、國家ノ爲メ政府當局ニ強キ反省ヲ促ス者デアリマス、戰時下生産力擴充、物價對策モ、米内内閣ノ如キ貧弱内閣ニ恒久對策ヲ求ムルコトコソ樹上ニ魚ヲ求メントスルノ類デアツテ、寧ロ口モルコトガ無理デアルカモ知レマセヌ、戰時恒久對策ハ近キ將來當然生ルベキ必然性ヲ有スル戰時強力内閣ニ依ツテ初メテ樹立セラルベキモノデアルトシテ、現内閣ニ對シテハ、目前ノ應イ對策ヲ處置ヲ誤ルコトナカラシムコトヲ希望シテ置クニ過ギナイノデアリマス、茲ニ我が時局同志會ハ、各派共同附帶決議ノ外ニ極メテ嚴肅ニ政府ニ對シテ次ノ警告ヲ發シテ、國家ノ爲ニ共ニ實現ヲ要求スル者デアリマス

第一、財政、經濟及ビ國民生活ノ全般ニ互リ長期建設ノ段階ニ對應スル爲メ全面の強度ノ規正ヲ計畫實施スベシ

第二、戰時體制ノ基本原則ハ營利經濟ヲ是正シテ公益統制主義タルベシ

第三、新東亞體制建設ノ經濟政策ヲ英米依存主義ニ依ルコトハ不當且ツ危險ナリ、隨テ我が物動計畫モ斯ル基調ヨリ脱却スベキ新工夫ヲ斷行スベシ

第四、官界ノ現狀ヲ以テシテハ統制經濟

以上三ツノ要點ヲ政府ニ注意シ、特ニ警告シテ提案ノ議題ニ一括賛成ヲ表スル者デアリマス

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君

○三土委員長 坂本太郎君



同月十九日

- 松尾 孝之君 第三分科ニ兼務ス
- 加藤 知正君 第三分科ニ兼務ス
- 山本 芳治君 第三分科ニ兼務ス
- 吉田 賢一君 第五分科ニ兼務ス
- 平野 力三君 第六分科ニ兼務ス
- 石坂 繁君 第一分科ニ兼務ス
- 田原 春次君 第五分科及第八分科ニ兼務ス
- 松村 謙三君 第六分科ニ兼務ス
- 川崎 克君 第四分科ニ兼務ス
- 吉植 庄亮君 第八分科ニ兼務ス
- 工藤 鐵男君 第五分科及第七分科ニ兼務ス
- 堤 康次郎君 第五分科ニ兼務ス
- 同月二十一日
- 石坂 繁君 第三分科及第四分科ニ兼務ス

昭和十五年二月二十一日印刷

昭和十五年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第十三回

會議

昭和十五年二月二十九日(木曜日)午前十時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 三上 忠造君
- 理事 工藤 鐵男君 理事 篠原 陸朗君
- 理事 中村三之丞君 理事 田村 秀吉君
- 理事 山本 芳治君 理事 岸田 正記君
- 理事 石坂 豐一君 理事 增永 元也君
- 理事 水谷長三郎君 理事 由谷 義治君
- 小川 輝太郎君 川島 正次郎君
- 三宅 正一君 中島 彌次郎君
- 眞鍋 儀十君 石坂 養平君
- 塚本 重藏君 前田房之助君
- 山道 襄一君 吉植 庄亮君
- 富吉 榮二君 小田 榮君
- 原 夫次郎君 森下 國雄君
- 小畑 之助君 河野 一郎君
- 田原 春次君 坂本 宗太郎君
- 北 吟吉君 松本 忠雄君
- 窪井 義道君 牧野 良三君
- 矢野 庄太郎君 山本 厚三君
- 助川 啓四郎君 村松 久義君
- 池田 秀雄君 三木 武夫君
- 最上 政三君 木暮 武夫君
- 名川 侃市君 末松 信一郎君
- 松尾 四郎君 小笠原 三九郎君
- 金井 正夫君 松尾 孝之君
- 吉田 賢二君 松村 光三君

二月二十二日委員平川松太郎君及星一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十三日山道襄一君及稻田直道君當選セリ

二月二十四日委員櫻井兵五郎君及馬場元治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十六日眞鍋儀十君及小田榮君當選セリ

二月二十八日委員小山亮君及篠原義政君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十八日三木武夫君及木暮武夫君當選セリ

二月二十九日理事水谷長三郎君ノ補闕トシテ増永元也君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

二月二十一日委員肥田琢司君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十二日河野一郎君當選セリ

第一類第二號 豫算委員會會議錄 第十三回

昭和十五年二月二十九日

- 出席政府委員左ノ如シ
- 內務政務次官 鶴見 祐輔君
  - 內務參事官 青山 憲三君
  - 內務省地方局長 挾間 茂君
  - 內務省土木局長 成田 一郎君
  - 內務書記官 瀧尾 弘吉君
  - 大藏參事官 松田 正一君
  - 大藏省主計局長 谷口 恒二君
  - 大藏省銀行局長 入間野 武雄君
  - 大藏省爲替局長 中村 孝次郎君
  - 大藏書記官 永井 勻君
  - 大藏書記官 湯地 謙爾郎君
  - 預金部資金局長 廣瀬 豐作君
  - 營繕管理局長 松隈 秀雄君
  - 司法政務次官 星島 二郎君

- 司法參事官 子爵高木 正得君
- 司法省刑事局長 黒川 涉君
- 司法書記官 石田 壽君
- 文部政務次官 子爵舟橋 清賢君
- 文部參事官 仲井 開宗一君
- 文部省實業學務局長 岩松 五良君
- 文部省圖書局長 近藤 壽治君
- 文部書記官 永井 浩君
- 農林省農務局長 土屋 正三君
- 農林省畜産局長 岸 良一君
- 農林省蠶絲局長 吉田 清二君
- 農林省米穀局長 横山 敬教君
- 農林書記官 岡本 直人君
- 農林省米穀局長 横山 敬教君
- 農林書記官 岡本 直人君
- 商工書記官 山本 茂君
- 逓信政務次官 武知 勇記君
- 拓務政務次官 松岡 俊三君
- 拓務參事官 男爵加藤 成之君
- 拓務省管理局長 副島 勝君
- 拓務書記官 藤重 千夫君
- 朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
- 臺灣總督府總務局長 藤岡 二郎君
- 厚生政務次官 一松 定吉君
- 厚生參事官 飯村 五郎君
- 厚生書記官 川村 秀文君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

(第一號)昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號)昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

○三土委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此際御話リ致スコトガゴザイマス、理事肥田琢司君ガ委員ヲ辭任セラレマシタニ付キマシテ、理事ノ補闕選舉ヲ行ヒマスガ、是ハ先例ニ依リマシテ委員長ニ於テ指名スルニ御異議アリマセスカ

(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○三土委員長 御異議ナケレバ直チニ指名致シマス、増永元也君ヲ理事ニ御願致シマス、是ヨリ第一號昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案及ビ特第一號昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ニ付テ審議ヲ進メマス、右兩案ニ對スル政府ノ説明ハ、先般本委員會既ニ承ツタノデアリマスカラ、本日ハ直チニ質疑ニ入りマス、質疑ノ前ニ申上ゲテ置クコトガアルノデアリマスガ、御承知ノ通り豫算案、一般會計各特別會計ヲ通ジテ見マスト、主ナルモノハ早害對策、モウツハ減債基金特別會計ノ問題デアリマスガ、即チ公債ノ増發ニ依ル發行費並ニ利子等ノ追加ヲ要スルノデ、此ノ方ハ問題ナイト思ヒマス、アトハ早害對策デアリマスガ、此ノ早害對策モ茲ニ十五年度トシテ要求サレテ居ルモノハ應急對策ナノデ、先般此處テ決議シタ十四年度ノ追加豫算ト、是ハ總テ應急對策デアツテ、恆久對策ノ方ハ此ノ後カラ又十五年度ノ分トシテ出テ來ルノデアリマスカラ、之ヲ後廻シニ致シマシタノハ十分御審議ヲ願フ積リデアツタノデアリマスガ、ウツカリシテ居ル中ニ明日テ審査期間ガ終了スルノデアリマス、ソコデドウシテモ明後日ハ決定シナケレバナラスノデアリマス、所ガ今日本會議ガア



○土屋政府委員 農作物ノ被害數字ノ最モ大キイ區域ハ、中國ニ於テハ山口、廣島、島根、岡山等ガ多イト思ヒマス、四國ニ於テハ愛媛、香川、九州ニ於テハ長崎、佐賀、福岡等ガ大キナ被害ガアルト云フ數字ニナツテ居リマス

○原委員 只今御説明ノ被害ハ極ク局限セラレタ被害ノ御調査アリマスルガ、大體早害ニ依ツテ被害ヲ受ケタ最モ主ナル部分ハ、早害ノ結果方後ニ殘ツテ耕地ノ龜裂ヲ生ジタ其ノ損害アル、或ハ山林ノ折角造林シテ成長シ掛ツテ居ル立木ガ、此ノ早害ニ依ツテ全ク紅葉ニナツタト云フ状態デアリキモノガ皆龜裂ヲ生ジテ、大修繕ヲ行ハナケレバドウシテモ水ヲ湛ヘル譯ニハ參ラナイ、ソレガ爲ニ何ヨリ先ニ翌年ノ爲ニ是ガ修理ヲ致サナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ色々ナ損害ガアルノデアリマスルガ、サレドモ、見積リノ損害額ヲ尙ホ承ツテ置キタイノデアリマス

○土屋政府委員 耕地ノ龜裂或ハ溜池ノ龜裂等ニ對シマスル損害額ゴザイマスガ、是ハ只今損害額トシテノ統計ガ手許ニ集ツテ居リマセヌ、尤モ其ノ損害ハ只今御審議ヲ願ツテ居リマス早害應急事業並ニ早害復舊事業ニ依ツテソレヲ復舊致スコトニナツテ居リマスルガ、ソレニ要スル經費ガナハリ損害額ト一應考ヘラレナイコトモナイト存ジマスガ、損害額トシテ幾ラノト云フ數字ハ只今持ツテ居リマセヌ、何レ調ベマシテ申上げマス

○原委員 此ノ損害ハ今農務局長カラ言ハレタ如ク、是ハ應急ノ對策トシテ一日モ早ク修理ヲ致サナイト、十五年度ノ増産關係ニ直接影響ガアル問題デアリマスガ、更ニ又應急施設ヲスルコト同時ニ、恒久對策ノ必要ナル點モ多キアルノデアリマス、斯ノ如キ甚大ナル損害ノ起ツタ此ノ救済事業ニ付テハ、農林當局ハ夙ニ御承知ニナラナケレバナラヌ、何トナレバドウシテモ龜裂ノ生ジタ土地ノ床縮問題ハ、大體全國ノ被害地ニ於テドウシテモアルカ、隨テ之ニ對スル對策トシテ斯ウ云フ補助金ガ必要デアアル、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスカラ、大體把テ宜シイノデアリマスケレドモ、此ノ豫算面ニ出テ居ル數額ト云フモノハ極メテ僅少デアリマシテ、何レ後ニ出ル豫算ニ現ハレルコトト思フノデアリマスガ、此ノ場合ニ於テ應急ト恒久トノ兩面ノ問題ニ付キマシテ、大體ノ見當ヲ御承知ヒタイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 只今ノ原君ノ御質問ニ對シテ一應私カラ御答テ致シテ置キタイト思ヒマス、只今政府委員ガ御報告致シマシタ被害ト云フモノハ、大體ニ於テ是ハ早害ニ依ツテ生ジタ收穫ニ付テノ概算ヲ集計シテ申上げタ譯デアリマスガ、茲ニ豫算トシテ協賛ヲ仰イデ居ル應急並ニ復舊ノ施設ト云フノハ、此ノ早害ノ結果只今御話ノ龜裂ヲ生ジ、溜池ガ墮レタト云フヤウナモノニ付テ、ソレ等ノ種類ノモノニ對スル應急的ナ、又復舊的ナ仕事ヲスル、此ノ復舊事業、應急事業ニ付テノ助成ノ爲ニスル經費ヲ計上シテ居ルノデアリマシテ、此ノ龜裂部分、或ハ其ノ他ノ關係ニ於テ生ジテ居ル各種ノ損害ノ總額ト云フモノニ付テ、之ヲ集計シテ報告ヲスルコトト云フコトハ、是ハ相當見込ニ付

○土屋政府委員 龜裂ノ問題ニ範圍ヲ決メテ御話ヲ致シマスガ、是ハナハリ應急對策ト恒久對策トヲ相兼ネテ御計畫ニナツテ居ル問題デアリマスガ、應急對策トシテ十四年度ガケデ済マサウト云フ考ノ計畫デアルカ、尙又其ノ龜裂回復ノ爲ニ全體ノ豫算ノ數字ニ色々他ノモノガ入ツテ居ルツテ明ニナリマセヌガ、此ノ助成金ハ合計ドノ位ニナツテ居ルカ、ソレヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○土屋政府委員 龜裂ヲ復舊致シマス事業ハ、應急事業トシテ施行ヲ致シマスル地方ニ於キマシテハ、十四年度並ニ十五年ノ本年度ニ付マデノ間ニ完成ヲスルコトニナツテ居リマス、ソレカラ復舊事業トシテ行ヒマス部分ハ十四、十五、十六年度ノ一部ニ掛カレルコトニナツテ居リマス、サウシテ助成金ゴザイマスガ、助成金ハ應急事業ノ中耕事業ニ關スル助成金ハ二千五百七十三万六千九百二十七圓、是ハ耕地事業ノ總額デゴザイマス、復舊事業ノ方ハ先刻申上げマヤウニ百五十一万六千四百五十圓デゴザイマス、ソレカラ尙ホ應急事業ガ二千五百萬圓ト申上げマシタノハ、是ハ助成金デゴザイマスガ、之ヲ事業費ニ直シマスニナリマス、是ハ應急事業ノ事業費デゴザイマス、其ノ事業費ノ中龜裂ノ復舊ニ使ハレマス分ハ七百七十七萬二千三百三十三圓ト云フコトハ、是ハ助成金ト復舊助成金ト、ソレカラ十五年度十六年度ニ互ル復舊事業ト云フ名前ノ區別ハ、一體ドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトト、合計三千幾百萬圓ノ

○原委員 此ノ龜裂ノ復舊助成金ト、ソレカラ十五年度十六年度ニ互ル復舊事業ト云フ名前ノ區別ハ、一體ドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトト、合計三千幾百萬圓ノ

○原委員 農林省ノ豫算ヲ見マシテモ此ノ點ガ數字ノ上カラハワキリ致サナイ點デア

○土屋政府委員 農作物ノ被害數字ノ最モ大キイ區域ハ、中國ニ於テハ山口、廣島、島根、岡山等ガ多イト思ヒマス、四國ニ於テハ愛媛、香川、九州ニ於テハ長崎、佐賀、福岡等ガ大キナ被害ガアルト云フ數字ニナツテ居リマス

○原委員 只今御説明ノ被害ハ極ク局限セラレタ被害ノ御調査アリマスルガ、大體早害ニ依ツテ被害ヲ受ケタ最モ主ナル部分ハ、早害ノ結果方後ニ殘ツテ耕地ノ龜裂ヲ生ジタ其ノ損害アル、或ハ山林ノ折角造林シテ成長シ掛ツテ居ル立木ガ、此ノ早害ニ依ツテ全ク紅葉ニナツタト云フ状態デアリキモノガ皆龜裂ヲ生ジテ、大修繕ヲ行ハナケレバドウシテモ水ヲ湛ヘル譯ニハ參ラナイ、ソレガ爲ニ何ヨリ先ニ翌年ノ爲ニ是ガ修理ヲ致サナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ色々ナ損害ガアルノデアリマスルガ、サレドモ、見積リノ損害額ヲ尙ホ承ツテ置キタイノデアリマス

○土屋政府委員 耕地ノ龜裂或ハ溜池ノ龜裂等ニ對シマスル損害額ゴザイマスガ、是ハ只今損害額トシテノ統計ガ手許ニ集ツテ居リマセヌ、尤モ其ノ損害ハ只今御審議ヲ願ツテ居リマス早害應急事業並ニ早害復舊事業ニ依ツテソレヲ復舊致スコトニナツテ居リマスルガ、ソレニ要スル經費ガナハリ損害額ト一應考ヘラレナイコトモナイト存ジマスガ、損害額トシテ幾ラノト云フ數字ハ只今持ツテ居リマセヌ、何レ調ベマシテ申上げマス

○原委員 此ノ損害ハ今農務局長カラ言ハレタ如ク、是ハ應急ノ對策トシテ一日モ早ク修理ヲ致サナイト、十五年度ノ増産關係ニ直接影響ガアル問題デアリマスガ、更ニ又應急施設ヲスルコト同時ニ、恒久對策ノ必要ナル點モ多キアルノデアリマス、斯ノ如キ甚大ナル損害ノ起ツタ此ノ救済事業ニ付テハ、農林當局ハ夙ニ御承知ニナラナケレバナラヌ、何トナレバドウシテモ龜裂ノ生ジタ土地ノ床縮問題ハ、大體全國ノ被害地ニ於テドウシテモアルカ、隨テ之ニ對スル對策トシテ斯ウ云フ補助金ガ必要デアアル、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスカラ、大體把テ宜シイノデアリマスケレドモ、此ノ豫算面ニ出テ居ル數額ト云フモノハ極メテ僅少デアリマシテ、何レ後ニ出ル豫算ニ現ハレルコトト思フノデアリマスガ、此ノ場合ニ於テ應急ト恒久トノ兩面ノ問題ニ付キマシテ、大體ノ見當ヲ御承知ヒタイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 只今ノ原君ノ御質問ニ對シテ一應私カラ御答テ致シテ置キタイト思ヒマス、只今政府委員ガ御報告致シマシタ被害ト云フモノハ、大體ニ於テ是ハ早害ニ依ツテ生ジタ收穫ニ付テノ概算ヲ集計シテ申上げタ譯デアリマスガ、茲ニ豫算トシテ協賛ヲ仰イデ居ル應急並ニ復舊ノ施設ト云フノハ、此ノ早害ノ結果只今御話ノ龜裂ヲ生ジ、溜池ガ墮レタト云フヤウナモノニ付テ、ソレ等ノ種類ノモノニ對スル應急的ナ、又復舊的ナ仕事ヲスル、此ノ復舊事業、應急事業ニ付テノ助成ノ爲ニスル經費ヲ計上シテ居ルノデアリマシテ、此ノ龜裂部分、或ハ其ノ他ノ關係ニ於テ生ジテ居ル各種ノ損害ノ總額ト云フモノニ付テ、之ヲ集計シテ報告ヲスルコトト云フコトハ、是ハ相當見込ニ付

○土屋政府委員 龜裂ヲ復舊致シマス事業ハ、應急事業トシテ施行ヲ致シマスル地方ニ於キマシテハ、十四年度並ニ十五年ノ本年度ニ付マデノ間ニ完成ヲスルコトニナツテ居リマス、ソレカラ復舊事業トシテ行ヒマス部分ハ十四、十五、十六年度ノ一部ニ掛カレルコトニナツテ居リマス、サウシテ助成金ゴザイマスガ、助成金ハ應急事業ノ中耕事業ニ關スル助成金ハ二千五百七十三万六千九百二十七圓、是ハ耕地事業ノ總額デゴザイマス、復舊事業ノ方ハ先刻申上げマヤウニ百五十一万六千四百五十圓デゴザイマス、ソレカラ尙ホ應急事業ガ二千五百萬圓ト申上げマシタノハ、是ハ助成金デゴザイマスガ、之ヲ事業費ニ直シマスニナリマス、是ハ應急事業ノ事業費デゴザイマス、其ノ事業費ノ中龜裂ノ復舊ニ使ハレマス分ハ七百七十七萬二千三百三十三圓ト云フコトハ、是ハ助成金ト復舊助成金ト、ソレカラ十五年度十六年度ニ互ル復舊事業ト云フ名前ノ區別ハ、一體ドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトト、合計三千幾百萬圓ノ

○原委員 此ノ龜裂ノ復舊助成金ト、ソレカラ十五年度十六年度ニ互ル復舊事業ト云フ名前ノ區別ハ、一體ドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトト、合計三千幾百萬圓ノ

○原委員 農林省ノ豫算ヲ見マシテモ此ノ點ガ數字ノ上カラハワキリ致サナイ點デア

○土屋政府委員 應急事業ニ伴ヒマス分ノ助成率ヲ三分ノ二ニ致シマス、ソレカラ復舊事業デ應急ニアラザル復舊事業ハ十分ノ四デゴザイマス、仕譯ヲ致シマシタ理由ハ、應急事業ヲ行ヒマス地方ニ於キマシテハ、早害ノ被害ガ激甚デゴザイマシテ、何カ急ノ土木事業ヲ起シテ生活ノ援助ヲスル必要ノアル地方デゴザイマス、隨ヒマシテ左様ナ地方ニハ助成金ノ率ヲ多ク致シマス、ソレカラ復舊事業デ行ヒマス地方ハ早害ノ被害トシテハ、詰リ農作物ノ收穫量ニ於キマシテ被害ノ方ハ、比較的激甚デゴザイマセヌカラ、所謂應急ニ事業ヲ起ス必要ハナイノデアリマス、隨ヒマシテヤハリ耕地復舊事業ハ一般ノ開墾デアリマストカ、其ノ他ノ耕地事業ト同様ニ助成ヲ致ス必要ガゴザイマスカラ、ソレデ其ノ例ニ依リマシテ四割ノ助成率ヲ取ツタノデアリマス、ソレカラ第二ノ點ノ御質問デゴザイマスル三千九百萬圓ノ事業費ト申上げマシタノハ、是ハ龜裂ノ復舊デハゴザイマス、隨ヒマシテソレハ復舊ニ當ル部分モゴザイマスシ、ソレカラ又溜池ノ新設デアリマストカ、或ハ農道ヲ付ケマストカ、水路ヲ直シマストカ、井堰ヲ直シマストカ、左様ナ種々事業ガゴザイマスカラ、之ヲ一寸反別デ何反歩ニナルト云フコトハ、此ノ際申上げマセヌ、尤モ應急ニ入レマシタ復舊工事ノ方ハ七百七十七萬圓デゴザイマスガ、此ノ方ハ反別ハ分リマスカラ、後刻取調ベマシテ申上げマス

○原委員 農林省ノ豫算ヲ見マシテモ此ノ點ガ數字ノ上カラハワキリ致サナイ點デア

○土屋政府委員 應急事業ニ伴ヒマス分ノ助成率ヲ三分ノ二ニ致シマス、ソレカラ復舊事業デ應急ニアラザル復舊事業ハ十分ノ四デゴザイマス、仕譯ヲ致シマシタ理由ハ、應急事業ヲ行ヒマス地方ニ於キマシテハ、早害ノ被害ガ激甚デゴザイマシテ、何カ急ノ土木事業ヲ起シテ生活ノ援助ヲスル必要ノアル地方デゴザイマス、隨ヒマシテ左様ナ地方ニハ助成金ノ率ヲ多ク致シマス、ソレカラ復舊事業デ行ヒマス地方ハ早害ノ被害トシテハ、詰リ農作物ノ收穫量ニ於キマシテ被害ノ方ハ、比較的激甚デゴザイマセヌカラ、所謂應急ニ事業ヲ起ス必要ハナイノデアリマス、隨ヒマシテヤハリ耕地復舊事業ハ一般ノ開墾デアリマストカ、其ノ他ノ耕地事業ト同様ニ助成ヲ致ス必要ガゴザイマスカラ、ソレデ其ノ例ニ依リマシテ四割ノ助成率ヲ取ツタノデアリマス、ソレカラ第二ノ點ノ御質問デゴザイマスル三千九百萬圓ノ事業費ト申上げマシタノハ、是ハ龜裂ノ復舊デハゴザイマス、隨ヒマシテソレハ復舊ニ當ル部分モゴザイマスシ、ソレカラ又溜池ノ新設デアリマストカ、或ハ農道ヲ付ケマストカ、水路ヲ直シマストカ、井堰ヲ直シマストカ、左様ナ種々事業ガゴザイマスカラ、之ヲ一寸反別デ何反歩ニナルト云フコトハ、此ノ際申上げマセヌ、尤モ應急ニ入レマシタ復舊工事ノ方ハ七百七十七萬圓デゴザイマスガ、此ノ方ハ反別ハ分リマスカラ、後刻取調ベマシテ申上げマス



リマシテ、先程申上ゲマシタ如ク、私共ハ龜裂ヲ生ジタ廣範圍ニ互ル地域ノ回復ト云フ事業ガ、早急ニ對シテハ一番根本問題デアリ、又一番必要問題デアルト思フ。十五年度ノ作付マデニ此ノ龜裂ノ回復事業ヲ施行スル豫定デアル、積付マデト云フ御言葉デアツタノデアリマスガ、要スルニ十四年度ノ豫算附ハレルモノト思フ。復アリマス、ソレガ十五年度ニ互ル復舊事業ト云フハ、是ハ結局龜裂ノ回復事業トハ別途ノ事業デアル、斯ウ云フコトニ結論ツケルコトガ出来マスカドウカ、ソレヲ一聲明ニシテ置キタイ。

○土屋政府委員 御答申上ゲマス、龜裂ヲ復舊シマスル仕事ノ中デ、前申上ゲマシタヤウニ早急復舊事業ヲ致シマス分ト、早急復舊事業ヲ致シマス分ト二本建デアリマス、早急復舊事業ヲ致シマス分ハ十四年度ノ第二豫備金ト、十四年度ノ追加豫算ト、只今御審議ヲ願フテ居リマス。十五年度ノ追加豫算ト、此ノ三者デ本年ノ積付マデニ事業ヲ完了スルノデゴザイマス、ソレカラ早急復舊事業ト云フ豫算ヲ復舊ヲ致シマス分ト、十四年度ノ追加豫算ト、十五年度ノ追加豫算ト、只今御審議ヲ願フテ居リマス。豫算ト此三ツデ大體ハ、仕附ヒマスガ、豫算ニ致シマシテ三十八万四千七百九十元ノデゴザイマス、其ノ残りマシタ分ハ十六年度ノ豫算ニ廻ルコトニナツテ居リマス。

○原委員 只今農務局長ノ御話ヲ承ツテ結局大早害ノ結果、早害地ノ溜池、耕地、畑等ガ廣汎ニ互ツテ非常ナ龜裂ヲ生ジ、其ノ面積ト云フモノガ何十萬町歩ニ互ツテ居ル

ノデアリマスガ、ソレニ對シテ此ノ豫算面カラ見マスト、當面ノ應急對策、復舊對策等ヲ合セマシテ其ノ助成金ガ僅カニ三萬圓ニ足ラナイト云フヤウナ數字ノヤウニ思フノデアリマス、其ノ點ガ豫算面デハ明ニナツテ居リマセマスガ、説明ヲ聽イテ見マス、結局サウ云フヤウナコトニ歸著スルト思フノデアリマス、一體龜裂ハドノ位ノ事業ニ見積ラレテ居ルノデアリマスカ、是ハ程度ノ問題ハ各異ツテ居ルコトハ當然デアリマスガ、大體ニ於テ此ノ龜裂ノ復舊事業ヲ行フニハ、一反歩當リドクニ少クテモ十五圓、二十圓以上、多クハ七十圓、八十圓マデ掛ケナイト出来ナイ事業デアルト云フコトハ、専門家ノ見所デアリマス、斯ウ云フ費用ヲ掛ケレバナラナイノデアリマスカラ、其ノ土地ノ所有者タル地主ニ比較的多イ助成金ト云ヒナガラ、貧窮ナル地主デハ到底持テ切れルモノデハナイノデアリマス、併シテ之ヲ打棄テテ置ク譯ニハ參ラナイ、借金ヲシテモドウシテモ此ノ工事ハヤラナケレバナラナイト云フ羽目ニ陥ツテ居ルノデアリマス、然レニ全國的ノ早害地ニ對シテ借カナレバ助成金ヲ以テシテハ、ソレハ本當ニ天非カラ目録ト云フ感ヲ免レナイノデアリマス、之ニ對スル政府當局ノ前途ノ御見透シハ一體ドウシテ居リマス、即チ一面ニ於テハ農産物ノ増産計畫ト云フコトニ非常ニ力ヲ入レラレテ居ル、又開墾事業等ニモ力ヲ入レラレテ居ル、併シテガラ實際良田ガ早害ノ爲メ龜裂ヲ生ジテ、助成金ガ多分ニアルノデゴザイマス、各地トモ現在ニ於テ地主ガ非常ニ澤山ナ費用ヲ掛ケテ元ニ回復サセルコトハ難カシイノデア

ルカラ、一層是ハ此ノ儘ニシテ山林ニシヨウト云フコトガアルヤウデアリマス、ウツチヤツテ置ケバ自然サウ云フコトニ落著クモノト思ハレルノデアリマス、是等ニ對シテ政府ノ御見透シハ一體ドウデアアルカ、此ノ點ニ付テ尙ホ農林當局ニ御尋シテ置キタイ。

○土屋政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテハ私カラ御答申上ゲルノハ少シ遺憾カト存ジマスガ、私ノ立場ト致シマシテハ今同ノ早急ニ依リマシテ蒙リマシタ被害ハ速ニ之ヲ復舊致シマス、尙ホ恒久對策ヲ完備致シマシテ、今後早急ガ參リマシテモ今回ノヤウナ被害ガナイヤウニ致シタイト念願致シテ居リマス。

○原委員 實ハ當局大臣ニ御同シタカツタノデアリマスケレドモ、前内閣ノ編成ニナツタ豫算ヲ踏襲セラレテ居ル立場カラ、茲ニ御列席ノ大藏大臣モ内務大臣モ、農林大臣モ早害地出身ノ大臣デアリマシテ、吾々トモ同ジウセラレルコトト思ツテ敬意ヲ拂フテ特ニ御尋致サナカウツデアリマスガ、只今御聽ニナツテ居ルヤウナ始末デアリマシテ、龜裂ヲ生ジタ田畑、溜池等ノ復舊工コトハ國家ニモ責任ガアリ、地主、地方團體ニモ責任ガアルト考ヘル、之ヲヤルニ僅ニ三萬圓ノ四萬圓ノ金ヲ投ジテ置イテ、ドウシテ増産計畫ト云フヤウナコトガ考ヘラレマセウカ、増産計畫ハ姑ク置イテ、折角極々辛苦シタ土地ハ農民ノ魂デアツテ、朝ナタナ親シク非常ニ勉強ヲ致シテ居ル、ソレガ一朝斯ウ云フ災害ニ遭ウテ、謂ハバ元モ子モナクナルト云フヤウナ接持、此ノ龜裂ヲ回復スルノニハ實ハ土地ヲ買フ

位ナ金ノ掛カル所ガアル、ソレデモ自分ガ多年持ツテ居ル土地ナラバソレヲ荒廢ニ歸セシムルト云フコトハ、中々容易ニヤルモノデハナイ、ドウカシテ之ヲ助ケヨウトスルノニハ、ヤハリ政府ガ助成金ヲ出シテ此ノ回復ヲ助成シテヤラナケレバナラヌト、斯ウ云フ立場ニアル、此ノ立場カラ見マスルト、是ガ中々ノ大キナ金額ニ上ルモノト見ナケレバナラヌノデアリマス、是等ノ復舊事業ニ付テ一體島田農林大臣モ、櫻内大藏大臣モ親シク早害地ヲ昨年視察セラレテ非常ナ同情ノアル言葉ヲ與ヘラレテ居ル立場ニ於キマシテモ、ドウシテモ此ノ計畫ヲ立テテ至急ニ救済シテヤラナケレバナラヌ問題ト思フノデアリマス、之ニ對スル計畫、經緯等ヲ具體的ニ御話ヒタイト思ヒマス。

○島田國務大臣 昨年ノ西部日本ニ於ケル早害ノ深刻且ツ廣範圍ニ互ツテ居リマシタコトハ、洵ニ國家ノ爲ニ遺憾ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、之ニ對スル善後ノ處置ト致シマシテハ、應急當面ノ處置ニ依リテ復舊ト云フヤウニ考ヘテ、ソレニ依ツテ政府ハ事業分限ヲ考ヘマシテソレノ助成ノ方法ヲ講ジテ、只今豫算ヲ要求シテ居ルデアリマスガ、其ノ豫算金額ニ事業範圍ト云フヤウナコトニ付テ、之ヲ實際ノ實情ト比較シマシテ遺憾ナ點ガアルト云フコトノ原君ノ御批評ノ意見ニ付テハ、洵ニ御尤モト思フ點ガアルノデアリマスガ、併シテハ申サマデモナク、中央又各被害ノ府縣、地元ノ町村等、是ガ爲ニ一齊ニ農林關係バカリデハナイ、其ノ外ノ方面ニ於キマシテモ幾多ノ負擔ヲシナケレバナラヌノデアリマシテ、是ガ財政ノ上カラ考ヘ、又實際ノ事業ノヤリ方ノ上カラ考ヘマシテ、十分

ナル事柄ヲ完全ニ一氣ニ仕上ゲルト云フコトハ、是亦中々困難ナコトデアルト言ハナケレバナラヌノデアリマス、私ハ御指摘ノ通り早害地方ノ出身デアリマスカラ、早害ノ狀況等ニ付キマシテハ、自分モ詳シク又相當痛切ニ感ジテ居ルノデアリマス、併シテナガラ是ガ今申上ゲルヤウナ諸種ノ事情ニ依ツテ、財政ノ上カラ又事業ノ上カラ考ヘマシテ、今日ノ場合トシテ只今提案ヲシテ居ル、即チ十四年度ヨリ十五年度ニ互ル應急、恒久ノ兩方面ノ處置ヲ以テ之ニ應ジテ行キタイ、斯ウ云フ程度デ御認テ願フヨリ致シ方ガナイモノト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、大體論トシテ御述ニナリマシタ事柄ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ同感ノ意ヲ表シテ置キマス。

○原委員 床締ノ問題ニ付キマシテハ此ノ程度ニ止マシテ、尙ホ進シテ此ノ早害豫算ノ編成方ニ付テ私ガ多大ノ疑義ヲ持ツノハ、十四年度ノ早害追加豫算ニ於キマシテ内務省ガ百四十萬圓ノ土木事業助成金ト云フモノヲ要求致シテ居リマス、更ニ只今審議中ノ十五年度ノ追加豫算ニ於キマシテモヤハリ同様ナ内務省ノ要求ガ致シテアル、之ヲ合計スルト二百八十萬圓ニ上ツテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ豫算要求書ニ示シテアリマス如ク、十四年度ノ追加豫算ニ於キマシテハ、内務省ノ土木事業ハ第二豫備金カラ支出致シタ金ヲ以テ、地方團體ノ中ノ市町村團體ニ依ツテ土木事業ヲ起サセテ、其ノ土木事業ニ助成ヲ國カラ爲シテ、之ニ依ツテ被災地ノ窮民ニ勞銀ヲヤツテ、生活ノ糧トスルト云フ社會的施設ノ説明デアリマス、所ガ先程來御尋申上ゲテ居ル如ク、昨年ノ大早害ノ終局ガマア十月ノ末、十一

月ノ前ニマデ至ツテ居ル、ソコデ農産物ノ穫入レ得ベキモノハナイ、稻ハ毫末ノ收穫モナシ、又畑作物ハスツカリ枯レテ居ル、山林ハ紅葉ニナツテ居ル、桑ノ葉ハ皆焼ケ落チテ居ル、斯ウ云フヤウナ有様デアツテ、之ヲ眺メテ農民ハ總テ此ノ回復ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ更生ノ意氣ニ燃エテ、先ツ耕地、溜池、其ノ他畑デモ床締ノ大キナ仕事ニ向ツテ、小作人ヲ使ツテ非常ナ賃銀ヲ出シテ之ニ努力シ來ツテ居ル、サウ云フ戰場ノヤウナ有様ノ所ヘ、内務省ガ市町村團體デ工事ヲ計畫セシメテ、サウシテ其ノ勞銀ヲ農民ヲ救ハウ、市町村内ノ河川ノ土木事業ヲ計畫セシメル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ思ハザルノ甚ダシイモノト思フノデアリマスガ、實地ニ行ツテ見テ、地方農村ニソレダケノ努力ガアルカドウカ、又市町村團體ノ事業デアツテ、内務省ガソレノ監督者ヲシテ監督セシメテ、其ノ工事ノ爲メ勞銀ヲ拂フ、斯ウ言ウテモ多額ナ勞銀ヲ拂フ譯ハナイ、ソコデ災害地ノ窮民ト云フモノハ少シデモ値段ノ多イ賃銀ヲ取ラウトシテ、冬至頃或ハ山カラ伐出ス材木ノ運搬ニ從フトカ、或ハ其ノ日其ノ日ヲ床締デ働タカ、サウ云フ方ノ働キニ皆向ヒツツアツタノデアリマ

ス、ソレガ第二豫備金ヲ以テ此ノ不急ナ事業今ドウシテモ火ノ付イテ居ルト云フ不念ナ事業ヲ起シテ、サウシテ窮民ニ給金ヲ取ラセヨウト云フコトデ、下サツサ紛レニ斯ウ云フ仕事ヲ爲サシメル、早害對策トシテ合計三百餘萬圓ニハナリマセウ、斯ウ云フ金ガアルナラバ、ドウシテモ先程御尋致シタヤウナ、モウ火ノ付タヤウナ、

植付マデニドウシテモ完成シナケレバナラヌ土地ノ荒廢ノ回復事業ニデモ充テナケレバナラヌ、モウ焦レ切ツテ居ル、持チニ付ツテ居ル方ニ必要ナ金ガ欲シイノデアリマス、サウ云フ場合ニ斯ウ云フ不念ナ事業ヲ内務省デ起スト云フコト自體ガ、而モ豫備金マデモ支出セラレテ、而シテ又十四年度ハモウ寒サニ向ツテ、河川ノ上木事業ト云ヘバ休マナケレバナラナイヤウナ備カナ二三箇月、三四箇月ヨリカナナイ、其ノ時ニ當ツテ、川仕事ヲ起サセル、サウシテ是ガ十四年度ノ追加豫算ヲ見ルト、内務省ハ十五年度ニ繰延要求ヲナシ、更ニ十五年度ノ追加豫算ニ新ノ新項目デ同額ノ要求ヲ致シテアル、斯ウ云フ豫算ノ作り方デアリマス、是ハ一體早害對策ニ付テハ前内閣時代ニ出來タ豫算デアリマスガ、農林内務其ノ他政府側ニ於テ十分ナル打合せヲ爲シテ計畫ヲ定メラレタモノトハ考ヘラレナイ、各省割據ノヤウナ仕事ニナツテ居ルト思フノデアリマス、其ノ他文部省、厚生省等ニホソノ少シノ豫算ガ計上致シテアルノデアリマスガ、結局スル所此ノ内務省ノ土木事業ト云フモノハ、往年起サレタ、アノ不念ノ土木事業ト同ジヤウナモノヲ持ツテ來テ、社會事業的ナ仕事ニ、早害對策トシテ計上セラレテ居ルノデアリマス、一體是ハ大藏省ガドウシテ斯ウ云フ項目ヲ査定セラレタモノデアアルカ、此ノ點ニ付キマシテ、是ハ前内閣編成ノ豫算案ヲ踏襲セラレタノデアリマスガ、兒玉内務大臣ハ能ク御承知デナイト思ヒマス、内務ノ土木關係ノ、此ノ豫算ノ編成ニ當ラレタル事務當局デ宜シイノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ御説明ト、尙ホ大藏省ノ主計局長カ



業ヲヤツテ貴ヒタイト云フ強イ希望ガアツタヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、此ノヤリ方ハ從來此ノ種ノ災害ガアリマシタ場合ニ常ニ執ツテ居リマス方法デアリマシテ、今回モ從來ヤツテ居リマシタヤウナリ方ヲ踏襲シテ計畫ヲ致シテ居リマシテ、尙又斯ウ云フ時局ニ際シマシテ、サウ云フ土木事業ヲヤツテモ人ガ集マラナイノデハナカ、努力ガ不足スルノデハナイカト云フ御疑問モアツタヤウデアリマスガ、私共ノ方デ最近關係ノ地方ニ係官ヲ派遣致シマシテ、内務省デヤツテ居リマスル救済應急土木事業ノ實際ノ狀況ヲ聴キ、又關係ノ人カラ色々話ヲ聴イテ歸ツテ参リマシタ者ノ報告ニ依リマス、大體ニ於テ努力ハ得ラレテ居ル、但シ場所ニ依リマシテハ、壯年ノ労働者ヲ得ルト云フコトノ出来ナイ場合モアリマスケレドモ、此ノ仕事ノ性質ト致シマシテ、從來トモ賃銀ヲ落スト云フ建前カラ、女デモ宜シイ、又子供デモ宜シイト云フヤウナコトデアリマシテ、サウ云フ女子子供モ入レルト云フヤウナリ方ニ依リマシテ、大體豫定ノ如キ土木事業ノ進捗ヲ見テ居ルヤウナ狀況デアリマスノデ、此ノ點申上ゲテ置キマス

○谷口政府委員 只今原サンノ御質問デアリマスガ、土木局長ガ答ヘラレマシタコトデ大體盡キテ居ルト思フノデアリマスガ、御話ノ中ニアリマシタ土木事業ニ付テ努力ノ點其ノ他ヲ能ク考ヘナケレバナラス、此ノ際ト雖モ不念ノコトヲヤルト云フコトニ付テハ十分考ヘナケレバナラスデハナイカト云フ御指摘ノ點ニ付キマシテハ、全ク御同感デアリマシテ、早寄救済ト云フ大切ナ場合ニ於キマシテモ、不念ノコトニ手ヲ出

○成田政府委員 御答申上ゲマス、内務省デヤツテ居リマス救済ノ爲ノ事業ハ道路、河川、港灣ニ互ツテドレデモ宜イト云フコトニナツテ居リマスルガ、實際ノ狀況ハ道路ノ幅ヲ擴ゲマスとか、或ハ屈曲部ヲ直スとか云フヤウナ仕事ガ殆ド大部分デゴザイマス、河川、港灣ノ仕事ハ極ク少クゴザイマス、ソレカラ鮮人ニ付テノ御話デゴザイマスガ、ヤハリ其ノ地方ニ在リ鮮人デアリマシテ、救済スベキ者ガアレバ、其ノ土木事業ニ使ツテ賃銀ヲ渡スト云フコトニ致シテ居リマス

○原委員 大藏省ノ方カラ十四年ノ早寄對シテ關シマス經費調ト云フノガ出テ居リマスガ、之ニ依ルト治水事業費ガ十二万七千五百圓、災害費ガ二十万三千六百六十八圓ト云フコトニナツテ居ル、サウシテハハ港灣改良トカ何トカハナイノデス、今ノ御話デハ道路ガ主タルモノダト云フコトデアリマスガ、内務省ノ豫算各目明細書ニハ市町村團體ノ河川ト云フコトニナツテ居ルノデスガ、ドウシテ變ツタノデスガ、事實ガサウナラバソレ宜シクゴザイマス、大體斯ウ云フ金ハ今ノ儘デカラ先使ヘルモノデスカドウデスカ、今日マデハ順調ニ行ツテ居ルト云フ話デスガ、其ノ點ヲ一寸確カメテ置キタイ

○成田政府委員 先程御答申上ゲマシタヤウニ、第二豫備金デヤツテ居リマス分ニ付テハ順調ニ工事ガ執行サレテ居ルヤウニ思ヒマス、只今御尋ノ十五年度ニ於テハドウデアラウカト云フ御質問デアリマスルガ、十五年ハ四月五月マデノ豫定デアリマシテ、大體今マデノヤリ方カラ考ヘマシテ、四月

出ニナル答デアリマシテ、目下大藏省ニ於テ御審議中デアルト承ツテ居ルノデアリマスルガ、十分ニ認識アル大藏大臣、又同僚ナ島田大臣、兒玉大臣デアリマスカラ、決裁セラルル大臣ノ側ハ十分ニ認識ガアツテ、下條ノ認識ガ之件ハナイト云フヤウナコトガアツテハ、早寄地方民ノ不幸ダケデハナイノデアリマス、就キマシテハ、ドウカ上カラ認識十分デナイト云フ諸君ヲ督勵セラレマシテ、只今大藏省ノ御手許ニアル此ノ豫算査定ノ問題ニ付キマシテハ、一ツ三大臣力ヲ協セテ十分ニ適正ナル審議ヲ願ヒマシテ、農林省其ノ他カラ提出ニナツテ居ル豫算案ヲ全部其ノ儘ソツクリ御査定ニ相成ツテ、サウシテ再ビ此ノ豫算委員會ニ至急ニ掛ルヤウニセラレ、又吾々ハヤハ早寄地ノ御出身デアアル三土委員長ノ明快ナル審議振リデシ、ト貴族院ニ送リタイト思フノデアリマス、ドウゾ十分ニ一ツ多額ノ豫算ヲ追加セラレルヤウニ希望致シマシテ、私ノ質疑ヲ終リマス

○三土委員長 此ノ際休憩シマシテ、一時カラ開會致シマス

午後一時三十分開議

○三土委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——岸田君

○岸田委員 西日本ニ於ケル昨年ノ早寄ト云フモノハ、全ク數百年來稀有ノ慘狀デアリマシテ、此ノ被害地方ノ人々ガ、如何ニ此ノ爲ニ困窮ヲ極メテ居ルカト云フコトハ、既ニ政府ニ於テ色々メナナ方法ニ於テ調査ナサレテ明瞭ニナツテ居ルコト存ジマスルガ、唯實際ノ被害實情ト、ソレカラ政府

調ト云フノガアリマシテ、ソレニ基イテ御尋致シタ譯デアリマス、篤ト之ヲ御覽ヲ願ヒタイ、ソレカラ次ニ早寄對策ニ付テ昨年來災害地各府縣デハ、國ト協力シテ是非トモ災害ヲ克服シナケレバナラスト云フ建前カラ、起債ヲ爲シテ土木事業ヲ遂行シヨウト云フノデ、ソレノ各府縣カラ起債認可申請ヲ内務省ニ提出致シテ、大藏省ト兩方ノ許可ヲ受ケルコトニ御願致シタコトハ御承知ノコトト存ジマス、所デ此ノ起債事業ニ付キマシテハ、各府縣トモ認可ノ取レルマデハ——先月頃認可ガアツタヤウデアリマスガ、四五箇月ノ間入代リ立代リニオ百度ヲ踏ンデヤツト認可ガアツタ、斯ウ云フ狀況ニアルノデスガ、サウ云フ狀況ヲ主務大臣ハ御承知ニナツテ居ルカドウカ、一體何デ斯ウ云フ手數ヲ掛ケルノデアリマスガ、災害ニ付テ農林當局モ内務當局モ非常ニ同情セラレテ、是ハ國ハ必ズ助成シナケレバナラナイノデアリカラ、縣ノ方デシツカリヤツテ呉レ、應急對策ニ關スルコトハ全部ドシノヤツテ呉レ、兎ニ角出シタモノナラバ後ハ何トカ國ノ方デヤツテヤナケレバイヤカスカラト云フヤウナ激勵マデ與ヘテ、其ノ場ヲ納メタノデアリマス、所ガ後カラ起債ノ認可ヲ申請スルト云フト、色々ナ文句ガ出テ長ク決裁ヲセラレナイ、地元デハ此ノ認可ガナイト云フト縣會デ決議ガ出来ナイ爲ニ、坐食シテ東京ニ滞在シテ當局ニ陳情シタト云フコトニナツテ居ルノデスガ、ドウシテ斯ウ云フコトニナルノデスカ、モウ少シ簡單明瞭ニヤツテ載ケナイモノデアラウカ、何時モノ學校ヲ建テル爲ノ起債トカ、何トカ云フコトニ付キマシテモ、内務省ハ宜イト言ツテモ、大藏省ガ背カス、

大藏省ハ宜イト言ツテ内務省ガ背カスト云フヤウナコトデ、ゴチャ／＼スルコトガアリマスガ、ドウモ斯ウ云フ災害對策ヲ要スル場合ニ、アア云フ風ニ認可ニ手間ガ取レテハ努力ト失費ヲ非常ニ繁クスル、サウシテ繁文縟禮デ、地方デハ非常ニ困ツテ居ルヤウデアリマス、一體ドウシテアツナニ暇ガ掛ルモノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ内務大臣ハ篤ト一ツ下條ニ向ツテ御訓示ヲ願フテ置キタイト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル内務大臣ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 災害復舊ニ關シマスル起債ノコトニ付キマシテハ、特ニ政府ト致シマシテモ考慮ヲ加ヘテ行クベキ方針ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ是ガ認可ガ遅レルト云フ事柄ハ洵ニ遺憾ナコトデアリマスルガ、是モ申請ノ事由ナリ、又其ノ金額等ニ付キマシテ審査ヲ要スルコトハ無論ナ話デアリマスシ、隨テソコニ相當ノ時日ヲ要スルト云フコトモアルノデアリマスガ、此ノ災害復舊ノ如キ急ヲ要スル事業ニ付キマシテハ、成ベク早ク大藏省ト合議ヲ致シ、協調ヲ致シマシテ、速ニ之ヲ認可スルコトニ取計ヒタイト思ツテ居リマス、原君ノ今ノ御質問ノ今回ノコトニ付キマシテハ、私ハ事實ヲ承知ハ致シテ居リマスガ、之ヲ知ル知ラスニ拘リマセズ、是等ノ事業ヲ最モ敏活ニ、サウシテ最モ協力的ニ取計ラハネバナラスコトト考ヘテ居リマス、今後其ノ點ニ付テハ十分注意ヲ加ヘテ行キタイト思ツテ居リマス

○原委員 是デ私ノ質問ヲ大體止メテ置キタイト存ジマスルガ、要スルニ此ノ早寄對策ニ付キマシテハ、尙ホ後ニ追加豫算ガ提



計致シタモノト存ジテ居リマス

○土屋政府委員 被害ノ數字等ハ只今岸田委員ノ御引用ニナリマシタ通りデゴザイマスガ、ソレハ先刻申上ゲマシタ通り道府縣ノ報告ヲ其ノ儘集計致シタモノデゴザイマスガ、自然左様ナ達ヒガ出タモノカト思ヒマス

○岸田委員 各府縣カラノ報告ヲ其ノ儘損害調査ノ資料トシテ結果ガ、斯ウ云フ數字ニ現ハレテ居ルノダト云フ御説明デアリマスガ、是ガ一石當リニ付テ一圓トカ二圓トカノ評價ガ違フナラバ、是ハサシタル問題トモ言ヒ得ラナイデアリマセウガ、何分ニモ或ル縣デハ一石ノ米價二八圓四十四圓カラノ開キガアルノデアリマスガ、是ハ私共一寸呑込メナインデゴザイマスガ、モウ一度具體的ニ詳シク御説明願ヒタイト思ヒマス

○土屋政府委員 統計ノ數字ニ出マシタ根拠ハ、只今御説明申上ゲタ通りデゴザイマスガ、如何ニモ只今御指摘ニナリマシタヤウニ、一石ノ米ニ付テ十圓モ單價ノ開キガアルト云フハ呑込メナイ次第デアリマスガ、甚ダ何デゴザイマスガ、私ガナシタノデハゴザイマセウカラ、至急ニ其ノ點ハ取調ベマシテ御報告致シマス

○岸田委員 唯各府縣カラノ調査ヲ其ノ儘數字ニ現ハシタダケノコトデアリマスガ、モウ一應調査スルト云フコトデアリマスガ、此ノ點サウ云フ風ニ御願スルヨリ外ニ方法ハアリマセウガ、唯其ノ結果ガ全國ノ水稻ノ被害ト云フ應急並ニ恒久對策ノ今後ノ基本ノ數字ナルモノガ、今ノヤウニ一石當リノ評價ト云フモノガ十圓モ開キガアルト云フヤウナ杜撰ナ數字カラ割出サレテ居ルト云フコトニナリマス、農林省ニ於ケル根本ノ早害對策ニ對シテ基礎數字ト云フモノニ、非常ニ私共危惧ト不安ノ念ヲ持タザルヲ得ヌノデアリマシテ、ドウカ此ノ點何等カノ是ハ開達ララシム思ヒマスガ、至急ニ明確ナル御調査ヲ遂ゲラレマシテ、其ノ結果ヲ適當ノ機會ニ連ニモウ一度御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸田委員 被害地方ノ實情カラ申シマシテ、昨年来ノ非常ナル困窮ト云フモノハ、是ハモウ此處申上ゲナクテモ、各關係當局具サニ御調査デアリマスルカラ、是ハ省略致シマスルガ、唯私共ノ立場カラ申シマスルト、政府當局ト致サレマシテ、アア云フヤウニ相當長期ニ互ツテノ被害ニ恰モ眞綿テ首ヲ締付ケルヤウニ早天ガ續イテ來テ、農民ト云フモノハ如何ナル犠牲ヲ拂ツテモ、自分ノ種ヲ蒔キ、植付テ致シタモノカラ收穫ヲ取ルト云フコトハ、本當ニ生命線以上ノ氣持ヲ愛著ヲ持ツテ努力シテ居ルノデアリマスガ、ソレガ相當長イ期間ニ互ツテノ斯ウ云フ早害デアリマシタノデ、其ノ間ニ於ケル精神ノ苦ミ、又物質的ノ犠牲ト云フモノハ、是ハ測リ知ルコトガ出來ナイモノガアツタノデアリマス、水稻關係ナドノミニ付テ見マシテモ、御承知ノヤウニ斯ウ云フヒドイ早害デアリマシタノデ、植付テモ隨分遅レマシテ、大體六月ノ中頃カラ始メテ七月ノ初頃ニハ終ルベキモノガ、例年ノ例デアリマスケレドモ、昨年ノ如キ七月ノ二十五日頃ニナリマシテモマダ植付テ了シナイト云フモノガ非常ニ深山アツタノデアリマス、斯ウシテ結果テ遂ニ植付不能ニ終ツタモノガ多數アリ、又漸ク植付テ致シタモノニ付キマシテモ、漸ク十日カ十五日ニ一回位ノ灌溉ガ行互ツタヤウナ狀況ガ繰返サレテ、遂ニ灌溉ガ行互ラヌ時期ニ段々深刻ニ陥ツテ參リマシテ、八月ノ中頃ニナリマシテ折角植付ケタモノモ枯死シテシマフト云フモノガ段々ト殖エテ來タト云フヤウナ狀態デアリマス、斯ウ云フ次第非常ニ長イ間苦シイ天然トノ關ヒヲ農民ハ續クテ來タノデアリマスルガ、之ニ對シマシテ何ト云フテモ農林省ノ一番ニ急ヲ要シタモノハ、先ツ井戸ナドヲ掘ツテ地下水ヲ利用スルコト、又川ノ水ニ致シマシテモ、發動機、揚水機ヲ施設致シマシテ之ヲ汲上ベキデアツタノデアリマスガ、是ハ到底敵ハスト云フノデ以テ、サウ云フ方法ニ手ヲ伸ベタ方面モ相當アリマスルガ、併シ遺憾ナガラ發動機デアルトカ、揚水機デアルトカ云フヤウナモノガ段々品切れトナリマシテ、手遅レトナツタ大部分ノ人ト云フモノハ、サウ云フ方法ヲ利用スルコトガ出來ナイト云フノデ以テ、ミスノ稻ヲ枯ラシテシマフト云フ狀態ニ相成ツタノデアリマスルガ、ドウシタト云フテモ稻ヲ枯ラスト云フコトガ唯止メナケレバナラヌト云フノデ、手ノ足ラヌ方面ハ人ヲ備ツテ揚水ヲ致スト云フ狀況ニ相成リマシテ、一時間ノ揚水ニ備フ一圓モ掛ケル、然ルニ一段ノ田地ニ水ヲ注グニハ時間モ掛ル、言ヒ換ヘレバ、一回ノ僅ニ薄イ水ヲ施スノニ八圓モノ勞賃ヲ拂ツテ、人ヲ備ツテ灌溉ヤルト云フヤウナ狀況デ、實ニ涙マダシイ犠牲ヲ拂ヒ、農村ノ手許デハ到底耐ヘ切レナイ負擔ヲ致シナガラモ、此ノ稻ノ枯レルト云フコトヲ唯止メルコトニ努力シテ行

ツクノデアリマスルガ、事故ニ至ルマデニ於キマシテ、今少シク早ク第二豫備金ナドカラ、政府ニ於テ緊急ナ早害ニ對スル應急處置ヲ執ツテ支出シテ戴イタナラバ、或ハ溜池デアルトカ、或ハ地下水ノ利用方法デアルトカ、或ハ揚水機、發動機ノ共同買入資金ヲ得ルトカ云フヤウナ方法モ十分付イテ、未ダ枯レザル前ニ喰止メルコトモ出來タノデアリカト云フ感ヲ持ツデアリマス、之ニ付テ政府ガ有ニ苦心ヲ拂ハレ、熱心ニ努力シテ下サツタト云フコトニ對シテハ深ク感謝致シテ居リマスルガ、事實ニ於キマシテハ相當斯ウ云フ方面ノ緊急處置ト云フモノガ手遅レトナツタ爲ニ、又價フコトノ出來ナイ悲惨ナ結果ヲ來シタト云フ實例ハ、蕨コトノ出來ナイ深山ノ實狀ヲ示シテ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フコトニ對シテ第二豫備金ノ支出ナドニ付テ、今少シク早ク方法ヲ執ラレテ途ハナカツタデアラウカ、是ハ過去ヲ決シテ追究スルノデハアリマセウガ、早害ナドト云フモノハ或ハ重テ來年度來ナイト云フコトヲ誰モ保證出來ナイシ、或ハ其ノ翌年斯ウ云フ事實ガナイトモ保證出來ナイ限リ、將來トモ大キナ關係ヲ持ツモノデアリマスルカラ、此ノ點ニ關シマシテ大藏當局トシテ何等カノ、今少シク應急變ナ、緊急ナ救済ノ應急對策ノ資金ノ支出方法ハナカツタデアラウカ、會計法其ノ他ニ於テ何等カノ障リガアツタ爲ニ手遅ガアツタノデアラウカ、此ノ點ニ付テ一ツ御説明ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 豫備金支出ニ關シマスルコトニ付キマシテ御答申上ゲマス、御承知ノ通り第二豫備金支出ニ付キマシテハ色々ナル手續ガアリマスノデ、其ノ手續ノ爲ニ多少ノ時日ヲ經過致シマスコトハ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、御話ノ通り最モ急ヲ要スル昨年ノ如キ場合ニ於キマシテ、最モ迅速ニ支出致スコトハ、是ハドウシテモ致サナケレバナラヌコトデアリマスノデ、昨年幾分色々ナ調査等ニ於キマシテ實ハ遲延シタト云フコトガアルト云フ御話デアリマスガ、相當當局ニ於キマシテモ出來ルダケ早クハ致シタノデアリマスケレドモ、今申ス通り手續ノ爲ニ遅レタ譯デアリマス、併シ御話ノ通り左様ナル場合ニ於テハ最モ緊急ニ措置ヲスルヤウニ十分考慮致シマシテ、將來サウ云フ場合ニハ時間ヲ置カズシテ支出致サレルヤウナ風ニ努力致シテ見タイト考ヘマス

○岸田委員 大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、私共其點ハ諒ト致シ、又將來ニ對シテモ非常ニ安心ヲ持ツヤウナ氣持ヲ致スノデアリマスガ、實際ノ狀況カラ申シマスルト、何分ニモ第二豫備金ノ支出ト云フモノガ漸ク年末ニナリ、或ハ甚シキハ年ヲ越エテ渡ツテ來ルト云フヤウナ狀況デアリマシタノデ、迎モアノ場合ト致シマシテハ、應急ノ間ニ合ヒ變ネタノデアリマス、ソコデ地方ニ於キマシテハ、特ニ廣島縣ナドニ於キマシテハ、相川知事ノ如キ非常ニ此ノ問題ニ付キマシテハ臨機應變ノ處置ヲ執リ、又最モ適切ナル方法ヲ執ツテ、奔走努力セラレテ良イ知事ガアツタノデ、幸ニ責任支出デ丁度百萬圓支出致シマシテ、之ニ依ツテ緊急ノ對策ヲ執ツタノデアリマスルガ、併シ是トテモ百萬圓ノ中デ九十二萬圓デアリマシタカ、溜池デアルトカ或ハ井堰デアルトカ、水路デアルトカ、斯ウ云フ方面ノ改修ニ向

ケテ、勞賃ヲ被害方面ニバラ撒クト云フ救済ノ措置ト併セテ此ノ對策ヲ執ツタノデアリマスルケレドモ、斯ウ云フ緊急ノ處置ト雖モ、漸ク是ガ十月十一月ニ於テ行ハレタト云フ狀態デアリマシテ、實際ノ天然ノ早害ト戰ツテ、其ノ害ヲ食止メルト云フ對策デアリマス、然ラバ救済策トシテノ斯ウ云フ事業ガ果シテドレダケノ效果ヲ示シタカ、第二豫備金ノ責任支出ノ結果ガドウ云フ效果ヲ齎シタカト云フコトニナツテ來マスト、實ハ此ノ點ニ付キマシテハ私共少シク考ヘ方ヲ遠ヘテ居ルノデアリマスガ、復舊事業ト云フモノハ、是ハヤラナケレバナラヌ、早害ノ爲ニ到ル處ガ灌溉施設トシテノ用ヲ爲サナイヤウナ結果ニ陥ツテ居ル、之ニ對シテノ至急ナ復舊工作ト云フモノハ、是ハヤラナケレバナリマセウガ、唯應急ノ救済ト云フコトヲ主タル眼目トシテノ土木事業ナドニナツテ來マスト、アノ急ノ場合ニ果シテ是ガ幾許ノ效果ヲ奏スルノデアアルカ、私共此ノ點ニ付キマシテハ非常ニ考ヘ方ガ違ツテ居ル點ガアルノデアリマス、ト申シマスコトハ、一例ヲ廣島縣ノ責任支出ニ付テ考ヘマシテモ、其ノ七割ニ該當スル六十四萬圓ノ金ガ勞賃トシテ縣下ノ被害町村ニバラ撒カレタ結果ニナリマスガ、之ヲ實際ノ一村々ニ付テ割當テ見マス、例ヘバ或ル五百五十戸ノ戸數ノアル村ノ如キハ、千圓ノ責任支出ノ金ガ行渡ツテ居ル、言換ヘレバ一戸當リ二圓ニ足ラナイ金ガ潤ウタト云フコトニナルノデアリマス、殆ド其ノ收穫物ヲ失ヒ再ビ起ツコトノ出來ナイヤウナ悲惨ナ狀態ニ陥ツテ居ル人達ニ一家族ニ對シテ二圓ニ足ラヌ金ガ漸ク十月

十一月ニ至ツテ行渡ツタ所ガ、果シテ救済スルト云フ眼目カラ言ヘバ、幾許ノ效果ヲ奏スル金デアツタデアラウカト云フコトニ付テハ疑問ナキヲ得ナイノデアリマス、ト同時ニ此ノ内務省關係、或ハ農林省關係ニ於テノ救済土木事業ト云フモノハ、是ハ成程、果シテ之ヲ消化シ得ルカドウカト云フ意見モ多クアリマシタケレドモ、先刻ノ政府當局ノ御説明デアリマシタト云フ御話デアリマシタ、固ヨリ私共此ノ消化ニ付テハ不安ハナイト云フコトヲ最初カラ確信シ、其ノ結果ニ於テモ之ヲ實證シタコトヲ喜ンデ居リマスガ、唯併シナガラ實際ノ救済ト云フ眼目カラ申シマスルト、働タベキ手足ヲ持ツテ居ル家庭デ壯丁モ居リ、或ハ相當ノ働キ得ル年輩ノ家族モアルト云フヤウナ方面デハ、此ノ金ニ依リマシテ相當働イテ勞賃ヲ得レドモ、一番ニ被害ノ深刻デアリ、慘狀ノ見ルニ忍ビザル狀態デアルモノハ、働タベキ手足ヲ持ツテ居ナイ人達デアリマシテ、特ニ多數ノ應召兵ヲ出シテ居ル家庭ノ如キ、唯一人ノ働キ手ガ戰場ニ行ツテ居テ、殘ル者ハ老夫婦或ハ幼キ子供バカリデアルト云フ家庭ニ於キマシテハ、如何ニ斯ウ云フ救済土木事業ガ起サレマシテモ、其ノ勞賃ニシテモ之ヲ得テ、糊口ヲ凌グト云フヤウナ恩典ニシテ浴スルコトガ出來ナカツタノデアリマス、先程ノ御話デハ、女子供ニマデ此ノ働ハ爲シ得ルヤウニ、斯ウ云フ方面ニモ適用シ得ルヤウニ、仕組ンデアルト云フ御話デアリマシタケレドモ、併シ農村ノ實情カラ申シマスルト、出征軍人ヲ出シテ



國民總力ヲ涵養スル點カラ申シマシテモ、斯ウ云フ方面コソ何等カノ救済ト云フコトヲ主眼ニスル緊急的ノ對策ガ講ゼラレナクテハナラズ、ハナハカト私共思フコトデアリマスガ、此ノ見地カラ申シマス、トドウシテモハ救済資金ヲ支出シテ、之ニ充テルト云フヨリ外ニハ方法ガナイヤウニ感ズルノデアリマス、之ニ對シマシテハ厚生方面カラモ醫務ノ救済費デアリマス、カ、保育施設費ノ補助デアリマス、トカ、簡易土木事業費ノ補助トカ、出稼資金ノ補助、支度金ノ補助、生業保護費ノ補助ト云フヤウナ費用ニ於テノ保護ノ經費ガ計上サレテ居リマスケレドモ、其ノ金額ハ極メテ微々タルモノデゴザイマシテ、就中生業保護費補助ノ如キ、僅ニ五千三百七十五圓ト云フヤウナ金額ニ相成ツテ居リマシテ、何レノ點カラ申シマシテモ、救済資金トシテ支出ト云フモノハ殆ド問題ニナラヌ程度ノモノニナツテ居リマスガ、何トカ斯ウ云フ場合ニハ、先例モアルコトデアリマス、此ノ氣ノ毒ナ方面ニ向ツテ特殊ナ救済資金ノ支出方法ハ會計法上得ラレナイモ、デアリマセウカ、一應御説明願ヒテ置キタイ

○一松政府委員 厚生省ニ關スル御質問ニ對シテ私カラ御答ヲ致シマス、只今岸田委員ノ早害地方救済ニ關スル幾多ノ御意見ハ、洵ニ御尤モナ御意見デアルト私共考ヘテ居リマス、早害地方ニ於ケル災害ニ罹ラレタ人々ガ如何ニ難澁ヲ嘗メツアルカト云フ點ニ關シマシテハ、勿論政府當局トシテ遺憾ナク十分ナル救済ノ施設ヲシテ、其ノ生活ノ安定ヲ得セシメナケレバナラヌコトハ言フマデモナイコトデアリマスガ、特ニ此

ノ厚生省方面ニ付テハ、是等ノ點ニ對シテ救済ノ手ヲ伸バス一ツノ方法トシマシテ、御承知ノ如ク先づ醫務費若クハ保育施設、其ノ他要改善地區等ニ於ケル各種ノ施設ニ關シマシテ、第二豫備金トシテ三十六萬七千圓ト云フモノヲ既ニ支出シテ居リマス、又昭和十四年度ノ追加豫算ヲ提出シテ、既ニ御協賛ヲ得テ居リマス、今回十五年度ノ十八萬三千八百圓ト云フ此ノ費用ニ對シマシテハ、ヤハリ今申上ゲマシタ幾多ノ施設ニ付テ之ヲ使用スルコトニシテ居ルノデアリマスガ、勿論政府トシテハ之ヲ以テ十分ナル費用トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、只今ノ御説ニアリマシタ出征軍人遺族等ニ對スル救済ノ方法等ニ關シマシテモ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアラウト思フデアリマスガ、只今ノ所デハ御承知ノ軍事保護方法ニ關シテ救済ノ途ヲ講ジツツアルノデゴザイマスガ、之ヲ以テ萬遺憾ナキヌ期シタイと思ツテ居リマスガ、併シナガラ尙ホ十分ノ點ガ必ズアラウト私共ハ考ヘテ居リマス、ソレ等ノ點ニ對シテハ又適當ナル方法ヲ講ジテ、成ク御期待ニ副フヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルコトニ依ツテ御承知願ヒタイノデアリマス

○岸田委員 只今政府委員カラノ御答辯ニ依リマシテ、適當ナル方法ヲ盡スヤウニ努力シヨウト云フコトデアリマシタガ、私共ハ其ノ御言葉ヲ單ナル委員會ノ席上ニ於テノ言葉ニ止マルコトナクシテ、責任ノアル御言葉トシテ政府ノ御言明ヲ裏切ラレナイヤウニ、實際上今ノ御意見ヲ具體化シテ救済キタイト云フコトヲ特ニ御願シテ置キマス、

軍人保護資金方面ニ於テモ何か方法ヲ執ラレテ居ルト云フ御話モアリマシタケレドモ、是ハ全國一般ノコトデアリマシテ、早害對策トシテハ救済ニハナツテ居ラスノデアリマス、又サウナリ得ナイコトハ法規上已ムヲ得ヌコトデアリマス、今一松政務次官ヨリ御話ノ如ク、早害對策ニ付テハ、其ノ具體的ナ救済方法ヲ實際ノ上ニ現ハシテ救済ヤウ、重ねテ御願申上ゲマス、尙ホ今度ノ應急對策ニ付キマシテハ、第二豫備金ノ支出デアリマス、トカ、或ハ續イテ十四年度ノ追加豫算、又今回ノ十五年度ノ追加豫算、斯ウシテ區切り區切りニ對策ノ經費ガ計上サレ、協賛ヲ求メラレテ居リマスケレドモ、此ノ間ニ於テハ應急對策ノ具體的ニ付キマシテ、隨分地方ハ實際ニ深刻ナ被害ヲ受ケ、又至急ニ是ガ復舊或ハ救済ノ策ヲ講ジナケレバナラヌ費目ニ於テ、豫算案ノ部面ニハ現ハレテ居ナイモ、ガ多ク發見サレルノデアリマシテ、言ヒ換ヘレバ、復舊並ニ救済ガ取殘サレテ居ル部面ガ隨分アルノデアリマス、又十四年度ノ追加豫算ニ於テハ是ガ計上サレテ居ルケレドモ、十五年度豫算ニ於テハ是ガ既ニ立消エニナツテ居ルモノモ相當アルノデアリマス、就中農林省關係ニ於キマシテモ、家畜租料購入助成金、早害地ノ農工品原料配給施設助成金ト云フヤウナ費用ハ、十五年度ノ追加豫算ニハ計上サレテ居リマセマス、併シ其ノ費用ノ一部ニ該當スル中ニ現レルモノガ、十五年度ノ一般豫算中ニ現ハレテ居ルノデアリマス、併シ一般豫算ニハレテ居ルモノハ、是ハ全國的ニ適用サレベキモノデアツテ、早害地方ニ對スル應急對策トシテノ費目トハ受取り難ク、其ノ

點ニ於テ私共少シク物足ラナク思フノデアリマスガ、果シテ此ノ一般豫算ニ現ハレテ居リマス、家畜飼料購入助成金ト云フヤウナモノハ、早害地方ニ對シテハ特ニ之ヲ應急對策トシテ、十五年度ニ於テ多ク振向ケテヤナスト云フヤウナ實際ノ運上ニ於テノ御方途ガアルノデアリカ、或ハ是ハ全然早害對策トシテハ別個ノ考ヘ方カラ出テ居ルモノデアルト云フ御意見デアリマセウカ、此ノ點ニ付テ一應御説明願ヒタイと思ヒマス

○岸政府委員 只今御尋ニナリマシタ家畜飼料ノ購入ノコトデアリマスガ、早害地方ニ於テ普通牛馬ノ飼料トシテ居リマス所ノ糞ノ收穫ガ非常ニ減ジ、又採草地ニ於ケル草量ガ非常ニ減ジタノデ、考ヘタノデアリマシテ、此ノ状態モ恐ラク四五五月ニナリマシテ新シイ草ガ出来テ來ル時期トナリマスレバ緩和サレルト云フ考デ、十五年度ニ於ケル追加豫算ハ出サナカツタノデアリマス、勿論飼料關係ニ於キマシテハ、飼料ヲ栽培スル所ノ種子ノ配付トカ、或ハ貯藏ヲ致ス倉庫ノ建設等ハ通常ノ方ノ經費ニ計上シテアリマス、是等ノ費用ヲ活用シテ、非常ニ支障ガアルト云フコトデアリマスレバ十分事情ヲ考慮シテ處置致シタイト考ヘテ居リマス

明デアリマス、併シ何ト申シマシテモ、牛馬ノ飼料ノ大部分ハ糞デアリマス、是ハ廣島縣ノコトヲ引例シテ恐入リマスガ、廣島縣ノ如キニ於キマシテモ、牛馬飼育ノ家庭ニ於キマシテハ、自分自身ノモノデハ足ラナイノデ、例年全體約九百萬貫カラノモノヲ買入レマス、其ノ内八百萬貫ハ縣内デ之ヲ糞集メ、百萬貫ハ縣外カラ買入レテ、漸ク牛馬ヲ飼育シテ居ル状態デアリマス、然ルニ全縣下ノ水稻ダケモ農林省ノ十月ノ御發表ニ依リマスレバ、五割四分ノ被害ト云フコトニナツテ居リマスガ、實際ハソレ以上ノ被害デアリマシテ、植付ノ出來ナイモノ、或ハ植付ケタ所ガ伸ビナイデ枯レタモノ等ガアリマシテ、今度ハ糞ガ非常ニ減少シテ居ルノデアリマス、明年度ノ如キニ於キマシテモ千五百萬貫カラノモノヲ買入レナケレバ、ドウシテモ牛馬ヲ飼育シテ行ケナイ、サウ云フ結果ガ、昨年度モ相當飼料ノ缺乏ノ爲ニ農村ノ一番ノ働キノ基礎アリマスガ、明年度ハ斯ウ云フ状態デ千五百萬貫カラノモノヲ求メナケレバヤリ切れナイト云フ状態ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ結果デアルニ拘ラズ、十四年度ノ追加豫算ニハ僅カ三十二萬三千圓ト云フモノガ此ノ方面ニ於テ適當テラレタケデアリマス、實情カラ申シマス、是ハ農會ノ調査デアリマスガ、四百九十三萬圓程度ノモノハ、是ハドウシテモ牛馬飼育ノ飼料資金トシテ見積ラナケレバナラヌ、隨テ今ノヤウナ被害狀況ニアル農家カラ申シマス、到底自分ノ手デ之ヲ賄フ譯ニ行カナイカラ、政府當局ニ御願シテ居ル金額

モ三百九十二萬圓位ノモノハ、此ノ飼料方面デモ御援助願ハナケレバナラヌト云フ數字デアツタノデアリマスガ、ソレニ對シマシテ三十二萬圓ノ助成金デアリマス、サカ、十分ノ一ニモ足リナイ結果ト相成ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ結果カラ申シマス、サナキダニ農村ニ於ケル勞働力ノ減退シテ居ル上ニ、牛馬ヲ養フコトモ出來ナイヤウナ結果ニナツテ、此ノ方面ノ努力ヲモ亦奪ハレルト云フコトニナリマス、將來農家ト云フモノハ非常ナ不安ヲ以テ今後ノ飼料ヲ如何ニスベキカト云フコトヲ苦慮シテ居ル實情デアリマス、此ノ點ニ對シマシテ願タバ政府當局ニ於ケルマシテモ、將來足リナイ場合ニハ適當ノ考慮ヲスルコト云フ御話デアリマスガ、足ラナイコトガ明カデアリマス、此ノ點ハ一ツ近ト提案サレレデアラウト云フコトヲ豫想サレテ居リマス、恒久對策ノ中ニ二分ニ計上願ツテ、此ノ方面ノ慘狀ヲ救ヒ、苦惱ヲ緩和スルヤウニ御盡力願ヒタイと思ヒマス、續キマシテ復舊事業ナリ、又將來ニ對シテノ恒久對策トシマシテハ、井堰デアルトカ、水路デアルトカ、或ハ溜池デアルトカ、此ノ方面ノ新設或ハ修繕ト云フコトガ非常ニ大事ナ問題ニナツテ來ルノデアリマスガ、之ニ對シテ國庫カラノ助成金ヲ出サレレノニ付テハ井堰、水路ハ姑ク措タテシマシテモ、溜池ニ付キマシテハ相當ノ資力、言ヒ換ヘレバ早害區域ヲ幾町歩デナクテハイカスト云フヤウナ制限アルカノ如ク、仄カニ聞及ンダノデアリマスガ、果シテサウ云フ條件、資格ガアルノデアリマセウカ、一寸御尋致シマス

○岸田委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、ヤツテ見テドウシテモ足ラナイヤウデアレバ考慮スルコト云フ御話デアリマシタガ、願クバ此ノ考慮ガ實現セラレシコトヲ希望致シマス、ヤツテ見テ足ラナイヤウニナルコトハ明カダト私共考ヘマス、ト云フコトハ四五月ニナレバ青イ草モ段々出テ來ルカラ、相當此ノ點緩和サレルグラウト云フ御説

○岸田委員 農務局長ノ御説明ニ依リマシテ此ノ點安心致シマシタ、五百町歩ト申シマス、相當ノ大キイ村全體ノ耕作面積ニ該當スルヤウナ状態デアリマシテ、之ニ一箇ノ池ヲ以テ行キ渡ルト云フヤウナ資格ノアル池デナクテハ、助成金ガ與ヘラレナイト云フコトニナリマス、廣島縣ノミナラズ、殆ド下ノ縣デモ、此ノ事業ニ該當スルモノハ極メテ微々タルモノニナツテ行カウ



ト思フノデアリマス、廣島縣ナドニ於キマシテモ、一万七千カラノ溜池ガアリマス...

加豫算ノ中ニ三百萬圓ト云フノガアルノデ...

コトヲスベキモノデアルト云フヤウナ御考...

其ノ方法ト致シマシテハ、主トシテ此處デ...

最後ニ私一ツ御審申上ゲナケレバナラス...

○三土委員長 名川君 農林大臣並ニ...

○新居政府委員 御審申上ゲマス、御承知...

○名川委員 大藏大臣ガ御出デナツテ居...

度ノ對策ト致シマシテハ考ヘマシテ、子供...

モ考ヘマシテ、今回ハ國家ノ此ノ施設ガ確...

毒ナ關係ニアル者ニ對シテ國家ガ之ニ特ニ...

ニオ出デテ願ツテ、御列席ノ所デ申上ゲテ...

先程申シマシタヤウナ點、ソレカ軍事保護...

只今ノ御説明並ニ午前中ニ於キマスル...

○名川委員 大藏大臣ガ御出デナツテ居...

○名川委員 大藏大臣ガ御出デナツテ居...

又人心ノ安定モ期シ難イト云フヤウナコト...

○名川委員 大藏大臣ガ御出デナツテ居...

○名川委員 大藏大臣ガ御出デナツテ居...

○名川委員 大藏大臣ガ御出デナツテ居...



ニ居リマス所ノ今日ノ罹災民カラ見レバ、國家ガ百億以上ノ豫算デ、力ノ強イ所ニハ非常ニ多クノ豫算ガ行ツテモ、憐ムベキ微力ナル所ニハ豫算ガ行ハズ、救済費ヲ出シテ賫ヘスト云フヤウニ僻ミマス、是ハ誤ツタ觀測デアリマス、誤ツタ觀測デアリマスケレドモ、併シ分ラヌ者ハサウ云フヤウニ僻ム、此ノ僻ミト云フコトガ國ノ政治ニ於テハ非常ニ恐ロシコトデアアル、是ハ何處マデモサウ云フヤウナ災厄ニ罹ツタ者ニ對シテハ、國家トシテ相當ニ之ヲ保護シテ戴イテ、何處マデモソレ等ノ者ガ是カラ安シクテ農村ニ踏留ツテ行クト云フダケノ彼等ニ勵ミテ與ヘ、又安心ヲ與ヘルヤウニシテ賫ハナケレバナラヌコトハ論ヲ俟タヌノデアアル、然ルニ今申ス通り今マデ出テ居ル所ノ豫算案ト云フモノヲ見デミマスレバ、金額ハ少イノデアアル、是ハ一ツ國家ノ根本政策トシテ御考ヲ願ハナケレバナラヌノデアリマス、御忙シイコトデアリマスカラ多クノコトハ申上ガマセケレドモ、今度ノ日支事變ニシテモ英吉利デモ亞米利加デモ、日本ガ一年モ経テバ直チニ經濟的ニ行詰ルカノ如ク觀測シテ居ツクノガ、全ク彼等ノ觀測ガ違ツタト云フノモ何カト言ヘバ、ヤハリ農村ト云フモノガシツカリシテ居ツテ、食糧ト云フモノニ付テハ國民ニ於テ不安ノナイト云フコトガ唯一ノ原因デアアル、是ハモウ私ガ申スマデモナクソナコトハ先刻御承知ノ通りナラデアアル、サウシテ見ルナラバ何處マデモ農村ト云フモノニ對シテノ保護ト云フコトニ付テハ特別ノ御配慮ヲ願ハナケレバナラヌ、今國民ハ、十貫目ノ荷物シカ背負ハヌ者ニ向ツテ十五貫、十八貫ノ荷物ヲ背負ハサレテ居ルノデアリマス、唯

荷物ヲ背負ツテ後ロカラ尻ヲ叩イテ、進メ進メト云フダケデハ國民ハ中々進マナイ、精力ガ盡キル、其ノ國民ニ向ツテオホクノ憂レヌ者ニハオホクノ憂ラシテ、多少ノ災害物モ食ハシテ、元氣ヲ出サセルト云フコトガ、即チ國ノ政治デアアル、殊ニ斯ウ云フヤウナ災害ニ罹ツタ時ニハ、其ノ災害其ノモノヲ救ウテ戴イテ、是等罹災民ヲシテ安心サシテ戴クト云フコトガ、最モ政治トシテノ意義アル活キテ政治デアアル、昔カラ政治家トシテ其ノ徳ヲ讀ヘラレト云フコトハ、サウ云フ時ニ特ニ力ヲ盡サレテ之ヲ救済サレルト云フコトガ、昔カラ眞ノ政治家トシテ讀ヘラレテ居ルノデアアル、サウ云フヤウナ次第デゴザイマスカラシテ、是ダケデハドウシテモイカヌノデアアル、恒久對策其ノ他ニ付テ更ニ政府ヨリ相當ノ案ヲ今後出シテ戴イテ、早害地ノ救済ヲシテ戴カナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ幸ニ内務大臣ガオ出デニナリマシタカラ、御考ヲ致シ、且ツ御願致スノデアリマスガ、内務省ニ於テマシテモ、此ノ度ノ豫算ハ僅カノ金額ニナツテ居リマスガ、是カラ更ニ恒久對策トシテ河川ノ工事ヲ行ツテ、或ル河川ニ於キマシテハ「ダム」的ノモノヲ造ツテ、サウシテ旱魃ノ際ニ備ヘルヤウニシテ戴ク御計畫ガアルハ承ツテ居ルノデアリマス、所ガ其ノ御計畫モ極メテ一地方ニ偏シテ居ツテ、早害地全部デアリマスガ、二三縣ニ過ギスト云フコトデアリマスガ、是ハ無論マダ十分ノ御計畫、御調査ガ進ミマセヌノデアリマセウガ、御調査ガ済ムコトニハ、直チニ實行ハ出來ヌノデアリマスガ、是ハ速ニ其ノ計畫ヲ進メテ、早害地ノ全部ニ互ツテ、政府ガ是ダケノ對策ヲ講ジテ與

レタナラバ、モウ今後ニ於テハ旱魃ト云フモノハ恐ルベキモノデハナイ、然ラバ吾々ハ農村ニ留ツテ、何處マデモ農業ニ従事シテ居ツテモ、サウ云フヤウナ災厄ニ遭フヤウナコトハ先ツナイト云フ安心ヲ與ヘルダケノコトヲシテ戴クコトガ、最モ必要ダト考ヘルノデアリマス、ソレデ前ノ阿部内閣ノ時ニ、罹災地ヨリ陳情致シマシテ、阿部總理大臣ヨリ早害救済ニ付テハ特別ノ機關ヲ設ケテ、ソレニ依ツテ早害ノ救済對策ヲ立テテ、サウシテ完全ナル救済ヲ行フト云フコトヲ聲明サレタノデアリマス、所ガ幸カ不幸カ、阿部内閣ハ總辭職ナサレテ、現内閣ガ出來タ、現内閣ハ議會召集後ニ成立セラレテ、諸公非常ニ御多忙デアリマシラカ、色々ト是等ノ御計畫ニ付テモ、マダ十分御檢討ノ餘暇ノナイコトモ御察シ致シマスルケレドモ、併シナガラ次第ニモウ議會ノ會期モ切迫スルノデアリマスシ、大分モウ大臣ニナラレテ時日モ経ツノデゴザイマスルカラ、サウ云フコトニ付テノ御計畫ヲ立テテ下サルダケノ餘裕モ出來タコトト思フノデアリマス、速ニ御計畫ヲ立テテ、是非トモ此ノ早害地ニ於ケル農民ガ、農村ヲ離レテ都會地ニ移行シテ居ル此ノ傾向ヲ何處マデモ止メサセテ、安シクテ農村ニ落著イテ農業ニ従事スルヤウナ對策ヲ立テテ戴クト云フコトガ、最モ必要ダト思フノデアリマス、ソレニ付テ内務大臣ノ御意向ヲ承リタイノデアリマス、ソレカラ大藏大臣ト致シマシテモ、サウ云フヤウナ案ガ出テ來タ時ニ於テハ、成ベク之ヲ大藏省トシテ御認メ下サルヤウニ御願致シタイト思ヒマス

ト致シマシテ、只今名川君ノ仰セニナツク所ハ、私モ其ノ感ヲ同ジウシテ居ルノデアリマス、民ヲシテ安シクシテ其ノ土地ニ定著シテ、サウシテ地方産業、並ニ萬般ノコトニ於テ安心シテ努力スルヤウニ致サセケレバナラヌコトハ、是ハ政治ノ根本ノ方針デナクテハハナラヌト思フノデアリマス、而シテ災害地ノ恒久的復興ノ方法ニ付キマシテハ、只今案ヲ具シテ、實ハ大藏省ト協議致シテ居リマスルノデ、何レ又成案ヲ得マシタナラバ、御審議ヲ願フヤウナコトニ相成ルコトト思ツテ居ルノデ、細イコトハ其ノ時ニ讓リタイト思フノデアリマスルガ、何レニ致シマシテモ、此ノ災害地ニ對スル恒久ノ策ト致シマシテハ、災害地一般ニ互リマシテ、再ビ同ジヤウナ天災ヲ繰返シ、而シテ國民ヲシテ不安ノ念ニ驅ラシムルヤウナコトノナイヤウナ方針、方法ヲ講ジナケレバナラヌト思フテ居ルノデアリマス、前内閣ノ時ニ如何ナル考ガアリマシタカ私實ハ承知致シテ居リマセヌ、ケレドモ何レニ致シマシテモ只今申上ガマシタ方針、即チ名川君ノ所謂大方針ニ基キマシテ、政府トシテ災害地ノ復興、恒久對策ニ對シテ善處致シタイト考ヘテ居リマス

○櫻内國務大臣 只今名川君ノ御話ハ私共モ全然同意ニ存ジマス、昨年ノ災害ハ眞ニ同情ニ餘リアル次第デアリマシテ、罹災サレタ方々ノ御窮乏ニ對シマシテハ中心カラ同情致ス所デアリマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマシテモ出來ルダケ應急ノ措置ヲ講ジタイト思フノデアリマス、更ニ此ノ根本的措置ト致シマシテ、將來ニ於テ再ビ斯様ナルコトガ起リマシテモ、其ノ災害ガ最小限度ニ濟ムヤウナ方法ヲ出來ルダケ講ジナケ

レバナラヌコトハ御説ノ通りデアリマス、唯緩急色々アリマスノデ、ソレレムニ付キマシテ十分調査ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、取敢ヘスト致シマシテ執ルベキ所ノ應急ノ措置ハ既ニ執ツテ居リマスケレドモ、恒久對策ト云フモノヲ講ジマシテ、サウシテ遠カラザル中ニ御審議ヲ煩ハシタイト思ツテ居ルノデアリマス、關係各省ノ間ニ於テ只今協議中デアアルノデアリマス

○三土委員長 名川君

○名川委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○三土委員長 三木武夫君

○三木委員 政府ハ早害豫算ノ提出ニ當ツテ、之ヲ應急對策ト恒久對策トニ分離サレテ豫算ヲ御提出ニナツテ居ルノデアリマス、實際問題トシテ救済土木事業ノ如キハ、之ヲ應急ト恒久的トニ分ケルト云フコトハ困難ダト思フノデアリマスガ、政府トシテハ此ノ兩者ノ間ニ、例ハバ事業完成ノ期間デアルトカ、又其ノ分量、範圍、豫算編成ノ基準トカ、斯ウ云フモノニ對シテ應急ト恒久トノ間ニハ何カ一ツ區別ノ基準ヲ有セラレタモノト考ヘルノデアリマス、先ヅソレヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今ノ御質問ハ應急施設ト云フモノト、恒久施設ト云フモノトノ區別ノ標準ガドウ云フ所ニアルカト云フ御質問デアルト拜承致シマシタガ、同ジ溜池ヲ造リマスト云フコトニ付キマシテモ、應急トシテ考ヘラレル場合モアリマスシ、恒久トシテ考ヘラレル場合モ亦是ハナイコトハナイト思ヒマス、應急トシテハ差當リノ早害ノ對策ト云フコトヲ考ヘテ居ル程度デアリマシテ、溜池ノ建設デアリマストカ、或ハ水路ノ開拓ト云フ事柄ハドレガ應急デ

アルカ、ドレガ恒久デアアルカト云フコトハ明確ニ區別ヲ立テ難イヤウナ事情ガアルノデアリマス、唯考ヘ方ニ依リマシテ、只今施設致シテ居リマスルモノニ付キマシテハ、大體今回ノ早害ニ對シテノ手當方濟シテ居ルモノト心得テ居ルノデアリマシテ、只今諸方面ノ問題ニナツテ居リマスル所ノ恒久ト申シマスコトニ付キマシテハ、相當根本的ニ水利ノ施設ヲ致シマシテ、將來早害ガ起ツテモ、何等其ノ時ニ臨ンデ設備ヲシナクテモ濟ムヤウナ、根本的ニ施設ト云フ風ニ考ヘラレテ居ルヤウニ承知シテ居リマス

○三木委員 私ソレヲ質問スル理由ハ、今マデノ提出サレタ政府ノ豫算ハ總テ之ヲ應急對策ト解釋シテ、更ニ恒久對策ノ費用ハ總テ新シク十五年度ノ追加豫算トシテ提出セラレルモノト解釋致シタ次第ガカラデアリマス、隨テ應急對策ハ差當リノ或ル一ツノ期間ヲ區切ツテ直接救済ノ爲例ヘバ本年ノ六月頃マデトカ、事業ノ完成ニ數箇月ノ期限ヲ附シタモノデ今日マデ十四年度追加豫算、第二準備金支出、或ハ十五年度追加豫算トシテ提出セラレタモノト私ハ解シテ、ソレト恒久對策ノ間ノ區別基準ニ付テ御尋シタノデアリマス、應急對策ニ關スル内務省ノ救済土木事業ハ第二準備金、昭和十四年度並ニ昭和十五年度ノ追加豫算ヲ加ヘテ五百四十萬圓デアリ、其ノ使途ニ付テモ一應ノ御説明ガアツテ大體瞭解スルコトガ出來タノデアリマスガ、農林省關係ハ豫算ノ提出モ何回ニ分レテ居リマスシ、御説明モ區々デアアルノデ、救済土木事業ノ全貌ヲ承知シ難イ點ガアルノデアリマス、隨テ先ヅ第一ニ農林省ニ關スル應急對策費トシテ、今後追加豫算ガ提出セラレルヤウナコ

トガアリヤ否ヤ、又第二ニハ農林省關係ノ早害應急對策費用中第二準備金支出ト昭和十四年度ノ追加豫算並ニ昭和十五年度ノ追加豫算ニ互ツテ其ノ總額ヲ示サレタイト云フコトト、第三ハ其ノ總額ニ付テ農務局トカ山林局トカ、或ハ水産局トカ、局程度ニ分チテ大體ノ救済事業ノ額使途並ニ補助率等ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○土屋政府委員 農林省所管ノ早害應急及ビ復舊事業ノ豫算デゴザイマスガ、先ヅ今後提出致シマス考デ居リマス豫算ハ、所謂恒久施設ニ屬スルモノデアリマシテ、應急施設トシテハ今後ハ或ハ追加豫算トシテハ提出ハナイト思ヒマス、私ガ應急施設トシマシマスハ、先程ノ御質問ノ御趣旨ニ依リマシレバ、大體本年ノ稻作植付頃マデニ済ム仕事ノ意味デアリマス、ソレデ出テ居リマス豫算ノ總額ハ三千三百六十五萬九千二百二十六圓デアリマス、是ガ農林省ノ豫算ノ十四年度、十五年度ノ豫備金、追加豫算ヲ合セマシタ總額デアリマス、此ノ三千三百六十五萬九千九百九十九圓トナリマス、其ノ他ニ早害地復舊事業ガ五百一十一萬六千四百五十四圓デアリマス、ソレカラ農林土木事業以外ノ事業ガ三百九十二萬六千九百九十四圓デアリマス、農林土木事業以外ノ事業ト申上ガマシタモノハ、農作物ノ種苗購入ノ助成金デアリマストカ、農會活動助成金デアリマストカ、畜畜租料補助金デアリマストカ、左様ナモノガ農林土木以外ノ事業ト申上ガタモノニ入りマス、ソレカラ農林土木事業ガ、農務局ノ所管ニ屬シマスル耕地ノ事業デアリマ

スガ、是ガ助成金ノ總額ノ二千五百七十三萬六千九百二十七圓デアリマス、是ハ助成率ハ三分ノ二ニナツテ居リマス、ソレカラ早害地復舊事業、是ハ先刻申上ガマシタ百五十一萬六千四百五十四圓デアリマシテ、是ハ助成率ハ十分ノ四デアリマス、ソレカラ山林局所管ノ農林土木事業、是ハ固有林ノ事業ト民間事業トニ分レルノデアリマスガ、固有林ノ事業費ガ六萬四千八百六十六圓、公有林野ノ官行造林事業費一萬五千三百三十四圓、造林地改植、其ノ他林業施設費ガ三十四萬七百餘圓、林道開設助成金ガ百九十三萬五千餘圓ト相成ツテ居リマス、其ノ中林道開設費ノ助成率ハ三分ノ二デアリマス、ソレカラ荒廢林ノ復舊助成ガヤハリ三分ノ二デアリマス、ソレカラ水産局ノ農業土木事業、是ハ築堤其ノ他ノ工事デゴザイマスガ、是ガ助成金ハ六萬六千六百餘圓デアリマシテ、是亦三分ノ二ニナツテ居リマス、是ハヤハリ助成率ハ三分ノ二ニナツテ居リマス、大體左様ナコトデアリマス

○三木委員 農林當局ノ御説明ヲ聞キマシテモ、今年ノ早害被害總額ト云フモノハ單ニ作物ノ被害ノミヲ計算致シマシテモ三億九千九百萬圓ト云フ四億圓ニ近イ被害デアアルノデアアツテ、此ノ上ニ山林ノ被害デアアルトカ、耕地ノ被害、斯ウ云フモノヲ合計スレバ、實ニ夥シイ被害額ガ出テ參ルト思フノデアリマス、之ニ對シテ應急施設費トシテ政府ガ今日マデ御提出ニナツタ豫算ノ總額ハ四千萬圓餘ニ過ギナイノデアリマス、恐ラク全國ニ互ル此ノ早害被害總額ヨリ推シマシテ、早害各府縣ノ政府ニ要求サレタ



救済事業費ト云フモノハ、一億五千万圓ヲ下ラナイ數字ノ要求ガナサレタモノト私ハ思フノデアリマス、恆久對策ヲ除キテ急場ノ救済事業費トシテモ、ソレ位ノ額ハ要求サレタモノト類推サレルノデアリマスガ、ソレニ對シテ今マデニ政府ノ御出シニナツタノガ四千万圓餘、斯ノ如キ嚴格ヲ査定ヲ御ヤリニナツタノデアリマスガ、然ラバ其ノ査定ノ基準ト云フモノガナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ基準ニ付テ一應明確ナル御答辯ヲ承リタイト思ヒマス

○谷口政府委員 今回ノ早害ニ付キマシテ昨年以來支出致シマシタモノ、又只今提案シテ居ルモノヲ併セマシテ、四千二百萬圓ヲ超エル金額ニ相成ルノデアリマスガ、只今御話ニ依リマス、被害額其ノ他カラ考ヘテ更ニ多額ナルモノノ支出ガ妥當デハナイカ、如何ナル標準ヲ用ユコトニナツタカト云フ御答辯デアリマスガ、此ノ今回ノ大體ノ計畫ト致シマシテハ、早害地ニ於キマスル所ノ窮乏セル方面ニ對シマシテ、勞銀ヲ撒布シテ其ノ急場ヲ救フコト云フコトガ主ナル趣旨ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ早害地ニ於ケル所ノ大體サウ云フ救済ヲ要スル方面ノ戶數ナリ、又人口數、又之ニ對シテ大體ノ位ノ金額ヲ見ルト云フヤウナ方面ヲ考ヘマシテ、戶數デアリマス、人口デアリマス、又金額デアリマス、サウ云フ方面ニ金額決定ノ一ツノ標準ガ出來テ來ルノデアリマス、一ツノ成案ノ標準ガソコニ出來テ來ルノデアリマス、ソレカラ又ソレニ對シテ勞銀ヲ撒布スルニ致シマシテモ、既定ノ豫算ニ於キマシテ、治水或ハ海灣、其ノ他ノ土木事業ニ依リマシテ、其ノ早害地方ニ勞

銀ノ撒布セラレレモノガ相當デアリマス關係カラ、ソレ等ノモノモ差引カテ云フ考慮モ茲ニ加ハル譯デアリマス、ソレカラ又工事ノ全體ト致シマシテハ、先程御話ガアリマシタノデアリマスガ、努力ノ方面等モ考ヘマシテ、事業ノ規模ト云フコトモ考ヘナケレバナラスノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ第三次ノ成案ノ標準ガ出來テ來ルノデアリマス、更ニ又本年ノ植付時マデニ工事ヲ大體終リ、期間的ニ仕事ノ分量ト云フモノモ制限ヲ受ケルノデアリマシテ、勞銀多ク益辨ズルコト云フコトハアルト思ハレルノデアリマスガ、植付時マデニ消化ノシ切レナイイウナ工事ヲ計畫致シマシタコトモ無理ヲ生ズルノデアリマシテ、只今申シマシタヤウナ早害地ニ於ケル所ノ戶數、人口、又要救済ノ部分、ソレカラ工事ノ分量等ヲ考ヘマシテ、只今至ルマデ要求サレテ居リマス所ノ四千二百萬圓稍、超エマス所ノ金額ヲ適當デアルト云フ考ニ達シ次第デアリマス

○三木委員 主計局長ハ抽象的ニ御話ニナツタノデアリマスガ、私ノ間ヒタイノハ、モット具體的ニ救済事業費ノ算定ノ基準デアリマス、承ル所ニ依リマス、今度ノ内務或ハ厚生、文部、農林、各省ノ救済事業費總額算定基準、七割以上ノ收穫減ノ所ヲ收穫皆無ト看做シテ、日本全國ノ平均一戸當リノ耕作面積其ノ被害總反別ヲ割ツテ、ソレニ依ツテ被害ヲ受ケタ農家戶數ト云フモノヲ算出シ、而モ一日ノ農家ノ生活費ヲ非常識ニモ十四錢ト見テ、ソレデ九箇月分ノ生活費ヲ算出シ、救済事業費總額トナツタト聞クノデアリマスガ、果シテ斯ウ云フ

ノ補助モ與ヘナイト云フ事實ガ公正ナ政治ノ姿デアラウカ、今回ノ早害救済ニ於テサウ云フ補助金ノ與ヘ方ガ正シイノカ、農林當局ハソレデ宜イト御考ナノカ、サウ云フ點ヲ私ハ御聽シタイノデス

○吉田政府委員 標準ヲ取リマスル以上、其ノ標準ニ入りマスル所ト入ラナカツタ所ニ依リマシテ、今三木委員ノ仰シヤツタヤウナコトハ、何レノ點ニ於テ限度ヲ取リマシテモアルコトト思フノデアリマス、財政ノ許シマス限リ廣ク致シマスル爲ニ此ノ標準ヲ出來得ル限リ低ク致シタイト思ヒマス、入りマス所ト入りマシタ所トハ如何ナル所ニ限度ヲ置キマシテモゴザイマスノデ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○三木委員 私人他ノ早害豫算ニ對シテハ全部總額査定ヲ御要求ニナツテ、桑園ニ對シテノミズウ云フ大藏省ノ査定ニ御満足ニナツタ農林當局ノ御意見ヲ承ツテ居ルノデアリマス、他ノ豫算ニ對シテハ全部總額査定デスカラ、ソレ相當ニ被害各府縣ニハ割當テラレルガ、桑園ノ被害ニ對シテノミ府縣別査定ヲ受ケテ、農林省ハ満足シテ居ラレル、五縣以外ノモノハ全然一錢ノ助成金モ與ヘラレナイ、若シ五縣以外ノ桑園被害ガ言フニ足ラナイ僅少ナモノナレバ宜イケレドモ實ニ目モ當テラレナイ被害地方澤山アル、被害各府縣ノ財政デ自ラ救済出來レバ問題ハナイガ、今申シタ六縣ノ如キハ一郡二郡ガ殆ド全滅ニ近イ、例ヘバ愛媛縣カラ言ヘバ、香川縣ニ近イ伊豫郡トカ、或ハ温泉郡、徳島縣カラ言ヘバ阿波郡、斯ウ云フヤウナモノハ殆ド全滅ニ近イ郡ナノデアリマス、殆ド桑ト云フ桑ハ根コソギニヤラレテ居ル、然ルニ部分的ダト云フ理由ニ

○谷口政府委員 只今ノ御話デアリマスガ、此ノ經費ヲ決定致シマスマデノ間ニハ色々所要ノ要求ガアリ、又ソレニ對シテ相談スルト云フ過程ニ於キマシテハ、色々細カイ數字ガ出テ來ルノデアリマスガ、只今仰セニナリマシタヤウナ事柄モナイコトハナカツタノデアリマス、七割以上ト仰セニナリマシタガ、五割以上ヲ無收穫地ト見タ方方宜イノデハナイカト云フヤウナ議論モアリマシタ、又七割以上ガ宜イデハナイカト云フヤウナ意見モアツタノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ只今ノハ、サウ云フ要求ガアツタカト云フ仰セデアリマスガ、只今仰セニナリマシタヤウナ算出ノ致シ方トシマシテハ、サウ云フ筋途ノ要求モアツタノデアリマス、併シナガラ其ノ點ニ付キマシテ、先程ノ御答辯抽象的デアルト云フコトデアリマスガ、申シマシタヤウナ點ニ付テ種々協議ヲ遂ゲマシテ、大體提案スルヤウナ結論ニ到達致シマシタ次第デアリマス

○三木委員 恐ラタスウ云フ基準ニ依ツテ四千二百萬圓ト云フモノハ、出タモノト思フノデアリマスガ、前ニ岸田君モ御述ニナツテ居リマシタヤウニ、此ノ僅カナ金額ヲ恐ラタ救済ト申シマシテモ殆ド政府ハ斯ウ云フコトモシタト云フ言ヒ譯程度デ、被害ヲ受ケタ農家ノ救済ヲ遺憾ナカラシメルコトハ出來マイ、十四錢ト云フヤウナ生活費指數ヲ以テ、而モソレヲ直接被害ヲ受ケタ農家デナクシテ、一ツノ事業ヲ起シテソレニ働キニ來タ者ニ對シテ、サウ云フ基準ニ依ツテ算出シタ勞銀ヲ渡シ救済スルト云フ

依リ、一錢ノ桑園ニ對スル早害助成金モ與ヘナイト云フ事實ハ、實ニ此ノ時局下ニ於ケル最モ遺憾ナル政治ノ表現デアアル、除外サレタ府縣民ノ爲ニモ納得ル行ク御説明ヲ願ハネバ承知ガ出來ナイ更ニモウ一度御答辯ヲ願ヒタイ

○岡本政府委員 只今ノ御話デアリマスガ總括的ニ査定サレマシタモノハ救済農家ノ土木事業ノ方面ノコトデアリマシテ、他ノ事業、例ヘバ今御話ノ桑園ノ改植ノ如キ、或ハ其ノ他應急的ノ事業トシテ盛ツテアリアスモノハ一定ノ標準ニ依リマシテ、縣別、地方別ニ査定ヲ致シタノデアリマス、桑園ノ場合ハ御話ノ通りデゴザイマスガ、其ノ他種級デアリマス、種甘路ノ如キ種苗ノ配付ニ於キマシテモ、全部ガ全部出來レバ結構ナノデアリマスガ、財政ノ都合モアリアスシ、一ツノ基準ニ當嵌メテ府縣別ニ査定シタノデアリマス

○三木委員 ソレハ種苗費トカ云フノハ僅カナモノデアリマスガ、桑園ノ被害ト云フモノハ養蠶家ニ取ツテハ、實ニ農家ノ米作ノ被害ト匹敵スル重要ナ被害ナノデス、ソレヲ與ヘラレルモノト全然與ヘラレザルモノトガ、斯ノ如ク不公平ニ分ケラレルト云フコトハ私ハ遺憾ニ存ジマス、恐ラタ除外サレタ農民ハ、今ノ數回ニ互ル政府當局ノ答辯ヲ聽イテモ納得ヲ致シマス、隨テ此ノ際私ノ要求ハ、第二豫備金、或ハ追加豫算ノ五十八萬圓ヲ此ノ主要ナル六縣ノ桑園早害地ニ分ケルカ、更ニ十五年度ノ追加豫算トシテ計上スルガ妥當ナリト信ジマス、今回ノ豫算ハ大體早害ヲ受ケテ困ツテ居ル農民ノ救済ヲ目的トスル豫算デアアル、救済スルト云フコトガ主眼デアラナラバ、何處

カデ止メナケレバナラヌカラト云ツテ三割ヲ打切ルト云フ政府當局ノヤリ方ハ、被害地ノ農民ヲ救済シヨウト云フ温イ政治カラ出發シテ居ナイ、一ツノ豫算削減ノ技術的考慮ノミカラ出發シテ居ル、斯ウ云フ點カラ考ヘテモ、殘サレタ主要桑園被害府縣ニ對シテ、新シク追加豫算ヲ計上シテ、セメテ失ハレタ政治ノ機會均等ヲ取戻セト云ヒタイ、此ノ點ニ付テハ大藏大臣ノ御答辯ヲ御願シタイ

○櫻内國務大臣 救済スルノニ所謂全面的ニ均霑スルヤウニ救済ヲ致サナケレバナラヌデハナイカト云フ御意見デアリマス、御趣旨ハ洵ニ御尤モデアリマスガ、從來ヤハリスウ云フ風ナ救済事業ニハ一定ノ基準ヲ設ケマシテ、其ノ基準ニ依ツテヤツテ居ルノデアリマシテ、隨ヒマシテ御説ノヤウナ事柄ニ於テ、其ノ基準ノ範圍内ニアリマスモノハ當然計上サレルコトニナルノデアリマスケレドモ、若シ此ノ基準ノ範圍ニ入りマセス場合ニ於テハ、特別ナ場合ニ於テ特ニ考慮致シマスレバ別デアリマスケレドモ、然ラザレバ入ラスヤウナコトニナリ得ルト思フノデアリマス、十五年度ノ追加豫算ニ付キマシテハマダ關係各省ト交渉中デアリマスノデ、其ノ中ニ御話ノヤウナ費目ガ入ツテ居ルカ入ツテ居ラナイカ存ジマセスガ注意致シマシテ査定致シタイト思ヒマス

○三木委員 大藏大臣ノ申サレル如ク基準ヲ拵ヘハ必要デアリマセウガ、私ノ申スノハ斯ウ云フ早害救済豫算ニ僅カ二分カ三分ノ比率ノ違ヒニ依ツテ與ヘラレルモノト、殆ド桑園ハ全滅サレナガラ何等ノ救済モサレナイモノガ存在スルト云フ事實ヲ

廻リ廻ツタ間接ノ方法ニ依ツテ、而モ此ノ僅カナ金デ救済シヨウト云フノデアリマスカラ、次ニ起ルベキ恆久對策トシテ餘程思ヒ切ツタ事業ヲ御計畫ニナリ、且又被害農民ノ救済ヲ御考ニナラナケレバ、此ノ程度デハ恐ラク問題ニナルマイト思フノデアリマス

次ニ大體今回ノ災害豫算ノ査定ニ付キマシテハ、大藏省ハ總額査定ヲオヤリニナツテ居ルノデアリマスガ、農林省ノ農務局關係ノ種苗費ト並ニ桑園ノ被害ニ付キマシテハ、是ノミヲ縣別査定ヲサレタノデアリマス、其ノ爲ニ甚ダ私ハ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマスガ、今回ノ早害デ全國的ニ桑園被害ガ甚大デアツタ所ハ約十一縣ベカリアルノデアリマス、是非非常ニ被害甚大ナ次官トカ、技術師地方ニ派遣サレ、私モ同道シタコトガアルノデアリマスガ、全國中ニ於テモ稀ニ見ル桑園被害ナリト地方民ヲ集メテ滿腔ノ同情ノ意ヲ表シ、桑園ノ早害救済ニ對シテ政府ノ熱意ヲ披瀝シ、被害農民ヲ安心サセナガラ、實際豫算面ニ現ハレタ數字ハドウ云フコトニナツタカト云フト、僅ニ鳥取、島根、岡山、廣島、香川ノ五縣ニ對シテ第二豫備金カラ十五萬七千圓ト、追加豫算トシテ四十二萬九千圓、合計五十八萬圓ベカリノ助成金ヲ下付致シ次第ニ續ク主要ナル桑園早害地ノ外ノ六縣ニ對シテハ一錢ノ桑園ニ對スル早害助成金モ下付セナイノデアアル、其ノ査定ノ標準ヲ色々ナ數字カラ考ヘテモ私ハ諒解ニ苦シムノデアリマス、農林省ノ説明ヲ聽クト、過去五箇年平均ノ桑園收穫高ニ對シテ其ノ年ノ收穫減少三割以上ヲ救済對象トシタト申スノ

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十三回 昭和十五年二月二十九日



アラシメテハナラヌト云フ點カラ、少クモ一郡全體ガ全面的ニ被害ヲ受ケタト云フヤウナ縣ニ對シテハ、縣全體ノ率ガ或ハ三割ニ足ラナクテモ、是ハ救済ノ對象トスルコトガ至當ダト思フデアリマス、隨テ十五年度ノ追加豫算ニハ大藏大臣モ考慮スルト云フヤウナ御話デアツタト解釋致シマスノデ、此ノ點ハ是デ打切りマシテ、内務大臣ニ對シテ伺ヒタイノデアリマスガ、早害ヲ受ケマシタ地方ハ自然村稅、其ノ他村ノ徵收スベキ稅收入ガ減少スルノミナラズ、徵收ニ困難ヲスル地方ガ多ク出來テ參ルト思フデアリマスガ、サウ云フ地方ガ今後救済事業デアツテ參リマス爲ニハ、或ハ起債ノ必要ト云フヤウナ場合ガ一般ニ起ツテ來ルト思フデアリマス、此ノ起債ヲ要求シタ場合ニ政府ハ速ニ之ヲ御認可相成ルガ至當ダト考ヘマスガ、ソレニ對スル大臣ノ御方針、更ニ進シテ此ノ起債ノ利子ニ對シテ進シテ利子補給ノ途モ考ヘテ居ルカドウカノ二點ニ付テ御同致シマス

○兒玉國務大臣 大體地方債ニ關係致シマシテハ、國ノ公債等ノ關係カラ成ベク制限シテヤテツ居ルノデアリマス、併シナガラ只今御話ノヤウナ災害地ノ復興、其ノ他天災ニ關スル場合ニ於テ、之ヲ復舊復興スル爲ニ必要ナル地方債ニ付キマシテハ特別ナル取扱ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ先程名川君カラ御質問モアリマシタ通りニ、是等ノ地方債ニ付テハ成ベク敏速ニ之ヲ取計フト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、此ノ利子ニ對シテ如何ニスルカト云フコトニ付テハ、私今即座ニ御答ヲ申上ゲ兼ネマスノデ、後刻政府委員ノ方カラ御答申上ゲルコトニ致シマス

○三木委員 文部省ニ關スル問題ハ政府委員ガ見エヌヤウデアリマスシ、又農林大臣モ御見エニナツテ居リマセヌカラ、其ノ二點ノ保留ヲ願ツテ置キマシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○三土委員長 今日ハ農林大臣モ差支ガアルヤウデスカラ、救済ヲ中心トスル問題ハ今日ハ此ノ程度ニシテ散會致シマス、明日ハ又十一時カラ開キマス  
午後三時四十二分散會

衆議院豫算委員第一分科會議錄

第四回中正誤

頁 段 行 誤 正

八九 二 三五 平松主査 松尾主査

衆議院豫算委員第七分科會議錄

第四回中正誤

頁 段 行 誤 正

九六 四 五 增本委員 塚本委員

衆議院豫算委員第八分科會議錄

第三回中正誤

頁 段 行 誤 正

六六 四 四 答申 投資

六六 四 五 答申 投資

六七 一 二 四 答申 投資

六七 四 一 五 透惑 誘惑

昭和十五年二月二十九日印刷

昭和十五年三月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第十四回

會議

昭和十五年三月一日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三土 忠造君

理事 陸朗君 理事 中村三之丞君

理事 田村 秀吉君 理事 山本 芳治君

理事 岸田 正記君 理事 石坂 豐一君

理事 増永 元也君 理事 水谷長三郎君

理事 山田 義治君

三宅 正一君 眞鍋 儀十君

石坂 養平君 塚本 重藏君

前田房之助君 山道 襄一君

小畑 榮君 原 夫次郎君

小畑虎之助君 田原 春次君

坂本宗太郎君 牧野 良三君

矢野庄太郎君 山本 厚三君

加藤 知正君 川崎 克君

池田 秀雄君 三木 武夫君

最上 政三君 木暮武太夫君

名川 侃市君 太田 正孝君

末松倍一郎君 松尾 四郎君

小笠原三九郎君 松尾 孝之君

松村 光三君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

農林大臣 島田 俊雄君

拓務大臣 小磯 國昭君

司法大臣 木村 尚達君

內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君

逓信大臣 勝 正憲君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官 小山 谷藏君

外務參事官 小高長三郎君

內務政務次官 鶴見 祐輔君

內務省地方局長 扶間 茂君

內務省警保局長 山崎 巖君

內務省土木局長 成田 一郎君

內務書記官 瀧尾 弘吉君

大藏參事官 松田 正一君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

大藏書記官 田中 豐君

大藏書記官 山田 義見君

大藏書記官 池田 勇人君

大藏書記官 秋元 順朝君

營繕管理財局理事 松隈 秀雄君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省刑事局長 黒川 涉君

司法書記官 石田 壽君

文部政務次官 子爵舟橋 清賢君

文部參事官 仲井間宗一君

文部省專門學務局長 關口 鯉吉君

文部省普通學務局長 中野 善敦君

文部書記官 永井 浩君

農林省農務局長 土屋 正三君

農林省山林局長 田中 長茂君

農林省水産局長 栗屋 仙吉君

農林省畜産局長 岸 良一君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

農林省米穀局長 横山 敬教君

農林書記官 岡本 直人君

商工政務次官 加藤 五郎君

商工書記官 山本 茂君

拓務政務次官 松岡 俊三君

拓務參事官 男爵加藤 成之君

拓務省管理局長 副島 勝君

拓務書記官 森重 千夫君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生參事官 飯村 五郎君

厚生省社會局長 新居善太郎君

厚生書記官 川村 秀文君

農林書記官 岡本 直人君

商工政務次官 加藤 五郎君

商工書記官 山本 茂君

拓務政務次官 松岡 俊三君

拓務參事官 男爵加藤 成之君

拓務省管理局長 副島 勝君

拓務書記官 森重 千夫君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生參事官 飯村 五郎君

厚生省社會局長 新居善太郎君

厚生書記官 川村 秀文君

農林書記官 岡本 直人君

商工政務次官 加藤 五郎君

商工書記官 山本 茂君

拓務政務次官 松岡 俊三君

拓務參事官 男爵加藤 成之君

拓務省管理局長 副島 勝君

拓務書記官 森重 千夫君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生參事官 飯村 五郎君

厚生省社會局長 新居善太郎君

厚生書記官 川村 秀文君

農林書記官 岡本 直人君

商工政務次官 加藤 五郎君



以下ノ負擔ヲ致シテ居リマス者ノ數、ソレ  
 第四ノアリマス  
 第五ニ御伺シタイノハ應急對策トシテノ  
 各省ガ御支出ニナツテ居リマス金額、農林  
 省トカ、内務省トカ別々ニハ承リマシタガ、  
 便宜上其ノ總額ヲ一纏メニシテ金額ヲ御知  
 ラセテ願ヒタイ、其ノ中デモ主トシテ事業  
 費ニ幾ラ、助成金額ニ幾ラト云フ風ニ御  
 分ケニナツテ御説明ヲ戴キタイト思ヒマ  
 ス

同時ニ第六ニ其ノ金額ノ御支出ハ、豫備  
 金ノ支出ガ幾ラニナツテ居ルカ、追加ノ御  
 要求ガ幾ラニナツテ居ルカ、若シ本豫算ニ  
 於テ幾許カ入ツテ居ルモノガアリマシタ  
 ラバ、ソレモ御示ヲ戴キタイノデアリマス  
 第七ニ應急對策ノ金ノ使途ノ方法ヲ、大  
 マカデ宜シウゴザイマスガ、農林土木ガ幾  
 ラ、内務土木ガ幾ラ、厚生其ノ他ガ幾ラト、  
 主ナルモノデ宜シウゴザイマスガ、種類  
 別ヲ一ツ御覽カセテ戴キマシテ私ノ質問ニ  
 入りタイト思ヒマス、出來ルダケ一ツ御知  
 ラセテ願ヒタイト思ヒマス

○三土委員 今ノ御質問ハ大部分昨日御  
 説明ガアツタノデスガ、極ク摘擧シテ説明  
 シタラドウデスカ  
 ○各口政府委員 御尋ノ順序ガ少シ後ノ方  
 ガ先ニナルノデアリマスガ、今回ノ早害ニテ  
 付政府支出致シマシタ總計、其ノ他御示ニ  
 ナリマシタ内譯ノ大體ヲ申上ゲマス、四千二  
 百九十三萬八千五百五十六圓ト申シマスノガ  
 總計デアリマス、但シ其ノ中ニハ十六年度ニ  
 三十八萬四千圓バカリ出ス豫定ノモノガゴ  
 イマスカラ、四千二百五十五萬圓バカリガ全體  
 ノ總計ニ相成ツテ居リマス、其ノ中デハハ  
 全部ノモノヲ豫算マシタノデアリマシテ、

或ハ少シ御考ヨリハ多クモイヤウニモ御聴取カ  
 ト存ジマスガ、全部ヲ纏メタノデアリマス、  
 即チ八月四日ニ第一回ニ支出致シマシタモ  
 ノ、八月二十五日ニ取敢ヘズ出シマシタモ  
 ノ、サウ云フモノモ全部加ヘマシテ只今申  
 シマス四千二百萬圓、ソレカラ更ニ豫備金  
 等デ出シマスモノ以外ニ、節約復活ノ方法  
 ニ依リマシタモノモ加ハリマシテ、只今マ  
 デノ所一切合切ヲ入レマシテ四千二百九十  
 三萬八千圓ト云フコトニナルノデアリマス、  
 其ノ中デ各省別ニ統計ヲ申上ゲマス、内  
 務省所管ニ於キマシテ五百六十三萬圓、ソ  
 レカラ農林省所管ニ於キマシテ三千四百二  
 十三萬二千圓、ソレカラ厚生省所管ニ於キ  
 マシテ七十三萬四千三百三十三圓ト云フノ  
 ガ大體ノ數字デアリマス、サウ致シマシテ  
 農林省ノ中デハ只今申シマシタ三千四百二  
 十三萬二千圓ト申シマス中デ、農業土木事業  
 ニ充テアルモノ二千八百九十九萬五千圓、  
 ソレカラ農作物ノ種苗購入助成ト云フモノ  
 ノ、農會ノ活動助成金等、土木事業以外ノ  
 應急施設ニ充テアルモノガ約四百五十二  
 萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、尙ホ農  
 業土木事業ノ方ト致シマシテハ二千八百十  
 九萬五千圓ノ外ニ濫買縣、三重縣等ノ復舊  
 施設百五十萬圓、是モ土木費ノ中ニ加ヘテ  
 宜イト思フノデアリマスガ、土木費ト致シ  
 マシテハ二千九百七十萬圓バカリニ農林省  
 所管デハ相成ツテ居リマス、ソレカラ内務  
 省所管ニ於キマシテハ先程五百六十三萬圓  
 ト申シマシタガ、此ノ殆ド全部ガ土木事業デ  
 アリマス、若干ノ事務費ヲ入レテデアリマ  
 スガ、全部ガ土木事業デアリマス、土木事業  
 ハ道路、港灣、河川其ノ他ニ跨ツテ居リマ  
 スガ、事實ハ道路ガ一番多イト云フコトニ

ナツテ居リマス、大體ソウ云フモノデアリ  
 マス  
 ○土屋政府委員 御質問ノ被害反別等ニ付  
 テ御答申上ゲマス、水稻ノ被害反別ハ六十  
 五萬五千餘町歩、是ガ總反別デアリマス、  
 ソレデ五割以上ノ反別ハ幾ラカト云フ御質  
 問ガゴザイマシタガ、收穫皆無ハ十一萬二  
 千町歩、七割以上ガ十一萬七千町歩、五割以  
 上七割未滿ガ十萬八千町歩トナツテ居リマ  
 ス、ソレカラ次ハ桑園デアリマスガ、桑園  
 ノ被害見込面積ハ、總數ガ十萬九千餘町歩  
 デアリマス、收穫皆無ハ六千四百餘町歩、  
 七割以上ガ一萬一千百十町歩、五割以上ガ  
 一萬六千六百餘町歩、ソレカラ其ノ他ノ畑  
 作ハ、實ハ作物別ノ調査ハゴザイマセス  
 ガ、全體ヲ一括シテゴザイマスガ、被害ノ  
 總反別ガ二十三萬三千餘町歩デアリマス、  
 收穫皆無ハ二萬五千町歩、七割以上ハ四萬  
 一千町歩、五割以上ハ五萬町歩デアリマス、  
 ソレカラ五割以上ノ戶數ハドノ位アルカト  
 云フ御質問デゴザイマシタガ、是ハ其ノ五  
 割以上ノ戶數ヲ直接調査致シマシタモノハ  
 ゴザイマセスガ、五割以上ノ反別ヲ收穫皆  
 無ニ換算致シマシテ、サウシテ其ノ府縣ノ  
 一戸當リノ耕作反別カラ推定致シマシタ  
 戶數ガゴザイマス、其ノ戶數ハ五十五萬六  
 千餘戶ニナツテ居リマス、其ノ内平均以下  
 ノ割合ヲ掛ケテ推定致シマシタ戶數ハ三十  
 七萬七千九百餘戶ト相成ツテ居リマス

○山崎委員 大體既ニ御説明ヲ戴イタモノ  
 ト致シマスレバ、私ハ繰返スコトハ時間ヲ取  
 リマスルカラ、他ノ御質問ヲ致シタイト思  
 ヒマス、只今ノ御説明以外ノコトハ私大體  
 色々ナコトニ依ツテ知り得タコトヲ基本ト  
 シテ御尋ヲシタイ、私ハ大體四點程ニ局限

味ヲ缺イタ點ガ假ニアリト致シマスルナラ  
 バ、殊ニ事變ガ始リマシテカラ眞劍ニナツ  
 テ、分相應デハアリマスケレドモ、眞劍サ  
 ノ程度カラ申シマシタナラバ、パーセン  
 トノ緊張味ヲ以テ御奉公ヲ致シテ居リマシ  
 タ地方民ニ、何等カ此ノ時局ニ對スル緊張  
 味ヲ缺ク點ガアリト致シマスレバ、私ハハ  
 ツキリ申上ゲテ置キマス、其ノ原因ハ此ノ  
 時ニ始ツテ居ル、餘リニ信賴スベカラザル  
 食言、餘リニ同情ノナイヤリ方、ソレガ即  
 チ國民ノ眞劍味、緊張味百「パーセント」  
 ノ心構ヲシテ居リマシタ農民——現ニ今回  
 ノ被害地ノ中國、四國、北九州方面カラ  
 ハ此ノ時局ノ始マリマシタ當初カラ出征ヲ  
 致シマシテ、北ハ居庸關ヲ初メトシテ、山  
 西省ニ、北支ニ、中文ニ、更ニ南支ニマデ  
 參リマシテ、殆ド此ノ地方ノ兵隊ハ支那ノ  
 現在ノ占據地帯ヲ眞南カラ眞北マデ悉ク  
 重要戰線ニ參加シタ、サウシテ著シク動  
 功ヲ立テテ居ル、サウ云フ地方ノ人デアリ  
 マスカラ、此ノ地方ノ人達ハ是ダケ大キナ  
 事柄ガ起リマシテモ、新聞ニ書立テテ天下  
 ニ同情ヲ求ムルト云フヤウナコトヲシテ露  
 イダノデアリマセズ、義捐金ノ募集ヲ一  
 厘モ全國ノ何處ニモ頼ンダノデアリマセ  
 ズ、默々トシテ政府大官、其ノ他有力ナル  
 人達ノ同情アル言葉ニ信賴シテ——静岡市  
 ニ大火災ガアリマシテ、衆議院カラモ心バ  
 カリノ御見舞ヲシタ、昨年ノ水害ノ時ニモ  
 九州ニアリマシテハ、衆議院カラ言葉一ツ  
 目ニ見エタ御慰問ヲ別ニ受ケタ譯デモアリ  
 マセス、默々トシテ居タト云フコトハ、  
 實ニ其ノ同情ニ信賴スル認識ニ感謝シテ居  
 ヲツカラデアリマス、ソレガ今申スヤウニ

ヲシテ御尋ヲ致シマス、其ノ一ツハ今後ノ  
 早害對策ニ付キマシテ現在マデオヤリナツ  
 テ居リマスコトニ對スル政府當局ノ態度ニ  
 對シマシテハ、私共ハ全國ノ被害民ガ善  
 デ居ルト思ヒマス、例ヘテ申上ゲマスレバ  
 今日マデノ政府ノ御支出ニナリマス助成金  
 ノ配分ノヤリ方デアルトカ、或ハ昨年ノ早  
 害ノ時、マダ地方カラ非常ニ要求ノ聲ノ起  
 リマセス前ニ、農林省ナドハ非常ニ調査ニ  
 盡サレマシテ、殊ニ農林大臣ノ責任ニ於テ  
 豫備金支出ノ取計ヲ致スカラ、至急ニ府縣  
 ニ於テハ其ノ方法施設ヲ考ヘロト云フヤウ  
 ナ御達シガアツタ爲ニ、臨時縣會ヲ開イテ  
 未ダ政府ノ御約束ノ行カナイ前ニ、色々ナ  
 應急手當ヲ爲シ得タト云フヤウナ、サウ云  
 フ事柄ニ付テハ非常ニ今回ノ御支出ニ對シ  
 テハ満足ヲシテ居ル、ガ併シ其ノ満足ヲ致シ  
 テ居リマスト云フコトト、應急對策其ノモ  
 ノガ完全デアリマスト云フコトトハ非常ニ相  
 違ノアルコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、ソコデ  
 私ハ御尋ヲシテ見タイノハ、今回ノ此ノ應  
 急對策、更ニ後ニ申上ゲマスガ恒久對策ニ  
 付テ根本ノ考ヘ方ニ於テ國民ノ希望シテ居  
 ル所ト、政府ノオヤリニナツテ居ル所ニ少  
 シ喰違ヒガアル、即チ之ヲ國民ノ方カラ申  
 シマスレバ、其ノ根本ノ對策ノ立テ方ニ國  
 民ノ満足シ得ザルモノガアルト云フ考ガア  
 リマス、之ニ付テ一ツ御考慮ヲ求メタイト  
 云フコトガ一點、ソレカラ助成金ノ使用ノ  
 方法ニ付キマシテ先ニ申上ゲマシタ分配ノ  
 仕方ハ、洵ニ公平ニ出來テ居リマスケレド  
 モ、是ハ大變ニ結構デアリマスガ、助成金  
 ノ使ヒ方ニ對シマシテ實情ニ即シ兼ネテ居  
 ル點ガアルノチヤナイカ、是ガ第二點、今  
 應急對策ノ支出ノ金、主計局長ノ御話ニ依

裏切ラレタノミナラズ、私ガ御尋シタイコ  
 トハ只今ノ數字ノ御説明ヲ承ツテ見マシテ  
 モ、此ノ對策ヲ御立テニナツタ數字ノ根本  
 ニ思違ヒガアルノカモ知レマセスガ、私率  
 直ニ申シマス、コトナ不吉ナコトヲ申ス  
 ノハ宜クナイカモ知レマセスガ、此ノ東京  
 方面ナリ、關東方面ハサウデモゴザイマ  
 スマイケレドモ、關西方面ノ昨年早害ニ遭ヒ  
 マシタ地方ハ、今年モ雨ガ降りマセズ、雪  
 モ少イ、一部山陰方面ニハ相當ニアリマシ  
 タガ山陽道方面ニハ雪ガ少イ、或ハ此ノ順  
 デ參リマス、今年モ亦相當ナ水ノ困難ヲ  
 致スノデハナカラウカト云フヤウナ感ジ  
 多クノ者ガ抱イテ居ルノデアリマス、ソコ  
 デ此ノ根本ノ觀念ニ付テ能ク御考ヲ願ツテ  
 置キマセスト、單ニ昨年ノ早害ダケデアリ  
 マセス、將來國民中ニ同様ナ不幸ナ目ニ遭  
 ヒマシタ者ガアツタ場合ニ御考ヲ願ハナケ  
 レバナリマセスノハ、今度ノ御説明ニナリ  
 マシタ其ノ數字ノ御算定ノ根柢ハ、多分此  
 ノ豫算ヲ御決メニナルニ當ツテ各省同一ノ  
 御組織ノ下ニ御協議ニナツタノデアリマセ  
 ウガ、此ノ算出ノ基本ハ、私ハ嘗テ非公式  
 ニ承リマシタガ、サウデアルト云フ御言葉  
 ヲ得テ居リマスノデ間違ヒナイト思ヒマス  
 ガ、今回ノ早害ニ罹リマシタ被害地ノ者デ  
 アツテ、五割以上デアリマスガ、或ハ七割  
 以上ニナツテ居リマスガ、何レデモ宜シイ  
 ノデアリマスガ、五割デモ七割デモ其ノ事  
 ハ別トシテ、假ニ私ガ想像致シマス、五  
 割以上ノ收穫ノ減ジタ戶數ヲ一戸五名ナラ  
 五名トシテノ總人口數ヲ御出シニナツテ、  
 其ノ戶數ノ中デ戶數割ノ全國ノ平均數以下  
 ノ負擔者ト云フ小サイ世帯ノ人間ノ數ヲ御  
 割出シニナツテ、ソレニ農民ノ生活統計一

リマス十六年度ニモ出ス豫定ノモノガア  
 ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ別トシテ、  
 大體ニ於キマシテ先ヅ今年ノ六月、五月マ  
 デニ色々御支出デアリマセウカ、六月以後  
 ニ對シマスコトニ付テノ私ノ一ツノ質問デ  
 アリマス、ソレカラソレニ附加ヘマシテ恒  
 久對策ニ付テ最後ニ御伺ヲシタイ、此ノ範  
 圍ニ付テ一ツ御伺ヲシテ見タイノデアリマ  
 ス、或ハドナタガ御答ニナルカ知レマセス  
 ガ、大臣モ御出席ニナツテ居リマスカラ、  
 主要ノ點ハ内務、農林兩大臣カラ國務大臣  
 トシテノ御答辯ヲ御願致シタイ、實ハ農林  
 大臣御就任前デアリマス、親シク中國方面ノ  
 早害地ヲ農業聯盟ノ方カラ御出張下サツテ  
 實際ニ御覽下サツテ、サウシテ深イ理解ト  
 厚イ同情ヲ持ツテ居テ下サルコトハ皆承  
 知致シテ居リマス、大藏大臣モ平沼内閣ノ  
 農林大臣トシテ今申上ゲマスヤウニ非常ナ  
 手早イ、嘗テ是マデノ政府ニ見ナイヤウナ  
 手廻シノ早イコトヲヤラレテ、農林大臣ト  
 シテ農林當局ト共ニ非常ニ御盡力ニナツテ  
 居ル、殊ニ農林大臣トシテ眞先ニ被害地ヲ  
 御視察ニナツテ居ツタノデ、是亦非常ニ認  
 識ヲ深メ厚イ同情ヲ持ツテ下サツタ、昨日  
 モ御話ガアリマシタガ、内務大臣モ最も被  
 害ノ多イ、日本一ノ被害縣トデモ申シマス  
 カ、山口縣ノ御出身ノ譯デアリマスカラ、  
 私ガ茲ニ繰返スノモ甚ダ遺憾ニ思フノデス  
 ガ、是ハ申上ゲテ置カナケレバナラスコト  
 デアリマスカラ、私ハ深イ御考慮ヲ求メテ  
 置キタイコトハ、大體平沼内閣ハ左様ナ間  
 ニ引退セラレマシタ、阿部内閣ガ出テ來テ、  
 其ノ阿部内閣ノ當時ノ農林大臣、或ハ内務  
 大臣、厚生大臣トシテナハリ被害地ニ御出  
 張ニナツテ、公式ノ御發言デアリマスマ

イケレドモ、非常ニ同情深イ、殊ニ人ノ  
 想像ノ付カナイマデノ對策ヲ立テノダト  
 御話ヲ下サツテ、非常ニ地方ノ者ハ感激ヲ  
 致シマシテ、色々ナ苦痛モ其ノ爲ニ忘レテ  
 シマツタ、島田農林大臣ガ出テ下サツタ  
 カラ櫻内大藏大臣ガ出テ下サツタカラ、  
 伍堂農林大臣ガ出テ下サツタカラ其ノ爲  
 ニ兩方降陣譯デアリマセズ、何モ直接ニ  
 大臣ガ來テ下サツタカラ、有力者ガ來テ下  
 サツタカラト云ツテ兩方降陣譯デアリマ  
 セス、早害ハ直ク救ハレル譯デアリマセス、  
 ソコハ一ツノ心理デアリマス、サウ云フ場  
 合ニ此ノ場合ノ酷イ早害ヲ見テ下サツタト  
 云フコトハ、後デ相當ナル同情ノ現ハレガ  
 アルノダト云フコトヲ考ヘテ非常ニ感謝ヲ  
 シテ居ツタノデアリマス、所ガ阿部内閣ニ  
 ナツテ大臣ガ地方ヲ御覽下サツテ、其ノ結  
 果現ハレタル豫算ヲ見マスト、洵ニ小サナ  
 應急對策ノ金額デアル、必ズシモ金額ヲ言フ  
 ノデアリマセスケレドモ、先日御話下サ  
 ツタヤウナ、殊ニ責任ノ地位ニアル有力ナ  
 政治家ノ方々ガ御話下サツタコトガ全然行  
 ハレテ居ナイデ居ルト云フコト、此ノ早害  
 地ノ人達ハ非常ニ意外ナ感ヲ持ツテ居ル、  
 御承知ノ通りニ大體非常ニ早害ニ憐レデ居  
 ル早害地ノ人達ガ、應々高イ汽車貨ヲ拂ヒ、  
 宿賃ヲ拂ツテ東京ニ來テ、下シノ一押掛ケ  
 テ陳情スルト云フヤウナ奇妙ナコトニナツ  
 タト云フ其ノ抑ノ原因ハ、餘リニ國民ニ失  
 望サセタ、餘リニ被害民ニ失望サセタ、餘  
 リニ其ノ言葉ガ裏切ラレテ、信ヲ置クニ足  
 リナカツタ發言デアツタト云フコトニアリ  
 ノデアル、是ハ私ハ特ニ茲ニ御考置キ願ヒ  
 タイト思フコトハ、若シ今日ノ場合國民ノ  
 精神狀態ニ多少デモ時局ニ對シマスル緊張

味ヲ缺イタ點ガ假ニアリト致シマスルナラ  
 バ、殊ニ事變ガ始リマシテカラ眞劍ニナツ  
 テ、分相應デハアリマスケレドモ、眞劍サ  
 ノ程度カラ申シマシタナラバ、パーセン  
 トノ緊張味ヲ以テ御奉公ヲ致シテ居リマシ  
 タ地方民ニ、何等カ此ノ時局ニ對スル緊張  
 味ヲ缺ク點ガアリト致シマスレバ、私ハハ  
 ツキリ申上ゲテ置キマス、其ノ原因ハ此ノ  
 時ニ始ツテ居ル、餘リニ信賴スベカラザル  
 食言、餘リニ同情ノナイヤリ方、ソレガ即  
 チ國民ノ眞劍味、緊張味百「パーセント」  
 ノ心構ヲシテ居リマシタ農民——現ニ今回  
 ノ被害地ノ中國、四國、北九州方面カラ  
 ハ此ノ時局ノ始マリマシタ當初カラ出征ヲ  
 致シマシテ、北ハ居庸關ヲ初メトシテ、山  
 西省ニ、北支ニ、中文ニ、更ニ南支ニマデ  
 參リマシテ、殆ド此ノ地方ノ兵隊ハ支那ノ  
 現在ノ占據地帯ヲ眞南カラ眞北マデ悉ク  
 重要戰線ニ參加シタ、サウシテ著シク動  
 功ヲ立テテ居ル、サウ云フ地方ノ人デアリ  
 マスカラ、此ノ地方ノ人達ハ是ダケ大キナ  
 事柄ガ起リマシテモ、新聞ニ書立テテ天下  
 ニ同情ヲ求ムルト云フヤウナコトヲシテ露  
 イダノデアリマセズ、義捐金ノ募集ヲ一  
 厘モ全國ノ何處ニモ頼ンダノデアリマセ  
 ズ、默々トシテ政府大官、其ノ他有力ナル  
 人達ノ同情アル言葉ニ信賴シテ——静岡市  
 ニ大火災ガアリマシテ、衆議院カラモ心バ  
 カリノ御見舞ヲシタ、昨年ノ水害ノ時ニモ  
 九州ニアリマシテハ、衆議院カラ言葉一ツ  
 目ニ見エタ御慰問ヲ別ニ受ケタ譯デモアリ  
 マセス、默々トシテ居タト云フコトハ、  
 實ニ其ノ同情ニ信賴スル認識ニ感謝シテ居  
 ヲツカラデアリマス、ソレガ今申スヤウニ

裏切ラレタノミナラズ、私ガ御尋シタイコ  
 トハ只今ノ數字ノ御説明ヲ承ツテ見マシテ  
 モ、此ノ對策ヲ御立テニナツタ數字ノ根本  
 ニ思違ヒガアルノカモ知レマセスガ、私率  
 直ニ申シマス、コトナ不吉ナコトヲ申ス  
 ノハ宜クナイカモ知レマセスガ、此ノ東京  
 方面ナリ、關東方面ハサウデモゴザイマ  
 スマイケレドモ、關西方面ノ昨年早害ニ遭ヒ  
 マシタ地方ハ、今年モ雨ガ降りマセズ、雪  
 モ少イ、一部山陰方面ニハ相當ニアリマシ  
 タガ山陽道方面ニハ雪ガ少イ、或ハ此ノ順  
 デ參リマス、今年モ亦相當ナ水ノ困難ヲ  
 致スノデハナカラウカト云フヤウナ感ジ  
 多クノ者ガ抱イテ居ルノデアリマス、ソコ  
 デ此ノ根本ノ觀念ニ付テ能ク御考ヲ願ツテ  
 置キマセスト、單ニ昨年ノ早害ダケデアリ  
 マセス、將來國民中ニ同様ナ不幸ナ目ニ遭  
 ヒマシタ者ガアツタ場合ニ御考ヲ願ハナケ  
 レバナリマセスノハ、今度ノ御説明ニナリ  
 マシタ其ノ數字ノ御算定ノ根柢ハ、多分此  
 ノ豫算ヲ御決メニナルニ當ツテ各省同一ノ  
 御組織ノ下ニ御協議ニナツタノデアリマセ  
 ウガ、此ノ算出ノ基本ハ、私ハ嘗テ非公式  
 ニ承リマシタガ、サウデアルト云フ御言葉  
 ヲ得テ居リマスノデ間違ヒナイト思ヒマス  
 ガ、今回ノ早害ニ罹リマシタ被害地ノ者デ  
 アツテ、五割以上デアリマスガ、或ハ七割  
 以上ニナツテ居リマスガ、何レデモ宜シイ  
 ノデアリマスガ、五割デモ七割デモ其ノ事  
 ハ別トシテ、假ニ私ガ想像致シマス、五  
 割以上ノ收穫ノ減ジタ戶數ヲ一戸五名ナラ  
 五名トシテノ總人口數ヲ御出シニナツテ、  
 其ノ戶數ノ中デ戶數割ノ全國ノ平均數以下  
 ノ負擔者ト云フ小サイ世帯ノ人間ノ數ヲ御  
 割出シニナツテ、ソレニ農民ノ生活統計一



日十四日豫算シマスレバ一戸五人トシテ七十  
 錢ヲ御加算ニナツテ、其ノ中カラ一其ノ  
 御控除ノ程度ハ私知リマセヌガ、幾許カノ  
 御計算ニナリマシタ結果ガ、御提案通りノ  
 應急ノ金ト思ヒマス、斯ウ云フコトハ非  
 公式ニ承ツタノデアリマスカラ、今ノ五割  
 カ七割カハ私ノ見當違ヒカモ知レマセヌガ、  
 算出ノ方法ハソレ違ヒナイ、サウ致シマス  
 ト、茲テ私ガ一ツ第二ニ農林大臣カラデモ、  
 内務大臣カラデモ宜シウゴザイマスカラ、御  
 答ヲ御願シタイノハ、私ハ先ツ斯ウ云フコ  
 トヲ一ツ御聽シテ見タイ、ソレハ農産物、  
 特ニ米ノ如キモノハ日本ノ主食物デアリ、  
 基本食糧デアルコトハ、今更申上ゲル必要  
 ハアリマセヌガ、是ガ昨年ノ早害ノ如キ場  
 合、或ハ其ノ他ノ色々ナ事情ノ事故ガ起リ  
 マシテ、若シ此ノ米ト云フモノガ獲レナク  
 ナル、容易ニ作レナイト云フコトガアリ、  
 或ハ又逆ニ豐作デアツテ、米價ガ非常ニ下  
 落スルト云フヤウナ場合ガアリ、其ノ結果  
 ガ米ノ生産費ガ時價ヨリモ遙ニ高ク付イテ  
 居ルト云フヤウナ場合ヲ起スコトガアリト  
 致シマス、米ヲ作ルコトガ馬鹿ラシクナ  
 ツテ作ラナイト云フヤウニナツタ場合、殊  
 ニ昨年ノヤウニ獲レナクナツタ場合ハ、其  
 ノ時ハ政府ハドウスル、ト考ヘテ見マス、  
 是ハ何トシテデモ國家トシテ米ヲ作ラセナ  
 ケレバナラス、ソレハ米ガ足りナケレバ外  
 米輸入ノ方法モアリマセウシ、其ノ他色々  
 ナ増産計畫ノ方法モアリマセウガ、ソレハ  
 ドウシテモ國家ハヤラナケレバナラスコト  
 デアルノデアリマス、ソレヲ國家ガヤラト  
 云フ場合ハ、國家ハ相當ノ金ヲ出シテ――  
 必ズ外米ヲ買フ爲ニ必要ナル金ヲ出サナケ

レバナラス、増産計畫ヲ立テル場合ニモ、  
 必要ナル金ハドウシテモ國家ガ出サナケレ  
 バナラス、是ハ分り切ツタコトデアルト思  
 フ、所ガ昨年ノ早害ニ付テ今私ガ申シマス  
 タ建前カラ申シマス、昨年ノ早害ニ對ス  
 ル救済ノ方法ト云フモノハ、單ニ被害地、  
 被害者ノ自身ヲ自當ニシテ居ル、國家ガ  
 ドウスルト云フ考ヘ方デナクシテ、被害民  
 ヲ助ケテヤラウ、被害民ニ飯ヲ食ハシテヤ  
 ウト云フコトガ根本ニナツテ居ツテ、國策ト  
 シテノ食糧品ヲドウシヨウト云フコトガ根本  
 デハナクシテ、結果ハソコニ行キマセウケレ  
 ドモ、根本ノ建前ガ、國家ノ建前ヲ考ヘズニ、  
 ハ被害民ノ建前ノミヲ考ヘテ居ル、私ノ考  
 國家ノ救済スルト云フ考ヘ方デヤツテ貫ヒ  
 タイ、國家ノ基本食糧品、主要品タルモノニ  
 對スル缺乏ハ、個人ガ飯ヲ食ハナケレバナ  
 ラスト云フコトハ勿論ノコトデアリマスガ、  
 是ハ個人ガ困ルト云フヨリモ國家自體ガ困  
 ルコトデハナイカ、此ノ建前カラ對策ヲ立  
 テ貫ハナケレバナラス、ガカラ其ノ點カラ  
 申シマス、細カクナリマスガ御尋ヲシテ  
 見タイ、私ノヤウナ建前ニナルト、個人モ  
 無論救ハナケレバナリマセヌガ、個人ニ唯  
 労働賃銀ヲ與ヘルトカ、個人ニ飯ヲ食ハス  
 ト云フコトノ外ニ、皆ガ米ヲ作ルヨリ外ノ  
 仕事ヲシタ方宜イト云フヤウナ考ヘナラ  
 ナイヤウニ、米ヲ作ルヤウニシテ、農民ヲ  
 シテ一生懸命ニナルヤウニシナケレバナラ  
 スト云フコトニ付テハ、此ノ早害對策ヲナ  
 サル上ニ付テ、私ハ之ニハ救助ノ仕方ガ  
 アリ、補助ノ仕方ガアリ、或ハ補助ノ仕方ガ  
 アルノデハナイカ、個人ノ救済ナラバ宜シ  
 イガ、更ニ此ノ損害ヲ直接ニ補償シテヤル、

賠償ト云ハバヤカシイガ、兎ニ角援助シテ  
 ナル、是ハ結論的ニハ稍似タ所ニ行キ、結  
 果ハ同ジヤウニナリマスガ、出發點ニ於テ  
 多分ナ其處ニ違ヒガアル、此ノ點ニ於テ私  
 ハ一ツ政府ノ御方針ヲ承ツテ置キタイ、是  
 ガ實ハ根本デス、私ハ先刻申上ゲタ、事務  
 當局ノヤリ方ニハ敬意ヲ表シ満足シテ居リ  
 マス、併シ根本ニ對シテ満足シテ居ラス  
 ト云フノハ其處ナンデス、唯労働賃銀ヲヤ  
 ル、今ノヤウナ計算ヲ以テ労働賃銀ヲ與  
 テ、サウシテソレニ依ツテ生活ニ必要ナル  
 ヲ買フ代金ヲヤルト云フ、ソレダケノ方法  
 デナクシテ、更ニ國家ノ爲ニ米ヲ増産シナケ  
 レバナラスト云フ、増産計畫ニ付テハ從來  
 カラアリマスカラ、其ノ事ダケデハ今更  
 根本對策ニナラス、其ノ早害對策ノ中ニサ  
 ウ云フ國家的ノ立場カラ根本對策ヲ御ヤリ  
 ニナルコトガアリマスガ、ソレヲ御聽シテ  
 モウ一ツ根本ニ付テ深キ御考ヲ伺ヒタイ、  
 此ノ點ニ付テハウキリシタ御決心ヲ御答  
 願ヒタイノデアリマス

○山道委員 只今大臣ノ御答辯ハ私ト氣持  
 フ同ジウスルト云フ御話デアリマシテ、實  
 ハ私ソノナコトヲ御尋セヌデモ大臣ハ其ノ  
 氣持デアラウト思ツテ居リマシタガ、私ノ  
 申シマスノハ、此ノ應急對策ノ建前ガ、  
 其ノ計算ノ根本ノ御考ガ、今申サウニ被  
 害民救済、ソレニ飯ヲ食ハストカ、勞賃ヲ  
 ナルト云フダケノ建前デ豫算ガ出テ居ルノ  
 デアツテ、今申サウニ國家的ニ國家ガド  
 ウスルンダト云フコトガ、少シモ現ハレテ

ノ各省ノ持出シテ居ル金額ヲ合セテ考ヘマ  
 スト、相當ノ事業ノ要求ニ相成ルノデアリ  
 マス、ソレカラ本豫算トシテ私共ノ省トシ  
 テヤツテ居ル林道、其ノ他農業關係ノ被害  
 地方面ニ行クベキ所ノ豫算ト云フヤウナモ  
 ノモ併セテ考ヘテ、今回ノ災害ニ對シテ政  
 府トシテハ此ノ程度ノ負擔ヲスルト云フコ  
 トガ、或ハ及バナイ中ニモ其ノ程度出セバ、  
 僅ニソレニ及ブノデハナカラウカ、地方民  
 ニ對シテ失望ヲ與ヘタト云フヤウナ御言葉  
 ニ對シテ、私ハ地方ノ農民ガ必ズシモソレ  
 デ直チニ失望シテ事ヲ拋棄スルトカ、サウ  
 云ツタヤウナ考ヘナルトハ信ジマセヌケレ  
 ドモ、多少勇氣付ケテ居ツタモノガ、  
 此ノ豫算ノ金額ヲ見テ失望ノ感ジヲ持ツ  
 云フ點ハ、是モ御話ノ通りニ或ハアルデ  
 ラウト思ヒマスガ、何分ニモ今日ノ時局ガ  
 斯ウ云フ際デアリマスルカラ、ソレ等ノ點  
 ニ付テモ忍ビ難キヲオ五ニ忍ブ、斯ウ云フ  
 考ヲ以テ此ノ點ハ地方ニ對シテ指導或ハ御  
 導キノアルヤウニ、民心ヲ安定セシムルヤ  
 ウニ御協力ガ願ヒタイ、根本ノ考ヘ方ニ付  
 テハ山道サンノ御述ニナルコトト何等政府  
 トシテハ變ツタ考ヲ持ツテ居リマセヌ、是  
 ダケ申上ゲテ置キマス

居ラスノチヤアリマセヌデセウカト云フコ  
 トヲ御尋シタノデスガ、ソレデハモウ少シ  
 私ハ具體的ニ申上ゲテ、第二ノ質問ト一緒  
 ニ併セテ一ツ御尋致シマス、實ハ私ノ申ス  
 ノハ、先ニ申シタ地方民ガ満足シテ居ラス  
 ト云フコトハ、五割ノ減收トカ、或ハ收  
 穫皆無トカ云フヤウナ御考ヘ方ガ、平生ノ  
 場合ナラバ是ハ大變當リ前ノ御考ヘ方デア  
 ル、例ヘテ申シマスレバ、火災ガ起ツタト  
 カ、水害ガ來タトカ云フヤウナ急激ナ動  
 激ナ災害ガ來マシタ場合デアリマス、例ヘ  
 バ家ガ全部燒ケタト牛焼ニナツタト云フ  
 コトノ間ニハ、ハツキリ區別ガアル、ソレ  
 ハ勿論丸焼ニナツタ者ヨリモ、半焼ニナツ  
 タ者ノ方ガ何ボカ殘ツテ居ル、サウ云フ急  
 激ナ動激ノ災害ト違ツテ、今更ノ災害ハ或  
 ル意味カラ申シマスレバ、靜的ナ災害トデ  
 モ申シマスガ、其處ノ眼ノ前ニ死人ガ出來  
 タトカ、此處ノ家ガ潰レタトカ云フヤウナ  
 モノデハナクテ、何十日間ジワ／＼ヤツテ  
 來テ、結局收穫皆無ニナツタ、植付ノ出來  
 ナカツタ者モ收穫皆無デアリマスガ、植付  
 ヲシテ肥料ヲヤリ、水ヲヤリ、除草ヲシテ、  
 色々ナコトヲヤツテ到頭八月ノ末、九月ノ  
 末ニナツテ、結局稻ガ枯死シテシマツタ、  
 是モ收穫皆無デアル、此ノ收穫皆無ト植付  
 ノ出來ナカツタ收穫皆無ト一緒ニシテ、  
 唯收穫皆無ト云フ考ヲ以テヤラレル所ニ、  
 物ノ間違ヒガ起ツテ來ルノチヤナイカト思  
 フ、是ハ平生ノ所謂水害デアルトカ、火災デ  
 アルトカ、地震デアルトカ云フ災害ト、今更  
 ノ早害ノ禍ト云フモノハ、其處ニ非常ニ差ガ  
 アル、デスカラ六割ノ收穫ガアツタトシマシ  
 テモ、一反ニ二石獲レル田地カラ六割ノ一石  
 二斗ノ米ガ獲レラト致シマシテモ、ソレハ

植付ガ出來ナカツタ收穫皆無ヨリハ被害ハ  
 多イノデス、植付ノ出來ナカツタノハ、收  
 入モナイガ、損モナイ、本當ノ零デアル、所  
 ガ植付ガ出來タ以上ハ、農民ト致シマシテ  
 ハ何處マデモ其ノ植付ケタ稻ヲ大事ニ育  
 テ、植付ケタ甘藷ヲ大事ニ育テ、之ヲ稔  
 ラシテ、或ル一定ノ收穫ヲ得テ御奉公ヲシ  
 タイ、萬民輔翼ノ一分ヲ盡シタイト云フ其  
 ノ爲ニ、一生懸命ニナツテ手入ヲスル、所  
 ガ段々ト自分ノ家ノ子供達ヤ若イ者ガ出征  
 ヲシテ、勞力ガ不足ニナツタ、或ハ軍需工  
 業ガ盛ニナリマシテ、其ノ方ノ高イ勞賃ノ  
 所ニ行ツタ、内務省ノ河川工事ニ行ケバ一  
 日ニ何ボニナルカラ其ノ方宜イト云フノ  
 デ、其ノ方ニ行ツタト云フヤウナコトデ、  
 勞力ハ不足ヲシタ上ニ、非常ニ勞賃ハ高ク  
 ナル、ケレドモ稻ヲ作ラヌニハイカスカ  
 ラ、高イ勞賃ヲ何トカ工面ヲシテ不足ノ勞  
 力ヲ補ツテ、手入ヲスル、所ガ段々雨ガ降  
 ラナイ、溜池ノ水ハナクナリ、井堰ノ水ハ  
 ナクナルト云フコトニナツテ來タ、ソコデ  
 色々ナ御尋ヲ買入レル、政府ハ全國ノ御尋  
 ノ有リ高ノ調査ナドヲナサツテ、地方ニ貸  
 付ケルト云フガ、直ニ之ヲ買上ゲ、マダ地  
 方カラ懇ヘテ來ヌ前ニ手配ヲスルト云フ處  
 置、用意ヲ農林省ハシテ居ラス、ソコデ地  
 方民ハ、ポンプヲ買ヒ、高イ動力ヲ使ヒ、高  
 イ油ヲ使フ、サウシテ一反當リ十圓ナリ十  
 五圓ト云フ高イ水代灌漑ヲシタ、ソレカラ  
 肥料ヲヤラス譯ニハ行キマセヌカラ、不足  
 デ高イ肥料ヲ入レタ、除草ヲシマスノニモ  
 色々勞力ヲ使ツテ居ル、甚シイノハハ私  
 ガ言フマデモナク、土瓶ニ水ヲ入レタリ、  
 「ビール」場ニ水ヲ入レタリシテ、一本ツツ  
 ノ稻ノ根ニ水ヲ配ツテ注イデ歩クト云フヤ

ウナ、實ニ慘澹タル努力ヲシテヤツテ居  
 ル、ソレヲ八月ノ末マデ續ケテ見タ所ガ、  
 八月ノ末ニ到頭全部ノ稻ガ枯死シテシマ  
 タ、九月ノ初ニナツテ全ク收穫皆無ノ論メ  
 ヲ付ケナケレバナラナカツタガ、ソレマデ  
 ニ入レタ金ト云フモノハ、中國地方ニ於キ  
 マシテハ灌漑用水ノ金ナラ、勞賃ナラ、肥料  
 代ナラ一切ヲ入レマシタナラバ、ドウシテ  
 モ一反當リ八十圓、米一石ニ付テ七八十圓  
 ノ高イ金ヲ入レテ、サウシテ收穫皆無ニナ  
 ツタ、其ノ中デ六割ノ收入ガアツテモ其ノ  
 六割ノ收入ガ假ニ一石四十三圓ノ相場デ賣  
 ルト致シマシテモ、結局收穫皆無以上ノ損  
 デアル、米價ヲ四十三圓ニ上ゲテ賣ツテソ  
 レ賣ツテ見タ所ガ、一反年二石ノ收入ガア  
 ヲタモノト六割ノ一石二斗ノ收入ガアツ  
 デ、ソレヲ全部賣ツテ金ニ換ヘテ見タ所ガ、  
 尙ホ生産費ハ一反步デ二十圓、三十圓ノ食  
 込ミデアル、斯ウ云フ状態ニナルト收穫皆  
 無トコロデハアリマセヌ、六割ノ收穫者、  
 七割ノ收穫者ハ、マダ植付ヲシナイデ收穫  
 皆無ノ時ノ方ガ、農家ノ勘定カラ申シマス  
 レバ、餘程仕合セダ、勿論收穫皆無ノ者ヲ  
 救済スルノハ宜イノダガ、六割以上ノ收入  
 ノアツタ者ハ救済シナイト云フ御意見ヂヤ  
 ナイガ、今ノ金ノ算出ノ仕方ニ依ツテ、  
 六割以上ノ收入ガアツタ者ハ入レテ居ナイト  
 云フコトニナツタナラバ、是デハ徹底シタ  
 救済ノ意味ガ含マレテ居ルデセウカ、此ノ  
 點ニ於テ私ハ普通ノ災害ト同ジヤウナコト  
 ニ考ヘテ、時局匡救費デアルトカ、或ハ一  
 般ノ天災地變ノ災害ト今更ノ慘害ト一緒  
 ニシテ、其ノ金ノ計算ノ基礎ヲ置カレル  
 ト云フコトハ、其ノ根本ニ於テ考ヘ方ニ  
 間違ヒガアル、ソレハ其ノ目算ヲ六割ニ



置イタカ、七割ニ置イタカ、或ハ八割ニ置イタカト云フヤウナサウ云フ細カク何割ニ目安ヲ置キナサト云フヤウナコトヲ私ハ申スノデハナイ、假ニ免租ノ限度デアアル五割ヲ今度ノ計算ノ基礎トナサレトコトガアツタラバ、其ノ點ニ於テ今度ノ應急對策ノ金ノ算出ノ仕方ガ間違ッテ居ルト思フ、金ノ多或少ハ別問題ナラ、ソレハ結果カラ來ル、私ノ言フハ三千万圓ハ少イカラ億ニシタラ宜シ、ソノナコトヲ私ハ言フニチヤナイ、唯最後ノ結論ニ於テハ金額ガ多イトカ、是デハ足ラヌトカ私ハソノナコトヲ言フニチヤナイ、ソノナコトヲ言フツテテ國家ノ財政ニコソナ無難金ヲ出セルモノチヤナイデアリマスカラ、理窟ノ上ニ於テ、是ハ斯ウ云フ道理デアルカラ出シタノダ、ソレデナケレバ國家ノ爲ニイカヌチヤナイカト云フコトヲ得心サセルコトニ於テ、初メテ國民ハ喜ンデ其ノ救済ニ感謝シ、喜ンデ自分ノ業ヲ勤ムコトニナルデアリマスカ、今ノヤウナ計算ノ仕方デハ唯收穫皆無、收穫皆無ト云ツテ、八月ノ末ニ收穫皆無ニナツタモノモ、植付ノ出來ナカツタモノモ同ジヤウナ收穫皆無デ、現ニ中ニハ今言フヤウニ「ゼロ」ヲ越シテ、「マイナス」ニナツテ居ル状態ノモノモアル、ソレヲ見テ賈ヘスト云フコトデハ私ハ甚ダ殘念デアル、又縣ニ依リマスト、收穫ノ五割以上減少シ土地デナケレバ、金ノ配分ガ出來スト云フデアレバ——今回ノ配分ハ惡イトハ申サス、今回ノ配分ハ能ク出來テ居リマスカ、他日今ノ當局者デナイヤウナ人が約子定規行ツテ、五割以上ノ收穫ノアツタモノニ對シテハ此ノ早害ノ救済ノ割當

ヲシナイト云ツタラ、或ル一郡ダケ早害ノアツタ縣ガアル、其ノ一郡ハ非常ニ徹底ナ被害デアツテ八割ノ減收デアツタトスル、或ル縣ハ全縣ヲ通ジテ八割ガ早害ヲ受ケテ居ル、其ノ縣ノ大部分ガ早害ヲ受ケテ居ル、然ルニ部分的ニ見レバ或ル特別ナル町村ダケ八割ノ被害ヲ受ケテ、他ノ所ハ五割以上ノ收穫デアルト云フヤウナ所ニ配分ガ行ツテ、本當ノ被害ヲ受ケテ居ル「マイナス」ノ所ガ配分ヲ受ケナイ、僅ニ一小部分ガ徹底的ニ被害ヲ受ケテ居ル、今度ノ應急配分ガ行クト云フコトニナル、今回ノ配分ハ宜イ、今回ハ事務當局ノ方デ公平ニヤラレタカラ不平ヲ持ツテ居ル者ガナイ、所ガサウデナシニ形式ニ因ハレテ形ヲ違フテ行クト云フ當局者ガ居ル時ニ、コソナ事件ガ出來タナラバ、トシテモナイコトガ出來ル、僅ニ部分的ニ深刻ニ被害ヲ受ケテ所ニ大キナ金ガ行ツテ、全縣ノ八割ガ被害ヲ受ケテ居ル所ニ比較的輕イ程度デアル「マイナス」ノモノモ、五割ヲ標準ニシテ居ルカラ輕イ程度ニナル、斯ウ云フヤウナ方ガ皆納得ニ行カナイ、金ガ少イ、金ガ少イト云フハ無茶苦茶ニ金ヲ取ラト云フデアリ、金ガ少イト云フノハ、根本ノサウ云フ計算ニ於テ違フ、時局匡救費デアル、一般ノ火災デアル、水害デアルト同ジヤウナ考ヘ方ヲシテ、其ノ案ノ根本ヲ立テト云フコトニ間違ガアル、之ヲ改メナイカト云フコトヲ御察シテ居ル、之ヲ私ガ申スハ本年モ亦早害デアルノチヤナイカト云フコトヲ心配シテ居リマスカ、此ノ豫算ヲ議シタダケデハ濟マスカ、又或ハ斯ウ云フコトヲ二度モ三度モ繰返スコトガアツテハナラヌトス、其ノ爲ノ所謂政府ノ早害對策デアリマスカラ、後

非常ナ裕リガ出來ル、ソレヲ或ル規格ニ嵌メテ仕事ヲセヨト云フコトニナリマスカラ、設計技術者ヲ要ル、設計ノ技術者ヲ要ル、設計ノ技術者ハソノ無限ニ澤山居ルモノデハアリマセヌカラ、其ノ技術者ノ設計ガ間ニ合ハナイ、ソレデ或ル時期マデニ仕事ガ出來ナイカラ金ヲ使ヒコナセナイデアツテ、何ボ努力ガ不足シテ居ツテモ、此ノ位ノ僅カナ金ヲ地方デ使ヒコナセナイト云フコトハ、アルベキモノチヤナイ、期限ヲ限ラレテ、サウシテ或ル種ノ設計案ガ出來テ、其ノ設計ニ依ツテ金ヲ出サナケレバ、ヤツテ行ケナイト云フコトニナルカラ、結局ハ時局匡救ノ事業ニ關係シタ人ニ、色々犯罪人ヲ澤山出スト云フヤウナ、延イテハソノナコトニナラヌトモ限ラヌコトニナル、此ノ點ニ付テハ御考慮願ヘル餘地ガアルノカナイカ、此ノ點ヲ承リタイノデスカ、此處ニ私ハ根本ノ缺陷ガアルト思フ、又是ガ爲ノ應急對策トシテハ、個人ト致シマシテモ今申上ゲルヤウナ出テ働ケル者ハ宜イガ、出征軍人ノ遺家族トハ女子供ヲ老ヤ人ナシテ、此ノ人達ハ道ヲ修繕ニ行ツタリ、池ヲ直ス手傳ニハ行ケス、米ヲ作ルニサヘ部落ノ人ノ援助ヲ受ケテヤツテ居ル、ソレガ勞賃ヲ受取ル勞働ニ行ケル管ハナイ、又地方ニハソレノ「家柄ガアリマシテ、假令落チテ貧乏シテ居ルカラト云ツテ、直ダニ小作人、日傭人ト一緒ニ出稼ニ行ケナイ事情ノ者モアル、今回早害地デ困ツタノハ是デス、ソレデスカラ根本的ニ指示ノ仕方ニ於テ私共ノ考ト違フ點ガアリ、同時ニ納得セヌ所ガアル、其ノ金ノ使ヒ方ニ付テモ、實地ニ町村ニ即シタ仕事デアラナラバ何デモヤラス、金ヲ落スノガ目的デアラカラ、

又恆久對策ノ豫算ガ出マシタ時ニモ申上ゲヨウト思ヒマスカ、今私ハ之ヲ一ツ能ク考ヘテ豫算キマシタラバ、恆久豫算ノ組ム時ノ參考ニモナルト思ヒマスカ、同時ニ御答ヲ戴キタイノハ、ソコデ此ノ金ヲ御出シ下サツタニ付テ、地方ガドウ云フ譯デ色々ノコトヲ言ツテ居ルカ、是程政府ガ思切ツテ金ヲ出シタ、當局ノ方ノ御話ヲ聽ケバ、前例ノナイ程ノ金ヲ出シタ、ソレ程ニ金ヲ出シテ貰ツテ、ナゼ中國、北九州方面ノ者ガ不滿ノヤウナコトヲ言フカト云フト、是ハ非常ニ理由ガアル、私ガ或ル政府ノ方ニ聽イタ時ニ、サウ澤山ニ金ヲ出シテモ使ヒコナセナイト云フ話デアル、如何ニモソレハ一寸見レバ、サウ澤山ノ金ヲ使ヒコナセナイカモ知レマセヌガ、ソレハ思違ヒデアル、現ニ此ノ豫算ヲ見テ御計算ニナレバ分リマスケレドモ、何ト申シマシテモ、是ダケノ勞賃トシテ御出シニナツタ、其ノ金ヲ、割ツテ見マシレバドウナリマスカ、一人ノ頭ニ一圓二七、八錢ニナリマスカ、延人員ニ致シマシテ、昨日當局カラ御説明ニナツタノデハ、此ノ金ハ一人一圓デ、假ニ六箇月ト致シマシテモ、今ノ被害ノ戸數ニ割當テテ、果シテ一圓來ルカドウカ、御檢討願ヒタイノデスカ、是位ノ金ヲ地方ガ消化シナイ理由ハナイ、消化シナイノハ何處ニ理由ガアルカ、是モ時局匡救費、其ノ他ノ災害ト同ジヤウニ、或ル時期ヲ切ツテ或ル一ツノ仕事ノ目標ヲ一定ノ規格ニ嵌メテ、劃一的ノ方針ヲ御ナリニナルカラ、地方ノ事情ニ即シテ居ラヌ、ソレガイケナイ、例ヘバ昨年ノ臨時縣會際ニ出シマシタ金ヲ以テ、朝鮮人ガ澤山働イテ居ル、或ハ早害ト直接關係

道ヲ直シ、川ヲ直シ、池ヲ作ルト云フコトハ、ソレガ此ノ早害對策デアリマスカ、此ノ應急對策ノ中ニハ、ソレヲヤルト同時ニ勞働賃銀ヲ落シテヤルノガ、ソレガ根本ノ方針デアルトスルナラバ、地方ノ實際ノ事情ニ即シタヤウニ金ヲ使ハスト云フコトデナケレバイカヌ、更ニモウ一ツハ、今申サウ「マイナス」ノ状態ニ入ツテ居ル農民——生産費ガ時價ノ米ノ相場ヨリモ高クナツテ「マイナス」状態ニ入ツタモノハ何カノ方法ニ依ツテ救済シテオヤリニナルコトガ、此ノ案ノ中ニ何ボカ現ハレテ居リマスカ、含マレテ居リマスカ、或ハ應急對策ノ中ニモ、サウ云フコトニ付テ御考ガアルカナイカ、是ガ今ノ私ノ一ト二トヲ合セテ質問デアリマスカ、ソレニ御答ヲ願ヘルバ大變結構デアリマスカ

對シテ、後ニナレバ無駄ニナルヤウナ費用マデモ掛ケテヤツテ居ル苦心ト云フモノニ付テハ、實際事情ニ即シテ見テ居リ、又體驗セザル者ノ想像ノ出來ナイモノデアルコトハ、能ク承知致シテ居リマスカ、唯其ノ根本ノ考ヘ方ニ付テハ、違ツテハ居ラヌトデアリマスカ、繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスカ、豫算トシテ之ヲ要求シテヤルト云フ場合ニ於キマシテ、ソレニ對シテ適當ナル處置ヲ執ルト云フコトガ、應急及ビ恆久ノ對策トシテ計上スル豫算ノ上ニ於テハ、ソレガ難カシ、然ラバサウ云フ結果ニ於テ生ジタ貧困、或ハ農民ノ經濟ノ不如意、隨テ自治體ノ状態ガ惡クナツタ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、是ハ左様ナ善後救済ノ直接ノ處置ト云フコトデナシニ、更ニ他ノ方面カラ、私共ノ所管ニ付テ申シマシレバ、農村ノ更生計畫ト云フヤウナモノニ付キマシテ、農村ニ於ケル負債ノ整理、又農村ノ建替ヘト云フヤウナコトニ付テ、御承知ノ通りニ當時ノ計畫トシテヤツテ居リマスカラ、早害地方ニ於ケル早害被害民ノ簡簡ニ生ジタ財政上ノ事情等ニ付キマシテハ、之ヲ他ノ方面カラ考ヘ、救済ノ途、立直シノ途ヲ講ズルノ方法ヲ執ラザレバ得ナイ、又執ルコトガ適當デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、御意見ノ點ハ能ク拜聴致シマシ、又只今御述ニナリマシタ早害地ノ狀況ハ、山道君ノ御演說ニ依リマシテ十分徹底シテ、當局モ能ク理解シテ居ルト考ヘテ居リマスカ、而シテ之ニ對スル救済ノ土木事業ニ關スルコトニ付キマシテハ、是ハ内務大臣ノ然ルベキ御答辭モアラウカト思ヒマスカ、此ノ點ニ付キマシテハ農業關係ノ方カラ言ヒマスト、是ハ御承知ノヤウニ床輪ヲ致シマスト



規ヲ素ツタリ、規定ヲ破ツタリスルヤウナ  
コトハナサラスデセウケレドモ、其ノ御方  
針ニ沿フテアラレト私ハ信ジマス、又信ズ  
ベキ理由ガアル、其ノ點ハ今大臣ハ内務大  
臣トモ御相談シテ云フ御話デアリマシタ  
カラ、其ノコトヲ是非御相談ニナリマシテ、  
事務當局ト打合せシテ、左様御取計ヲ願フ  
ヤウニ御願シテ置キマス、特ニ委員長ニ御  
願申上テテ置キマスガ、此ノ場合恒久對策  
ニ付テノ豫算ノ査定ニ付テハ、大蔵大臣ニ聽  
イテ貰ハナケレバナラスコトデアリマス、  
大蔵大臣方來テ居ラレマセウコトヲ私ハ甚  
ダ遺憾ニ思フ、是ハ極メテ重大ナ事柄デア  
リマス、實ハ或點カラ申シマス、曩ノ巨  
救事業費ナドノ豫算ガ、殆ド大部分意味ヲ  
失ツタト云フコトハ、斯ウ云フコトニ原因  
シテ居ルト思フ、ソコデ大蔵大臣方今日此  
ノ豫算總會ノ席ニ來テ下サラスト云フコト  
ヲ、私ハ非常ニ遺憾ニ思ヒマスガ、此ノ點  
ハ委員長方特ニ大蔵大臣ニ、或ハ大蔵省  
ノ政府委員ノ方カラデモ御聽キ下サツテ、  
大蔵大臣ニ御傳達ヲ願ヒタイト思フ、最後  
ニモウ時間ガナイヤウデアリマスカラ、一  
ツダケ一寸御伺致シマス、實ハ私カラ申シ  
マスト、今申スヤウニ應急豫算ニ付テ、モウ  
少シ方法ヲ考ヘテ載キタイ、基本ノ考ヲ  
直シテ載ケバ、自然ニ結果ハ殖ニテ來ルノ  
デアリマセウガ、併シ既ニ追加豫算ノ御提  
出ニナツタ今日ニ、サウ云フコトヲ今更言  
フテ見マシタ所ガ、ドウニモナル譯デナイ  
ノデ、是ハ進モ素人莫イコトヲ言フダケノ  
コトデアリマスカラ、私ハ申シマセウ、併  
シ五月一杯マデノ金ハ既ニ御見積リニナツ  
タ、六月以後ハ農繁期ニ入りマセウケレドモ、  
此ノ際ニ何トカ御方法ヲ講ジ下サルコトガ

必要デ、應急豫算トシテイケナイナラバ、  
恒久豫算ニ付テソコヨ十分ニ御考願ヒマス、  
殊ニ此ノコトハ今申上ゲルベキコトデナ  
イ、別ノ機會ニ申上ゲルコトデアリマセウ  
ガ、農林大臣並ニ農林事務當局ハ、非常ニ  
御決心ヲ以テ、前内閣ノ豫算ヲ踏襲スルト仰  
シヤルガ、前内閣以上ニ御考ヲ御決メ下サ  
ツタヤニ聞イテ居リマス、サウ云フ點ニ於  
テ私ハ非常ニ満足ヲシ、敬意ヲ表スルノデ  
アリマスガ、同時ニ内務省ニ於キマシテモ、  
相當ニ御努力ヲ下サツタコトヲ、大臣ナリ  
事務當局ノ方ニ感謝シテ置キマスガ、此ノ  
恒久豫算ヲ大蔵省ニ於テ御査定ニナル場合  
ニ、斯ウ云フ點ニ付テ十分、恒久豫算ニ於  
ケル所ノ其ノ足ラザル所ヲ補フヤウニ意味  
ニ於テ、御査定ヲ載キマスヤウニ、是ハ大  
蔵大臣ニ御願スルト同時ニ内務大臣、農林  
大臣共ニ其ノ點ニ付テハ御協力ヲ願ヒ、齎  
發シテ載キマスヤウニ御願ヲ致シマス  
唯ココデ一寸御尋シテ置キタイノデス  
ガ、昨年早稲ニナツタカラト云ツテ、昨年  
ノ米ヲ昨年食フデハナク、昨年ノ食フダケ  
ノ飯米ハ何ボカソレノ用意シテ居ツタノ  
デアルカラ、一番困ルノハ本年ガ、此ノ夏、  
端境期以後ニナツテ、昨年早稲デ飯米ガ無  
クナツタコトガ一番困ル、現ニ昨年ノ如キ  
ハ小作人ノ中ニハ、アナタ方モ田舎ニ田  
地ヲ持ツテ居ラレル方ハ能ク御體験デセウ  
ガ、昨年早稲當時ニ、明年ノ飯米ヲ用意シ  
テ貰ハナケレバ、私共ハ軍需工業ニ轉スル  
ト言フ、永年小作サシテ居ツタノハ、サウ  
轉スルヤウナコトハアリマセウガ、併シナ  
ガラ背ニ腹ハ代ヘラレマセウカラ、明年ノ  
飯米ノ用意ヲシテ載カケレバ私共ハ永年  
ノ小作シカ、ソレヲ捨テテ他ニ轉業サシテ

貫ヒマスト言フノデス、是ハ御體験ノ方ガ  
多イト思フ、サウ云フナヤウコトニナツテ  
居リマスノハ、昨年ノ早稲ニ依ル飯米不足  
ノ影響ガ現ハレテ來ルノハ此ノ夏カラデ  
ス、是ガ全ク困ル、此ノ點ニ付テ何カ御考慮  
ニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、東北ノ冷  
害ノ際ナドハ左様ナ非常ニ困ツタ者ニハ、  
政府ノ持米ノ貸下ヲ行ヒマシタ、今度モ或  
ハ現品ニ於テ米ノ貸下ヲナサルカ、政府ハ  
サウ云フコトヲ御研究ニナツテ居ルカモ知  
レマセウガ、米ヲ貸スコトガ出來ナイトス  
レバ、其ノ飯米ヲ買フ代金マデモ低利ヲ融  
通シテヤル御考ガアルカ、斯ウ云フナヤウ  
點ニ付テハ私ハ一應御言明ヲ得テ置キタ  
イ、是ハ大切ナコトデ、是ガ一體現實ニ即  
シタ問題デアリマスカラ、之ニ付テ政府ト  
シテノ御考ヲ一寸承ツテ置キタイ、同時ニ  
ソレニ影響シマスコトハ、モウ是以上申  
上ゲルコトハ時間ヲ費シマスカラ止メマス  
ガ、恒久豫算ノコトデス、今私ガ申上ゲタ  
ヤウニ農林省ニ於テモ、内務省ニ於テモ相  
當豫算ヲ編成サツテ居ルコトト承ツテ居  
リマスガ、殊ニ私ハ内務大臣ニ御伺シテ置  
キタイコトハ、内務省ガ大蔵省ニ御要求ニ  
ナリマスル恒久豫算ノ金額ヲ幾許ニヤラレ  
ルカト云フコトヲ茲ニ御言明下サイトハ申  
シマセウ、サウ云フモノハ大抵金ニモ限リ  
ガアルコトデアアルカラ萬遍ナクヤルコトハ  
出來ナイ、又ソレナ金ヲアツチコツチニ備  
カツツ水ヲ撒クヤウニナツタノデハ效果  
ガ少イト思ヒマスカラ、或ル程度重點主義  
デオヤリニナルコトハ結構デスガ、此ノ點  
ニ付テ今年イケナカツタラ、第一次デイケ  
ナカツタラ第二次デ、第二次デイケナカ  
ツタラ第三次ト云フヤウニ、漸次計畫ヲサ

レルヤウニ、サウシテ農林全般ニ對スル計  
畫デ、唯一時ノ早稲ヲ救済スルコトデハナ  
ク、恒久對策ト云フコトハ日本全國ノ農村  
ニ對スル關係ヲ持ツノデアリマスカラ、サ  
ウ云フ計畫ヲ持ツテ居ルノデアルカ、若シ  
内務大臣方サウ云フコトヲ言フト、大蔵省  
ノ方デハ次々ニ要求シテ來ルコトヲ、大蔵  
省ハ今後ノ豫算ノ査定ニ對シテ辛クシヤシ  
ナイカト云フヤウニ御懸念ガアルカモ知レ  
マセウガ、私ハ大蔵當局ガサウ云フヤウナ  
コトヲ考ヘテ、此ノ最モ必要ナル所ノ、急  
ヲ要スル問題ニ付テ辛ク、同情ノナイヤリ方  
ヲナサルトハ思ヒマセウカラ、其ノ點ハ御  
懸念ナクヤツテ下サイ、又サウ云フコトガ  
アリマスレバ、私ハ何處ニデモ大蔵省ニ此  
ノ事ヲ強ク申上ゲ、御協力致シマスカラ、  
此處デハウキリ御方針ヲ示シテ載キタイト  
思ヒマス、殊ニ出來マスルナラバ内務省ト  
シテ思切ツタ御計畫ヲ示シテ、不足ナラ不  
足致シマスト云フコトヲハウキリシテ置カ  
ナイト、後ニナツテ彼此申上ゲルコトハ  
駄目ナノデアリマス、若シ許サルコトデ  
アルナラバ、此ノ場合ニ一應御説ヲ明承ツ  
テ置イテ、私共ノ心ヲ資ニ供シタイト思ヒ  
マス、是ダケヲ御答辯願ヒマス  
○島田國務大臣 只今ノ山道君ノ御尋ニ對  
シマシテ廣島、山口、岡山ノ被害ノ甚大デ  
アツタ點ニ於キマシテ、米ノ減收、隨テ食  
糧ニ付テ不安ト云フコトニ付キマシテハ、  
是ハ政府ト致シマシテ政府ノ所有米ヲ漸次  
増強スルヤウニ計畫致シテ居リマスカラ、  
此ノ飯米ノ問題ニ付テ被害縣ニ於テ不足ヲ  
來スト云フヤウナコトノナイヤウニ、殊ニ  
廣島縣ノ如キハ廣島ト云フ一ツノ大キナ消  
費地ヲ控ヘテ居リマスカラ、左様ナ處ノナ

イヤウニ萬全ヲ期シタイ、尙ホ被害民ニ於  
テ特ニ飯米ガ不足ヲ來スト云フヤウナ時ニ  
於テ、之ヲ購入スルダケノ資力ニ缺ケテ居  
ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是マ  
デノ冷害其ノ他ニ於テ政府ガ執ツテ居ル處  
置ノ例モアリマスカラ、適當ナル處置ヲ執  
ルヤウニシテ、地方民ニ其ノ點ニ於テ不安  
ノナイヤウニ善處致シタイト思ツテ居リマ  
ス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス  
○兒玉國務大臣 内務省ノ關係ト致シマシ  
テ、應急處置ニ於キマシテハ、只今御述ニ  
ナリマシタ通りニ大體窮民ノ救済ト云フコ  
トニ重キヲ置イテ致シタノデアリマス、ソ  
レニ引續キマシテ恒久對策ヲ講ジナケレバ  
ナラナイノデアリマス、其ノ方針ハ只今御  
話ノヤウニ大體將來セウ云フ災害ノ再ビ起  
ラナイヤウニ、所謂國土保全ノ上カラ永久  
ノ策ヲ立テ行カケレバナラス、ソレデ  
今回應急對策トシテ差當リノモノヲ載セ、  
更ニ將來ニ互リマシテ何カ適當ナ方法ヲ講  
ジテ、繼續的ニ之ヲ要求シテ行クト云フ事  
柄ハ、内務省トシテ執ルベキ方針ト考ヘテ  
居ルノデアリマス、而シテ御承知ノヤウニ  
今回ノ應急處置ハ十月ノ末ニ一旦打切りマ  
シテ、土木費ヲ復活シテ之ヲ先ヅ救済ニ充  
テ、更ニ豫備金又ハ追加豫算ト云フヤウナ  
コトニナツテ居リマスノデ、成ベク迅速ニ、  
サウシテ窮民ノ救済ニ適切ナル方法ニ依リ  
マシテ、實行スルコトヲ考ヘテ居ルノデア  
リマス、隨ヒマシテ道路ガ主ナルモノニナ  
ルノデアリマス、而シテ此處ニ御述ニナ  
リマシタ朝鮮人等ガ救済ヲ受ケルコトニナ  
ルヤウニ、是等ヲ使用シタコトガアルサウ  
デアリマス、併シ只今御話ニナリマシタヤ  
ウナコトハ、或ハ例外トシテアルカモ知レ

マセウケレドモ、原則トシテハ其ノヤウナ  
コトニナラスヤウナ取扱ヲシテ居リマス、  
ノミナラズ今回ノコトハ大體ガ救済ノ意味  
デアリマスカラ、努力ノ點ニ於キマシテモ、  
婦人デモ子供デモ出來ルダケノ利用致シ  
マシテ、茲ニ此ノ勞働ニ對スル報酬ガ全般  
的ニ渡ルヤウナ方法ヲ以テヤツテ行キタイ  
ト考ヘテ居リマスノデ、應急ノ處置トシテ  
ハサウ云フ方針ヲ執ツタト云フコトヲ御諒  
承ヲ願ヒマス  
ソレカラモウ一ツ昨日ノ御質問ニ對シテ、  
一寸御答シテ置キタイト思ヒマス、今回ノ  
地方稅ノ改正ニ依リマシテ御承知ノ通りニ  
還付稅ノ制度ガ行ハレルノデアリマス、今  
回ノ如キ早稲ガ起リマシタ場合ニ於キマシ  
テハ、府縣等ニ於キマシテ財政上ノ歲入ノ  
缺陷ヲ生ズル場合ニ於キマシテモ、還付稅  
ニ依ツテ其ノ缺陷ヲ補フコトガ出來、又町  
村ニ於キマシテ同ジヤウナコトガ起リマシ  
タ場合ニ於キマシテハ、特ニ農村ニ於キマ  
シテハ還付稅制度ノ第三種ノ方法ニ依リマ  
シテ相當ノ救済ガ出來ルコトニナツテ居ル  
ノデアリマス、ソレカラ地方債ニ對スル關  
係ニ付キマシテハ、成ベク低利ノ資金ヲ融  
通スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、利  
子ノ補給ニ付キマシテハ、其ノ事態自身ニ  
依リマスノデ、直ニ此處ニ申上ゲルコト  
ハ出來ナイノデゴザイマスガ、此ノ事態ハ  
十四年度ニ既ニ起リマシタコトデアリマス、  
還付稅ハ十五年度カラ適用サレルノデアリ  
マスカラ、此ノ利子ノ補給等ハ配附稅ノ方  
法ニ依リマシテ救済ガ出來、町村ソレ自身  
ノ課稅力ニ向ツテ缺陷ヲ生ジマスカラ、其  
ノ點ニ於テモ配附稅ノ額ガ多額ニ上ルト云  
フヤウナコトニナリマスノデ、今回ノ地方

稅制ニ依リマシテ、早稲地ガソレニ依ツテ  
恩恵ヲ受ケル專柄ハ必ズシモ小額デハナ  
イ、斯ウ考ヘテ居リマス  
○三土委員 農林大臣ハ米穀法ノ委員會  
ノ方カラ矢ノ如ク出席ノ要求ガ來テ居リマ  
スカラ、先ヅ三木君ノ保留ノ分ダケヲ先ニ  
致シマス——三木武夫君  
○三木委員 一寸簡單ニ申上ゲマス、實ハ  
昨日大臣ノ出席デニナツテ居ナイ時ニ、露  
絲局長ト質問應答ヲ重ネタノデアリマスガ、  
ハ桑園ノ早稲對策ニ付テデアリマス、大臣  
モ御聽キノコトト思ヒマスガ島取、島根、  
岡山、廣島、香川此ノ五縣ハ桑園ノ早稲ニ  
對シテ救済ヲ受ケタ、併シ他ノ德島、愛媛、  
滋賀、兵庫、京都、長野、斯ウ云フ被害ノ  
多イ地方ニ於キマシテハ、部分的ニ如何ニ深  
刻デアツテモ、縣全體ノ率カラ申シマシテ  
廣ノ獲レ高ガ平均過去五箇年ノ獲レ高  
ニ比ベテ三割以上ト云フ基準ヲ設ケラレマ  
シタガ爲ニ、農林省カラ御出シニナツタ統  
計ヲ見マシテモ斯ウ云フ不合理ガアルノデ  
アリマス、例ヘバ香川縣ノ例ヲ取ツテ申シ  
テ見マスト、香川縣ハ三百四十五町歩、是  
ガ七割以上ノ被害桑園ノ減收ニナツテ、五割  
以上ガ五百四十四町歩、斯ウ云フ風ニ減收ノ  
反別ハ非常ニ少イノデアリマスガ、之ヲ除外サ  
レタ德島縣ノ例ヲ取ツテ見マスト、七割以上  
ガ一千八百八町歩、五割以上カラ計算シマス  
ト千五百四十八町歩、斯ウ云フ風ナ甚大ナ被  
害ヲ受ケテ居ル、何處デモ除外サレタ縣ハ斯  
ウ云フ縣ガ多イノデアリマスガ、其ノ被害  
ハ縣全體デナク、一郡トカ二郡トカ固マツ  
テ全滅シテ居ル、此ノ千町歩或ハ千五百町  
歩ノ被害ハ郡全體カ或ハ二ツノ郡位ガ全滅

ヲ受ケテ居ルノデアリマス、縣全體カラ見  
タナラバ或ハ三割以下ト云フヤウナ計數ガ  
出テ來ルノデアリマスガ、併シ早稲地地方民  
ノ救済ト云フコトガ目的デアツタナラバ、  
斯ウ云フ七割以上ノ桑園ノ收穫減ガ千町歩  
以上モアリ、而モソレガ極ク限ラレタ一郡  
二郡ノ養蠶家ガ被害ヲ蒙ツテ居ル、是ガ今  
度ノ早稲對策デニ對スル救済金ガ一錢モ  
與ヘラレヌト云フノガ桑園ニ對スル早稲對  
策ノ政府ノ方針ニナツテ居ルノデアリマス、  
是ハ甚ダ不合理ナモノデアリマシテ、阿部  
内閣ノ當時デモ除外サレタ各府縣ノ代議士  
ガ寄リマシテ、サウシテ農林大臣、總理大  
臣ニ御目ニ懸ツテ、十分其ノ當時ハ不合理  
ナコトヲ認識サレテ、何トカ考慮ヲシヨウ  
ト云フ御話デアツタノデアリマス、島田農  
林大臣ハ早稲地ノ御出身デモアルシ、御理解  
ガ深イノデアリマスカラ、ドウカ此ノ點ヲ  
能ク御調査ニナツテ、何トカ他ノ豫算線  
合シテ、除外サレタ桑園ノ早稲ノ非常ニ甚  
大ナ處ヘ他ノ豫算ヲ廻シ得レバ他ノ豫算ヲ  
廻シ、或ハ昭和十五年デ追加豫算デモ計  
上シテ、何トカシテ此ノ被害ノ甚大ナ桑園  
ノ早稲地ニモ救済ノ手ヲ私ハ伸バシテ載ク  
事ガ妥當デアリシ、ソレガ公正ナ救済對策  
デアルト考ヘテ居リマス、今直チテ的確ナ  
御答辯ガ得ラレナケレバソレヲ調査ノ上デ  
何トカ之ヲ救済シテヤルト云フ言明ヲ得タ  
イト思ヒマス  
○島田國務大臣 全體ノ早稲ノ場合ニ或ル  
府縣、或ル地方ニ於テ特定ノ一部分ニ深刻  
ナ被害ヲ蒙ツタモルガアル、地方々々ノ關  
係デ被害ノ深刻ノ程度ニ拘ラズ、區域ガ非  
常ニ狭カツタト云フヤウナ爲ニ、早稲ニ對  
スル救済ノ途ガソコニ及ンデ居ナイ、斯ウ



云フコトハ御話ノ通りニ能クアルコトデア  
リマスシ、又全體ノ上カラ見マスト云フコト  
サウ云フコトガ已ムヲ得ナイト云フヤウナ  
コトヲ看過サレテ居ルコトガアルヤウデア  
リマス、只今ノ御話ノ要領ニ對スル點ノ如  
キハ、即チ其ノ一ツデアリマス、是ハ御話  
ノ通りニ能ク調査ヲシマシテ、サウシテ其  
ノ早害ノ度合等ニ付テ考ヘマシテ、之ニ對  
シテ何等カノ方法ヲ講ゼラレルナラバ講ズ  
ルヤウニ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス

○田原委員 農林大臣ニ一ツツケ御尋シマ  
シテ、アトハ政府委員ニ御尋シマス、ソレ  
ハ早害對策ニ對シマシテ地方ニ於キマシテ  
米ノ問題、肥料ノ問題等ヲ相當有力ニ働イ  
テ居リマスル産業組合ニ對シテ最近起リマ  
シタ保險ノ問題デアリマスガ、保險業者ノ  
間デ約二十萬圓ノ反對運動資金ヲ積立テマ  
シテ、此ノ問題ヲ採消シタト云フ噂ガ世間  
ニ擴ガツテ居ルノデアリマス、偶々農林大臣  
ノ御處置ガ結果ニ於キマシテ、農村ニ於ケ  
ル産業組合運動ノ保險ニ對スル進出ヲ中止  
ナサツタヤウニナツテ來ルノデアリマスガ、  
吾々ハ尚ソレヲ残念ニ思ツテ居ルノデア  
リマス、何故ニサウ云フ御方針ニ御出ニナ  
リマシタカ、之ヲ一ツ御伺シテ見タイト思  
ヒマス

○島田國務大臣 産業組合ハ御承知ノ如ク  
法規上農林大臣ノ監督ニ屬スル、農林大臣  
ノ監督ニ屬スル産業組合ガ如何ナル徑路カ  
ラ行キマシテモ、農林大臣ノ監督ノ届カザ  
ル方面ニ其ノ資金ヲ固定シテ働カスト云フ  
コトニ付テハ、是ガ定款其ノ他ノ規定ニ依  
ツテ許サレルモノ以外ハ適當デナイ、斯ウ  
云フ考ヲ以テ監督權ノ作用トシテ處置ヲシ  
タ次第デアリマス

○田原委員 時間ガアリアマセスカラソレデ  
ハ他ノ問題ニ移リマス、内務大臣ガ見エテ  
居リマスカラ内務大臣ニ主トシテ御尋致シ  
マス、先程山道委員カラ質問ノアリマシタ  
救農土木事業ノ實施ノ上ニ於キマシテ其ノ  
地方ノ被養農民ヲ使ハズシテ、仕事ノ便宜  
上カラ半島労働者ヲ使フト云フ弊害ガ非常  
ニ多クデアリマスガ、之ニ對シマシテハ  
先程ノ御答辯デ諒承致シマシタ、頗クハソ  
レヲ地方ノ府縣ノ土木部長ナリ、又警察部  
長ナリニ嚴達シテ置イテ貫ヒタイト思ヒマ  
ス、之ニ關聯シマシテ救農土木事業デ色々  
ナ問題ガ地方ニ起ツテ居リマス、救農土  
木事業ト云フト、是ハ必ズ道路ヲ擴ゲタリ、  
或ハ溜池其ノ他ノ工事ニナルノデアリマスガ、  
道路ヲ擴ゲルト云ツテモ野原ニ道路ヲ擴ゲル  
ノデハナクシテ、附近ニアリマス美田ヲソレダ  
ケ潰スノデアリマス、隨テ是等ノ美田ヲ耕作  
シテ居リマス小作人ガ土地ヲ取上ゲラレル  
ノデゴザイマス、此ノ土地ヲ取上ゲラレル  
ス小作人ニ對スル離作料、其ノ他ノ補償ガ  
殆ド救農土木事業ノ聲ニ隠レテシマツテ、  
幾多ノ問題ヲ起シテ居ルノデアリマシテ、  
私自身モソレニ經驗ガアルノデアリマス、  
豫算ヲ取リマシテ縣ノ地方ハ土地ヲ買フコ  
トニナリマス、サウスルト地主ニ土地ノ引  
渡ヲ交渉致シマス、大體時價ノ二倍ナリ五  
倍ノ金ヲ地主ニ拂ツテ居ルノガ普通デアリ  
マス、サウシマス土地地主ハ其ノ關係小作人  
ニ對シテ所有權ヲ讓ツテシマツ、農、工事ニ  
掛ル時ニナツテ、初メテ小作人ハ自分ノ作  
ツテ居ル田ガ道路ノ下敷ニナルト云フコト  
ガ分ルノデアリマスガ、既ニ其ノ時ニハ土  
木管區ノ仕事ニ移ツテシマツテ居ルノデア  
リマス、隨テ救農土木事業デヤルト云フノ

ニ、同ジ早害農民デアル自分ノ所ノ小作地  
ガ潰レルチヤナイカト云ツテ談判ニ行キマ  
スケレドモ、地主ハ、モウ私ハ田ヲ賣ツタ  
カラ知ラナイ、サウ云フ話ハ縣廳ニ行ツテ  
ヤツテ呉レト云フコトニナリマス、大部分  
ノ小作人ハ泣罷入ヲ致シマスケレドモ、其  
ノ田ガ道路ノ下敷ニナリマスガ爲ニ、田  
地ガバラ／＼ニナツテ三分モ四分モサレル  
ト云フコトニナリマスト耕作上大變面倒ニ  
ナリマスカラ、色々縣廳側ニ交渉スル、サ  
ウスルト農務課ノ方デハサウ云フ事情ハ能  
ク分ツテ居リマスケレドモ、既ニ事業ハ土  
木管區ノ方ニ移ツテシマツテ居リマスカ  
ラ、縣廳ノ方デハソレハ土木管區ニ行ケト  
言フ、土木管區ニ行キマス、是ガ救農土  
木事業デアルカ、普通ノ土木事業デアルカ自  
分ノ方ノ知ツタコトデハナイ、コチラハ命  
令通りヤツテ居ルノダカラ反對スルナラバ  
引括ルゾト云ツタヤウナコトデ、無理ニ其  
ノ工事ヲ豫定通りニ放行スルト云フヤウナ  
例ガ幾多アルノデアリマス、秋田縣ニ於テ  
モ、兵庫縣ニ於テモ、香川縣ニ於テモ、福  
岡縣ニ於テモサウ云フ例ガアルノデアリマ  
スガ、其ノ度ニ種々ナル摩擦ヲ生ジテ居ル  
ノデアリマス、世間ハ之ヲ救農土木ト申シ  
マスガ、實際田ヲ取上ゲラレマシテ道路ノ  
下敷ニナル小作人ニ取リマシテハ、救農ニ  
アラスシテ殺農デアルト云フ印象ヲ與ヘテ  
居ル、サウ云フ譯デアリマスカラ、今回ヤ  
ラレマス土木事業ニ對シマシテハ、是ハ土  
木局ニアラスシテ寧ろ警察局ノ御仕事ニナ  
ルト思フノデアリマスガ、十分ニ調査サレ  
マシテ、地主ニ土地買上ノ金ヲ拂フ場合ニ  
ハ、前以テ取上ゲラレル小作人ト地主トノ  
間ニ話合ヲ進メサセマシテ、地主ニ渡シ金

ノ中カラ半分ナラ半分ヲ小作人ニ渡シ、其  
ノ雙方ノ示談ガ済マナケレバ、假令買賣契  
約ヲシテ居ツテモ現金ハ地主ニ渡サナイト  
云フコトニシテ呉レマス、話ハ地主ト小  
作人ノ間ニ済ムノデアリマスガ、契約ガ成  
立シテシマフト小作人ニハ秘密ニシテ居ツ  
テ現金ヲ地主ニ渡シテシマヒ、直チニ工事  
ニ著手致シマスルガ故ニ、幾多ノ問題ヲ起  
シテ居ルノデアリマス、ソコデ内務大臣ニ  
特ニ此ノ點ニ付テテ御尋明ヲ願ヒタイ、救  
農土木事業ニ對スル被害農民ニ對シテハ内  
務省ガ治安ノ建前カラ之ヲ如何ニ扱フカト  
云フコトヲハツキリ御尋明ヲ願ヒタイト思  
フノデアリマス

○兒玉國務大臣 只今御尋ノ點ハ地方廳ト  
地主、小作人ノ三角關係ニナル問題デアリ  
マス、ソコデ其ノ間ニハ色々異ツタ事情ガ  
存在スルノデハナイカト思フノデアリマス、  
或ハ地方廳ノヤリ方ノ惡イ場合モアリマセ  
ウシ、地主ノ我儘ナ場合モアリマセウシ、  
色々ノ場合ガアラウト思フノデアリマスル  
ガ、是等ノ問題ヲドウスルカト云フコトニ  
付テテ御尋ニ付キマシテハ、個々ノ問題ニ  
付テ研究シテ適切ナル處置ヲ執ルヨリ外ニ  
ハ方法ガナイト思フノデアリマス、併シ  
ナガラ原則ト致シマシテ御話ノヤウナ場  
合ハ、是ハ見殺シニスル譯ニハ行カナイ  
問題ダト思ヒマス、其ノ點ニ付テハ十  
分一ツ注意ヲスルコトニ致シマス

○田原委員 ドウソ其ノ點地方廳ノ末梢神  
經ニ至ルマデ今ノ大臣ノ御方針ガ徹底スル  
ヤウニ御願シテ置キマス

第二ハ、ヤハリ早害對策ノ一種ニナリマ  
スガ、近來工場ガ非常ニ増設サレマスル爲ニ、

工場ノ敷地ニ澤山ノ美田ガ潰レテシマフノ  
デアリマス、工場ヲ新設スル場合ニハ、其ノ  
地方廳ノ工場課ニ設計ヲ出セバ認可ガ下ル  
ノデアリマス、工場課ハ唯工業方面ダケノコト  
ヲ考ヘテ居ル、今福岡縣ノ一例ヲ取リマス、  
毎年々々是等ノ工場ノ敷地ニ潰レマス立派  
ナ水田ガ五百町歩アルノデアリマス、一面ニ  
於テハ政府ハ同ジ豫算ノ中デ、耕地課ヲ通ジ  
テ耕地開墾ヲヤツテ居リマスガ、此ノ耕地開  
墾ニ依ル美田ノ増加ト、ソレカラ現在ノ熟田  
ガ工場ニナリマスル爲ニ喪失スルノトデハ、  
喪失スル方ガ多クナツテ居ルノデアリマス、  
是デハ假ニ早害對策ヲヤリマシタ所デ、恒  
久的ナ米ノ増産政策ニハナリマセヌ、ソコ  
デ特ニ是モ内務大臣ニ御願シテ置キタイコ  
トハ、新シク工場ヲ設置シヨウトスル者ハ、  
事前ニ地主ト話合ツテ田地ヲ買致シマシ  
テ其處ニ設置スルノデアリマスケレドモ、  
其ノ際工場課ダケデ之ヲ認可スルコトナク、  
必ズ耕地課ナリ、農務課ナリ、或ハ場合ニ  
依ツテハ警察關係ナリニ照會致シマシテ、  
原則トシテハ美田ヲ潰サナイト云フ建前デ  
工場ノ新設ヲ許可スル方針ヲ執ツテ置ヒタ  
イ、即チ一町十二町不便デアリマシテモ、  
或ハ山林ヲ開拓サセルトカ、或ハ畑地ニ工場  
ヲ移ストカ云フヤウナ命令ヲ新設スル時ニ  
與ヘマス、多少ノ不便ヲ忍ビマシテモ、  
工場ニ美田ヲ潰サズニ済ムノデアリマスガ、  
其ノ間ノ連絡ガ執レテ居リマセヌカラ、農  
林省系統デハ美田ヲ維持シ耕地ヲ擴張シヨ  
ウトシテ居ルノニ、工場課ノ方デハ自分ノ  
縣ニ澤山ノ工場ガ出來レバ宜イト云フダケ  
デ、ドン／＼百姓ノ土地ヲ取上ゲテ居ル、  
其ノ爲ニ工場敷地ニ決定シマシテ後ニ初メ  
テ此ノ事實ヲ知ツタ小作人ハ地主ト又ヤリ

合フ、サウスルト警察アタリガヤツテ來テ  
結局泣キ罷入ニサシテシマフト云フ例ガ非  
常ニ多クデアリマス、瀬戸内海沿岸ノ各  
地ノ工場、或ハ大阪方面ハ殆ド其ノ爲ニ年  
中ゴタ／＼シテ居ルノデアリマスカラ、將  
來日本トシテハ産業立地計畫、工場立地計  
畫ノ如キモノヲ大體立テテ居ルコトト思ヒ  
マスケレドモ、差當ツテノ問題ト致シマシ  
テハ、新設スベキ工場ニ對シテハ、美田ヲ  
潰サナイヤウナ方針ヲ地方ノ工場課ニ明  
瞭ニ御與ヘ願ヒタイト思フノデアリマス  
ガ、内務大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリ  
マス

○兒玉國務大臣 只今御話ノヤウナ遺憾ナ  
ル現象ハ殊ニ都市ノ近所ニ行ハレテ居リ、  
私モ往々ニシテサウ云フ實際ヲ見ルノヲ遺  
憾ニ感ズルノデアリマス、殊ニ畑ヲ潰スヨ  
リモ寧ろ水田ヲ潰シタ方ガ工場地帯トシテ  
ハ地質ノ上カラ大變ニ工合ガ好イト云フヤ  
ウナコトガアリマス、美田ガ潰サレル  
傾向ガ愈々多ク云フ風ニ伺ツテ居ルノデ  
アリマス、唯此ノ點ハ工業ノ振興ノ上カラ  
見レバ結構デアリマスケレドモ、一面ニ於  
テ只今御話ノヤウナ觀點カラ見レバ何トカ  
之ヲ取締ラナケレバナラヌ必要ガアルト思  
ツテ居リマス、是ハ實ハ内務省ノ方デ國土  
計畫ノ一部ニ屬シテ居リマス問題トシテ研  
究シツアル問題デアリマス、只今御  
話ヲ承リマシタ御趣旨ニ依リマシテ此ノ點  
ニ付テハ篤ト考慮致シタイト思ヒマス

○田原委員 ドウソ御實行下サルヤウ御願  
シテ置キマス、全國デ潰サレテ居リマス  
ル美田ガ三町歩アリマス、是ハ由々シキ  
問題デアリマスカラ、ドウソ綜合的ナ國土  
計畫ノ建前デ、工場ニ對シマシテハ美田ヲ潰

サナイコトノ外ニ電力石炭モ考慮致シマシ  
テ、成ベク今後新シク工場工場ハ東京市附  
近デアルトカ、大阪市附近ニ許サズシテ、  
寧ろ北九州ニドン／＼持ツテ來テ置キタイ  
ト云フコトヲ希望シテ置キマス、彼處ハ電  
力モ餘ツテ居リマスシ、石炭ノ如キモ大分  
餘ツテ居リマシテ、幾ラデモ餘裕ガアルト  
思ツテ居リマス

次ハ折角拓務大臣ガ出デニナツテ居リ  
マスカラ拓務大臣ニ御質問申上ゲマス、先  
般拓務大臣ハ豫算委員會ニ於キマシテ牧  
野議員ト畑陸軍大臣トノ御問答ノ際ニ  
仲裁ヲサレマシテ、今朝ノ新聞ヲ見マス  
ト、又御仲裁ヲサツテ居リマス、ソレハ  
産業組合ノ保險問題ニ付キマシテ、島田農  
林大臣ト前農林大臣有馬氏トノ間デ色々議  
論ノ上ニ於キマシテ中々難マラナカウツ、  
政治問題ニ化シテ云フノデドウナルカト云  
フコトヲ心配シテ居ル全國ノ農民ハ、  
産業組合ニ依ツテ生命保險ガ實行サレマス  
ト、ソレダケ農村ニ金ガ還元スルト云フ觀  
點ト、ソレカラ生命保險會社ハ全國ノ  
農村カラ新シク保險ヲ動誘致シマシテ、オ  
ヤリニ承諾スルノデアリマスガ、第一回ノ  
掛金ヲ拂ヒマシテ後掛金カズニ破約ヨスル  
例ガ九割デアリマス、保險會社經營ノ基礎  
ハ此ノ第一回掛金ヲ掛ツ放シテ破約ヨスル  
其ノ費用十分ニ重役以下ノ賞與マデモ出  
ルサウデアリマス、隨テ今度ノヤウナ農村  
ニ於ケル保險事業ト云フモノハ法規ノ末ニ  
アラズシテ、今ノ農林大臣ノ御聲明ハ全ク  
是ハ法律家ノ御回答デアリマシテ、不満デ  
アリマシタケレドモ、實際上農村ニ金ガ還  
元スル意味ニ於キマシテ寧ろ法規ヲ擴張シ

テ生命保險ヲ産業組合ニナラシメラ宜イ、  
議會内ニ於テハサウ云フ聲ガ少イカ知レヌ  
ケレドモ、全國ノ農民ハ非常ニ多ク贊成ノ  
意見ヲ表明シテ居ツタノデアリマス、如何  
相成ルカト思ツテ居リマス所ヘ天下ノ留男  
トシテ拓務大臣ガ出ニナリマシテ、一應  
片付イタヤウデアリマスガ、是ハ果シテ拓  
務大臣トシテハ單ニ今期議會ニ於テ問題ガ  
紛糾シテハイカスト云フ立場カラ御仲裁ニ  
ナツタノデアルカ、或ハ産業組合ガ將來保  
險事業ヲヤツテハイカスト云フ建前デ御仲  
裁ニナツタノデアリマスガ、折角ノ御仲裁  
デアリマスカラ、其ノ御心境ヲ此ノ際承ツ  
テ置キタイト思フノデアリマス

○小磯國務大臣 私ハ此ノ種問題ハ素人デ、  
内容ノ可否ニ付テハ少シモ分リマセヌ、唯  
民間ノ某カラ、兩者ニ於テ一應之ヲ白紙ニ  
還シタイカラ、オ前ガ何カ口ヲ聞ケト云フ  
御話ヲ承リマシタ際、私ハサウ云フコトヲ  
ヤラネバナラヌ責任ハ持ツテ居ラス、唯兩  
者デ果シテ合意ニ依ツテサウ云フ風ニ解消  
スルト云フ意思ガアルナラバ、口ヲ聞イテ  
見ヨウト云フノデ、兩方ニ電話デ申上ゲマ  
シテ、併シ又片方ニハ直接面會モ致シマシ  
タガ、兩者トモ至極結構白紙ニ還ラウト云  
フコトデ、バタ／＼ト片付イテシマツタノ  
デアリマス、内容ノ詳細ニ付テハ少シモ存  
ジマセヌ

○田原委員 拓務大臣ノ御仲裁ハ總テ今マ  
デ成功シテ居リマス(笑聲)第三回目ニハ恐  
ラク全國ノ産業組合カラ保險經營ヲヤリタ  
イト云フ運動ガ起ルデアリマセウ、サウシ  
テ商工省農林省ハ色々又首ヲ捻ルデアリマ  
セウ、其ノ際ニハ又御仲裁ニ出ラレマシ  
テ、今度ハ農村ノ額ヲ立テラレマシテ、第



三四日ニハ産業組合側ニ許サレルヤウニナラシメテ希望申上ゲマシテ、此ノ質問ハ終ツテ置キマス

次ハ司法大臣ガ意見ニナツテ居リマスルカラ、司法大臣ニ御尋テ致シマス、ソレハ先程ノ内務大臣ニ對スル質問ニ關聯シテ居リマスガ、一番困リマスコトハ、今年ノヤウナ早賦ノ後ニ於テハ、小作料ノ減免ノ紛議ガ起リマス、先程山道サンガ詳シク申上テ居リマシタカラ私ハ省キマスケレドモ收穫皆無ニナルマデニ、ドレダケ心配ヲシテ夜ノ目モ寢ズニ水當テフシタカト云フコトハ、到底東京ノ方ニハ想像モ出來マセズ、然ルニ拘ラズ秋ニナリマシテ年貢ヲ持ツテ來イト云フコトニナリマス、年貢ドコロデハナイ、飯米ガナイノデアリマス、ソコデ一面大藏省方面ノ免稅規定ヲ收穫ガ七割以上減收ノ場合ニハ、稅務署ガ事前ニ一列取前ニ立入りマシテ七割以上ト認メタ時ニハ免租ヲ決定致シマス、但シ此ノ免租ノ申請ハ、地主ガシナケレバナラスコトニナツテ居ル所ニ非常ニ小作爭議ノ起ル原因ガアルノデアリマシテ、地主ハ免租ノ申請ヲ大體喜ビマセズ、何故カト云フト、税金ハ大體全國平均一反當リ五圓位ノモノデアリマス、然ルニ小作料ハ、是モ全國平均致シマシテ大體九斗位ト見テ宜イノデアリマス、長ク居レバ義理固イ小作人デアラカラ、九斗ノ小作料ノ五割減トシテモ四斗五升八年貢ヲ持ツテ來ル、モツト減額シテヤツテモ二斗位ハ持ツテ來ル、免租ノ申請ヲシテ元モ子モナクスルヨリハ、税金ヲ拂ツテモ此ノ早賦地ノ小作人カラ幾ラカデモ年貢ヲ取ツテ税金ヲ拂ツタ方ガ儲カルト云フノガ、農村ニ於ケル地主ノ僞ラザル心理デア

リマス、其ノ爲ニ規定ノ十月十五日マデニ申請ヲシロト云フコトヲ稅務署ノ方カラ言ツテ來マシテモ、地主ハ申請ヲ致シマセズ、小作人ハヤイノ言ツテ來マスカレドモ、小作人ニハ申請ノ資格ガナイ、サウ斯ウスル所ノ刈取期ニ入りマシテ結局年貢ヲ全免シテヤラスト云フコトニナツテ居リマス、一面ニ於テ此ノ秋ハ米ガ足ラナイ、足ラナイカラ色々米價ノ引上ヲ希望スル地主側ト、自己ノ飯米ガナクナル所ノ小作人トノ激烈ナル農村ニ於ケル小作上ノ紛議ガ起ルノデハナイカト云フコトヲ心配致シマス、從來司法省ニ於キマシテハ小作調停法ニ基キマシテ、全國ノ主要裁判所ニハ、ソレハ小作調停判事ガ居ラウシヤル、又中ニハ非常ニ熱心ニヤツテ下サル方モアリマス、此ノ點ヲ特ニ司法大臣ニ希望申上ゲテ御尋シタイノハ、ドウモ司法省ノ方針デアラノカ、其ノ一部ノ判事ノ御考デアラノカ知リマセスカレドモ、事件ヲ會計年度内ニ片付ケタイト焦ル傾向ガアル、二千何百件小作調停ニナツテ居ル其ノ中デ、本區裁判所ニ於テハ受付件數ノ九割ヲ片付テシマツタト云フヤウニ、件數ダケ統計ノ上ニ於テ成績ヲ舉ゲヨウトスル傾向ノアル所ニ於キマシテハ、却テ小作爭議ガ、爭議トシテハ解決致シテ居リマスガ、小作人ニ對シテ非常ニ憤懣ト迷惑ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、然ルニ老練ナル監督判事ナリ、調停判事ノ居ル所デハ二年モ三年モ悠々トヤラセマス、或ハ地主ヲ喚シテ相談シタリ、或ハ又小作人ヲ喚ブト云フヤウニ徐々ニ話ヲ持ツテ行キマス、二年ナリ三年ノ間ニハオ互ノ感情ガ解ケマスカラ、長クヤツテ居レバ雙方損ダト云フノデ結構

一致スルコトニナルノデアリマス、其ノ間ノ扱ヒ方ガ地方ニ依リマシテ、判事ニ依リマシテ非常ニ違フノデアリマス、裁判所ハ公事三年ト申シマシテ、本來ノ民事裁判ト云フモノハ三年モ五年モ掛カル、大本教ノ裁判ノ如キハ五年モ六年モ掛ツテ居ルノデアリマス、アンナ社會性ノアル問題ニ付テハ一刀兩斷ニヤルガ宜イと思ヒマスガ、斯ウ云フ長年ノ農村ニ於ケル地主ト小作人トノ關係、社會一般ノ經濟機構ノ壓力ニ因ル所ノ小作爭議ト云フヤウナ問題ニ付キマスデ解決迅速主義ヲ御臨ミニナルコトハ、表面ハ成程宜イカモ知レマセスカレドモ、實ハ農村ノ深刻ナル對立ヲ來シマスカラ、此ノ扱ヒ付テハ、特ニ今年ノヤウナ早賦地方ニ起ラウトスル所ノ小作紛議ニ對シテハ、特別ナル小作調停官會議ヲ開クナリ、色々御指示下サイマシテ、圓滿ニヤルト云フコトヲ以テキツテ下サルカドウカト云フコトヲ一ツ御明答ヲ願ヒタイと思ヒマス

モ立チマセズ、ソレデ私モ此ノ現職ニ就キマシタ以上ハ、此ノ趣旨ノ徹底スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、殊ニ今御話ノ早賦地方ノ狀況ニ付キマシテハ、更ニ一層注意ヲ集メマシテ、小作官ノ會同トカ、或ハ最近ニ於テハ地方ニ農地委員會等モ出來テ居リマスカラ、有ユル方面ト能ク意見ヲ交換致シマシテ、後殘リノシナイヤウニ、各方面カラ見テ妥當ノ方面ニ落着キマスヤウ、萬全ノ策ヲ講ジタイト存ジテ居リマス

マフノデアリマス、何時モ半年バカリシカ坐ツテ居ラス、農林省ト云フ名前カラシテ私ハ間違ツテ居ルト思フ、是ハ農漁省位ニ言ハナケレバナラスト思フ、日本ノ外貨獲得ノ上デハ數億圓ノ外貨ハ、材木ニアラズシテ魚ヲ獲ツテ居ル、ニモ拘ラズ農林本省ノ機構モ洵ニ水産ニ對シテハ虐待シテ居ル、サウ云フコトガ影響致シマシテ今度ノ早賦對策事業ノ中デモ、早賦地帯ノ漁民ニ對スル御手當ハ洵ニ薄イノデアリマス、寧ろ米ガ足ラヌナラ、魚ヲ食ヘバ、飯ハ食ハナクテモ一回位ハヤツテ行ケルノデアラカラ、此ノ際海ニ圍マレテ居ル我が日本ト致シマシテハ、水産ノ大増産計畫ヲ立テテ、ドンシ魚ガ巷ニ氾濫スルヤウニナレバ、今年一箇年ノ米ノ不足位ハ補ヒガ付クノデハナイカト考ヘラレノデアリマス、隨テ水産事業ニ携ハツテ居ル者ト致シマシテハ、此ノ早賦對策ニハ非常ナル不滿ヲ感ジテ居ルノデアリマス、然ラバ農林省トシマシテハ、水産ニ對シテ早賦對策ト恒久對策ト、將來ノ食糧經濟ノ上カラ、如何ナル方針ヲ立テラレヨウトシテ居ルカ、ソレヲ先ツ御伺シタイ

ト云フ建前ノ下ニ、水産關係ニ於キマシテモ、他ノ農業土木等ノ方面カラ勞銀ヲ落シ得ナイヤウナ方面ニ向ヒマシテ、水産土木ノ經費ヲ計上致シマシテ、サウシテ方面ニ勞銀ヲ落シテ行ク全體ト致シマシテノ計畫ノ一ツノ部分ニ屬シマシテ、其ノ救済ノ目的ヲ達シテ行キタイ、斯ウ云フ趣旨ノ豫算デアリマシテ、隨テ被審額全體ニ對スル救済金額ト致シマシテハ、極メテ少イノデアリマスガ、今回立テラレマシタ政府ノ救済方針、其ノ方針ニ基キマシテ計上セラレタ關係上、十分ノ經費ヲ此ノ方面ニ計上スルコトガ出來マセズシタガ、併シナガラ他ニ一般豫算モアルコトデアリマシテ、受ケマシタ被害ニ付キマシテハ、將來サウシテ方面カラモ必要ナル支出ヲ致シマシテ、救済ニ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、更ニ又我國ノ水産ノ使命ト云フヤウナコトニ付キマシテ御話ガゴザイマシタ、尙又水産關係者ガ幾力デアラ、殊ニ官廳方面ノ人手薄デアラト云フヤウナコトニ付テノ御話ガアリマシタガ、是等ニ付キマシテハ、水産局ノミデ考ヘ得ナイコトモゴザイマスガ、私共其ノ關係ニアリマス者ハ、今後一層努力ヲ致シマシテ、我國ノ水産ノ振興ノ爲ニ、殊ニ世界ニ冠絶シテ居ル我が水産ノ發展ノ爲ニ、十全ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、食糧問題トノ關係ニ付キマシテハ、御話ノ通り四面環海デアリマシテ、水産物ガ食糧問題ニ非常ニ貢獻ヲ爲スベキコトハ私カラ申上ゲルマデモナイノデアリマスガ、殊ニ沿岸漁民ガ我國ノ水産ノ大半ノ收穫ヲ得テ居ルノデアリマシテ、沿岸漁民ノ保護ヲ致シマシテ、漁法トカ漁區ノ整理トカ、色々吾々モ指導

ニ努メマシテ、一層漁獲ノ増進等ニ努メ、又南洋或ハ太平洋、北洋等ニ於テノ漁業ニ於キマシテモ、一層ノ努力ヲ致シマシテ、外貨獲得或ハ國民營養ノ爲ニ貢獻致シタイ、斯ウ云フ決心デアリマス

合ニモ、地租ヲ免稅スル必要ハ理論上ハ起ツテ來ナイ譯デアリマス、併シナガラ其ノ理論ヲ實キマス、實際ニ於テ又納稅者ノ負擔狀況等カラ見マシテ無理ガ行ク場合ガアリマスノデ、收穫皆無ノ場合ニ限ツテ免租スルト云フ法律上ノ規定ニナツテ居マシテ、運用ニ於キマシテハ先程御述ニナリマシタ通り、大體七割以上減收ノ場合ニ免租スル、斯ウ云フ風ニ致シテ居ル次第デアリマス、昨年中國地方ヲ中心ト致シマシタ早賦ガ大分廣範圍ノモノデアリマスカラシテ、是ノ運用ニ付キマシテハ十分留意致シタ積リデゴザイマス



澤山積エマシテ、サウシテ自分ノ金デナクテ勤業銀行ノ金デ土地ヲ買上ゲテ、直チニ年貢ヲ引上ゲテ、反對スル者ニ對シテハ土地ヲ取上ゲル、斯ウ云フ事件ガ非常ニ多イ、土地ヲ取上ゲマシテ、又他ノ小作人ニ作ラセルナラバ、國家全體トシテノ食糧生産カラハ、プラス・マイナス、大シク問題デハナイト云ヘマスケレドモ、先程内務大臣ガ申サレマシタヤウニ、二三年其ノ農地ヲ遊パンテ置キマシテ、工場ノ敷地ナリ、工場ノ住宅地ニ、十倍モ二十倍モ高イ値賣ルト云フ、非常ニ惡辣ナル土地所有慾者ニ對シマシテ、尙ホ勤業銀行ハ金ヲ貸シテ居ルノデアリマス、勤業銀行ガ金ヲ貸シテマツテ、登記ヲ済マシタ後、初メテ小作人ガ此ノ事實ヲ知ツテ憤慨シマスケレドモ、何トモ方法ガナイノデアリマスカラ、今後勤業銀行、其ノ他農村金融方面ニ對シマシテハ、飽クマデ食糧増産、農民安定、實耕作者ノ安定ノ爲ニ御指導ナリ、御監督ヲナルベキデアルト思ヒマスガ、之對シマスル大藏省ノ御方針ヲ明瞭ニシテ戴キタイト思ヒマス。

○田原委員 ソレカラ早害地方ノ學校兒童ニ對スル所ノ文部省ノ御方針ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、御承知ノ如ク米ガナイ、米ガナイカラ食ヘナイ、缺食デ學校ニ行ツテ居ル者ガ最近澤山アル、是等ノ缺食兒童ニ對シマシテ、長イコトハ申シマセス、今年ノ端境期ノ十一月頃マデ宜イノデアリマス。

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノヤウナ事柄ヲ耳ニシナイデアリマセスガ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、十分指導シテ行ツテ、農地ノ荒廢シナイヤウニ努力致シタイト思ヒマス。

○三土委員長 此ノ豫算ニ關シテ、朝鮮ノ早害モ隨分大キイノデアリマスガ、マダ一人モ質問ガナイカラト云フノデ、最上君カラ質問ガアルサウデスカラ、簡單ニ御願致シマス。最上君

○最上委員 昨日來本豫算ノ審議ニ當ツテ、内地ノ早害對策ニ付テハ色々質問應答ガ行ハレマシタガ、外地朝鮮ノ早害對策ニ付テハ何等質問應答ガアリマセス、私ハ時間モアリマセスカラ、故ニ一言拓務大臣ニ朝鮮ニ於ケル早害ノ問題ニ付テ御願シタイト思フノデアリマス。

ト思フノデアリマス。御承知ノ如ク、今回ノ朝鮮ノ早害ハ六十年來ノ未曾有ノ早害デアリ、其ノ被害反別ノ如キモ相當多數ニ達シテ居ルノデアリマス、是ガ爲メ政府ニ於テモソレソレノ手配ハシタデアリマセウ、又各政黨ニ於テモ態、調査員ヲ派シタリ、或ハ慰問員等ヲ派シタリ、果外地ニ於ケル所ノ被害ハ内地同様緊急ニ之ヲ救済スル必要ヲ吾々ハ認メタノデアリマス、是等ニ關シテ一般會計豫算討論ノ當時ニ於テモ、餘リ之ニ對シテ質問應答ガナカッタヤウデアリマスガ、私ハ拓務大臣ニ此ノ際ニ被害地ニ於ケル所ノ狀況並ニ應急對策、更ニ將來ニ向ツテノ對策ニ付テ明瞭ナル御辯明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。

○小磯國務大臣 只今モ御話ノアリマシタ如ク、昨年度朝鮮ニ於テ大早害ヲ招來致シマシタコトハ、私共ノ非常ニ遺憾トシテ居ル所デアリマス、被害ノ面積ハ概略七十萬町歩、被害ノ戸數ハ約九萬九千、其ノ減收ニ於テ九百七十八萬石デアリマス、朝鮮總督府ハ此ノ被害ノ救済ニ關シテ特ニ意ヲ用ヒマシテ、先ツ救済對策ヲ樹立スルト共ニ、此ノ被害地ニ於ケル農民ヲシテ精神的ノ向上ニ依リ其ノ苦痛ヲ打開スルト云フヤウナコトマデ努力セシムベク指導致シマシタ、ソレヲ豫算面ニ見マセバ、昨年ノ十月ヨリ今年一月ニ至ル間、第二豫備金並ニ剩餘金ノ中カラ約千八百萬圓ヲ支出致シ、爾後經費ノ不足ガ生ジマシタ爲メ、先般皆爾御協賛ヲ經マシタ如ク、本年ノ三月ニ至ルマデノ間一千六百萬圓ヲ追加豫算ヲ請求シタデアリマス、又本年度ノ植付時期

デアル六月頃ニ至ルマデノ間尙ホ救済ヲ繼續スルノ必要ガアリマスノデ、御手許ニ差出シテアリマス如ク、約九百八十八萬圓ノ追加豫算ヲ提出シタデアリマシテ、本日御審議ニ上ツテ居リマス此ノ九百八十八萬圓ハ、災害地ニ於ケル資金撤布ノ爲メノ工事ノ費用ガ大部分デアリマシテ、其ノ外ニ副業獎勵、缺食兒童ニ對スル給食、竝ニ被害地ニ於ケル食糧ノ配給ト云フヤウナ方面ニ使用サレルコトニナツテ居リマス、大體以上ノヤウナ施設ニ於テ、總督府ト致シマシテハ、一應此ノ六月マデハ持堪ヘ得、サウシテ今後ノ積極的指導ニ依リ、既定ノ増産計畫ニ向ツテ邁進シ得ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス。

恆久的ノ處置ト致シマシテハ、屢御答申シマシタ如ク、今年度基本數量二千二百八十四萬石ニ對シ、二百三十八萬石ノ増産ヲ計畫シ、爾後十一箇年計畫ヲ實行致シマシテ、最終年度ノ昭和二十五年年度ニ於テハ、増産約六百八十萬石ニ到達セシムルコトニ依ツテ農村ノ福祉ヲ増進シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス。

○最上委員 此ノ問題ニ付テハ更ニ色御質問致シタイ點モアルノデアリマスガ、既ニ時間モ切迫シテ參リマシタカラ、是以上詳シク質問致シマセス、是等外地ノ人々ガ昨年、十年來ノ大災害ニ遭ツテ非常ニ窮乏シ、將來ニ對シテモ其ノ生活ガ保障シ得ラレナイヤウナ狀態デアリマスカラ、ドウカ内地同様是等外地ノ人々ヲシテ其ノ聖恩ニ浴セシメルヤウ拓務大臣ニ善處セラレンコトヲ希望シテ、私ノ質問ヲ終リマス。

○三土委員長 小田君ハ主トシテ朝鮮ノコトニ付テ戴キタイト云フ氣持ガアツタラシ

イ、所ガ何カノ間違ヒデ小田君ハ取消シマシタガ、朝鮮ノ問題ハ誰モ聽カレヌノデ、極メテ簡單ガカラ自分ガリタイト云フコトデスカラ之ヲ許シマス。小田君

○小田委員 此ノ度ノ西日本ニ於ケル大早害ハ他ノ同僚委員ニ依ツテ質疑ナシマシタヤウニ、内地ニ於キマシテモ大變ナ早害デアリマシタ、所ガ内地ノ受ケマシタ所ノ被害ヨリモ朝鮮ニ於テノ早害ノ方ガヨリ甚大ナ被害ヲ受ケテ居ルノデアリマス、只今拓務大臣モ申サレマシタヤウニ此ノ被害戸數實ニ百萬戸、之ヲ隣保共助其ノ他ノ方法ヲ以テ自力ニ依ツテ辛ウジテ生活シ得ル者若干ヲ除キマシテモ、要保護戸數ト云フモノガ實ニ八十萬戸ニ上ルノデアリマス、之ニ對シマシテ緊急ノ支出ニ依リマシテ救済土木工事其ノ他ガ行ハレマシテ、相當ノ救済ハ行ハレタヤウニ存ズルノデアリマス、只今マデノ經過ニ依リマスト一日一日ノ生活費ヲ四十錢ト單價ヲ定メマシテ、ソレニ應ズル所ノ豫算ヲ支給サレテ居ルヤウデアリマス、今日此ノ皆無作、或ハ昨年ノ八月頃カラ食糧ノ不足ニ陥リマシテ、其ノ當座カラ直チニ食糧ノ供給ヲシナケレバナイ、サウシテ木ノ皮或ハ草ノ根ヲ食シテ辛ウジテ生命ヲ持チ支ヘテ居リマシテ、其ノ窮乏ニ對シマシテ、僅カ一戸ニ付テ一日四十錢ト云フ、而モソレハ勞銀撤布ノ計算デアリマスガ、之ヲ以テシテ果シテ十分ナル救済ヲ爲シ得ルト御考ニナルデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ拓務大臣ノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマス。

○三土委員長 小田君質問要項ヲ纏メタラドウデスカ

○小田委員 次ハ此ノ大量ノ飢餓農民ヲ如何ニハ内地資本ヲ多量ニ移入スル必要ガ

何ニシテ救済スルカノ對策デアリマスガ、ソレニ付キマシテ只今マデ朝鮮總督或ハ政府ニ於テ講ゼラレテ居ル所ノモノハ、一ツニハ滿洲方面ヘノ移住デアリマス、是ハ相當盡力サレタコトト思ヒマスケレドモ、未ダ數萬戸ヲ出ナイノデアリマス、尙ホ内地ニ對スル軍需工業勞働者ヘノ制當ト致シマシテ相當戸數ガ移住サセラレテ居ルト思ヒマスガ、併シナガラ其ノ僅カナ手當ヲ以テセルトハ考ヘラレマセス、ソコデ過般モ内地ノ股販産業ニ傾レマシテ、此ノ窮乏カ許可ナクシテ内地移住ヲ試ミタ、其ノ爲ニ松漁丸ト云フ十七噸位ノ小サナ船デアリマスガ、之ニ百餘名ノ農民ガ乘リマシテ内地渡航ヲ試ミタ、所ガ中途遭難致シマシテ悉ク溺死シタヤウナ號外ガ出テ居リマス、斯ウ云フヤウナ生キシガ爲メアガキヲ呈露致シテ居リマスガ、當局トサレマシテハ如何ナル決意ヲ持チ、如何ナル適切ノ對策ヲ持ツテ居ラレカ、其ノ點ヲ御説明ヲ煩シマス、又土木建築工事或ハ鑛山方面ヘノ鮮内ニ於ケル所ノ需要ニ其ノ農民ヲ扱フヤウナ動キガアルノデアリマスガ、ソレニ對スル豫定數量、又内地ヘノ移動豫定數量及ビ鮮内ニ於キマスル鑛山工場ヘノ勞働進出ニ對シマシテ、如何ナル勞働政策ヲ御執リニナルノデアアルカ、只今マデ承ツテ居リマスルト、鮮内ニ於キマシテハ是レト云フ勞働立法ガ設ケラレテ居ナイヤウデアリマス、此ノ勞働立法ガ設ケラレテ居ナイ理由ト致シマシテハ、朝鮮ハ大陸進出ヘノ重大ナ基點デアアル故ニ、此處ニハ重工業其ノ他ノ工業ヲ旺盛ナラシメナケレバナラナイ、ソレニハ内地資本ヲ多量ニ移入スル必要ガ

アル、所ガ若シモ勞働立法ガ講ゼラレテ朝鮮勞働者ノ生活ガ向上スルヤウナコトニナルナラバ、資本ノ移出ヲ阻止スル結果ヲ來ス虞ガアルト云フヤウナ見解ノ下ニ、勞働立法ヲ與ヘラレテ居ナイカノヤウニ承ルノデアリマスガ、果シテ斯ウ云フ見解ヲ以テシテモ所期スル所ノ重工業ノ發展ヲ鮮内ニ於テ實現達成シ得ルノデアアルカ、サウ云フヤウナ見解ヲ妥當トサレルノデアアルカヲ承リマス、只今マデノ救済對策ノ中ニハ裏作麥種子ノ貸與トカ、或ハ種糧ノ貸與トカ云フモノガナサレテ居リマスガ、肥料對策ニ付テ是ト云フコトヲ承ツテ居ナイノデアリマス、是等ニ對シテ御意見ヲ承リマス、日本ノ農村ニ於キマスル重大問題ハ何ト申シマシテモ農家ノ收支均衡化スルコト云フコトデアリマスケレドモ、朝鮮ハ分ケテモ其ノ小作制度ニ於キマシテ適當ナル小作料ヲ強徴サレテ居リマス、私ハ朝鮮ノ早害對策ノ根本ノ一ツトシマシテ、此ノ適當ナル小作制度ト云フモノカラ鮮内ノ貧農ヲ救済スルコトヲ志レテハナラナイト思フノデアリマスガ、當局ハ如何ナル見解ヲ御持チデアリマスカ、尙ホ承リタイコトハ多ク持ツテ居リマスガ、概略致シマシテ、此ノヤウナ飢餓線上ニ彷徨シテ居ル所ノ大量ノ皇國民ニ對シマシテ、政治的ニ是レト云フ權利ガ與ヘラレテ居ラナイノデアリマス、朝鮮大衆ガ今日ノ事變ニ當リマシテ如何ニ盡忠奉公ヲ致シテウアルカト云フコトハ申サマデモナイコトデアリマスガ、此ノ重大ナ戰時機會ニ於テ此ノ飢餓線上ニ彷徨シツツアル所ノ朝鮮大衆ノ生キシガ爲メ叫ビナリ、要求ナリ、希望ナリト云フモノガ述ベラレナイ、之ニ對シテ拓務大臣ハドウ云フ

見解ヲ御持チニナツテ居リマスカ、南總督ハ類リト内鮮一體ト云フコトヲ申サレテ居リマス、サウシテ之ニ對シテ朝鮮大衆ハ非常ナ希望ヲ持ツテ居リマス、今日ノヤウナ生キルカ死ヌカノ苦シマシテ居ル大衆ニ對シテ、日本ノ政治ニ對スル希望、期待、光明ト云フモノヲ與ヘルコトヲ宜シトスルカ、或ハ現在ノヤウナ朝鮮大衆ニ應モモ政治的發言ヲ許サナイト云フ態度ヲ執ツテ居ルコトヲ宜シトサレルカニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス。

○三土委員長 小田君ニ一寸注意致シマス、サウ云フ問題ハ明日カラヤル追加豫算ノ時分ニモツト詳シクヤリマスカラ、今日ハ早害對策ダケニ局限シテ貴ヒタイ

○小磯國務大臣 從來計上致シマシタ早害救済資金トデモ申シマスガ、豫算ノ總額ガ各戸當リ平均幾ラニ當ツテ居ルノカ、ソレヲ生計ヲ立テ行クコトニ付テ十分デアアルカト云フ御質疑デアリマスガ、私ノ計算デハ一戸當リ從來ノ經費ハ四十圓見當ニ當ツテ居ルモノト思ヒマス、ソレダケデ十分デアリヤ否ヤト云フ實況ニ付キマシテハ、政府委員カラ御答セセルコトニ致シマス、鮮内半島同胞ガ憤慨ヲ以テ内地ニ向ツテ移住シツツアルト云フコトハ、小田君ノ御話ノ通りデアリマス、此ノ間ニ内鮮人其ノ何レタルヲ問ハズ、此ノ憤慨ヲ利用シテ危險ナ渡航ヲ敢テシ、巨利ヲ貪リツツアル者ガゴザイマス、斯様ナ者ノ排撃ニハ總督府極力努力中デアリマスガ、尙ホ目ヲ據メテ此ノ種行動ニ出ツル者アルコトヲ非常ニ遺憾トシテ居リマス。

次ハ内地ニ向ツテスル所ノ移動數デアリマスガ、是ハ昨年度色々勞務供給ノ關係ニ



澤山殖エマシテ、サウシテ自分ノ金デナクテ勤業銀行ノ金デ土地ヲ買上ゲテ、直チニ...

ト思フノデアリマス。御承知ノ如ク、今回ノ朝鮮ノ旱害ハ六十...

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十四回

昭和十五年三月一日

三五六

於テ檢討致シマシタ結果、半島労働者八万五千人ヲ本年三月マデノ間ニ内地ニ移入シ、尙外地相互間ニ於テ努力ヲ調整スル...

テアル六月頃ニ至ルマデノ間尙ホ救済ヲ繼績スルノ必要ガアリマスノデ、御手許ニ...

ス、嶺山及ビ嶺業ニ對スル労働政策、此ノ點ニ付キマシテ、朝鮮ニ於テハ何等労働立法ガナイ、如何ニ處置スル考デアルカト云...

五十万石ノ移入ヲ希望シテ居リマス、デ以上ヲ彼此レ考合セマスナラバ、絕對不足百五十万石ト云フ數量ヲ朝鮮ニ對シ内地若ク...



ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○三土委員長 小田榮君

○小田委員 私ハ本案ニ賛成ヲ致シマス、筆舌ヲ以テ盡シ難イ程ノ窮乏ノ状態ニアル此ノ早害農民ノ生活状態ヲ、戦時下全國民ガ我身ニ體認シテ、サウシテ其ノ窮乏ノ困苦缺乏ト聞ヒツツアル状態ニ對シテ深キ同情ヲ以テ望ムヤウ、政府當局ハ此ノ點ニ於テ能ク御指導下サルヤウニ御願ヲ致シマス

○三土委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、兩案共原案通り可決スルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○三土委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ハ孰レモ原案通り可決致シマシタ、次回ノ開會日時ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、本日は是ニテ散會致シマス  
午後一時二十分散會

昭和十五年三月一日印刷

昭和十五年三月二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第十五回

昭和十五年三月七日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 三土 忠造君
- 理事 藤原 陸朗君 理事 中村三之丞君
- 理事 田村 秀吉君 理事 岸田 正記君
- 理事 石坂 豐一君 理事 增永 元也君
- 理事 山谷 義治君

- 小川 郷太郎君 川島 正次郎君
- 三宅 正一君 中島 彌次郎君
- 眞鍋 儀十君 石坂 養平君
- 塚本 重藏君 吉植 庄亮君
- 小田 榮君 原 夫次郎君
- 森下 國雄君 稻田 直道君
- 河野 一郎君 笠井 重治君
- 松本 忠雄君 窪井 義道君
- 大本 貞太郎君 牧野 良三君
- 山本 厚三君 加藤 知正君
- 助川 啓四郎君 坂野 友造君
- 坂下 仙一郎君 三木 武夫君
- 小泉 純也君 最上 政三君
- 木暮 武夫君 末松 借一郎君
- 松尾 四郎君 小池 四郎君
- 松村 光三君

トシテ同月六日坂下仙一郎君當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 大藏大臣 櫻内 幸雄君
- 農林大臣 島田 俊雄君
- 司法大臣 木村 尚達君
- 厚生大臣 吉田 茂君
- 鐵道大臣 松野 鶴平君

- 企畫院總裁 竹内 可吉君
- 對滿事務局事務官 竹内 徳治君
- 興亞院部長 日高 信六郎君
- 外務書記官 石井 康君
- 內務書記官 鶴見 祐輔君
- 大藏書記官 青山 憲三君
- 大藏參事官 末村 正義君
- 大藏省主計局長 松田 正一君
- 大藏省爲替局長 谷口 恒二君
- 預金部資金局長 中村 孝次郎君
- 司法書記官 星島 二郎君
- 司法書記官 石田 壽君
- 文部政務次官 子爵 舟橋 清賢君
- 文部參事官 仲井 間宗一君
- 文部書記官 永井 浩君
- 農林政務次官 岡田 喜久治君
- 農林參事官 松本 弘君
- 農林省農務局長 土屋 正三君
- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 農林省畜産局長 岸 良一君
- 農林省蠶絲局長 吉田 清二君
- 商工參事官 喜多壯一郎君

商工省化學局長 永田彦太郎君

- 運信政務次官 武知 勇記君
- 鐵道政務次官 宮澤 裕君
- 鐵道參事官 大島 寅吉君
- 鐵道省監督局長 鈴木 清秀君
- 鐵道省運輸局長 長崎 惣之助君
- 鐵道省建設局長 堀越 清六君
- 鐵道省工務局長 阿曾 均君
- 鐵道省電氣局長 德永 晋作君
- 鐵道省經理局長 森田 重彦君
- 鐵道省經理局長 池井 啓次君
- 拓務政務次官 松岡 俊三君
- 拓務省管理局長 副島 勝君
- 拓務省殖産局長 植場 鐵三君
- 拓務書記官 森重 千夫君
- 朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
- 臺灣總督府總務局長 森岡 二郎君
- 臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君
- 厚生政務次官 一松 定吉君
- 厚生省社會局長 新居 善太郎君
- 厚生書記官 川村 秀文君
- 保險院社會保險局長 清水 玄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

(第三號)昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號)昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(特第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

○三土委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、去ル二月二十九日政府ヨリ提出セラレマシタ

第三號昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第二號昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ各案ヲ議題ニ供シマス、先ヅ政府ノ説明ヲ求めマス

○櫻内國務大臣 只今議題ニ供セラレマシタ昭和十四年度歳入歳出總豫算追加第三號、同各特別會計歳入歳出豫算追加特第二號及豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件追第二號ニ付説明申上ゲマス

今回提出致シマシタ昭和十四年度歳入歳出總豫算追加第三號ハ、歳入三千二百餘万円、歳出三千八百餘万円デアリマシテ、差引歳入超過額六百餘万円トナツテ居リマスガ、右ノ歳入超過額ハ昭和十四年度豫算實行上ニ於テ歳入ノ節約ニ因リ生ジマスル所ノ歳入超過額ノ内ヨリ充當スル計畫デアリマス、先ヅ歳入追加額ノ内譯ハ經常部千七百三十餘万円、臨時部千四百七十餘万円デアリマシテ、其ノ事項別金額ヲ申上ゲマスレバ、專賣局益金ノ増加千五百八十餘万円、通行税ノ増加百九十餘万円、前年度剩餘金繰入ノ増加千二百四十餘万円、其ノ他百八十餘万円トナツテ居リマス

次ニ歳入追加額ノ内譯ハ經常部四百八十餘万円、臨時部三千三百二十餘万円デアリマシテ、今其ノ主要ナル事項ヲ申上ゲマスレバ、北支那開發及ビ中支那振興特殊會社補給金二百五十餘万円、重要肥料供給確保施設費ノ増加千二百餘万円、重要飼料供給

第一類第一號 豫算委員會會議錄 第十五回

昭和十五年三月七日







ル、飼料會社ノ資本ハ是マデ飼料ヲ輸入シ、配給シテ居ルヲ營業者ノ資本デアリマス、其ノ營業者ガ資本ヲ出シテ、サウシテ其ノ會社ノ役員ニナリ、其ノ飼料會社ノ確保シテモノヲ受ケテ、サウシテ各方面ノ畜業者ニ配給スル、斯ウ云フノデアリマシテ、見方ニ依ツテハ現在ノ飼料會社ハ營業者ノ一ツノ機關デアリ、營業者ノ機關ニ爲シテラレタ會社ノ如ク見エルノデアリマス、農林省ガ監督權ヲ持ツテ居リマシテモ、極メテ微弱ナモノデ、又飼料會社ガ國家的立場ニ立ツテ、國策會社ト云フ立場ヲ認識シテ、サウシテ飼料ノ扱ヒ業者、飼料ヲ扱フ人バカリノコトヲ考ヘナイデ、農民ノ利益、畜産ノ生産物ノ擴充ト云フヤウナコトヲ考ヘテ見マシテモ、資本主デアリ、株主デアリ、役員デアル業者ノ爲ニ、壓迫ト云フマデハナクテモ、兎角ソレ等ノ意向ニ追隨スルト云フ傾キガアリハシナイカ、又農林省ハソレニ向ツテノ監督權ヲ持ツテ居リマシテモ、更ニ農林省ガ資本ヲ出シテ居ルノデハナイ、金ヲ出シテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、ドウシテモ監督命令ガ十分徹底シナイト思ヒマス、故ニ私ハ日本肥料株式會社ヲ作ルト同様ニ、半分ノ資本ハ政府ガ出シテ、サウシテ此ノ飼料配給、飼料會社ヲ擴大強化スルト云フ必要ガアルト思フ、此ノ資本モ僅ナモノデアリマス、肥料會社ノ如キ大キナモノデアリナイ、僅ニ政府ガ資本ヲ出セバ、半分ノ資本ヲ出シタコトニナル、サウナラナケレバ農林省ノ監督權、指導權ガ十分デナイト思フ、結局飼料ヲ取扱フ業者ノ機關タルニ過ギナイ現狀ダト私共思フテ居ル、此ノ頃餘リニ窮シテ居リマスノデ、各方面ニ養鶏者ノ大會

ト云フヤウナモノガ開カレテ、其ノ叫ビハドウカト申シマスルト、奸商ノ倒セト云フ叫ビ聲ヲ擧ゲテ居リマス、奸商ノ倒セ、其ノ彼等ノ目指ス奸商トハ結局國策會社ノ株主デアリ、役員デアリ、斯ウ云フ人達ヲ目指シテ言フノダラウト私ハ思フノデアリマス、折角飼料會社ガ滿洲其ノ他ノ方面ニ活躍シテ確保シタ飼料ハ、結論トシテハ其ノ株主デアリ、業者デアル人達ノ金儲ケヲサセテヤル、サウシテ畜業者ヲ困ラセル、畜業者ノ非常ナル高イモノヲ買ハセル、畜業者ノ非常ニ困ラセルト云フヤウナ結果ニ今日ナツテ居ル、是ハ極メテ小サイ問題デアリマス、飼料會社ノ資本ヲ政府ガ半分出シテ、他ノ國策會社ト同ジヤウナ建前ニシテ行クト云フコトハ、極ク簡單デアリマス、今度ノ議會中ニ飼料會社ノ建直シテスルト云フ御考ヲシテ戴キタイ、是ハ極ク簡單デアリマス、小サイ問題デアリマス、一ツ御考ガ願ヒタイト思ヒマスガ、農林大臣ハサウシテヤウナ氣持ハ持ツテ下サルコトニナリマセヌカドウカ、決意ヲ伺ヒタイノデアリマス

難カシイカト思ヒマスガ、兎ニ角ハ大切ナ問題デアリマシテ、決シテ肥料ニ劣ラナイ問題ダト思フノデアリマス、唯獨リ農林大臣ガ御考ニナリマシテモ、他ノ關係ノ方方現在ノヤウナ畜産ニ付テノ認識デハ、到底吾々ノ期待スルヤウナコトガ出來マスマイガ、結局飼料ハ食糧デアリマスカラ、他ノ關係ノ諸君トモ御相談ニナリマシテ、是非トモ肥料ト同ジヤウナ地位ニ置タト云フ風ニ御考ニナラナケレバナラヌ、肥料ト飼料ト同ジ地位ニ置イテ食糧ニナル、此ノ二ツノ確保ハ所謂食糧ヲ確保スルモノデアル、此處マデ認識シテ戴ケバ、此ノ際私ハ第三國カラ入レルコトガ困難デアリ、或ハ滿洲カラ入レルコトガ困難トカ言ツテ居ルヤウナ時期デモナシ、又問題デモナイト思フノデアリマス、戰爭モ長期ト云フコトニ決ツタ以上ハ、食糧ト云フ問題ト軍需資材ト云フ問題トハ、相違シテ考ヘナケレバナラヌ、生活ノ安定ト云フコトハ所謂作戰ノ一部デアリマス、戰爭目的ヲ遂行スル上ニ於テハ軍需資材ト並行シテ考ヘナケレバナラヌ、又並行シテ考フベキモノデアルト思フノデアリマスガ、物動計畫ニ當ツテモ、必ズ食糧ト云フ所謂生活ノ安定、就中食糧ト云フモノハ重點ヲ置カナケレバナラマセヌガ、此ノ食糧ニ重點ヲ置タト云フ半面ニハ、飼料ト肥料ト云フモノガ並行シナケレバ、食糧ノ安全ハ期シ得ナイト云フコトヲ、農林大臣カラ各關係ニ能ク認識サシテ貰ツテ、是非トモ此ノ飼料會社ヲ他ノ國策會社ト同様ニ擴大強化シテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラ此ノ飼料トコトデ、今當ツテノ問題トシテ御考シタイ點ガ一ツアルノデアリマスガ、過般米穀

ノ應急措置法ノ改正委員會ニ於テ、畜産局長ハ斯ウ云フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、ヤハリ同僚カラノ飼料ノ質問ニ付キマシテ、小動物ガ大分減ツテ居ルカラ、其ノ方デモ幾ラカ緩和サレ、ソレカラ「サイロ」ノ設置ニ依ツテ四五萬觔ハ増産出來ルトカ云フヤウナ御話モアツタヤウニ考ヘテ居リマスガ、アレハ妙ナ答辯デアツテ、小動物ガ減ツテカラ其ノ方面デ相當飼料ハ緩和サレ、小動物ガ減ツタト云フコトハ飼料ノ不足ニ依ツテ小動物ガ減ツタノデアリマス、飼料ガ不足シテ居ツテ飼料ト云フ出來ナクテ、段々減ツタ、其ノ減ツタノニ依ツテ緩和サレルト云フナラバ、此ノ際豫定計畫サレテ居ル所ノ五箇年計畫ト云フヤウナ増産計畫ヲ擧棄シテ、自然ニ委シテ置ケバ、飼料ハ何ニモ要ラナクナリ、解決ハ付イテシマフ、アノ御答辯ハ生産擴充ト云フ上ニ於テ非常ニ消極的ナ御考デアルト私ハ思フノデアリマス、此ノ頃デハ飼料ガナクテ養鶏ナドハ三割減ツテ居ルト云フ風ニ私共見テ居ルノデアリマス、三割減ツタカラ養鶏ノ飼料ガ三割減ケラ緩和サレ、モウ少シレテハ五割減ケラ五割ハ緩和サレ、ソレレバ輸入ハ是マデノ例デ言ハバ二五%デアレバ、最近ノ例ニ依ルト五%ノ輸入ヲシナケレバナラヌト思ヒマスガ、其ノ方面デ二割ナリ三割ナリ減ツテ行ケバ、又其ノ「パイセンテージ」モ低下スルト云フヤウナ考ヘ方デアラナラバ、寧ろ此ノ際今マデ計畫シタ所ノ國策デアリ五箇年計畫ニ依ツテ増殖ヲ圖ルト云フ、アノ計畫ハ拋棄シテ立直シヲスル、生産擴充ハシナクテモ宜イ、斯ウ云フコトニ國民ニ認識ヲ與ヘル方ガ宜イ、三割減ツタカラ飼料ハソレダケ緩和ス

ルト云フコトヲ言フノデハナクテ、ドウ計畫シテモ私共申上ゲルヤウニ五〇「パイセン」モ輸入ハ出來ナイト云フコトデアラナラバ、此ノ際豫定ノ年次計畫ヲ變更シテ、到底飼料ノ確保ガ困難デアルカラ寧ろ斯ウ云フ風ニシロ、アア云フ風ニシロト計畫ヲ立直シテ、飼料ノ確保ガ出來ルト云フコトニ付テハ農林大臣ハドウ御考ニナルカ、或ハ又畜産局長トシテノ御考ヲ聽キタイ

ルト云フコトハ、當局トシテハソコニ實際ノ問題ニ適合シテ、精神ヲ酌取ツテ戴ケナイコトヲ非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、如何ナル方法ヲシテモ出來ルダケノ努力ヲシテ、サウシテ現狀ヲ維持シテ畜産ノ方面ニ加ハツテ來タ所ノ色々ナ影響ヲ出來ルダケ排除シテ、現狀ヲ維持シテ、尙ホ之ヲ向上發達、増産ニ導キタイ、斯ウ云フノガ農林當局トシテノ考ヘ方、精神デアリ、ソコデ私ハ先刻御答申上ゲタヤウニ、農林大臣トシテハ飼料ノ重要性ニ付テ深ク認識シテ居ル、ソレデ出來ルダケノ努力ヲシテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ居ル、是ハ物動計畫ニ關係ガアリマスカラ、第三國ノ輸入ト云フモノヲ相當見込マナケレバ、此ノ現狀維持ト云フコトガ困難デアリ、牛ニ米ヲ食ハスハセウヤウナ所ガアル、或ハ鶏ニ米ヲ食ハスハセウアルト云フコトハ知ツテ居ルノデス、ソレヲ知ツテ居ルカラ此ノ飼料ハ肥料ニ繋ガル、肥料、飼料合セテ是ハ食糧問題ニ係ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ心配シテ申上ゲテ居ル、之ヲ努力ヲシテ居ル、隨テ此ノ意味ニ於テ直チニ是ガ増産計畫ノ改訂ヲスルトカ、建直シテスルト云フヤウナ程度ニ至ツテ居ルモノトハ——サウ云フ風ニ極度ノ悲觀ヲシテ、現在當局トシテハ考ヘテ居ラヌノデアリマスガ、尙ホ出來得ル限リノコトヲスル、隨テ飼料會社ノコトニ付キマシテモ強化ノコトニ付キマシテハ考ヘル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ル、同ジ言葉ヲ繰返シテ申上ゲルヤウニナリマスカラ、或ハ後ノ言葉ガ一番強ク聞エルカモ知レマセヌガ、政府トシテハ之ヲ認識シテ考慮ヲスル、斯ウ云フ

コトデス、又努力スルト云フコトヲ政府ガ言フ以上ハ、熱心ニ畜産ノコトニ付テ御心配下サツテ居ラレバ下下君ニ於カレテモ、此ノ意味ヲ御理解下サツテ、此ノ方面ニ向ツテ御協力ヲ願フヤウニ致シタイ、畜産局長ガ小動物ガ相當減ツタカラ、之ニ對スル飼料ガ減ツタト云フコトヲ唯言葉通りニ御聽キ下サルト、畜産當局トシテノ精神ガ通ジナイヤウニ私ハ考ヘマスカラ、左様ナ意味ニ御聽取リニナラヌヤウニ私カラ申上ゲテ置キマス

ナカツタ、私ハ畜産局長ニ對シテ是マデ御同情申上ゲテ居ル、只今ノ御話ニ依ツテ初メテ將來ハ畜産ヲ重視スルト云フコトニ農林大臣ガ御考下スツタコトヲ多トスル者デアリマス、諄イヤウデアリマスケレドモサウモ農林省ノ監督命令ガ十分徹底スルヤウニ、サウシテ此ノ飼料會社ハ畜産ノ爲ニ、有畜業者ノ爲ニ必要ナ會社デアリ、飼料ヲ商フ人ノ爲ニ捨ヘタモノデアナイト云フコトヲ、重ねテ御認識戴キヤウニ御願申上ゲマシテ、飼料ノ問題ハ打切りタイト思ヒマス

○島田國務大臣 畜産局長ガ小動物ガ減少シタカラ云ト云フコトハ、私ハ畜産當局トシテ深ク遺憾ニ考ヘルノデアリマス、飼料ノ確保ガ困難デアリ、外ノ方々モ言ハレハ通今御質問デアリ、外ノ方々モ言ハレハ通

リ此ノ事變ノ關係、又農産物ノ出來榮ニノ關係等カラ致シマシテ、飼料ノ上ニ變化ガ來テ非常ニ困難デアリ、ソレガ爲ニ増産計畫ノ途上ニ於テ畜産ノ上ニ色々ナ宜シクナイン影響ヲ及シ、隨ツテ鶏トカ、サウ云フモノノ數方減ツタト云フコトハ、事務當局トシテ畜産ノ關係ノ責任ヲ執ツテ居ル者トシテハ、減ツタコトヲ報告シ、若クハ口ニ上スコトヲ非常ニ遺憾ニ思ツテ居ルコトデアラウト思ヒマス、併ナガラ飼料ノ方面カラ之ヲ言フ場合ニ、減ツタモノニ付テハ是ハ致シ方ガナイカラ、ソコデ減ツタモノニ付テ、ソレダケノ飼料ガ緩和サレル、緩和ト云フ言葉ガ適當デアツタカドウカ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ言ツタモノト思フ、之ヲ直チニ捉ヘテ、坂下君ノ言ハレハヤウニ直チニ増産計畫ト云フモノヲ立直シ必要ガアルカト云フヤウニ——是ハ熱心ノ餘リ言ハレタコトト思ヒマスガ、左様ナ御話ヲ承

○坂下委員 只今農林大臣ノ御答辯ハ、或ル程度私ノ意ヲ得タヤウニ思ヒマス、畜産局長ノ言ハレタコトハ相當私モ御同情申上ゲテ居リマス、御同情申上ゲテ居リマスガ、兎角今日マデ畜産ト云フモノハ、農林省ノ中デモ歷代ノ大臣ガ認識ガ足ラナカツタ、言葉ヲ惡ク言ハバ輕ク見ラレテ居ツタト云フ傾向ガアルノデアリマス、漸ク食糧問題ガ行詰ツテソコ今日ノ事變ヲ起シテ居リマス、昨年末ノ米ノ不安、續イテハ今年ノ端境期ガ六七月頃ニ縮メラレ、其ノ時代ニハ非常ニ困ルコトガ出來テ來ルダラウ、昨年末ニ起リマシタヤウナ不安ノ状態ガ出來ナイ、モットヨリ以上ノ不安ノ状態ガ出來ルデハナイカト云フ風ニ各方面デ心配ヲシテ居ル、サウシテヤウナ結果ガ、今漸ク畜産ト云フモノモ食糧ニ關係ガアルノダ、肥料ト同様ニ飼料モ見ナケレバナラヌト云フヤウニ、近頃非常ナ事件ガ突發致シマシタ關係上、認識サレテ程度デアツテ、歴代ノ農林大臣ハ兎角此ノ畜産ヲ輕視シテ居ル傾ガアル、隨テ増産計畫ヲ立テマシテモ何ヲ致シマシテモ、畜産局長ノ考ヘタ通りニナラ

○三士委員 坂下君、内務大臣ハ來ラレナイガ政務次官ガ來ラレマシタカラ、静岡ノ問題ニ付テ……

○坂下委員 ソレハ戻リマシテ静岡ノ火災ノコトニ付キマシテ御考シタイノデアリマス、茲ニ二万四千圓警備其ノ他ノ費用ガ追加サレテ居リマス、此ノ警備ノコトデアリマスガ、静岡ノ大火ノ跡ヲ顧ミテ警備團ト以前ノ消防組ト比較對照致シマシテ、防火消火ノ能率ノ上ニ於テ遺憾ノ點ガ多クツタデハナイカト云フコトヲ言ハレル向ガ大分アルノデアリマス、ソレ等ノ人ノ話ヲ總キマスト、火災ノ場合ニ現在ノ警備團ノ改組サレタノ服裝「スフ」ノ團服ト「スフ」ノ團服ヲ持ツテ火事場ニ飛ンデ行ツテモ、以前ノ消防組ノ當時ニ於ケル刺子ノ法被、刺子ノ股引ト云フヤウナ服裝ヲ持ツテ活動スルノ活動ニハ到底比較モナラヌ、極端ニ言フ人ハ是ハ或ハ惡口カモ知レマセヌガ「スフ」ノ團服「スフ」ノ團服デアラカラ濡レナイヤウニ火ノ粉ヲ拂ケナイヤウニ、サウ云フ場所ヲ選ンデ活動シテ居ルト云フ風ニ言ツテ居ル人モア



ル、刺子ノ法被、刺子ノ股引ヲ纏フヲツテ  
行クアノ消防委、所謂徳川時代カラ何百年  
ノ傳統ヲ持ツテ居ル火消ノ精神ガ籠ツテ居  
ツテ、火事場デハアレデナケレバ本當ノ活  
動ハ出来ナイ、サウ云ツタヤウナ消防ノ能  
率ノ關係ガ、幾分アノ靜岡ノ火災ヲ大ナラ  
シメタデハナイカ、斯ウ言ツテ居ル方モア  
ル、又經濟上カラ言ツテモ、サア消防團ニ  
改組シテ、新シイ服ニ制定シテ、サア拵  
ヘ、サア拵ヘト言フ、ソレハ以前ノ消防服  
デモ宜イコトニハナツテ居リマシテモ、其  
ノ指導者ガ新シク制定サレタ團服ヲ拵フヤ  
ウニ指導シテ行ケバ、結局ハサウナツテシ  
マフ、今日ノ如ク資材ノ不足シテ居ル時ニ  
無理ニ團服ヲ拵ヘサセル必要モナイ、又今  
マデノ消防服ナラバ親父ノ著タノヲ息子ガ  
著ル、又息子ノ著タノヲ孫ニ渡スト云フコ  
トデ、二代モ三代モ間ニ合ツテ居ル、アノ  
團服デハ自分ガ團員デ居ル間ニ著ル用ヲ  
爲サナイ、自分ガ團員ヲ勤メテ居ル間ニ二  
度モ三度モ拵ヘナケレバナラナイ、今ノ時  
局下ニ經濟的ニ考ヘテモ非常ニ不利益デア  
ル、又一部ノ人ガ彼此レ非難シテ居リマ  
スヤウニ、防火消火ト云フ活動能力ノ上ニ  
タル所ガアルナラバ、此ノ際私共ハ消防團  
ノ組織ノ上ニ付テ當局トシテハ一應考ヘテ  
見ル必要ガアルデハナイカ、又服装ニ付テ  
指導精神ヲ變ヘル方ガ宜イデハナイカ、コ  
ソナ風ニモ考ヘラレルデアリマスガ、内  
務當局ト致シマシテ靜岡ノ火災ニ於ケル  
消防團ノ活動、警防團ノ能力、斯様ナ方面ニ  
付テ御考ニナリ、御研究ヲサナイマシタコ  
トガアルカドウカ、ソレニ對スル御意見ヲ  
伺ヒタイト存ジマス

○鶴見政府委員 御答申上ゲマス、只今靜  
岡ノ大火ノ際ニ於ケル警防團ノ働キニ付テ  
御話ガゴザイマシテ、成程御話ノヤウニア  
ノ際デゴザイマスカラ、色々御不滿ノ點モ  
アツタカト存ジマス、併ナガラ御承知ノヤ  
ウニ當時非常ナ風ノ強イ日デ、方々ニ飛火  
致シマシタヤウナ關係上、可ナリ困難ヲシ  
テ警防團ハ團ツテ居タコトト存ジマスル  
カラ、普通ノ火災ヨリハ困難ヲ嘗メテ居ツ  
タコトト思フデアリマス、隨テ御示ノヤ  
ウナ點モアツタカト存ジマスルケレドモ、  
當時ノ事情モ亦御酌取リ願ヒタイト存ジ  
マス、尙又警防團ト消防團トノ組織ニ付テ  
ノ御意見ガゴザイマシタガ、御承知ノヤウ  
ニ近代ノ戰術ノ變化ノ爲ニ、防空ノ必要ガ  
洵ニ深刻トナツテ參リマシタ關係上、從來  
ノ消防ノ組織ヲ變ヘマシテ、今回ノヤウナ  
警防團ニナツテ居リマスル過渡的ノ時代デ  
ゴザイマスルカラ、單純ナ火災ニ付テハ御  
示ノヤウナ御不滿ノ點モアツタカト存ジ  
マスルケレドモ、一方防空ノ新シイ組織ヲ  
採入レテノ際デゴザイマシタカラ、此ノ際  
ハ御示ノヤウニ防空ノ方ニ手落ノナイヤウ  
ニ、又從來ノヤウナ火災ニ對スル防禦ノ方  
ニ手落ノナイヤウニ、十分注意ヲ致シテ  
參リタイト存ジテ居リマス

○坂下委員 只今ノ御話ハ私ノ申上ゲタ  
味ヲ少シ誤解シテ居ルデハナイカト考ヘマ  
ス、私ハ靜岡ノ火災ニ付テ警防團ノ活躍ヲ  
認メナイト云フ譯デハナイノデアリマス、  
非常ニ涙ダマシイ活躍ヲシテ居ルコトヲ私  
ハ目撃シテ居ルデアリマスガ、是等ノ人  
ノ言フ所ハ現在ノ團服ヲ着テ居ルヨリハ、  
以前ノ消防服ヲ着テ居ル方ガ、尙ホ以上能  
率ガ擧ツタラウ、若シ改組サレナイ中ニ靜  
岡ニアアシタ火災ガアツタナラバ、モツト

小サテテ濟シタノデハナイカト言フノデ  
ス、現在ノ警防團ノ活躍ガ足りナカツタト  
申上ゲルノデハナクテ、服裝ノ點ニ於テ、火  
災ニ對シテハヤハリ以前ノ法被ノ方ガ宜シ  
イ、纏ノ方ガ宜シイ、能率ガ擧ル、又經濟  
的ニモ其ノ方ガ宜イ、一旦拵ヘテ置ケバ大  
キイ人デモ小キイ人デモ着ラレルカラ、親  
ノモノヲ子ガ著タリ、兄弟ガ著タリスルコ  
トガ出来ルト云フコトデ、新調ニシナクテ  
モ宜イ、經濟的ニモ宜イ、改組ハ防空ト云  
フコトガアリマスカラ已ムヲ得マセス、改  
組シタコトガ惡イトハ申シマセス、改組結  
構ダト思ヒマスレドモ、警防團ガ組織  
サレテモ、服裝ノ點ニ於テハ團服ヲ新調シ  
タケテモ、今マデノ消防服ヲ纏ツテ警  
防團ノ仕事ヲスルヤウニシタ方ガ、却テ能  
率ガ擧リ經濟的デハナイカ、私ハ自分ガ  
靜岡ノ火災ヲ目撃シタリ、又見タ人ノ話ヲ  
聞イテ、サウ云フ風ニ考ヘルノデアリマ  
ス、當局トシテハサウ云フ點ニ付テ御研究  
シタコトガナイカ、又靜岡ノ大火ノ跡ヲ  
顧ミテ將來能ク御研究ヲ願ツテ、サウシテ  
指導方針、詰リ今ノ警防團ニ組織ハ變ヘマ  
シテモ、眼ハ二様アル、新シイ團服ヲ拵  
テハナラヌ譯デハナイ、團服モ宜シイ、又是  
マデノ法被デモ宜シイ、警防團ト云フ腕章  
ヲ附ケレバソレデモ間ニ合ハセルコトニナ  
ツテ居リマスガ、法被ヲ行ク方ガ能率ガ擧  
ル、經濟的デアルト云フコトデアル、指導  
精神ヲ變ヘテ行ケバサウナル、サウ云フコ  
トニ付テ御研究ヲサツタ方ガ宜シイト御  
思ヒニナルナラバ、指導精神ヲサウ云フ風  
ニシテ載キタイト思ヒマス、是ハ靜岡ノ大  
火ヲ見マシタ各方面ノ人達ノ話ヲ聽キ、私

共モ見マシタ結果、御參考マデニ申上ゲテ  
置クノデアリマス、ドウカ十分御研究ヲナ  
スツテ、將來警防團指導ニ付テ、御考ヲ願  
ヒタイト存ジマス、是デ私ノ質問ヲ打切り  
マス

○三土委員長 一寸時間ガハシタニナリマ  
スガ、モウ二三十分ヤリマセウ——助川君  
○助川委員 私人總理大臣、内務大臣ニ御  
同致シタイコトガアルノデアリマスガ、此  
ノ際ハ農産物ノ國營檢査ノコトニ付キマシ  
テ、農林大臣ニ御尋シテ見タイト思ヒマ  
ス、此ノ問題ハ全國農業者多年ノ要望デア  
リマシテ、本院ニ於キマシテモ請願委員會  
或ハ建議委員會其ノ他ノ機會ニ於キマシ  
テ、其ノ實施ヲ政府ニ要望シテ參リマシタ  
多年ノ懸案アルノデアリマス、殊ニ米穀  
ノ統制ガ益々強化サルル情勢ノ下ニ於キマ  
シテハ、國營檢査ノ必要ハ一層加重サレタ  
ト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今日ノ  
如クニ各府縣ガ縣々デ區々ナ檢査ヲシテ居  
ル、斯ウ云フ情勢ハ今後ノ米穀統制ノ上ニ  
モ、非常ニ不利ニ便アルノデアリマス、  
朝鮮ニ於キマシテハ既ニ早カラ國營檢査  
ヲ行ツテ居ル、其ノコトガ朝鮮ニ於ケル米  
穀統制ノ上ニ非常ニ便益ヲ與ヘテ居ルコト  
ハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、政府  
デハ色々ナ機會ニ、明年カラ農産物ノ國營  
檢査ヲ實施スルト言明サレテアツタノデ  
アリマスガ、然レニモウ今期議會ノ會期ガ  
二十日モナイ今日ニ至リマシテ、マダ之ニ  
關スル法律案並ニ豫算案ノ提出ノアリマ  
セスコトハ、洵ニ吾々奇怪千萬ニ考ヘルノ  
デアリマス、如何ナル御考デオ居デニナル  
ノデアリマスガ、全國農民ガ非常ニ此ノ問  
題ニ對シテ心配ヲシテ居リマスノデ、此ノ

際御同ヲ致シタイノデアリマス  
○島田國務大臣 助川君ノ御話ノ通りニ、  
農産物ノ國營檢査ト云フコトハ多年ノ問題  
デアリマシテ、既ニ法案ハ整備致シマシ  
テ、法制局ニ於テ只今法案ノ整備ヲ致シテ  
居リマス、之ヲ實施スル上ニ於キマシテ、  
内務當局トノ間ニ關係ガアリマスノデ、是  
等ノ點ニ付テ打合せ中デアリマス、不日提  
案ヲスルコトニ相成ルト考ヘテ居リマス、  
議會ニ間ニ合フヤウニ致ス積リデアリマス  
カラ、左様御承取ヲ願ヒマス

○助川委員 今期議會ノ審議ニ間ニ合フヤ  
ウニ御提案ニナルト云フコトデアリマスカ  
ラ、是非其ノヤウニ御運ビテ御願致シタイ  
ト存ジマス、次ニ私ハ植林ノコトニ付テ御  
尋致シタイノデアリマス、木材並ニ木炭ノ  
増産計畫ニ付キマシテ、森林ノ伐採ガ非常  
ニ多イノデアリマス

○委員長退席、岸田委員長代理著席  
今日ノ木材並ニ木炭ノ需要ノ狀況カラ見  
マシテ、森林ノ伐採ノ多クナリマスルコト  
ハ、已ムヲ得ナイコトト思フノデアリマ  
ス、併シ森林資源ノ保持ノ上カラ致シマシ  
テモ、水源涵養ノ點カラ考ヘマシテモ、森  
林ノ伐採ニ伴ツテ、ソレヲ補充スル爲メノ造  
林計畫ガ、十分ニ行ハレナケレバナラナイ  
ト思フノデアリマス、十五年度ノ新設計畫  
ニ造林促進或ハ種目ヲ忘レマシタガ、バル  
ブ材ノ造林助成ト云フ事業ニ對シマシテ、新  
設計畫ガアルヤウデアリマス、是等ノ計畫  
極メテ小規模ナ計畫デアリマス、此ノ計畫  
程度デアリマシテハ、伐採跡地ノ未造林地  
ノ解消モ期待スルコトハ出来ナイト思フノ  
デアリマス、コソナ程度ノ施設デハ森林資  
源ノ確保、水源涵養ト云フ點カラ洵ニ心許

ナク思フノデアリマス、殊ニ本年ハ紀元二  
千六百年デアリマシテ、個人トシマシテモ  
或ハ公共團體トシマシテモ、記念植樹ノ計  
畫ガ到ル處ニアルノデアリマス、其ノ計畫  
ハ必ズシモ本年其ノ植林ヲスルト云フダケ  
デハナイノデアリマシテ、本年著手シテ或  
ハ二年計畫、三年計畫記念植林ヲスルト  
云フヤウナ計畫ガ、到ル處ニアルヤウニ聞  
イテ居ルノデアリマス、二千六百年ノ記念  
シテ最モ相應シイ仕事ダト思ヒマスガ、  
之ニ對應致シマシテ政府デモ、十分ナ植林  
計畫ヲ立テラレルノガ宜シイノデハナイカ  
ト思ヒマス、左様ナ考カラ致シマシテ、政  
府ノ現在計畫シテ居ラレルアノ小規模ナモ  
ノニ對シテハ、私共ハ非常ニ不滿ヲ感ゼザ  
ルヲ得ナイノデアリマス、今申上ゲタヤウ  
ニ森林ハ森林資源ノ確保、水源ノ涵養ト云  
フヤウナ點ダケデハナイノデアリマス、國  
民思想ノ上ニモ私ハ極メテ重大ナ關係ヲ持  
ツモノダト信ジテ居ルノデアリマス、歐洲  
大戰爭當時ニ於キマシテ獨逸ガアノ物資缺  
乏ノ中ニアツテ、努メテ森林資源ノ維持ニ  
努力シテ來タト云フコトハ、吾々モ深ク考  
ヘサセラレルモノガアルノデアリマス、政  
府ハ此ノ際造林計畫ニ對シテ飛躍的ナ御考  
ヲ持ツテ載キタイト思ヒマスガ、此ノ事ニ  
付キマシテノ政府ノ御所信ヲ御同致シタイ  
ノデアリマス

○島田國務大臣 事變下ニ於キマシテ森林  
ノ伐採ト云フコトガ非常ニ盛ニナリマシ  
テ、ソレガ爲メ伐採跡ニ於ケル處置ニ付テ  
ノ問題、是ハ極メテ森林資源ノ確保ト云フ  
意味カラ致シマシテ、重要デアルト云フコ  
トハ御話ノ通りデアリマス、國有林野ニ付  
キマシテハ御承知ノ通り伐採跡ニ對シテ、

直チニ植林ヲスルト云フ計畫ガ出来テ居ル  
ノデアリマス、ケレドモ國有林野ノ伐採跡  
ニ對スル造林ノ計畫ト云フモノニ付キマシ  
テモ、是ガ現時ノ需要ノ方面カラ考ヘマシ  
テ、尙ホ及バザルモノガアル、モツト伐採  
得ルモノヲ伐リ、其ノ跡ニ對シテハモツト  
徹底的ニ植林ヲ行ツテ行クト云フヤウニス  
レバ、尙ホ多クノ働キヲ國有林野ガスルデ  
アラウト、斯様ニ考ヘラレル點モアルノデ  
アリマス、併ナガラ小規模トハ雖モ國有林  
ニ付キマシテハ、現在其ノ方針ヲ以テ跡ガ  
荒地ナ不毛ニナルト云フヤウナコトノナイ  
ヤウナ施設ヲヤウテ居ルノデアリマスガ、  
民有林ニ付キマシテハ御話ノ通りニ政府ノ  
施設ガ十分ニ手ガ届イテ居ラヌ所ガアリマ  
ス、又伐採面積ガ多クテ其ノ跡ニ處置ヲス  
ル面積ガ少イト云フ體ノアルコトハ、只今  
御述ニナツタ通りデアリマシテ、隨テ此ノ  
點ニ付キマシテ政府トシマシテハ、非常ニ  
深い關心ヲ以テ、此ノ時局下ニ於テ民有林  
ガ濫伐ノ結果トシテ多クノ恐れベキ結果ヲ  
將來ニ持チ來シハシナイカト云フ點ニ付  
テ、深キ考ヲ致シテ居ル次第デアリマス、  
此ノ點ニ付キマシテハ尙ホ十分ニ此ノ計畫  
ニ付テ考究ヲ致シマシテ、國土ノ上カラ考  
ヘ、又森林ノ資源ト云フ方カラ考ヘ、尙ホ  
只今御話ノアリマシタ百年ノ大計ヲ樹テ  
ル、斯ウ云フ長久ノ考ヲ國民思想ノ上ニ植  
ル、斯ウ意味ニ於キマシテ、森林ノ經營ト云  
フコトガ重大ナ意義ヲ持ツテ居ルト云フヤ  
ウナ點モ考慮致シマシテ、將來ニ向ツテ是  
等ノ計畫ニ付テハ十分ナ研究ヲ加ヘテ、  
之ヲ實現スルヤウニ考ヘタイト斯様ニ思ツ  
テ居リマス

○助川委員 肥料問題ニ關シマシテ色々御  
尋致シタイコトガアルノデアリマスガ、時  
間ガアリマセスカラ、此ノ機會ニ過燐酸  
コトダケヲ御尋致シテ置キタイト思フノデ  
アリマス、從來過燐酸ニ付キマシテハ是ハ  
心配ガナイ、殆ド百パーセントニ近イ  
配給ガ出来ル見込デアアル、サウ云フ過  
燐酸ニ關スル限りハ心配シナイデ居ツタ  
ノデアリマス、所ガ最近ニナリマシテ當  
業者ノ方面カラ、過燐酸モ安心ハ出来  
ナイト云フヤウナコトヲ聞カサレテ、  
需要者ハ又新ナル心配ヲ起シタト云  
フヤウナ狀況ニアルノデアリマス、私  
ノ申上ゲル數字ガ或ハ間違ツテ居ルカモ知  
レマセスガ、四月カラ七月マデノ過燐酸原  
料トシテ必要ナ三千万噸ノ燐礦石ノ手當ガ、  
マダ出来テ居ラナイヤウデアリマス、是ハ  
產地ニ於テ値上リガアリ、殊ニ船賃ノ昂騰  
ト船腹ノ不足トノ爲ニ、現在政府ガ今日提  
案ニ相成ツテ居ルヤウナアノ程度ノ助成デ  
ハ、其ノ燐礦石ヲ輸入シテ過燐酸ノ製造ハ  
非常ニ困難ナノデハナイカ、更ニ又過燐酸  
ニ對シテハ破安工場ノ如ク優先的ナ電力ノ  
供給ガアリマセス爲ニ、製造工場ノ能力モ  
ソレ等ノ原料ノ消化ニ困難ノ狀況ニアル、  
更ニ又吸入手モ非常ニ困難デアアル、ソレ  
等ノコトヲ併セ考ヘル時ニ、四月カラ七月  
マデノ見込數量ノ確保ハ極メテ難シイモノ  
ノヤウニ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、過  
燐酸ニ對シテ又新シイ心配ガ湧イテ來タト  
云フコトガ、一般需要者ニ非常ナル不安ヲ  
與ヘテ居ルノデアリマスガ、過燐酸ノ供給  
ニ對シテドノヤウナ狀況ニ相成ツテ居ルノ  
デアリマスガ、御同致シタイノデアリマス

○島田國務大臣 過燐酸ノコトニ付キマシ

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十五回 昭和十五年三月七日



テハ相當御話ノヤウナ船腹ノ關係、其ノ他ノ事情カラシテ困難ノアルコトハアリマス、アリマスガ其ノ困難ト云フノハ手續ノ上ニ於テ種々ナル面倒ガ重ツテ居ルト云フ意味デアリマシテ、私ガ他ノ機會ニ於テ御答シマシタノハ、大體困難ハアルケレドモ、ソレハ百パーセント期待ヲサレタイ、是ハ確信ヲ以テ御答シテ差支ナイ、斯ウ云フ意味デアリマシタノデアリマス、此ノ雪融ケ或ハ必要時期ガ迫マルニ從ヒマシテ、需要者ノ方ニ於テ色々ナ點カラ心配ガオアリノ場合、質問ニ現ハレルヤウナコトガ出テ來テ、又新シイ心配ガ出タト云フ風ニ言ハレルコトハ、政府トシテハ努力中ノモノニ付テ不安ノ氣分ガ漂フコトヲ、非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、必ズ實現スルヤウ努力シテ居ルト云フ實情ニ付テハ、或ハ助川君モ大體ハ御承知デアラウカト思ヒマスガ、只今ノヤウナ意味ノ質問應答ヲシテ居リマス事柄ガ農民自體ニハ、ヤハリサウ云フ質問應答ガサレテ居ルカラ、確カダトハ云フケレドモ、不安デハナイカ、斯ウ云フ氣分ヲ又新シク其ノ意味ニ於テ喚ビ起スコトガアラウト考ヘルノデアリマス、政府ニ於テハ船積其ノ他ノ關係デ相當困難ガアル、容易ク出來ルトハ考ヘテ居ラナイ、併シ困難ハアルケレドモ、困難ヲ越シテ確保出來ルト云フヤウナ考ヲ以テ、御答シテ居ルト云フコトヲ御承願ヒマシテ、關係ノ方面ニ對シマシテハ政府ガ確信ヲ以テ努力シテ居ルト云フコトヲ、ドウカ此ノ質問應答ヲ通シテ知ラシメルヤウニ願ヒタイト考ヘテ居リマス

ノ仰シナル通りデアリマス、ソレデアリマスカラ斯ウ云フ機會ニ御質問申上ゲテ、政府カラ安心ノ行クナウナ答辯ヲ戴イテ置クコトガ、極メテ必要ナコトダト思フノデアリマス、要スルニ此ノ過燐酸ノコトニ付キマシテモ、船腹ノ問題、或ハ電力供給ノ問題等ニ關シテ、色々心配スル向ガアルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ、十分ナル御手配ヲ戴キマシテ、左様ナ心配ガ事實ニ現ハレテ來ナイヤウニ、御骨折下サルヤウ御願致シタイト思ヒマス

○島田國務大臣 十分ニ努力ヲシマス、又シテ居リマス、過燐酸ノ問題ニ付テハ需要者ノ方ニ心配ナイヤウニ、能ク言ヒタイト思ヒマス、又陳情等ニ見エタ人ニハ、何レモ直接ニサウ云フヤウナコトヲ話シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、左様御承願ヒマス

○岸田委員長代理 明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後零時五分散會

頁	段	行	課	正
一六九	四	三	無政策	正
一六九	四	二	方法	無政府
一七一	一	三〇	寶典	決意
一七一	三	二二	八九	法典
一七二	四	三一	債券	八九月
一七三	四	一九	債券ノ割増金	債券ノ割増金
一七三	四	二一	金額	金額
一七三	四	二一	金額	金額
三五四	二	八	七月	六月
三五四	二	八	六月	五月
三五四	二	八	五月	四月
三五四	二	八	七月	六月

衆議院豫算委員會議錄第八回  
中正誤

衆議院豫算委員會議錄第十四回  
同中正誤

衆議院豫算委員會第一分科會議  
錄第三回中正誤

頁 段 行 課 正  
五八 一 二三 農業化 工業化

昭和十五年三月七日印刷

昭和十五年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第十六回

會 議 昭和十五年三月八日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事中村三之丞君

理事田村 秀吉君 理事岸田 正記君

理事石坂 豐一君 理事増永 元也君

小川郷太郎君 中島彌團次君

眞鍋 儀十君 石坂 養平君

塚本 重藏君 朴 春 琴君

吉植 庄亮君 小田 榮君

森下 國雄君 河野 一郎君

笠井 重治君 松本 忠雄君

窪井 義道君 大本貞太郎君

矢野庄太郎君 山本 厚三君

加藤 知正君 助川啓四郎君

川崎 克君 池田 秀雄君

三木 武夫君 小泉 純也君

最上 政三君 木暮武太夫君

名川 侃市君 太田 正孝君

末松備一郎君 松尾 四郎君

小笠原三九郎君 松尾 孝之君

小池 四郎君 松村 光三君

三月七日委員石坂繁君、坂下仙一郎君及守

屋榮夫君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月八日清

瀨一郎君、村松久義君及朴春琴君當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

陸軍大臣 畑 俊六君

内務大臣 伯爵兒玉 秀雄君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 竹内 可吉君

對滿事務局事務官 竹内 徳治君

興亞院部長 日高信六郎君

内務省警保局長 山崎 巖君

内務書記官 灘尾 弘吉君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

大藏書記官 田中 豐君

大藏書記官 山田 義見君

大藏書記官 秋元 順朝君

專賣局長官 花田 政春君

陸軍主計大佐 森田 親三君

農林參議官 松本 弘君

農林省農務局長 土屋 正三君

農林省山林局長 田中 長茂君

農林省水産局長 栗屋 仙吉君

農林省畜産局長 岸 良一君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

農林省經濟更生部長 周東 英雄君

農林省臨時農 重政 誠之君

村對策部長 岡本 直人君

農林書記官 加藤 謙五郎君

農林書記官 喜多壯一郎君

農林書記官 松岡 俊三君

農林書記官 永田彦太郎君

農林書記官 森重 千夫君

農林書記官 水田 直昌君

農林書記官 新居善太郎君

農林書記官 川村 秀文君

農林書記官 川村 秀文君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

(第三號)昭和十四年度歳入歳出總豫算追

加案

(特第二號)昭和十四年度各特別會計歳入

歳出豫算追加案

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ

契約ヲ爲スヲ要スル件

○中村委員長代理 是ヨリ會議ヲ開キマス、

質疑ニ入りマス——助川啓四郎君

○助川委員 私人總理大臣並農林大臣ニ御

同シタイコトガ多イノデアリマスガ、内務

大臣ガ御見エニナツテ居ルヤウデアリマス

ガ、内務大臣ニ先ツ御尋シタイト思ヒマ

ス、ソレハ町村自治行政ノ限界ニ關シテ

コトデアリマスガ、此ノ問題ハ今後ノ統制

經濟運行ノ上ニ於キマシテ、殊ニ農村關係

ノコトニ關シテ重大ナル關係ガアルヤウ

ニ考ヘラレマスノデ御伺致シタイト思フ

デアリマス、此ノ頃町村自治ノ經濟化ト云

フヤウナコトガ各方面ニ論議サレテ居ル

デアリマスガ、經濟産業ニ關スル諸般ノ施

設ガ漸次町村行政カラ離レテ參リマシテ、

町村内ノ他ノ團體ノ事務ニ移ツテ行キツツ

アルノデアリマス、左様致シマシテ町村民

ノ經濟生活カラ自治行政ガ漸次遊離シツツ

アルノデアリマス、ソコデ此ノ町村民ノ經

濟生活カラ遊離シタ自治ハ、自治ノ本質ヲ

失フモノデアル、今日ノ自治ハ全ク自治ノ

形骸ニシカ過ギナイ、サウ極言スル人サヘ

アルノデアリマス、左様ナ見地カラ自治ノ

經濟化ヲ要望シ、産業經濟ノ部門ニ町村自

治ガ發展スベキモノダトノ主張ヲ以チマシ

テ、町村自治ノ經濟化ト云フヤウナ主張ヲ

サレツツアルノデアリマスガ、此ノ考ヘ方

ニ對シテ内務大臣ハドノヤウナ御考ヲ御持

チニナツテ居ラレカト云フコトヲ御伺致

シタイノデアリマス、内務大臣ノ之ニ對シ

テノ御考ヲ御伺スル前ニ、一應此ノ點ニ對

シテノ私ノ卑見ヲ申上ゲテ、サウシテ御伺

スルコトガ便宜カト思フノデアリマス、先

達テノ豫算總會ニ於キマシテ、私ハ農林大

臣ニ産業自治ノ思念ニ立ツテ、農業團體ノ

再編成ヲ爲スノ御意思ガアルカドウカト云

フコトノ質疑ヲ致シタノデアリマス、更ニ

司法大臣ニ對シテ、司法自治制度創設ノ御

意思ガアルカドウカト云フコトニ付テノ質

疑ヲ致シタノデアリマスガ、私ハ行政ノ自

治ト、地方ノ自治ト、産業ノ自治トガ各分

別シテ並立ツベキモノダト信ジテ居ル

デアリマス、左様致シマシテ、町村ノ自治

行政ハ自治行政ニ專念致シマス同時ニ、

町村内ノ今申上ゲタ産業自治機關、或ハ司

法自治機關、其ノ他ノ各種ノ團體ト連絡調

整ノ任ニ當ル、左様ナ機構ニナルベキモノ

ダト考ヘテ居ルノデアリマス、若シモ一

部ノ人々ノ主張シテ居ラレマスヤウニ、町

村ガ經濟産業ノ問題ニマデ立入ルコトト相

成リマスナラバ、町村財政ノ堅實ヲ期スル

コトガ非常ニ困難ニナルノデハナイカ、又

町村自治ノ上ニ將來益々激化スルノデハナイ

カト考ヘラレマス經濟的ナ利害ノ對立ガ町

村自治ノ上ニ導入サレマシテ、ソレガ爲ニ



町村自治ノ混亂ヲ來スヤウナコトニナル處ガアルノデハナイカ、又町村自治ノ上ニ於ケル政治的ナ對立ガ産業經濟ノ統制ニ關シテ及ボスヤウナコトニナリマシテ、自治行政ノ上ニモ、亦産業經濟ノ上ニモ、ドチラニモ好イ結果ヲ齎ラスモノデハナイヤウニ考ヘラレド、デアリマス、又今日ノ町村ハ必ズシモ經濟單位デハナイノデアリマシテ、殊ニ今日ノ農村民ノ産業經濟ニ關スル活動ハ、今々全國的組織ノ下ニ統制アル活動ヲ爲シツアルノデアリマス、ソレ等ノ今申上テヤウナコトヲ考ヘ合セテ參リマス、町村自治ガ産業經濟ノ内容ニ介入スルコトハ適當デナイヤウニ考ヘラレド、デアリマス、又更ニ考ヘラレマスコトハ、町村行政ノ實際ハ、其ノ事務ノ七八割ガ委任事務デアリマシテ、自治制實施當時考ヘラレタモノトハ、甚ダシク其ノ性格ガ異ツテ參ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、又今日ノ社會情勢モ非常ニ複雜トナツテ參ツタノデアリマス、町村ノ役場ガ何モカモ背負ヒ込ムト云フヤウナコトハ出來得ナイコトト相成ツタト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ町村自治行政ノ經濟化ヲ圖ラウト云フヤウナ考ヘ方ハ、之ヲ實際ニ當嵌メテ、非常ニ無理ナ考ヘ方デアルヤウニ私ハ思フノデアリマス、寧ロ此ノ際産業團體ノ體制ヲ整備致シマシテ、産業自治ノ圓滿ナル運行ヲ期スルヤウニスベキデアル、左様致シマシテ先程申上テヤウニ、町村ハ一般的ノ自治行政ニ專念シテ、サウシテ更ニ町村内ノ各團體ノ連絡調整ニ當リ、左様ニ致シマスコトガ、最も適當ナ行キ方デアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテノ内務大臣ノ御所見ヲ御伺致シタイノデ

アリマス  
○見玉國務大臣 御答申上ゲマス、町村自治ノ經濟化ト云フコトガ昨今一般ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマスガ、町村ノ過去ノ實情ヲ見マス、地方ノ自治行政ガ往々ニシテ中央政府關係ト複雑ナ關係ヲ生ジマシテ、純正ナル自治ノ機能ガ振ハナクナツタト云フヤウナ事情ガアツタノデアリマス、此ノ町村自治ガ中央政府ニ種々ナ絡ミ合フ生ジタ爲ニ自治ノ本能ヲ失ハウトスル、其ノ意味合ニ對抗致シマシテ、時勢ノ趨勢ニ乘ツテ町村自治ノ經濟化ト云フ聲ガ叫バレテ來タト思フノデアリマス、此ノ町村自治ノ經濟化ト云フコトハ、隨テ色々ナ意味ニ用ヒラレテ居ルヤウデアリマス、殊ニ極端ナル人ノ話ニ依リマス、段々統制經濟ガ進んで參リマシテ、國家管理ト云フヤウナ時代ニナツタ時ヲ考ヘテ見ルト、地方ニ於テハ町村自ラガ管理事務ヲ取扱フト云フコトガ宜イノデハナイイダラウカ、サウ云フ趨勢ガアルノデハナイイカト云フヤウナコトマデ言ツテ居ル人モアルヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、私ハ大體今日ノ實際ニ適應シマスル考ト致シマシテ、町村ハ只今御話ノヤウニ、自治行政事務ニ專念シ、産業關係ニ於テハ産業系統ニ依ツテ地方ノ實情ニ即シク産業ノ開發ニ向ツテ努力シテ行ク、其ノ間ニオヒテ連絡關係ヲ密接ニ致シマシテ、町村ガ之ヲ指導シ、町村ト不即不離ノ關係ニ於テ、産業團體ハ産業團體ニ專念シ、町村團體ハ町村自治ノ中心ニ致シマシテ、村内ニ於ケル所ノ大小ノコトヲ連絡シテ、又世話ヲ燒イテ行クト云フ意味合ニ於テ之ヲ連絡シテ行クノガ、一番宜イノデヤナイイダラウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマ

ス、其ノ意味ニ於キマス、大體ニ於キマシテ今御話ニナリマシテ御考ト私ノ考トハ一致シテ居ルヤウニ思フテ居ルノデアリマス、段々ニ地方ノ町村ノ經濟發展ニ伴ヒ中央カラ色々ノ連絡ヲ持ツタ各種ノ産業團體ガ地方ニ出テ參リマシテ、此ノ産業組合ナリ、農會ナリト云フヤウナ系統ノモノガ中央カラ一ツノ筋ヲ引イテ地方ニ活動スルト云フヤウナコトガ想像セラレルノデアリマスガ、又ソレガ實際デアルヤウニ考ヘラレド、又ソレガ實際デアルヤウニ考ヘラレド、別ニナリマシテ、中央ノ指令ニ基イテ地方ノ利害ヲ加味セズシテ働タヤウナコトガアリマシテハ、是ハ全ク地方ノ經濟ヲ擾亂スルヤウナコトニ相成リマス、此ノ一面ニ於テ是等ノ各種ノ團體モ調整シテ行ク必要ガアリ、又其ノ中ノ必要ナル所ノ産業團體ト町村トハ最も密接ナル關係ヲ持ツテ、地方ノ利益ニ一致スルヤウナ經濟活動ヲヤツテ行ク、茲ニ初メテ開滿ナル町村ノ發達ヲ見ルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ重ネテ申上ゲマスルガ、只今御話ニナリマシテ趣旨ニ、大體ニ於テ私ハ同ジヤウナ考ヲ持ツテ居ルト云フ事柄ヲ御答申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○助川委員 内務大臣ノ御答辯ヲ私ハ極メテ満足ニ存ジマス、内務大臣ニ對スル質問ハ之ニ止メマシテ、次ニ私ハ肥料問題ニ關シテ御答辯致シタイト思フノデアリマス、農林大臣ガ御見エニナツテ居リマセウカ、大豆並ニ大豆粕ノコトニ付キマシテ對滿事務局ノ御當局ニ御尋致シタイト思フノデアリマス、其ノ前ニ一言申上ゲタイト思ヒマスコトハ、二月九日ノ豫算總會ノ席上ニ於キマシテ確安工業ニ對スル電力供給ノ問題

ウニ思フノデアリマス、此ノ頃ノ大豆粕ノ入荷ノ狀況ハ非常ニ惡イノデアリマスガ、更ニ大連ニ於ケル油房ノ様子ヲ聞イテ見マス、一月申ノ生産高ハ五ニシマデ二百二十一万一千枚、六万一千枚ニ過ギナカツタト云フコトデアルノデアリマス、二月ノ生産高モ四萬噸程度ト云ハレテ居ルノデアリマスガ、更ニ現在ニ於ケル生産高ハ日産四萬噸程度ト申サレマスカラ、サウシマスト三月ノ生産高ハ到底四萬噸ニハ達シ得ナイノデハナイカト考ヘラレド、デアリマス、ソコデ此ノ際御伺致シタイコトハ、本年ハ大豆粕百七萬噸、大豆九十九萬噸ノ輸入ガ我國ノ政府ト滿洲國トノ間ニ話合ガ出來テ居ツタト聞イテ居ルノデアリマス、其ノ後更ニ十八萬噸デアリマシタカ、其ノ上ニ増加ノ協定ガ成立ツタヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、増加ノ分ハ暫ク別ト致シマシテモ、大豆粕ノ百七萬噸ニ付テ考ヘマスト、大豆粕ノ十月カラ一月マデニ我國ニ輸入サレマシタ總高ハ四十三萬三千噸デアルト思フノデアリマス、更ニ八九月ノ輸入量ヲ昨年同月同様に六萬三千噸ト見マシテ、ソレヲ百七萬噸カラ差引キマスト、二月カラ七月マデニ、即チ本肥料年度ニ輸入サルベキ數量ハ五十七萬四千噸、斯ウナルト思フノデアリマス、サウシマスト一箇月平均九萬六千噸ツツノ輸入ガナケレバ、獲ニ申上ゲマシタ本特産年度ニ於テ百七萬噸大豆粕ヲ滿洲カラ輸入スルト云フ兩國ノ申合セハ實行サレナイコトナルノデアリマス、農林省ハ從來本年度硫酸アンモニヤノ減産ハ到底免レナイ、硫酸アンモニヤノ生産高ハ減ルガ、併シ其ノ代リニ大豆粕ガ百七萬噸、大豆ガ九十九萬噸、大豆粕ニシテ昨年度

ヨリハ三十七萬八千噸ノ供給ガ増加スルコトニナルカラ、確安ノ不足ハ或ル程度ニ依ツテ補フコトガ出來ル、左様ニ全國ノ農民ニ言明サレテ居ツタノデアリマス、私共モ農林省ノ其ノ言葉ヲ請責リシテ、大豆粕ノ増加、配給ノ可能ナルコトヲ常ニ申シテ居ツタノデアリマスガ、只今申上ゲマシタヤウナ實情ニ於キマシテハ、私ハ今後一箇月平均十萬噸近イ輸入ガ行ハレ、サウシテ百七萬噸ノ兩國政府ノ間ニ協定サレタ數量ガ、確實ニ入荷サレルカドウカト云フコトニ對シマシテ、非常ニ不安ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、滿洲國側ニ於テハ、必ズ協定ノ實行ニ對シテ熱意ヲ持ツテ居ラレド、遠ヒナイト思フノデアリマスガ、此ノ際如何ナル狀況ニナツテ居ルカ、協定通りニ實行ガ可能ナルカドウカト云フコトニ對シテ御伺致シタイノデアリマス、大豆粕ハ今申上ゲタヤウナ入荷ノ狀況デアルノデアリマスガ、更ニ大豆ニ付テ見マシテモ、本年一月マデニ入荷數量、ソレカラ八九月ノ豫定數量ヲ前年同期ト同様ニ見積リマシテ、協定ノ九十九萬噸カラソレヲ差引キマスト、二月カラ七月マデニ入荷サルベキ數量ハ七十一萬六千八百五十六噸トナルト思フノデアリマス、サウシマスト協定サレタ九十九萬噸ガ確實ニ輸入サレマス爲ニハ、今後一箇月平均十二萬噸ツツノ入荷ガナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニ相成ルモノト思フノデアリマス、所ガ今日マデノ入荷ノ狀況カラ見マス、或ハ其ノ三分ノ一モ入荷ガ望ミ得ラレナイノデハナイイカト云フヤウナ心配ガサレルノデアリマス、サウ云フコトニナリマス、大豆粕ノ供給ハ益々不足トナリ肥料供給ノ不足ト、

農山工業原料ノ不足、更ニ飼料ノ不足ニ非常ニ悩ミテ居ルコトニナルノデアリマスガ、此ノ大豆粕ノ滿洲國カラノ輸入ニ對シマシテ、ドノヤウナ成算ガアルノデアリマスカ、此ノ際御伺致シタイノデアリマス、序ニ併セテ御伺致シタイト思ヒマスコトハ、大豆ヤ、大豆粕ノ入荷ガ極メテ困難ナ狀況ニ在ルノデアリマスガ、滿洲化學工業會社ノ硫酸アンモニヤノ生産高ガ非常ニ少クナツテ居ルノデアリマス、從來ハ水ノ不足ノ爲ニ困難ヲシテ居ツタヤウニ聞イテ居ツタノデアリマスガ、水ノ不足ノ問題ハ既ニ解消致シマシテ、今日ハ石炭ノ供給サヘアレバ相當ニ増産ガ可能デアルト思フノデアリマスガ、此ノ際内地ニ於キマシテハ先程申上ゲタヤウニ確安ノ増産ニ政府ハ非常ニ熱意ヲ持ツテ努力セラレツツアルノデアリマスガ、此ノ際滿洲化ノ確安増産ニ對シマシテ、モット積極的ニ御努力ニナル御意思ガナイイカドウカ、此ノ點ヲ併セテ御伺致シタイノデアリマス

○畑國務大臣 國內ニ於キマス大豆並ニ大豆粕ノ缺乏ハ萬々承知致シテ居リマシテ、吾々モ折角努力シテ居リマスガ、如何セン、今年ニ於キマシテ滿洲國ノ減收、又昨今ニ於ケル配給ノ狀況等、何ト申シマシテモ外國デアリマスノデ、其ノ點思フニ委セテ所ガ少クナイノデアリマス、今後十分滿洲國側トモ連絡シ、又關係方面ヲ奮勵致シマシテ、其ノ需要ニ應ジタイト折角努力スル考デアリマスガ、尙ホ詳細ハ政府委員カラ申上ゲマス  
○竹内(德)政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ順序ハ逆ニナリマスガ、先ツ滿洲化學ノ確安ノ問題カラ先ニ御答申上ゲタイト

思ヒマス、現在ノ肥料ノ狀況ニ於キマシテハ、滿洲化學ノ生産ヲ能ク限リ増進致シマシテ、日本ニ對スル確安ノ供給ヲ一應デモ増加セシメヨウト云フコトハ、私共モ前カラ考ヘテ居リマシタシ、滿洲國政府當局トシテモ非常ニ苦勞シテ居ツタノデアリマス、只今御話ノ如キ、昨年九月マデニ於キマシテハ、大連ニ於ケル異常ナル洪水ノ爲ニ、常ノ飲料水ニモ差支ヘルト云フコトガ狀況デアリマシタ爲ニ、滿洲化學ニ對スル水ノ供給モ已ムヲ得ズシテ相當削減サレ、其ノ結果トシテ確安ノ生産ガ、昨年七八月ノ頃ニ於テハ非常ニ減産トナツタノデアリマスガ、幸ニ八月末カラ九月ニ掛ケマシテ、多量ノ降雨ガアリマシタ爲ニ、洪水ノ問題ハ殆ド解消致シマシテ、其ノ後ニ至リマシテ、今度ハ、先程御話ノ如ク石炭ノ供給ガ圓滑ヲ缺キマシタ爲、水ノ方ノ問題ハ解決シタニ拘ラズ、確安ノ生産ハ、依然トシテアノ會社ノ能力ノ六七割シカ出テ居ラス、斯ウ云フ風ナ狀況ニ在ルノデアリマス、滿洲國ト致シマシテモ、滿洲化學ニ對スル石炭ノ配給ト云フコトニ付テハ、特段ノ考慮ヲ拂ツテ居ルノデアリマスガ、如何セン、昨年ノ暮カラ本年ノ一月ニ掛ケマシテハ、滿洲ニ於キマシテハ、考ヘヤウニ依リマシテハ日本内地以上石炭ノ供給ガ窮乏ニナツテ居リマス、就中滿洲ニ於ケル特殊事情ト致シマシテハ家庭用ノ煤炭用ノ石炭、是ダケハ實際生活問題トシテ大幅ノ削減サスルコトガ出來ナイト云フ爲ニ、一般ノ工場用炭其ノ他モ非常ニ削減シテ居ル狀況デアリマスガ、滿洲化學ハ其ノ特殊ノ性質ニ應ジマシテ、削減率ハ他ノ工場程甚ダシク減ハナイノデアリマスガ、尙且ツ相當ノ削



減額餘額ナクサレタ、斯ウ云フ狀況ニアツタノデアリマス、併シ此ノ三月以降ハ、今申シマシタ家庭用ノ石炭ノ供給方相當減リマスノデ、滿洲化學ニ對スル供給モ、三月カラハ相當増加サセル豫定ニ滿洲國ノ方ノ石炭供給ノ豫定ハナツテ居リマスカラ左様御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ豆粉ノ問題デゴザイマスガ、是ハ御話ノ如ク私共モ決シテ樂觀ハ致シテ居リマセヌノデ、現在ノ内地ノ狀況ヲ考ヘマシテ折角苦慮シテ居ル狀況デゴザイマスガ、只今總裁ヨリ御答辯アリマシタ如ク、根本ハ昨年ノ作柄ガ一昨年ニ比ベマシテ相當量ノ減收ニナツテ居リマス、是ハ大豆ニ限ラズ一般ノ雜穀モサウデゴザイマスガ、唯其ノ反面第三國ニ對スル輸出ノ數量ハ、是ハ幸カ不幸カ此ノ歐洲戰爭以來輸送、其ノ他ノ關係デ前年ニ比ベテ非常ニ減ツテ居リマス、隨テ生産量ハ減ツテ居リマスガ、對日供給額ニ於テハ生産量ガ減ツタダケノ減少ハ見ナイデ済ムト思ヒマス、色々細カキコトヲ此處デ申上ゲルノハ適當デナイト思ヒマス、又別ノ機會ニ申上ゲタイト

ガ七月乃至九月、斯ウ云フ計畫ニ致シテ居リマスガ、極大難把ニ申上ゲマシテ、粕ノ方ノ數量ハ的確ニ此ノ數量ニ達スルカドウカト云フコトハ、今カラ豫測スルコトハ實ハ出來マセヌ譯デゴザイマスガ、此ノ豫想トサウ遠クナイ所ニ行クノデハナイカ、問題ハ寧ろ減額トスレバ、日本ニ對スル豆ノ供給ノ方ガ減ル、ト申シマスノハ專斷制度實施以來色々事情ガゴザイマシテ、此ノ統制ノ最初ニ於キマシテ所謂技術ガ澤山アリマシタ爲ニ、本來普通ノ年デアリマスレバ豆デ大連ナリ營口ナリノ輸出港ヘ出テ來マモノガ相當アルト考ヘラレマス、隨テ豆ノ出廻トシテハ例年ニ比ベテ非常ニ減ツテ居リマスガ、其ノ分ハ國內デ相當精ニナツタノデハナイカト云フコトガ考ヘラレマスノ

○勸川委員 滿洲國側ニ於キマシテモ誠意ヲ以テ御心配ニナツテ居ラレコトハ御察シ申上ゲルノデアリマス、又對滿事務局ガ申入ツテ非常ニ御苦心ヲナサツテ居ルニナルコトモ十分諒解スルコトガ出來ルノデアリマス、私ガ大豆ヤ大豆粉ノ問題ニ關シマシテ強ク申上ゲマスノハ我國ノ食糧生産ヲ確保シ、畜産ノ維持ヲ全カラシメタイト云フコトノ念願カラナノデアリマスガ、更ニ日滿兩國ノ緊密ナル提携ヲ永遠ニ維持致シマス爲ニハ、日滿兩國農民ガ不可分の關係ヲ確立スルコトガ必要ナノデアリマス、其ノ點カラ我國ノ農民ガ最モ悩ムデ居

肥料問題ニ關シマシテ、滿洲農民ガ理解ト同情トヲ以テ眞ニ協力スル態度ヲ示サルルコトハ、日滿兩國ノ將來ニ爲ニ最モ望マシイコトト考ヘテ居ルノデアリマス、大豆ガ昨年思ツタ程ノ生産ガナカッタ、一昨年ニ比ベテ相當ノ減收デアツタト云フコトハ御說明ニ依ツテ明カデアリマスガ、ソレニシマシテ第三國向ケノ輸出ガ非常ニ少クナツタノデアリマスカラ、大豆ノ相當ノ數量ガ滿洲國ニマダ殘ツテ居ル管ダト思フノデアリマス、サウデアリマスカラ今申上ゲタヤウナ點ニ對シマシテ、滿洲國ノ農民ガ十分ナ理解ヲ以テ協力サルル態度ニ出ラレルナラバ、曩ニ兩國デ協定サレマシタ程度ノ數量ノ滿洲國カラノ輸出ハ可能ナ管ダト考ヘラレルノデアリマス、此ノ問題ハ私ハ日滿兩國農民ノ協力提携ノ上ニ相當大キナ意義ヲ持ツ問題ダト思フノデアリマシテ、サウ云フ點ニ對シテ更ニ十分御留意ノ上ニ善慮ヲ御願致シタイト思フノデアリマスガ、斯ウシタ考ヘ方ニ對シテ御所見ヲ御伺出

○畑國務大臣 只今勸川君ノ日滿兩國農民ノ提携協力ト云フコトハ洵ニ御尤モナコトデアリマシテ、無論日滿兩國ハ不可分ノ關係ニアリマスコトハ私ガ甚ダ申上ゲマシテモイコトデアリマス、隨テ此ノ日滿兩國ノ官ハ固ヨリ民ニ至ルマデ甚ダ相互ニ協力提携シテ參ラウト云フコトニ付キマシテハ、日滿兩國共ニ毛頭異論アラウ管ハナイノデアリマシテ、吾々ト致シマシテモ今後十分此ノ方針ヲ以テ進ミタイト思フノデアリマス、唯併シ滿洲國ハ何ト申シマシテモ建國マダ日ガ淺ク致シマシテ、機構モマダ十分ニ整

ハナイ點ガ末々ニ參リマシテハアルノデアリマスカラ、今後吾々ト致シマシテハ十分滿洲國當局ト緊密ニ連絡ヲ致シマシテ、只今御話ノアリマシタヤウナ趣旨ニ副フテ參リタイト考ヘテ居リマス

○竹内(可)政府委員 十五年度ノ物動計畫ハ折角今急イ立案中デゴザイマスガ、御話ノ農山漁業用ノ資材ノ確保ト云フコトニ付キマシテハ、特別ニ考慮シテ行カケレバナラナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、申上ゲマシマシタ食糧ノ確保ト云フコトハ今日最モ重要ナコトデアリマスノデ、是ガ生産ニ必要ナル資材ニ付キマシテハ、十分考慮ヲ拂ツテ行カケレバナラナイト考ヘテ居リマス、御承知ノ通り十四年度ニ於キマシテハ特定ノ資材ニ付キマシテハ、物動計畫ノ中ニ特ニ優先的ニ考慮ヲ致シマシテ、是ガ數量並ニ供給ノ確保ヲ圖ツタノデアリマスガ、更ニ十五年度ニ於キマシテハ一層ノ注意ヲスルノガ今日ノ考ヘ方デゴザイマス

農業者ニ出來ルダケ多クノ米ヲ出荷サセテ、サウシテ又此ノ十五年度ノ米作ニ對シテ、出來ルダケ増産ヲサセケレバナラナイト云フコトハ、申上ゲルマデモナイノデアリマス、私ハ此ノ際簡單ニ農村ノ事情ヲ御參考ニ申上ゲテ見タイト思フノデアリマスガ、丁度今ハ農閑期デアリマシテ、何レノ地方デモ講演會ヤ講話會ノ開カレル時期デアリマス、ソレデアリマスカラ各府縣ハ米麥ノ出荷獎勵増産獎勵ト云フヤウナ講演會ヲ開イテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ講演會ハ概ネ遊效果ヲ奏シテ居ルト云フヤウナ所カラ、講演會ヲ途中デ止メテ引上ゲテ來ルト云フヤウナコトヲ、方々デ話ヲ聞イタノデアリマス、現在農業者ハ肥料モ飼料モ其ノ他ノ資材モ極々配給サレナイ、ソレヲ手ニ入レヨウトスレバ間取引デ非常ニ高イ金ヲ拂ハナケレバナラナイ、農業者ニ對シテハ食糧米モ節約シテ米麥ノ出荷ヲシト、サウ要求スルノニ、農業者ニ對シテハ生産資材ノ供給ハ、今申上ゲタヤウニ甚シク不十分デアリ、農業者ニ求ムル所ト與フル所ノモノガ、餘リニ片手落ダト云フヤウナ聲方相當ニ高イノデアリマス、又生産資材ノ配給ガ非常ニ不足デアリマシテ、サウシテ増産ヲ要求スルコトハ無理ヲ求ムルモノダト云フヤウナ考モアルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ氣分ガ農村ニアリマスコトハ、出荷促進ノ上ニモ、又生産促進ノ上ニモ、洵ニ遺憾ナコトダト思フノデアリマス、出荷ノ促進ニ付キマシテモ、又生産促進ノコトニ付キマシテモ、私ハ農業者ガ非常ニ意氣込デ奮興起スルノデナケレバ、此ノ目的ヲ達成スルコトハ出來ナイト

思フノデアリマスガ、農民ヲ奮興起セシムルヤウナ積極政策ヲ講ジラナイマデモ、セテ今申上ゲタヤウナ不平不滿ノ聲ヲ聞カナイダケノコトハ、ドウシテモヤラナケレバナラナイト思フノデアリマス、勿論現在ノ狀況ニ於キマシテ、何レノ物資ニシマシテモ不足ノヤウニ十二分ニ供給スルト云フコトハ、是ハ無理ナ註文デアリマシテ、唯政府ガモツト熱意ヲ持ツテ、要スルニ農業者ヲ發奮サセマスノニハ、政府自ラガ燃エ、サウシテ農民ノ發奮起ヲ促スト云フ、其ノ心構ヘガ一番必要ダト思フノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、硫酸、アソレ等ノ講演會ハ概ネ遊效果ヲ奏シテ居ルト云フヤウナ所カラ、講演會ヲ途中デ止メテ引上ゲテ來ルト云フヤウナコトヲ、方々デ話ヲ聞イタノデアリマス、現在農業者ハ肥料モ飼料モ其ノ他ノ資材モ極々配給サレナイ、ソレヲ手ニ入レヨウトスレバ間取引デ非常ニ高イ金ヲ拂ハナケレバナラナイ、農業者ニ對シテハ食糧米モ節約シテ米麥ノ出荷ヲシト、サウ要求スルノニ、農業者ニ對シテハ生産資材ノ供給ハ、今申上ゲタヤウニ甚シク不十分デアリ、農業者ニ求ムル所ト與フル所ノモノガ、餘リニ片手落ダト云フヤウナ聲方相當ニ高イノデアリマス、又生産資材ノ配給ガ非常ニ不足デアリマシテ、サウシテ増産ヲ要求スルコトハ無理ヲ求ムルモノダト云フヤウナ考モアルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ氣分ガ農村ニアリマスコトハ、出荷促進ノ上ニモ、又生産促進ノ上ニモ、洵ニ遺憾ナコトダト思フノデアリマス、出荷ノ促進ニ付キマシテモ、又生産促進ノコトニ付キマシテモ、私ハ農業者ガ非常ニ意氣込デ奮興起スルノデナケレバ、此ノ目的ヲ達成スルコトハ出來ナイト

○竹内(可)政府委員 只今御話ノヤウニ、農民ノ心理ヲ把握シマシテ、サウシテ時局ニ處スル上ニ於キマシテ協力ヲ求メテ行クト云フコトノ最モ必要デアリマスコトハ、全ク御同意デアリマス、從ヒマシテ資材ノ不足ノ狀況等ニ付キマシテモ、十分其ノ理解ヲ求メルト云フダケノ努力ヲ再々シナケレバナラヌト云フ點ヲ、痛感致シテ居ルノデアリマス、最近ナ例ヲ申上ゲマシタラバ、例ヘバ農村用トシテ特ニ豫定ヲ致シマシタ物資ガ、全部農村ニ流レナイデ、他ノ方面ヘ是ガ出テ行ツテシマフト云フヤウナコトナドモ、從來必ズシモ無カッタトハ言ヘナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトハ一番イケナイコトデアリマシテ、初ニ決メマシタ數量ガ、配給機構ヲ通ル間ニ他ニ流レルト云フコトノナイヤウニ注意スルト云フヤウナコトナドハ、最モ必要ナコトデアリマシテハ、企業院、商工省、農林省ガ密接ニ連絡ヲ致シマシテ、漸次是等ノ點ハ改善サレテ來テ居ルノデアリマスガ、今後モソレ等ノ點ニハ十分注意ヲシテ參リタイト思ヒマス、御話ノヤウニ吾々ト致シマシテモ農民ノ心持ト云フモノニ十分理解ヲ置イテ、サウシテ精神的ナ協力ヲ求メルト云フコトニ付キマシテハ、今後十分留意シテ參リタイト思ヒマス

○勸川委員 洵ニ執拗イヤウデアリマスガ、私ハ此ノ農用資材ノ供給ノ問題ハ極メテ重大ナ問題ダト考ヘマスノデ、更ニ立入ツテ具體的ニ御專致シタイト思フノデアリマス、昨年ノ農業資材ノ供給ノ狀況ヲ見マスト、必需數量ニ對シマシテ棉製品ノ被服類ガ約七%、一割ニモ足リナイ供給デアツタト思フノデアリマス、地下足袋ガ三五%、襪類ガ亦一割足ラズ、農用器具ガ二三%、針金類ガ二四%、此ノ程度デアツタト思フノデアリマス、餘リニ少イノデアリマス、其ノ上只今總裁ノ御話ニアリマシタヤウニ、此ノ少イ農村方面ニ對シテハ割當ガ更ニ其ノ上他ノ方面ニ流レテ行ク、折角割當テラレタ此ノ僅カノ數量モ完全ニ農民、漁業者ノ手ニ入ラナイト云フヤウナ狀況ニアツタノデアリマス、是デハ餘リニ少ナ過ギルノデアリマシテ、私ハ少クモ假ニ茲デ考ヘテ見マシテ、綿製品ヲ更ニ二三%ニ増ヤシマシテモ、ソレデモ必需數量ノ二割程度デアルト思フノデアリマス、決シテ無理ナ要求デアリナイト思フノデアリマス、更ニ地下足袋ニ倍程度ニ増ヤス、襪類ヲ三四倍程度ニ増ヤス、農用器具、針、針金等ヲ二三倍程度ニ供給ヲ殖ヤス、サウ云フコトニ致シマシテモ、私ハ合計ニ於キマシテ五六千万圓程度、今申上ゲタ程度ノ供給ガ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス、本年米ノ不足ノ爲ニ外米ノ輸入ニ巨額ノ正貨ヲ支拂ツタノデアリマス、私ハ一文吝シテ百知ラズノ結果ヲ招來致シマスコトハ深ク戒メナケレバナラナイト思フノデアリマス、此ノ際今申上ゲタヤウニ此ノ程度ノ配給増加ニ對シテハ五六千万圓程度ヲ濟ム、國內ノ紙幣ノ流通テソレガ解決サレルト云フコトヲ考ヘマス時ニ、少クモ此ノ程度ノ資材ノ配給ハ政府デ御考ニナツテ裁カケレバナラナイコトダト思フノデアリマス、私ハモウ少シ具體的ニ數量ヲハツキリ御示シ戴クコトハ無理カト思フノデアリマスガ、御心持ヲモウ少シハツキリト聽カシテ戴キタイト思フノデアリマス



デモナイノデアリマス、サウデアリマスノニ昨年ノ地下足袋ノ配給ハ、只今申上テタヤウニ非常ニ少イノデアリマス、殊ニ地下足袋ノ昨年配給ニナリマシタ數量ハ商工省ノ發表ニ依リマス、全體デ千八百萬足ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、地下足袋ノ配給ニナツタノガ千八百萬足、サウシテ其ノ内農山漁村用トシテ配給サレタモハドウモ私共ノ考デハ、一般民需ト農山漁村用トノ割合ガ甚シク不公平デアルカノヤウニ考ヘラレレノデアリマスガ、地下足袋ニ對シマシテドノヤウナ基準デ昨年度ノ配給ヲ割當テラレタノデアアルカ、サウシテ明年度ノ配給ニ對シマシテドノヤウナ御方針ニナツテ居ラレマスカ、御伺致シタイノデアリマス

○竹内(可)政府委員 地下足袋ハ農村方面並鐵山、其ノ他絕對必要ナル工業方面ト云フヤウナモノニ之ヲ配給シタト思フノデアリマスガ、商工省ト農林省ノ間デ協議ヲ致シマシテ此ノ數量ハ決定致シタノデアリマス、是ガ實情ニ副フテ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、企業院トシマシテハ改メテ再檢討ヲシテ參リタイト思ヒマス、尙ホ十五年度ノ問題デゴザイマスガ、御承知ノ通り地下足袋ノ原料ハ護謨ト綿デゴザイマシテ、何レモ輸入ヲシテ參リマス關係上十分ノ供給ガ出來ナイノデアリマス、自然我儘ノ出來マス限リハ他ノ物ヲ以テ代用シテ賈ハナケレバナラナイ實情ニアル譯ナノデアリマス、併シ十五年度ニ於キマシテハ十三、十四年ノ經驗ニ鑑ミマシテ、地下足袋ト云フモノニ付キマシテハ、特ニ考慮ヲ拂ハナケレバナラナイト、折角考ヘテ居ルノデアリ

マシテ、御迷ニナリマシタ御趣旨ニ付キマシテハ全然同様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○助川委員 申上ゲルマデモナク、農家ノ勞働力ハ一戸三人ト見ナケレバナラナイノデアリマス、隨テ勞働人口ノ數ヲ戶數ヲ基準ニシテ考ヘルト云フ所ニ色々開違ヒガ起ルノデハナカ、一戸ノ勞働力ガ三人デアルト云フ、是ハ釋迦ニ説法ノヤウデアリマスガ、決マテ切ツコトデアルノデアリマス、今後ノ割當ヲ考ヘラレル場合ニ其ノ點ヲ特ニ御留意ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、先程詳細ノ御説明ノ中ニ、農山漁村用ノ資料ガ他ノ方面ニ流レテ行ク、之ニ對シテハ出來ルダケ防止シテ、完全ニ農山漁村ニ流レテ行クヤウニ努力スル考デアルカト云フコトヲ御伺致シタノデアリマスガ、實ハ昨年ノ議會ノ開會中ニ、私共青木前總裁ニ御話申上ゲマシテ、從來農山漁村用ノ物資ハ一般民需ト一ツニナツテ居ツタノデスガ、ソレヲ引分ケテ一般用ノ物資ト、農山漁村用ノ物資トシテ配給サレルコトニナツタノデアリマス、私ハ此ノ事ハ青木前總裁ノ非常ニ英斷アルト考ヘテ感謝シテ居ルノデアリマス、併シナガラソレヲ需要者ニ流シ配給過程ニ於キマシテ、マダ十分デナイガ爲ニ、只今總裁カラ他ノ方面ニ流レテ行クノ努力メテ防グト仰シヤイマシタガ、實際ハ現在眞直ニ流レナイデ、横ニ外レルモノガ相當ニ多イト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、物資ノ問題ハ供給量ノ問題ト配給問題トガ離レベカラザルモノデアリマシテ、配給ノ問題ガ潤滑公平ニ行ハレマセスト、不足ナモノハ益々不足ニナル、供給量ノ少イ場合ニ配給ガ適

正ニ行ハレルコトガ絕對ニ必要ナコトダト思フノデアリマス、私ハ總裁ハ農林商工兩省ノ實際ノ事務ニ關シマシテ體驗ヲ御持チニナツテ居リ、知識ヲ持ツテ居ラレマシテ、青木前總裁ノ殘サレタ配給ノ問題ヲ御心配戴クノニ最モ相應シイ總裁デアルト信ジテ居ルノデアリマス、現在資料問題ニ關シマシテハ、此ノ配給ノ問題ガ極メテ重大ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、先程御答辯ノアリマシタヤウニ、今後ハ農山漁村用トシテ割當テラレタモノヲ他ノ方面ニ流出セシメナイト云フ所ニ、配給機構ノ改善ガ必要ナノデアリマス、配給ノ適正化ヲ圖ルコトニ付キマシテ、總裁ノ格別ナル御努力ヲ御願致シタイト思フノデアリマスガ、此ノ際ソレニ對シテ御所信ヲ御伺出來レバ仕合ニ思フノデアリマス

○竹内(可)政府委員 農用資料ガ豫定ノ計畫通りニ需要家ノ手ニ入ルヤウニ致シマスコトハ、極メテ必要デアルト云フコトヲ最初ニ申上ゲタノデアリマスガ、商工省ト農林省ノ協議ニ依リマシテ、例ヘバ地下足袋トカ、綿製品類、護謨靴、其ノ他ノ護謨製品、ソレカラ綿、麻ノ漁網類ト云フヤウナ物ニ付キマシテハ、兩省ノ協議ガ十分調ヒマシテ實施セラレテ居ルノデアリマス、其ノ他ノ物品ニ付キマシテモ一ツツ解決ヲ圖ツテ居リマシテ、只今ノ所デハ餘程改善サレテ來テ居ルト思ヒマス、今後方法ダケ決リマシテモ實際其ノ通り行ハレルカ、配給機關ガ之ヲ勵行スルカドウカト云フ點ニ付キマシテモ、特別ノ注意ヲ拂ツテ行カナケレバナラナイト思フノデアリマス、大體御承知ノ通り配給機關ノ系統ヲ取ツツテ居ル合ノ系統ト商業組合ノ系統ヲ取ツツテ居ル

○助川委員 折角御心配ニナツテ居デノコトハ諒承致シタノデアリマスガ、實際ニ於キマシテ御話ノヤウニ流レガ潤滑ニ行ハレテ居ラナイノデアリマス、是ハ現在ノ實情ヲ申シマス、流レガ潤滑ニ行ハレナイバカリデナク、間取引ノ横行ハ實ニ甚シイノデアリマス、恐ラク地下足袋ハ公定價格ノ三、四倍以内デハ農村漁村民ノ手ニ入ルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、護謨靴ノ如キハ恐ラクハ公定價格ノ十倍内外ノ間取引ガ行ハレテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、配給ガ潤滑ニ行ハレナイノ所ニ不公平ガアルノデアリマシテ、米ニシマシテモ、炭ニシマシテモ、農民ノ作タツモノハ公定價格デ買上ゲラレテ、自分達ノ買物ハ公定價格ノ何倍、或ハ十倍ニ近イ値デナケレバ自分ノ手ニ入ラナイト云フヤウナコトハ、農民ノ心理ニモ非常ニ惡イ影響ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、要ス

ルニ、私共ハ統制經濟ノ一番大キナ狙ヒハ、公平ヲ保チ不公平ヲナクナスト云フコトト、間ヲナクシテ明ルクスト云フコトガ統制經濟ノ大キナ狙ヒデナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、實際今日ノ配給ノ様子ハ甚シイ不公平ト益々開ガヒドクナルト云フヤウナ吾々ノ考ト反對ノ事實ガ多イノデアリマス、ドウカ今後一段ノ御工夫ヲ御願致シタイノデアリマス、此ノ希望ヲ申上ゲマシテ、企業院總裁ニ對スル質問ヲ終リタイト思フノデアリマスガ、總理大臣、農林大臣ノ御出席ガアリマセカ、若シ機會ガアリマスナラバ質問ノ機會ヲ與ヘテ戴クコトニシマシテ、此ノ質問ヲ保留シテ、私ノ質問ハ是デ一應打切ルコトニ致シマス

○中村委員長代理 ソレデハ少シ早ウゴザイマスガ、午前中ノ委員會ハ是デ止メマシテ、午後一時ヨリ始メマス、是ニテ暫時休憩致シマス

午前十一時五十一分休憩

午後一時三十六分開議

○中村委員長代理 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、是ヨリ質疑ヲ續行致シマス、其ノ前ニ加藤商工政務次官ヨリ午前中ノ助川君ノ質問ニ對シテ發言ヲ求メラレテ居リマスカラ、之ヲ許可致シマス——加藤商工政務次官

○加藤政府委員 午前中助川君ヨリ農村ノ問題ニ付キマシテ極メテ熱誠ニ御質問ガアリマシタ、殊ニ資料ノ不足、配給ノ不潤滑ニ付キマシテノ御質問ガゴザイマシタガ、其ノ中地下足袋ノ問題ニ付テ抽象論ダケデ殖ヤスト云フコトデアツテハ困ル、ドレダケ位殖ヤス積リデアアルカ、具體的ニト云フ

御要求ガアツタヤウニ存ジタノデアリマス、其ノ時私御答辯ヲ致サウト存ジマシタガ、既ニ休憩ヲ宜セラレタノデアリマシテ、只今大體ノ具體的ノ御答辯ヲ致シタイト存ジマス、地下足袋ハ只今ノ所デハ一箇月約百萬乃至二百二十萬足此ノ間申出テ居ツタノデアリマスガ、三月カラハ一箇月ニ百六十萬足出シテ居ルノデアリマス、併シ一箇月ニ百六十萬足出シテ居リマシタ所ガ、色々工場或ハ鑛山、又農村ノ方面等色々ノ方ヘ配給致シマスガ爲ニ、百六十萬足位デハ足ルマイト存ジマスルガ爲ニ、只今計畫致シテ居リマス所ハ、來年度ヨリハ一箇月二百五十萬足、一年三千萬足位之ヲ出シタイト存ジテ居ルノデアリマスガ、併シ是ハ物動計畫トモ配合シテノコトデアリマスルガ爲ニ、的確ナル數字ヲ申上グルコトハ稍、控ヘナケレバナラナイト思ヒマスガ、少クトモ此ノ三千萬足ニ向ツテ吾々ハ努力致シタイト存ジテ居ル積リデゴザイマス、是トモ農村各方面ニ満足ニ行渡ルトハ私ハ存ジマセカ、幾分ナリトモ之ニ依ツテ潤澤ニナルコトデアラウト信ズルノデゴザイマス

○助川委員 具體的ノ御答辯ヲ載キマシテハ先程申上ゲタヤウニ所要量ノ七〇程度デアアル、一割ニモ足りナイ、餘リニ少ナ過ぎルノデアリマス、綿製品ノ配給ニ對シマシテモ、非常ニ御心配ニナツテ居ラレルヤウニ承知シテ居ルノデアリマスガ、若シ綿製品被服ノコトニ付テノ御説明ガ何ハレルナラバ、御話ヲ御願シタイト思ヒマス

○加藤政府委員 地下足袋ニ致シマシテモ、護謨バカリ出シタ所デ綿ガソレダケ配給サレナケレバ、地下足袋ノ只今申シタヤウナ數量ニハ達セヌノデアリマス、綿製品ニ對シマシテモ出來ルダケ物動計畫ト配合セマシテ、農村方面ニ配給スル、或ハ作業服或ハ軍手、サウ云フモノニ付テモ相當ノ計畫ヲ以テ今折衝中デアリマスルガ、此ノ數字ハマダ暫ク御待チヲ願ヒタイト存ジテ居ルノデアリマス、只今地下足袋ノ如キ勢ヒヲ以テ實現致シタイト存ジテ居ルノデアリマス

○中村委員長代理 ソレデハ眞誠儀十君ニ承知シテ居ルノデアリマスガ、若シ綿製品被服ノコトニ付テノ御説明ガ何ハレルナラバ、御話ヲ御願シタイト思ヒマス

○眞誠儀十君 私人大體生活必需品ニ對スル需要供給ノ關係ニ價格問題ニ付テ質問スル積リデアリマシタガ、マダ要求ノ農林、商工兩大臣トモ御出席ガゴザイマセカ、其ノ前ニ他ノ方面ニ付テ少シ伺ツテ見タイト思ヒマス

第一番ニ此ノ三號ノ中ニハ專賣局益金増加トシテ、約千六百萬圓ガ見積ラレテ居リマス、帝國議會ニ於テ色々論議ヲ開ハシテ後ニ、安心シテ豫算ト云フモノガ組ミ立テラレ、是ガ施行セラレル譯デアリマスガ、煙草ダケハ獨斷ヲ以テ吾々ノ知ラナイ間ニ如何様ニモ値上ガガ斷行サレルノデアリマシタガ、凡ソ低物價政策ヲ以テ國民ニ臨マレテ居ル政府自體ガ、屢、披打的ニ煙草ノ値上ヲナラレマスカラ、此ノ千六百萬圓ノ專賣局ノ益金ノ増加ノ内容ニ付テハ、一應念ヲ押シテ置カナケレバナラマセカ、當局カラ一ツ内容ノ御説明ヲ少シ承ツテ見タイト思ヒマス

○花田政府委員 只今ノ御話ノ千五百八十五萬圓デアリマスガ、是ハ昨年ノ十一月ニ御承知ノ通り製造煙草全數ニ互リマシテ値上ヲ致シタノデアリマス、即チ其ノ値上ニ依リマシテ、其ノ値上後ニ十四年度内ニ増加スベキ見込金額ハ、消費減ヲ見込マナイモノト致シマシテ約二千萬圓ニナルノデアリマス、之ニ對シマシテ値上ニ依ル消費減ヲ五分ト見マスレバ、ソレガ約四百數十萬圓ニナルノデアリマス、其ノ結果ソレヲ差引キマシタ千五百八十五萬圓ト云フモノヲ、本年度ノ増加額トシテ計上致シテ居ル譯デアリマス

○眞誠委員 最近又値上ヲシナケレバナラナイヤウナ實情ニ、現在ハ迫マラレテ居ナイノデアリマセカ、換算スレバ民間方面ニハ專賣局ノ煙草ノ利益ト云フモノニ付テハ、大體數字ヲ擧ゲテ知ツテ居ルヤウデアリマスガ、又更ニサウ云フ必要ガ最近ノ内ニ來サウダト云フコトニナリマス、愈々問題ダト思ヒマス、ドウセ政府ノ方デハ今ハ上ゲル意思ハナイト御答ニナルデセウガ、何レノ場合ニモサウ云フ御答辯ガアツテ、ソレデ事實ハ之ニ反シテズン、上ゲテ來ラレタノデアリマスカラ、答辯ヲ承ツテモ役ニ立タヌカモ知ラマセカレドモ、差迫ツテサウ云フ必要ガ多少デモマダアルト云フノナラ——ナイト云フハウキリシタ御返事ハ政府デモナサレル譯ハナイノデアリマスガ、其ノ點餘リ低物價政策ニ逆行スルヤウナ行動ヲ、政府自體ガ先ニ進ンデ國民ノ前ニサラケ出スト云フコトガナイヤウセウカ、モウ一遍御答辯ヲ煩ハシマス



○花田政府委員 只今ノ御答辯アリマスガ、今回ノ値上ハ本議會ニ提出サレテ居リマス。稅制改革ノ中ノ消費稅ノ增加ニ伴ヒマシテ致シタノデアリマス、將來ノ値上ノコトニ付キマシテハ、大藏大臣カラモ他ノ委員會ニ於キマシテコト數年間ハ増稅ヲ致サナイ考ヘデアリマス。煙草ノミニ付テ増稅ノ意味ヲ含ムヤウナ値上ノコトハ考ヘテ居ラナイト云フコトヲ御答辯ニナツテ居リマス、政府ト致シマシテハ其ノ意味合ニ於キマシテ、煙草ニ付テノミニ是ト關聯ノアル値上ヲ致スト云フコトハ考ヘテ居ラナイ、斯ウ申上テ宜シト思ヒマス。

○眞鍋委員 大體分リマシタ、他ノ色々事情ト關聯シテ觀ミ合セルト云フ場合ニハ考ヘラレコトモアルケレドモ、現在ノ所デハサウ云フコトハナイト云フ御答辯デアリマス。是ハ安心致シマス。

次ニ興亞院ヲ中心トスル方面ノ御話ヲ承ツテ見タイ思ヒマス、北支中支方面ニ色々ノ開發會社ガ出來テ居リマシテ、ソレガ株トナツテ現ハレテ參リマスモノニ對スル具體的內容デアリマス、例ヘバ交通ニ付テ申上テ見マス、鐵道ガ財產ノ大部分デアル場合、支那側デ建設シマシタ鐵道ノ中デ、外債ヲ持ツテ居リマスモノハ、財產見積ノ際ニハ大體ドウ云フ評價ニナツテ外債ガ現ハレテ、ソレガ會社ノ株トナツテ來ルノデアリマス。其ノ點私能ク分リマセシメテ御答辯ヲ願ヒマス。

○日高政府委員 只今ノ御質問ノ要點ハ北支中支兩方ト思フデアリマスガ、鐵道ニ關シマシテハ、日支合辦ノ交通會社ガ出來テ居リマス中デ、支那政府ガ前ニ持ツテ居リマシタ鐵道ガドウ云フ形デ會社ニ入ツテ

居ルカト云フ點ト思ヒマス、實ハ交通會社ノ方ハ、一寸特殊ノ形ニナツテ居リマシテ、其ノ中デ現物出資ニナツテ居リマスモノハ、事變以來日本側カラ現地ニ持ツテ行ツテ注込ミマシタ現物、ソレガ北支開發會社ニ對スル日本政府ノ現物出資ニナツテ居ル譯デアリマス、支那側ノ國有鐵道自體ハ會社ニ出資ニナツテ居ラナイノデアリマス、デアリマスカラ其ノ點ニ付テハ實際上デハ之ヲ運營シテ行クト云フ形ニナツテ居リマス、ソレカラソレノ上ニ擔保ニナツテ居リマシタリ、其ノ他外國トノ債務ノ關係ハ、是ハ支那政府ガ外國ト約東シテ居ル關係ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ後日支那政府ト債務者トノ間ニ解決サルベキ性質ノモノデアツテ、今日ハマダサウ具體的ニ之ヲ論ズルマデニ立至ツテ居ラナイト云フノガ現狀デアリマス。

○眞鍋委員 今日ハ其ノ事態ニ來テ居ラスト云フコトハ、仰シヤラナイ時期ニナツテ居リマシテ、何トカ此ノ際目鼻ヲ付ケテ置ク必要ガアルノデハゴザイマセスカ、今ノ御話ヲ言ヒ換ヘルト、其ノ鐵道ニ對シテ日本側ガ復舊改良ヲシタ、ソレダケガ鐵道ノ價值トシテ現物出資ニナルト、斯ウ仰シヤルノデスカ、其ノ點能ク分リマセシメテモウ一度……

○日高政府委員 只今少シ説明ガ十分デゴザイマセシメ、其ガ恐縮デゴザイマセスカ、只今申上テマシタヤウニ、北支交通會社ノ例ヲ取ツテ見マス、資本金三億圓ト云フコトニナツテ居ル、其ノ中日本側ノ出資アルノデアリマス、其ノ現物出資ノ鐵道ハ御承知ノヤウニ、支那側デヒトク壞シタリ

ウナ御趣旨デ御答辯ニナツテ居ルト解釋シテ宜シウゴザイマセスカ

○日高政府委員 只今御答辯ガハツキリシナイデ御趣旨ニ縮減デアリマスガ、只今仰シヤイマシタヤウニ所有權ハ支那ニアルノデアリマス、ソレデソレヲ動シマス交通會社ガ兩方ノ合辦デ出來テ居ルノデアリマス、之ヲ何ト申シマスカ、使用料ト申シマスカ、何カラ拂フ、之ヲ所謂納付金ノ形デヤルカ、ドウ云フ風ニヤルカ、斯ウ云フ問題ガアリマス、ソレハマダハツキリ決ツテ居リマセシ、斯ウ云フ風ニ申上テタノデアリマス、支那ノ鐵道、支那側デ元カラアリマシタモノハ支那ノモノデアリマス、ソレヲ今會社ガ運營致シテ居ル、其ノ運營スル方ノ會社ニハ支那側デ現金ノ出資ヲ致シテ、日本側デハ現金ノ出資ト現物ノ出資ヲシタ會社ガアル、斯ウ云フ風ナリニナツテ居ルノデアリマス。

○眞鍋委員 サウシマス、運營中ノ收益ハ會社ガ取ル、サウシテ鐵道自體ノ解決ハ後日ニ殘ス、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、ソレナラソレラシク早クハツキリシテ裁カナイト、是ガ爲ニ必要ノナイ摩擦ト云フカ、邪推ト云フカサウ云フモノガ興亞ノ天地ニ非常ニ大キナ不安ヲ潛在サセル虞ガアリマス。適當ノ時機ニモウ少シハツキリシテ言葉使ヒテ此ノ點ヲ明瞭ニシテ置カレコトガ、政府ノ爲ベカリデナシニ、日支ノ國交調整ノ上ニモヨリ宜キ貢獻ヲスルト思ヒマス、今必ズシモハツキリシタ文章デ現ハシテ裁カナクテモ宜シウゴザイマセシ、今御話ニナリマシタヤウナコトヲ何レ適當ナ時機ニ分リ易ク説明シテ裁カマセシメセウカ。

○眞鍋委員 能ク分リマシタ、此ノ際戰時法規ノ準用ト云フ方面カラ何カ陸軍ニ御意

見方アツタラ聽イテ置キタイ思ヒマス、ソレハ只今ノ華北ノ交通問題カラ、鐵道ニナカツタト云フ問題ニ對シテ、現時法規ノ準用ニ依ツテ此ノ點ガ何カ明快ナ解決ガ出來ルト云フ便法デアラベバ序ニ伺ツテ置カウ、斯ウ云フ譯デアリマス、軍事上斯ウ云フ必要カラシテ斯ウ云フ風ニシタノダ、ソコデ國際法規ニ照シテ聞達ヒナイト云フヤウナハツキリシタ言ヒ現ハシ方デモアツテ、今ノ興亞院ノ説明ヲ更ニハツキリスルヤウナ資料ガアレバ、此ノ際併セテ説明ヲシテ裁クト大變宜イ、斯ウ云フ譯デアリマ

○森田政府委員 特ニ此ノ問題ニ付キマシテ、陸軍側カラ興亞院以外ノ別段變ツタ説明ヲ申上テル考ハゴザイマセシ、現在ノ狀態ハ支那側トノ話合デ進行シテ居リマス、戰時ノ狀態ト云フモノハ考ヘテ居ラスノデアリマス。

○眞鍋委員 ソレデ宜シウゴザイマス、所謂敵國ノ財產ヲ逆算スルト云ツタ方面カラ此ノ鐵道問題ニ何等カノ解釋ノ方法ガアルノナラト思ツタノデスカ、ソレデ宜シウゴザイマス、ソコデモウ一ツ私ハ圓「プロック」ノ貿易ニ付テモウ少シ解剖ヲシタ所ヲ國民ニモ知ラセテ見タイト思フノデスカ、ソレハ同ジ圓「プロック」デ出テ參リマス資本ノ中ニモ、ドウ言ヒマスカ、資本投下ト云ヒマスカ、ソレト消費物ト年々出テ行キマスモノト、言ヒ換ヘレバ經濟的ナ建設ニ使フモノト、一時ハ輸出デアルケレドモ、ソレハ將來開發サレテ建設ノナモノニナツテ、コチラニ戻ツテ來ル性質ノモノデスカ、ソレガ相當ナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ聞

ナドシマシタノデ、運輸材料其ノ他ノモノヲ日本側カラ持ツテ行キマシテ取付ケタリ、動力シタリスルコトニ依ツテ今輸送ガ出來テ居ルノデアリマス、其ノ分デ日本側カラ持出シマシタモノガ、現物出資トシテ出テ居ルノデアリマス、支那側ノ出資ハ現金ノ出資モゴザイマスシ、支那側ノ前カラ持ツテ居ル固有ノ鐵道其ノ他ノモノハ、會社ノ資産トシテ出シテ居ラナイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ前ノ外債問題デゴザイマスガ、先程申上テマシタヤウニ、ヤハリ外債ノ關係ハ支那ノ當時ノ政府當局ガ鐵道部ナリ交通部ナリガ、外國ノ債權者ト約東シテ借リテ居ル問題デアリマシテ、其ノ點ハ支那ノ政府ガ外國ノ債權者ト話ヲシヤルベキモノデアアル、斯ウ云フ建前デゴザイマス、デゴザイマスカラ、實ハ支那ノ政府ト外國ノ債權者、又ハ政府ガ之ニ話ヲ始メマスコトハ、決シテ排除スベキ問題デハナイト思ヒマス、マダ新シイ政權ト話ヲスル時期デナイト云フ氣持ガ、寧ろ外國側ニアルノデハナイカト思ヒマス。

○最上委員 只今ノ問題ニ關聯シテ一寸御同致シタイ、昨年十二月中旬ト思ヒマス、私ハ家へ行ケバ材料ガアリマスガ、英國下院ニ於テ「チェンバレン」首相ガ一議員ノ質問ニ對シテ、瀋陽鐵道ノ株式配當支拂ニ對シテ、日本政府ニ目下交渉中デアルト云フ答辯ヲシテ居ル、之ヲ見ルト、何ダカ今ノ御答辯ト啞然ヒガアルト思ヒマスガ、之ニ付テ御答ヲ願ヒマス。

○日高政府委員 只今ノ點デゴザイマスガ、私實ハ日本側ノ立場カラバカリ御説明ヲ申上テタノデ、食連ヒガアルヤウナ感シテ與ヘタト思ヒマスガ、其ノ他種々ノ關係ガア

見方アツタラ聽イテ置キタイ思ヒマス、ソレハ只今ノ華北ノ交通問題カラ、鐵道ニナカツタト云フ問題ニ對シテ、現時法規ノ準用ニ依ツテ此ノ點ガ何カ明快ナ解決ガ出來ルト云フ便法デアラベバ序ニ伺ツテ置カウ、斯ウ云フ譯デアリマス、軍事上斯ウ云フ必要カラシテ斯ウ云フ風ニシタノダ、ソコデ國際法規ニ照シテ聞達ヒナイト云フヤウナハツキリシタ言ヒ現ハシ方デモアツテ、今ノ興亞院ノ説明ヲ更ニハツキリスルヤウナ資料ガアレバ、此ノ際併セテ説明ヲシテ裁クト大變宜イ、斯ウ云フ譯デアリマ

○森田政府委員 特ニ此ノ問題ニ付キマシテ、陸軍側カラ興亞院以外ノ別段變ツタ説明ヲ申上テル考ハゴザイマセシ、現在ノ狀態ハ支那側トノ話合デ進行シテ居リマス、戰時ノ狀態ト云フモノハ考ヘテ居ラスノデアリマス。

○眞鍋委員 ソレデ宜シウゴザイマス、所謂敵國ノ財產ヲ逆算スルト云ツタ方面カラ此ノ鐵道問題ニ何等カノ解釋ノ方法ガアルノナラト思ツタノデスカ、ソレデ宜シウゴザイマス、ソコデモウ一ツ私ハ圓「プロック」ノ貿易ニ付テモウ少シ解剖ヲシタ所ヲ國民ニモ知ラセテ見タイト思フノデスカ、ソレハ同ジ圓「プロック」デ出テ參リマス資本ノ中ニモ、ドウ言ヒマスカ、資本投下ト云ヒマスカ、ソレト消費物ト年々出テ行キマスモノト、言ヒ換ヘレバ經濟的ナ建設ニ使フモノト、一時ハ輸出デアルケレドモ、ソレハ將來開發サレテ建設ノナモノニナツテ、コチラニ戻ツテ來ル性質ノモノデスカ、ソレガ相當ナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ聞

見方アツタラ聽イテ置キタイ思ヒマス、ソレハ只今ノ華北ノ交通問題カラ、鐵道ニナカツタト云フ問題ニ對シテ、現時法規ノ準用ニ依ツテ此ノ點ガ何カ明快ナ解決ガ出來ルト云フ便法デアラベバ序ニ伺ツテ置カウ、斯ウ云フ譯デアリマス、軍事上斯ウ云フ必要カラシテ斯ウ云フ風ニシタノダ、ソコデ國際法規ニ照シテ聞達ヒナイト云フヤウナハツキリシタ言ヒ現ハシ方デモアツテ、今ノ興亞院ノ説明ヲ更ニハツキリスルヤウナ資料ガアレバ、此ノ際併セテ説明ヲシテ裁クト大變宜イ、斯ウ云フ譯デアリマ

○森田政府委員 特ニ此ノ問題ニ付キマシテ、陸軍側カラ興亞院以外ノ別段變ツタ説明ヲ申上テル考ハゴザイマセシ、現在ノ狀態ハ支那側トノ話合デ進行シテ居リマス、戰時ノ狀態ト云フモノハ考ヘテ居ラスノデアリマス。

○眞鍋委員 ソレデ宜シウゴザイマス、所謂敵國ノ財產ヲ逆算スルト云ツタ方面カラ此ノ鐵道問題ニ何等カノ解釋ノ方法ガアルノナラト思ツタノデスカ、ソレデ宜シウゴザイマス、ソコデモウ一ツ私ハ圓「プロック」ノ貿易ニ付テモウ少シ解剖ヲシタ所ヲ國民ニモ知ラセテ見タイト思フノデスカ、ソレハ同ジ圓「プロック」デ出テ參リマス資本ノ中ニモ、ドウ言ヒマスカ、資本投下ト云ヒマスカ、ソレト消費物ト年々出テ行キマスモノト、言ヒ換ヘレバ經濟的ナ建設ニ使フモノト、一時ハ輸出デアルケレドモ、ソレハ將來開發サレテ建設ノナモノニナツテ、コチラニ戻ツテ來ル性質ノモノデスカ、ソレガ相當ナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ聞

見方アツタラ聽イテ置キタイ思ヒマス、ソレハ只今ノ華北ノ交通問題カラ、鐵道ニナカツタト云フ問題ニ對シテ、現時法規ノ準用ニ依ツテ此ノ點ガ何カ明快ナ解決ガ出來ルト云フ便法デアラベバ序ニ伺ツテ置カウ、斯ウ云フ譯デアリマス、軍事上斯ウ云フ必要カラシテ斯ウ云フ風ニシタノダ、ソコデ國際法規ニ照シテ聞達ヒナイト云フヤウナハツキリシタ言ヒ現ハシ方デモアツテ、今ノ興亞院ノ説明ヲ更ニハツキリスルヤウナ資料ガアレバ、此ノ際併セテ説明ヲシテ裁クト大變宜イ、斯ウ云フ譯デアリマ







昭和十五年三月九日印刷

昭和十五年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第十八回

昭和十五年三月十一日(月曜日)午前十時二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三土 忠造君

理事 陸朗君 理事中村三之丞君

理事 田村 秀吉君 理事 山本 芳治君

理事 岸田 正記君 理事 石坂 豐一君

理事 增永 元也君 理事 山谷 義治君

川島正次郎君 眞鍋 儀十君

塚本 重藏君 山道 襄一君

吉植 庄亮君 安藤 正純君

小田 榮君 原 夫次郎君

森下 國雄君 星 一君

河野 一郎君 笠井 重治君

松本 忠雄君 窪井 義道君

加藤 知正君 山本 厚三君

長井 源君 助川啓四郎君

池田 秀雄君 村松 久義君

小泉 純也君 三木 武夫君

木暮武太夫君 最上 政三君

太田 正孝君 名川 侃市君

松尾 孝之君 末松借一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

農林大臣 島田 俊雄君

商工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

興亞院部長 日高信六郎君

内務省神戶局長 中野與吉郎君

内務書記官 灘尾 弘吉君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

營繕管理局長 松隈 秀雄君

文部參事官 仲井開宗一君

文部省專門學務局長 關口 鯉吉君

文部省實業學務局長 岩松 五良君

農林省山林局長 田中 長茂君

農林省畜産局長 岸 良一君

農林省米穀局長 横山 敬教君

農林省臨時農 村對策部長 重政 誠之君

農林省書記官 岡本 直人君

馬政局長官 村上富士太郎君

商工政務次官 加藤銀五郎君

商工省化學局長 永田彦太郎君

商工省纖維局長 辻 謙吾君

商工省礦務局長 妹川 武人君

燃料局長官 酒井 喜四君

貿易局長官 小島 新一君

物價局長官 新倉 利廣君

逓信省郵務局長 森島美之助君

逓信省經理局長 手島 榮君

貯金局長 萩原 丈夫君

鐵道省經理局長 池井 啓次君

(特第二號)昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
(道第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件
○石坂委員長代理 開會致シマス—眞鍋儀十君
○眞鍋委員 政府ノ方モ大分御多忙ノ爲ニ出席ガナクテ、土曜日ノ如キハソレガ爲ニ豫算ニ入ラズシテ豫算外ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スルノ爲ニ、私ハ成ベク切詰メテ御答ヲ戴キタイト思ヒマス、私ノ御尋シヨウト思ヒマス、一ツハ、米ハ大丈夫、當局ニ委セテ安心シテ居リタイカト云フ點ト、公定物價ハ大體何處カラ生レテ來ルモノデアルカト云フ點ト、大體政府ノ動向トシテハ、一般商業者ニ對シテ手數料主義デ令後行カウト云フヤウナ心持デアラレルノデハ、ナイカト云フ點ト、ソレガケデアリマス、先ツ第一番ニ米ノ問題デアリマスガ、米ガアツテモ私共ノ所ニ廻ツテ來ナイト云フ其ノ原由ヲ成スモノノ一ツニ、ヤハリ配給機構ノ問題ガ果セラレテ來テ居ルヤウデアリマス、此ノ點ニ對シテ政府ハ一元化ヲ圖ツテ圓滑ナラシメヨウト云フヤウナ御意見ヲ、各所ニ達ベラレテ居ルヤウデアリマス、或ハ之ヲ一本建ト云フヤウナ言葉モ出テ來ルヤウデアリマス、國民ハ此ノ點ニ向ツテハウツキリシタコトガマダ掴メナイデ居ルト思ヒマス、一元化ト云ヒ、一本建ト云フハ、安詰メタ所下ウ云フ風ニ約言サレルノ

デアリマスガ、只今ノ所ハ此ノ産業組合系統デ、縣販聯デ全販聯ノ當該支部ノ名ヲ以テ全部蒐集スル、商業組合系統ニ於テハ全米商聯方當該府縣支部ノ名ヲ以テ蒐集スル、其ノ蒐集シタ米穀ヲ日本米穀會社ノ米穀市場ヲ通ジテ販賣スル、斯ウシタ機關ヲ通ジナケレバ農民モ商人モ販賣スルコトガ出來ス、是モ一本建ノ形式デアリ、一元化ト云ヒ得ルノデアリマスガ、ドチテモ宜シウゴイマスガ、斯ウ解釋シテ宜シウゴイマスガ、私ノ今申上ゲタ通り解釋シテ一本建ト云ヒ、一元化ト云フコトハ片付クノデアリマスガ
○島田國務大臣 只今眞鍋君ノ御質問ノコトニ付テハ、米穀法ノ委員會ニ於テ農林大臣、商工大臣兩方ニ對シテ御質問ガアリマシテ、一元化云々ト云フコトハ能ク言ハレルコトデアリマスケレドモ、一ツノ目標、理想ト云フヤウナ意味カラ言ヘバサウ云フコトニナルデアラウガ、實際ニ於テハ産業組合ト商業組合兩方ノ筋ヲ通シテヤル、斯ウ云フノガ農林、商工兩大臣各答ヘタ趣意デアリマス、ソレガ現在ノ大體ノ實情ヲ即シテ居ル、サウシテ今日ノ如キ米穀ノ事情ニ於テハ、日本米穀會社ト云フモノガ外米若クハ輸入米ノ取扱ノ以外ニ於テ適當ニ之ヲ利用スルコトノ出來ル場合ニハ、無論政府トシテハ日本米穀會社ヲ發動セシムルニ依ツテ、大都市ニ於ケル今日ノ狀況カラ言ヘバ、大體政府米ヲ以テ賄ヒヲ付ケテ居ルト云フヤウナ實情デアリマス、事實ガ又大體商業組合、産業組合ト云フモノヲ通シテ行

第一類第一號 豫算委員會會議錄 第十八回 昭和十五年三月十一日



ク、斯ウ云フヤウナ形ニナツテ居ルノデア  
リマスカラ、大體其ノ筋ヲ追フテ配給ノ統  
制ト云フコトヲ行ツテ行クヤウナ考ヘ方デ  
アル、斯ウ云フ風ニ申シテ居ルノデアアリ  
マ、只今眞錫君ノ御尋ノヤウナ意味ノコト  
ハ政府トシテハ申シテ居ラス考ヘテ居リ  
マス、其ノ點ハ米穀法ノ委員等ニ於テ御  
答シテ居ラマ御尋ニナツテ居ラナイノデ  
ハアリマセスカ

○眞錫委員 申サレタコトト私ノ方違フ  
テ居ツタトスレバ謝リマス、ソコデ形ヲ變  
ヘテ伺ツテ見マスガ、大體米穀會社ト云フ  
モノハ、アレバ議會ニ御提案ニナツタ當時  
ハモット廣汎ナ、サウシテ此ノ配給機構ニ  
其大ナル影響ヲ與ヘルモノトシテ御要求ニ  
ナツタト私共ハ考ヘテ居リマス、此ノ案議  
中ニハ軍ノ支持ヲ受ケタヤウナ記事サヘ  
散見ヲ致シタ中ニ生レタモノデアリマス、  
ソレガ今大臣カラ申サレル通りニ今日ノヤ  
ウナ國家管理ヲ豫想サレテ居ツテ、連モ自  
由取引ハ認メラレナイト云フヤウナ情勢ニ  
ナツテ來タ今日デアリス、特ニ政府ガ出動  
致シマシテ一千万石以上ノ米ヲ一手ニ掌  
シテ之ヲ操作スル、斯ウ云フ時代ニナツテ  
ハ過去ノ遺物トシテホシノ中間ノ經費ヲ  
加増スルノミデハ、一向ニ當初ノヤウナ期  
待ヲ掛ケルコトガ出來ナクナツテ居リマス  
ノデ、此ノ點ガ——私農林大臣ノ只今ノ御  
意見ハソレデ實成デアリマス、ソコデ商工  
大臣ハ只今農林大臣ノ仰シヲラレテ通りデ  
御異議ハナイノデスナ、詰リ日本米穀會社  
ト云フモノニ對シテハ最早今日デハ外米、  
拂下米ト云ツタヤウナ問題ノミニ付テ利用  
價值ガアルノデアツテ、之ヲ通ジテ一元的  
ヲ統制ヲ行フト云フヤウナ期待ハ掛ケラレ

ナイ、斯ウ云フ點ニ付テハ御同感デゴザイ  
マスネ

○農原國務大臣 只今農林大臣カラ申上  
マシタ通りデアリマシテ、農林大臣ノ御話  
ノ御趣意モ其ノ通りデアリマスガ、商工省  
ニ於テ考ヘマスルノハ、米穀會社ト云フヤ  
ウナ機關ガ折角アルノデアリマスカラ、之  
ヲ利用シタ方ガ配給上都合ノ好イ場合ニハ  
之ヲ利用スル、又之ヲ利用スル必要ノナイ  
時ニハ之ヲ利用シナイデ行カウ、斯ウ云フ  
考ヲ持ツテ居リマスケレドモ、是モ農林大  
臣ト全然同一ノ考ト御承知願ヒタイノデ  
アリマス

○眞錫委員 寧ロハ農林省ガ折角拵ヘタ  
米穀會社ヲ利用スルト云フ、利用價值ノ存  
スル限リハ利用スルト云フ建前デ行カレベ  
キモノデアツテ、商工省ガマダ之ニ未練ヲ  
持タレト云フコトハ反對デアラト思ヒマ  
スガ、ドウモ此ノ點ガ議會ヲ通ジテノ兩大  
臣ノ御答辯ノ間ニハ、一方ハマダ米穀會社  
ニ未練ガアリサウダシ、一方デハモウ今日ノ  
ヤウナ時代ニハ連モ役ニ立タナサウダ、サ  
ウ云ツタ氣持ガチダハダニナツテ居ルヤウ  
ニ思ヒマスノデ、私ハ先程ノ質問ヲ致シタ  
ノデアリマス、サウスルト商工大臣ハ農林  
大臣ノ只今申サレマシタ範圍ダケニ付テ、  
ヤハリ其ノ利用價值ヲ認メラレテ居リマシ  
テ、其ノ點ニ於テノミ兩者ノ意見ガ一致シ  
テ居ル、斯ウ云フコトニ私ハ承知致シテ置  
キマス、ソレデ此ノ程度デヤハリ配給ハ今  
後政府ガ操作スルコトヲヤウナコトヲ中心  
トシテ、米穀會社ガ大シテ役ニ立タヌト云  
フコトニナル譯デアリマス、結局商組ト産  
組トノ摩擦面ガ米穀會社ノ運用ニ依ツテ多  
少デモ解消スルダラウト思ツタコトハ、私

共ノ考ヘ違ヒデアツタノデアリマスガ、今  
更ソソコトヲ申シテモ仕方ガアリマセス  
ケレドモ、只今ノ減石期ニ當リマシテ、機  
關ハ何處ヲ通ズルニシマシテモ、米ハ私共  
ノ食フ分ハ大丈夫保證スルト云フ御言葉デ  
通ツテ居ラレマスガ、中々國民ガドウモ政府  
ノ言フ通りニハ實際ハ行カヌノデアリカラ  
ウカト云フコトヲ非常ニ心配シテ居リマス  
ガ、何處マデ心配シテモ、斯ウ云フコトハ  
切りガナイコトデアリマスケレドモ、心配  
スル方モ色々トアレラ考ヘ之ヲ思ヒ、サウ  
シテ結論ニ到著スルノダラウト思ヒマス、  
政府ノ方デモ心配スルナト云フダケデナシ  
ニ、是レノ事實ガアツテ、斯ウ云フ云フ  
風ニスルノダカラ、心配スルナト云フ現實  
ヲ見セケテ安心サセルノデナクテハ、出  
ス方デモ買方デモ申サレテハ運動ヲ起  
サナイト考ヘルノデアリマス、現在六大都  
市ノ實需米ノ如キハ、大體今日デハ拂下米  
ニ依存シテ居ルノデアリマス、ソレハ通  
追シタ今日デハ政府ノ有難味ヲ私共ハ痛感  
サセラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ窮屈  
ナ中ニ政府ガソレガ御世話シテ戴キマス  
其ノ心持ハ、議會ガ開會中ダカラ面倒ダ、  
ソコデ成ベク心配シテヤツテ置カウ、所ガ  
議會ガ濟ムト實メラレルコトモ少クナルシ、  
幾ラカ冷淡ニナラレテ、拂下米モ手心ガ加  
ヘラレテ行クノデアリカラウカ、斯ウ云フ  
心配ガヤハリ國民ノ心配ノ一ツナデアリ  
マス、ソレニ現實カラ申シマシテモ、内地  
ノ供出米ガ三月末マデニ六百五十万石出  
來ルト云フ豫定デアツタノデアリマスガ、實  
際三月末マデニ六百五十万石出テ來ラ  
ウカ、ソレハ恐ラク出テ來ナイダラウト云  
フ豫想ガ、此ノ心配ノ一ツニナツテ來ルノ

デスガ、是ハ政府ノ方ノ御見込通り、三月  
末マデニ供出米ノ六百五十万石ハ間違ヒナ  
イノデゴザイマセウカ

任ナ考ハ持ツテ居ラナイト云フコトダケハ  
御承知願ヒタイト思ヒマス

○眞錫委員 六百五十万石ノ石數ニ付テ御  
見込ヲ申サレルトハ、色々國民ニ不安ヲ  
持タセルカライカス、斯ウ云フ譯デアリマ  
シヤナイノデアリマスガ——宜シウゴザイマ  
ス、只今ノ御話ノ中ニ、日本米穀會社ヲ無  
用ダト云フ意味ハ話シテ居ラヌト云フコ  
トデアリマス、無用ダト云フコトハ仰シ  
ヤラナカウツカモ知レヌケレドモ、無用  
ダト云フコトハ肯定シテ戴カナイト困  
ル、遂ニソレガ無力ナルガ故ニ内務ノ  
行政措置ニマデ介入スルト云フコト  
ニナツテ參リマシテ、マア東京カラ申シマ  
スト、臨時ニ東京米穀配給組合ガ出來マシ  
テ、是ガ自治的配給統制ヲヤツテ居ル譯デ  
アリマス、僅ニ移出管理ノ臺灣米トカ、或  
ハ少數輸出米ノ一手買付、賣渡ニ依ル米穀  
需給特別會計ノ別働隊デアルト云ツタヤウ  
ナ餘喘ヲ保ツニ過ギナイヤウナ現實ハ、私  
ハ無用ダト仰シヤナイカモ知レナイイガ、  
無力ダト云フコトハ絕對ニ肯定シテ戴カ  
ケレバナラナイ現實ト思フカラ申上ゲマシ  
タ、無用ト無力トノ意味ハ違フノダト仰セ  
ラレナラバ、無用ト御考ニナツテ居ルコ  
トハナイト仰シヤルカラ宜シイイガ、無力  
ト云フコトダケハ御答辯ハ煩サナイイガ、兎  
ニ角私ハ認メテ戴クモノト考ヘテ居リマス、  
今ノ内地米ガドウモ供出ガ困難ダト國  
民ハ考ヘテ居リマス、其ノ原因ノ一ツノ中  
ニ、日本ハ現在徳川時代ノ群雄割拠主義ニ  
復ツテ居ル、隣ノ縣デハ有り餘ル程米ヲ持  
ツテ居ル、コチラノ縣デハオ米ガ不足シテ  
居ルト云フノニ、縣外移出ノ面倒ニナツタ  
今日デハ、隣合セデモ敵同志ノヤウニ融通

シ合ハナイ、此ノ府縣ノ「ブロック」ヲ打破ス  
ルデナケレバ、容易ニ圓滑ナル配給ハ出來ナ  
イト見テ居ル向ガゴザイマスガ、此ノ點ハ  
政府ノ方デハサウ云フ御感シハ持ツテ居  
デニナリマセヌデゴザイマセウカ、若シ持  
ツテ居ラレルトスレバ、此ノ府縣ノ「ブロッ  
ク」ニ依ル群雄割拠主義ヲドウ云フヤウニ  
シテ御調和ニナル御方針デアゴザイマスガ、  
具體案ガゴザイシタマナラバ御示願ヒタ  
イト思ヒマス

○島田國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ、  
是モ眞錫委員ガ所デアリマスガ、政府トシ  
テハ其ノ政府ノ所有米ヲ各府縣ヲシテ供出  
スルヤウニシマシテ、サウシテ政府米ノ充  
實ヲ圖リ、又一方ニ於テハ各府縣ガ要求シ  
テ居リマス肥料ノ配給等ニ付キマシテ、又  
其ノ他ノ物資ノ配給等ニ付キマシテ出來ル  
ダケノ努力ヲシテ之ヲ圓滑ニ供給シ、不  
足ノモノトシマシレバ不足ナラマ公公平ニ  
是ガ配給サレテ行クト云フヤウニナツテ居  
ル、都會地ニ於ケル食糧ノ問題ニ付テモ米  
穀ニ付テハ不安ガナイ、斯ウ云フ風ニナツ  
テ行ケバ自然ニ所謂「ブロック」ト云フヤウ  
ナモノハ緩和シ解消ノ輕路ヲ迪ツテ行クモ  
ノデアリ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、  
直チニ「ブロック」ヲ解消スベシト云フヤ  
ウナ強制的ナ働キヲ爲シテ無理押アスルト  
云フヤウナナリ方ハ、寧ロ出來ルダケ避ケ  
タガ宜シイ、斯ウ云フ考ヲ以テ、他カラ緩和  
シテ行クト云フヤウナ意味ニ努力ヲシテ居  
ルト云フヤウニドウウ御諒解願ヒマス

○眞錫委員 無理押アシナイデ出テ來レバ  
ソレニ越シタコトハアリマセヌ、アリマセ  
ヌガ生産地ノ者トシテハ農林大臣ノ御答辯  
ヘテ居リマスガ、其ノ見解ハドウデアリマ

テ何トカ處置アスルトカ云フヤウナ考ハ、  
兩省トモ毫モ持ツテ居リマセヌ、今日ノ事  
情カラ言フトサウ云フ風ニナルト云フコト  
ヲ申シテ居ルノデアリマシテ、兩省ノ間ニ  
意見ノ開キハナイト云フコトニドウウ御諒  
承ヲ願ヒタイ

ソレカラ米穀ニ付テ政府ハ議會中デア  
ルカラ云々ト云フヤウナ御言葉ガアリマシ  
タ、サウ云フヤウナ考ハ政府トシテハ決シ  
テ持ツテ居リマセヌ、今日ハ六大都市始メ  
大消費地ニ相當ナ米ノ供給ガナケレバ不安  
ヲ招クト云フコトハ、國民モ政府モ齊シク  
認メテ居ル所デアリマスカラ、政府ハ出來  
ルダケソレ等ノ都市ニ對シテハ、米ノ配給  
ヲ圓滑ニスルト云フ方針ヲ以テ、若シ民間  
米ガ自由ニ行カナイモノニ對シテハ、政府  
米ヲ流シテ行クト云フ、斯ウ云フ建前ヲ  
執ツテ居ルノデアリマス、又政府ノ制當  
ラシテ買上ゲヨウトシテ居ル米ニ付キマ  
シテハ、時々刻々其ノ集荷ニ付テハ、地方  
ニ言ウテヤリマシテ努力シテ居ルノデア  
リマス、唯ソレガ出來ルカ出來ナイカト云  
フ日時ヲ切ツテノ問題ニ付テ、此處デ質問  
應答スルト云フコトハ、議會ヲ通シテ一般  
ニ對シテ其ノ事ニ付テアンナニ喧カシイ間  
答ヲシテ居ルノハ、何カ不安ガアルノデハ  
ナイイカト云フヤウナ感ジヲ持タセル處ガナ  
シトハ言ヘナイト考ヘルノデアリマシテ、  
サウ云フ點ハ私共モ非常ニ心配致シテ居ル  
ノデアリマス、政府トシテハ集荷ノコトニ  
付テモ萬全ノ努力ヲスベク有ル心配ヲシ  
テ居ルノデアリマス、消費地ニ對スル供給  
ニ付テハ、議會ノ有ル無シト云フヤウナ考  
ハ持ツテ居リマセヌ、殊ニ私ハ政黨ニ籍ヲ  
置イテ居ル者デアリマスカラ、左様ナ無貴

ス者トシテハ今ノ御答辯デハ中々満足ガ行  
キマセヌ、三月末ニ六百五十万石デスカ、  
集マル集マラスハ御聽カセ願ヘマセヌケレ  
ドモ、四月カラモマダ三百七十万石位ハ買  
上ヲ豫定サレテ居ルト云フ今日デハモウ少  
シ微底シテ買上方法ヲ御實行ニナルノデナ  
ケレバ、私共ハ實際困難ダト思ヒマス、殊  
ニ此ノ地主階級ニ實情ノ傾向ガ顯著ナルモ  
ノヲ見ルノデアリカ、ソレガ案外供出ガ  
抑ラナイト云フ原因ヲ成シテ居ルノダト思  
ヒマス、尤モ懷口工合ガ宜シウゴザイマス  
カラ、米ニ對スル愛著心モアリマセウ、又  
ハ肥料不足ノ爲ニ物々交換ヲ狙ツテ居ル點  
モアルデセウ、事ニ依ルト又値上ニナルカ  
モ知レヌト云フ氣持モ期待シテ居ルカモ知  
レヌ、サウシテ時代ニ地主ガ持ツテ居ツテ  
モ實情ヲスルト云フ時ニハ、強權ヲ以テ供  
出サセルノデアレバ目的ハ達成サレナイ  
ト思ヒマス、秋田縣デハ先般供出米促進ノ  
意味デ、地主階級ヲ始メ手持米ノ調査ヲシ  
テ居リマスガ、其ノ結果端境期マデニ九十  
五万石要ルモノトシテ、之ヲ控除致シマシ  
テモ、尙ホ五十万石位ノソコニ餘剰ガ發見  
サレタト云フ、屢々政府ノ方デ懸念サレテモ  
出テ來ナイト云フ場合ニハ、私ハ最後ニ強  
制買上デモシテ、國民ノ満足ノ行クヤウニ  
融通シテヤル、是ガ同ジ國民トシテノ相互ノ  
務メデアリ、斯ウ云フ氣持ヲヤツテ行カレ  
ナケレバナラヌト思ヒマスガ、巧行カナ  
カウツラ強制買上マデヤルト云フ鞏固ナ御  
意思ヲ持ツテ居ラレマセウカ、ドウデセウ  
カ、手荒ナコトハシナイト云フ意味ノ先程  
ノ御話デアゴザイマシタケレドモ、最後ニハ  
ソコマデ行カナケレバ納マラスモノダト考  
ヘテ居リマスガ、其ノ見解ハドウデアリマ

三八一







丁度議會中ニ滿洲國ニ於テ是等ノ問題ガ起リ掛ケタリデアリマス、其ノ時ニ私ヨリ其ノ點ヲ指摘致シマシテ、當時ノ對滿事務局局長ハ委員會ニ御出席ノ上、其ノ事ヲマダ聽イテ居ラス、能ク滿洲國ノ方ニ聽イテ調ベテ見ヨウト云フコトデ、後刻ノ御答辯ニハ、其ノ遺憾ナガラ調ベテ見タラバ君ノ言フ通りダツタ、現在ノ機構ヲ以テ致シマシテハ其ノ程度ノコトヨリモ出来ナカクツタノハ過去ノ實情デアリマス、其ノ時ニ大分ヤカマシク私ハ申上ゲタリデアリマスケレドモ、本年又々同様ノ問題ヲ、而モ具體的ニ實施セラレタ、一度ナラバ私達モ是カラ十分ナルト云フコトデ満足スルデアリマス、一度ハ御信用申スデアリマス、併シナガラ昨年同様ノ問題ガ、只今商工大臣御答辯同様ノ御答辯ガアリ、ソレガ又一年經ツテ今度ハ具體的ニ突如トシテ一方のニ引上ゲタリ云フコトデハ、吾々トシテハ遺憾ナガラ只今ノ御答辯タテハ諒承出來ナシ、而モ我ガ政府ノ機構ニ於キマシテモ對滿事務局アリ、其ノ他ソレレノ關係ガアリ、昨年十一月ノ頃ニ於キマシテハ、日滿支三國ノ是等關係經濟團體ガ集ツテ東京デ相討日ヲ要シ、組織ヲ作り、而モ慎重ニ檢討ヲ加ヘテ此ノ會議ヲ終ツテ居ル、斯ノ如ク致シマシテモ尙且ツ今日斯ノ如キ事實ガ起ツテ來ル、シテ見レバ政府ニ於テ特別ニ此ノ問題ヲ何等カ御處置願ハナケレバ、尤モ向フガ向フコトヲヤルンダカラ、一方の上ゲルノハ致シ方ガナイト云フ御答辯ナラ、吾々ハ又別ニ議論スルデアリマスケレドモ、ドウシテモ日滿支三國ニ於テハ經濟上最モ緊密ナル連絡ヲ保ツテ、苟

モ一方のニソシナコトヲスルト云フコトデハ我國ノ圓滿ナル物價政策ヲ運行ハ出來ナイト云フ御所見デアリマスナラバ、其ノ御所見ノ通りニ進ムベク、新ニ何モノカ吾々ヲ納得セシメルニ足ルダケノ御答辯ヲ頂戴シナケレバ吾々ハ満足出來ナイ、ソレガ非常に吾々農林部門ニ深刻ノ影響ヲ與ヘル、所ガ我が國內ニ於テハ、政府ノ低物價政策堅持ノ上カラ、アレヨシテ與レシテ與レトセラレル、ソレニハ吾々モ國情ヲ十分洞察致シマシテ、已ムヲ得ズ我慢ヲシテ居ルデアリマスケレドモ、一方滿洲國ニ於テ勝手ニサウ云フモノヲ上ゲラレテ、尙且ツ吾々ハ其ノ高イモノヲ使ツテ其ノ儘我慢ヲシテ居ラナケレバナラス、高イモノガアツテモ、ソレヲ其ノ儘忍ンデ居ラナケレバナラヌト云フコトデハ、ドウシテモ吾々ハ我慢出來ナイ、デアリマスナラバ此ノ點ニ付キマシテハ、今此ノ席ニ於テ商工大臣カラ直チニ御答辯ハ頂戴セズモ結構デアリマス、是ハ對滿事務局ノ總裁デアアル陸軍大臣、又總理大臣トモ御協議ノ上、此ノ滿洲國ノ執行ツテ處置ニ付テハ是等兩大臣ヲ以テ臨ムト云フコトノ御明答ヲ頂戴致シマセスト、吾々農林部ニ於キマシテハドウシテモ、政府ノ農産物ニ對スル低物價政策ノ堅持、一方滿洲國ニ於ケル農産物價ノ大幅引上、此ノ矛盾セル事實ヲ納得スル譯ニハ行キマセズ、ドウカ然ルベク御協議ノ上、次ノ機會ニ御答辯ヲランコトヲ御願致シマシテ、次ノ頁間ニ移リマス

○河野委員 サウデスカ、ソレデハドウゾ  
○眞鍋委員 私人關係シタコトデ一寸商工大臣ニ御同致シテ見タイト思ヒマス、端的ニ申シマス、公定價格ト云フモノハ大體何處カラ生レテ來ルノカ、生産ノコストナドヲ考ヘテ、其ノ過程ヲズツト調査シタ所ヘ公定價格ト云フモノガ出來テ來ルノデスカ、或ハ出來テ來テ其ノ上デ、一定利潤ト云フモノヲ見積ツテ公定價格ト云フモノガ出來テ來ルノデスカ、其ノ公定價格ト云フモノガ生レテ來ル所ヲ一ツ教ヘテ載キタイト思ヒマス

スカラ、尙又此ノ配給業者ニモ、或ル場合ニハ不適當ニ滿山ノ利潤ヲ得テ居ルヤウナモトモアルト聞及ンデ居リマスルシ、傍、此ノ配給ト云フコトガ中々困難ナ問題デゴザイマスルガ、一々サウ云フモノヲ取調ベテ正シテ、サウシテ配給業者ニモ若干ノ利潤ヲ與ヘテ、生産業者ニモ若干ノ利益ヲ與ヘテ、サウシテ増産ヲセシメル、生産ヲ殖ヤスト云フコトニモ努力ヲスル、斯ウ云フ兩建デ、一面ニ於テハ物價ヲ低廉ナラシメ、一面ニ於テハ生産ヲ増加セシメル、斯ウ云フ風ニシテ此ノ適正價格ヲ運行致シタイト云フノガ目的デゴザイマス

ナル形ニ於テ、ドウ云フ名前デ適正利潤ヲ與ヘルト云フ安心ヲサセルカト云フ、此ノ手段ト方法トガハツキリスルト私ノ質問ニ對シテ御答ガビツタリ來ルノデス

○眞鍋委員 能ク意味ハ分リマス、寧ろ私ガ申上ゲテ居ルコトハ公定價格ト云フコトヨリモ、適正價格ト云フコトノ方ガ當ツテ居ルダラウト思ヒマス、適正價格ト云フ意味デ重ネテ念ヲ押シテ見タイト思ヒマス、ガ、適正價格ト云フノハ消費者ニ對スル一定ノ低位ノ物價ヲ保障スルト云フ意味デハナシニ、生産者ニ對スル一定利潤ヲ與ヘルト云フノガ、御話ノ趣意ダト心得テ宜シウゴザイマス

○眞鍋委員 大體御シヤル意味ガ私モ吞込メマシタ、ソコサウ云フ心持デ一般物價ヲ適正ニ價格決定ナサイマスコトハ洵ニ結構デゴザイマスガ、最後ニ言葉ヲ濁サレマシタ通りニ、理窟ハ今ノ通り宜イノデスガ、格テ之ヲ實際ニ行フト云フ段ニナルト、モウ千變萬化送迎ニ追ナイ爲ニ、逆モ手ハ付ケラレヌダラウ、殊ニソレガ克明ニ御實行ガ出來ルト致シマシテモ、私ハ其ノ他ニ大キナ障礙ガ立塞ツテ居ルノダト思フ、ソレハ商工大臣ガ商工當局ノ意思其ノ儘ヲ實行ニ移サレル際、農産物價ニ對シテハ特別ヲ設ケト云フヤウナ一方カラ故障ガ入ツテ、中々只今申サレタヤウナ問題ニ對シテモ思フニ任セナイヤウナコトガ起ツテ來ハシナイカト思フデアリマス、是ハ一ツ物價ヲ決定スル際ニハ、今度ノ委員會デハ部會ヲ認メテレテ、部會其ノ儘ノ決定ヲ委員會ノ決定トスルト云フヤウナ組織ニナツテ、其ノ部會ノ中デ農産物ダケハ特別取扱ヲスル、サウ云フ風ニナルダラウト思ヒマ

ニ、中々一本デ行キ兼ねル節ガアルト思ヒマス、農林省ノ御考デナシニ、商工省ノ御考トシテハ、米價ト云フモノガ非常ニ割安デアルカラ色々派生問題ガ起ツテ來テ居ルト云フ説モ立ツテ居ルデアリマスガ、割安ノ米價ヲ今吊上ゲテ他ノ均衡ヲ保タウト云フ御意思ガ、商工省ノ一部ニモアリハシナイカト思ハレマスガ、大體割安ガ、割安ダト謂ハレテ居ル米價ニ對シマシテ、商工省トシテハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルノデゴザイマセウカ、當局ノ御考ヲ一ツ聽カセテ載キタイ



ト主眼トシテ参リマスカラ、只今御尋ノ物品販賣業ニ付テノ案等ニ於キマシテ餘所カラ横槍ガ入ツタカラ、ソレヲ中止シタノデハナイカト云フヤウナ御疑ハナイヤウニ御希望ヲ申上ゲテ置キマス次第デアリマス、尙ホ次ノ米價ニ付テノ御尋ニ對シマシテハ、商工省トシテハ勿論ノコトデアリマスガ、農林大臣ニ於テモ只今米價ヲ引上ゲルコト云フコトニ付テノ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌト存ジマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○眞鍋委員 農林大臣ノ考ハ方ハ別デアリマス、商工大臣ハ引上ゲル意思ヲ持ツテ居ラレナイ、私ハ是非公定米價ノ堅持ダケハシテ戴キタイと思ヒマス、農林省ト云フモノハ商工省ノ關スル所デナイ、農林省デヤルノダ、斯ウ云フヤウナ強硬ナ態度ニ出ラレルヤウナコトガアツテモ、米ト云フモノハ日用品ノ首位ヲ占ムルモノデアリマシテ、是ガ上ツタト云フコトニナリマスト非常ニ波紋ガ大キイデアリマス、寧ロサウ云フ場合ニハ、雜穀其ノ他ノ日用品諸物價ノ亂漲ニナツテ居リマス部分ノ騰貴ヲ是正シテ、米ノ値段ト云フモノダケハ大本トシテ何處マデモ毅然ト國民ノ前ニ公定價格ヲ堅持スルヤウニシナケレバナラヌと思ヒマス、先程ノ利潤ノ問題ノ申デ考ハ出サレルハ、先般オ米ガ五圓程値上ニナリマシタ、其ノ時ニ一般農民ガオ米ヲ作ルノデ是ダケノ損ガ行ツテ居ルト云フノナラ、適正利潤ヲ與ヘル意味ニ於テ農家ノ懐ロニ五圓ツツ波ルヤウニ仕組ンデ行クベキデアリマシテ、是ガ其ノ通りニ渡ツテ居ルトスレバ私ハ異議ゴザイマセヌ、ケレドモアノ時ニ國家ハ農村ニ對シテ約二億圓程「チツ」ヲ出シテ居ル譯デアリマス、當時四千万石手持米ガアツ

タト致シマシテ、ソレニ對シテ五圓ツツデアリマスカラ、約二億圓ト云フモノガ農村自體ノ懐ロニ全部入ツテ居ナイカモ知レヌト云フ疑ヲ私共ハ起スノデアリマス、是ハ三十八圓ナラ三十八圓ガ困ルト云フナラ、其ノ三十八圓デ困ルオ百姓ニ五圓ツツ入ツテ行クト云フ所ニ政府ノ有難味ガ感ジラレ、農業倉庫ニ入ツテ居ツタヤウダガ、暖氣ニモ出サヌデ農民カラ米ヲ取上ゲル、ソレカラ管理ヲシテ居ル間ニ五圓上ル、ソレヲ暖氣ニモ出サヌデ置イテ取上ゲラレタ、農民ノ手ニハ一文モ渡ラヌデ、其ノ途中ノ何處カノ寢テ居ル所ニ行渡ツタト云フヤウナ疑ヲ持タシメルモノガアルノデアリマス、私ハ敢テ此處デオ百姓ノ爲ニ之ヲ喧シタ言ハウトモ考ヘテ居リマセヌケレドモ、政府モ斯ウ云フ時ニハ餘程氣ヲ付ケテヤラレナケレバナラヌと思ヒマス、其處ニ當時ノ米穀局長モオ居デゴザイマセウ、十二月ノ末ニ拂下米ガアリマシタノデスガ、ソレハ商人ノ手ニ入ルヨリモ産業組合側ニ餘計入ツテ居リマス、明後日オ米ガ五圓値上ニナルト云フノ、米穀局長ガ知ラナイデ拂下米ヲ産組ノ方ニ餘計ヤツタ、斯ウ云フ譯ニナルノデス、惡意ニ解釋ヲスル者ハ、明後日値上ニナルト云フコトヲ米穀局長ガ知ラズニ居ルト云フノモドウカと思フ、隨テ若シモ産業組合側ニ拂下米ヲ餘計ヤツタト云フヤウナコトニナルト、何ダカ變ナ氣持ガスルチヤナイカト、斯ウ云フコトヲ申シテ居ル者モアルノデアリマス、私ハ是ハ農林關係カラ御答ヲ願ツテモ、商工省カラ御答ヲ願ツテモ宜イノデスガ、米價ハ値上ハシナイ何月マデハ補償スルカラ米ヲ出セ、若シモ政府ガ此ノ前ノヤウニ取ルト直ク値上

ヲシタト云フヤウナコトヲ繰返シタラ、其ノ無案内デ値上シタ分ダケハ自分ノ方カラ補償スル、斯ウ云フコトヲ農民ニ言ハレタラウント米ハ出テ來ル、斯ウ思フノデスガ、ドチラカラデモ宜シウゴザイマセウ、米ヲ供出サセル手段トシテ、値段ハ當分上ゲテナイ、若シモ値段ヲ上ゲタラソレダケノ補償ハ國家デ出ス、斯ウ云フコトヲ言ツテ米ノ配給ヲ圓滑ニシ、供出ヲ迅速ニスルト云フコトハ政府トシテハオヤリニナレマセヌデセウカ、餘リニ米ガ消費地ニ廻ツテ來ルコトノ少イ爲ニ、斯ウ云フコトマデ考ヘテ見ルノデス、一箇月ト云フモノハ昔カラ三十日三十一日ニ決ツテ居ル、所ガ東京市ノ米屋ハ一箇月ノ中十二日シカ持タヌ、アトハ米ガナイ、他ノ方デヤラナケレバ米ガ廻ツテ來ナイ、昔カラ一箇月三十日三十一日ヲ十二日位ニ減ラシテ暮シテ行ナケレバナラヌ、斯ウ云フ現狀ニ於テハ斯ウデモシタラ米ガ出テ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、兩相ノ間デ斯ウ云フコトヲ御協議ナスツタコトハゴザイマセウカ

○三土委員長 眞鍋君、商工大臣ハ決算ノ方カラ是非來テ買ヒタイト云ツテ要求シテ居リマスガ、今ノ問題ハ私ハ農林省ノ方ト思ヒマスガ……

○眞鍋委員 ソレデハ今ノ答辯ハ宜シウゴザイマス、サウシテ私ハ商工大臣ニ對スル質問ヲ續ケテヤリマス

○三土委員長 是ハアトデ御諮リシヨウト思ツタノデスガ、會期ガ切迫シテ色々ノ法律案ガ出テ居ルシ、貴族院ノ方デモ大臣ノ要求ガアルノデ、私等ノ自分ノ經驗カラ考ヘテモ、方々ノ委員會ニ大臣ガ引張り風ニ

ナリマスカラ、此ノ質問者ノ願ニ依ツテ各大臣皆居ランケレバナラヌト云フト、中々他モ同ジヤウニナリマスカラ拂リマセヌ、此ノ際大臣願ニシタラドウカ、例ヘバ今日ハ何時カラ何時マデハ大藏大臣ナラ大藏大臣、商工大臣其ノ次ニト云フ風ニシテ、コチラノ方デハ大臣ノ願ニ依ツテ同ジ人ガ何遍質問シテモ宜イカラ、政府ノ方デハ他ノ委員會トノ都合ヲ見計ツテ、今日ハ誰ガ出ル、明日ハ誰ガ出ルト云フヤウニシテ戴イテ、サウシテ質問者ノ願デナク、大臣願ニシタラドウデスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○村松委員 其ノ點ハ然ルベク願ヒタイガ、成ベク綜合問題トシテ取扱フヤウニシテ、或ル場合ニハ大臣二人位……

○三土委員長 其ノ時分ニハ二人來テ貰フヤウニシマセウ、大體ハ大臣願ニシタイト思ヒマス、今日ハ商工大臣ハ決算委員會ニオ出デニナルサウデスカラ、農林省關係ノコトニ付テ質問ヲ續ケテ下サイ——農林省ハ來テ居ラヌヤウデス、ソレデハ商工大臣、一寸答辯シテ置イテ下サイ

○藤原國務大臣 眞鍋君ニ御答申上ゲマス、商工大臣ト致シマシテ度々繰返シテ申上ゲマシタ通り、米ノ値上ハ致シマセヌ、恰モ肥料ノ石炭ノ如ク、低物價政策ノ根幹ヲ爲スモノデアリマスカラ、此ノ値上ヲスルト云フ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌト云フコトヲ繰返シテ申上ゲテ置キマス、同時ニ只今御尋ニナリマシタ米ノ買上ノ方法等ニ付キマシテハ、農林大臣ヨリ御答ヲ申上ゲル方ガ適當ト思ヒマス

○三土委員長 一寸其ノ間ニモウ一遍御諮リシマスガ、今日ハ午後ニハ御承知ノ通り

本會議ニ石炭問題ノヤウナ大キナ法律案ガ出テ居ツテ、諸君ハ皆御聽ニナリタイと思フ、此ノ質問者モ相當多イヤウデス、今日ハ豫算委員會ハ午前中ダケニシテ、明日午前十時カラ開ク、斯ウ云フ風ニシタラドウデスカ、此處デ今一番希望ノ多イノハ、商工大臣ト農林大臣ト、大藏大臣デス、質問者ハ皆用意ガアルカラ、政府ノ方カラ、此ノ三人ノ中、明日ハ誰ガ先ニ來ラレカト云フコトヲ今日本會議中ニ知セテ置イテ下サイ

○眞鍋委員 委員長、私カラモ御願ガアリマス、私ハ消費地側トシテオ米ノ問題ダケハ安心シテ戴ケルヤウニ、一ツ政府ノ答辯ヲ求メヨウト思ツテ居リマスノデ、是ナラ安心ダト云フ話サヘシテ貰ヘバ、今デモ私ハ質問ヲ打切ツテシマヒマス、ドウカ一ツ専門ノ方ニ出テ戴キマシテ、私共ニ安心ノ出來ルヤウニ御説明下サルヤウ御取計ヲ願ヒマス

○三土委員長 農林省ノ米穀局長ハ、今聴キマスト貴族院ノ分科會ニ行ツテ居ルサウデスカラ、モウ時間モアリマセヌノデ、今日ハ是デ散會致シマス

午前十一時五十分散會

(參照)

中村委員要求ノ參考資料

一、既設特別會計一覽表(名稱、設定理由、及年月等)並ニ第七十五議會ニ提出セラレ又提出セラレントスル新設特別會計一覽表(同上)

二、昭和十四年度追加豫算(第一、二次、三次)及十五年度追加豫算(第一、二次)一覽表(各總額、財源區分、本豫算トノ合算額等)



(第一類 第一號)

第七十五回帝國議會 豫算委員會議錄(速記)第十九回

會議

昭和十五年三月十二日(火曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 三土 忠造君
- 理事中村三之丞君 理事山本 芳治君
- 理事岸田 正記君 理事石坂 豐一君
- 理事増永 元也君 理事由谷 義治君
- 小川郷太郎君 川島正次郎君
- 三宅 正一君 中島彌團次君
- 眞鍋 儀十君 石坂 養平君
- 塚本 重藏君 吉植 庄亮君
- 小田 榮君 原 夫次郎君
- 森下 國雄君 小如虎之助君
- 稲田 直道君 河野 一郎君
- 笠井 重治君 松本 忠雄君
- 窪井 義道君 牧野 良三君
- 矢野庄太郎君 加藤 知正君
- 助川啓四郎君 三善 信房君
- 三木 武夫君 小泉 純也君
- 最上 政三君 木暮武太夫君
- 名川 侃市君 清瀬 一郎君
- 太田 正孝君 末松愷一郎君
- 松尾 四郎君 小笠原三九郎君
- 金井 正夫君 松尾 孝之君
- 小池 四郎君 松村 光三君

三月十一日委員安藤正純君及山道襄一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十二日松浦伊平君及平川松太郎君當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣 有田 八郎君

農林大臣 島田 俊雄君

農工大臣 藤原銀次郎君

農林省 農務局長 平木 弘君

農林省 農務局長 柳川 平助君

農林省 農務局長 日高信六郎君

農林省 農務局長 小山 谷藏君

農林省 農務局長 小高長三郎君

農林省 農務局長 堀内 干城君

農林省 農務局長 西 春彦君

農林省 農務局長 石井 康君

農林省 農務局長 中野與吉郎君

農林省 農務局長 木村 正義君

農林省 農務局長 谷口 恒二君

農林省 農務局長 相田 岩夫君

農林省 農務局長 中村孝次郎君

農林省 農務局長 松隈 秀雄君

農林省 農務局長 仲井開宗一君

農林省 農務局長 永井 浩君

農林省 農務局長 松本 弘君

農林省 農務局長 土屋 正三君

農林省 農務局長 栗屋 仙吉君

農林省 農務局長 岸 良一君

農林省 農務局長 吉田 清二君

農林省 農務局長 横山 敬教君

農林省 農務局長 周東 英雄君

農林省 農務局長 岡本 直人君

農林省 農務局長 加藤鐵五郎君

農林省 農務局長 喜多壯一郎君

農工省 農務局長 永田彦太郎君

農工省 農務局長 水田彦太郎君

農工省 農務局長 喜多壯一郎君

農工省 農務局長 加藤鐵五郎君

農工省 農務局長 岡本 直人君

農工省 農務局長 永田彦太郎君

農工省 農務局長 水田彦太郎君

農工省 農務局長 喜多壯一郎君

農工省 農務局長 加藤鐵五郎君

農工省 農務局長 岡本 直人君

農工省 農務局長 永田彦太郎君

農工省 農務局長 水田彦太郎君

農工省 農務局長 喜多壯一郎君

農工省 農務局長 加藤鐵五郎君

農工省 農務局長 岡本 直人君

農工省 農務局長 永田彦太郎君

農工省 農務局長 水田彦太郎君

農工省 農務局長 喜多壯一郎君

農工省 農務局長 加藤鐵五郎君

農工省 農務局長 岡本 直人君

農工省 農務局長 永田彦太郎君

農工省 農務局長 水田彦太郎君

農工省 農務局長 喜多壯一郎君

農工省 農務局長 加藤鐵五郎君

農工省 農務局長 岡本 直人君

農工省 農務局長 永田彦太郎君

農工省 農務局長 水田彦太郎君

農工省 農務局長 喜多壯一郎君

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長 平木 弘君

興亞院總務局長 柳川 平助君

興亞院部長 日高信六郎君

外務省 農務局長 小山 谷藏君

外務省 農務局長 小高長三郎君

外務省 農務局長 堀内 干城君

外務省 農務局長 西 春彦君

外務省 農務局長 石井 康君

外務省 農務局長 中野與吉郎君

外務省 農務局長 木村 正義君

外務省 農務局長 谷口 恒二君

外務省 農務局長 相田 岩夫君

外務省 農務局長 中村孝次郎君

外務省 農務局長 松隈 秀雄君

外務省 農務局長 仲井開宗一君

外務省 農務局長 永井 浩君

外務省 農務局長 松本 弘君

外務省 農務局長 土屋 正三君

外務省 農務局長 栗屋 仙吉君

外務省 農務局長 岸 良一君

外務省 農務局長 吉田 清二君

外務省 農務局長 横山 敬教君

外務省 農務局長 周東 英雄君

外務省 農務局長 岡本 直人君

外務省 農務局長 加藤鐵五郎君

外務省 農務局長 喜多壯一郎君

外務省 農務局長 永田彦太郎君

外務省 農務局長 水田彦太郎君

外務省 農務局長 喜多壯一郎君

外務省 農務局長 加藤鐵五郎君

外務省 農務局長 岡本 直人君

外務省 農務局長 永田彦太郎君

外務省 農務局長 水田彦太郎君

外務省 農務局長 喜多壯一郎君

外務省 農務局長 加藤鐵五郎君

外務省 農務局長 岡本 直人君

外務省 農務局長 永田彦太郎君

外務省 農務局長 水田彦太郎君

外務省 農務局長 喜多壯一郎君

外務省 農務局長 加藤鐵五郎君

外務省 農務局長 岡本 直人君

外務省 農務局長 永田彦太郎君

外務省 農務局長 水田彦太郎君

外務省 農務局長 喜多壯一郎君

外務省 農務局長 加藤鐵五郎君

外務省 農務局長 岡本 直人君

外務省 農務局長 永田彦太郎君

外務省 農務局長 水田彦太郎君

外務省 農務局長 喜多壯一郎君

外務省 農務局長 加藤鐵五郎君

外務省 農務局長 岡本 直人君

外務省 農務局長 永田彦太郎君

外務省 農務局長 水田彦太郎君

外務省 農務局長 喜多壯一郎君

外務省 農務局長 加藤鐵五郎君

外務省 農務局長 岡本 直人君

外務省 農務局長 永田彦太郎君

外務省 農務局長 水田彦太郎君

外務省 農務局長 喜多壯一郎君

農工省 農務局長 山本 茂君

農工省 農務局長 椎名悦三郎君

農工省 農務局長 東 榮二君

農工省 農務局長 新倉 利廣君

農工省 農務局長 武知 勇記君

農工省 農務局長 松岡 俊三君

農工省 農務局長 一松 定吉君

農工省 農務局長 物價局事務官 長谷川公一君

農工省 農務局長 本日の會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農工省 農務局長 (第三號)昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案

農工省 農務局長 (特第一號)昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

農工省 農務局長 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

農工省 農務局長 ○三土委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、實

農工省 農務局長 際ヲ繼續致シマス、森下國雄君

農工省 農務局長 ○森下委員 興亞院ニ御伺致シマス、北支

農工省 農務局長 開發株式會社ノ使命トスル所ハ日滿北支ノ

農工省 農務局長 經濟ヲ緊密ニシテ、北支那ノ經濟開發ヲ促

農工省 農務局長 進シ、以テ北支那ノ繁榮ヲ圖リ云々ト云フ

農工省 農務局長 使命ノ下ニ、大キナ責任ヲ持ツテ立タレマ

農工省 農務局長 シタ北支開發株式會社ノ中ニ北支ノ産業ヲ

農工省 農務局長 統合調整スル、先ヅ第一ニ北支開發株式會

農工省 農務局長 社成立以來ドウ云フ風ニ北支ノ産業ヲ統合

農工省 農務局長 シ調整シテ來テ居リマス、此ノ統合調整

農工省 農務局長 ト云フコトヲヤツテ來マシタ實情ヲ最初ニ

農工省 農務局長 御説明願ヒタイノデアリマス

農工省 農務局長 ○日滿政府委員 只今御質問ノ點ニ付キマ

農工省 農務局長 シテ御答申上ゲマス、北支開發株式會社ガ其ノ

使命トシテ居リマス北支ノ開發、産業繁榮

農工省 農務局長 サウ云フ點ニ付キマシテ統合調整ヲシテ居

農工省 農務局長 ル實情ニ付テ極クザツト大體ノ所ヲ申上ゲ

農工省 農務局長 タイト思ヒマス、開發株式會社ハ一昨年十一月

農工省 農務局長 七日ニ設立サレタノデゴザイマスガ、實ハ

農工省 農務局長 事業ノ始マリマシタ初メカラ間モナク、實

農工省 農務局長 際上ノ必要ニ應ジマシテ日本側ノ手ヲ特ニ

農工省 農務局長 付キマシテハ、差當リノ措置トシテ種々ナ

農工省 農務局長 形デ日本側デ之ヲ經營シテ居ツクノデアリ

農工省 農務局長 マス、デアリマスカラ、例ハバ電信電話會

農工省 農務局長 社ト云フヤウナモノハ、所謂親會社ガ出來

農工省 農務局長 マス前ニ既ニ成立シテ居リマシテ、昔ノ支

農工省 農務局長 那ノ交通部ガヤツテ居リマシタ電信電話ノ

農工省 農務局長 ヤウナモノヲ、日支合辦デヤツテ居ツクト云

農工省 農務局長 フヤウナモノガアツクノデアリマス、デアリマ

農工省 農務局長 スカラ會社ガ出來マシテハ、北支開發株式

農工省 農務局長 ノ子會社ニスルト云フコトニヤツタモノモア

農工省 農務局長 ルノデアリマス、大體ノ筋道ヲ申シマス、

農工省 農務局長 開發株式會社ガ資金ヲ出シ、又支那側、日本側ノ

農工省 農務局長 場合モアリマスガ、現物ナリ現金ヲ出シマ

農工省 農務局長 シテ、サウシテ大體ニ於テ日支合辦ノ支那

農工省 農務局長 法人デアリマス子會社ヲ開發關係ノ事業ヲ

農工省 農務局長 運営シテ行ク、サウシテ親會社トシテ之ヲ

農工省 農務局長 統合調整シテ行クト云フ大體ノ仕組ニヤツ

農工省 農務局長 テ居ルノデアリマス、デゴザイマスカラ、

農工省 農務局長 只今申シマシタヤウナ電信電話會社ガ先ヅ

農工省 農務局長 第一ニ其ノ子會社ニナリマシテ、其ノ次ニ

農工省 農務局長 ハ華北交通會社ガ四月ニ出來マシタ、是ハ

農工省 農務局長 北支ノ鐵道ノ運営ヲナル會社デ、同時ニ「バ

農工省 農務局長 ス」トトラツクノ方ノ營業モヤツテ居リマ

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十九回 昭和十五年三月十二日



ス、其ノ次ニ蒙瀾ノ方ノ龍烟鐵礦會社ヲ出  
來マシタ、是ハ蒙古政府側ト開發會社ノ合  
辦デアリマス、御存ジノ龍烟ノ鐵礦ヲ掘出  
シテ、サウシテ日本ニ主トシテ持ツテ來ル  
ト云フ仕事ヲヤツテ居リマス、昨年夏出來  
マシタ龍烟會社ハ、前カラ興中公司ノ事業  
デ、對日輸出ヲ主トシテ北支ノ龍烟ノ開發  
ニ從事シテ居ツタリマスガ、是モ日  
支合辦ノ會社ニナリマシテ、サウシテ所謂  
長蘆鹽田ヲ開發シテ、鹽ノ對日供給ヲ確保  
スルト云フ趣旨ヲ出來テ居ルノデアリマス、  
又昨年冬北支龍烟會社ヲ出來マシタ、  
是ハ前ニモ日本側ヲ著ケテ居ツタ仕事  
デアリマスガ、是ハ長城附近ノ鹽土結岩ヲ採  
掘シテ、サウシテ之ヲ先ヅ大體日本ニ持ツテ  
參リマス、山東方面ニモアリマスガ、將來ハコ  
チヲノ方ノ仕事ニ統合スルコトニナルデア  
ラウト思ヒマス、本年ニ入りマシテ大同炭礦  
會社ヲ出來マシタ、是ハ開發會社ト蒙古政  
府、ソレカラ前カラ仕事ヲヤツテ居リマシ  
タ満鐵ノ三社ガ一緒ニナリマシテ、大同ノ  
石炭ヲ掘出シテ、對日供給ニ努メルト云フ  
會社ヲ出來タノデアリマス、極最近出來  
マシタモノハ華北電業會社デアリマス、是  
ハ日本デ前カラ進出シテ居リマシタ東亞電  
業會社、ソレト開發會社、ソレカラ臨時政  
府ト云フモノガ一緒ニナリマシテ、差當リ  
北京、天津、ソレカラ冀東地區方面ノ電業  
會社ヲ統合シテ、サウシテ電氣事業ノ經營  
ニ當リ、將來ハモウ少シ大規模ナモノニ進  
ム、只今ノ所子會社トシテ出來テ居リマス  
ノハ其ノ七ツアリマス外ニ、前カラゴザイ  
マシタ興中公司ガアリマス、興中公司ハ御  
存ジノ通り事變前カラ各般ノ仕事ヲヤツテ  
居ツタ、滿鐵カラ其ノ總テノ株式ヲ肩替リ

致シマシテ、開發會社ノ子會社ニナツテ居  
ルノデアリマス、今申上ゲマシタヤウナ子  
會社ガ全部出來マス、興中公司ノヤツテ  
居リマス事業ガ段々此ノ子會社ニ吸收サレ  
テ行ク譯デアリマシテ、近キ將來ニ於テハ  
所謂發展ノ解消ヲ遂ゲテ行ク運命ニアルノ  
デアリマス、目下ノ所デハ北支那ノ炭礦ハ  
所謂軍管理デ興中公司ガ引受ケテ實際ノ開  
發ヲ取敢ヘズヤツテ居ルノデアリマス、之  
ヲ漸次本格的ノ日支合辦ノ子會社ニシテ行  
クト云フコトニ付テ、今支那側ト交渉ヲヤ  
ツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ差  
當リノ所、色々此ノ外ニマダ事業ヲヤツテ  
居リマス、芝罘デアリマス、濟南デア  
リマス、天津ノ所ノ電氣、ソレカラ天津ノ  
河ノ運輸、或ハ北支ノ棉、ソレカラ天津ノ  
場ト云フヤウナモノ、ソレカラ山東ノ電氣  
デアリマス、サウ云フ風ナモノハ現在  
ハ開發會社ノ方カラ融資ヲシテ居リマシテ、  
サウシテ資本ノ關係ニ於テ之ヲ助ケテ行ク、  
大キナ目カラ見テ統合調整ヲスル、斯ウ云  
フヤウナコトニナツテ居リマス、興亞院ト  
致シマシテハサウ云フヤウナ仕事ニ付キマ  
シテ開發會社ヲ監督指導シテサウシテ全  
般的ニ日滿支全般ヲ通ジマシテ日本ノ  
戰時經濟ニ貢獻シ、又全體トシテ調和ノ取  
レテ産業ノ開發ニ進んで行キタイト云フヤ  
ウニ考ヘテ居リマス

地中心主義ヲ行ツテ居ルノデアルカ、總裁、  
副總裁以下是等ノ重役ガ現地ニハドレダケ  
居ツテ、東京ニハドノ位居リマス、ソレ  
ガ御分リデアレバ先ヅ子會社ノコトヲ承ル  
前ニ、其ノ總裁以下重役ノ現地及ビ東京ノ  
ドナラニ居ルカ、其ノ事カラ初メニ承ツテ  
置キタイト思ヒマス

ルヤウニヤリタイト云フコトデ、サウ云フ  
コトニ致シテ居リマス

ダ遺憾ナコトダト思フノデアリマス、此ノ  
點ハ監督ノ責任ニアリマス、興亞院ニ於テ  
ハ、十分御考慮ヒタイト思フノデアリマス  
ガ、其ノ事ハドウ云フ御考デゴザイマスカ  
○日高政府委員 只今ノ御意見御尤モト思  
フノデアリマス、私共モサウ云フ氣持デ監  
督指導ヲ致シテ居ル積リデアリマス、實ハ  
先程説明ノ言葉ガ少シ足りナカツタデア  
リマスガ、相當且ツ長期ニ互リマシテ、  
總裁、副總裁、理事ハ現地ニ出張シテ、今  
マデモ仕事ヲ執ツテ居ツタノデアリマス、  
現ニ亡クナラレマシタ大谷前總裁ノ如キ  
ハ、丁度龍烟鐵礦會社ヲ出來ル時デアリマ  
シテ、社用ノ爲ニ北京ニ行カレマシテ、サ  
ウシテ其ノ爲ニ張家口ニ行カレル途中、御  
存ジノ非常ナ大暴風ノ爲ニ、汽車ガ途中デ  
立往生致シマシタノニ拘ラズ、老年ヲ冒シ  
テ雨ニ濡レナガラ徒歩デ向フヘ行カレマシ  
テ、其ノ爲ニ途ニ張家口ニ於テ亡クナラレ  
マシタヤウナ、悲惨ナ事ガアツタノデアリ  
マス、私共ハ其ノ意氣ヲ非常ニ壯トシテ居  
ルノデアリマシテ、新シイ總裁以下幹部モ  
サウ云フ風ナ、只今御シヤイマシタヤウナ  
氣持デ、法律上ノ本店ハ東京ニアリマスガ、  
實際上一年ノ大部分ハ向フニ暮ス氣持デ、  
今仕事ガ進んで居ルノデアリマス

重點ヲ東京ニ置クト云フ趣旨デアリマシテ、  
其ノ點御諒承ヲ願ヒマス

十三年度及ビ十四年度マデニ何程出テ居リ  
マスカ、出テ居ルモノガ内地ヘドノ位來テ  
居ルカ、此ノ龍烟鐵礦ノ鐵ト大同炭礦ノ炭  
ガ十三年度、十四年度ノ二年間ニ大凡ドレ  
ダケ來テ居ルカ、ソレカラ十五年、十六年  
ノ後ノ二年間ニドノ位内地ニ入ツテ來ル御  
見込デアルカ、御説明ヲ願ヘバ結構デア  
リマス

テ居リマス、ソレカラ最初ニ申上ゲマシタ  
電信電話會社ノ方ハ、最初カラ成績ガ大變  
良好デゴザイマシタ、今年ハ百万圓以上ノ  
純益ガ上リマシテ、六分ノ配當ヲ致スコト  
ガ出來ルノデアリマス、其ノ他ノ龍烟會社、  
龍烟鐵礦、大同炭礦、其ノ他ノ會社ハ、御  
立憲デアリマシテ、多少ノ利益ハアルノ  
デアリマスガ、差當リ社内留保トシテ置ク  
ト云フ程度デゴザイマシテ、御存ジノヤウ  
ニ會社ヲ出來マス前ハ、取敢ヘズ軍ノ管理  
ヲ命ゼラレテ動かシテ居ツタト云フ譯  
デ、本式ノ營業ヲ致サナカツタノデアリマ  
ス、會社ニナリマシテカラマダ成績ガハツ  
キリ致スマデニ至ツテ居リマセス、先程申  
上ゲマシタ興中公司ノ子會社デアリマシタ  
分デ、塘沽運輸公司ハ六分、北支棉花ノ  
「パレス」工場ハ五分、ソレカラ最近北支電  
業會社ニ一箱ニナリマシタ天津電業ハ、大  
體四分配當ヲヤツテ居ル程度デアリマス、  
是ハ先程申シマシタヤウニ追々本格的ノ子  
會社ニナルモノデアリマス、デゴザイマス  
カラ、會社ト致シマシテハ、大體ニ於テ堅  
實ニ進ミツツアルト申上ゲテ宜イト思フノ  
デアリマス

子會社ノ事務所モ一緒ノ建物ニアツタ方  
ガ、仕事上モ宜シイ點モゴザイマス、又  
經濟ノ點モアリマス、アノ事務所ガ出  
來マス、其ノ中ニ子會社ノ全部ヲ收容シ  
テ行キタイト云フ譯デアリマシテ、事務所  
ガ今マデノ假住居カラ獨立致シマシタコト  
ハ、必ズシモ東京ニ人ヲ澤山留メテ置ク、

○森下委員 是等ノ會社ノ利益ト云フヤウ  
ナモノノ御説明ヲ一寸願ヒタイ、ソレト同  
時ニ龍烟鐵礦ノ鐵ト、大同炭礦ノ石炭ヲ御  
一箱ニ御願シタイト思ヒマスガ、是等ノ御  
説明ヲ願ツタ會社ノ中デ、其ノ事業成績ハ  
ドナラニ風ニ行ツテ居リマス、ソレト同時  
ニ龍烟鐵礦ノ鐵及ビ大同炭礦ノ炭ガ、昭和

○日高政府委員 只今委員長カラノ御注意  
ノアリマシタ今度御願致シテアリマス補給  
金ノ點デアリマスガ、詰リソレダケノ補給  
金ヲ會社ノ方ノ規定ニ依リマシテ、書キ出  
シタ數字デアリマス、其ノ補給金ヲ載イタ  
會社ノ業績ハ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカト  
云フコトノ御考デアリマス、是ハ實ハマダ  
決算ガ認可申請ノ途中デゴザイマシテ、ハ  
ウキリ申上ゲル點マデ達シテ居ナイノデア  
リマス、大體ノ見當ト致シマシテ、此ノ補  
給金ヲ載イテ合セマス、四分以上ノ配當  
ガ出來ル筈ニナツテ居リマス、マダ細カイ  
所ハ分ツテ居リマセス、子會社ノ方デアリ  
マスガ、一番大キナモノハ交通會社デアリ  
マス、交通會社ハ斯ウ云フ際デアリマス  
カラ、種々ノ事業ニ於テ大ニ働イテ居ル  
ノデアリマス、昨年北支デ非常ナ水害ガア  
リマシタノデ、大損害ヲ受ケマシタ、其ノ  
水害ノアリマス前マデハ運賃ノ狀況ガ比較  
的良好ニ參ツテ居リマシタ、併シ水害ノ影  
響ヲ蒙リマシタ爲ニ、收入ガ減リマシタバ  
カリデナク、相當程度ノ損害ノ爲ニ修理其  
ノ他ノコトヲヤリマシタノデ、損失ヲ出シ

○森下委員 是等ノ會社ノ利益ト云フヤウ  
ナモノノ御説明ヲ一寸願ヒタイ、ソレト同  
時ニ龍烟鐵礦ノ鐵ト、大同炭礦ノ石炭ヲ御  
一箱ニ御願シタイト思ヒマスガ、是等ノ御  
説明ヲ願ツタ會社ノ中デ、其ノ事業成績ハ  
ドナラニ風ニ行ツテ居リマス、ソレト同時  
ニ龍烟鐵礦ノ鐵及ビ大同炭礦ノ炭ガ、昭和

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十九回 昭和十五年三月十二日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十九回 昭和十五年三月十二日



院ノ質問ハ打切ツテ、河野君ニ譲リマス、  
○河野委員 昨日ノ新聞ヲ見シマス、日露漁業交渉ノ點ニ付テ再ビ「ソビエト」側ガ壓迫的、積極的態度ニ出テ参リマシテ、漁業ノ斃害等ニ付テ不當ナ事實ヲ具現スル事態ニ立至ツテ居ルコトガ報ゼラレテ居ルノデアリマス、吾々ガココ數年來恰モ議會開會時期ガ日露漁業交渉ノ時期ト何時モ同一時期トナリマスノデ、常ニ議會デ問題ニナツテ居リマシタ所ガ、本年ハ幸ニモ昨年未外務當局ノ御盡力ニ依リマシテ、又「ソビエト」側ノ比較的理解アル態度ニ依リマシテ其ノ事ナシ今日マデ至ツタノデアリマスガ、偶々突如トシテ昨日アタリノ態度ヲ見ルト、再ビ「ソビエト」ノ態度ガ遺憾ナ方向ニ向ヒツツアルヤウナ風ニ見受ケラレ

ルノデアリマス、之ニ付テ外務大臣ノ御意見ヲ伺フテ置キタイノデアリマス  
○有田國務大臣 御承知ノヤウニ漁業ノ中デ安定漁區ト稱セラレモ、或ハ特別漁區ト稱セラレモ、是ハ手ヲ付ケズシテ依然日本側ノ保有ノ儘ニナツテ、繼續セラレルコトニナツテ居リマス、ソレ以外ノ漁區ニ付テハ、期限ノ切レタモノハ「ソビエト」側カラモ斃害ニ出ス、又日本側ノモノモ斃害ニ出ス、是ハ毎年ノ例デアリマシタモ、其ノ今年期限ガ切レテ斃害ニ出シタモノノ中デ三漁區、從來日本ガ持ツテ居ツタモノノ中三漁區ガ「ソビエト」側ニ落札シタ、斯ウ云フコトデアリマシタ、此ノ「ソビエト」ノ方ニ落札シタ漁區ノ經濟上ノ價值ニ付テハ、只今私正確ナ情報ヲ持ツテ居リマセヌガ、主ナルモノハ安定サレテ居ル譯デアリマシテ、期限ガ來テ斃害ニ出サレルモノハ、比較的價值ガ少イモノデア

リ  
○河野委員 只今ノ大臣ノ御説明ニ依リマス、至極簡單ナ問題ノヤウデゴザイマスケレドモ、斃害トハ申シナガラ、我國ガ普通ノ條件ニ於テ之ヲ露西亞ト斃害ノ形デ争ヒマシタナラバ、必ズ負ケル、同ジ國內ノ内々ノコトデアリカラ、ドウ云フ風ニデモ出來ルノデアリマシテ、之ヲ恰モ普通ノ斃害ノ如クニシテ、彼ガ臨ミマスナラバ、全部斃害漁區ハ彼ノ保有ニ歸スルコトハ難カラザル問題デアルト思フノデアリマス、此處ニ問題ノ重點ガアルト思フ、是ハ私ガ申上ゲルマデモナク、外務當局十分御認識ノコトデアルト思ヒマス、荷モ其ノ漁區ガ斃害デアラウガ、經濟價值ガドウデアラウガ、日「ソ」兩國間ノ從來ノ經過ニ見マシテ、兩國間方圓滿ニ事態ガ推移シマスナラバ、當然斃害ノ結果ハ、我ノ保有ニ歸スルモノハ、引續キ兩國ノ間ニ適當ナ經過ヲ見テ、我ノ保有ニ歸スルコトガ當然デアル、假令サウ言ツタ條件ノ三漁區デアルニシロ、積極的ニ彼方此ノ斃害ノ結果ニ依ツテ取ラウコト云フヤウナ態度ニ出テ來マシタラバ、是カラ先總テノ斃害漁區ハ彼ニ取ラレルコトハ大膽ルヨリモ明カデアルト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於テ此ノ問題ノ重要性ガアル、斯ウ思フノデアリマス、大臣ノ御考ハ

如何デアリマスカ、ト同時ニ是等ノ今後ノ推移ニ對シテ如何ナル考ヲ持ツテオ居デニナルカ、問題ハ私ハ非常ニ重大ダト思フノデアリマシテ、重ネテ御所見ヲ質シタイ  
○有田國務大臣 「ソビエト」ノ特殊ナ機構カラシテ、斃害ト云フテモ事實ハ外ノ國ニ於ケル斃害ト同様ニ行カナイト云フコトハ、今河野君ノ御話ノ通りデアリマシマシテ、隨テ安定漁區ト云フヤウナ制度ヲ設ケラレタモノ「ソビエト」ノ方ノ斃害制度ト云フモノニ全幅ノ信頼ヲ置キ得ナイト云フコトカラ生ジテ居ルノデアリマスカラ、斃害ニ付セラレタモノノ斃害ノ狀況、其ノ他ニ付テ日本政府トシテ十分ナル監視ヲスルコトハ、是ハ必要デアリマシタ、今同向フニ斃害シタ三漁區ガ果シテドシナ風ナ狀況ノ下ニ於テ落札シタノデアリカト云フコトハ、マダ不明デアリマスノデ、政府方之ニ對シテドウ云フ風ナ處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ場合申上ゲ兼ネルノデアリマス、併シ今河野君ノ御話ノヤウナ、濫用サレルト云フコトハ、政府トシテ十分ニ承知シテ居ルノデアリマスルカラ、其ノ趣旨ニ依ツテ本件ヲ尙ホ十分取調セル必要ガアルト存ジマス

○河野委員 此ノ問題ハ只今外務大臣ノ御話ニ依ツテ私ハ満足スル者デアリマスガ、併シ飽クマデモ只今申上ゲマシタ、又御聽カセ願ヒマシタヤウナ御認識ニ於テ、問題ヲ相當重視シテ善處セラレンコトヲ希望致シマシテ次ノ御答ニ移リマス  
次ニ御答致シタイノハ、昨年前内閣ノ當時ニ於テ貿易省設置問題ニ關聯スル外務省官吏ノ動向ニ對スル外務大臣ノ御所見ヲ御答致シタ

如何デアリマスカ、ト同時ニ是等ノ今後ノ推移ニ對シテ如何ナル考ヲ持ツテオ居デニナルカ、問題ハ私ハ非常ニ重大ダト思フノデアリマシテ、重ネテ御所見ヲ質シタイ  
○有田國務大臣 「ソビエト」ノ特殊ナ機構カラシテ、斃害ト云フテモ事實ハ外ノ國ニ於ケル斃害ト同様ニ行カナイト云フコトハ、今河野君ノ御話ノ通りデアリマシマシテ、隨テ安定漁區ト云フヤウナ制度ヲ設ケラレタモノ「ソビエト」ノ方ノ斃害制度ト云フモノニ全幅ノ信頼ヲ置キ得ナイト云フコトカラ生ジテ居ルノデアリマスカラ、斃害ニ付セラレタモノノ斃害ノ狀況、其ノ他ニ付テ日本政府トシテ十分ナル監視ヲスルコトハ、是ハ必要デアリマシタ、今同向フニ斃害シタ三漁區ガ果シテドシナ風ナ狀況ノ下ニ於テ落札シタノデアリカト云フコトハ、マダ不明デアリマスノデ、政府方之ニ對シテドウ云フ風ナ處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ場合申上ゲ兼ネルノデアリマス、併シ今河野君ノ御話ノヤウナ、濫用サレルト云フコトハ、政府トシテ十分ニ承知シテ居ルノデアリマスルカラ、其ノ趣旨ニ依ツテ本件ヲ尙ホ十分取調セル必要ガアルト存ジマス

○河野委員 此ノ問題ハ只今外務大臣ノ御話ニ依ツテ私ハ満足スル者デアリマスガ、併シ飽クマデモ只今申上ゲマシタ、又御聽カセ願ヒマシタヤウナ御認識ニ於テ、問題ヲ相當重視シテ善處セラレンコトヲ希望致シマシテ次ノ御答ニ移リマス  
次ニ御答致シタイノハ、昨年前内閣ノ當時ニ於テ貿易省設置問題ニ關聯スル外務省官吏ノ動向ニ對スル外務大臣ノ御所見ヲ御答致シタ

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

カ、非常ニ私ハ疑問ヲ持ツ者デアリマス、民間ニ於テモ、何レノ會社ニ於キマシテモ、是ダケノ問題ヲ惹起シテ置イテ、誰一人責任ヲ取ラウト云フ者ナシニ問題ヲ解決シ、問題方何處ヘ行ツタカ分ラナカウツタカラ、ソレナリニ濟マシテシマフト云フヤウナコトデア、果シテ國民全體ガ一體トナツテ聖戰目的貫徹ノ行動ニ出ルコトガ出來マセウカドウカ、私ハ斯ノ如キ問題ヲ其ノ儘ニシテ置イテハ、將來非常ニ惡例ヲ貽スモノト思フノデアリマスガ、之ニ對スル大臣ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ  
○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

ヘテ居ルノデアリマス、其ノ後ノ執務振リ其ノ他ニ於キマシテハ、十分此ノ非常時局ニ於テ一生懸命ニ働カナケレバナラヌト云フコトヲ感ジテ、一層事務ニ勵ムシテ居ルト云フ風ナ實情ニモアルノデアリマシテ、私ハ昨年ノ貿易省問題ニ關聯シマシテ色々起ツタコトハ、ソレデ一應解決シタモノト致シテ將來善處致シテ行キタイ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ將來ノ問題ニ付テハ既ニ十分ニ國內並ニ國外ニ居ル外務省職員ニ對シテハ戒飭ヲシ、又監督ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、舉國一致ノ態勢ニ影響ヲ及ボスヤウナコトハナイト確信致シテ居ルノデアリマスカラ、左様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 凡ソ責任ヲ取ルコトヲ知ラザル男ニ、満足ナ仕事ノ出來タ例シハナカラウト思フ、責任ヲ取ルコトヲ知ツテ初メテ本當ノ命懸ケノ仕事ガ出來ル、唯間違ハウガ間違ウマイガ、ヤツタコトガ善カラウガ惡カラウガ、後デ何等ノ責任ヲモ取ラズニ居ルト云フヤウナコトデア、本當ノ仕事ノ出來ル管ハナイト思フ、由來官僚ノ一ツノ缺點ハ茲ニアルト思フ、間違ヘバ其ノ處ヲ移ツテ責任ヲ他ニ變ヘルト云フヤウナコトデア、責任ヲ取ラザル所ニ官僚ノ事務的ニ能率ノ擧ラス、又本當ニ仕事ノ出來ナイ所以ガアルデアラウト思フ、ドノ點カラドウ云フ風ニ考ヘマシテモ、昨年ノ外務省ノ官吏諸君ノ執ラレマシタ行動ニ付テハ、之ヲ妥當公正ナルモノト認定スル譯ニハ行クマイト思フ、而モ當時ノ事情ハ那邊ニアツタニシテモ、結果ニ於テ一人ノ責任ヲ取ル者モナカウツタト云フコトハ、日本國民ノ本來ノ性質カラ見マシテモ甚ダ遺憾デアリマス、

如何デアリマスカ、ト同時ニ是等ノ今後ノ推移ニ對シテ如何ナル考ヲ持ツテオ居デニナルカ、問題ハ私ハ非常ニ重大ダト思フノデアリマシテ、重ネテ御所見ヲ質シタイ  
○有田國務大臣 「ソビエト」ノ特殊ナ機構カラシテ、斃害ト云フテモ事實ハ外ノ國ニ於ケル斃害ト同様ニ行カナイト云フコトハ、今河野君ノ御話ノ通りデアリマシマシテ、隨テ安定漁區ト云フヤウナ制度ヲ設ケラレタモノ「ソビエト」ノ方ノ斃害制度ト云フモノニ全幅ノ信頼ヲ置キ得ナイト云フコトカラ生ジテ居ルノデアリマスカラ、斃害ニ付セラレタモノノ斃害ノ狀況、其ノ他ニ付テ日本政府トシテ十分ナル監視ヲスルコトハ、是ハ必要デアリマシタ、今同向フニ斃害シタ三漁區ガ果シテドシナ風ナ狀況ノ下ニ於テ落札シタノデアリカト云フコトハ、マダ不明デアリマスノデ、政府方之ニ對シテドウ云フ風ナ處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ場合申上ゲ兼ネルノデアリマス、併シ今河野君ノ御話ノヤウナ、濫用サレルト云フコトハ、政府トシテ十分ニ承知シテ居ルノデアリマスルカラ、其ノ趣旨ニ依ツテ本件ヲ尙ホ十分取調セル必要ガアルト存ジマス

○河野委員 此ノ問題ハ只今外務大臣ノ御話ニ依ツテ私ハ満足スル者デアリマスガ、併シ飽クマデモ只今申上ゲマシタ、又御聽カセ願ヒマシタヤウナ御認識ニ於テ、問題ヲ相當重視シテ善處セラレンコトヲ希望致シマシテ次ノ御答ニ移リマス  
次ニ御答致シタイノハ、昨年前内閣ノ當時ニ於テ貿易省設置問題ニ關聯スル外務省官吏ノ動向ニ對スル外務大臣ノ御所見ヲ御答致シタ

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

イト思ヒマス、御承知ノ通り前内閣ニ於キマシテ貿易省設置ノ問題起ルル、聖戰下ニ於テ荷モ官吏タル者ガ、一省徒黨ヲ組ンデ之ニ反對ノ動向ヲ示シ、一般國民ヲシテ輿論ヲ能ハザル態度ニ出マシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、問題ノ如何ハ私ハ問ヒマセヌ、其ノ何レデアリシロ、此ノ態度ニ出タコトニ付テハ吾々當時遺憾千萬ニ考ヘテ居ル、隨テ安定漁區ト云フヤウナ制度ヲ設ケラレタモノ「ソビエト」ノ方ノ斃害制度ト云フモノニ全幅ノ信頼ヲ置キ得ナイト云フコトカラ生ジテ居ルノデアリマスカラ、斃害ニ付セラレタモノノ斃害ノ狀況、其ノ他ニ付テ日本政府トシテ十分ナル監視ヲスルコトハ、是ハ必要デアリマシタ、今同向フニ斃害シタ三漁區ガ果シテドシナ風ナ狀況ノ下ニ於テ落札シタノデアリカト云フコトハ、マダ不明デアリマスノデ、政府方之ニ對シテドウ云フ風ナ處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ場合申上ゲ兼ネルノデアリマス、併シ今河野君ノ御話ノヤウナ、濫用サレルト云フコトハ、政府トシテ十分ニ承知シテ居ルノデアリマスルカラ、其ノ趣旨ニ依ツテ本件ヲ尙ホ十分取調セル必要ガアルト存ジマス

○河野委員 此ノ問題ハ只今外務大臣ノ御話ニ依ツテ私ハ満足スル者デアリマスガ、併シ飽クマデモ只今申上ゲマシタ、又御聽カセ願ヒマシタヤウナ御認識ニ於テ、問題ヲ相當重視シテ善處セラレンコトヲ希望致シマシテ次ノ御答ニ移リマス  
次ニ御答致シタイノハ、昨年前内閣ノ當時ニ於テ貿易省設置問題ニ關聯スル外務省官吏ノ動向ニ對スル外務大臣ノ御所見ヲ御答致シタ

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加

○有田國務大臣 昨年ノ貿易省問題ノ際ニ、外務省ノ官吏方相當ナ決意ヲ以テ臨ンダト云フガ爲ニ、世間ノ非難ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ外務省ノ職員方團結シテ、辭表提出ト云フヤウナ形ニ於テ自分ノ所信ヲ無理押付ケニ押付ケヤウトシタト云フヤウナコトデアリマシタ、ヘテ居ルノデアリマス、當時私ハ外務省ノ内部ニ居ラナカッタノデアリマスガ、外カラ見テ居リマシタ所ニ依リマシテモ、是ハ各自ノ所信、決意ガ期セズシテ一致シタト云フノデアリマシテ、敢テ徒黨ヲ組ンデドウシヨウト云フ風ナ考デアウツタハ思ハレナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ風ナコトノ爲ニ世間ヲ騒ガセ、又世間カラ誤解ヲ受ケルヤウナコトニナツタコトハ、非常ニ遺憾デアリマシタ、其ノ點ハ認メテ居ルノデアリマシテ、事件ガ解決ヲ致シマシタ際ニ、外務大臣ニ對シテハ自分等ノ行動ノ爲ニ世間ヲ騒ガシタコトニ付テ申譯ガナカウツト云フ意思表示ヲ致シテ居ルノデアリマス、又當時ノ外務大臣カラ外務省ノ職員一般ニ對シテ戒飭ヲ加



テ言明致シテ置キマスガ、此ノ非常時局ヲ擔當スル外務省ノ職員トシテ世間ニ恥カシカラスヤウニシテ行ク、又サシテ行ク覺悟ヲ持ツテ居リマスカラ、左様御承知願ヒタイと思フノデアリマス

○河野委員 大臣ノ將來ノ覺悟ノ程ハ先ヅ了承致シマスルガ、前段ニ於テ述ベラレタコトガ誤解ヲ招ク處ガアルノ重ネテ御尋ヲ致シマス、尙モ官吏タル者ガ閣議ノ決定ニ對シテ異議ヲ申立テ、閣議ノ決定ニ對シテ一省ノ吏僚ガ徒黨ヲ組ンデ之ニ反抗シ、反對ノ態度ヲ執リ、省ノ長官ガ大臣ト相反スル行動ヲ執ルト云フヤウナコトハ、一體我國ノ官吏トシテ許サレル問題デアラカドウカト云フコトヲ御尋セザルヲ得ヌノデアリマス、大臣ノ申サレル時局ヲ非常ニ憂慮シ、日本國民トシテ純眞性カラ國家ヲ思フノ餘リ此ノ行動ニ出タト云フコトハ私モ諒承スルノデアリマス、私ハ外務省ノ官吏諸君ガサウ云フ意氣合デ、サウ云フ氣持デヤラレタコトト思ヒマス、併シサウ云フ氣持デヤラレバ何故官吏ヲ辭メテヤラナカッタカ、何故役人ヲ辭メテカラヤラナカッタカ、自分ガ官吏トシテ居ツテ、自分ガ役人トシテ居ツテ上長官ト相反スル行動ヲ執ルト云フコトハ私ハ許サレルコトト思フ、況シテ閣議ノ決定ニ對シテ之ニ對抗スルヤウナ行動ヲ執ルト云フコトハ、帝國ノ官吏トシテハ絕對ニ許サレルコトデアラト私ハ思フ、斯クシテ如何ニシテ舉國一致、總親和總協力ガ出來ルデアリマセウカ、何故辭メテカラ然ル後ニ國民トシテ此ノ内閣ノ決定ニ、國策遂行ニ反對ヲシナカッタカ、ソレヲ自ラ外務省ノ殻ノ中ニ入ツテ居ツテヤツタカ、アレガ若シ外務省ノ役人ニアラ

ズシテ、アア云フ態度ヲ執ツタラ一體ドウ云フコトニナリマスカ、其ノ點ニ付テ私ハ甚ダ遺憾ニ思フ者デアリマス、事情ハ非常ニ違フカモ知レマセヌ、理由ハ非常ニ違フカモ知レマセヌ、併シ會テ二・二六事件ニ致シマシテモ、五・一五事件ニ致シマシテモ、帝國ノ前途ヲ憂ヘル氣持ニ於テ責任ヲ以テヤラレタコトハ、何レモ其ノ善後處置ハ總テ解決ガ付イテ居リマス、國家ヲ憂ヘル餘リヤラレタコトハ、其ノ眞意ニ於テハ何レモ國民ハ之ヲ諒トシ、場合ニ依ツテハ之ニ贊意ヲ表スルノデアリマセウカ、其ノ結果ニ於テ、其ノ處置ニ於テ、其ノ處理ニ於テ方途ヲ誤ルニ於テハ、國民ガ全部ノヲ排撃スルモノデアリマス、外務省ノ諸君ニ於カレマシテモ其ノ行動ノ壯ナル點ニ付テハ、一部ニ贊意ヲ表スル國民ハアツタト思ヒマスケレドモ、其ノ結果ニ於テ誰一人責任ヲ取ルデモナク、誰一人之ニ對シテ自己ノ立場ヲ明ニスルデモナク、其ノ僥倖マレバ其ノ僥倖マシシマフト云フヤウナ態度ハ、ドノ點カラ何ト云フコトモ思フ、殊ニ露骨ニ申上ゲマス、谷次官ノ如キハ其ノ僥倖ニ悟ルコト居ラレルコトハ甚ダ遺憾デアリマス、當然事務官ヲ執率スル立場ニアツテ責任ヲ取ツテ然ルベキグト思フ、斯ノ如キ問題ヲ斯ノ如クシテ處理シ、斯ノ如キ無責任ヲ態度ヲ以テ、ドウシテ一體此ノ聖職ニ於ケル國民ニ範ヲ示スベキ役人ノ事務官ノ長トシテ進マレルコトガ出來ルカ、サウ云フヤウナ役人ニ外務省ノ問題ヲ任シテ置クコトハ吾々國民トシテハ實ニ危險千萬ダト思ヒマス、先程私ハ例ニ申上ゲマシタ通り、上海ノ總領事ノ如キハ、

現地ノ新聞ニ此ノ問題ノ眞相ヲ發表シ、自己ノ所信ヲ明ニシタ爲ニ、是ガ如何ニ軍ニ惡影響ヲ及ボシタカト云フコトハ、出先軍當局カラ私ハ其サニ伺ツテ參ツタノデアリマス、斯ノ如ク如實ニ、現實ニ我國聖職ニ對シテ惡影響ヲ及ボシタカト云フコトハ事實デアル、然ルニ拘ラズ誰一人責任ヲ取ルデモナケレバ、誰一人ドウスルデモナイト云フコトハ遺憾千萬デアラ、外務大臣ニ於カレマシテハ帝國官吏タル者ハ事ノ如何ニ拘ラズ上官ノ命令ニ服従スベキモノダ、而シテ決定シタ問題ニ付テハ服従スベキモノダ、意見ヲ加ヘルコトハ宜シイガ、尙モ閣議ニ決定シタ問題ニ對シテ官吏自ラガ之ヲ阻止シ、官吏自ラガ之ヲ阻礙スルヤウナコトハ、ドウシテ國策ガ圓滿ニ遂行ガ出來マスカ、而シテサウ云フ人ガアツタ際ニ之ヲ處分スルコトガ出來ナイ、之ヲ適當ニ處置スルコトガ出來ナイヤウナコトハ、ドウシテ此ノ一億ノ國民ヲ總親和、總協力ノ下ニ率ヒテ立ツコトガ出來マスカ、此ノ點ニ付テハ改メテ總理大臣ニ私ハ所信ヲ質ス積リデアリマセウカ、外務大臣トシテシテ此ノ機會ニ重ネテ是等ノ問題ニ對シテ御所見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○有田國務大臣 當時ノ外務大臣カラシテ省員一般ニ對シテ嚴重ニ戒告ヲ致シタノデアリマス、又谷外務次官カラハ當時外務大臣ノ手許ニ辭表ヲ提出致シテ居ツタノデアリマス、外務大臣ガ其ノ儀ニ及バズトシテ之ヲ本人ニ戻シタノデアリマス、事務當局トシテ其ノ責任感カラズベキコトハシタト思フノデアリマスガ、ソレヲ外務大臣ガ其ノ儀ニ及バズトシテ論議ヲシナカッタノデアリマス、左様御承知願ヒマス

○河野委員 前外務大臣ハ之ヲ處置スルダケノ力ガナカッタト思フ、自分ガ大臣トシテ居ツテアレダケノ問題ヲ起シテ、大臣自ラガ辭メルコトハ當然デアリマス、大臣自ラガ自分ガ辭メズシテ、次官ノ辭表ヲ預ルコトガ出來ナイコトハ、當リ前デアルト思フ、前ノ大臣ハ自分ガアレダケノ問題ヲ起シ、アレダケノ國威ヲ失墜ヲシテ居ツテ、部下ノ辭表ダケ預ルト云フコトハ、如何ニ前ノ大臣ガドウ云フ者デアツタトシテモ、ソレハ出來ナカッタト思フ、併シ前ノ外務大臣ガ其ノ僥倖ニ投ツタト云ツテ、現外務大臣ガ其ノ僥倖ニ投ツタト云ツテ、自己ノ所信ニ於テ閣議ヲモノリ其ノ僥倖人ヲサシテ置クコトハ宜シクナカラウト思フ、將來ヲ戒ムルニ於テハ當然責任者ヲ明ニセシムル必要ガアルト思フ、斯クシテ有田外交ト云フモノガ建設サレ、有田人事ト云フモノガ建設サレル、前ノ大臣ガ其ノ僥倖ニ投ツタト云ツテ、前ノ閣議ヲ起シテ置イテ僥倖サレルト云フコトハ、私ハ妥當デアナイと思フ、アレダケノ問題ヲ起シテ一人ノ責任者モナク、一人ノ犧牲者モナクシテ濟マシテ置クコトハ、日本帝國ノ官吏ノ動向ノ上ニ於テ甚ダ宜シクナイ、從來如何ナル爭議ニ於テモ、例トシテハ惡イカモ知レマセヌガ、ドウ云フ「ストライキ」ニ於テモ、凡ソ人ガ集ツテ行動ヲ起シタ時ニハ、其ノ「リーダー」或ハ其ノ責任者ニナツタモノハ、責任ヲ取ルコトハ當然デアリマス、之ヲセナイハ官吏ダケデアリマスト云フハレテモ、今ノ如クシテ居ルナラバ仕方ガナイデセウ、アレダケノ問題ヲ起シテ一人ノ責任者モナシ、留メラレバ、ヘーサウデスカト云ツテ留マル、サウ云フ馬鹿氣タ

コトハ民間ニハ絕對ニナイノデアリマス、若シ此ノ儘ヤリマスナラバ、役人獨リ日本國中サウ云フ無責任ノ者ガアリ、無責任ノ裁キガアルト云フコトニナリマシテ、ドノ點カラ言ツテモ是ハ宜シクナイと思フ、是ハ速ニ適當ナル方策ヲ講ゼラレルガ宜シイ、私モ一旦斯ク決心ヲシテ忠告ヲ申上ゲ所信ヲ申上ゲル以上ハ、飽クマデモサウ云フヤウニシテ置クコトガ適當ダと思フ、又シテ裁キナケレバナラズト私ハ思フノデアリマシテ、是ハ大臣ノ御所見ヲ質スル同時ニ、何處マデモ總理大臣、又當時ノ陸海軍大臣ガ居ラレルノデアリマスカラ、飽クマデモ追究シテ申上ゲル積リデアリマスカラ、其ノ意味ニ於テモ然ルベク善處シテ置キタイト思ヒマス、尙ホ私ハ續イテ他ニ日米外交問題等ニ付テモ伺ヒタイノデアリマスカ、ソレハ此ノ次ノ追加豫算ノ際ニ讓リマシテ私ノ外務大臣ニ對スル質問ハ此ノ程度ニシテ置キマス

○三土委員長 森下君  
○森下委員 北支ノ經濟開發ニ付テ中心トナルモノハ何ト申シマシテモ通貨ノ安定デアリマシテ、今日ノ如キ聯銀券ノ狀態デハ非常ニ心配デアリマスノデ、其ノ點ニ對シテ外務大臣ニ、天津會議ノ其ノ後ハドウ云フ風ニナツテ居マスカ、御説明願ヒタイト思ヒマス  
○有田國務大臣 御承知ノヤウニ、昨年ノ日英會議ノ際ニハ原則ノ問題ニ付テハ兩國間ニ意見ガ一致シテ、其ノ趣旨ガ發表サレタノデアリマス、具體的ノ問題ハ、治安ニ關スル問題ト經濟ニ關スル問題デアツタノデアリマスガ、治安ニ關スル方ハ大體兩者ノ意見ガ一致シテ、或

種ノ約東ノ基礎トナルベキモノガ出來タノデアリマス、經濟問題ニ付キマシテハ當時ノ狀況トシテ具體的ノ問題ニ入ルコトガ出來ナイヤウナ狀況デアツテ、ソレデ決裂ト云フ譯デアナイノデアリマスガ、話ヲ續行スルコトガ出來ナクナツテ今日ニ至ツタノデアリマス、併シナガラ此ノ治安ノ問題ニ付キマシテハ、其ノ後當時話合ノ出來タヤウナ趣旨デ、大體ニ於テ事實ニ於テハ實行サレテ居ルノデアリマス、經濟問題ニ付テハ、其ノ後モ寄々話ハ繼續致シテ居ルノデアリマスガ、マダ雙方ノ意見ガ一致シテ居ナイノデアリマシテ、目下尙ホ鋭意交渉ヲ繼續シテ居ラレルデアリマス、其ノ交渉ノ内容ハマダ交渉中デアリマスカラ申上ゲ難ネマスガ、併シ大體ニ於キマシテハ、此ノ經濟ノ狀況等ハ、其ノ時ノ經過ニ依ツテ色色變化ヲ致シテ參ルノデアリマスガ、昨年ノ會議當時今日トデハ多少情勢ノ變ツタ所ガアリマスノデ、ソレ等ヲ參照致シマシテ目下話ヲシテ居ルノデアリマス、成ベク近イ内ニ何トカ結果ヲ付ケタイト思ツテ居リマスガ、マダ此處デ結果ヲ申上ゲル所マデ至ツテ居リマセヌ

○森下委員 今御話ノ北支ノ經濟問題ノ中ニ重要ナル問題ガ出テ來ルノデアリマスガ、此ノ銀ハドレ程デアリマスカト云フコトガ、ソレカラ今此處デ御話ヲ載タマデニ實ハ話セナイト云フヤウナコトハ、谷・タレーギーノ會議ノ内容デゴザイマスカ、北支ニ於ケル銀ガドノ位アルカト云フコトト、谷・タレーギーノ會議ト云フモノガドノ程度マデ御話ヲシテ載ケルカ、其ノ二ツニ付テ一寸御何致シマス  
○吉田國務大臣 北支ニ於ケル英租界竝ニ佛蘭西租界ニ保有シテ居ル支那側ノ銀ノ額ニ付キマシテハ、當時隨カ新聞等ニモ發表致シタカト思フノデアリマスガ、私今記憶致シテ居リマセヌノデ、或ハ後刻政府委員カラ御致意シタイト思フノデアリマス、又谷次官ト「タレーギー」大使トノ間ノ話ハ、是等ノ昨年ノ天津會議ノ際ニ殘サレタ經濟ニ關スル問題ニ付テ話ヲ繼續致シテ居ルノデアリマス、其ノ中ニハ所謂銀引渡ノ問題モ包含サレテ居ルノデアリマスガ、先程御話シタヤウニ、マダ斯ウ云フヤウナ狀況ニ交渉ガアルト云フコトヲ御話シ得ル事態ニハ立至ツテ居ラナイノデアリマス

○日高政府委員 ハツキリシタ數字ヲ今持ツテ居リマセヌ  
○森下委員 是ハ新聞ノ海外報道デアリマスガ、此ノ間英國議會議員ノ質問ニ外務次官ガ聲明ヲシタヤウニ新聞デハ報ジラレテ居リマス、此ノ北支ニ於ケル銀ガ共同管理ヲアルト云フヤウナコトヲ發表シタヤウニ見受ケテ居リマスガ、外務大臣ハ之ニ對シテ何カ資料ヲ持ツテ居デニナリマスカ、一寸之ヲ御伺シテ置キマス  
○有田國務大臣 銀ヲドウ云フ風ニ處分スルカト云フコトハ、今英吉利ノ方ト日本ノ方トノ話ノ題目ニナツテ居ルノデアリマシテ、マダ何レトモ決定致シテ居ラナイノデアリマス、英吉利ノ議會ニ於ケル英吉利ノ外務次官ノ答辯ナルモノヲ私承知致シマセウカ、話ガ確定致シテ居ラナイノデアリマスルカラ、確定的ノコトヲ話シタ答ハナカラウト思フノデアリマス  
○森下委員 外務大臣ニ御致意シマスガ、







日、日本ト亞米利加トノ關係ハ極メテ微妙ナル状態ニアルノデアリマシテ、此ノ兩國ノ關係ヲ危殆トナシメザランガ爲ニハ、日本側ニ於テ慎重ナル態度ヲ要スルト共ニ、亞米利加側ニ於テキマシテ同様に慎重ナル態度ニ出デントトテ希望シテ居ルノデアリマス

○小田委員 其ノ御希望ハ從來外務大臣ガ亞米利加若クハ英吉利ニ對シテ久シク御期待サレテ來タ所デアリマスガ、併シテシナガラ日本ガ亞米利加若クハ英吉利ニ對シテ親善的ノ意向ヲ表示セントスレバ、兩國トモ日本ニ對シテ惡意ヲ增長シテ來ルト云フコトハ事實デアリマス、支那新中央政府モ目下ニ迫ツテ居ルコトデアリマス、其ノ成立直後ニ於テ、日本帝國ガソレヲ承認スルニ至ルコトモ亦確定シテ居ル事實デアリマス、然ルニ亞米利加ハ我が支那ノ新中央政府承認ヲ阻止スベク、或ハ九箇國條約ニ基イテ九箇國會議ヲ召集シ、以テ對日壓迫ノ舉ニ出ルノデハナイカト見ラレテ居リマス

○有田國務大臣 亞米利加ガ九箇國條約ノ會議ヲ開イテ日本ヲ壓迫スルノデハナイカラウカト云フヤウナ御質問デアツタと思フノデアリマスガ、サウ云フ風ナ情報ニハ接シテ居リマス、ノミナラズ九箇國條約關係ノ會議云々ノコトニ付キマシテハ、支那事實直後「プリマセル」ニ於ケル此ノ種ノ會議ヲ開イテ於ケル日本ノ態度ニ依リマシテ、日本政府ノ態度ガ如何ナルモノカト云フコトハ、小田君モ御承知ノ筈と思フノデアリマス、又亞米利加ノ歐羅巴ニ於ケル本ガ自分ノ方針ノ公正ナルコトヲ信ジ、又其ノ国力ノ強サヲ信ズル以上ハ、サウ云フ風ナ枯尾花ノ動クヲ見テ恐レルト云フ風ナ態度ヲ執ル必要ハ毫モナイと思フノデアリマス

○小田委員 通般英國ノ議會ニ於テ「ソ聯ノ極東ノ港灣ヲ通過シテ、對獨物資輸送路ヲ日本海ニ於テ遮斷スル」ノ方策ヲ講ジツツアルヤノ表明ガ爲メサレタデアリマス、日本海ハ其ノ名ノ示ス如ク吾々日本國民ガ日本ノ内海デアルト云フ觀念ヲ持ツテ居リマス、果シテ此ノ日本海ニ於テ英國ノ軍艦ガ「ソビエト」ノ極東港灣ヨリスル獨逸ノ物資輸送ヲ遮斷スル試ミントスル事實ガ、之ニ對シテ、外務當局ハ如何ニ考ヘ、如何ナル對策ヲ講ジヨウトサレルノデアルカ、御同致シマ

○有田國務大臣 具體的ノ問題ノ發生致シマシタ際ニハ、國際法ニ從ヒ、又必要ナ場合ニハ之ニ政治的ノ考慮ヲ加ヘテ善處致ス考デアリマス

○三土委員長 小田君、一寸御話リ致シマスガ、貴族院ノ方デ豫算ヲ決定スル間際ノデ、外務大臣ノ出席ヲ要求サレテ居リマスガ、差繰ツテ大臣ニ來テ載イタノデアリマス、此ノ豫算ハ暇ガ要ルヤウデスカラ、成ベク早く片付ケタイノデス、ドウカ成ベク簡單ニ...

○小田委員 モウ二三點——英國ノ行動ガ親日的ナラザルコトハ——我が日本ト既ニ四年ノ戰ヲ繼續シツツアル敵國將介石政權ニ對シ、重ネテ二千萬弗ノ對支借款ヲ爲スニ拘ラズ、皇國日本ニハ對日不通ノ暴舉ヲ敢テセんとスル亞米利加ノ動靜ヲ以テ明カデ、吾々ハ決シテ親日的ナリトハ考ヘナイノデアリマス、サウシテ又英吉利ノ極東ニ於テ執リツツアル所ノ諸多ノ行動ニ致シマシテモ、是ハ決シテ日本ニ對スル親善行爲デハナイノデアリマス、其ノ殆ドハ悉クガ反目的ノ對日攻勢ノ現ハレデアル、其ノ因ツテ來ル所ノ原因ハ、我が日本ノ抱持スル實力ニ對スル輕侮カラ發出スルノデハナイカト考ヘマス、併シテナガラ其ノ我が實力ヲ輕侮セシムルニ至ル所ノ原因ハ、一ツニハ對内的ナ情勢ニ對スル誤認、二ツニハ對外的ナ情勢ニ對スル輕侮、是レデアルト思ヒマス、外務當局ガ假ニ言ハレテ、一部ノ批評スルガ如ク、徒ニ軟弱的ニアララシメテ、又親米的ニアララシメテ、親英的ニアララシメテ、對外的ニ行動ヲ敢然トシテ行ハントサレルニ當リマシテモ、國內ノ情勢ニ於テ第三國ヲシ

テ我ヲ輕侮セシムルガ如キ事態ガ次々ニ發生シテ來ルトナレバ、又其ノ軟弱ナル對外行動モ已ムヲ得ナイコトニナルノデハナイカト推測致シマス、外務大臣ハ只今ノ日本ノ外交整理ニ當ツテ、日本ノ國內ノ情勢ガ其ノ思想的ナ状態ニ於テ、又經濟的ナル部門ニ於テ、對外的強硬對策ヲ講ズル爲ニ、遺憾ナル事柄ガ時々發生スルコトヲ御考ニナツテ居ナイカ、其ノ一例ヲ申上ゲマスナラバ、齋藤事件ノ如キ事態ガ發生シテ來ル爲ニ、我が實力ヲ有ル以下ニ考ヘラレテ、其處カラ外侮ヲ受ケルト云フヤウナコトヲ御考ニハナラナイカ、サウシテ外交ヲ敢然トシテ行フ爲ニ、是非此ノ國內ノ態勢ノ強化ト云フコトガ絕對ニ必要デアルト云フヤウニハ御考ニナリマセスカ、其ノ點ヲ御同致シマス

義世界ノ新秩序ヲ標榜シツツ唯今外交ヲ進メラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ印度ノ英國ノ屬地カラ脱セントスル所ノ獨立運動ニ對シテ積極的ナ支持ヲ與ヘル御考ハナイカ、此ノヤウナ方法ガ敢然トシテ執ラレルナラバ、私ハ日本ガ起死存亡ノ一大戰爭ヲ戰ヒツツアル時ニ於テ、英吉利ガ敵國ニ數限リナキ支援ヲ爲シ、且ツハ日本ノ近海ニ於テ淺間丸事件ノ如キ國辱行動ヲ執リハシナイト考ヘルモノデアリマス、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒマス

○有田國務大臣 サウ云フ問題ニ付テハ外務大臣トシテ御答辯スル地位ニアリマセシム、或ハ外務省官吏ノ米内山氏ノ不穩文書事件ニ致シマシテモ、或ハ關西地方ノ怪文書事件デモ、是ハ多分ニ日本ヲ担ヒツツアル所ノ外國ノ思想攻勢デアアルデアリマス、此ノ思想攻勢ニ對シテハ同ジク思想攻勢ヲ以テ當ルコトヲ致サナケレバナリマセシム、今日ノ外交局面ノ持ツ役割ト云フモノハ、相手國ニ對シテ我方ノ主張ヲ是認セシメ、サウシテ我方ノ主張ヲ完遂スルニ容易ナ状態ヘ誘致スルニアルノデアリマス、吾々ノ承ル所ニ依リマスルト、某大國ノ駐日公館筋カラ、毎月三百五十萬圓乃至四百萬圓ニ及ブ金ガ、我が國民輿論ノ買収費トシテ撒布サレテ居ルヤウデアリマス、援敵國ニハ此ノヤウナ、我が國民ノ輿論買収費ヲ投ズル自由ヲ展開セシメナガラ、日本ハ世界ノ道義建設指導ノ外交ニ左程力ヲ入レシナツテ居ルヤウニハ伺ツテ居ナイノデアリマス、只今モ外務大臣ハ、其ノヤウナ工作ニ對シテハ答辯ノ限リデナイヤウナ口吻ヲナサレタノデアリマスガ、私ハ今日ノ外交部面

ハ、世界ノ文化指導ニ對シテ十分ナル指導性ヲ把持スルコトガ肝要デアルト思フ、外務大臣ハ此ノ方面ニ對シテ十分ナル豫算ヲ要求シテ、サウシテ徹底的ニ全世界ヲシテ我が日本ノ道義ヲ諒承セシメ、サウシテ我が皇道ヲ世界ニ宣布スルニ容易ナル状態ヲ誘致シヨウト御考ニナリマセスカ、御同致シマス

○有田國務大臣 日本ノ文化ヲ世界ニ紹介シ、又日本ノ眞意ヲ世界ニ徹底セシメル爲ニハ、有ニル努力ヲ盡サナケレバナラズノデアリマスガ、併シテナガラ是ハ徒ニ金ヲ撒イタカラト云ツテ其ノ目的ヲ達シ得ラレルト云フモノデモナイノデアリマス、吾々ト致シマシテハ相當ナ金ヲ以テ文化工作、其他ニ著々努力致シテ居ル積リデアリマス

○小田委員 モウ一點、去月三月四日海防院中ノ商船盤谷丸ガ、碇泊中同地ノ海軍當局ヨリ強制的檢査ヲ受ケ、「パンコック」積ミ基隆及ビ神戸揚子江郵便物多數ヲ沒收セラレテ居リマス、而モ其ノ中ニハ一般ノ信書ガ多數包含サレテ居リマス、而モ此ノ事件ガ起ツタニ對シテ、外務當局談シテ、交戰國內デノ出來事ハ國際法上種々ノ解釋ガ行ハレテ即斷シ難イ、兎ニ角事實ヲ調べテ見ナケレバ何トモ致シ難イ、事實デアレバ抗議ヲスル、斯ウ申サレテ居リマスガ、只今マデニ抗議ヲナサレタコトガアルカ、サウシテ只今モ尙モ其ノ解釋ハ、即斷シ難イト御考ニナツテ居ルカ、尙モ只今ハ如何ニ御見解サレテ居ルカニ付テ伺ヒマス

○有田國務大臣 只今御質問ノ問題ハ、四日ニ海防院入港シタ日本船盤谷丸ノ事件デアリマスガ、入港同時ニ佛印ノ官憲ガ海檢ヲ致シマシテ、盤谷丸ニ積載シテ居リマシ

タ郵便物ノ中カラ、「シヤム」カラ積込シタ郵便物ト云フノヲ披イテ、「パンコック」ノ獨逸人カラ本國ノ獨逸國ニ送ル郵便ヲ拿捕シタ、斯ウ云フ問題デアアルノデアリマス、交戰國ノ領海内ニ入ツタ中立國ノ船カカラ、或ハ戰時禁制品ト云フモノヲ、搜查拿捕シ得ルコトハ、國際法ノ認メテ居ル所デアリマス、敵國人ノ發シタ敵國人宛ノ信書ヲ拿捕スルコト云フコトハ、國際法上必ズシモ不法デアリト思ハレルノデアリマス、唯其ノ中デ拿捕シ得ルモノハ、交戰國ニ取ツテ有害ナル情報、其ノ他ノ文書デアアルノデアリマスカラ、有害デアリモノハ當然拿捕スベキ範圍ニハ入ツテ居ナイノデアリマス、海防院佛印官憲ガ拿捕シタ信書ノ中ニ、其ノ種ノ無害ナモノガアレバ、其ノ返還ヲ要求スルコトハ當然ノコトデアアルノデアリマス、其ノ點ニ付テ日本ノ領事カラ交渉シテ居リマス

○最上委員 今ノ關聯シテ...  
○三土委員長 ソレデハ最上君  
○最上委員 實ハ小田君ノ質問ト同ジヤウナ質問ヲ致シタイト思ツタノデアリマスガ、只今外務大臣ノ御答デハ、信書並ニ他ノ小包等ノ郵便物ハ、公海ニ於テモ敵國ニ宛テタモノハ差支ナイト云フノデアリマスガ、郵便條約ニ依レバ公海ニ於テハ信書ヲ拿捕スルコトガ出來ナイト云フヤウニ解釋ヲサレルノデアリマス、既ニ米國ニ於テハ「ハ」長官ガ展、此ノ件ニ關シテ、英國政府ニ對シテ、米國並ニ中立國ノ郵便物搭載ニ對スル拿捕事件ニ對シテ、抗議シテ居ルヤウナ事實ガアルノデアリマス、然ルニ今回ノ此ノ郵便物沒收事件ハ、其ノ郵便物ノ宛先ハ

日本宛ノ小包デアアルト承知シテ居ルノデアリマス、即チ土井船長ガ去月八日無電ニ於テ大阪商船會社發シタ電文ニ依ツテモ明カデアリマス、即チ「パンコック」デ積込シタ日本行ノ郵便物ニ付テ、是方開封及ビ檢閲ヲシタイト申出テ來タ、此ノ突如ノ要求ニ對シ、本船デハ一方の國際法ノ蹂躪云々ト言ハレテ居ルノデアリマス、之ヲ見ルト獨逸宛ナラバ、勿論差支ナイデアリマセウガ、而モ大日本帝國宛ノ郵便物ハ領海内ト雖モ、無斷ニ佛蘭西政府ニ於テ之ヲ開封シ、其ノ内容ヲ見ルト云フコトハ如何カト考ヘマスガ、之ニ付テ御答願ヒタイ

○有田國務大臣 帝國領事ノ報告ニ依リマシテモ、又盤谷丸ノ船長ヲ取調ベタ其ノ結果ニ依リマシテモ、佛印官憲ガ沒收シタ郵便物ハ「パンコック」デ積込シタ獨逸人發ノ獨逸人宛ノ郵便物デアツタト云フコトデアリマス

○最上委員 只今大臣ノ御答辯ハ、行囊ノ中ヲ開ケテ見タラバ獨逸宛ノモノガアツタト云フナラ、ソレハサウ云フ御答ニナリマセウガ、船長發シタ電文ニ於テハ、其ノ行囊ハ日本宛ノ行囊デアアル、或ハ其ノ内容ハ橫濱デアアル、或ハ長崎デアアルト云フヤウナ日本郵便局宛ノ行囊ヲ而モ他國デアアル所ノ佛蘭西政府ニ於テ之ヲ開ケテ讀ムコトハドウカ、而モ「ヘグ」條約ニ於テハ、公海ニ於テハ信書ハ全然之ヲ沒收スルコトガ出來ナイト云フヤウニ規定サレテ居ル、然ルニ今回ハ日本宛ノ郵便行囊ヲ開ケサセルト云フコトハ私ハドウカト思フノデアリマスガ、

○有田國務大臣 今度ノ事件ハ公海デハナイノデアリマシテ、海防院デアリマスガ、



佛蘭西ノ領海内デアリマス、ソレカラ日本ノ行義ヲ開ケタカドウカ、其ノ點ハ私此處デ明答致シ兼ネマスガ、船長ノ申立ニ依ツテモ、又帝國領事ノ報告ニ依ツテモ、佛印官憲ガ沒收シタ郵便物ハ、獨逸人發ノ獨逸人宛ノ信書デアツタト云フコトデアリマス、其ノ點ハ開述ナイノデアリマス、今最上君ノ御讀ミニナツクハ、或ハ船ノ上カラ出シタ無電ノ通信デアルカモ知レヌト思フノデアリマスガ、恐ラクソレハ多少正確ヲ缺イテ居ルヤウナコトガアルノデハナカラウカト想像致シマス

○最上委員 引例シタノハ、土井船長ガ大阪商船宛ノ文書デ、是ハ公文書デアリマス、其ノ文書ニ依レバサウ云フ風ニ書イテアルノデアリマスガ、何レニセヨ斯ウ云フ問題ハ、米國等ニ於テモ既ニ昨年以來色色問題ニナツテ居ル、我國ニ於テモ現ニ佛蘭西政府ガ爲シタノミナラス、英國政府ニ於テハ香港其ノ他ノ英國領海内ニ於ケル所ノ港灣ニ於テ、我が船泊カラ獨逸宛ノ郵便物ニ對シテ檢閲或ハ拿捕シタ事件ガドノ位アリマセウカ、ソレヲ御聽シタイノデアリマス

○有田國務大臣 「シンガポール」並ニ香港ニ於テ、此ノ種ノ事件ガ起ツタ件數等ハ、私ハ今ハツキリ承知致シマセウカ、サウ云フ風ナ事件ガアツタコトハ事實デアリマス、最近ニ於テハ是等兩港ニ於ケル取扱方ハ非常ニ緩和致シマシテ、其ノ種ノ事件ガ無イト云フ風ニ承知致シテ居リマス

○最上委員 引例シタノハ、土井船長ガ大阪商船宛ノ文書デ、是ハ公文書デアリマス、其ノ文書ニ依レバサウ云フ風ニ書イテアルノデアリマスガ、何レニセヨ斯ウ云フ問題ハ、米國等ニ於テモ既ニ昨年以來色色問題ニナツテ居ル、我國ニ於テモ現ニ佛蘭西政府ガ爲シタノミナラス、英國政府ニ於テハ香港其ノ他ノ英國領海内ニ於ケル所ノ港灣ニ於テ、我が船泊カラ獨逸宛ノ郵便物ニ對シテ檢閲或ハ拿捕シタ事件ガドノ位アリマセウカ、ソレヲ御聽シタイノデアリマス

分ニ付テモウ少シ教ヘテ戴キタイト思ヒマス、何レノ議會デモ斯ウ云フコトハゴザイマスケレドモ、特ニ今度ノ議會ハ物價問題ニ付テ非常ニ論議ガナサレテ居リマス、是ハ結局國內情勢ノ反映デアラウカト思ヒマスガ、一般ノ國民ガ考ヘテ見テ安イトカ、高イトカサウ云フコトニ議論ガ出ルカラ、不平等起ツテ來ル、ハツキリ國民自身ノ氣持ガ、此ノ相場ハ高クナイ、此ノ相場ナラ公定サレテモ正シイ、斯ウ云フ氣持ガ出ルト、間相場モ何モ根柢カラ防止サレルト思ヒマスガ、納得ノ行カスコトヲスル所ニ間相場ガ起ツテ來、其處ニ議論モ起ツテ來ルト思フ、ソコデ物ノ値ト云フモノハ斯ウ云フ風ナモノトナツテ、一般ノモ納得ノ行クヤウニ、又安心スルヤウナ何カ專賣特許ノ説明方法ハゴザイマセウカ、ソレハ微積分ナドノ高等數學ヲ使ツタリスル率勢米價ノ説明ノヤウナモノデナシニ、モット一般ノ者ノ能ク理解スルヤウナモノハゴザイマセウカ

○藤原國務大臣 御尤モノ御尋デアリマス、若シサウ云フ工合ニ基本的ノモノガ出來マシテ、ソレガ國民ニ徹底スルト云フヤウニナレバ、洵ニ便利デ宜イト考ヘマスガ、色色サウ云フ計畫ヲシテ、或ハ物價ノ要綱トモアリマスガ、申々何千何百ト云フヤウナ多種多様ノ商品ヲ網羅シテ居ルコトデアリマスカラ、ドウモ原則的ニ規定スルト云フコトハ、容易ニ實行シ難イヤウニ考ヘテ居リマス、ドウシテモ其ノ商品ニ對シテ一ツツツ決メテ行クト云フヤウナコトヨリ外ニ仕方ガナイノデハナイカ、勿論綿織物ナラ綿織物、絹織物ナラ絹織物ト云フヤウニ概

之ニ對スル抗議ヲ申込マナイサウデアリマスガ、是ハ其ダ手續イト思フノデアリマス、速ニ是等ノ諸案ヲ調査セラレテ、米國政府ニ於テモ英吉利等ニ對シテハ類々ト抗議ヲシテ居ルノデアリマス、今回ノ事件ハ私ノ知ル範圍ニ於テハ日本國宛ノ郵便物ノ行義ヲ開封シテ、サウシテ獨逸宛ノ郵便物ヲ沒收シタト云フヤウニ取ラレルノデアリマスカラ、是等ニ付テ政府ハ更ニ善處セラレシコトヲ私ハ要望スルノデアリマス

今一言申上ゲタイノハ、是モヤハリ郵便關係デアリマスガ、去ル十二月ノ上海郵便局ニ於ケル「スパイ」事件デアリマス、其ノ内容ハ私ガ一々申上ゲルヨリカ、十二月十五日ノ同盟通信ノ記事ヲ讀ムガ、上海郵便局ノ支那人幹部ガ斷末魔ノアガキヲ續ケテ居ル重慶政府交通部ノ秘命ヲ受ケテ直接事務ニ當ツテ居ル下級支那人局員ヲ買収シ日本向ケ或ハ日本カテ大陸向ケノ郵便物ヲ「スパイ」行爲ヲ續ケテ居ルコトガ暴露シ各國人ノ憤激ヲ買ツテ居ル、是等支那人幹部二十數名ハ重慶政府交通部ガ去ル十月中旬開催シタ全國郵務總工會執監委員會聯合會デ協議シタ「スパイ」方針ニ基イテ秘命ヲ受ケ直チニ同郵政局内ニ「スパイ」團ヲ組織、買収費トシテ重慶政府カラ手交サレテ二十萬元ヲ以テ直接事務取扱ノ局員ヲ買収ニ成功シ、同局ヲ經ル日本ノ郵便物全部ヲ片端カラ開封檢査シ之ヲ重慶側ニ送一報告、建設工作ノ後方擾亂ニ狂奔シテ居タモノデアリト云フヤウナ記事ガアツタノデアリマスガ、今日支那ニ於ケル特ニ北支並ニ上海ニ於ケル郵政監督其ノ他ニ付テ、如何ナル方法ヲ

括シテ、又其ノ種類ノ中デ千差萬別ニ別レマスガ、概括シ得ルモノモアリマスケレドモ、ドウモ例ヘテ申セバ魚菜ノヤウナ物ヲ以テコチラノ紙製品ノヤウナモノト同ジニ考ヘル譯ニ行カナイトカ、食料品ト食糧品トヲ同ジニ考ヘルコトハ出來ナイト云フヤウニ、色々事情ガ違フヤウニ考ヘテ居リマス

○眞鍋委員 個々ニ付テ實情ニ即シテ判定ヲ下スヨリ他ニ方法ガナイヤウニ考ヘラレテ居ルノダラウト思ヒマスガ、今マデ商工省ニ中央物價委員會ト云フモノガアリマシタガ、ドウ云フ所ニ缺點ガアツタカ分リマセウカ、今度内閣ニ物價對策會議ヲ設ケ、更ニ商工省ニ價格形成委員會ヲ設ケ、更ニ是ガ中央委員會トナツテ、各府縣別ニ大體九・一ハ物價停止令ノ凸凹ヲ直サウト云フ工作ニ掛ラレルモノダト思ヒマス、大臣ガ今仰シヤラレタ個々ニ付テノ解決ヲ是等ニ任セヨウト云フ狙ヒデアルカモ知レナイガ、委員會ノ名前何通御取換ニナツテモ、根本ニ錯誤ガアツタノデハ實積ハ舉リマセウカ、今度又委員會ガ出來ルトシマシテモ、大體其ノ範圍ハ餘リ違ハナイデ、大臣ガソレニ會長トシテ乘ツカツテ來ラレル位デ、各省ノ次官トカ、或ハ三長官トカ、或ハ企業院及ビ物價局ノ次長、幹事ニハ各省局長連中ガ入ッテ來ルト云フコトニナリマス、何通御取換ヘテ見テモ、吾々ノ期待スルヤウナ效果ヲ得ルカドウカニ付テ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ委員會自體ニハ缺陷ガアルデセウカ、政府モモウ少シ材料ニナルヤウナ調査ヲ平素カラ用意シテ置カレテ、イザト云フ時ニハ之ヲメタツテ見レバ何デモ出テ來ルト云フ風ニ

政府ハ執ツテ居ルノデアルカ、又斯ウ云フ事實ガ現ニ行ハレツツアルノデアリマスガ、大臣ニ御言明ヲ願ヒタイノデアリマス

○有田國務大臣 今御讀ミニナツタ上海ノ事件ニ付テハ、私サウ云フ報告ガアツタカドウカ記憶致サナイノデアリマスガ、ソレ等ノ「スパイ」行爲ハ獨リ郵便局關係バカリデナク、各方面ニ互ツテ十分帝國現地官憲トシテハ、軍、領事館、與亞院等ノ關係者ニ於テ其都度十分取締ヲ行ツテ居ルコトト存スルノデアリマス、具體的ノ事件ニ付キマシテハ先程申シマシタヤウニ私存ジマセウカ、現地官憲ニ於テソレ等ノコトニ付テ適當ナル措置ヲ執ルコトヲ信ジテ疑ヒマセウカ

ソレカラ先程ノ郵便物ノ檢閲沒收ノ問題デアリマスガ、是等ノ事件ニ付キマシテハ、決シテ帝國政府ニ於テ適當ノ措置ヲ講ジナカツタノデハナイノデアリマス、今日マデノ事件ニ於テ國際法上當然抗議スベキ問題ニ付テハ嚴重抗議ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、國際法上ニ照シテ根據不十分ナルモノニ付テハ、抗議ノ措置ノ如キコトハ講ゼラレヌコトハ勿論デアリマスガ、十分根據ノアルモノニ付テハ、其ノ事件ノ性質ニ應ジテ然ルベク措置ヲ執ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ御察承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○最上委員 只今大臣ノ答辯デ能ク分リマシタガ、唯私ノ第二段トシテ質問シタ現ニ支那ニ於ケル郵政事務、是ハ北支並ニ中支ヲ含ムノデアリマスガ、現在我が皇軍ノ軍事郵便ニ對シテハ野戰郵便局ノ設置ニ依ツテ遺憾ナク是ガ取扱ハレテ居ルノデアリマスガ、一般ニ在留邦人、今日ニ於テハ中支並

勉強シテ置イテ戴キタイト困ルト思フ、ソレニ付テモ日銀ノ物價指數ハ一國ノ標準トナルベキ價格ノ指標デマスガ、ドウモ納得行カヌ節ガ多ク出テ參リマス、是ハ私ガ説明スルマデモナク、遠々明治三十三年ノ十月ガ基準ニナツテ居ルノデセウケレドモ、明治三十三年ト云フト吾々ガヤツト生レタ時代ノコトデアリマシテ、社會的ニモ餘程情勢ガ變ツテ居リマス、此ノ基本トナルベキ近代ノ統計ニ拵ヘ直シテ戴キ、調査ノ方法ニ付テモ今少シ新シ味ガ加ヘラレテ急遽ナ改正ガシテ戴クナイデセウカ、何デモ二月中ノ日銀調査局ノ發表ニ依ルト、東京ノ卸賣物價指數ハ調査品百十ノ中、騰貴シタモノガ二十一、低落シタモノガ十六、保存ノモノガ七十三トナツテ居リマス、低落シタモノハ何カト云フト、食料品ト嗜好品デアルガ、吾々ノ常識デハサウナツテ來マセウカ、是ハ如何カ調査ノ方法ニ民衆的デナイ、官僚的ナ所ガアツテ、實際社會ニ合ハナイ數字ガ指數ニ出テ來ルノデアリマスマイカ、商工大臣ハ其ノ道ヲ安デアラセテ解決スベキ點ヲ御認メナリ、又ハ其ノ基本要綱ニ付テ調査ノ眼目ヲ清新ニスルト云フヤウナ御考ハ御持チニナツテ居リマセウカ、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイ

○藤原國務大臣 御尤モノ御尋デアリマス、其ノ點ニ付テ私色々考ヘマシタ末ニ、先ツ其ノ委員會ガ從來ト同ジヤウニナツテ來マシタノデハ、唯機構ヲ變ヘタダケデ、大シタ效果ハナイト云フ風ニ只今御指摘ニナリマシタガ、私モ其ノ通りニ考ヘテ居リマス、ソレデハ是ハ機構デナク、人デアリマ

ニ北支ニ於テハ相當多數ノ在留邦人ガ居ルノデアリマス、是等ノ郵便ハ現在マデノ支那ノ郵便局ニ於テ取扱ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、之ニ關スル我が政府トシテノ監督或ハ取締等ニ付テ、如何ナル方法ヲ以テヤツテ居ルノデアリマスガ、是ハ與亞院ノ人デモ宜イノデマスガ、御答ヲ戴キタイノデアリマス

○日高政府委員 最初ニ上海ノ御指摘ニナリマシタ點デアリマスガ、十二月十五日ノ同盟記事ガ出マシタノデ、早速與亞院ノ方デモ現地ニ事情ヲ問合シテ見マシタ、其ノ記事ノ内容ハ全然事實無根デゴザイマス、事變以來支那郵政ニ付キマシテハ、軍ノ方デモ軍事上ノ必要ニ應ジテ早速檢閲其ノ他ノ手段ヲ執ラレマシテ、機密ノ保持、只今仰シヤイマシタヤウナ點ノ懸念ノゴザイマセウカ、實際上ノ措置ヲ直チニ講ジラレタ郵政、郵便事務ノ復活ト云フコトハ有ユル方面カラ見テ必要ナラデアリマスカラ、蒙豫北支ニ於キマシテハ風ニ郵政總局ト云フモノガ出來マシタ、又中支並ニ於キマシテモ實際上不便ノナイヤウナ形デ郵便物ハ動イテ居ルノデアリマシテ、只今仰シヤイマシタヤウナ我方ノ軍事郵便トノ關係、軍票ノ受入、航空郵便トノ連絡等モ極メテ圓滑ニ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレデ日本側ノ信書ノ内容ニ關シマスル秘密ノ保持ト云フコトニ付キマシテモ、各方面ニ於キマシテ有効適切ナル措置ガ講ゼラレテ居ルノデアリマス

スカラ、其ノ委員ノ構成ガ一番大切ナ問題デアアルノデアリマシテ、此ノ專門委員ヲ各業種ノ專門ノ生産業者トカ配給業者、或ハ其ノ消費者ト云フヤウナ、實際ノ問題ニ付テ經驗モアリ、知識モアリ、且ツ人格モ相當ナ方ニ委員ニナツテ戴イテ、ソコデ之ヲ極メテ實際的ニ物價ニ付テ審議、評定、研究スル、斯ウ云フコトヲ先ヅ一面ニ於テ致シタイト存ジテ居リマス、ソレト同時ニ今御指摘ニナリマシタヤウニ、今度ハ實際ヲ離レテ若干新シ味ヲ持ツテ理論的ノ研究ヲ又別ニ致シマシテ、是ハ是デ理論的ニ別ニ調査研究ヲ致シテ行キタイト思ツテ居リマス、ソコデ此ノ實際的ニ研究シタ監視ミ合セテ行クガ、其ノ支配者、即チ監督者ノ責任デアアルノデアリマスガ、從來動モスレバ、其ノ理論的學的的ノ研究ノ方ニ力ヲ入レル傾ニナリ勝チデアリマスカラ、事方迅速ニ運バナイト云フコトニ陥リ易イ、ソレ故ニ今度ハ成ベク實際ニ即シテ研究ヲシテ、今ノ御話ノヤウニ常識的ニ之ヲ判斷シテ決定シテ行キタイ、併シソレダケデハ申スマデモナク眞摯君モ能ク御承知ノ通りニ、當業者ノ聲ノ中ニハ、ヤハリ本當ノ聲ト、又本當ノ聲デナイ當業者ノ聲ト云フモノガ混ツテ來ルノデアリマスカラ、雜音ト本當ノ聲トヲ鑑キ分ケル必要ガアルノデアリマシテ、段々慣レテ來レバモウ一言ヲ聽イテ、是ハ雜音ダ、是ハ本當ノ聲デアルト云フコトガ分リマスケレドモ、其ノ經驗ヲ十分ニ積マナイ内ハ、雜音ヲ本當ト心得タリ何カシテ間違ヒモ起スノデアリマスカラ、其ノ基本的ナ理論的ナ新シ研究モ政府ノ仕事デアリマスカラ、ソレハソレデ

スガ、概括シ得ルモノモアリマスケレドモ、ドウモ例ヘテ申セバ魚菜ノヤウナ物ヲ以テコチラノ紙製品ノヤウナモノト同ジニ考ヘル譯ニ行カナイトカ、食料品ト食糧品トヲ同ジニ考ヘルコトハ出來ナイト云フヤウニ、色々事情ガ違フヤウニ考ヘテ居リマス

○眞鍋委員 昨日私ハ商工大臣ニ對シテ色色御質問申上ゲタノデアリマスガ、大臣ノ御都合デ御禮席ニナリマシタノデ、殘ツタ



進メテ行クト云フ風ニシテ、兩方眼ミ合セテ種々ト本質トヲ能ク分ケテ、敏速ニ決メテ行キタイト云フノガ趣旨デアリマス。ソレカラ日本銀行ノ物價指數ノ決メ方ニ付キマシテハ、私能ク承知致シテ居リマセシガ、是モ經濟學者ニ言ハセルト、色々ナカマシイ議論ガアツテ、コレガ爲ニ日本銀行ハ日本銀行ノ物價指數、三菱ハ三菱、三井ハ三井ト云フヤウニ、其ノ他經濟學者ガ指各自ノ理想ニ依ツテ物價指數ヲ拵ヘテ居ルコトハ眞錫君モ能ク御承知ノ通りデアリマス。學者ノ説モ餘程注意シテ其ノ頭ヲ以テ見ナケレバナラヌコトハ、只今御指摘ナリマシタヤウナ譯デゴザイマスカラ、必ズシモ學者ノ研究シタ數字ガカラト云ツテ、ソレヲ直チニ鵜呑ミニスル譯ニハ行カヌダラウト存ジテ居リマス。

○眞錫委員 私人學問者ノ拵ヘタモノヲ信用シナイ方デス、例ヘバ魚ニ致シマシテモ、卸賣ノ方ハ一月デアリマスカラ構ヒマセヌケレドモ、小賣ニシマスト其ノ調査シタ日ヲ捉ヘル、前月ノ十五日ハ鮎ガ澤山來タ、鮎屋デモ魚屋デモ澤山アツタ、所ガ今月ノ十五日ハ其ノ半分モ三分ノ一モ来ナイ、ソレデ物價指數ヲ見マスト數字的ニ急激ナ變化ヲ來シテ來ルノデアリマス、風ダツタカラ魚ガ安クナツタトカ、暴風ダツタカラ高クナツタト云フヤウナコトガ、物價指數ノ上ニ急激ナ變化トシテ現ハレテ來ルヤウナ指數ノ作り方ハ面白クナイ、私ハ理窟ヲ抜キマシテモツト實際ニ即シタモノガ欲シ、日銀ハ日銀デ三十二年ヲ基準ニシテ拵ヘレバ宜シ、商工省ハ商工省デ昭和十五年ニ適應シタモノヲチヤント平素カラ御勉強ニナツテ居ツテ、今大臣ノ仰シヤルヤウニ雙方眼ミ合セテ正鵠ヲ得ルト云フ所ニ一ツ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ實際アナタ方ガ物價指數決メ方ノ御苦勞アルコトハ存ジテ居リマス、一本ノ大根ヲ見マシテモ、軟イモノモアラウシ、筋バカリノモノモアラウ、旨イモノモアラウシ、不味ナモノモアラウ、新鮮ナモノモアラウシ、萎ビタモノモアラウ、ソレヲ一々御割キニナル御苦心ノ程ハ察シマスケレドモ、是ダケノコトハ是非デモチカラナケレバナラヌ仕事ナノデス、ドウ云フ風ニシテ其ノ迅速ナル決定ガ出來ルカ、斯ウ云フ所ニ著眼セラレマシテ、出來ヌナガラモ國民ガ已ムラ得ズ是ナラバ我慢シヨウト云フ所マデ一ツ御勉強ヲシテ戴キタイト思フ、餘リ細カク御マデ役所ノ方デ分ラヌナラバ、サウ云フ所ハ或ル程度規格ガ決マリマシタラ、組合ナドヲ御利用ニナルコトモ亦一ツノ方法ダラウト思ヒマス、如何ニ専門家委員ニ入ツテ居リマシテモ、商賣ハ道ニ依ツテ賢シデアリマシテ、又量ノ方ハ分ツテモ、質ノ鑑定ハ中々容易ナコトデアリマセヌ、斯ウ云フコトハ組合ニ御任セニナツテモ宜カラウト思ヒマス。

ハヨウト思ツテモ片方ダケソレガ許サレナイ、ソレハオ役人ガサウ云フ所マデ入ツテ行カウトナサレカ物ガコソカラガツテ來テ、却テ邪魔ニナリマス、斯ウ云フ所ニナルト、相當信用ナル組合ナドヲ活用サレテ、半分ノ時間ヲ解決ノ付クヤウニ、敏速ナ手段ヲ執ラレンコトヲ私ハ實際問題トシテ希望シテ居ルノデアリマス、二級品三級品ノ指定ヲ受ケタ者ガ高級品ヲ拵ヘルコトニ對シテ御禁止ニナツテ居ルヤウナ點ハ早速御改良ニナルヤウニ希望致シテ置キマス。

又今私ガ差迫ツタ問題トシテ一ツ致ヘテ戴カナケレバナラヌコトガアル、外米ガヤツテ來タ、是ハキツト丸糶ト抱合ハセテ食ハセル積リデアリマセウ、併シソレハ外米一本建デ米ノ値段ガ出テ來ルノデスカ、或ハ内地米ト外米ト抱合ハセテ一本ノ米ノ値段ガ出來ルノデスカ、明日カラ私共ガ食ハナケレバナラヌ米ノ値段デス、其ノ米ノ値段ガ外米ガ入ツテ來タラ外米一本ノ米ノ値段ガ決マルノデスカ、内地米ト突込ンデ米ノ値段ガ出ルノデスカ、明日カラ食フ米ノ値段デスカ、ソコヲ一ツ致ヘテ戴キタイ。

○藤原國務大臣 其ノ點ハ政府委員カラ御答申上ゲマス、其ノ前ニ一寸、先程委員ノ組織ニ付テ私ガ少シ申シ殘シタコトガアリマスカラ、御諒解ヲ得ル爲ニ補足シテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先刻申上ゲマシタノハ、専門委員ヲ拵ヘテ、其ノ専門委員ニ出來ルダケ實情ニ即シタ人ヲ入レル、ソレニハ先刻御指摘ニナリマシタヤウナ各省ノ官吏ト云フモノデナク、實際ノ仕事ニ經驗ナル專門家ヲ入レル、生産者、配給者

ニ扱フカ、或ハ日滿支ノ輸出輸入ニ對シテドウ云フ風ニ扱フカ、或ハ其ノ自然ノ結果トシテ北支ノ聯銀券トノ問題ヲドウストカ、中支ノ法幣ノ扱ヒヲドウスト云フヤウナ、サウ云フ大キナ問題ハ内閣ニ於ケル此ノ委員會ガ決定スルト云フ工合ニ致シマシタナラバ、今日ノ實情ニ即シタ委員ノ構成ガ出來ルノデハナイカト云フヤウナ積リテ致シテ居リマスカラ、是ダケヲ補足シテ申上ゲテ置キマス。

○三土委員長 今ノ眞錫君ノ御尋ノ外米ノ格付問題ニ付テハ、物價局事務官ノ長谷川君ガ説明員トシテ説明シマス。

○長谷川説明員 只今眞錫君ノ御質問ニナリマシタ外米ト内地米ト抱合セテ適當ナル公定價格ヲ作ルカト云フヤウナ御質問デアリマスガ、御意見ノ通りデアリマシテ、内地米ニ對シマシテ外米ヲ、例ヘバ一割トカ、或ハ二割トカ三割混合スル量ニ依リマシテ價格ヲ作ルベク農林商工兩省デ打合セマシテ早急ニ取計ヒタイト思ヒマス。

○眞錫委員 分リマシタ、外米一本ノ相場ト云フモノハ出テ參リマセヌデ、抱合相場ト云フモノダケガ私共ガ是カラ買ハナケレバナラヌ値段ニナルト云フコトデハワツキリ致シマシタ、ソコデ商工大臣ニ一寸御同致シマスガ、ドウデセウ、節米トカ、七分搦トカ云フヤウナ問題ガアリマス際、此ノ外米ト云フモノハ必ズ他ノ内地米乃至ハ外米ノ中ニ入レテ食ハナケレバイケナイノダ、モウ内地米ダケ食フコトハナラヌ、内地米ノ中ニ必ズ一割ナリ二割ナリノモノハ入レテ食ハナケレバ食フコトハナラヌト云フコトヲ御命ジニナル御決心ハアリマセスカ、私共學生ノ時代デアリマシタケレドモ、ヤ

ハ其ノ時ノ臺灣米ト違ツテ品質ガ宜シカラ、モウサウ云フコトヲスル必要ハナクナツタノデアリマスガ、サウ云フ經驗カラ考ヘマシテ、法律ノ力ヲ以テ或ハ強制的ニ國民ニ外米ヲ食ベロト言ハナクテモ、ソコニ混合シテ若干値段ニ差ヲ付ケテ置キマシタナラバ、自然ノ經濟作用デ外米モ適當ニ消化サレテ行クノデハナイカト考ヘテ居リマス。

○眞錫委員 御尤モナコトデ、立派ナ國民ニ對シテ強制的ニサウ云フコトヲ申スコトハ失禮ダツタカト思ヒマスカラ、私モ先程ノコトハ強ヒテ望ミマセヌ、ガ併シ氣持ハセメテソレデアツテ戴キタイト云フコトデ折合ヲ付ケテ置キマス、斯ウ云フ風ニシテ免モ角面倒ナガラモ御決メニナリマシタ、決ツテ行ク譯デゴザイマセウカ、大體物ノ値ト云フモノガ公定價格ヲ決マルト致シマシテ、其ノ公定價格ニハ適用範圍ト云フモノガアルノデスカ、モウ一遍言ヒマセウ、東京デハ牛肉ガ幾テスルガ、神戸デハ幾テスル、斯ウ云フ場合ニ公定價格ト云フモノハ處ニ依ツテ區々ナ相場ガ出テ來ル譯デセウカ。

○長谷川説明員 御答致シマス、一般的ナ問題ト承知致シマスガ、大體全國ニ流通スル物資ニ付キマシテハ各主務大臣ニ於テ、或ハ商工大臣、農林大臣等ニ於キマシテ公定價格ヲ全國ニ設定致シマシテ告示致シマス、唯色々地方ノ事情ニ依リマシテ價格ノ違フモノ、一個例申シマスト牛乳等ニ付キマシテハ、例ヘバ全國ニ最高一合十錢ト云フ範圍ニ於キマシテ、或ハ東京ハ何錢、地方ニ於テハ何錢ト云フ適當ナ値段ヲ地方

長官ガ決定シテ告示スルコトニ致シテ居リマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス。

○眞錫委員 御答辯ハツキリ致シマシタ、公定價格ト云フモノハ日本中ニ通用スルモノデハナイ、實情ニ即シテ色々最低カラ最高マデノ間ヲ幅度動イテ廻ルノダカラ、買フ方カラ申シマスト國民ノ中ニハ安イ物ヲ買フ者ガアリ、高イモノヲ買フ者ガアル、斯ウ云フ風ニナルノデスカ私ガ説明スルマデモナク安イ所カラ高イ所ニ物ガ動クト云フコトハ、水ノ低キニ就クガ如キモノデ、日本中デ被處ハ高イノダト云フコトニナリマスルト、安イ所ヲ素通りシテ、ドン／＼其處ヘ行ツテシマフト云フヤウナ處ヲ感ズルノデスカ、サウ云フコトハ實際問題トシテハアリマセスカ。

○長谷川説明員 只今眞錫君ノ御指摘ニナリマシタヤウニ、各縣々々デ區々ノ公定價格ヲ作りマス、水ノ流レガ低キニ從フ反對ニ、物價ニ從ツテ流レル處ガアリマスカラ、高ク公定價格ヲ作ツタ縣ニ流レテ行クト云フヤウナ弊害ガアルノデアリマシマシテ、其ノ縣々デ決メルモノニ付キマシテハ、十分隣接ノ府縣ト連絡ヲ取りマシテ、其ノ縣々ノ都合ノ好イヤウニ作ラナイヤウニ十分ナ連絡ヲ取りマシテ、サウ云フ不都合ヲ來サナイヤウニ十分注意シテ居ルヤウナ次第デアリマス。

○眞錫委員 大臣御聽ノ通りデアリマス、此ノ點ハ能ク力ヲ入レテ戴キマセヌト私共心配懸念ヲシテ居ル點デアリマスカラ、平素カラ近縣ノ連絡會議位ハ御開キニナリマシテ、無理ノナイ所ニ納メテ戴クナイト困ルノデアリマス、只今ノ所相場ト云ヒマ



スカ、價格ト言フカ、ソナモノガ私共ハ  
常識的ニ見テ四通りバカリアルト思ヒマス  
一ツハ公定價格トセウ、或ハ適正價格トモ  
申シマスカ、ソレト其ノ他ニ協定價格ト云  
フモノガアリ、ソレカラ默認價格ト云フモ  
ノガアリマス、例ヘバ警察ノ如キデモ是ハ  
默認シテ置ク、引例シテ申上レバ炭ヲ十  
依警察ガ世話ヲスル、サウ云フ場合ニ十依  
持ツテ行カケレバ公定價格ニ歸入リマス  
ス、ダケレドモ値段段ハ十依分持ツテ行ツテ  
炭八十依與レルケレドモ、七依ダケハ實ガ  
入ツテ居ツテ三依ダケハ皮ダケガ來ル、是  
ガ默認價格デアリマス、サウシテ最後ニ適  
正價格ト云フノガアリマス、今デハ間値ハ  
適正ニナツテ居リマスノデ、適正間値ト私  
共ハ唱ヘテ居リマス、先程申シマシタヤウ  
ナ折角ノ公定價格ガ決マリマシテモ、ソレヲ  
皆々御運用ニナリマセスト默認價格ガ出タ  
リ、適正間値ガ出タリ、中々是ハ實際問題  
トシテハ取締ガ困難ダラウト思ヒマス、引  
掛ツテ者ガ二千人アツタ、ケレドモソレ  
ダケガ適正間値ヲ取ツテ居ツタカト云フ  
ト、私ハ中々サウデハナカラウト思ヒマス  
人ガヨク言ヒマスカラ私モサウダラウト思  
ヒマスガ、治メトシテ間相場ガ行ハレテ居  
ル、運ノ悪い者ダケガ引掛カル、銀座ノ大  
通ヲ通ツテ居ル澤山ナ人ノ中デ、三越ノ天  
邊カラ石ヲ一ツ落ス、運惡クソレニ當ツタ  
人ガ怪我ヲスルケレドモ、後ハ誰モ怪我ナ  
シニ通ツテ行ケルト云フヤウナ間相場横行  
ノ今日デハ、折角公定價格ヲ決マシマシ  
テモ、運用ハ極メテ重大ナル結果ヲ招來ス  
ルモノデアリマス、私共ノ勘定デハ公定價  
格ト間相場トノ間ニ、全國的ニ金額ニ見積  
ツタ開キハ約二十五億圓ト勘定致シテ居リ

マス、物ノ値段段ヲ公定價格ト、行ハレテ居  
ル間相場ヲ比較致シマシタ共ノ開キハ約二  
十五億圓ト私共ハ勘定致シテ居リマス、ソ  
レ程今物價ノ適正價格ニ持ツテ行ツテソレ  
ヲ履行スルト云フ點ニハ將來難關ガ持チ構  
ヘテ居ルト覺悟シテ戴カナケレバナリマセ  
ス、此ノ際ドウデセウ、一ツ商人ナラ商人  
ヲ捉ヘテ話ヲシマスト、一層ノコト手數料  
主義ニシテシマツテ、君ハ是ダケノコトヲ  
ヤウタラ是ダケノ手數料ヲヤルノダト云フ  
コトデ、此ノ利潤ヲ手數料ノ形ニ於テ賄フ  
ト云フコトデ、有ニル商業ヲ手數料主義ニ  
直シテシマフト云フ御意向ハ御持チデナイ  
デセウカ、是モ私ハ一ツノ案ダト思ヒマス  
ガ、當局ハドウ考ヘテ居ラレマスカ、儲ラ  
以爲ニ色々ナ不正ナコトヲスル、ソレヲ先  
廻リシテ防止スルノニハ、是ダケノ手數料  
ハヤルノダト云フコトニシテ、不正直ナコ  
トヲサセヌノモ封ジ手ノ一ツダト思ヒマス  
ガ、手數料制ニ付テ商工省デハ只今大體ニ  
於テドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、  
一ツ承ツテ置キマス

○藤原國務大臣 詳シクハ事務當局ヨリ御  
説明ヲ申上レタ方ガ適當デアラウト存ジマ  
スガ、私ノ考デハ生産ノ方ノ統制ハ比較的  
容易デアツテ——マア是ハ今日ハ非常ニ困  
難デアリマスケレドモ、配給ノ方ノ統制ト  
比較スルト、生産ノ方ヲ統制スルト云フ  
コトハ割合ニ簡單ニ出來マセウト思ヒ  
マス、之ニ反シテ配給ノ方ノコトニ付キマ  
シテハ、中々面倒デ容易ニ是ガ統制ハ商工  
省ノ目的トスルヤウニ實行致サレナイノデ  
アリマス、ソレデ組合ヲ作リマシタリ、色  
色致シマシテ、サウシテ其ノ機關ヲ利用シ  
テ配給ニ努メテ居リマスケレドモ、先刻組

合ノコトデ御指摘ガアリマシテ眞鍮君  
ノ御説ヲ傾聴致シマシタガ、商工省ニ於テ  
モ從來アル組合ヲ利用シ、又ハ新ニ組合ヲ  
設立シテ之ヲ利用シタリ致シテ居リマスケ  
レドモ、又一方カラ見ルト、此ノ組合ガ中  
商工省ノ思フヤウニ實行致サレテ居ラス  
ノデアリマシテ、此ノ組合ノ配給方法ト  
カ、或ハ其ノ配給方ニ付キマシテ中々苦情  
ガ多イノデアリマシテ、或ハ組合ノ幹部ニ  
ナツテ居ル人ハ配給上ノ便宜ヲ得ラレルケ  
レドモ、其ノ組合ニ於テ勢力ノナイ者ハ配  
給ノ便宜ヲ得ラレナイトカ、又ハ其ノ組合  
ニ品物トシテアルケレドモ、中々公平ニソ  
レヲ分配ラセケルト云フコトニナラナイト  
カ、各種各様ノ色々ノ苦情モ聞及ンデ居ル  
ノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ實ハ非常  
ニ頭ヲ悩マシテ居ルノデアリマス、ソレ故  
ニ手數料主義ト云フヤウナ主義ニ一定シテ、  
其ノ主義ヲ以テ押シテ行ツテ其ノ儘ニ是ガ  
實行出來マシレバ簡單ニ行ツヤウデアリマ  
スガ、是モヤハリ實際問題デ各種ノ商品毎  
ニ考ヘテ行カナケレバ——其ノ組合ヲ利用  
スルナラ利用スルトシテモ、ドウ云フヤウ  
ニ此ノ組合ヲ利用スルカト云フヤウニ考ヘ  
ナケレバナリマセヌシ、又手數料主義ニ依  
リマシテモ、商品ガ偏ツテシマツテ、物資  
ガ一方ニ偏ツテシマフト云フヤウナコトニ  
ナリマスルト、澤山ノ販賣店ガアリマシテ  
モ、統計ノ數字上ニ於テハ一箇月ニ何万箇  
ナラ何万箇アレバ配給ガ圓滑ニ行ツ譯デア  
ルケレドモ、其ノ一箇月ノ中ニコナラ片  
方ニ澤山アツテ、コナラノ方ニ少クナルト  
云フヤウナコトニナルト、忽チ不圓滑ヲ來  
スカラ、商工省ノ統計上カラ見テ今日ハ是  
ダケアレバ大丈夫ダト、斯ウバカリモ考ヘ

テ居ラレナイト云フヤウナ色々ナ事情ガア  
リマスノデ、其ノ點ヲドウ云フ工合ニ是正  
シテ行ツタナラバ一番最上ノ策デアアルカト  
云フコトニ付テハ、餘程慎重ニ考ヘタイト  
思ツテ、實ハ苦慮致シテ居ルヤウナ内情デ  
ゴザイマス

總旨ト其ノ計算方法ト云フコトデアリマス  
ガ、是ハ根據ニナツテ居リマスノハ、兩會  
社ノ會社法ノ規定デアリマシテ、例ヘバ北  
支那開發會社法デ言ヒマスト二十九條ニア  
ルノデアリマス、實ハ非常ニ文句難シイノ  
デアリマスガ、中々吞込ミニクイ規定ニナツ  
テ居ルヤウデアリマス、大體ノ總旨ハ、中支  
那振興會社ハ自營ノ仕事ヲヤリ得ルコトニ  
ナツテ居ルノデアリマスガ、只今マダヤウテ  
居リマセス、大體ニ於テ投資、融資ヲ業ト  
スルモノデアリマス、サウシテ全體ノ總旨ト  
シテ政府ノ投資ニ對シテハ後配當、斯ウ  
云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ  
大體會社ガ投資、融資ニ依リマシタ收入ト  
其ノ資金ノ「コスト」ニ對シ相當ノ開キヲ持  
セテ行ク、斯ウ云フ總旨ナノデゴザイマス、  
サウ云フ譯デゴザイマシテ、之ニアリマス  
ヤウニ、會社ノ每營業年度ノ收入ノ割合ト  
云フモノヲ出スコトニナツテ居リマス、  
是ハ此ノ規定ニアリマスヤウニ、投資、融  
資ニ依ル收入ガ、投資融資ノ總額ニ對スル  
割合ヲ收入割合ト云フコトニ致シマシテ、  
其ノ收入割合ガ百分ノ六ニ達シナイ時ニヤ  
ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマ  
シテ、詰リ一應ノ見當ト致シマシテハ、百  
分ノ六ニ達シマスマデ大體民間株主ニ年六  
分見當ノ配當ヲ成タケ出來ルヤウニシテ行  
カウト云フヤウナ總旨デゴザイマス、デゴ  
ザイマスカラ、配當シ得ベキ利益ノ金額ガ  
出マシテ、ソレヲ政府投資以外ノ民間株  
拂込ニ對シマシテ百分ノ六ニ達スルマデ其  
ノ不足額ヲ補フ、斯ウ云フコトニナツテ居  
ルノデアリマス、併シソレニハ限度ガゴザ  
イマシテ、二ツノ限度ガソコニ規定シテア  
ルノデアリマス、第一ハ此ノ法文ニアリマ

スノハ、投資及ビ融資ノ總額中、政府以外  
ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金、即チ民間ノ  
拂込金デアリマスガ、其ノ拂込金ニ依ツタ  
部分ニ百分ノ七カラ收入割合ヲ引イタ差ヌ  
乗ジテ得ベキ金額、斯ウ云フノデアリマス、  
其ノ收支ハ大體民間ノ拂込ノ株主ニ對シマ  
スル配當ヲ一應六分見當ト見マシテ、サウ  
シテソレニ多少ノ所謂「マーチン」ヲ見マシ  
テ、サウシテ民間ノ株ノ拂込ニ依リマシタ  
投資融資ニ依ル收入ガ大體七分見當ニナル  
コトヲ保證スル、詰リ七分トノ差ヲ出ス、  
斯ウ云フコトデアリマス、其ノ分ニ對スル  
收入ガ七分アレバ適當ナ「マーチン」ガ取  
ルデアラウ、斯ウ云フ總旨ニナツテ居ルノ  
デアリマス、第二ノ點ハ、投資融資ノ總額  
ノ中デ社債、ソレカラ前借金入ルノデア  
リマスガ、其ノ收入金ニ依ツタ部分ノ方ハ  
百分ノ五ト收入割合トノ差ヲ乘ジテ得ベキ  
金額、サウ云フ割合ヲ見テアル、斯ウ云フ  
コトデアリマス、ソレハ詰リ社債ノ收入ニ  
依リマシテ得タ投資融資、其ノ結果ニ依ル收  
入ガ社債ノ利率ニ多少ノ「マーチン」ヲ加ヘ  
テ見テヤラウ、詰リ五分ニナルヤウニシテヤ  
ラウ、斯ウ云フノデアリマス、デアリマス  
カラ、今ノ筋道デ行キマスト、其ノ會社ガ大  
體政府ノ投資ニ依リマス分ノ投資融資ニ依  
ル收入、ソレカラ民間ノ拂込ノ株主及ビ社  
債ノ收入、ソレヲ投資融資シマシタ結果ノ  
收入ノ中カラ、今申シマシタヤウナ一種ノ  
「コスト」ヲ想像シテソレヲ引キマスト此ノ  
「マーチン」ガ出マス此ノ金額、此ノ二ツヲ  
以テ經費ヲ賄ヘバ大體民間ノ株主ニ對シテ  
配當ガ六分ノ見當ニナルデアラウ、斯ウ云  
フ風ナ仕組ニナツテ居ルノデアリマス、實  
ハ非常ニ込込ミ入ツテ居リマスガ、其ノ結果

彈出シマシタ數字ガ兩方併セマシテ二百  
五十萬圓ト云フコトニナツテ居ルノデアリ  
マス、例ヘバ此ノ北支開發ノ分ノ補給金ガ  
二百十三萬圓ニナツテ居ルノデアリマスガ、  
其ノ中今ノヤウナ勘定デ出シマスト、民間  
投資ニ對スル分ト、ソレカラ債券ニ對スル  
分ト、二ツニ分レルノデアリマス、ソレヲ  
彈出シマシタ結果ハ、民間投資ニ對スル分  
ハ百五十三萬圓餘リ、債券ノ方ニ對スル分  
ハ六十萬圓餘リ、兩方併セテ二百十三萬圓  
ニナリマス、斯ウ云フヤウナ勘定ニナツテ  
居ルノデアリマス、非常ニコンガラガツテ  
居リマスガ、大體政府ノ投資ヲ運用シテ得  
マシタ收入、ソレカラ民間ノ分デ今ノ査定  
マシテ數キマシタ部分、斯ウ云フ點ヲ收入  
ト合セマシテ、ソレデ會社ノ經營ヲヤツテ  
費用ヲ出シテ行ケルヤウニスル、斯ウ云フ  
總旨ニナツテ居ルノデアリマス

○森下委員 甚ダチカシナヤウニ思ヒマス  
ガ是ハ一ツ資料トシテ請求致シマスカラ、  
御手數デモ出シテ戴キタイ  
ソレカラ先程御説明ヲ伺ヒマシタ子會社  
ノ業態デアリマスガ、澤山アル中デ特ニ期  
待ヲ掛ケテ居リマス部分ノ中、先程ハ大同炭  
礦ト龍岡鐵礦二ツヲ伺ツタノデアリマスガ、  
私ハ更ニ華北鐵礦ト華北交通ト二ツニ付テ  
極メテ簡單ニ伺ツテ、此ノ御説明ヲ伺ツテ、  
ソレカラ北支棉花會社ニ付テ御伺ヒタイノ  
デアリマス、此ノ華北鐵礦ハ主トシテ長蘆鹽ヲ  
オヤリニナツテ居ラレタヤウデアリマスガ、興  
中公司ガ之ヲヤリマシテ、現在ドウ云フ風ナ  
状態ニアルカ、昨年ノ天津ノ水害等モ私共  
ハ御話ヲ承リ、考慮ノ中ニハ入レテハアリ  
マスガ、更ニ十五年度ノ華北鐵礦ニ關シマ  
スル大體ノ御見込ヲ伺ヒタイ、ソレカラ極

メテ急ヤ要スル問題トシテ華北交通會社ノ  
問題デアリマスガ、此處ニ舉ゲテデアリマス  
各鐵道ノ經營デアリマスケレドモ、石炭、  
鐵ノ輸送ニ對シテハドウ云フ方法ヲ採ツテ  
行ク積リカ、現在ノ資料ノナイ所ニ持ツテ  
來テ、ドウ云フ形デ輸送能力ヲ擧ゲテ行ク  
積リカ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ只今  
ノ鹽業會社ト交通會社ト二點ニ付テ、御説  
明ヲ伺ヒタイノデアリマス



大シタ數デハナイ管デアリマス、ソレカラ第二ノ交通會社デアリマスガ、是ハ御手許ニ差上ゲデアリマス表ノ中ニモ、動イテ居ル線ガ書イテアルト思フノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、元來戰ノ爲ニ支那側ガ積極的ニ毀シタ點モアリマス、運轉材料、其ノ他ガ缺ケテ居ツタ點モアルノデアリマス、ソレデ此ノ開發會社ノ現物出資ニナツテ居リマス部分ハ、日本カラ持ツテ参リマシタ運轉材料其ノ他ノ資材ガソレナクデアリマス、サウ云フモノト、ソレカラ日本側デハ限ラレタ資材デアリマスケレドモ、最モ有望ナ方面ニト云フコトデ、交通ノ方ニハ多少難ケルノデアリマス、サウ云フコトデ軍事輸送ノ點ハ勿論デアリマスガ、其ノ外ニ主トシテ特ニ石炭ノ對日輸送ト云フヤウナ點ニ重キヲ置キマシテ、昨年ノ水害ニ依ツテ受ケマシタ損害ニ付キマシテモ、其ノ損害ノ爲ニ一時的ニ交通ガ止マリマシタバカリデナク、將來ノ輸送ノ上ニモ障礙ガアリマシタノデ、其ノ點ハ特ニ企業院其ノ他ニ御願致シマシテ、復舊ノ材料ニ付テモ好意的御考慮ヲ願ヒマシテ、大體水害以前ノ状態ニ回復シタノデアリマス、デアリマスカラ只今ノ所ハ車輛デアリマス、其ノ他運轉材料ノ充實ト云フコトニ努メテ、又最近現地ニ於キマス車輛ノ修理、製作ト云フ工場ノ補強新設ト云フコトモ考ヘテ居ル譯デアリマス、出來ルタケ山元カラ日本ノ方ニ炭ヲ持ツテ來マスト云フコトヲ頭ニ置キマシテ、無駄ノナイヤウナ有效ナ方法デ行ク、斯ウ云フ仕方ヲシテ進シテ居リマス

○森下委員 ドウモ甚ダ心許ナイヤウニ思フノデアリマスガ、ソレデハ此ノ鐵道ノ輸送ハサウ云フ形デ能率ヲ舉ゲルトシテ、石炭鐵等ニ對スル積出ニ對シテハ塘沽ニ出スノデスカ、秦皇島ヲ利用シテ行クノデスカ、假ニ塘沽ヲ利用シテ行クトスレバ、塘沽ノ築港ニ對シテハドウ云フ御考デアルカ、アノ儘デハ仕方ガナイト思フノデスカ、之ニ對スル方針ヲ承リタイ

○日高政府委員 對日輸出ノ問題ハ只今御コトニナルノデアリマス、只今ノ所動イテ主ニ使ツテ居リマスノハ天津、塘沽デアリマス、ソレカラ秦皇島ト青島トゴザイマシマシテ以來、銳意修理ヲ致シテ居リマシタノデスカ、十二月以來相當量ノ輸送ガ出來ルコトニナリマシタ、昨年ノ大水ノ爲ニ塘沽ノ入口ノ太沽、一ノ方面ガ非常ニ淺クナリマシテ、一時船ノ出入ニ不便ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、最近日本側カラ淺瀬船ヲ借りマシタリ致シマシテ、頻ニヤウツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ極ク最近ノ所デハ、秦皇島カラ相當量ノ石炭ガ日本ニ積出サレテ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ輸送ノ點ニ出來ルタケ能率ヲ舉ゲルト云フコトニ付キマシテ、陸上輸送ニ付キマシテハ委員會ガ出來テ居リマシテ、軍官民一緒ニナリマシテ、輸送ノ順位デアリマス、其ノ他ノコトヲ考ヘテ、サウシテ昨年ソレガ出來マシテカラ非常ニ圓滑ニ行ツテ居リマス、船ノ方ハ特ニ昨年来以來石炭ノ需要ガ激シテ參リマシタノデ、風、強配船ヲ御願致シマシタリシマシテ、兩方デ併セテ居リマス、塘沽、秦皇島、青島、ソレカラ連雲港ト、更ニ又山東省ニ出來マシタハ浦口ノ方ニ出シテ來ル途アルノデアリマス、有ユル方面ヲ考ヘテ利用スルコトニ努メテ居リマス、又大キナ港ノ計畫ト同時ニ塘沽其ノ他ニモ船著キノ應急ノ施設ヲ致シマシテ能力ヲ増スト云フコトニモ努メテ居ル譯デアリマス

○森下委員 子會社ニ付テハ御伺スルコトハ時間モ取ルコトデアリマスカラ、サウ云フコトハ省キマシテ、子會社ニ對スル質疑ハ是デ打切シマシテ、最後ニ北支棉花株式會社ニ付テ御伺ヲ致シタイノデアリマス、此處ニ出テ居リマスル投資會社ノ中ノ北支棉花株式會社、資本ノチツボケナ所ノモノハ概棉問題ニマデハ及バナイ、買付ノ會社ガト思フノデアリマスガ、一體コンナモノデヤウツテ居リマスカラ、現在ノヤウナ棉ノ買付機構ガ混亂ニ陥ツテモ手ノ付ケラレナイ状態ニ入ツテシマツタノデアリマスカト私ハ思フノデアリマス、大體此ノ北支棉花株式會社此ノ位ノ資本デドウ云フコトヲサセルカ、方針ハドウ云フモノデアアルカ、此ノ北支ノ棉花問題ハ、此ノ中デハ最モ大キク北支開發會社ノ中デ取扱ツテ戴カナケレバナラス問題ダト思フ、北支ハ事變以來殆ド農村ガ荒レテ居リマス、其ノ中ニ混亂シタル通貨ノ錯綜ニ依ツテ色々ナ問題ガ起ツテ來テ居ル、殆ド昭和十一年以來棉花ノ生産ノ激減ヲ來シマシテ、甚シキニ至リマシテハ洵ニ昭和十四年度ノ棉花豫想ノ如キハナツチヤ居ナイ、百四十萬擔内外ノ豫想ヲ出スニ至ツタ、コンナコトヲヤドウスルコトモ出來ナイ、ソレバカリデハナク、僅ニ百四十萬擔内外ノ棉花デスラ、其ノ中ノ多クガ良地ハ退蔵サレ、良地ハ流レテシマフト云フヤウナコトデアリマス、此ノ北支棉花株式會社ガ私ハドウ云フ働キヲ

ヤウツテ居ルカ、寧ロ却テ棉花栽培協會アツリノ方ガ能ク働イテ居ルノチヤナイカト思フノデアリマス、ケレドモ、昔カラ植棉救國ト唱ヘテ、北支、殊ニ山東河北ヲ中心トシテ棉ヲ作レバ一年ニ直チニ收穫ガ出來テ來ル、其ノ大切ナ棉ノ問題ヲコンナ小サナモノニ委シテ捨テ置キ、申シ様ニ依レバ治安ノ關係カラ農民ニ棉ヲ作ラセルコトハ困難アツタカモ知レマセスケレドモ、是ハ戰爭ト經濟工作トハ並行シテ參ラナケレバナラナイ問題デアリマス、殊ニ北支ニ於ケル農村ノ建設ハ恐ラク私ハ治安工作ノ第一ノ問題ダト、斯様ニ考ヘテ居リマス、興亞院經濟部長ハ其ノ邊ニ對シテハ特別ノ考ヲ持ツテ居ラレラ方ダト私ハ思ツテ居リマス、ドウカ經濟部長カラ北支棉花ニ關スル政府ノ方針ガドウ云フ風ニ向ツテ居ルカト云フコト、此ノ際積極的ナ意見ヲ伺フコトガ出來レバ大變結構ダト思フノデアリマス

○日高政府委員 全般的ノコトヲ御答申シマス前ニ、最初ニ御質問ニナリマシタ北支棉花會社ノコトヲ一寸御説明申シタイ、是ハ御覽ノ通り大變小サナ會社デアリマシテ、三百万圓ノ會社デ、興中公司トソレカラ紡績聯合會、棉花同業會ト云フヤウナモノガ出資シテ居ルノデアリマス、ソレハ只今御セデアリマシタ通り倉庫デアリマストカ、繰綿ヲスルトカ、荷造ヲスルトカ云フヤウナ工場ヲ持ツテ仕事ヲスルト云フ會社デアリマス、是ハ事變前カラアリマス日本ノ會社デアリマシテ、此ノ興中公司ノ分ヲ開發會社ガ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ實ハ棉ノ買付、ソレカラ輸送ト云フコトノ極ク一部

分ヲ受持ツ會社ナノデアリマス、北支ノ棉花ハ北支自體ト致シマシテモ重要ナ農産物デアリマス、ソレナラズ、日本側カラ見マシテモ多々益辨ズルモノデアリマス、殊ニ日支雙方ノ經濟提携ト申シマスガ、有無相通ト申シマスガ、サウ云フ風ニ見地カラ見テ最モ重要且ツ適當ナモノデアルト云フコトニ付キマシテハ、全然御同感デゴザイマス、此ノ開發會社トノ關係デアリマスガ、大體ノ氣持ト致シマシテハ、特ニ棉花其ノ他農業關係ノ仕事ハ、是ハ各般ノ考慮カラ致シマシテ支那側主トシテ其ノ改良増産ヲヤツテ、日本デハ出來ルタケノ技術的其ノ他ノ點デ援ケテ、サウシテ改良増産ヲ圖ツタ結果、兩國トモ利スルヤウニシタイ、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ北支ニ於キマシテハ事變前カラアリマシタ華北産業科學研究所ト云フノヲ興亞院ガ引受ケマシテ、ソチラノ方ハ支那ノ研究所デアリマスガ、ソコニ加勢スル人ヲ送ツテ居リマス、又補助モ致シテ居リマス、サウ云フコトデ只今ノ所デハ遼北北京、天津間ノ軍糧城ニモ分場ガアル、サウ云フ所ニ支場ガアリマシテ、其處ニ於テ試驗研究ヲ致シマシタリ、ソレカラ原種圃ヲ作りマシテ、土地ニ適シテ居ル優良ナ種ノ種ヲ作ルト云フコトヲヤツテ居ルノデアリマス、ソレヲ實際上ニ擴ゲテ行キマスノニハ、支那側デ前カラアリマシタヤウナ仕組ヲ利用致シマシテ、華北棉産改進會ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマス、之ニ日本側デモ日本棉花栽培協會ガ加勢ヲシテ居ルノデアリマス、ソレヲ通ジテ日本政府カラモ人的ノ援助ヲ致シテ居ルノデアリマス、先程

此ノ委員會デ御可決戴キマシタ興亞院ノ豫算ニモ文化事業費ノ中ニサウ云フ費目ガアルノデアリマス、大體農業關係ノ分ガ其ノ文化事業費ノ一五%以上ヲ占メテ居リマシテ、二百五十萬圓以上ノ金ガアルト思ツテ居リマス、其ノ大部分ガ只今申シマシタ棉花ノ改良増産ト云フコトノ獎勵ニ充テラレル費用ニナツテ居ルノデアリマス、只今御指摘ニナリマシタヤウニ諸種ノ關係カラ棉ノ生産及ビ其ノ出廻リハ十分デハゴザイマセス、併シナガラ此ノ點ハ只今申シマシタヤウニ、又只今仰シヤイマシタ點ニ全然御同感デアリマシテ、出來ルタケ積極的ニ此ノ生産ヲ増ス、又出廻リヲ殖ヤス、サウシテ之ヲ日本側ノ手ニモ必要ナ部分ヲ取ルコトガ出來ルヤウニスルコトニ付キマシテ、現地ノ今マデ仕事ニ從事シテ居リマスモノヲ集マリ、又支那側ノ業者、サウ云フモノヲ活用致シマシテ出來ルタケノ力ヲ盡シテ行キタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○森下委員 此ノ棉花ノ問題ハ今當局ノ言フヤウニ支那側ニ任シテ協力シテ行クト云フノモ結構デ、是ハコチヲヨリハ支那側ノ方ガ却テ研究ガ積マレテ、米棉種等ハ廻レバ張之洞以來四十年間研究ヲシテ居リマス、アノ邊ニ行ツテ見マスレバ棉ト云フモノモ相當ニ分ツテ居ル、又朝鮮カラモ棉ノ種ヲ持ツテ參リマシテ、大分山東ノ方ニ入レテ居ルト云フコトヲ聽イテ、見テ參リマシタガ、滿更惡クナイ、非常ニ良イヤウニモ昨年ハ見テ參ツタノデアリマス、痛切ニ感ジマスコトハ、何ト申シマシテモ、一ツノ習慣ヲ重ズル北支ノ農民ニ積極的ニ働キ掛ケテ、棉花栽培指導員ノ如キモノヲ養成ヲシテ、サウシタ人々ガ或ハ合作社ト共同シ、

或ハ適當ナ機關ヲ作り、之ヲ宣傳班ト同ジヤウニ彼等ノ中ヘ入レテ行クト云フコトガ急務ノ問題デハナイカ、政府ニ棉花栽培、北支棉花改進ノ方法トシテ、サウ云フ御考ガアルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○日高政府委員 只今仰シヤイマシタヤウナ氣持デ大體行ク積リデアリマス、現在ニ於キマシテモ合作社ヲ活用致シテ居リマス、ソレカラ棉花改進會モ創立中デアリマシテ、其ノ中ニハ日本側ノ技術家、指導員モ入ツテ居リマス、サウシテ支那側指導員モ養成致シテ居リマス、皆農民ヲ能ク納得サシテ、實際上ニ擴ゲテ行クト云フコトガ治安ノ關係上不便ナ所モアリマスガ、皆身ヲ挺シテヤウツテ居リマス

○森下委員 先程一寸御尋ヲ漏ラシタノデアリマスガ、一ツ飛ンデ元ヘ戻リマシテ、先程ノ長蘆鹽ノ問題デアリマス、山東鹽ノ海州鹽ノコトデアリマスガ、海州ノ鹽ハ中支振興ノ方デ手ヲ付ケテ居ルヤウニモ承ツテ居リマスガ、山東鹽ノ昭和十五年度十六年度ニ於ケル産額見込、海州ニ於ケル鹽ノ昭和十五年度、十六年度ノ見込、若シ是ガ物動計畫ニ影響スルナラバ已ムヲ得マセスガ、其ノ豫定ヲ聽クコトガ出來ルナラバ承リタウゴザイマス、ソレハマアソレトシテ承リ、ソレカラ北支開發會社ノ昭和十五年度中ニ於ケル事業進捗ノ見込ニ付テ承ルコトガ出來レバ、ソレヲ併セテ、此ノ二ツニ付テ御説明ヲ戴キタイ

○日高政府委員 鹽デゴザイマスガ、山東鹽ハ前カラゴザイマシタ山東鹽業株式會社デアリマス、今動カシテ居リマスガ、是ハ北支開發會社ガ鹽業及ビソレニ關係スル事業ヲ統合調整スルコトニナツテ居リマス、

何レ此ノ開發會社トノ關係ヲ調整スルコトニナツテ居リマスガ、只今色々考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ海州ノ方ハ先程仰シヤイマシタ通り、中支振興會社ノ子會社トシテ海州ノ中支鹽業會社ガ出來テ居リマス、海州ノ方ハ鹽ハ寧ロ國內ノ需要ガ多イノデアリマシテ、對日輸出ノ餘力ハ餘リ澤山ハ期待出來ナイト思ツテ居リマス、殊ニ昨年ノ風水害ハ海州方面ニ相當ヒドイヤウデアリマシテ、其ノ點デ十五年度ニ海州ノ方ノ鹽ヲ餘リ多ク日本側デ期待スルコトハ無理デアラウト思ツテ居リマス、十五年、十六年ノ豫定デゴザイマスガ、只今仰シヤイマシタヤウナ事情デゴザイマスノデ、數字ヲ的確ニ申上ゲルコトハ出來ナイノハ御諒承願ヒタイト思ヒマス、海州ノ方ハ只今申シタヤウナモノデアリマス、青島ノ方ハ同ジクソシナニ澤山減ルト云フコトハナイト思ヒマス、是ハ又鹽産地ノ治安ガ漸次確立サレツツアルノデアリマス、其ノ點ニ付テハ多少樂觀出來ルト思ヒマス、ソレカラ北支開發會社ノ十五年度ノ事業ノコトデゴザイマスガ、實ハ開發ニ要シマスル資材及ビ資金ガ殆ド全部ト申シテ宜シイ位デアリマスガ、日本ニ頼ツテ居ル次第デアリマス、殊ニ資材ノ點ガ重要ナノデアリマシテ、物動計畫上下レダケ日本側カラ戴ケマスカト云フコトヲ配ミ合ヘル必要ガアリマスノデ、目下會社ノ企業計畫ニ付キマシテ、興亞院ニ於テ頻リニ研究致シテ居ルノデアリマス、唯全體ノ氣持ト致シマシテ、先程カラ申上ゲマシタヤウニ、只今ノ時局ニ必要ナモノ、ソレカラ又日本ノ經濟ニ寄與スル點ニ必要ナモノ、サウ云フ風ナモノヲ頭ニ置キマシテ、限ラレタ資金資材ヲ有



效ニ使ツテ、開發バカリデナク、之ヲ利用シ得ルヤウナ方ニ持ツテ行ク積リテ研究シテ居リマス

テハ、只今島嶼ノ説明ダケデハ、大海ニ目撃シテ融資ノ回收デアルトカ、其ノ他色々ナ手段ヲ講ジテ居ルノデアリマス、特ニ支那側ニ勿論デアリマスガ、日本側ニ於キマシテ聯銀券ヲ強メテ、強イ聯銀券ガ其處ニ動イテ行クコト云フコトニ對スル何ト申シマス

考ヘテ居ルノデアリマス、又他面ニ於キマシテ融資ノ回收デアルトカ、其ノ他色々ナ手段ヲ講ジテ居ルノデアリマス、特ニ支那側ニ勿論デアリマスガ、日本側ニ於キマシテ聯銀券ヲ強メテ、強イ聯銀券ガ其處ニ動イテ行クコト云フコトニ對スル何ト申シマス

成立シタ場合ニ、之ヲ支那ノ經營ニサセルカ、或ハ此ノ中ノ全部ヲ華北交通會社デヤツテ行クノカ、之ヲ何フコトガ出來レバ結構ト思ヒマス

○森下委員 是等ノ大企業ヲ監督シテ北支開發會社ニ仕事ヲサセテ參ルノデアリマスガ、政府トシマシテ、此ノ大企業ヲヤツテ參リマスルニ、現在ノ北支ノ物價高ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、ソレヲ一寸伺ヒタイ

○日高政府委員 北支ノ物價高ハ最モ望マシクナイコトナノデアリマシテ、事業ノ點カラ申シマシテモ、各般ノ點カラ申シマシテモ、出來ルダケ之ヲ抑制スル必要ガアルト思フテ居リマス、現地ニ於キマシテモ軍其ノ他ノ方面トモ連絡致シマシテ、出來ルダケノ手ヲ盡シテ居ルノデアリマス、之ニハ日本側ノミナラズ、支那人ノ思想的ノ點モアリ、種々ナ點ガアリマス、其ノ他ニ先程モ一ツ御指摘ニナリマシタ外國關係等モアルノデアリマス、現地ニ於キマシテモ出來ルダケノ手ヲ盡シテ此ノ物價ノ昂騰、殊ニ生活必需品ノ物價ノ昂騰ヲ阻止スルコトニ付テ努力シテ居ルノデアリマス、内地ノ方モ概シテ物價ノ足リナイト云フ點ガアルガ、其ノ點ニ付キマシテ、殊ニ現地ノ支那人ノ生活必需品ヲ送ルコトニ付テ出來ルダケノ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、現ニ最近ハ食糧ガ非常ニ高イノデ、多少コトカララ小麦粉ヲ送り出シマシタト云フ報道方向フニ著キマシタ途端ニ、租界ノ中カラ相當權ツク分量ノ小麦ガ現ハレタ、其ノ結果相場ガ少シ下ツタト云フヤウナコトモアルノデアリマス、有效ナ形デサウ云フ手ヲ打ツテ參リタイト思フテ居リマス

○森下委員 ドウモ此ノ物價高ニ對シマシテハ、只今島嶼ノ説明ダケデハ、大海ニ目撃シテ融資ノ回收デアルトカ、其ノ他色々ナ手段ヲ講ジテ居ルノデアリマス、特ニ支那側ニ勿論デアリマスガ、日本側ニ於キマシテ聯銀券ヲ強メテ、強イ聯銀券ガ其處ニ動イテ行クコト云フコトニ對スル何ト申シマス

○三土委員長 ソレデハ河野君一寸御待チ下サイー眞編君

○日高政府委員 先程物價騰貴ノ抑制ニ努メテ居リマスト申シマシタ點ハ、同時ニ裏カラ申シマス、只今仰シヤイマシタ點ニナルノデアリマス、先程一寸申上ゲマシタヤウニ、生活必需品ノ出廻リガ足リナイト云フコトガ非常ニ物ノ方面カラ見マシタ重要ナ點ナノデアリマス、其ノ點デ物資ノ供給ヲ豐富ニスルコトカ、出廻リヲ促進スルコトカ、又是ガ先程申上ゲマシタヤウニ色々内カ、外ニ於テ特ニサウ云フ方面ノ思想取引ノ材料ニナリマスノデ、一方換物思想ト云フコトモアルノデアリマス、サウ云フ點ヲ取締ツテ無理ノナイヤウニシテ行ク、而モソレヲ有

○森下委員 最後ニ一言承ツテ私ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス、華北交通會社ノ經營ヲ致シテ居リマス聯銀券道ヲ初メ、京包鐵道、ソレカラ山海關カラ北京ニ通ジマスル鐵道、各種鐵道ノ中デ新支那中央政權ガ

○森下委員 現在ノ北支ニ於ケル爲替資金ハドノ位アリマスカ、其ノ事ガ一ツ、若シ分レバ一年ノ爲替取組高ハドノ位ニナツテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○森下委員 ドウモ此ノ物價高ニ對シマシテハ、只今島嶼ノ説明ダケデハ、大海ニ目撃シテ融資ノ回收デアルトカ、其ノ他色々ナ手段ヲ講ジテ居ルノデアリマス、特ニ支那側ニ勿論デアリマスガ、日本側ニ於キマシテ聯銀券ヲ強メテ、強イ聯銀券ガ其處ニ動イテ行クコト云フコトニ對スル何ト申シマス

○森下委員 最後ニ一言承ツテ私ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス、華北交通會社ノ經營ヲ致シテ居リマス聯銀券道ヲ初メ、京包鐵道、ソレカラ山海關カラ北京ニ通ジマスル鐵道、各種鐵道ノ中デ新支那中央政權ガ

○森下委員 現在ノ北支ニ於ケル爲替資金ハドノ位アリマスカ、其ノ事ガ一ツ、若シ分レバ一年ノ爲替取組高ハドノ位ニナツテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

體米ノ値段ヲ何處カラ拵ヘタト御考ニナリマスカ、米ノ生産費ト云フモノハ三十二圓五十錢デス、所ガ帝國農會デヤツテ居リマスノハ生産費トシテハ三十八圓掛ルト、斯ウ言フ、サウシテ米ハ今幾ラニナツテ居ルカト云フト四十三圓デアリマス、サウスルトアナタノ建前カラ言ツテ是ガ適正利潤ト云フコトニナツテ來ルト、生産費ニ幾ラ加ハツタモノヲ適正利潤ニスルカ、米ノ値段ハ三十二圓五十錢ヲ生産費トシマス、ソレニ對スル適正利潤ト云フモノガ十圓タツ付イテ居ル、斯ウ云フモノハ一寸適正利潤ダケデハ話ガ旨ク合ツテ參リマセウ、斯ウ云フ場合ニハキツト生産費ノ外ニ物價騰貴ノ値ト云フモノガ割込ンデ來テ居ル、ソレデ考ヘ方ガ中々困難ナヤウニナツテ來ルノダト思ヒマス、斯ウ云フ場合ニ救ハレル一ツノ途トシテ、今ノ手數料ト云フモノヲ拵ヘタノデ、私ハ思ヒ付キデ其ノ事ヲ申上ゲテ居ルノデアリ、此ノ場合何トカシテ救ハレヤウト云フナラバ、一大改革ヲ斷行シテ行ク意味ニ於テ眞劍ニ御研究ガ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○委員長退席、中村委員長代理著席

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數

○眞編委員 大體今マデ商工大臣ノ御答辯ニナリマシタコトニハ私ハサウ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセウガ、今ノ御答辯ニ對シテダケハ聽捨テニナラス、是ハアナタノ御考ガ大分狂ツテ居ル、世間ハ廣イ、内地ニクヨシテ居ラスデモ、世界ヲ相手躍進日本ノ意氣ヲ昂揚スルコト云フコトモ、是ハ理窟トシテハ一應成立シマス、ケレドモ輸出輸入ノ數



字二付テハ、請々ト申上ゲル必要ハアリマセ  
ス、此ノ現狀ニ於テ内地ノコトハ悪ク言ヘ  
バ産業組合ニ片端カラ持ツテ行カレテ、商  
人ノ範圍ハ次第ニ縮小セラレ、其ノ縮小セ  
ラレテ喘イデ居ル時ニ、外國貿易ガ盛ニナ  
ラテ來タラソツチノ方ニ轉業シヨウト云フ  
餘裕ガアル位ナラ、私ハ斯ウ云フコトハ申  
上ゲナイ、現ニ今度木炭ノ需給統制ノ法案  
モ出ルデセウ、ソレガ出テモソノ産業  
組合ニ取ラレテ行ツテシマヒマス、アナタ  
ノヤウナ先ノコトヲ考ヘタ悠長ナ商人ハ居  
リマセヌ、現在困ツテ居ルノニ此ノ法案ガ  
出タラバドウナリマスカ、是全般販賣ニ  
於テ二億萬貫ノ管理ノ爲ニ二十五箇所ニ木  
炭倉庫ヲ増設シテ、之ヲ全部引受ケテ行カ  
レドモ、例ヘバ東京デ申シマス、東京ノ  
消費木炭ト云フモノハ何處カラ出テ參リマ  
スカ、其ノ産地ハ岩手縣、福島縣等デス、  
岩手縣ノ如キハ現在商業組合ガ九割持ツテ  
居ル、福島縣ハ商業組合ガ九割六分持ツ  
テ居ルデハアリマセヌカ、ソレヲ産業組合  
ノ機構ニ於テ是ガ全部捌カレト云フヤウ  
ナ時代ガ來マシタラバ、外國貿易ノ振興  
スルマデノ間商人ハ食ツテ行ケルデアリマ  
セウカ、斯ウ云フ時勢ニナツテ來テハ商人  
ハ儲ケルトカ儲ケナイトカ、組織ガ善イト  
カ悪イトカソナ批評ヲ受ケル位ナラ、政  
府ハ商人ノ生活ヲ補償シテ、歩合ヲ決メテ、  
オ前ハ是ダケノ仕事ヲシナイ、斯ウヤツ  
テ下サレバ生活ガ成立ツテ行ク、或ハ又品  
物ガ少クナツトカ言ツテ苦シクデヤツテ居  
ルヨリモ、新天地ヲ開拓シタ方宜イト言ツ  
テ指導セラレルナラバ、商人ハ生キル道ガ  
立ツテ行クト思ヒマス、アナタガ現在内地

ノ方デ苦シメラレテモ新天地ヘ向ツテ目ヲ  
大キク開イテ見ルト云フコトハ、實際ノ所  
私ハ承服致シ兼ねマス  
○藤原國務大臣 少シ私ノ言葉ガ足りナカ  
ラト存ジマス、私ハサウ云フ意味デ説明  
ヲ申上ゲタラバ、私ハサウ云フ意味デ説明  
ハ産業組合ガ進出シ、一面ニ於テハ工業ノ  
發達ト共ニ生産者ト消費者ト直接ニ接觸ス  
ルト云フヤウナ傾向ガ今日アル、接レドモ  
此ノ統制經濟ノ下ニ於テモ從來ノ經濟機構  
ヲ尊重シテ成ベク摩擦ヲ少クスルヤウニシ  
タイト云フコトハ、繰返シ申シタ積リデア  
リマス、其處ノ意味ヲ十分ニ御承服ヒタ  
イ、即チアナタノ御考ニナツテ居ル所ト、  
私ノ考ヘテ居ル所トハ全然一致シテ居ルノ  
デハナイカト思ツテ居リマス、唯私ノ申上  
ゲタラバ、今日ノ時代ノ趨勢ガサウ云フ時  
代デアルカラ、又今日新シイ天地ガ開拓サ  
レテ行クノダカラ、出來ルダケサウ云フ方  
面ニ進出スルコトハ商人トシテ必要デヤナ  
イカト云フコトヲ、附加ヘテ理想トシ  
テ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、私決  
シテ商工組合ヲ無視シテ産業組合ガ發達シ  
タリ、或ハ生産者ガ直接ニ消費者ニ接  
觸シテ中間ノ商人ヲ所謂中間搾取トシテ之  
ヲ無視スル、サウ云フ考ヲ持ツテ居ラ  
ナイト云フコトハ、斯ウ云フ説明ヲ申上ゲ  
ナイデモ御諒察ガ出來テ居リハシナイカト  
思ヒマスガ、今ノ申上ゲ方ガ少シ徹底致シ  
マセヌガ爲ニ、サウ云フ御質問ヲ受ケマシ  
タノデアリマスカ、決シテ私ハ商工組合ヲ  
無視シテ、産業組合ノ進出ニ任セテ全部ソ  
レヲヤラセルト云フヤウナ趣旨ヲ以テ申上  
ゲタラバナイト云フコトダケハ御諒察ヲ願  
ヒマス

○方デ苦シメラレテモ新天地ヘ向ツテ目ヲ  
大キク開イテ見ルト云フコトハ、實際ノ所  
私ハ承服致シ兼ねマス  
○藤原國務大臣 少シ私ノ言葉ガ足りナカ  
ラト存ジマス、私ハサウ云フ意味デ説明  
ヲ申上ゲタラバ、私ハサウ云フ意味デ説明  
ハ産業組合ガ進出シ、一面ニ於テハ工業ノ  
發達ト共ニ生産者ト消費者ト直接ニ接觸ス  
ルト云フヤウナ傾向ガ今日アル、接レドモ  
此ノ統制經濟ノ下ニ於テモ從來ノ經濟機構  
ヲ尊重シテ成ベク摩擦ヲ少クスルヤウニシ  
タイト云フコトハ、繰返シ申シタ積リデア  
リマス、其處ノ意味ヲ十分ニ御承服ヒタ  
イ、即チアナタノ御考ニナツテ居ル所ト、  
私ノ考ヘテ居ル所トハ全然一致シテ居ルノ  
デハナイカト思ツテ居リマス、唯私ノ申上  
ゲタラバ、今日ノ時代ノ趨勢ガサウ云フ時  
代デアルカラ、又今日新シイ天地ガ開拓サ  
レテ行クノダカラ、出來ルダケサウ云フ方  
面ニ進出スルコトハ商人トシテ必要デヤナ  
イカト云フコトヲ、附加ヘテ理想トシ  
テ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、私決  
シテ商工組合ヲ無視シテ産業組合ガ發達シ  
タリ、或ハ生産者ガ直接ニ消費者ニ接  
觸シテ中間ノ商人ヲ所謂中間搾取トシテ之  
ヲ無視スル、サウ云フ考ヲ持ツテ居ラ  
ナイト云フコトハ、斯ウ云フ説明ヲ申上ゲ  
ナイデモ御諒察ガ出來テ居リハシナイカト  
思ヒマスガ、今ノ申上ゲ方ガ少シ徹底致シ  
マセヌガ爲ニ、サウ云フ御質問ヲ受ケマシ  
タノデアリマスカ、決シテ私ハ商工組合ヲ  
無視シテ、産業組合ノ進出ニ任セテ全部ソ  
レヲヤラセルト云フヤウナ趣旨ヲ以テ申上  
ゲタラバナイト云フコトダケハ御諒察ヲ願  
ヒマス

○眞鍋委員 分リマシタ、農林大臣ニ對シ  
テアト十分間殘ツテ居リマスカラ、ソレダ  
ケハ保留シテ置キマス  
○中村委員長代理 河野君、商工大臣ニ御  
質問ハアリマセヌカ  
○河野委員 第八第一ニ經濟警察取締ト増  
産政策ト云フヤウナ問題ニ付テ御尋ヲシタ  
イト思フノデアリマス、最近全國各府縣ノ  
經濟警察ニ於キマシテ、中央カラ何等カ特  
殊ノ指令ガ出タノカ出ナイノカ、此ノ方面  
ノ取締ニ關シテ、特ニ而倒ナウルサイ強ヒ  
テ申セバ非常識ナ取締サヘシテ居ル部分ガ  
アルヤウデアリマスカ、是等ニ付テハ商工  
大臣ハ特ニ御氣付ニナツテ居ルコトゴザ  
イマセウカ、ドウデゴザイマセウカ、元來  
是ハ内務省所管ノコトヲ考ヘマスカレド







シテモ、其ノ他ノモノニ致シマシテモ、有  
 ヌル障礙ヲ日米關係ニ於テ受ケルダラウト  
 思フ、我が國內體制ニ於テソレダケノ最悪  
 ノ決心ト用意ト準備ヲ出來テ居リマスレバ、  
 案外問題ノ解決ハ早イト思フ、我ニ其ノ準  
 備ガナイト思フカラ、彼ハ壓迫ヲ加ヘルノ  
 ダラウト思フノデス、又我ニ其ノ用意ト準  
 備ナクシテ徒ニ亞米利加ニ對シテ國家ノ體  
 面ヲ維持スルヤウナコトヲ要求シタ所ガ無  
 理ダト思フ、吾々ハ何處マデモ常ニ是  
 ダケノ用意ト決心ト準備ヲ持ツテ居ラナケ  
 レバナラヌ筈ダト思フ、特ニ最近ノ亞米利  
 加ノ態度ヲ見ルニ付ケテ、一日モ忽セニ  
 ルコトガ出來ナイ、若シ現内閣諸公ニシテ  
 其ノ用意ト決心ト準備ガ既ニ出來テ居ル  
 ヲ云フノデナレバ、私ハ重大ナル責任デア  
 ルト思フ、國防方面ニ於テ其ノ用意ト準備  
 ハ常ニ怠ラズヤウテオイデニナル筈デアリ  
 マス、亞米利加ノ事情ヲ承リマシテモ、亞  
 米利加ノ假想敵國ハ今日日本デアルト云フ  
 コトハ明瞭デアリマス、彼ガ、我ノ假想  
 敵國トスルナラバ、我モ亦彼ノ假想敵國ト  
 セザルヲ得スダラウト思フ、彼ノ假想敵國  
 トシテ軍備ヲ充實シ、軍備ヲ整備スル上ニ  
 於キマシテハ、産業ノ方面ニ於キマシテモ、  
 經濟ノ方面ニ於キマシテモ、常然是ト並行  
 シタ各種ノ施設ガナケレバナルマイト私ハ  
 思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、  
 大臣ヨリ只今モ御答辯ノアリマシタ通り  
 ニ、私ハ詳細ニ互ツテ、此ノ點ハ斯ウ、アノ  
 點ハアト云フヤウナコトハ承ル必要ハア  
 リマセス、唯私ガ今申上ゲマシタヤウナ用  
 意ト決心ト準備ガアルヤ否ヤ、覺悟アリヤ  
 否ヤト云フコトデ向ヒマセスト、益々日米間  
 題ノ解決ガ困難トナルノミナラズ、蔣政權

打倒ヲ速カナラシメル意味カラ言フテモ、  
 私ハ國策遂行上支障ガアルト思フ、若シ私  
 ノ只今申上ゲマシタコトニ御同意ガ戴ケマ  
 スナラバ結構デアリマスケレドモ、又政府  
 ノ方ニ於テハ吾々ノ心配スル以上ニ當然ヤ  
 ツテ居ルノダト云フコトデ、其ノ覺悟、決  
 スケレドモ、若シ此ノ意見ニ違ヒガアリマ  
 スナラバ、私ハ大ニ總理大臣、其ノ他閣僚  
 ニ對シテ所信ヲ質サナケレバナラヌト思フ  
 ノデアリマス、諄々申上ゲマシヤウデアリ  
 マスケレドモ、商工行政方面ガ何時デモ斯  
 ウシタ場合ニ手遅レニナルコトガ過去ノ例  
 デアルト云フヤウニ私ハ思ヒマス、デ、商工  
 大臣ニ此ノ所見ヲ質シタノデアリマス、ド  
 ウカ一ツ此ノ機會ニ國家ノ爲ニ率直ニ御決  
 心ノ程ヲ承リタイト思ヒマス

○河野委員 商工大臣ノ御答辯結構デアリ  
 マス、私ハ満足致シマスガ、ドウソ其ノ御  
 答辯通りニ、速ニ最善ノ努力ヲ拂ツテ其ノ  
 體制ヲ御作りアラシムコトヲ希望スル者デア  
 リマス、私ハ對米問題ノ根本的解決ハ一日  
 早ケレバ國家ノ爲ダ、斯ウ思フノデアリマ  
 ス、日支事變遂行途上ニ於テ、日米問題ヲ  
 根本的ニ解決スルコト能ハズシテ、此ノ事變  
 ノ解決ハ困難ダト云フ立場カラ致シマシテ、  
 日米問題ヲ解決スルニハ一日モ速ニ米國ニ  
 向ツテ我方ヨリ積極的ニ解決ヲ要求スルコ  
 トガ適當デアルト私ハ考ヘテ居ル一人デア  
 リマス、何レ他ノ機會ニ、外務大臣、  
 總理大臣ニ御尋スル積リデアリマスガ、ド  
 ウカ是等ノ體制ヲ萬全ニスル意味ニ於テ、  
 商工大臣ノ只今ノ御答辯通りニ國家ノ爲ニ  
 御努力アラシムコトヲ希望スル者デアリマス

次ノ御尋ニ移リマス、最近國策會社ヲ色  
 色御作りニナリマスガ、例ヘバ今度ノ石炭  
 配給ノ會社モ同様デアリマス、其ノ他商工  
 省關係ニ於テモ、輕金屬、産金、色々國策  
 會社ガオアリニナルノデアリマスガ、茲ニ  
 私ハ御考ヲ願ヒタイコトハ、最モ其ノ緊密  
 ヲ暴露致シテ居ルモノハ日本發達會社デア  
 ルト思ヒマス、ケレドモ商工大臣ノ御考  
 トセラレマシテ、商工大臣所管ノ國策會社  
 ニ、國民ノ意ニ滿タザル、若クハ國家ニ迷  
 惑ヲ掛ルヤウナ國策遂行ニ支障ノアルヤウ  
 ナ問題ガ起リマシタ際ニハ、此ノ責任ハ一  
 體ドナタガハレハレノデアリマスガ、國家  
 國民ノ爲ニ其ノ責任ハドナタガハレガ適當  
 デアルカ、例ヘバ發達會社ノ場合ニハ、選信  
 大臣ガ惡イノカ、電氣廳ノ長官ガ惡イノカ、  
 發達會社ノ社長ガ惡イノカ、所管ノ重役  
 ガ惡イノカ、ドウモ發達會社ニシマシテ  
 モ、アレダケノ國民國家ニ迷惑ヲ掛ケテ置  
 キナガラ、ヤレ雨ガ降ラナカッタカ、石  
 炭ノ出ガ惡カウッタカ、願ヒテ他ヲ言フヤ  
 ウナ聲ハアリマスケレドモ、誰一人責任ヲ  
 負フ人ガナイ、斯ウ云フコトハ甚ダ遺憾  
 デアリマス、監督上ノ責任ヲ負フノカ、乃至  
 ハ業務執行上ノ責任者トシテ責任ヲ負フベ  
 キカ、發達會社ニ就テ質シマスルト、選  
 信省ノ監督ガウルサケテ思フヤウニ仕事ガ  
 出來ナイカラ選信省ガ惡イナラ、斯ウ言フ  
 シ、選信省ノ方デハ、發達會社ノ方ガモツト  
 旨クヤレバ宜カウツカ、アルガト云フヤウ  
 ナコトヲ申サレハレノデアリマス、私ハ今發  
 達會社ノ取ツタノデアリマスケレドモ、  
 是ハ商工省所管ノ中ニモ同様ニ色々アリマ  
 ス、又今後モ起ツテ來ベキコトト思ヒマス、  
 サウ云フ場合ニハ私ノ考トシマシテハ、當

然是ハ所管大臣ガ當事者トシテ責任ヲ負フ  
 ベキモノナリト私ハ思フノデアリマスケレ  
 ドモ、商工大臣ノ御考ハ如何デアリマスカ  
 ○藤原國務大臣 私人從來ノ國策會社ノ責  
 任ヲ誰ガ負フカト云フコトニ付テノ御尋ニ  
 對スル御答ハ次ノ機會ニ願ヒタイ、法制上  
 ノコトニ付テハ私ハ頗ル未熟デアリマスカ  
 ラ、能ク研究ヲ致シタ上デ御答ヲ致シマス、  
 併シナガラ、今回ノ石炭統制會社ノコトニ  
 付キマシテハ、統制ノ如何ニ拘ラズ、私ガ  
 實際ノ責任ヲ負フコト云フ決心デ居リマス  
 ラ、左様御承知願ヒマス

○河野委員 私人今回ノ石炭配給會社ノ問  
 題ニ付テノ大臣ノ御決心ノ程ヲ伺ツテ敬意  
 ヲ表スル者デアリマスケレドモ、問題ハ單  
 ニ此ノ會社ダケデアリマセス、商工大臣  
 所管ノ國策會社モ相當數ガ多イ、日本製鐵  
 ニ致シマシテモ其ノ一デアリマス、輕金屬、  
 産金會社等法律ニ依ツテ出來テ居ル會社乃  
 至ハソレニ類似スル會社ガ商工省ノ監督下  
 ニ澤山アル、其ノ他農林省ニハ農林省ノ監  
 督下ニアル會社ガアル、又選信省ニハ選信  
 省ノ監督下ニアル會社ガアル筈デアリマス  
 ガ、是等ノ國策會社ニ對スル所ノ責任ノ歸  
 趨ト云フモノヲ明ニ致シマセスト、ドウモ  
 責任ノナスリ合フ致シマスコトガ失敗ノ原  
 因ニナル、モウ少シ是等ノ責任ノ歸趨ガ明  
 ニナツテ居リマスルト、オハニ協力シテ旨  
 ク行ク場合ガ多カラウト思フ、唯オハニア  
 ラノ探リ合フヤウナ恰好ヲ致シテ居リ  
 マスノデ、往々ニシテサウ云フ失敗ヲ招キ、  
 國家國民ガ迷惑スルコトガアラウト思ヒマ  
 スノデ、ドウカ此ノ問題ニ付テハ大臣ノ御  
 答辯通り、内閣ニ於テモ篤ト御相談ノ上、  
 國策會社ノ責任ノ歸趨ハ一體主管國務大臣

ニアルノカ、當該總裁、社長ニアルノカ、  
 此ノ點ヲ明瞭ニ一ツ御答辯願ヒタイト思ヒ  
 マス、國策會社ノ數モサウ多クハナイノデ  
 アリマスカラ、ソレ等ニ付テ特別ノ場合ガ  
 アルナラバ、是レノニ付テハ特別ノ場合  
 トシテ斯ウダ、法制上ノ問題ガアリマスナ  
 ラバ、ソレ等ニ付テハ内閣ニ於テ御相談ノ  
 上、次ノ委員會ニ總理大臣若クハ適當ノ大  
 臣カラ御答辯アラシムコトヲ御願致シマシテ  
 次ノ質問ニ移リマス

一ノ大財閥トシテ行カレルデアリマセウケ  
 レドモ、ボテ擔ギノ息子ヤ小作人ノ息子ハ、  
 幾ラ努力シテモ、幾ラ頭ガ良クテモ、輸入  
 ノ權益モ取レナケレバ、輸出ノ株モ持テナ  
 イ、貿易商ノ弟子ニナツテヤウツ者ハ今ノ  
 健ニ參ツテハ發展性ヲ阻止サレルノデハナ  
 カラウカト私ハ思フ、茲ニ新ニ仲展性ヲ認  
 メテ一生懸命ニヤル者ニハ、ソレダケノモ  
 ノヲヤウツテヤラナケレバイカヌ、馬鹿息子  
 ガ生レテ仕事ヲ一切セズニ居ツテモ、自分  
 ノ親父ガ是ダケノ仕事ヲヤウツテ居ツタ爲ニ  
 其ノ株ダケノモノハ貰ヘルノダト云フヤウ  
 ナ組織ハ、私ハ妥當ナ組織デナイト思フ、  
 後退スル組織ニコソナレ、國民ヲシテ仲展  
 性ヲ持タセル組織デナイト思フ、之ニ對  
 シテ十分ニ御考ヲ願ハナケレバナラヌ、唯  
 單ニ現状維持ノ考、是ダケノ商賣ヲシテ  
 居ルカラ、今マデ是ダケノ商賣ヲシテ居ツ  
 タカラト云ツテ、其ノ株ヲ與ヘ、配當ヲ與  
 ヘ、ソレダケノ品物ヲ賣ラシテヤルト云フ  
 ヤウナ行キ方ハ間違ツテ居ルト考ヘルノデ  
 アリマスケレドモ、是等ニ對シテ商工大臣  
 ハドウ御考ニナリマスガ、承ツテ見タイト  
 思ヒマス

○藤原國務大臣 今日ノ現在ノコトニ付テ  
 ハモウ申上ゲルマデモナイ事デアリマス、  
 河野君ノ御指摘ニナツタ通りデアリマス、  
 將來ニ於テ之ヲドウ云フ工合ニ導イテ行ツ  
 タナラバ宜シイカ、只今御考ニナツタヤウ  
 ニ産業組合ト商賣組合ヲ合併シテ、サウシ  
 テ之ヲ我國ノ配給機構トシテ統制經濟ノ運  
 用ノ機關ニ當ラシメルト云フヤウナコトガ  
 若シ出來ルナラバ、一ツノ考ヘ方デアリマ  
 セウト存ジマスガ、一ツノ考ヘ方デアリマ  
 コトガ今直ニ斷行ガ出來マセウカドウカ、

最近ノ經濟上ノ問題トシマシテ、吾々ノ考  
 ヘマスコトハ、統制經濟ニ入ツテカラ、先ツ  
 第一ガ國策會社、其ノ下ニ各種ノ組合—  
 商業組合、工業組合ヲ非常ニ幾段階モ作ツ  
 テ之ニ依ツテ既得ノ權益ヲ保持シヨウトス  
 ル傾ガ非常ニ多イト思フノデアリマス、例  
 ヘバ滿洲カラ大豆ヲ輸入シテ參リマスモノ  
 ニ付テ見マシテモ、同じ三井時間ノ中ニ於  
 テ、大連ニ於テ輸出ノ「ブロック」ノ中デ先ツ  
 口錢ヲ取ル、日本ヘ持ツテ來ル輸入ノ口錢  
 トシテ又同一「ブロック」ガ口錢ヲ  
 取ル、ソレヲ又配給ノ上ニ於テ取ル、其ノ  
 次ノ段階ニ於テ又取ルト云フ如ク、大  
 キナ時間ニナルト、是等ノ輸出入ニ於テ  
 往キモ復リモ、三往復位口錢ヲ取ルヤウ  
 ナ組織ヲ作ツテ、各組合ニ何レモ加入シ  
 テ口錢ヲ取ツテ居ルト云フヤウナ場合ガ  
 展、見受ケラレレノデアリマスガ、是等  
 ハ此ノ儘デ一體宜シイノデアリマセウカ、  
 自由主義ノ時代ニ出來タ商業組合—私  
 ハ先程カラ眞摯サント商工大臣トノ御問  
 答ヲ承ツテ居リマシタガ、色々發見サレル  
 點モアツタノデアリマスケレドモ、私ハ卒  
 直ニ斯ウ考ヘテ居ル、産業組合ニシマシテ

モ、商業組合ニシマシテモ、自由主義時代  
 ノ産業組合、自由主義時代ノ商業組合ガ統  
 制經濟ニ入ツタ今日ニ於テ、尙且ツ其級ノ  
 中ニ於テ各種ノ權益、各種ノ主張、各種ノ  
 仕事ヲシヨウトスル所ニ間違ヒガアルノ  
 資本主義ノ缺陷ヲ是正スル爲ニ出來テ居ル  
 モノガ、私ハ産業組合デアルト思ツテ居ル、  
 商業組合又然リデアルト思ツテ居ル、ソレ  
 今日ノ統制經濟治下ニ於テ依然トシテ是  
 等ノ係ノオ役人サンガ—農林大臣モ商工  
 大臣モ、私ニ言ハスレバ一括シテオ役人サ  
 ント申上ゲタイ、是等ノ方ガ猫ノ子ヲ抱イ  
 タヤウニ、是デ行カナケレバイカナイヤウ  
 ニ考ヘテ居ル所ニ間違ヒガアルト思フ、先  
 程眞摯サシ御意見モ、確ニ一ツノ御意見  
 トシテ、私ハ手數料主義ガ宜シイト思フ、  
 私ハ手數料主義ヨリ、モウ一步進進デ産業  
 組合ト商業組合ヲ合體シテ、各業種別ノ配  
 給機構ノ再建設ヲスルガ宜シイトサヘ考ヘ  
 テ居ル、ソコマデ入ラナケレバ本物ニハナ  
 ヲテ行カナイトサヘ私ハ考ヘテ居ルノデア  
 リマスガ、ソコニ行クマデト致シマシテ、  
 商業組合、工業組合ノ名ニ於テ既得權益ヲ  
 確保スル意味合ニ於テ、唯以前ニ於テ、是  
 ダケノモノヲヤウツテ居ツタ、組合ニナツタ  
 カラ、是ダケノモノヲ寄越セト云フヤウナ  
 コトヲ無暗ニ主張サレマスケレドモ、其ノ  
 半面トシテドウ云フコトヲ考ヘナケレバナ  
 ラスカト申シマス、新ニ生レテ參ツタ者  
 是ガ生活戰線ニ入り、職業戰線ニ入り、社  
 會ノ荒波ニ是カラ乗出サウト云フ青年ハ一  
 體ドウナル、自分ノ親父ガ—極端ニ申セ  
 バ、今ノ組織デアルナラバ、三井ノ息子ハ  
 何時マデ行ツテモ三井サンノ息子デ、日本

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十九回 昭和十五年三月十二日











セヨ、或ハ最近ニ於ケル生絲ニセヨ、又以前カ行ハレテ居ル所ノ「ガソリン」券等ガアリマスガ、一番直接消費者ニ使ハレテ居ルノハ、今日ニ於テハ「ガソリン」以外ニハナイ、今度初メテ「マッチ」ニ是ガ適用サレテ来ルノデアリマス、今日「ガソリン」ノ切符ガ如何ニ悪用サレテ居ルカ、是ハ既ニ大臣御承知ノ如ク、今日ニ於テハ「ガソリン」券ガ開相場ニ依ツテ賣買サレテ、吾々カラ考ヘテ見テモ斯ノ如キ切符制度ガ非常ニ民心ヲ悪化スルト云フヤウニ考ヘラレル、今日切符制度ノ「ガソリン」券ニ對シテ如何ナルコトヲ爲シテ居ルカ、大臣モ御承知デアリマセウ、斯ウ云フヤウナ關係カラ私達今日「マッチ」ノ切符制度、或ハ其ノ他日用品ニ對スル切符制度ヲ政府ガ斷行ナサル場合ニ於テハ、相當ノ研究ト決心ガ必要ト私ハ思フノデアリマス、勿論此ノ切符制度ハ消費増大スルノデアリマス、之ニ付テハ彼ノ結制經濟治下ニ於ケル獨逸ニ於テモ非常ニ困ツテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ「マッチ」ノ如キハ第一ノ試験トシテヤル場合ニ於テ、商工當局ニ於テハ餘程御研究ト御覺悟ガナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、商工省ニ於テハ此ノ「マッチ」其ノ他ノ切符制度ニ付テドウ云フヤウナ調査研究ガ爲サレテ居ルカ、先ヅ此ノ點カラ聴キタイノデアリマス

昭和十五年三月十三日印刷

モ鐵ニシテモ何ニ致シマシテモ圓滑ニ行ハレト思ヒマスガ、之ニ反シテ十分ナ貯藏モナク準備モナクシテ切符制度ヲ施行スレバ、却テ有害ナ結果ヲ来スト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレ故ニ總テノ商品ガ切符制度ヲ施行スル時ニハ、先ヅ以テ潤澤ニ供給ガ出来ル、十分ナ貯藏ガアル、是ナラバ切符制度ヲ施行シテモ圓滑ニ施行ガ出来ルト云フ見解ニガ付イテカラヤルノガ宜クハナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、ソレ故ニ「マッチ」ノ如キモ先以テ供給ヲ潤澤ニシテ、御指摘ニナリマシタヤウニ今日「マッチ」ガ市場ガ缺乏シテ困ルト云フコトノナイヤウニシテ、ソレカラ後ノ問題デアラウカト思ヒマス、マダ實ハ十分ナ研究モ調査モ進ンデ居リマセウ、此ノ際ハ此ノ程度デドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○最上委員 新聞紙等ヲ見ルト非常ニ進ンデ居ルヤウニ書イテアル、曰ク切符制度ニストカ、或ハ通帳式ニスルトカ云フ風ニ書イテアル、又一家一日一人當リ五本程度ノ「マッチ」ヲヤルト云フヤウナコトヲ色々書イテアル、又其ノ實施ニ當ツテハ人口二十万以上ノ都市ニ向ツテ實施スルト云フヤウナコトモ書イテアルノデアリマス、唯現在ノ「ガソリン」切符ハ番號ガナイ、ソレデアルカラ非常ニ開取引ガ横行シテ居ル、白券バカリデハナク、青券、所謂漁船用ノ切符マデガ色々流通サレテ、ソレガ白トナツテ都市ニ非常ニ流通サレ、ソレガ爲ニ開相場デ二圓モ三圓モシテ居ルト云フヤウナ状態デアル、今後は等ノ問題ニ付テ色々問題ガ起ルデアリマセウガ、ドウカサウ云フヤウナ流用サレナイヤウナ方法ヲ願ヒタイ、「マッチ」ノ如キハ若シヤルナラバ流用ガ出来

昭和十五年三月十四日發行

ナイヤウニ、番號式ニスルトカ、或ハ通帳式ニスルトカ云フヤウナ工合ニシテ、其ノ一家以外ニハ流用ガ出来ナイト云フヤウニシナケレバ、「マッチ」其ノ他ノ切符制度ハ甚ダ實施ガ困難デアルト思フノデアリマス、ドウカ其ノ點ニ付テ能ク御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス

更ニ私ハ商工省所管トシテ此處ニ出テ居ル軍需關係ニ於テ、軍需關係資材確保損失補償金トシテ四百五十九万五千餘圓ガ計上サレテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ内容ニ付テ説明ガ承ハレレバ結構デアリマスガ、如何ナモノデアリマセウカ、御答ヲ願ヒタイ

○藤原國務大臣 軍機ノコトニ付キマシテハ説明ヲスルトガ出来ナイト存ジマスカラ、ドウゾ御諒承願ヒマス

○最上委員 私ハ此ノ問題ニ付テモ普通ナラバ秘密會等ヲ要求シテ、色々聴キタイノデアリマスガ、時間モ切迫シ、又會期モアリマセウカラ、私ハ是レ以上ハ申上ゲマセウ、商工省所管ニ關シテハ朝鮮ノ問題ヲ留保シテ此ノ程度デ私ハ打切りマス

○藤原國務大臣 私ハ一言補足ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、只今切符制度ヲ施行スル時ニハ品物ガ潤澤ニナツタ時ニ施行スル方ガ宜イト申シマシタガ、ソレト同時ニ又非常ニ缺乏シタ時ニモ宜イト云フ考ヲ持ツテ居リマスカラ、是ダケヲ補足致シテ置キマス

○三土委員長 今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス  
午後五時三十分散會

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第一類 第一號

第七十五回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第二十二回

昭和十五年三月十三日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 三土 忠造君
- 理事中村三之丞君
- 理事山本 芳治君
- 理事石坂 豐一君
- 理事水谷長三郎君
- 小川郷太郎君
- 眞鍋 儀十君
- 朴 春 琴君
- 吉植 庄亮君
- 西尾 末廣君
- 森下 國雄君
- 稲田 直道君
- 笠井 重治君
- 大本貞太郎君
- 加藤 知正君
- 三木 武夫君
- 名川 侃市君
- 末松借一郎君
- 小笠原三九郎君
- 松村 光三君
- 理事田村 秀吉君
- 理事岸田 正記君
- 理事増永 元也君
- 三宅 正一君
- 塚本 重藏君
- 前田房之助君
- 松浦 伊平君
- 小田 榮君
- 小畑虎之助君
- 河野 一郎君
- 窪井 義道君
- 矢野庄太郎君
- 池田 秀雄君
- 最上 政三君
- 太田 正孝君
- 松尾 四郎君
- 金井 正夫君

出席政府委員左ノ如シ

- 對滿事務局長 竹内 徳治君
- 興亞院部長 日高信六郎君
- 外務政務次官 小山 谷藏君
- 大藏省主計局長 松田 正一君
- 大藏省主稅局長 谷口 恒二君
- 大藏省爲替局長 大矢半次郎君
- 大藏省爲替局長 中村孝次郎君
- 大藏書記官 永井 勻君
- 大藏書記官 植木庚子郎君
- 大藏書記官 氏家 武君
- 大藏書記官 前田 克巳君
- 大藏書記官 松隈 秀雄君
- 農林政務次官 岡田喜久治君
- 農林參事官 松本 弘君
- 農林省農務局長 土屋 正三君
- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 農林省水産局長 栗屋 仙吉君
- 農林省畜産局長 岸 良一君
- 農林省蠶絲局長 吉田 清二君
- 農林省經濟更生部長 周東 英雄君
- 農林書記官 岡本 直人君
- 農林書記官 岡本 直人君
- 農林書記官 加藤鏡五郎君
- 農林書記官 喜多壯一郎君
- 農林書記官 永田彦太郎君
- 農林書記官 辻 謹吾君
- 農林書記官 山本 茂君
- 農林書記官 新倉 利廣君
- 農林書記官 武知 勇記君
- 農林書記官 萩原 丈夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

(第三號)昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案

(特第二號)昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

○三土委員長 會議ヲ開キマス、質疑ノ順ノ中デ、眞鍋儀十君ガ農林大臣ノ出席マデ保留シテアルモノガアリマスカラ、眞鍋君ニ許シマス——眞鍋君

○眞鍋委員 農林大臣ニ對シマシテ質問ノ續キヲモウ少シヤラセテ戴キマス、此ノ前米穀會社ノ御話ヲ承リマシタ中ニ、無用ノモノト考ヘルノデハナイト云フ意味ノコトデ、其ノ反面ニハ總テ適當ナル時機ガ來タラ之ヲ使フヤウナコトモ想像サレルヤウニ御答辯ニナリマシタノデスガ、私ハ此ノ御言葉ハ是カラ先ノコトヲ非常ニ考ヘサセラレル問題ト思ヒマス、私共ノ考ニ依レバ米穀問題ト云フモノハ、段々統制ニ歩ラ進メテ行クモノデアリマシテ、自由經濟主義時代ノ遺物タル米穀會社ニ依存スルト云フヤウナ事態ハ、段々遠退イテ行クモノデアリ、場合ニ依ツテハ國家管理、或ハ專賣ト云フ所マデ進ンデ行カナケレバナラヌ事態ガ遠クナラナイニ來ルノデハナカラウカト考ヘテ居ル時ニ、農林大臣ガ無用ノモノデハナイ、必要ガアレバ使フ、捨テ切ラナイト云フヤウナ御答辯ヲ戴キマスルコトハ、今後ノ農林省ノ米穀對策ニ付テ私共ノ考ヘ

方ニ或種ノ矛盾、或ハ撞著ト申シマスカ、サウ云フモノヲ思ハセラレルノデアリマスガ、農林大臣ハ現在デハ無用ノヤウニ見エテ居ツテモソレヲ解消シナイデ、何レハ先デ又使フヤウナ時代ニ來ルカモ知レスト云フヤウナ御氣持デ居ラレルデゴザイマセウカ、此ノ點ヲ一ツ承ツテ置キマス

○島田國務大臣 私ガ御答シタノハ、現在ノ米穀事情ノ上ニ於ケル米穀會社ノ現狀ニ付テ御話ヲシタ譯デアリマシテ、此ノ會社ノ出來タ沿革ト云フコトカラ申シマスルト、眞鍋君モ御承知ノヤウニ、是ハ其ノ發端ヲ米穀自治管理法ノ制定ノ時ニ發シテ居ルノデアリマス、米穀自治管理法ガ實施ヲサレルト、是マデノ米穀取引所ト云フモノノ機能ガ薄クナル、斯ウ云フ關係カラ致シマシテ此ノ米穀取引所ト云フモノニ對スル善後處置ヲ考ヘナケレバナラヌト云フヤウナ點カラ、此ノ米穀配給統制法ト云フモノガ制定サレ、ソレニ依ツテ日本米穀會社ガ出來テ今日ニ至ツテ居ルノデアリマスガ、何分成立日尙ホ淺クシテ、會社ノ實際ノ内容、機構ガ十分ニ整ツタノハマダ極々最近デアリマシテ、漸ク其ノ機能ガ整ツテ來タヤウナ次第デ、米穀會社トシテハ其ノ機能ヲ發揮スルト云フコトニ十分ノ準備ガ整ハナカワツト云フ事情ガアル、而シテ今日ノ米穀事情ニ遭遇シテ居ル次第デアリマス、隨テ政府ト致シマシテハ短日月ノ經驗ヲ以テ直チニ此ノ米穀會社ノ運命ニ對シテ考ヘルト云フコトハ早計デアル、斯様ナ考ヘ方ヲシ

第一類第一號 豫算委員會會議錄 第二十二回 昭和十五年三月十三日



テ居ルノデアリマス、隨テ今日ノ狀態ニ於テ米穀會社ヲ利用シ得ル方面ニ對シテハ外米、或ハ臺灣米ノ取扱等、又他ノ場合ニ於キマシテモ之ヲ利用シ、之ニテラシメルコトガ適當デアルト云フ場合ニハ、此ノ米穀會社ヲシテ其ノ當ラシメル、斯ウ云フヤウナヤリ方ヲシテ居ルノデアリマシテ、將來ニ關シテ此ノ會社ガドウ云フヤウナ連命ニナツテ行クベキデアルカト云フヤウナ情ノ下ニ於ケル事柄ヲ以テ、直チニ將來ニ推シ及ボシテ推斷ヲ下シテ申上ゲルコト云フコトハ出來兼ネルノデアリマスカラ、其ノ邊ニ關スル眞鑄委員ノ御意見ト云ヒマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ、政府トシテハ先ヅ其ノ御意見ノアル所ヲ御聽シテ置タ、政府トシテハ現狀ニ付テ御答ヲ申上ゲテ居ルコト云フヤウニ御聽取ヲ御願シテ置キタイト思ヒマス

○眞鑄委員 此ノ點ハモウ少し別ナ機會ニ本當ナ吐テ見マスガ、意見ニ互リマスカラ、此ノ程度ニ致シテ置キマス、モウ現在ニ於テ吐テ決メテ戴カナケレバナラヌ時期ニ達シテ居ルコト云フ見解ハ、大臣ノ今ノ御答辯ニ依ツテハ、勳カサレテ居ルイコトダケラ申シテ置キマス、例年三月一日ニハ政府ノ在米數量ト云フモノガ發表サレルコトニナツテ居リマス、少クモ十日ニハ全國集計ガ農林省ノ手許ニハ届イテ居ル筈ト思ヒマス、何時モ御發表ニナリマス時期ニ現在既ニ到達シテ居リマスカラ、何レハ御發表ニナルト思ヒマスガ、例年ノ通りノ豫定期日ニ在米數量ハ政府デ御發表ニナリマスカドウデスカ

○眞鑄委員 例年ズツト在米數量ト云フモノヲ發表シテ、次ノ需給推算ヲ定メ、國民ノ安心シテオ米方食ヘルト云フ風ニサレテ居ツタノニ、今年ニ限ツテ在米數量ヲ發表セズ、サウシテ國民ニ向ツテハ米ノコトニ付テハ安心ヲシヨ、斯ウ云フコトデ行カレマスナラバ、私ハ政府ノ豫期セザル方面ニ於テ非常ナ副作用ガ起ツテ來ルモノト考ヘテ居リマス、若シ之ヲ御發表ニナラヌト云フナラバ、國民ハ段々政府ヲ疑ヒ出シテ來マス、此ノヤウナ操作ガ出來テ居ナイノナラバ、此ノ戰時體制下ニ於テ、彈丸以上ノ食糧品ニ付テ國內事情ハ斯ウナツテ居ル、國民ハ之ニ對シテ斯ウ協力シナケレバナラヌト、國民ト共ニ米穀問題ヲ解決スル爲ニハ、何方デモ政府ハ本當ノコトヲ懸ヘラレテ、サウシテ此ノ時局乘切リニ國民ヲシテ協力心サセルコトガ必要ダト考ヘマスノデ、私ハ政府ニ此ノ點ニ付テ再考ヲ煩ハサナケレバナラヌ、何ダカ斯ウ國民ノ前ニ曝ケ出サス方ガ、却テ國民ガ心配スルコトハナカラウカト云フヤウニ見エルコトヲ、故ラ政府ガ好シクテラレル必要ハナイ、ソレガ國民ニ心配セナイ爲ノ政府ノ心構ヘデアラナラバ、實際ハ斯ウナツテ居ルコト云フコトヲ國民ニ知ラセラル方ガ、安心サセラル途ダト私ハ考ヘマス、政府ノ方デモウ一遍此ノ點ヲ御直直ニナル氣持ハ持つテ居ラレマセウカ

○眞鑄委員 是ハモウ政府ハ政府ノ信用ニ於テ仰シヤラナケレバ、モノハ納マリマセヌ、ソナナコトデ國民ヲ安心サセヨウト御考ニナツテ居レバ甘過ぎマス、寧ろ何モ示サナイデ蓋シテ安心サセルト云フナラバ、一切ノコトヲ蓋シテサイマセ、朝鮮ノコトモ分ツテ居ル、臺灣ノコトモ分ツテ居ル、私ハ農林大臣ノ考ヘテ居ラレルヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、在米ヲ發表スレバ外米買付ナドニ付テモ、日本ニ不利ダト云フヤウニアナクハ御考デセウケレドモ、私ハ日本ノ在米數量ト云フモノヲ現在發表シテモ、對外的ニ不安心ナモノデハナイト、斯ウ見テ居ル、米ガナイノ國民ガ考ヘテ居ルコトハ、米ガナイノデハナクテ、米ガ廻ラナイノコト、私ハ斯ウ思ツテ居ル、國民ヲシテ米ガナイノデハナイ、米ガ廻ラナイノコト云フコトヲ知ラセラル爲ニモ、數量ヲ知ラサナケレバナラナイ、現ニ問題ニナツテ居ルノハ、臺灣ノ強制買上ヲヤツタコトデアラガ、買上ヲヤツタカラ斯ウ云フコトニナツテ居ル、現在朝鮮デモ問題ガ起ツテ居ル、アナタノ方デ御豫定ニナツテ居ツタ移入ハ、是ハ今日見込ガアリマスカラ、朝鮮自體ノ米穀運下物ヲ交換ナラバヤルケレドモ、其ノ運送ト物ヲ交換ナラバヤルケレドモ、朝鮮總督府ノ吐ハ決ツタデセウ、是ハナイノデハナイ、アルノデス、唯アルケレドモ、出サヌト云フノデス、ソレハ内地外地ニ互ツテ

ノ集計ヲ取ツテ、サウシテ政府ガ之ヲ賣惜ヲシテ居ルコトガゴザイマス、ソナナコトハ考ヘナイデ、現在日本ニアルモノダケヲ曝ケ出シテ、足りナイ所ハ節米スルナリ、或ハ混合食ヲスルナリ、サウ云ツタ方ニ政府自身ガ國民總動員ノ意味ニ於テ、私ハ今日此ノ際態度ヲ決メテ御發表ニナルベキダト思ヒマス、此ノ點ハ重大ナコトデスカラモウ一遍念ヲ押シマス、私ノ意見ニ農林大臣ハ御承服ニナリマセヌカ、將來ソレデモヤハリ包ミ隠シテ置イテ、外ノ狀態ハ國民ニ簡拔ケニ知レテ居ツテモ、政府ハ之ヲヒタ隠シニ隠シテ置クコト云フコトガ、對外的ニモ對内的ニモ宜イコトデスカ、モウ一遍是ハ大事ナコトデスカラ念ヲ押シテ置キマス

○眞鑄委員 同ジコトヲ念ヲ押シテモ仕様ガアリマセウカ、其ノ點ハ止メマス、止メマスガサウ云フコトヲナサイマス、國民カラ政府ハ段々疑ハレマスカラ、私ハ安心スル方法ヲ政府ノ責任ニ於テ御執リナラナケレバ、私ハ責メル所ハ責メマスカレドモ、農林大臣ニハ非常ニ敬意ヲ表シテ居リマス、ソレハ最近ノ農林大臣ハ少シ産業組合トノ問題ニ於テボカサレテ點ガアル、第三者ハ考ヘヤウニ依ツテハ、農林省ハ産業組合ノ意見ニ依ツテ左右セラレテ居ルコトハナイカト云フ氣持ヲ持テセラレテ居ルコトデアリマスガ、先般ノ保險問題ニ付テ毅然タル態度ヲ以テ、之ニ快刀亂麻ノ解決ヲ與ヘラレマシタ現農林大臣ニ對シマシテハ、流石ニ多年政界ニ馳驅セラレマシタ

所ノ、酔イモ甘イモ嗜分ケタ大臣ノ御手腕トシテ、私ハ心カラ敬意ヲ表シテ居ツタノデアリマス、併シ昨日今日ノ模様ヲ見マス、是ガ又アリ返シテ來テ、是ガ非デモ強行シヨウト云フ模様ガ、私共ニ看取サレテ來ルノデアリマス、恐ラク此ノ前農林大臣カラ抑ヘラレタ點ハ、ウマク迷テ別ナ形デ出テ來ルト云フノデアリマセウガ、ソレハ極メテ挑戦ノデアリマス、御承知ノヤウニ役員共濟會ノ基金造成ノ方法ニ付テ、既ニ募集ニ著手致シテ居リマス、間ク所ニ依リマスト自分達ノヤツタコトハ、間違ツテ居ラスト云フ聲明書ヲ出シテ、本格的ニヤツテ來タヤウデアリマス、是ガ問題ヲナシテ居リマスモノハ、恐ラク餘額金ガアリ餘ツテ付イテ、ソレノ始末ニ困ツテ居ルト云フモノ一ツノ原因ヲ成シテ居ツテ、之ヲ切抜ケル爲ニ斯ウ云フコトヲ考ヘ付イテ來ルノダラウト思ヒマス、多イ所デハ一軒デ六百萬圓位アル、場所ニ依ツテハ一ツノ單位組合デ、百萬圓以上ノ餘額金ヲ持つテ居ル、所ガソレヲ無暗ニ使ハウトスルト、例ノ資金運用規定ニ引掛ツテ來ル、色々焦ツタ末茲ニ結局ハ手ヲ出シテ來タモノト思ヒマス、此ノ戰時體制下ニ於テハ増産ヲシナケレバナラヌ、サウシテ完全ナル集荷ヲシナケレバナラヌ、此ノ點ニ付テ産業組合トシテハ極力努力サレナケレバナラヌモノデアツテ、又是ガ今日ノ一番大切ナ仕事デアルト思フ、然ルニ最近ノ産業組合ノ上層部ハ、生産部面ニ關スル方面ニハ極メテ冷淡デアツテ、寧ろ營利的ナ方面ニ没頭シ過ギテ居ルヤウニ思ハレマス、本來ノ共同組合主義カラ營利組合主義ヘト次第ニ移行シテ居ルヤウニ思フ、斯ウ云フ際ニ此

ノ保險問題ガ再ビ據頭シテ參ツテ、農林大臣ノ御解決ニ拘ラズ、之ヲ無視シテドン／＼案内ナシニ進行サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ戰時體制下ニ疑義ガアリ、相當問題ナルベキ保險事業ニ再ビ共濟會ノ名ヲ以テ進出シヨウトシテ居ル産業組合ニ對シテ、農林大臣ハ彗ノ明快ナル御解決ノ後ヲ承ケテ、此ノ際ハウキリシテ置カレル必要ガアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ大臣ノ御氣持ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○島田國務大臣 十幾万ニ上ル産業組合ノ役員ガ極メテ低イ手當デ活動シテ居ル上カラシテ、是等ノ役員ノ爲ニ共濟制度ヲ設ケルト云フコトニ付テハ、主務省トシテ反對ヲスル譯デハナク、却テ是ハ必要ナル制度デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、隨テ其ノ基金ノ造成等ノコトニ關シ、又其ノ共濟ノヤリ方仕組等ニ關シテハ、主務省ノ諒解ヲ得、協議ヲシテ完全適當ナル制度ヲ立テラユウニト云フコトデ、其ノ事ハ組合ノ主ダツタ人々モ能ク諒解ヲシテ居ルノデアリマシテ、詳細ナル點ニ付テハ本省トノ間ニ協議ヲ遂ゲテ計畫ヲスル場合ニ於テハ、本省トシテハ何等ノ之ヲ阻止スル意思ハナイト云フ考デ居リマス、唯先ニモ他ノ機會ニ於テ申上ゲタ如ク、産業組合ガ其ノ本旨ヲ逸脱シテ、農林大臣ノ監督下ヲ離レルヤウナ方面ニ行ツテ、殊ニ營利事業ヲ營ムト云フコトニ付テハ、監督上ノ認メルコトハ出來ナイノデアリマスガ、産業組合内部ノ仕事トシテ、殊ニ役員ノ爲ニ共濟制度ヲ設ケテ、役員ノ生活ノ保障ヲ爲シ、又待遇等ニ付テ向上ノ途ヲ圖ルコト云フコトハ寧ろ必要デアラ、併シ其ノヤリ方、殊ニ資金ノ造成ノ方法等ニ付テハ、主務大臣タル監督省ノ諒解

ノ下ニ能ク協議ヲ遂ゲテヤルヤウニト云フコトヲ申シテアリマスカラ、ヤル場合ニハ其ノ方針ニ依ツテ進行スルダラウト考ヘテ居リマス

○眞鑄委員 モウ一點ダケ質問シテ私ハ終リマス、巷間又他ノ會社ニ交渉シテ居ルトカ何トカ云フヤウナ噂モアリマスカラ、此ノ前ノヤウニ抜打ノ、泡ヲ食フコトノナイヤウニ能ク平素カラ御留意ヲ願ツテ置キマス、今回生鮮食料品トカ、木炭トカ云フヤウナモノガ統制ノ名ニ於テ色々ナ會社ヲ拵ヘテ配給ニナル譯デアリマスガ、其ノ結果ハ何處ニ喰込シテ來ルカト云フト、今日マデノ商人ノ分野ノ方ニ段々侵蝕シテ參リマス、若シ生鮮食料品ノ會社ガ出來マス、青果ノ方ハ農會ヲ通シテデナケレバ出荷ガ出來ナクナツテシマヒマス、魚介ノ方モ漁業組合ガ共同出荷ヲスルト云フコトニナツテ參リマシテ、商人ノ分野ハ次第ニ減少シテ參リマシテ、商人ノ方ニシテモ農林省ノ指令ニ基キマシテ、地方廳ガ一般配給業者トノ取引ガ許サレヌヤウニナツテ參リマスノデ、木炭ニ於テハ特ニ商人ノ分野ハ侵蝕サレテ來ル譯デアリマス、斯ウ云フ一ツ／＼ノ事例ヲ段々集積シテ參リマス、農林省ハ中間商人排除ト云フコトニ目標ヲ置イテ、歩一步ト進シテ行カレラユウニ事實カラ見受ケラレルノデアリマス、事實ニ立脚シテ農林省ハドウ云フ御觀察ヲ下シテ居ラレマスカ、此ノ點ヲ最後ニ一點御伺シテ見タイト思ヒマス

○島田國務大臣 木炭ノ問題ニ付テハ、又他ノ機會ニ質問應答出來ルコトト思ヒマスガ、生鮮食料品等ニ付テモ、商人ヲドウスルトカ、或ハ産業組合ヲドウスルトカ云フヤウナ意味ト云フヨリモ、生産物ヲ確保スル相當ナ分量ヲ確保シ、又其ノ出荷ニ付テ消費地ニ對シテ相當平均シテ供給サレルヤウニスル途ヲ講ジナケレバ、消費地ニ於ケル價格ノ上ニ非常ナ高下ヲ生ジ、又其ノ供給ガ圓滑ニ行カナイト云フヤウナ點カラ、生産者ニ對シテ生産物ヲ適當ナ方法ニ依ツテ平均シテ、成ベク運下ノナイヤウナ出荷ノ仕方ヲサセ、隨テ又價モ平均サセテ、都會ニ於ケル消費者ニ非常ニ高イ物、非常ニ安イ物ト云フヤウナコトノナイヤウニサセテ、ソレカラ今一ツハ相當ナ分量ヲ供給シナケレバヤハリ價格ガ暴騰スルト云フコトニナリマスカラ、或ル計畫ノ下ニ相當ノ分量ヲ確保シテ、之ヲ圓滑ニ供給スルト云フ趣旨カラ考ヘラレテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ商工省トシテモ、農林省ト致シマシテモ、決シテ只今御話ノヤウナ中間商人ヲ特ニ排撃スルトカ、廢止スルト云フヤウナ意味カラ考ヘテ居ルノデハナイノデアリマス、其ノ點ハドウゾ誤解ノナイヤウニ致シタイ、今日都會生活ヲシテ居ル者ノ食糧ニ上ル生鮮食料品ノ價格等ニ付テ靜ニ考ヘテ見ルト、政府トシテ考ヘテ居ル此ノヤリ方ヲ執ルノ外ハナカラウ、斯様ナ考ヘカラ出發シテ居ル次第デアリマス、其ノ點ハ左様ニ御承服ヲ願ヒタイト思ヒマス、木炭ニ付テモヤハリ同様ナ考デアリマスカレドモ、是ハ別ノ機會ニ於テ、其ノ法案等提出ノ場合ニ於テ又詳シク御話スル機會ガアラウト考ヘマスカラ、其ノ點ハ其ノ機會ニ御話シタイト思ヒマス

○眞鑄委員 手數料ガ掛ツタリ何カスル點ニ於テ、需要者ノコトヲ心配サレテ居ルト



云フコトナラバ、産額ヲ續々集荷團體ニ指  
定スルガデ救ハレルモノデアリマセヌ、  
手數料ナラバ、産額モ手數料、商人モ手數  
料、ドツチモ手數料デアル、消費者ノ爲  
ラ御考ニナルナラバ、他ニ商組ヲ御使ヒニ  
ナル手段モ殘サレテ居ルノデ、産額ヲ指定  
スルガデ、今ノ問題ヲ解決サレテ、消費者  
ノ利益ニナルト云フ御建前デアラナラバ、  
是ハ間違ッテ居リマス、モウチツト商工省  
トモ御打合せナサイ、アナタノ方デ配給統  
制規則ヲ御指シテハ、商人モ商工省ニ一  
向御相談ナシニ、兩次官ノ事前ノ打合せ  
モナク、突如閣議ニ掛ケテ斯ウ云フヤウ  
コトヲ御決メニナル、アナタノ方ノ御  
決メニナル、アナタノ方ノ御決メニナル  
コトヲ御決メニナル、アナタノ方ノ御  
決メニナル、アナタノ方ノ御決メニナル

○島田國務大臣 此ノ追加豫算ノ第二十款ノ農  
村經濟更生施設費三百八十六萬一千餘圓、  
其ノ意味ニ御承願ヒマス  
○三土委員長 河野君

○島田國務大臣 一言私附加ヘテ置キマス  
ガ、組合ト申シテモ、漁業組合トカ、其ノ  
他農産物ノ組合ト云フノハ、是ハ生産者ノ組  
合デアリマシテ、販賣組合トカ購買組合ト  
云フヤウナ、所謂産業組合トハ性質ガ異ツ  
テ居リマス、誤解シテ居ラレルノデハナカ  
ラウト思ヒマスガ、生産者ノ團體ニ出向  
コトヲヤセラルト云フ意味デアリマスカラ、  
隨テ其ノ點ハ商工省トモ能ク話ヲシ、連絡  
ヲ取ツテヤツテ居ル大策デアリマスカラ、  
其ノ意味ニ御承願ヒマス

○三土委員長 河野君  
○島田國務大臣 一言私附加ヘテ置キマス  
ガ、組合ト申シテモ、漁業組合トカ、其ノ  
他農産物ノ組合ト云フノハ、是ハ生産者ノ組  
合デアリマシテ、販賣組合トカ購買組合ト  
云フヤウナ、所謂産業組合トハ性質ガ異ツ  
テ居リマス、誤解シテ居ラレルノデハナカ  
ラウト思ヒマスガ、生産者ノ團體ニ出向  
コトヲヤセラルト云フ意味デアリマスカラ、  
隨テ其ノ點ハ商工省トモ能ク話ヲシ、連絡  
ヲ取ツテヤツテ居ル大策デアリマスカラ、  
其ノ意味ニ御承願ヒマス

此ノ内容ニ付テ御説明願ヒマス  
○島田國務大臣 政府委員カラ申上ゲマス  
○岡本政府委員 是ハ前議會ニ於キマシテ  
豫算外契約ノ承認ヲ得テ居リマスノ經費ノ  
實行ガ終リマシテ後、其ノ範圍内ニ於テノ  
決算ニ對スル補助金交付ノ爲ノ經費ヲ要求  
シテ居ルノデアリマス、經費ノ性質ハ第三  
國向ノ農林水産物ニ關スル經費デゴザイマ  
ス

○河野委員 今ノ御説明ノ程度ハ吾々モ諒  
承シテ居ルノデアリマスガ、大體此ノ數字  
ガ必要ニ至ツタ計數ノ基礎等ニ付テ承知致  
シタイ、御承知ノ通りニ是等ノ食糧資材ニ  
付テ今各方面デ色々論議致シテ居ル際ニ、  
斯ノ如キ何レモソレ等ノ關聯致シテ居リマ  
スル物ヲ輸出ノ方面ニ於テドウ云フ計數デ  
ヤツテ居ラレルカ、例ヘバ畜産物ノ販賣額  
旋ニ致シマシテモ、今日國內ニ於テ各種ノ  
畜産關係食料品ガ非常ニ不足シテ居ル、サ  
ウ云フ物ヲ輸出獎勵ノ意味ドウ云フ風ニ  
御取扱ニナツテ、其ノ結果ドウ云フコトニ  
ナツテ居ルカト云フコトヲ承知シタイ、水産  
物同様、一般農産物同様ノ意味ニ於テ承  
知シタイ

○岡本政府委員 數量ノ點ニ關シマシテハ  
物動計數トノ關係モアリマシテ、其ノ具體  
的ナ數字ノナコトハ此ノ際差控ヘタイト思  
ヒマス  
○河野委員 先ノ農林大臣ノ米ノ數量ト云  
ヒ、今ノ問題ト云ヒ、唯物動計數、物動計  
數ト云フコトデ數字ガ言ヘスト云フガ、國民  
ノ食糧其ノ他生活必需品ニ非常ニ關係ノア  
リマス問題ニ、サウ云フ態度ハ満足致スコ  
トハ出来マセヌ、殊ニ先程ノ農林大臣ノ米ノ  
問題ニ付テモ私ハ多少意見ヲ持ツテ居リマ

○河野委員 同時ニ附加ヘテ置キマスガ、  
取締規則ノ上ニ於キマシテハ、肥料ノ取締  
規則ト肥料ノ取締規則トノ間ニ大分隔リガ  
アリマス、是等兩者ヲ調整致シマシテ、適  
當ニ同一ナ方向ニ進ムヤウニ、同一ノ取締  
ヲスルヤウニサレルトコト方適當ダト思ヒマ  
ス、苟モ取締取締ノ上ニ於キマシテハ、兩者ヲ  
豈行セシメ、配給ノ機構ノ上ニ於テハ兩者ヲ  
劃然トシテ、其ノ方向ヲ別ニ明ニシテ參リマ  
セスト、是方使用ノ上ニ於テ非常ナ偏在ヲ  
來シ、偏頗ナコトニナルト私ハ思ヒマス、例  
ヘバ畜産物ノ價格ハ比較的ニ割安ニナリ、他  
ノ農産物ノ價格ハ比較的高ニ割安ニナリ、是ガ  
農産物ノ方ニ用途方向ケラレル、畜産物ノ  
價格ガ割高デアツテ、農産物ノ價格ガ割安  
ノ場合ニハ、割高ノ畜産物ノ方ニ是等ノ有  
機質ノモノガ向ケラレルト云フコトハ事實  
デアリマス、所方現在ノヤウニ畜産物ノ價  
格ト農産物ノ價格トノ間ニ關係性ガナク、  
是等ノ價格決定ノ上ニ於テモ何等ノ見合セ  
モナイ際ニ於キマシテハ、ドウシテ此ノ飼  
料ノ流シ方ト、肥料ノ流シ方トノ間ニ全然  
別個ノ流シ方ヲ作ラナケレバ、所期ノ目的ヲ  
達スルコトガ出来ナカラウト思ヒマス、而  
モ畜産物ニハ畜産物ノ使命ガアリ、今日ノ  
我が農林經營ノ上ニ於テ畜産ヲ無視シタ農  
業經營ハナイ筈デアリマス、是ハ我が農民  
行政ノ長年ノ最高指導精神デアリマシテ、  
有畜農業ノ獎勵ニハ何人モ疑フ持ツ人ハナ  
カラウト思フ、如何ナル時局下ニ於テモ、  
有畜農業ヲ獎勵シテ、以テ農村經營ヲ合理  
化スルト云フコトハ間違ヒハナカラウト思  
フノデアリマス、然レニ是ガ飼料ノ政策ノ

ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ

○三土委員長 今河野君ノ言ハレテ居ルノ  
ハ、第二十款ノ農産物其ノ他販賣額統制  
施設助成金デスネ、是ガ物動ト何ノ關係ガ  
アル、コンナモノヲ物動計數ノ際ニ隠レテ説  
明セスト云フノハ怪シカラスコトダ、物動  
計數トカ、軍事費豫算ヲ聽カウト云フノデ  
ナイ、斯ウ云フモノハ國民生活ノ必需品デ  
アリ、輸出品デアル、ソレガ物動計數デ言ヘ  
スト云フコトハ私ハヨカシイト思ヒマスガ、

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ニ付  
キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、能  
ク事務當局ノ間ニ於テモ連絡ヲ執ツテ、此  
ノ兩者ノ区分スベキ點ハ區別ヲシ、又一緒  
ニ進ムベキ點ニ付テハ一精ニヤルヤウニ致  
ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ニ付  
キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、能  
ク事務當局ノ間ニ於テモ連絡ヲ執ツテ、此  
ノ兩者ノ区分スベキ點ハ區別ヲシ、又一緒  
ニ進ムベキ點ニ付テハ一精ニヤルヤウニ致  
ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ

農林大臣カラ御説明ヲ願ヒマス  
○島田國務大臣 只今會計課長カラ申シタ  
ノデアリマスガ只今主管ノ政府委員ガ居リ  
マセスカラ、尙ホ其ノ政府委員ノ方デ取調  
ベテ御答申上ゲタイト思ヒマス  
○土屋政府委員 只今河野委員カラ御説明  
ノゴザイマシタ點デゴザイマスガ、會計課長  
カラ御答申上ゲマシタヤウニ、詳細ノ内  
容ニ互リマシテハ外國トノ關係モゴザイマ  
スカラ、此ノ席デハ申上ゲ兼ネルノヲ遺憾  
ト存ジマスガ、大體ノ數字ヲ申上ゲマス  
○三土委員長 一寸速記ヲ止メテ  
(速記中止)

○島田國務大臣 御話ノコトハ考ヘテ見マ  
セウ、唯數字ニ關係シテハ、外貨獲得ト云  
フコトモアリマスカラ、是等ノコトハ公開  
ノ席上デ、殊ニ速記ヲ取ル場所ニ於テヤル  
コトハドウカ、斯ウ云フ考デ成ベク公開ノ  
席上デ論議スルコトハドウカト思ヒマス  
御意見ダケハ承ツテ置キマス、其ノ點ハ能  
ク河野君ノ方ニ於テモ御考ヲ願ヒタイ  
○河野委員 ソレデハ次ノ御考ニ移リマス、  
最近ノ農村ノ實情カラ申シマスルト、飼料  
ト肥料ノ關係ガ非常ニ難カシクナツテ居リ  
マス、木追加豫算ニモ飼料ノ輸入ニ付テ助  
成金ガ賦ツテ居リマスケレドモ、是ハ唯段  
段ニ滿洲カラ輸入シテ參ル、第三國カラ持  
ツテ參ルト云フダケデハ不徹底デアリマス  
テ、内地ニ於テ飼料ノ價格ト、肥料ノ價格  
トヲ見合ハセテ統制スルコトガ絕對ニ必要  
ダト思フ、是ハ前内閣ノ問題デアリマスガ  
前内閣ノ時代ニ於キマシテハ肥料ノ政策  
ト、飼料ノ政策トノ間ニ關係性ガアリマ  
セヌ、殊ニ價格政策ノ上ニ於テ何等ノ關聯

○河野委員 大臣ノ只今ノ御考デ満足スル  
者デアリマスガ、是非ソレヲ速ニ實施セラ  
レンコトヲ、連日地方カラモ強ク要望シテ  
參ツテ居ルノデアリマスカラ、速ニサウ云  
フ方途ニ御決定アラントコトヲ御願スル者  
デアリマス  
次ニ御伺シタイノ大豆粕ノ問題デアリ  
マス、此ノ點ハ先日同僚助川委員ヨリ此ノ  
委員會ニ於テ、相當詳細ニ御論議ガアリマ  
シタ、而モソレニ對シテハ對滿事務局長ヨ  
リ御説明ガアリ、又當局トシテノ御説明モ  
承ツタノデアリマス、又別ノ機會ニ、農林  
大臣ヨリ私ニ對シテ、大豆粕ノ將來ニ付テ  
ノ御言明モアツタノデアリマス、然レ所本  
日ノ新聞紙ヲ拜見シマス、別ノ機會ニ於  
テ、別ノ政府委員ヨリ、大豆粕ニ付テハ本  
年春肥ニ合フモノハ大體三十萬噸位ダ  
ラウ、サウ云フ程度ヲ確實ニ見越スコトガ  
適當ト思フト云フ御言明ノアツタコトヲ新  
聞デ拜見シタノデアリマス、私ハ事口三十  
萬噸以下ノ悲觀論者デアリマスケレドモ、  
農林當局ノ一部ニ於テ大體三十萬噸程度ダ  
ラウト云フ認識ヲ今日持テラタコトハ結構  
ダト思フノデス、寧ロソレ以下デハナイカ  
サウデナクニ、非常ニ多イ數字ニオツテ居  
ルノデス、何處マデモ政府ハ豫定ノ數字、  
即チ大豆粕百六萬噸、大豆九十五萬噸ト云  
フ數字ヲ入レルモノナリト云フ御言明ニナ  
ツテ居リマスノデ、私ノ只今申上ゲタ問題  
トノ間ニハ非常ナ開キデアアルノデアリマ

○河野委員 大臣ノ只今ノ御考デ満足スル  
者デアリマスガ、是非ソレヲ速ニ實施セラ  
レンコトヲ、連日地方カラモ強ク要望シテ  
參ツテ居ルノデアリマスカラ、速ニサウ云  
フ方途ニ御決定アラントコトヲ御願スル者  
デアリマス  
次ニ御伺シタイノ大豆粕ノ問題デアリ  
マス、此ノ點ハ先日同僚助川委員ヨリ此ノ  
委員會ニ於テ、相當詳細ニ御論議ガアリマ  
シタ、而モソレニ對シテハ對滿事務局長ヨ  
リ御説明ガアリ、又當局トシテノ御説明モ  
承ツタノデアリマス、又別ノ機會ニ、農林  
大臣ヨリ私ニ對シテ、大豆粕ノ將來ニ付テ  
ノ御言明モアツタノデアリマス、然レ所本  
日ノ新聞紙ヲ拜見シマス、別ノ機會ニ於  
テ、別ノ政府委員ヨリ、大豆粕ニ付テハ本  
年春肥ニ合フモノハ大體三十萬噸位ダ  
ラウ、サウ云フ程度ヲ確實ニ見越スコトガ  
適當ト思フト云フ御言明ノアツタコトヲ新  
聞デ拜見シタノデアリマス、私ハ事口三十  
萬噸以下ノ悲觀論者デアリマスケレドモ、  
農林當局ノ一部ニ於テ大體三十萬噸程度ダ  
ラウト云フ認識ヲ今日持テラタコトハ結構  
ダト思フノデス、寧ロソレ以下デハナイカ  
サウデナクニ、非常ニ多イ數字ニオツテ居  
ルノデス、何處マデモ政府ハ豫定ノ數字、  
即チ大豆粕百六萬噸、大豆九十五萬噸ト云  
フ數字ヲ入レルモノナリト云フ御言明ニナ  
ツテ居リマスノデ、私ノ只今申上ゲタ問題  
トノ間ニハ非常ナ開キデアアルノデアリマ

ヲ持ツテ居リマセナカツタ爲ニ、肥料ガ上  
レバ肥料ノ方ニ流レテ來ル、又飼料ノ方ヲ  
上レバ飼料ノ方ニ廻ツテ來ルト云フコト  
デ、ソレガ價格政策ノ上カラ各地ニ偏在ノ  
傾向トナリ、肥料ト飼料トヲ共ニ混亂セ  
シメタト云フ明カナ事實ヲ生シテ居ルノデ  
アリマス、所方現内閣ニ至リマシテモ、飼  
料ト肥料ノ政策ノ間ニドウモ連絡ヲ缺イテ  
居ル嫌疑ガアルト思フノデアリマス、苟モ  
今申上ゲマシタヤウニ有機質ノ肥料ト飼料  
トノ間ニハ何等ノ距離ガナイ、包裝ニ飼  
料ト飼料トナリ、肥料ト書ケバ肥料トナ  
ルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、隨テ  
是等ノ價格ヲドウ決メラガト云フ場合ニハ  
飼料ノ價格ト肥料ノ價格トノ間ニ、密接不  
可分ナ連絡ヲ以テ之ヲ公定シテ參ラナケレ  
バナラスト思フノデアリマス、現在ニ於テ  
ハ其ノ機構ヲ農林省モ持ツテ居リマセヌ  
シ、世間モ之ヲサウ取扱ツテハ居リマセヌ、  
肥料ニハ肥料ノ取締規則ガアリ、又統制ノ  
各種ノ法律ガアツテヤツテ居リマスケレド  
モ、飼料ノ方ハ飼料ノ取締規則ガアツ  
テ、別箇ニ取扱ツテ居ルト云フ實情ニナツ  
テ居リマス、甚ダ其ノ間ニ齟齬ヲ來シテ居  
ル點ガ多イ、現ニ齟齬ヲ來シツツアルコト  
ハ事實デアリマス、之ニ對シテ今後農林大  
臣ハドウ云フ御取扱ヲサレカ、是等ノ價  
格公定ニ當ツテハ、肥料ト飼料トヲ同時ニ  
決定サレル方向ニ御進ミニナル御考ハナイ  
カ、御所見ヲ伺ヒタイ

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ガ只  
今御話ノヤウナ事情ニナツテ居ルコトハ、  
最近ノ事情ニ於テ極メテ明瞭デアリマス、  
隨テ是等ノ點ニ付キマシテハ其ノ間齟齬ノ  
ナイヤウニ十分研究ヲシマシテ、兩方ノ事

○河野委員 同時ニ附加ヘテ置キマスガ、  
取締規則ノ上ニ於キマシテハ、肥料ノ取締  
規則ト肥料ノ取締規則トノ間ニ大分隔リガ  
アリマス、是等兩者ヲ調整致シマシテ、適  
當ニ同一ナ方向ニ進ムヤウニ、同一ノ取締  
ヲスルヤウニサレルトコト方適當ダト思ヒマ  
ス、苟モ取締取締ノ上ニ於キマシテハ、兩者ヲ  
豈行セシメ、配給ノ機構ノ上ニ於テハ兩者ヲ  
劃然トシテ、其ノ方向ヲ別ニ明ニシテ參リマ  
セスト、是方使用ノ上ニ於テ非常ナ偏在ヲ  
來シ、偏頗ナコトニナルト私ハ思ヒマス、例  
ヘバ畜産物ノ價格ハ比較的ニ割安ニナリ、他  
ノ農産物ノ價格ハ比較的高ニ割安ニナリ、是ガ  
農産物ノ方ニ用途方向ケラレル、畜産物ノ  
價格ガ割高デアツテ、農産物ノ價格ガ割安  
ノ場合ニハ、割高ノ畜産物ノ方ニ是等ノ有  
機質ノモノガ向ケラレルト云フコトハ事實  
デアリマス、所方現在ノヤウニ畜産物ノ價  
格ト農産物ノ價格トノ間ニ關係性ガナク、  
是等ノ價格決定ノ上ニ於テモ何等ノ見合セ  
モナイ際ニ於キマシテハ、ドウシテ此ノ飼  
料ノ流シ方ト、肥料ノ流シ方トノ間ニ全然  
別個ノ流シ方ヲ作ラナケレバ、所期ノ目的ヲ  
達スルコトガ出来ナカラウト思ヒマス、而  
モ畜産物ニハ畜産物ノ使命ガアリ、今日ノ  
我が農林經營ノ上ニ於テ畜産ヲ無視シタ農  
業經營ハナイ筈デアリマス、是ハ我が農民  
行政ノ長年ノ最高指導精神デアリマシテ、  
有畜農業ノ獎勵ニハ何人モ疑フ持ツ人ハナ  
カラウト思フ、如何ナル時局下ニ於テモ、  
有畜農業ヲ獎勵シテ、以テ農村經營ヲ合理  
化スルト云フコトハ間違ヒハナカラウト思  
フノデアリマス、然レニ是ガ飼料ノ政策ノ

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ニ付  
キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、能  
ク事務當局ノ間ニ於テモ連絡ヲ執ツテ、此  
ノ兩者ノ区分スベキ點ハ區別ヲシ、又一緒  
ニ進ムベキ點ニ付テハ一精ニヤルヤウニ致  
ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ニ付  
キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、能  
ク事務當局ノ間ニ於テモ連絡ヲ執ツテ、此  
ノ兩者ノ区分スベキ點ハ區別ヲシ、又一緒  
ニ進ムベキ點ニ付テハ一精ニヤルヤウニ致  
ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ニ付  
キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、能  
ク事務當局ノ間ニ於テモ連絡ヲ執ツテ、此  
ノ兩者ノ区分スベキ點ハ區別ヲシ、又一緒  
ニ進ムベキ點ニ付テハ一精ニヤルヤウニ致  
ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ニ付  
キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、能  
ク事務當局ノ間ニ於テモ連絡ヲ執ツテ、此  
ノ兩者ノ区分スベキ點ハ區別ヲシ、又一緒  
ニ進ムベキ點ニ付テハ一精ニヤルヤウニ致  
ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ニ付  
キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、能  
ク事務當局ノ間ニ於テモ連絡ヲ執ツテ、此  
ノ兩者ノ区分スベキ點ハ區別ヲシ、又一緒  
ニ進ムベキ點ニ付テハ一精ニヤルヤウニ致  
ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ

○島田國務大臣 肥料ト飼料トノ關係ニ付  
キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、能  
ク事務當局ノ間ニ於テモ連絡ヲ執ツテ、此  
ノ兩者ノ区分スベキ點ハ區別ヲシ、又一緒  
ニ進ムベキ點ニ付テハ一精ニヤルヤウニ致  
ス、今ノ問題ニ付テモ亦同様ニ、此ノ頃  
役人方無暗ニ物動計數ヲ笠ニ著テ、是サヘ  
出セバ議會ニ説明スルモ宜イカノ態度ヲ  
執ラレトコトハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ  
云フコトデハ吾々ドウシテ一體國民ノ最低  
生活ノ保障アルトカ、何ト云フヤウナコ  
トヲ論議スルコトガ出来マシカ、是ハ重ネテ  
農林大臣カラ御考ヲ承リタイト思フ、今ノヤ  
ウニ若シ申スコトガ出来ナケレバ出来ナ  
イデ、出来ル機會ヲ作ツテ御説明ニナレバ宜  
シイ、唯簡單ニ物動ニ關係ガアルトカ、何  
ニ關係ガアルトカ云フヤウナコトヲサヘ言  
ヘバ、ソレデ済ムト云フヤウナ考ヘ方ハ間違  
ッテ居ル、米ノ數字ニ致シマシテモ説明ガ  
出来ナイ、出来ナイト云ヒ故シテ済ムモノ  
デナイト思フ、サウ云フコトヲ全然知ラサ  
ズニ置イテ、心配ハナイ、心配ハナイト云  
ハレマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ參ラス  
ト思フ、獨リ大臣ガ心配ガナイト云ハレ  
レト所方、ソレドドウナルモノデハナイ、如  
何ニ大臣ガ數字ヲ言ハズニ節米々ト云ハ  
レト所方、サウ云フ譯ニ參ラスト思フ、米  
ノ問題ハ借テ置キマシテモ、是等ノ問題ニ  
付キマシテサヘサウ云フヤウナ態度ハ私ハ  
執ラザル態度ダト思フ、此ノ機會ニ農林大  
臣ノ御意見ヲ聽キタイ